

ホ. 放射性廃棄物の廃棄施設

1. 設計条件及び仕様
 - 1.1 気体廃棄物の廃棄施設
 - 1.1.1 せん断処理・溶解廃ガス処理設備

- ・常設
 - (1) 容器

				変更前	変更後			
名称				NOx吸収塔 [redacted] *3	NOx吸収塔 [redacted] *1			
種類		—		たて置円筒形 (充てん塔)	変更なし			
容量		m ³ /h/ 個						
最高使用圧力	管側		MPa	[redacted]	変更なし			
	胴側		MPa					
最高使用温度	管側		℃			変更なし [redacted] *13		
	胴側		℃					
伝熱面積			m ² /個			[redacted]	変更なし	
主要寸法	管側	胴内径						mm
		胴板厚さ						mm
		鏡内径						mm
		鏡板厚さ						mm
		鏡板中央部内半径						mm
		鏡板隅の丸み半径		mm				
		入口管台外径 *6		mm				
		入口管台厚さ *6		mm				
		出口管台外径 *7		mm				
		出口管台厚さ *7		mm				
管側	胴内径		mm					
	胴板厚さ		mm					
管板厚さ			mm					
伝熱管外径			mm					
伝熱管厚さ			mm					
高さ *8			mm					
主要材料 *9	管側	胴板		—				
		鏡板		—				
	胴側		胴板		—			
	管板			—				
	伝熱管			—				
個数				—	2			

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	せん断処理・溶解 廃ガス処理設備*4
	設置床	—	■■■■■■■■■■ T. M. S. L ■■■■m*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*10
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*10
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「NOx 吸収塔 A, B ■■■■■■と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には■■■■■■と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日9案（核規）第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1-2図 NOx吸収塔の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日9案（核規）第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1-2図 NOx吸収塔の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *12：上下部の管台を含めた高さを示す。
- *13：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			よう素追出し塔 [REDACTED]*2	
種類		—	たて置円筒形(充てん塔)	
容量	有効容量	m ³ /個	[REDACTED]	変更なし
	設計熱交換量*3	kW/個		
最高使用 圧力	本体	MPa		
	ジャケット部*5	MPa		
最高使用 温度	本体	℃		
	ジャケット部	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	上部鏡板厚さ	mm		
	上部胴外径	mm		
	上部胴板厚さ	mm		
	円すい胴板厚さ	mm		
	下部胴外径	mm		
	下部胴板厚さ	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板の内面における長径	mm		
	下部鏡板の内面における短径の2分の1	mm		
	ジャケット胴外径	mm		
	ジャケット厚さ	mm		
	ジャケット平板厚さ	mm		
	出口管台外径	mm		
高さ*6	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料 *7	上部鏡板	—	[Redacted]	変更なし
	上部胴板	—		
	円すい胴板	—		
	下部胴板	—		
	下部鏡板	—		
	ジャケット	—		
	ジャケット平板	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	せん断処理・ 溶解廃ガス処理設備	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L [Redacted] m*4	
	溢水防護上の区画番号	—	—*8	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*8	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*9	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素追出し塔 A [Redacted]」「よう素追出し塔 B [Redacted]」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]kW/個([Redacted]kcal/h/個)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(内圧)[Redacted]MPa([Redacted]kg/cm²)/(外圧)[Redacted]MPa([Redacted]kg/cm²)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*10：R-Zr 相当。

		変更前	変更後	
名称		DOG ダンパセル 漏えい液受皿 [REDACTED]	変更なし	
種類		—		ライニング型容器
主要寸法	高さ*2	[REDACTED]		
	厚さ*3	[REDACTED]		
主要材料*5		—		
個数		—		1
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		せん断処理・ 溶解廃ガス処理設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L [REDACTED] m*4
	溢水防護上の区画番号	—		—*6
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—		—*6
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*7	
化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*7		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 H」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 t」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料本体」と記載。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) 熱交換器

				変更前	変更後
名称				凝縮器 [redacted] *3	凝縮器 [redacted] *1
種類			—	たて置直管式	
容量	設計熱交換量		kW/ 個	[redacted]	変更なし
最高使用圧力	管側	MPa			
	胴側	MPa			
最高使用温度	管側	℃			
	胴側	℃			
伝熱面積			m ² /個	[redacted]	変更なし
主要寸法	管側	鏡内径	mm		
		鏡板厚さ	mm		
		鏡板中央部 内半径	mm		
		鏡板隅の 丸み半径	mm		
	胴側	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		入口管台外径*7	mm		
		入口管台厚さ*7	mm		
		出口管台外径*8	mm		
		出口管台厚さ*8	mm		
	管板厚さ		mm		
	伝熱管外径		mm		
	伝熱管厚さ		mm		
	高さ*9		mm		
	主要材料 *10	管側	鏡板	—	
胴側		胴板	—		
管板		—			
伝熱管		—			
個数			—	2	

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	せん断処理・溶解 廃ガス処理設備*4
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*11
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*12
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*12

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「凝縮器A, B ■■■■■」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日9案（核規）第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1-1図凝縮器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日9案（核規）第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1-1図凝縮器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*13：NOx吸収塔 ■■■■■との合計値。

NOx吸収塔は■■■■■kW/個である。

*14：重大事故等時における使用時の値を示す。

				変更前	変更後
名称				廃ガス冷却器	廃ガス冷却器
				*3	*1
種類*4		—	横置円筒形		
容量	容量		m ³ /h/個 [normal]	変更なし	
	設計熱交換量*6		kW/個		
最高使用圧力*7		管側	kPa		
		胴側	MPa		
最高使用温度		管側	℃		
		胴側	℃		
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	胴外径*8	mm		
		胴板厚さ*9	mm		
		鏡板厚さ	mm		
		鏡板の中央部における内面の半径	mm		
		鏡板のすみの丸みの内半径	mm		
		入口管台外径	mm		
		入口管台厚さ	mm		
		出口管台外径	mm		
	出口管台厚さ	mm			
	胴側	胴外径*8	mm		
		胴板厚さ*9	mm		
	管板厚さ		mm		
	伝熱管外径		mm		
	伝熱管厚さ		mm		
	全長*10		mm		
高さ*11					

(つづき)

				変更前	変更後
主要材料 *12	管側	胴板	—	[REDACTED]	変更なし
		鏡板	—		
	胴側	胴板	—		
		管板	—		
	伝熱管	—			
個数			—	3	
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	せん断処理・溶解廃ガス処理設備	
	設置床		—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m*5	
	溢水防護上の区画番号		—	— *13	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— *13	—
	化学薬品防護上の区画番号		—	— *14	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	— *14	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「廃ガス冷却器 A, B, C [REDACTED] [REDACTED]」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「横置円筒形容器」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[REDACTED] kcal/h/個)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「管側 [REDACTED] kPa ([REDACTED] kg/cm²) (外圧), 胴側 [REDACTED] MPa ([REDACTED] kg/cm²)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 D」と記載。

- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 t」 と記載。
- *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 L」 と記載。
- *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 H」 と記載。
- *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」 と記載。
- *13：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」 とする。
- *14：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」 とする。

			変更前	変更後
名称			廃ガス加熱器 [redacted]*3	廃ガス加熱器 [redacted]*1
種類		—	たて置円筒形 (電気ヒータ)	変更なし
容量	容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]	
	設計熱交換量	kW/個		
最高使用圧力*5		kPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	胴内径	mm		
	上部胴板厚さ	mm		
	下部胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板の中央部における内面の半径	mm		
	鏡板のすみの丸みの内半径	mm		
	入口管台外径	mm		
	入口管台厚さ	mm		
	出口管台外径	mm		
	出口管台厚さ	mm		
	平板厚さ	mm		
	保護管外径	mm		
	保護管厚さ	mm		
高さ*6	mm			
主要材料 *7	上部胴板	—		
	下部胴板	—		
	鏡板	—		
	平板	—		
	保護管	—		
個数		—	3*8	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	せん断処理・溶解廃ガス処理設備	変更なし
	設置床	—	██████████ ██████████ T. M. S. L. ██████ m ^{*4}	
	溢水防護上の区画番号	—	— *9	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *9	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *10	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *10	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「廃ガス加熱器 A, B, C ██████████」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(外圧) █████ kPa (█████ kg/cm²)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「3(1 個/系列×3 系列内 1 個/系列×1 系列予備)」と記載。
- *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(3) ファン

			変更前	変更後	
名称			排風機 [redacted]*3	排風機 [redacted]*1	
排風機	種類	—	ルーツ式	変更なし	
	最高使用圧力	MPa	[redacted]		
	最高使用温度	℃	[redacted]		
	容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]		
	主要寸法	吸込口径	mm		[redacted]
		吐出口径	mm		[redacted]
		たて	mm		[redacted]
		横	mm		[redacted]
		高さ*6	mm		[redacted]
	主要材料* 5	ケーシング	—		[redacted]
個数	—	3*7			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	せん断処理・ 溶解廃ガス処理設備		
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]m*4		
	溢水防護上の 区画番号	—	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]m 以上 T. M. S. L. [redacted]m 以上 T. M. S. L. [redacted]m 以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	[redacted]	

(つづき)

				変更前	変更後
排風機	取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■m 以上
					T. M. S. L. ■■■■■m 以上
					T. M. S. L. ■■■■■m 以上
原動機	種類		—	誘導電動機*4	変更なし
	出力		kW/個	■■■*4	
	個数		—	3*4	
	取付箇所		—	排風機と同じ*4	

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機 A, B, C ■■■■■ ■■■■■」と記載。

*4：設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「3(1個/系列×3系列内1個/系列×1系列予備)」と記載。

*8：当該設備は、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力を設定しないが、ここでは、接続配管の最高使用圧力を()内に示す。

(4) フィルタ

		変更前	変更後	
名称		ミストフィルタ [redacted] *3	ミストフィルタ [redacted] *1	
種類	—	たて置円筒形 (ミストフィルタ 1段内蔵式)	変更なし	
最高使用圧力*4	kPa	[redacted]		
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
粒子除去効率	%			
主要寸法	吸込口径			mm
	吐出口径			mm
	胴内径			mm
	胴板厚さ			mm
	鏡板厚さ			mm
	鏡板の中央部における 内面の半径			mm
	鏡板のすみの丸みの 内半径			mm
主要材料 *7	高さ*6			mm
	胴板			—
	鏡板			—
	フランジ			—
	平板			—
ろ材	—			
個数	—			6*8
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	せん断処理・溶解 廃ガス処理設備
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m*5	
	溢水防護上の区画番号	—	—*9	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *10	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ミストフィルタ A1, A2, B1, B2, C1, C2 []」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(外圧 []kPa([]kg/cm²))」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「6(2 個/系列×3 系列内 2 個/系列×1 系列予備)」と記載。
- *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			第1高性能粒子 フィルタ [redacted] ^{*3}	第1高性能粒子 フィルタ [redacted] ^{*1}
種類	—		たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)	変更なし
最高使用圧力 ^{*4}			[redacted]	
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
粒子除去効率	%			
主要 寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板の中央部におけ る内面の半径	mm		
	鏡板のすみの丸みの 内半径	mm		
主要 材料 ^{*7}	高さ ^{*6}	mm		
	胴板	—		
	鏡板	—		
	フランジ	—		
	平板	—		
	ろ材	—		
個数		—	3 ^{*8}	
取付 箇所	系統名 (ライン名)	—	せん断処理・ 溶解廃ガス処理設備	
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]m ^{*5}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*9}	

(つづき)

			変更前	変更後
取付 箇所	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *9	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *10	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1高性能粒子フィルタ A, B, C []」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(外圧) []kPa ([]kg/cm²)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「3(1個/系列×3系列内1個/系列×1系列予備)」と記載。

*9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			第1よう素フィルタ ■■■■■*3	第1よう素フィルタ ■■■■■*1
種類	—		たて置円筒形 (よう素フィルタ 1段内蔵式)	変更なし
最高使用圧力*4			■■■■■	
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
よう素除去効率	%			
主要 寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板の中央部における 内面の半径	mm		
	鏡板のすみの丸みの 内半径	mm		
高さ*6	mm			
主要 材料 *7	胴板	—		
	鏡板	—		
	フランジ	—		
	平板	—		
	ろ材	—		
個数	—	6*8		
取付 箇所	系統名 (ライン名)	—	せん断処理・ 溶解廃ガス処理設備	
	設置床	—	■■■■■ ■■■■■ T. M. S. L. ■■■■n*5	
	溢水防護上の区画番号	—	—*9	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *10	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1よう素フィルタ A1, A2, B1, B2, C1, C2 []」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(外圧) []kPa([]kg/cm²)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「6(2 個/系列×3 系列内 2 個/系列×1 系列予備)」と記載。
- *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *11：よう素フィルタベッド厚 []mm

		変更前	変更後
名称		第2よう素フィルタ [redacted]*3	第2よう素フィルタ [redacted]*1
種類	—	たて置円筒形 (よう素フィルタ 1段内蔵式)	変更なし
最高使用圧力*4		[redacted]	
最高使用温度	℃	[redacted]	
容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]	
よう素除去効率	%	[redacted]	
主要 寸法	吸込口径	mm	
	吐出口径	mm	
	胴内径	mm	
	胴板厚さ	mm	
	鏡板厚さ	mm	
	鏡板の中央部における 内面の半径	mm	
	鏡板のすみの丸みの 内半径	mm	
高さ*6	mm		
主要 材料 *7	胴板	—	
	鏡板	—	
	フランジ	—	
	平板	—	
	ろ材	—	
個数	—	6*8	
取付 箇所	系統名 (ライン名)	—	
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m*5
	溢水防護上の区画番号	—	—*9
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *10	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第2よう素フィルタ A1, A2, B1, B2, C1, C2 []」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(外圧 []kPa([]kg/cm²))」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「6(2 個/系列×3 系列内 2 個/系列×1 系列予備)」と記載。
- *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *11：よう素フィルタベッド厚 []mm

		変更前	変更後	
名称		第2高性能粒子 フィルタ [redacted] ^{*3}	第2高性能粒子 フィルタ [redacted] ^{*1}	
種類	—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)	変更なし	
最高使用圧力 ^{*4}		[redacted]		
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
粒子除去効率	%			
主要 寸法	吸込口径			mm
	吐出口径			mm
	胴内径			mm
	胴板厚さ			mm
	鏡板厚さ			mm
	鏡板の中央部におけ る内面の半径			mm
	鏡板のすみの丸みの 内半径			mm
主要 材料 ^{*7}	高さ ^{*6}			mm
	胴板			—
	鏡板			—
	フランジ			—
	平板			—
	ろ材		—	
個数		—	3 ^{*8}	
取付 箇所	系統名 (ライン 名)	—	せん断処理・ 溶解廃ガス処理設備	
	設置床	—	[redacted] [redacted] T. M. S. L. [redacted]m ^{*5}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*9}	

(つづき)

			変更前	変更後
取付 箇所	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	— *9	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *10	—
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	—	— *10	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第2 高性能粒子フィルタ A, B, C []」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(外圧) []kPa ([]kg/cm²)」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「3(1 個/系列×3 系列内 1 個/系列×1 系列予備)」と記載。

*9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(5) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	溶解槽 [] ~ 凝縮器入口冷却ジャケット []*6					溶解槽 [] ~ 凝縮器入口冷却ジャケット []*2	変更なし	変更なし []*3	変更なし		
	凝縮器入口冷却ジャケット []	内管				変更なし	変更なし []*3	変更なし			
		外管				変更なし	変更なし				
	凝縮器入口冷却ジャケット [] ~ []					凝縮器入口冷却ジャケット [] ~ []*2	変更なし	変更なし []*3	変更なし		
	[]	入口 (Zr側)				変更なし	変更なし []*3	変更なし			
		異材接合部									
		出口 (SUS側)									
[] ~ 凝縮器 []					[] ~ 凝縮器 []*2	変更なし	変更なし []*3	変更なし			

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	第2よう素追出し槽 ■■■■■■■■■■~ 溶解槽デミスタ出口配管 ■■■■■■■■■■					変更なし					
	第1よう素追出し槽 ■■■■■■ ■■■■■■■■■■~ 第2よう素追出し槽出口配管 ■■■■■■■■■■					変更なし					
	凝縮器 ■■■■■■~ NOx吸収塔 ■■■■■■					凝縮器 ■■■■■■~ NOx吸収塔 ■■■■■■*2	変更なし	変更なし ■■■■*3	変更なし		
	溶解槽 ■■■■■■~ 凝縮器入口冷却ジャケット ト ■■■■■■*7					溶解槽 ■■■■■■~ 凝縮器入口冷却ジャケット ト ■■■■■■*2	変更なし	変更なし ■■■■*3	変更なし		
	凝縮器入口冷却ジャケット ■■■■■■■■■■	内管					凝縮器入口冷却ジャケット ■■■■■■■■■■	内管	変更なし	変更なし ■■■■*3	変更なし
■■■■■■■■■■	外管					■■■■■■■■■■*2	外管	変更なし			

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	凝縮器入口冷却ジャケット ト [redacted] ~ [redacted]					凝縮器入口冷却ジャケット ト [redacted] ~ [redacted]*2	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし			
	[redacted] [redacted]	入口 (Zr側)					入口 (Zr側)	変更なし [redacted]*2	変更なし [redacted]*3	変更なし		
		異材接合部					異材接合部					
		出口 (SUS側)					出口 (SUS側)					
[redacted] ~ 凝縮器 [redacted]					[redacted] ~ 凝縮器 [redacted]*2	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし				

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	第2よう素追出し槽 [] []~ 溶解槽デミスタ出口配管 []	[]	[]	[]	[]	変更なし					
	第1よう素追出し槽 [] []~ 第2よう素追出し槽出口配管 []					変更なし					
	凝縮器 []~ NOx吸収塔 []					変更なし	変更なし []*3	変更なし			
	エンドピース酸洗浄槽 [] []~ 硝酸調整槽 [] 出口配管合流部*5					変更なし	変更なし []*3	変更なし			
	硝酸調整槽 []出 口配管合流部~ 凝縮器出口配管 [] []*5					変更なし	変更なし []*3	変更なし			
	硝酸調整槽 []出 口配管合流部~ 凝縮器出口配管 [] []*5					変更なし	変更なし []*3	変更なし			

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料*56	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	NOx 吸収塔 [redacted] ~ [redacted]*11					[redacted]	NOx 吸収塔 [redacted] ~ [redacted]*2	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし		
	[redacted]	入口 (SUS 側)	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし		[redacted]					
		異材接合部										
		出口 (Zr 側)										
	[redacted] ~ [redacted]						[redacted] ~ [redacted]*2	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし		
	[redacted]	入口 (Zr 側)	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし		[redacted]					
		異材接合部										
		出口 (SUS 側)										
	[redacted] ~ 主要弁 [redacted] [redacted]*12						[redacted] ~ 主要弁 [redacted] [redacted]*2	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし		
	NOx 吸収塔 [redacted] ~ [redacted]*13						NOx 吸収塔 [redacted] ~ [redacted]*2	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし		
[redacted]	入口 (SUS 側)	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし	[redacted]							
	異材接合部											
	出口 (Zr 側)											
[redacted] ~ [redacted]					[redacted] ~ [redacted]*2	変更なし	変更なし [redacted]*3	変更なし				

変更前						変更後							
名称		最高使用圧力 (kPa)*52	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料*56	名称		最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	入口 (Zr側)	■	■	■	■	■	入口 (Zr側)	■	変更なし	変更なし ■*3	■	変更なし	■
	異材 接合部						異材 接合部						
	出口 (SUS側)						出口 (SUS側)						
	■~主要弁 ■ ■*14	■~主要弁 ■ ■*2					変更なし	変更なし ■*3	■	変更なし			
	主要弁 ■ ■~ミストフィルタ ■*15	■~ミストフィルタ ■*2					変更なし						
	ミストフィルタ ■ ■~廃ガス加熱器 ■*16	ミストフィルタ ■ ■~廃ガス加熱器 ■*2					変更なし						
	廃ガス加熱器 ■ ~第1高性能粒子フィル タ ■*17	廃ガス加熱器 ■ ~第1高性能粒子フィル タ ■*2					変更なし						
	第1高性能粒子フィルタ ■~第1よう素 フィルタ ■*18	第1高性能粒子フィルタ ■~第1よう素 フィルタ ■*2					変更なし						
	第1よう素フィルタ ■ ■~第2よう素フィル タ ■*19	第1よう素フィルタ ■ ■~第2よう素フィル タ ■*2					変更なし						
	第1よう素フィルタ ■ ■~第2よう素フィル タ ■*20	第1よう素フィルタ ■ ■~第2よう素フィル タ ■*2					変更なし						
第2よう素フィルタ ■ ■~第2高性能粒 子フィルタ ■*21	第2よう素フィルタ ■ ■~第2高性能粒 子フィルタ ■*2	変更なし											

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)*52	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料*56	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	第2高性能粒子フィルタ [] ~ 廃ガス冷却器 []*22	[]	[]	[]	[]	第2高性能粒子フィルタ [] ~ 廃ガス冷却器 []*2	変更なし	[]	[]	[]	[]
	廃ガス冷却器 [] ~ 排風機 []*23					廃ガス冷却器 [] ~ 排風機 []*2					
	廃ガス冷却器 [] 出口配管分岐点 ~ 排風機 [] 入口廃ガス冷却器 [] 出口分岐 配管合流点*24					廃ガス冷却器 [] 出口配管分岐点 ~ 排風機 [] 入口廃ガス冷却器 [] 出口分岐 配管合流点*2	変更なし	[]	[]	[]	
	排風機 [] [] ~ 前処理建屋塔槽類 廃ガス処理設備*25					排風機 [] [] ~ 前処理建屋塔槽類 廃ガス処理設備*2	変更なし	[]	[]	[]	
	主要弁 [] [] ~ ミストフィルタ []*26					主要弁 [] [] ~ ミストフィルタ []*2	変更なし	[]	[]	[]	
	ミストフィルタ [] [] ~ 廃ガス加熱器 []*27					ミストフィルタ [] [] ~ 廃ガス加熱器 []*2	変更なし	[]	[]	[]	
	廃ガス加熱器 [] ~ 第1高性能粒子フィルタ []*28					廃ガス加熱器 [] ~ 第1高性能粒子フィルタ []*2	変更なし	[]	[]	[]	
	第1高性能粒子フィルタ [] [] ~ 第1よう素フィルタ []*					第1高性能粒子フィルタ [] [] ~ 第1よう素フィルタ []*	変更なし	[]	[]	[]	
	第1よう素フィルタ [] [] ~ 第2よう素フィルタ []*30					第1よう素フィルタ [] [] ~ 第2よう素フィルタ []*2	変更なし	[]	[]	[]	

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa) ^{*52}	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*1} (mm)	主要 材料 ^{*56}	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*1} (mm)	主要 材料
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	第1よう素フィルタ ■■■■■～第2よう素 フィルタ■■■■■ ^{*31}	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	第1よう素フィルタ ■■■■■～第2よう素 フィルタ■■■■■ ^{*2}	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	変更なし
	第2よう素フィルタ ■■■■■～第2高 性能粒子フィルタ■■■■■ ■■■■■ ^{*32}					第2よう素フィルタ ■■■■■～第2高 性能粒子フィルタ■■■■■ ■■■■■ ^{*2}					変更なし
	第2高性能粒子フィルタ ■■■■■～廃ガス冷却 器■■■■■ ^{*33}					第2高性能粒子フィルタ ■■■■■～廃ガス冷却 器■■■■■ ^{*2}					変更なし
	廃ガス冷却器■■■■■ ～排風機■■■■■ ^{*34}					廃ガス冷却器■■■■■ ～排風機■■■■■ ^{*2}					
	廃ガス冷却器■■■■■ 出口配管分岐点～排風機 ■■■■■入口廃ガス冷 却器■■■■■出口分岐 配管合流点 ^{*35}					廃ガス冷却器■■■■■ 出口配管分岐点～排風機 ■■■■■入口廃ガス冷 却器■■■■■出口分岐 配管合流点 ^{*2}					変更なし
	主要弁■■■■■ ■■■■■～ミストフィルタ ■■■■■ ^{*36}					主要弁■■■■■ ■■■■■～ミストフィルタ ■■■■■ ^{*2}					変更なし
	ミストフィルタ■■■■■ ■■■■■～廃ガス加熱器 ■■■■■ ^{*37}					ミストフィルタ■■■■■ ■■■■■～廃ガス加熱器 ■■■■■ ^{*2}					変更なし
	廃ガス加熱器■■■■■ ～第1高性能粒子フィル タ■■■■■ ^{*38}					廃ガス加熱器■■■■■ ～第1高性能粒子フィル タ■■■■■ ^{*2}					変更なし
	第1高性能粒子フィルタ ■■■■■～第1よう素 フィルタ■■■■■ ^{*39}					第1高性能粒子フィルタ ■■■■■～第1よう素 フィルタ■■■■■ ^{*2}					変更なし

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa) ^{*52}	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*1} (mm)	主要材料 ^{*56}	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*1} (mm)	主要材料
せん断処理・溶解廃ガス処理設備	第1よう素フィルタ [■] ■～第2よう素フィルタ [■] ^{*40}					第1よう素フィルタ [■] ■～第2よう素フィルタ [■] ^{*2}					変更なし
	第1よう素フィルタ [■] ■～第2よう素フィルタ [■] ^{*41}					第1よう素フィルタ [■] ■～第2よう素フィルタ [■] ^{*2}					変更なし
	第2よう素フィルタ [■] ■～第2高性能粒子フィルタ [■] ^{*42}					第2よう素フィルタ [■] ■～第2高性能粒子フィルタ [■] ^{*2}					変更なし
	第2高性能粒子フィルタ [■] ■～廃ガス冷却器 [■] ^{*43}					第2高性能粒子フィルタ [■] ■～廃ガス冷却器 [■] ^{*2}					変更なし
	廃ガス冷却器 [■] ～排風機 [■] ^{*44}					廃ガス冷却器 [■] ～排風機 [■] ^{*2}					
	廃ガス冷却器 [■] 出口配管分岐点～排風機 [■] ■入口配管合流点 ^{*45}					廃ガス冷却器 [■] 出口配管分岐点～排風機 [■] ■入口配管合流点 ^{*2}					変更なし
	廃ガス冷却器 [■] 出口分岐配管排風機 [■] ■側分岐点～排風機 [■] ■入口配管合流点 ^{*45}					廃ガス冷却器 [■] 出口分岐配管排風機 [■] ■側分岐点～排風機 [■] ■入口配管合流点 ^{*2}					変更なし
	よう素追出し塔 [■] ■～NOx吸収塔 [■] ■出口配管合流点 ^{*46}					変更なし					

変更前						変更後															
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料*56	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料										
せん断処理・溶解廃ガス処理設備						よう素追出し塔 ■■■■■ ■■■■~NOx 吸収塔 ■■■■■ ■■■■出口配管合流点*47	変更なし														
						DOG ダンパセル漏えい液受皿 ■■■■■~計量後 中間貯槽セル漏えい液受皿 ■■■■■*48						変更なし									
						安全冷却水系ヘッダー分岐点~廃ガス冷却器 ■■■■~安全冷却水系ヘッダー合流点*49											変更なし				
						安全冷却水系ヘッダー分岐点~廃ガス冷却器 ■■■■~安全冷却水系ヘッダー合流点*50															
安全冷却水系ヘッダー分岐点~廃ガス冷却器 ■■■■~安全冷却水系ヘッダー合流点*51	変更なし																				

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
 - *3：重大事故等時における使用時の値。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *9：溶解槽Aデミスタ を示す。
 - *10：溶解槽Bデミスタ を示す。
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *25：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *26：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *27：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *28：記載の適正化を行う。既設工認申請書では
 - *29：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *30：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *31：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *32：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *33：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *34：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *35：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

- *36：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *37：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *38：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *39：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *40：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *41：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *42：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *43：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *44：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *45：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *46：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *47：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *48：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *49：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *50：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *51：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *52：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *53：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *54：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *55：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *56：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *57：単位は(MPa)
- *58：デミスタ を示す。
- *59：デミスタ を示す。
- *60：デミスタ を示す。
- *61：よう素追出し塔廃ガス冷却器 を示す。
- *62：よう素追出し塔廃ガス冷却器 を示す。
- *63：DOG ダンパセル漏えい検知ポット を示す。
- *64：相当

1.1.2 塔槽類廃ガス処理設備

1.1.2.1 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備

・常設

(1) 容器

		変更前	変更後	
名称		デミスタ [REDACTED]	デミスタ [REDACTED]*1	
種類	—	横置円筒形		
容量	m ³ /h/個	変更なし		
最高使用圧力	kPa	変更なし		
最高使用温度	℃	[REDACTED]*10		
主要寸法	胴板内径	mm	変更なし	
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	鏡板すその丸み半径	mm		
	円すい頂角の2分の1	mm		
	入口管台外径*5			
	入口管台厚さ*5			
	出口管台外径*6			
	出口管台厚さ*6			
主要材料 *7	胴板	—		
	鏡板	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋塔槽類 廃ガス処理設備*3	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	—*8	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*8	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*9	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、S I単位のみを示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成7年9月26日7案（核規）第710号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.1-4図 デミスタの構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成7年9月26日7案（核規）第710号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.1-4図 デミスタの構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *10：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後		
名称			廃ガス洗浄塔 ■■■■■	廃ガス洗浄塔 ■■■■■*1		
種類		—	たて置円筒形 (棚段塔)	変更なし		
容量		m ³ /h/個	■■■■■			
最高使用圧力	本体	kPa		■■■■■		
	コイル部	MPa				
最高使用温度	本体	℃			変更なし ■■■■■*13	
	コイル部	℃				
伝熱面積		m ² /個			■■■■■	
主要寸法	上部胴板内径	mm				■■■■■
	本体胴板内径	mm				
	上部胴板厚さ	mm				
	本体胴板厚さ	mm				
	上部胴上部鏡板厚さ	mm				
	上部胴上部鏡板 中央部内半径	mm				
	上部胴上部鏡板 隅の丸み半径	mm				
	円すい胴板厚さ	mm				
	本体胴下部鏡板厚さ	mm				
	本体胴下部鏡板 中央部内半径	mm				
	本体胴下部鏡板 隅の丸み半径	mm				
	入口管台外径*6	mm				
	入口管台厚さ*6					
	出口管台外径*7	mm				
	出口管台厚さ*7					
コイル外径	mm					
コイル厚さ	mm					
高さ*8	mm					
				変更なし		

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料 *9	上部胴板	—	[Redacted]	変更なし
	円すい胴板			
	本体胴板	—		
	上部胴上部鏡板	—		
	本体胴下部鏡板	—		
	コイル	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋塔槽類 廃ガス処理設備*3	
取付箇所	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	—*10	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成7年9月26日7案(核規)第710号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.1-2図 廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成7年9月26日7案(核規)第710号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.1-2図 廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P7」を示す。

- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *12：上部の管台を含めた高さを示す。
- *13：重大事故等時における使用時の値を示す。

(2) 熱交換器

				変更前	変更後					
名称				凝縮器 ■■■■■	凝縮器 ■■■■■*1					
種類			—	たて置直管式						
容量	設計熱交換量		kW/個	■■■■■						
最高使用圧力	管側	MPa	■■■■■			変更なし				
	胴側	kPa								
最高使用温度	管側	℃						■■■■■*14	変更なし	
	胴側	℃								
伝熱面積						m ² /個	変更なし			
主要寸法	管側	ジャケット幅				mm				
		ジャケット高さ				mm				
		ジャケット厚さ				mm				
	胴側	胴長さ				mm				
		胴幅		mm						
		胴板厚さ	mm							
		平板厚さ	mm							
		入口管台外径*7	mm							
		入口管台厚さ*7	mm							
		出口管台外径*8	mm							
		出口管台厚さ*8	mm							
	管板厚さ		mm							
	伝熱管外径		mm							
	伝熱管厚さ		mm							
	高さ*9		mm							
主要材料 *10	管側	ジャケット	—							
	胴側	胴板	—							
		平板	—							
	管板		—							
	伝熱管		—							
個数			—	1						

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋塔槽類 廃ガス処理設備*3	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*11	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*12	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*12	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成7年9月26日7案(核規)第710号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.1-3図凝縮器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成7年9月26日7案(核規)第710号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.1-3図凝縮器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*13：上下部の管台を含めた高さを示す。

*14：重大事故等時における使用時の値を示す。

		変更前	変更後	
名称		よう素フィルタ 第1, 第2加熱器 [REDACTED]	よう素フィルタ 第1, 第2加熱器 [REDACTED]*1	
種類	—	横置円筒形 (電気ヒータ)	変更なし	
容量(設計熱交換量)	kW/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	kPa	[REDACTED]		
最高使用温度	℃	[REDACTED]		
主要寸法	胴板内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	円すい胴板厚さ	mm		
	入口管台外径*4	mm		
	入口管台厚さ*4	m		
	出口管台外径*5	mm		
	出口管台厚さ*5	m		
主要材料*6	胴板	—		
	円すい胴板	—		
個数		—		1*9
取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋塔槽類 廃ガス処理設備*3	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	—*7	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*7	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*8	—
	化学薬品防護上 の配慮が必要な高さ	—	—*8	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

による。

- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日9案（核規）第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.1-5図よう素フィルタ第1，第2加熱器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日9案（核規）第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.1-5図よう素フィルタ第1，第2加熱器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *9：容器本体の個数を示す。（電気ヒータの個数は2個）

(3) ファン

			変更前	変更後		
名称			排風機 [redacted]*2			
排風機	種類	—	ルーツ式			
	容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]			
	最高使用圧力	kPa	[redacted]			
	最高使用温度	℃	[redacted]			
	主要寸法	吸込口径	mm	[redacted]		
		吐出口径	mm	[redacted]		
		たて	mm	[redacted]		
		横	mm	[redacted]		
		高さ*4	mm	[redacted]		
	主要材料*5	ケーシング	—	[redacted]		
	個数		—	1(予備1)*6		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	前処理建屋塔槽類廃 ガス処理設備*3			
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	[redacted]	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高 さ	—	—	T. M. S. L. [redacted]m 以上	T. M. S. L. [redacted]m 以上	
	化学薬品防護上 の	—	—*7	—		
	化学薬品防護上 の	—	—*7	—		
原動機	種類	—	誘導電動機*3			
	出力	kW/個	[redacted]*3			
	個数	—	1(予備1)*3			
	取付箇所	—	排風機と同じ*8			

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機A, B [REDACTED]」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(4) フィルタ

			変更前	変更後
名称			第1, 第2高性能粒子 フィルタ [redacted] [redacted]*3	第1, 第2高性能粒子 フィルタ [redacted] [redacted]*1
種類		—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)	変更なし
最高使用圧力		kPa	[redacted]	変更なし
最高使用温度		℃		[redacted]*15
容量		m ³ /h/個 [normal]		
効率*5	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吸込口厚さ	mm		
	吐出口径	mm		
	吐出口厚さ	mm		
	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部 内半径*7	mm		
	鏡板隅の丸み 半径*7	mm		
高さ*8	mm			
主要材料*9	胴板	—		
	鏡板	—		
	ろ材	—		

(つづき)

			変更前	変更後
遮蔽体*	厚さ	mm	[REDACTED]	変更なし
	10	主要材料		
個数		—	6(予備 2)* ¹¹	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋塔槽類 廃ガス処理設備* ⁷	変更なし
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L [REDACTED]m* ⁷	
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹²	—
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—* ¹²	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	[REDACTED]
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [REDACTED]m 以上

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1，第2高性能粒子フィルタA～D [REDACTED]」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(外圧) [REDACTED]²⁾」「注記2)：単位は(kg/cm²)」と記載。記載内容は，SI単位のみを示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書の「管台一覧表 P1, P2」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既設公認申請書には「材料」と記載。

*10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「しゃへい体」と記載。

*11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「8(1個×2段/系列×4系列 内1個×

2段/系列×1系列予備)」と記載。

*12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*13： 相当。

*14： 相当。

*15：重大事故時等における使用時の値を示す。

		変更前	変更後	
名称		よう素フィルタ [redacted] *3	よう素フィルタ [redacted] *1	
種類	—	たて置円筒形	変更なし	
最高使用圧力	kPa	[redacted]		
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
よう素除去効率	%			
主要寸法	吸込口径			mm
	吸込口厚さ			mm
	吐出口径			mm
	吐出口厚さ			mm
	胴内径			mm
	胴板厚さ			mm
	鏡板厚さ			mm
	鏡板中央部内半径 *6			mm
	鏡板隅の丸み半径 *6			mm
高さ *7	mm			
主要材料 *8	胴板			—
	鏡板			—
	ろ材			—
遮蔽体 *9	厚さ			mm
	主要材料			—
個数		—	3(予備1) *10	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋塔槽類 廃ガス処理設備 *6	
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m *6	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *11	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *11	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■m以上

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素フィルタ A~D ■■■■■ ■■■■■」と記載
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「(外圧) ■■■■■¹⁾」「注記1)：単位は(kg/cm²)」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1, P2」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「しゃへい体」と記載。
- *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4(1個/系列×4系列 内1個/系列×1系列予備)」
- *11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *12：よう素フィルタベッド厚は ■■■mm以上

(5) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備						廃ガス洗浄塔 [] ~凝縮器 []	変更なし	変更なし []*4	変更なし		
						極低レベル廃ガス洗浄塔 [] ~弁 []					
						弁 [] ~廃ガス洗浄塔出口配管 []*5	変更なし				
						凝縮器 [] ~デミスタ []				変更なし	変更なし []*4
						デミスタ [] ~第1, 第2高性能粒子フィルタ []	変更なし	変更なし []*4	変更なし		
	変更なし []*4	変更なし									
						廃ガス洗浄塔 [] ~凝縮器 []*3	変更なし	変更なし []*4	変更なし		
						変更なし					
									変更なし		
						凝縮器 [] ~デミスタ []*3	変更なし	変更なし []*4			
						デミスタ [] ~第1, 第2高性能粒子フィルタ []*3	変更なし	変更なし []*4	変更なし		
		変更なし []*4	変更なし								

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備	第1, 第2高性能粒子フィルタ [redacted] ~ よう素フィルタ第1, 第2加熱器 [redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	第1, 第2高性能粒子フィルタ [redacted] ~ よう素フィルタ第1, 第2加熱器 [redacted]*3	変更なし	変更なし [redacted]*4	変更なし		
	よう素フィルタ第1, 第2加熱器 [redacted] ~ よう素フィルタ [redacted]					変更なし	変更なし				
	よう素フィルタ [redacted] ~ 弁 [redacted]*8					変更なし	変更なし				
	弁 [redacted] ~ 排風機 [redacted]*25					変更なし	変更なし [redacted]*4	変更なし			
	排風機 [redacted] ~ 排風機出口配管分岐点*9					変更なし					

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
排風機出口配管分岐点 ～高レベル廃液ガラス固 化建屋塔槽類廃ガス処理 設備高レベル濃縮廃液廃 ガス処理系配管 ██████ ██████合流点*9						排風機出口配管分岐点 ～高レベル廃液ガラス固 化建屋塔槽類廃ガス処理 設備高レベル濃縮廃液廃 ガス処理系配管 ██████ ██████合流点*11	変更なし				
中間ポット ██████ ～ ██████*12						変更なし ██████*4*41	変更なし ██████*4	変更なし			
入口(Zr側)						変更なし ██████*4*41	変更なし ██████*4	変更なし			
異材接合部											
出口(SUS側)											
██████～ 廃ガス洗浄塔入口配管 ██████ ██████及びヘ ッダーキャップ*12						変更なし ██████*4*41	変更なし ██████*4	変更なし			
中間ポット ██████ ～ ██████*13						変更なし ██████*4*41	変更なし ██████*4	変更なし			
入口(Zr側)						変更なし ██████*4*41	変更なし ██████*4	変更なし			
異材接合部											
出口(SUS側)											

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
中間ポット 出口配管合流点及びヘッダーキャップ*13						中間ポット 出口配管合流点及びヘッダーキャップ*3	変更なし *4*41	変更なし *4			変更なし
前処理建屋塔槽類 第1, 第2不溶解残渣廃液一時貯槽 廃ガス洗浄塔入口配管											変更なし
計量前中間貯槽Aデミスタ 出口配管合流点及び中間ポット 出口配管合流点～ 廃ガス洗浄塔						計量前中間貯槽Aデミスタ 出口配管合流点及び中間ポット 出口配管合流点～ 廃ガス洗浄塔	変更なし *4*41	変更なし *4			変更なし
計量前中間貯槽デミスタ 出口配管合流点～ ヘッダーキャップ*24											変更なし

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
前 処 理 建 屋 塔 槽 類 廃 ガ ス 処 理 設 備						リサイクル槽 [] ~ 廃ガス洗浄塔入口配管 [] [] *15*29	変更なし [] *4*41	変更なし [] *4	変更なし		
						不溶解残渣回収槽 [] ~リサイクル槽 [] 出 口配管合流点 *30	変更なし				
						中継槽 [] ~廃ガス洗 浄塔入口配管 [] [] *14	変更なし [] *4*41	変更なし [] *4	変更なし		
						計量前中間貯槽 [] ~廃 ガス洗浄塔入口配管 [] [] *19*31	変更なし [] *4*41	変更なし [] *4	変更なし		
						計量前中間貯槽 [] ~廃ガ ス洗浄塔入口配管 [] [] *3*28	変更なし [] *4	変更なし [] *4			
						計量前中間貯槽 [] ~計量 前中間貯槽デミスタ [] 出口配管 [] *3 [] *20*32 (次頁へ続く)	変更なし [] *4*41	変更なし [] *4	変更なし		
計量前中間貯槽 [] ~計量 前中間貯槽デミスタ [] 出口配管 [] *3 [] *28	変更なし [] *4	変更なし [] *4									
前 処 理 建 屋 塔 槽 類 廃 ガ ス 処 理 設 備						リサイクル槽 [] ~ 廃ガス洗浄塔入口配管 [] [] *3	変更なし [] *4*41	変更なし [] *4	変更なし		
						変更なし					
						中継槽 [] ~廃ガス洗 浄塔入口配管 [] [] *3	変更なし [] *4*41	変更なし [] *4	変更なし		
						計量前中間貯槽 [] ~廃ガ ス洗浄塔入口配管 [] [] *3	変更なし [] *4*41	変更なし [] *4	変更なし		
						計量前中間貯槽 [] ~廃ガ ス洗浄塔入口配管 [] [] *3*28	変更なし [] *4	変更なし [] *4			
						計量前中間貯槽 [] ~計量 前中間貯槽デミスタ [] 出口配管 [] *3 [] *20*32 (次頁へ続く)	変更なし [] *4*41	変更なし [] *4	変更なし		
計量前中間貯槽 [] ~計量 前中間貯槽デミスタ [] 出口配管 [] *3 [] *28	変更なし [] *4	変更なし [] *4									

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
前 処 理 建 屋 塔 槽 類 廃 ガ ス 処 理 設 備	(前頁からの続き)					前 処 理 建 屋 塔 槽 類 廃 ガ ス 処 理 設 備	計量前中間貯槽 [] ~ 計量 前中間貯槽デミスタ [] 出口配管 []*3	変更なし []*4*41	変更なし []*4	変更なし		
							計量・調整槽 [] ~ 計量補 助槽デミスタ [] 入口配 管合流点*33	変更なし []*4*41	変更なし []*4	変更なし		
							計量補助槽 [] ~ 廃ガス 洗浄塔入口配管 [] []*22*34	変更なし []*4*41	変更なし []*4	変更なし		
							計量後中間貯槽 [] ~ 廃 ガス洗浄塔入口配管 [] []*21*35	変更なし []*4*41	変更なし []*4	変更なし		
						計量後中間貯槽 [] ~ 廃ガ ス洗浄塔入口配管 [] []*3	変更なし []*4*41	変更なし []*4	変更なし			
						計量後中間貯槽 [] ~ 廃ガ ス洗浄塔入口配管 [] []*3*28	変更なし []*4 []*4*41	変更なし []*4	変更なし			
						計量後中間貯槽 [] ~ 廃ガ ス洗浄塔入口配管 [] []*3	変更なし []*4*41	変更なし []*4	変更なし			

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認には []

*3：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*4：重大事故等時における使用時の値。

*5：記載の適正化を行う。既設工認には []

*7：記載の適正化を行う。既設工認には []

*8：記載の適正化を行う。既設工認には []

*9：記載の適正化を行う。既設工認には []

*10：記載の適正化を行う。既設工認には []

*11：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。。

*12：記載の適正化を行う。既設工認には []

*13：記載の適正化を行う。既設工認には []

*14：記載の適正化を行う。既設工認には

*15：記載の適正化を行う。既設工認には

*19：記載の適正化を行う。既設工認には

*20：記載の適正化を行う。既設工認には

*21：記載の適正化を行う。既設工認には

*22：記載の適正化を行う。既設工認には

*23：記載の適正化を行う。既設工認には

*24：記載の適正化を行う。既設工認には

*25：記載の適正化を行う。既設工認には

*26：冷却器  を示す。

*27：フィルタ  を示す。

*28：その他再処理施設の附属施設 給水施設及び蒸気供給施設 冷却水設備 代替安全冷却水系と兼用。

*29：記載の適正化を行う。既設工認には

*30：記載の適正化を行う。既設工認には

*31：記載の適正化を行う。既設工認には

*32：記載の適正化を行う。既設工認には

*33：記載の適正化を行う。既設工認には

*34：記載の適正化を行う。既設工認には

*35：記載の適正化を行う。既設工認には

*36：リサイクル槽デミスタ  を示す。

*37：計量前中間貯槽デミスタ  を示す。

*38：計量前中間貯槽デミスタ  を示す。

*39：計量補助槽デミスタ  を示す。

*40：計量後中間貯槽デミスタ  を示す。

*41：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

1.1.2.2 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備

1.1.2.2.1 塔槽類廃ガス処理系

- ・常設
(1) 容器

			変更前	変更後
名称			極低レベル廃ガス洗浄塔 (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類	—	たて置円筒形(棚段塔)		
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	本体	kPa		
	コイル部	MPa		
最高使用温度	本体	℃		
	コイル部	℃		
伝熱面積	コイル部	m ² /個		
主要寸法	上部胴内径	mm		
	上部胴板厚さ	mm		
	上部胴上部 中央部内半径	mm		
	上部胴上部 隅の丸み内半径	mm		
	上部胴上部鏡板厚さ	mm		
	本体胴内径	mm		
	本体胴板厚さ	mm		
	本体中央部内半径	mm		
	本体隅の丸み内半径	mm		
	本体胴下部鏡板厚さ	mm		
	コイル外径	mm		
	コイル厚さ	mm		
	高さ*2	mm		
	出口管台外径*3	mm		
出口管台厚さ*3	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料	上部胴板	—	[Redacted]	変更なし
	上部胴上部鏡板	—		
	本体胴板	—		
	本体胴鏡板	—		
	コイル	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*4	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*5	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*5	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*6	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*6	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.2.1-1図 極低レベル廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*6：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

				変更前	変更後
名称				廃ガス洗浄塔 (XXXXXXXXXX)	廃ガス洗浄塔 (XXXXXXXXXX) *1
種類		—		たて置円筒形 (棚段塔)	変更なし
容量		m ³ /個			
最高使用圧力		本体	kPa		
		コイル部	MPa		
最高使用温度		本体	℃		
		コイル部	℃		
伝熱面積		コイル部	m ² /個		
主要寸法	上部	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		中央部内半径	mm		
		隅の丸み内半径	mm		
		鏡板厚さ	mm		
	本体	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		中央部内半径	mm		
		隅の丸み内半径	mm		
		鏡板厚さ	mm		
	円すい胴板厚さ		mm		
	コイル外径		mm		
	コイル厚さ		mm		
	高さ*3		mm		
	入口管台外径*4		mm		
	入口管台厚さ*4		mm		
出口管台外径*5		mm			
出口管台厚さ*5		mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料	上部胴板	—	[Redacted]	変更なし
	上部胴上部鏡板	—		
	本体胴板	—		
	本体胴下部鏡板	—		
	円すい胴板	—		
	コイル	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m ^{*6}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*7}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*8}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*8}	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.2.1-2図 廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.2.1-2図 廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			デミスタ ()	デミスタ ()*1
種類	—		横置円筒形	変更なし
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	中央部内半径	mm		
	隅の丸み内半径	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	高さ*3	mm		
	入口管台外径*4	mm		
	入口管台厚さ*4	mm		
	出口管台外径*5	mm		
	出口管台厚さ*5	mm		
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
個数			1	変更なし

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m ^{*6}
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*7}
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*7}
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*8}
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*8}

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
 *2：公称値を示す。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
 *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.1.2.2.1-4図 デミスタの構造図 管台一覧表 P1」を示す。
 *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.1.2.2.1-4図 デミスタの構造図 管台一覧表 P2」を示す。
 *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *9：重大事故等時における使用時の値を示す。

(2) 熱交換器

			変更前	変更後	
名称			凝縮器 ()	凝縮器 () *1	
種類		—	たて置多管式		
容量	設計熱交換量	kW/個	[Redacted]	変更なし	
最高使用圧力	管側	MPa			
	胴側	kPa			
最高使用温度	管側	℃			変更なし
	胴側	℃			
伝熱面積		m ² /個			変更なし
主要寸法	管側	ジャケット幅		mm	
		ジャケット高さ		mm	
		ジャケット厚さ		mm	
	胴側	胴長さ		mm	
		胴幅		mm	
		胴板厚さ		mm	
		入口管台外径*3		mm	
		入口管台厚さ*3		mm	
		出口管台外径*4	mm		
		出口管台厚さ*4	mm		
	管板厚さ	mm			
	伝熱管外径	mm			
	伝熱管厚さ	mm			
	高さ*5	mm			

(つづき)

			変更前	変更後	
主要材料	管側ジャケット	—	[Redacted]	変更なし	
	胴側胴板	—			
	管板	—			
	伝熱管	—			
個数		—	1	変更なし	
系統名(ライン名)		—	塔槽類廃ガス処理系		
設置床		—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m ^{*6}		
取付箇所	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*7}		—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*7}		—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*8}		—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*8}		—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.2.1-3図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.2.1-3図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			よう素フィルタ 第1, 第2加熱器 (XXXXXXXXXX)	よう素フィルタ 第1, 第2加熱器 XXXXXXXXXX *1
種類		—	横置円筒形 (電気ヒータ)	変更なし
容量	設計熱交換量	kW/個	XXXXXXXXXX	
最高使用圧力		kPa		
最高使用温度		℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	胴板内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	円すい胴板厚さ	mm		
	全長	mm		
	高さ *3	mm		
	入口管台外径 *4	mm		
	入口管台厚さ *4	mm		
	出口管台外径 *5	mm		
	出口管台厚さ *5	mm		
	入口管台外径 *6	mm		
	入口管台厚さ *6	mm		
	出口管台外径 *7	mm		
出口管台厚さ *7	mm			
主要材料	胴板	—		
	円すい胴板	—		
個数		—	2	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系	変更なし
	設置床	—	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 1em; margin-bottom: 5px;"></div> T. M. S. L. m ^{*8}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*9}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*9}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*10}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*10}	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成15年4月15日付け平成14・12・06原第10号にて認可された設工認の添付図「第3.2.1.2.2.1-10図 よう素フィルタ第1, 第2加熱器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成15年4月15日付け平成14・12・06原第10号にて認可された設工認の添付図「第3.2.1.2.2.1-10図 よう素フィルタ第1, 第2加熱器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成15年4月15日付け平成14・12・06原第10号にて認可された設工認の添付図「第3.2.1.2.2.1-10図 よう素フィルタ第1, 第2加熱器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成15年4月15日付け平成14・12・06原第10号にて認可された設工認の添付図「第3.2.1.2.2.1-10図 よう素フィルタ第1, 第2加熱器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(3) ファン

			変更前	変更後	
名称			排風機*2 (████████)		
排風機	種類	—	ルーツ式	変更なし	
	最高使用圧力	—	████████		
	最高使用温度	℃			
	容量	m ³ /h/個			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ*3			mm
	主要材料	ケーシング			—
	個数	—			2(内1個予備)
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		塔槽類廃ガス処理系
		設置床	—		████████ T. M. S. L. ██████ m*4
		溢水防護上の 区画番号	—		—
溢水防護上の 配慮が 必要な高さ		—	—	T. M. S. L. ██████ m	
化学薬品 防護上の 区画番号		—	—	████████	
化学薬品 防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ██████ m		

(つづき)

		変更前	変更後
原動機	種類	—	誘導電動機*4
	出力	kW/個	■*4
	個数	—	2*4
	取付箇所	—	排風機と同じ*4
設計上の空気の流入率		回/h	—*4*5

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機A，B」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*5：居住性の維持に係る設備ではないため「—」とする。

(4) フィルタ

			変更前	変更後
名称			第1, 第2 高性能粒子 フィルタ*3 ()	第1, 第2 高性能粒子 フィルタ *1
種類		—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)	変更なし
最高使用圧力		kPa	[REDACTED]	[REDACTED]
最高使用温度		°C		
容量		m ³ [normal] /h/個		
効率*4	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	高さ*5	mm		
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	ろ材	—		
個数		—	10(1系列予備)	変更なし

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系
	設置床	—	■■■■■■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m ^{*6}
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*7}
	溢水防護上の 配慮が 必要な高さ	—	— ^{*7}
	化学薬品 防護上の 区画番号	—	—
	化学薬品 防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
 *2：公称値を示す。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1，第2高性能粒子フィルタA～E」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
 *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
 *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
 *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *8：■■■■■■■■■■
 *9：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			よう素フィルタ*3 (XXXXXXXXXX)	よう素フィルタ (XXXXXXXXXX)*1
種類	—		たて置円筒形	変更なし
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
容量	m ³ [normal] /h/個			
効率*4	単体	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	高さ*5	mm		
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	ろ材	—		
個数	—		4(1系列予備)	変更なし

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m ^{*6}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*7}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■m

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
 *2：公称値を示す。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素フィルタA～D」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素除去効率」と記載。
 *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
 *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *8：重大事故等時における使用時の値を示す。

(5) 主配管

		変更前					変更後								
名称		最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称		最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料		
塔槽類 廃ガス 処理系	廃ガス洗浄塔() ～凝縮器() *2*3						廃ガス洗浄塔() ～凝縮器() *2	変更なし					変更なし		
	極低レベル廃ガス洗浄塔出口配管() セル外壁部 ～廃ガス洗浄塔出口配管合流点*6						変更なし								
	凝縮器()～ デミスタ() *2*3						凝縮器()～ デミスタ() *2	変更なし					変更なし		
	デミスタ()～ 第1, 第2高性能粒子フィルタ () *2*3*7						デミスタ()～ 第1, 第2高性能粒子フィルタ () *2	変更なし					変更なし		
	第1, 第2高性能粒子フィルタ() ()～よう素フィルタ第1 加熱器() *2*3*9						第1, 第2高性能粒子フィルタ ()～ よう素フィルタ第1加熱器 () *2	変更なし					変更なし		
	よう素フィルタ第1加熱器()～ よう素フィルタ第2加熱器() *2*3						よう素フィルタ第1加熱器 ()～よう素フィルタ第2 加熱器() *2	変更なし					変更なし		
	よう素フィルタ第2加熱器()～ よう素フィルタ() *2*3*10						よう素フィルタ第2加熱器 ()～よう素フィルタ () *2	変更なし					変更なし		
	塔槽類 廃ガス 処理系														

(つづき)

変更前						変更後										
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料					
塔槽類 廃ガス 処理系	[Redacted]					塔槽類 廃ガス 処理系	よう素フィルタ ([Redacted]) ～排風機 ([Redacted]) *2*3*11*12*13	変更なし	[Redacted]	変更なし						
							排風機 ([Redacted])～高レベル廃液ガ ラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備高レ ベル濃縮廃液廃ガス処理系配管合流点*16						変更なし			
						溶解液中間貯槽 ([Redacted])～廃ガス洗浄 塔入口配管合流点*2*3*18*19	[Redacted]	塔槽類 廃ガス 処理系	溶解液中間貯槽 ([Redacted])～廃 ガス洗浄塔入口配管合流点*2	[Redacted]	変更なし					
						溶解液供給槽 ([Redacted])～廃ガス洗浄塔 入口配管合流点*2*3*21*22			溶解液供給槽 ([Redacted])～廃ガ ス洗浄塔入口配管合流点*2					変更なし		
						抽出塔 ([Redacted])～廃ガス洗浄塔 入口配管合流点*2*3*24	[Redacted]					変更なし				
						第1洗浄塔 ([Redacted])～抽出塔 出口配管合流点*2*3*25										

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
塔槽類 廃ガス 処理系	TBP 洗浄塔 () ~ 抽出塔出口配管 合流点*2*3*26					変更なし					
	第2 洗浄塔 () ~ ウラン洗浄塔 出口配管合流点*2*3*27					変更なし					
	プルトニウム分配塔 () ~ プルト ニウム洗浄器出口配管合流点*2*3*28					変更なし					
	ウラン洗浄塔 () ~ 廃ガス洗浄塔 出口配管合流点*2*3*29					変更なし					
	プルトニウム溶液 TBP 洗浄器 () ~ プルトニウム洗浄器出口配管合流点*30					変更なし					
	プルトニウム洗浄器出口配管 () セル 内壁部 ~ 廃ガス洗浄塔入口配管合流点 *2*3*31					変更なし					
	プルトニウム溶液受槽 () ~ 廃ガ ス洗浄塔入口配管合流点*2*3*32*33					塔槽類 廃ガス 処理系	プルトニウム溶液受槽 () () ~ 廃ガス洗浄塔入口配管合 流点*2		変更なし		

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
塔槽類 廃ガス 処理系						プルトニウム溶液中間貯槽()～ プルトニウム溶液受槽出口配管合流点 *2*3*35	プルトニウム溶液中間貯槽 ()～プルトニウム溶液 受槽出口配管合流点*2	変更なし				
						抽出廃液受槽()～廃ガス洗浄塔 入口配管合流点*2*3*36*37	抽出廃液受槽()～廃ガ ス洗浄塔入口配管合流点*2	変更なし				
						廃ガス洗浄塔入口配管～廃ガス洗浄塔 () *2*3*39	廃ガス洗浄塔入口配管～廃ガス 洗浄塔 () *2	変更なし				
						抽出廃液中間貯槽()～抽出廃液 受槽出口配管合流点 *2*3*40	抽出廃液中間貯槽 () ～ 抽出廃液受槽出口配管合流点*2	変更なし				
						抽出廃液供給槽()～廃ガス洗浄 塔入口配管合流点*2*3*41*42	抽出廃液供給槽 () ～廃 ガス洗浄塔入口配管合流点*2	変更なし				
						抽出廃液供給槽()～抽出廃液供 給槽出口配管合流点 *2*3*44	抽出廃液供給槽 () ～抽 出廃液供給槽出口配管合流点*2	変更なし				

(つづき)

		変更前					変更後						
名称		最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称		最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
塔槽類 廃ガス 処理系	第1一時貯留処理槽()～廃ガス 洗浄塔入口配管合流点*2*3*45*46						第1一時貯留処理槽() ～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2	変更なし					変更なし
	第7一時貯留処理槽()～廃ガス 洗浄塔入口配管合流点*2*3*48*49						第7一時貯留処理槽() ～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2	変更なし					変更なし
	第8一時貯留処理槽()～廃ガス 洗浄塔入口配管合流点*2*3*51*52						第8一時貯留処理槽() ～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2						変更なし
	第2一時貯留処理槽()～第8一 時貯留処理槽出口配管合流点*2*3*54*55						第2一時貯留処理槽() ～第8一時貯留処理槽出口配管 合流点*2						変更なし
	第6一時貯留処理槽()～第8一 時貯留処理槽出口配管合流点*2*3*57*58						第6一時貯留処理槽() ～第8一時貯留処理槽出口配管 合流点*2	変更なし					変更なし
	第3一時貯留処理槽()～廃ガス 洗浄塔入口配管合流点*2*3*60*61						第3一時貯留処理槽() ～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2						変更なし

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
塔槽類 廃ガス 処理系	第4一時貯留処理槽()～第3一時貯留処理槽出口配管合流点*2*3*63					塔槽類 廃ガス 処理系	第4一時貯留処理槽()～第3一時貯留処理槽出口配管合流点*2					変更なし
	高レベル廃液供給槽()～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2*3*64*65						高レベル廃液供給槽()～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2					変更なし
	減衰器()～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2*3*67						減衰器()～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2					変更なし
	抽出塔エアリフトポンプEデミスタ()～第6一時貯留処理槽入口配管合流点*68						変更なし					

注記 *1：公称値を示す。

*2：本設備は重大事故等対処設備の代替換気設備と兼用する。

*3：本設備は既存の設備である。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*5：単位は(kPa)。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*8：内径を示す。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*14：冷却器()を示す。

*15：よう素フィルタ後置フィルタ()を示す。

*16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

(つづき)

- *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *20：溶解液中間貯槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。本設備は、その他再処理設備の附属施設のうち冷却水設備重大事故等対処設備代替安全冷却水系と兼用する。
- *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *23：溶解液供給槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *25：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *26：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *27：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *28：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *29：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *30：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *31：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *32：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *33：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *34：プルトニウム溶液受槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *35：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *36：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *37：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *38：抽出廃液受槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。本設備は、その他再処理設備の附属施設のうち冷却水設備重大事故等対処設備代替安全冷却水系と兼用する。
- *39：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *40：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *41：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *42：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *43：抽出廃液供給槽Aデミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *44：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *45：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *46：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *47：第1一時貯留処理槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *48：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *49：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *50：第7一時貯留処理槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *51：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *52：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *53：第8一時貯留処理槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *54：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]

(つづき)

- *55：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *56：第2一時貯留処理槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *57：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *58：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *59：第6一時貯留処理槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *60：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *61：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *62：第3一時貯留処理槽デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *63：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *64：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *65：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
- *66：高レベル廃液供給槽 A デミスタ ([REDACTED]) を示す。
- *67：記載の適正化を行う [REDACTED]
- *68：記載の適正化を行う [REDACTED]
- *69：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *70：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

1.1.2.2.2 パルセータ廃ガス処理系

・常設

(1) ファン

			変更前	変更後	
名称			排風機*2 ()	変更なし	
排風機	種類	—	ターボ式		
	最高使用圧力	mmAq	[Redacted]		
	最高使用温度	℃			
	容量	m ³ /h/個			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ*3			mm
	主要材料	ケーシング			—
個数		—			2(内1個予備)
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	パルセータ廃ガス処理系		
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*4		

(つづき)

				変更前	変更後
排風機	取付箇所	溢水防護上の 区画番号	—	—	■
		溢水防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■m
		化学薬品 防護上の 区画番号	—	—	■
		化学薬品 防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■m
原動機	種類		—	誘導電動機*4	変更なし
	出力		kW/個	■*4	
	個数		—	2*4	
	取付箇所		—	排風機と同じ*4	
設計上の空気の流入率			回/h	—*4*5	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機A，B」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：居住性の維持に係る設備ではないため「—」とする。

(2) フィルタ

			変更前	変更後
名称			第1, 第2高性能粒子フィルタ*2 (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類	—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)		
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	°C			
容量	m ³ [normal] /h/個			
効率*3	単体		%	
	総合		%	
主要寸法	吸込口径		mm	
	吐出口径		mm	
	胴内径		mm	
	胴板厚さ		mm	
	鏡板厚さ		mm	
	全長	mm		
	全幅	mm		
主要材料	高さ*4	mm		
	胴板	—		
	鏡板	—		
	ろ材	—		
個数	—	10(1系列予備)		

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	パルセータ廃ガス処理系	変更なし
	設置床	—	■■■■■■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m ^{*5}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*6}	—
	溢水防護上の 配慮が 必要な高さ	—	— ^{*6}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■■■■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1，第2高性能粒子フィルタA～E」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子素除去効率」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：■■■■■■■■■■

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(kPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(kPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
パ ル セ ー タ 廃 ガ ス 処 理 系	パルセータ廃ガスデミスタ入口 ～第1高性能粒子フィルタ (), 第2高性能粒子フィルタ () *3*4*5*6*7					変更なし					
	第1高性能粒子フィルタ (), 第2高性能粒子フィルタ () ～排風機 () *8*9*10*11*12*13					変更なし					
	排風機 () ～塔槽類廃ガス処理系 入口配管合流点 *14*15*16					変更なし					

注記 *1：公称値を示す。

*2：パルセータ廃ガスデミスタ () を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認には

*4：記載の適正化を行う。既設工認には

*5：記載の適正化を行う。既設工認には

*6：記載の適正化を行う。既設工認には

*7：記載の適正化を行う。既設工認には

(つづき)

- *8：記載の適正化を行う。
- *9：記載の適正化を行う。
- *10：記載の適正化を行う。
- *11：記載の適正化を行う。
- *12：記載の適正化を行う。
- *13：記載の適正化を行う。
- *14：記載の適正化を行う。
- *15：記載の適正化を行う。
- *16：記載の適正化を行う。

1.1.2.3 精製建屋塔槽類廃ガス処理設備
 1.1.2.3.2 塔槽類廃ガス処理系（プルトニウム系）

・常設
 (1) 容器

			変更前	変更後
名称			デミスタ ()	デミスタ () ^{*1}
種類	—		横置円筒形	
容量	m ³ /h/個 [normal]			変更なし
最高使用圧力	kPa			変更なし
最高使用温度	℃			変更なし
主要寸法	胴板内径	mm		変更なし
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径 ^{*4}			
	入口管台厚さ ^{*4}			
	出口管台外径 ^{*5}			
	出口管台厚さ ^{*5}			
	全長	mm		
高さ ^{*3}				
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系（プルトニウム系） ^{*6}	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*7}	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— ^{*8}	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— ^{*8}	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設 代替換気設備及び廃ガス貯留設備と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて変更の認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-4図 デミスタ()の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて変更の認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-4図 デミスタ()の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *9：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *10：先端管台の中心位置までの高さを示す。
- *11：TBPによる爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後
名称			NOx廃ガス洗浄塔 (XXXXXXXXXX)	
種類		—	たて置円筒形 (充てん塔)	
容量		m ³ /h/ 個		変更なし
最高使用圧力	本体	kPa		
	コイル部	MPa		
最高使用温度	本体	℃		
	コイル部	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	上部胴板内径	mm		
	本体胴板内径	mm		
	上部胴板厚さ	mm		
	本体胴板厚さ	mm		
	上部胴上部鏡板厚さ	mm		
	本体胴上部鏡板厚さ	mm		
	本体胴下部鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*3}	mm		
	入口管台厚さ ^{*3}			
	出口管台外径 ^{*4}	mm		
	出口管台厚さ ^{*4}			
	コイル外径	mm		
コイル厚さ	mm			
高さ ^{*5}	mm			
主要材料	上部胴板	—		
	円すい胴板			
	本体胴板	—		
	上部胴上部鏡板	—		
	本体胴下部鏡板	—		
	コイル	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系 (プラトニウム系)	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	設置床	—	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 1em; margin-bottom: 2px;"></div> T. M. S. L. <div style="background-color: black; width: 40px; height: 1em; display: inline-block;"></div> m	変更なし
	溢水防護上の区画番号	—	— *6	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *6	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-2図 廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-2図 廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：上部の管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後
名称			廃ガス洗浄塔 ()	廃ガス洗浄塔 () ^{*1}
種類		—	たて置円筒形 (棚段塔)	変更なし
容量		m ³ /h/個		変更なし
最高使用圧力	本体	kPa		変更なし
	コイル部	MPa		変更なし
最高使用温度	本体	℃		変更なし
	コイル部	℃		変更なし
伝熱面積		m ² /個		変更なし
主要寸法	上部胴板内径	mm		変更なし
	本体胴板内径	mm		
	上部胴板厚さ	mm		
	本体胴板厚さ	mm		
	上部胴上部鏡板厚さ	mm		
	円すい胴板厚さ	mm		
	本体胴下部鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*4}	mm		
	入口管台厚さ ^{*4}			
	出口管台外径 ^{*5}	mm		
	出口管台厚さ ^{*5}			
	コイル外径	mm		
	コイル厚さ	mm		
高さ ^{*6}	mm			
主要材料	上部胴板	—	変更なし	
	円すい胴板			
	本体胴板	—		
	上部胴上部鏡板	—		
	本体胴下部鏡板	—		
	コイル	—		

(つづき)

		変更前	変更後
	個数	—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)
取付箇所	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	—*7
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*7
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*8
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*8

注記 *1: 放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設 代替換気設備及び廃ガス貯留設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-2図 廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-2図 廃ガス洗浄塔の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9: 上部の管台を含めた高さを示す。

*10: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*11: TBPによる爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

*12: TBPによる爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。

		変更前	変更後		
名称		プルトニウム系塔槽類廃 ガス洗浄塔セル漏えい液 受皿 ()	変更なし		
種類		—		漏えい液受皿*2	
主要寸法	高さ*3	mm			
	厚さ*4	mm			
主要材料		—			
個数		—		1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—		精製建屋 一時貯留処理設備	
	設置床	—		T. M. S. L. m	
	溢水防護上の区画番号	—		—*6	—
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—		—*6	—
	化学薬品防護上の区画 番号	—	—*7	—	
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	—	—*7	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既認可申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既認可申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) 熱交換器

				変更前	変更後	
名称				凝縮器 ()	凝縮器 () *1	
種類			—	たて置多管式		
容量	設計熱交換量		kW/個		変更なし	
	最高使用圧力	管側	MPa		変更なし	
胴側		MPa	変更なし			
最高使用温度	管側	℃	変更なし			
	胴側	℃	変更なし			
伝熱面積			m ² /個			変更なし
主要寸法	管側	ジャケット幅	mm			
		ジャケット高さ	mm			
		ジャケット厚さ	mm			
	胴側	胴長さ	mm			
		胴幅	mm			
		胴板厚さ	mm			
		平板厚さ	mm			
	管板厚さ		mm			
	伝熱管外径		mm			
	伝熱管厚さ		mm			
	入口管台外径*4		mm			
	入口管台厚さ*4					
	出口管台外径*5		mm			
	出口管台厚さ*5		mm			
	高さ*3		mm			

(つづき)

		変更前	変更後	
主要材料	胴側胴板	—	変更なし	
	胴側平板	—		
	管側ジャケット	—		
	管板	—		
	伝熱管	—		
個数		1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系 (プルトニウム系)	
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の区画番号	—	—*7	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*7	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*8	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*8	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設 代替換気設備及び廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「全高」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-3図 凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-3図 凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

*10：TBPによる爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後
名称			よう素フィルタ 第1, 第2加熱器 (██████████)	よう素フィルタ 第1, 第2加熱器 (██████████)* 1
種類		—	横置円筒形(電気 ヒータ)	変更なし
容量	設計熱交換量	kW/個	██████████	
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
伝熱面積*6		m ² /個		
主要寸法	胴板内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	円すい鏡板厚さ	mm		
	全長	mm		
	入口管台外径*4	mm		
	入口管台厚さ*4	m		
	出口管台外径*5	mm		
	出口管台厚さ*5	m		
主要材料	高さ*3	mm		
	胴板	—		
	円すい鏡板	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処 理系 (プルトニウム 系)	
	設置床	—	██████████ T. M. S. L. ████████m	
	溢水防護上の区画番号	—	—*7	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*7	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*8	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*8	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設 代替換気設備及び廃ガス貯留設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「全高」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて変更の認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-8図 よう素フィルタ第1, 第2加熱器()の構造図 管台一覧表P1」を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて変更の認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-8図 よう素フィルタ第1, 第2加熱器()の構造図 管台一覧表P2」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(3) ファン

			変更前	変更後		
名称			排風機 () *3	排風機 () *1		
排風機	種類	—	ルーツ式	変更なし		
	最高使用圧力 *5	MPa	[REDACTED]			
	最高使用温度 *5					
	容量	m ³ /h/個 [normal]				
	主要寸法	吸込口径 *5			mm	
		吐出口径 *5			mm	
		たて *5			mm	
		横 *5			mm	
		高さ *4			mm	
	主要材料	ケーシング			—	
	個数	—			2(内1個予備)	
	取付箇所	系統名(ライン名)			—	塔槽類廃ガス処理系 (プルトニウム系)
		設置床			—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
		溢水防護上の区画番号			—	—
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—		—	T. M. S. L. [REDACTED] m	
化学薬品防護上の区画番号		—	—	[REDACTED]		
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	A	T. M. S. L. [REDACTED] m	
				B	T. M. S. L. [REDACTED] m	

(つづき)

			変更前	変更後
原 動 機	種類*5	—	誘導電動機*5	変更なし
	出力*5	kW/個	■	
	個数*5	—	2(内1個予備)*5	
	取付箇所*5	—	排風機と同じ*5	
	設計上の空気の流入率*5	回/h	—*5*7	

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設の廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機 A, B」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既認可申請書には「全高」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：■相当。

*7：居住性の維持に係る設備ではないため「—」とする。

(4) フィルタ

		変更前	変更後					
名称		第1, 第2高性能粒子フィルタ (XXXXXXXXXX) ^{*3}	第1, 第2高性能粒子フィルタ (XXXXXXXXXX) ^{*1}					
種類	—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ1段内蔵式)	変更なし					
最高使用圧力	MPa		変更なし					
最高使用温度	℃		変更なし					
容量	m ³ /h/個 [normal]							
効率 ^{*4}	単品 ^{*8}							
	総合 ^{*8}						%	
主要寸法	胴内径						mm	
	胴板厚さ						mm	
	鏡板厚さ						mm	
	鏡板長径 ^{*8}						m	
	短径の2分の1 ^{*8}						mm	
	入口管台外径 ^{*6}	mm						
	入口管台厚さ ^{*6}	mm						
	出口管台外径 ^{*7}	mm						
	出口管台厚さ ^{*7}	mm						
主要材料	高さ ^{*5}	mm						
	胴板	—						
	鏡板	—						
主要材料	ろ材	—						
個数	—	6(1個×2段/系列×3系列 内1個×2段/系列×1系列予備)	変更なし					

(つづき)

		変更前	変更後	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系 (プルトニウム系)	
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の区画番号	—	—*9	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*9	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■ m以上

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設 代替換気設備及び廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「第1，第2高性能粒子フィルタA～C(■■■■■)」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既認可申請書には「粒子除去効率」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既認可申請書には「全高」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-5図 第1，第2高性能粒子フィルタA(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」，「第3.2.1.2.3.2-6図 第1，第2高性能粒子フィルタB(1405-F32, F42)の構造図 管台一覧表 P1」及び「第3.2.1.2.3.2-7図 第1，第2高性能粒子フィルタC(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-5図 第1，第2高性能粒子フィルタA(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」，「第3.2.1.2.3.2-6図 第1，第2高性能粒子フィルタB(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」及び「第3.2.1.2.3.2-7図 第1，第2高性能粒子フィルタC(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*10：重大事故等時における使用時の値を示す。

*11：■■■■■相当。

*12：TBPによる爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

		変更前	変更後	
名称		よう素フィルタ ()*3	よう素フィルタ ()*1	
種類	—	たて置円筒形	変更なし	
最高使用圧力	MPa	[REDACTED]		
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率*4	%			
主要寸法	胴内径			mm
	胴板厚さ			mm
	鏡板厚さ			mm
	鏡板長径*8			m
	短径の2分の1*8			mm
	入口管台外径*6			mm
	入口管台厚さ*6			mm
	出口管台外径*7			mm
	出口管台厚さ*7			mm
高さ*5	mm			
主要材料	胴板			—
	鏡板			—
	ろ材		—	
個数	—	3(1個/系列×3系列 内1個/系列×1系列 予備)		

(つづき)

		変更前	変更後
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系 (プルトニウム系)
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	—*9
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*9
	化学薬品防護上の区画番号	—	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設 代替換気設備及び廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「よう素フィルタA, B, C(■■■■■)」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既認可申請書には「よう素除去効率」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既認可申請書には「全高」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年9月9日付け11安(核規)第849号にて変更の認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-10図 よう素フィルタA(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」, 「第3.2.1.2.3.2-11図 よう素フィルタB(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」及び「第3.2.1.2.3.2-12図 よう素フィルタC(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年9月9日付け11安(核規)第849号にて変更の認可を受けた設工認の添付図面「第3.2.1.2.3.2-10図 よう素フィルタA(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」, 「第3.2.1.2.3.2-11図 よう素フィルタB(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」及び「第3.2.1.2.3.2-12図 よう素フィルタC(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(5) 主配管

		変更前				変更後					
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料
塔槽類 廃ガス処理系 (プルトリウム系)	NO _x 廃ガス洗浄塔入口配管 ～NO _x 廃ガス洗浄塔*4					変更なし					
	NO _x 廃ガス洗浄塔*4 ～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*5					変更なし					
	廃ガス洗浄塔入口配管～廃ガス洗浄塔*5*6					変更なし *72	変更なし *47	変更なし			
	廃ガス洗浄塔*5*6 ～凝縮器*5*6					変更なし 0.023*73		変更なし			
	凝縮器*5*6～デミスタ*5*6					変更なし *73	変更なし *47	変更なし			
	デミスタ*5*6～第1, 第2高性能粒子フィルタ*5*6					変更なし *73	変更なし *47	変更なし			
	溶媒処理廃ガス処理系～第1, 第2高性能粒子フィルタ入口配管合流部*66					変更なし					
	第1, 第2高性能粒子フィルタ～よう素フィルタ第1加熱器*67					変更なし *73	変更なし *47	変更なし			
	第1, 第2高性能粒子フィルタ*67 ～よう素フィルタ第1加熱器*67	変更なし	変更なし *47	変更なし							

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料
塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)	第5一時貯留処理槽, 第1洗浄器, 第2洗浄器, 第3洗浄器出口配管~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*8	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	第5一時貯留処理槽, 第1洗浄器, 第2洗浄器, 第3洗浄器出口配管~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*2	変更なし	変更なし [REDACTED]*47	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
	よう素フィルタ第1加熱器 [REDACTED] ~よう素フィルタ第2加熱器 [REDACTED]					変更なし	変更なし [REDACTED]*47				
	よう素フィルタ第2加熱器 [REDACTED] ~よう素フィルタ [REDACTED] *68					変更なし	変更なし [REDACTED]*47				
	よう素フィルタ [REDACTED] ~弁 [REDACTED] *9*69					変更なし	変更なし [REDACTED]*47				
	弁 [REDACTED] ~排風機 [REDACTED] *9					変更なし	変更なし [REDACTED]*47				
	排風機 [REDACTED] ~ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備配管 [REDACTED] 合流点 *70					変更なし					
	塔槽類廃ガス処理系(ウラン系) ~排風機出口配管合流点 *70					変更なし					
第1一時貯留処理槽 [REDACTED] ~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*10	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	第1一時貯留処理槽 [REDACTED] ~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*1	変更なし	変更なし [REDACTED]*47	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

(続き)

		変更前					変更後					
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料
塔槽類 廃ガス処理系(プルトニウム系)	第2一時貯留処理槽 ~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*11	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	第2一時貯留処理槽 ~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*1	変更なし *72	変更なし *47	変更なし		
	第3一時貯留処理槽 ~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*12						変更なし *72	変更なし *47	変更なし			
	第5一時貯留処理槽 ~第5一時貯留処理槽, 第1洗浄器, 第2洗浄器, 第3洗浄器出口配管合流点*7						変更なし	変更なし *47	変更なし			
	第7一時貯留処理槽 ~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*13						変更なし *47	変更なし *47	変更なし			
	プルトニウム溶液供給槽 ~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*14						変更なし *72	変更なし	変更なし			
	油水分離槽 ~プルトニウム溶液受槽出口配管合流点*15						変更なし *72	変更なし *47	変更なし			
	プルトニウム溶液受槽 ~廃ガス洗浄塔入口配管合流点*16						変更なし *72	変更なし *47	変更なし			
	プルトニウム濃縮缶供給槽 ~プルトニウム濃縮缶出口配管合流点*17						変更なし *72	変更なし *47	変更なし			
												塔槽類 廃ガス処理系(プルトニウム系)

(続き)

		変更前					変更後					
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料
塔槽類 廃ガス処理系 (プルトニウム系)	プルトニウム濃縮缶 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*18	■	■	■	■	■	プルトニウム濃縮缶 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*1*2	変更なし ■*47 ■*73	変更なし	変更なし		
	プルトニウム濃縮液受槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*19						変更なし ■*47 ■*73	変更なし	変更なし			
	プルトニウム溶液一時貯槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*20						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	リサイクル槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*21						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	希釈槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*22						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	プルトニウム濃縮液一時貯槽 ■～プルトニウム濃縮液計量槽出口配管合流点*23						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	プルトニウム濃縮液計量槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*24						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	プルトニウム濃縮液中間貯槽 ■～プルトニウム濃縮液計量槽出口配管合流点*25						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
塔槽類 廃ガス処理系 (プルトニウム系)	プルトニウム濃縮缶 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*18	■	■	■	■	■	プルトニウム濃縮缶 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*1*2	変更なし ■*47 ■*73	変更なし	変更なし		
	プルトニウム濃縮液受槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*19						変更なし ■*47 ■*73	変更なし	変更なし			
	プルトニウム溶液一時貯槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*20						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	リサイクル槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*21						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	希釈槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*22						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	プルトニウム濃縮液一時貯槽 ■～プルトニウム濃縮液計量槽出口配管合流点*23						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	プルトニウム濃縮液計量槽 ■～廃ガス洗浄塔入口配管合流点*24						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			
	プルトニウム濃縮液中間貯槽 ■～プルトニウム濃縮液計量槽出口配管合流点*25						変更なし ■*72	変更なし ■*47	変更なし			

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料
塔槽類 廃ガス処理系 (プルトニウム系)	抽出塔██████～廃ガス洗浄塔██████入口配管合流点*48					塔槽類 廃ガス処理系 (プルトニウム系)	変更なし				
	抽出塔流量計測ポットエアリフトポンプデミスタ██████ ██████～抽出塔流量計測ポット██████出口配管合流点*48						変更なし				
	抽出塔エアリフトポンプBデミスタ██████～抽出塔██████出口配管合流点*48						変更なし				
	核分裂生成物洗浄塔██████ ██████～抽出塔██████出口配管合流点*49						変更なし				
	核分裂生成物洗浄塔エアリフトポンプAデミスタ██████ ██████～核分裂生成物洗浄塔██████出口配管合流点*49						変更なし				
	核分裂生成物洗浄塔流量計測ポットエアリフトポンプデミスタ██████～核分裂生成物洗浄塔流量計測ポット██████出口配管合流点*49						変更なし				
	逆抽出塔██████～抽出塔██████出口配管合流点*50						変更なし				
	逆抽出塔エアリフトポンプBデミスタ██████～逆抽出塔██████出口配管合流点*50						変更なし				
	ウラン洗浄塔██████～抽出塔██████出口配管合流点*51						変更なし				

(続き)

		変更前				変更後							
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料	
塔槽類 廃ガス処理系(プルトニウム系)	ウラン洗浄塔流量計測ポット Aエアリフトポンプデミスタ ■■■■■■■■■■～ウラン洗浄塔 流量計測ポットAバッファチ ューブ■■■■■■■■■■出口配管 合流点*51												変更なし
	ウラン洗浄塔エアリフトポン プAデミスタ■■■■■■■■■■～ ウラン洗浄塔■■■■■■■■■■出口 配管合流点*51						変更なし						
	TBP洗浄器■■■■■■■■■■～廃ガ ス洗浄塔■■■■■■■■■■入口配管 合流点*52						変更なし						
	TBP洗浄器エアリフトポンプ デミスタ■■■■■■■■■■～T B P洗浄器バッファチューブ■ ■■■■■■■■■■出口配管合流点*52						変更なし						
	第1酸化塔■■■■■■■■■■～Nox 廃ガス洗浄塔■■■■■■■■■■入口 配管合流点*53						変更なし						
	第1脱ガス塔■■■■■■■■■■～No x廃ガス洗浄塔■■■■■■■■■■入 口配管合流点*54						変更なし						
	第2酸化塔■■■■■■■■■■～Nox 廃ガス洗浄塔■■■■■■■■■■入口 配管合流点*55						変更なし						
						塔槽類 廃ガス処理系(プルトニウム系)							変更なし

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*3 (mm)	厚さ*3 (mm)	主要材料
塔槽類 廃ガス処理系(プルトリウム系)	第2脱ガス塔[]～ 第1脱ガス塔[]出口 配管合流点*56					塔槽類 廃ガス処理系(プルトリウム系)	変更なし				
	補助油水分離槽[] ～廃ガス洗浄塔[]入 口配管合流点*57						変更なし				
	R0225エンドピース[] []～プルトリウム濃縮缶[] []出口配管合流部*58						変更なし				
	希釈槽第2エアリフトポンプ Dデミスタ～希釈槽第1エア リフトポンプD分離ポット出 口配管合流点*22						変更なし				

- 注記
- *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
 - *2：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
 - *3：公称値を示す。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「NO_x廃ガス洗浄塔[]まわり」と記載。
 - *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「NO_x廃ガス洗浄塔[]～廃ガス洗浄塔[]」と記載。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄塔[]まわり」と記載。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄塔[]まわり」と記載。
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「[]～排風機A, B []」と記載。
 - *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1一時貯留処理槽[]まわり」と記載。
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2一時貯留処理槽[]まわり」と記載。
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第3一時貯留処理槽[]まわり」と記載。
 - *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第7一時貯留処理槽[]まわり」と記載。
 - *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム溶液供給槽[]まわり」と記載。
 - *15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「油水分離槽[]まわり」と記載。
 - *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム溶液受槽[]まわり」と記載。
 - *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム濃縮缶供給槽[]まわり」と記載。
 - *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム濃縮缶[]まわり」と記載。
 - *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム濃縮液受槽[]まわり」と記載。
 - *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム溶液一時貯槽[]まわり」と記載。
 - *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「リサイクル槽[]まわり」と記載。
 - *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「希釈槽[]まわり」と記載。
 - *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム濃縮液一時貯槽[]まわり」と記載。
 - *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム濃縮液計量槽[]まわり」と記載。
 - *25：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「プルトニウム濃縮液中間貯槽[]まわり」と記載。
 - *26：NO_x廃ガス洗浄塔デミスタ[]を示す。
 - *27：高性能粒子フィルタ第1, 第2加熱器[]を示す。
 - *28：ヒータ面の温度を示す。
 - *29：胴板/鏡板の主要材料を示す。
 - *30：よう素フィルタ冷却器[]を示す。
 - *31：外形寸法を示す。
 - *32：本材料は胴側の胴板及び鏡板を示し、管側は[]である。
 - *33：よう素フィルタ後置フィルタ[]を示す。
 - *34：第1一時貯留処理槽デミスタ[]を示す。
 - *35：第2一時貯留処理槽デミスタ[]を示す。
 - *36：第3一時貯留処理槽デミスタ[]を示す。
 - *37：プルトニウム溶液供給槽デミスタ[]を示す。
 - *38：プルトニウム溶液受槽デミスタ[]を示す。
 - *39：プルトニウム濃縮缶供給槽デミスタ[]を示す。
 - *40：プルトニウム濃縮液受槽デミスタ[]を示す。
 - *41：プルトニウム溶液一時貯槽デミスタ[]を示す。
 - *42：リサイクル槽デミスタ[]を示す。
 - *43：希釈槽デミスタ[]を示す。
 - *44：プルトニウム濃縮液一時貯槽デミスタ[]を示す。
 - *45：プルトニウム濃縮液計量槽デミスタ[]を示す。
 - *46：プルトニウム濃縮液中間貯槽デミスタ[]を示す。

- *47: 重大事故等時における使用時の値を示す。
- *48: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「抽出塔[]まわり」と記載。
- *49: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「核分裂生成物洗浄塔[]まわり」と記載。
- *50: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「逆抽出塔[]まわり」と記載。
- *51: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ウラン洗浄塔[]まわり」と記載。
- *52: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「TBP 洗浄器[]まわり」と記載。
- *53: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1酸化塔[]まわり」と記載。
- *54: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1脱ガス塔[]まわり」と記載。
- *55: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第2酸化塔[]まわり」と記載。
- *56: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第2脱ガス塔[]まわり」と記載。
- *57: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「補助油水分離槽[]まわり」と記載。
- *58: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「プルトニウム濃縮缶[]まわり」と記載。
- *59: 第1酸化塔エアリフトポンプデミスタ[]を示す。
- *60: 第1脱ガス塔第2プライミングポットデミスタ[]を示す。
- *61: 第2酸化塔デミスタ[]を示す。
- *62: 補助油水分離槽デミスタ[]を示す。
- *63: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「[]MPa([]kg/cm²)」と記載。
- *64: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「[]kPa([]kg/cm²)」と記載。
- *65: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「デミスタ([])～第1, 第2高性能粒子フィルタ A～C([])」と記載。
- *66: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「溶媒処理廃ガス処理系～第1, 第2高性能粒子フィルタ A～C([])」と記載。
- *67: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1, 第2高性能粒子フィルタ A～C([])～よう素フィルタ第1加熱器[]」と記載。
- *68: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素フィルタ第2加熱器[]～よう素フィルタ A～C([])」と記載。
- *69: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素フィルタ A～C(1405-F71～F73)～(H5/1405-C80)」と記載。
- *70: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機A, B[]～主排気筒」及び「精製建屋塔槽類廃ガス処理設備塔槽類廃ガス処理系(プルトニウム系)～ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋建屋塔槽類廃ガス処理設備配管[]」と記載。
- *71: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「[]kPa([]kg/cm²)」及び「[]kPa([]kg/cm²)」と記載。
- *72: 水素による爆発発生時の気相部瞬間圧力を示す。
- *73: TBPによる爆発発生時の気相部瞬間圧力を示す。

1.1.2.3.3 パルセータ廃ガス処理系

・常設
(1) ファン

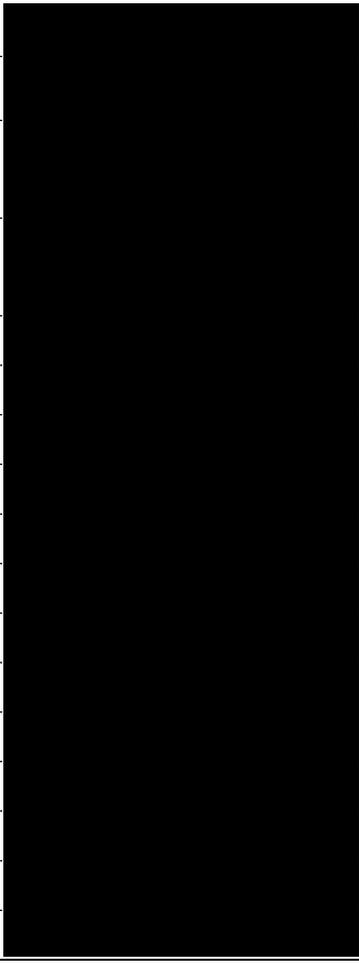
			変更前	変更後	
名称			排風機 () *2		
排風機	種類	—	ルーツ式	変更なし	
	最高使用圧力	k Pa	[Redacted]		
	最高使用温度(入口/出口)	℃			
	容量	m ³ /h/個			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
	高さ*3	mm			
	主要材料	ケーシング			—
	個数	—			2(内1個予備)
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		塔槽類廃ガス処理設備 (パルセータ廃ガス処理系)
		設置床	—		T. M. S. L. [Redacted] m
溢水防護上の区画番号		—	—	[Redacted]	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [Redacted] m	
化学薬品防護上の区画番号		—	—	[Redacted]	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [Redacted] m T. M. S. L. [Redacted] m	
原動機	種類	—	誘導電動機*4	変更なし	
	出力	kW/個	[Redacted]*4		
	個数	—	2*4		
	取付箇所	—	排風機と同じ*4		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機A, B ()」と記載。

- *3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *4 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5 : ■■■■相当。

(2) フィルタ

			変更前	変更後
名称			第1, 第2高性能粒子フィルタ () *2	変更なし
種類	—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率*3	単体		%	
主要寸法	吸込口径		mm	
	吐出口径		mm	
	胴内径		mm	
	胴板厚さ		mm	
	鏡板厚さ		mm	
	全長		mm	
	全幅	mm		
主要材料	高さ*4	mm		
	胴板	—		
	鏡板	—		
ろ材	—			
個数	—	6 (1個×2段/系列×3系列 内1個×2段/系列×1系列 予備)		

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理設備 (パルセータ廃ガス処理系)	変更なし
	設置床	—	■■■■■■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の区画番号	—	— *6	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *6	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	■■■■■■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■■■■■■ ■■■■

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第 1, 第 2 高性能粒子フィルタ A, B, C (■■■■■■■■■■)」と記載。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5: 既設工認申請書には記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7: ■■■■ 相当。

*8: 第 1, 第 2 高性能粒子フィルタ A (■■■■■■■■■■) を示す。

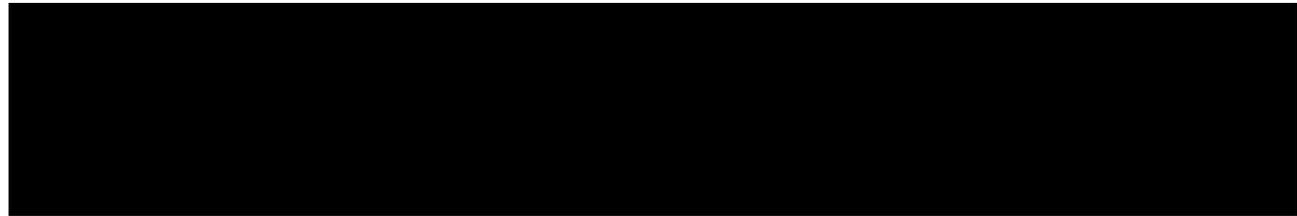
*9: 第 1, 第 2 高性能粒子フィルタ B (■■■■■■■■■■) を示す。

*10: 第 1, 第 2 高性能粒子フィルタ C (■■■■■■■■■■) を示す。

(3) 主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
パルセータ廃ガス処理系	膨張ポットデミスタ ～第1, 第2 高性能粒子フィルタ *2*3	大気圧	[Redacted]			パルセータ廃ガス処理系	変更なし					
	第1, 第2 高性能粒子フィルタ ～排風機 *4	大気圧					変更なし					
	排風機 ～塔槽類 廃ガス処理系 (プルトニウム系) *5						変更なし					

注記 *1:公称値を示す。
 *2:記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 *3:記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 *4:記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 *5:記載の適正化を行う。既設工認申請書には



1.1.2.5 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備

・常設
(1) 容器

		変更前	変更後	
名称		第1廃ガス洗浄塔 ()	第1廃ガス洗浄塔 () *1	
種類	—	たて置円筒形 (充てん塔)	変更なし	
容量	m ³ /h/個 [normal]	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa			変更なし () *16
最高使用温度	℃			変更なし () *15
主要寸法	上部胴内径 *5		mm	変更なし
	上部胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	鏡板長径	mm		
	鏡板短径の2分の1	mm		
	中部胴内径 *6	mm		
	中部胴板厚さ	mm		
	下部胴内径 *7	mm		
	下部胴板厚さ	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	鏡板長径	mm		
	鏡板短径の2分の1	mm		
	高さ *8	mm		
	廃ガス入口管台外径 *9	mm		
	廃ガス入口管台厚さ *9	mm		
	廃ガス入口管台外径 *10	mm		
廃ガス入口管台厚さ *10	mm			
廃ガス出口管台外径 *11	mm			
廃ガス出口管台厚さ *11	mm			
主要材料	上部胴板	—	変更なし	
	上部鏡板	—		
	中部胴板	—		
	下部胴板	—		
	下部鏡板	—		
個数		—	1	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス 処理設備*3	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	— *12	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *12	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *13	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *13	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「上部胴外径」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「中部胴外径」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「下部胴外径」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-1図 第1廃ガス洗浄塔(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1, P2」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-1図 第1廃ガス洗浄塔(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P3」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-1図 第1廃ガス洗浄塔(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P4」を示す。
- *12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *13：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *14：上下部の管台を含めた高さを示す。
- *15：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *16：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

		変更前	変更後	
名称		第2廃ガス洗浄塔 ()	第2廃ガス洗浄塔 () *1	
種類	—	たて置円筒形 (充てん塔)	変更なし	
容量	m ³ /h/個 [normal]			
最高使用圧力	MPa			変更なし *16
最高使用温度	℃			変更なし *15
主要寸法	上部胴内径 *5		mm	変更なし
	上部胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	鏡板長径	mm		
	鏡板短径の2分の1	mm		
	中部胴内径 *6	mm		
	中部胴板厚さ	mm		
	下部胴内径 *7	mm		
	下部胴板厚さ	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	鏡板長径	mm		
	鏡板短径の2分の1	mm		
	高さ *8	mm		
	廃ガス入口管台外径 *9	mm		
	廃ガス入口管台厚さ *9	mm		
	廃ガス入口管台外径 *10	mm		
廃ガス入口管台厚さ *10	mm			
廃ガス出口管台外径 *11	mm			
廃ガス出口管台厚さ *11	mm			
主要材料	上部胴板	—		
	上部鏡板	—		
	中部胴板	—		
	下部胴板	—		
	下部鏡板	—		
個数		—	1	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス 処理設備*3	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	— *12	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *12	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *13	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *13	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「上部胴外径」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「中部胴外径」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「下部胴外径」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-2図 第2廃ガス洗浄塔(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-2図 第2廃ガス洗浄塔(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-2図 第2廃ガス洗浄塔(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P3」を示す。
- *12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *13：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *14：上下部の管台を含めた高さを示す。
- *15：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *16：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

		変更前	変更後
名称		第3廃ガス洗浄塔 ()	第3廃ガス洗浄塔 () *1
種類	—	たて置円筒形 (充てん塔)	変更なし
容量	m ³ /h/個 [normal]		
最高使用圧力	MPa		変更なし () *15
最高使用温度	℃		変更なし () *14
主要寸法	上部胴内径 *5		mm
	上部胴板厚さ	mm	
	上部鏡板厚さ	mm	
	鏡板長径	mm	
	鏡板短径の2分の1	mm	
	中部胴内径 *6	mm	
	中部胴板厚さ	mm	
	下部胴内径 *7	mm	
	下部胴板厚さ	mm	
	下部鏡板厚さ	mm	
	鏡板長径	mm	
	鏡板短径の2分の1	mm	
	高さ *8	mm	
	廃ガス入口管台外径 *9	mm	
	廃ガス入口管台厚さ *9	mm	
	廃ガス出口管台外径 *10	mm	
廃ガス出口管台厚さ *10	mm		
主要材料	上部胴板	—	
	上部鏡板	—	
	中部胴板	—	
	下部胴板	—	
	下部鏡板	—	
個数	—	1	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス 処理設備*3	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	— *11	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *11	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *12	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *12	—

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「上部胴外径」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「中部胴外径」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「下部胴外径」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-3図 第3廃ガス洗浄塔(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-3図 第3廃ガス洗浄塔(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *13：上下部の管台を含めた高さを示す。
- *14：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *15：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

(2) 熱交換器

			変更前	変更後	
名称			脱硝廃ガス 第1凝縮器 () *2	変更なし	
種類		—	たて置多管式		
容量	設計熱交換量	kW/個	[Redacted]		
最高使用圧力	管側	MPa			
	胴側	MPa			
最高使用温度	管側	℃			
	胴側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		廃ガス入口管台外径 *6			mm
		廃ガス入口管台厚さ *6			mm
		廃ガス出口管台外径 *7			mm
		廃ガス出口管台厚さ *7			mm
	胴側	胴内径 *8			mm
		胴板厚さ	mm		
	管板厚さ		mm		
	伝熱管外径		mm		
伝熱管厚さ		mm			
高さ *9		mm			
主要材料	管側	胴板	—		
	胴側	胴板	—		
	管板		—		
	伝熱管		—		
個数		—	2		

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス 処理設備*3
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*3
	溢水防護上の区画番号	—	—*10
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*11
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「脱硝廃ガスA,B第1凝縮器(■■■■■)」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-13図 脱硝廃ガスA,B第1凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-13図 脱硝廃ガスA,B第1凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「胴外径」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*12：1系列の全熱交換量を示す。脱硝廃ガス凝縮器1系列の構成は、■■■■■と■■■■■及び■■■■■と■■■■■である。

			変更前	変更後	
名称			脱硝廃ガス 第2凝縮器 (XXXXXXXXXX)*2	変更なし	
種類		—	たて置多管式		
容量	設計熱交換量	kW/個	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>		
最高使用圧力	管側	MPa			
	胴側	MPa			
最高使用温度	管側	℃			
	胴側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		廃ガス入口管台外径*6			mm
		廃ガス入口管台厚さ*6			mm
		廃ガス出口管台外径*7			mm
		廃ガス出口管台厚さ*7			mm
	胴側	胴内径*8			mm
		胴板厚さ	mm		
	管板厚さ		mm		
	伝熱管外径		mm		
伝熱管厚さ		mm			
高さ*9		mm			
主要材料	管側	胴板	—		
	胴側	胴板	—		
	管板		—		
	伝熱管		—		
個数		—	2		

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス 処理設備*3
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*3
	溢水防護上の区画番号	—	—*10
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*11
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「脱硝廃ガスA,B第2凝縮器(■■■■■)」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-14図 脱硝廃ガスA,B第2凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-14図 脱硝廃ガスA,B第2凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「胴外径」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*12：1系列の全熱交換量を示す。脱硝廃ガス凝縮器1系列の構成は、■■■■■と■■■■■及び■■■■■と■■■■■である。

			変更前	変更後
名称			よう素フィルタ 第1, 第2加熱器 ()	
種類		—	電気ヒータ	
容量	設計熱交換量	kW/個		変更なし
最高使用圧力		kPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	胴内径 ^{*3}	mm		
	胴板厚さ	mm		
	上部平板厚さ	mm		
	下部平板厚さ	mm		
	平板厚さ	mm		
	保護管外径	mm		
	保護管厚さ	mm		
	高さ ^{*4}	mm		
	廃ガス入口管台外径 ^{*5}	mm		
	廃ガス入口管台厚さ ^{*5}	mm		
廃ガス出口管台外径 ^{*6}	mm			
廃ガス出口管台厚さ ^{*6}	mm			
主要材料	胴板	—		
	上部平板	—		
	下部平板	—		
	平板	—		
	保護管	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理設備 ^{*2}	
	設置床	—	 T. M. S. L.  m ^{*2}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*7}	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— ^{*8}	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— ^{*8}	—

注記 *1: 公称値を示す。

(つづき)

- *2 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「胴外径」と記載。
- *4 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *5 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-7図 よう素フィルタ第1,第2加熱器()の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *6 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-7図 よう素フィルタ第1,第2加熱器()の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *7 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *8 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(3) ファン

			変更前	変更後	
名称			第1排風機 [redacted] *3	第1排風機 [redacted] *1	
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]	変更なし	
	最高使用圧力	MPa	[redacted]	変更なし [redacted] *7	
	最高使用温度	℃	[redacted]	変更なし [redacted] *7	
	主要寸法	吸込口径	mm	[redacted]	変更なし
		吐出口径	mm	[redacted]	
		たて	mm	[redacted]	
		横	mm	[redacted]	
		高さ*5	mm	[redacted]	
	主要材料	ケーシング	—	[redacted]	変更なし
	個数		—	2*6	
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス 処理設備*4	
		設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m*4	
		溢水防護上の 区画番号	—	—	[redacted]
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [redacted] m以上	
化学薬品防護上の 区画番号		—	—	[redacted]	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [redacted] m以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*4	変更なし	
	出力	kW/個	[redacted] *4		
	個数	—	2*4		
	取付箇所	—	排風機と 同じ*4		

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1排風機A, B ([redacted])」
と記載。

(つづき)

- *4：既設工認申請書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(うち1台は予備)」と記載。
- *7：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			第2排風機 () *2		
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個 [normal]			
	最高使用圧力	kPa			
	最高使用温度	℃			
	主要寸法	吸込口径	mm		
		吐出口径	mm		
		たて	mm		
		横	mm		
		高さ*4	mm		
	主要材料	ケーシング	—		
	個数		—		3*5
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		塔槽類廃ガス 処理設備*3
		設置床	—		T. M. S. L. m*3
溢水防護上の 区画番号		—	—		
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. m以上	
化学薬品防護上の 区画番号		—	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. m以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出力	kW/個	*3		
	個数	—	3*3		
	取付箇所	—	排風機と同じ*3		

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第2排風機A, B, C () *2」と記載。

*3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「3(うち1台は予備)」と記載。

(4) フィルタ

			変更前	変更後			
名称			第1高性能粒子 フィルタ () *3	第1高性能粒子 フィルタ () *1			
種類		—	箱形(高性能粒子 フィルタ2段 内蔵式)	変更なし			
容量		m ³ /h/個 [normal]	[Redacted]	変更なし			
最高使用圧力		MPa		変更なし [Redacted] *17			
最高使用温度		℃		変更なし [Redacted] *16			
効率*6	単品	%		[Redacted]	変更なし		
	総合	%					
主要寸法	たて*7	mm				[Redacted]	変更なし
	横*8	mm					
	高さ*9	mm					
	厚さ	mm					
	廃ガス入口管台外径*10	mm					
	廃ガス入口管台厚さ*10	mm					
	廃ガス出口管台外径*11	mm					
主要材料	ケーシング	—	[Redacted]	変更なし			
	ろ材	—					
個数		—	3*12				

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス 処理設備*4
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*13
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*13
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*14
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*14

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1高性能粒子フィルタ A, B, C (■■■■■)」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全長」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *10：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-4図 第1高性能粒子フィルタA, B, C (■■■■■)の構造図管台一覧表 P1」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-4図 第1高性能粒子フィルタA, B, C (■■■■■)の構造図管台一覧表 P2」を示す。
- *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「3(うち1基は予備)」と記載。
- *13：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *14：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *15：■■■■■。
- *16：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *17：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後	
名称			第2高性能粒子フィルタ () *2	変更なし	
種類	—		箱形(高性能粒子 フィルタ2段内蔵式)		
容量	m ³ /h/個 [normal]		[REDACTED]		
最高使用圧力	kPa				
最高使用温度	°C				
効率*5	単品	%			
	総合	%			
主要寸法	たて*6	mm			
	横*7	mm			
	高さ*8	mm			
	厚さ	mm			
	廃ガス入口管台外径*9	mm			
	廃ガス入口管台厚さ*9	mm			
	廃ガス出口管台外径*10	mm			
	廃ガス出口管台厚さ*10	mm			
主要材料	ケーシング	—			
	ろ材	—			
個数		—			2*11
取付箇所	系統名(ライン名)	—			塔槽類廃ガス処理設備*3
	設置床	—		T. M. S. L. () m*3	
	溢水防護上の区画番号	—		—*12	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*12	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*13	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*13	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第2高性能粒子フィルタ A, B()」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(つづき)

- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 ）」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全長」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-6図 第2高性能粒子フィルタA,B()の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-6図 第2高性能粒子フィルタA,B()の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(うち1基は予備)」と記載。
- *12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *13：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *14： 。

(つづき)

- *3 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *5 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素除去効率」と記載。
- *6 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-8図 よう素フィルタA,B()の構造図 管台一覧表P1」を示す。
- *8 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.5-8図 よう素フィルタA,B()の構造図 管台一覧表P2」を示す。
- *9 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(うち1基は予備)」と記載。
- *10 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *11 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *12 : 下部の管台を含めた高さを示す。

(5) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	主要材料
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備	硝酸プルトニウム貯槽 (■■■■), 混合槽 (■■■■), 一時貯槽 (■■■■) ~ 混合廃ガス凝縮器入口配管合流点*17					硝酸プルトニウム貯槽 (■■■■), 混合槽 (■■■■), 一時貯槽 (■■■■) ~ 混合廃ガス凝縮器入口配管合流点*1	変更なし ■■■■	変更なし ■■■■*33	変更なし		
	定量ポット (■■■■) ~ 混合廃ガス凝縮器入口配管合流点*17					変更なし					
	混合廃ガス凝縮器入口配管合流点 ~ 第1 廃ガス洗浄塔 (■■■■)*20					混合廃ガス凝縮器入口配管合流点 ~ 第1 廃ガス洗浄塔 (■■■■)*1	変更なし ■■■■	変更なし ■■■■*33	変更なし		
	脱硝廃ガス第2凝縮器 (■■■■) ~ 第1 廃ガス洗浄塔 (■■■■)*5					変更なし					
	第1 廃ガス洗浄塔 (■■■■) ~ 第2 廃ガス洗浄塔 (■■■■)*7					第1 廃ガス洗浄塔 (■■■■) ~ 第2 廃ガス洗浄塔 (■■■■)*1	変更なし ■■■■	変更なし ■■■■*33	変更なし		
	第2 廃ガス洗浄塔 (■■■■) ~ 第3 廃ガス洗浄塔 (■■■■)*9					第2 廃ガス洗浄塔 (■■■■) ~ 第3 廃ガス洗浄塔 (■■■■)*1	変更なし ■■■■	変更なし ■■■■*33	変更なし		

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	主要材料
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備	[REDACTED]					第3廃ガス洗浄塔([REDACTED])～第1高性能粒子フィルタ([REDACTED]) ^{*11}	変更なし	変更なし	変更なし		
						よう素フィルタ([REDACTED])～第2排風機([REDACTED]) ^{*15}	変更なし				
						高レベル濃縮廃液廃ガス処理系入口分岐点, 弁([REDACTED])～ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備配管([REDACTED])合流点 ^{*3}	変更なし				
						ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備配管([REDACTED])合流点～高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備高レベル濃縮廃液廃ガス処理系配管([REDACTED])合流点 ^{*3}	変更なし				
						よう素フィルタ第1加熱器([REDACTED])～よう素フィルタ第2加熱器([REDACTED]) ^{*21}	変更なし				
						よう素フィルタ第2加熱器([REDACTED])～よう素フィルタ([REDACTED]) ^{*22}	変更なし				
						第1高性能粒子フィルタ([REDACTED])～第1排風機入口配管分岐点 ^{*23}	変更なし	変更なし	変更なし		
						第1排風機入口配管分岐点～第1排風機([REDACTED]) ^{*23}	変更なし	変更なし	変更なし		
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備	[REDACTED]					第3廃ガス洗浄塔([REDACTED])～第1高性能粒子フィルタ([REDACTED]) ^{*1}	変更なし	変更なし	変更なし		
						変更なし					
						変更なし					
						ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備配管([REDACTED])合流点～高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備高レベル濃縮廃液廃ガス処理系配管([REDACTED])合流点 ^{*37}	変更なし				
						変更なし					
						変更なし					
						第1高性能粒子フィルタ([REDACTED])～第1排風機入口配管分岐点 ^{*1}	変更なし	変更なし	変更なし		
						第1排風機入口配管分岐点～第1排風機([REDACTED]) ^{*1}	変更なし	変更なし	変更なし		

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	主要材料	
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備	弁()～第1廃ガス洗浄塔() ^{*20}					ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備	変更なし					
	第1排風機()～弁() ^{*14}						第1排風機()～弁() ^{*1}	変更なし	変更なし	変更なし		
	第1排風機()～弁() ^{*14}						第1排風機()～弁() ^{*1}	変更なし	変更なし	変更なし		
	弁()～第2高性能粒子フィルタ() ^{*14}						変更なし					
	第2高性能粒子フィルタ() ～よう素フィルタ第1加熱器() ^{*24}						変更なし					
	第2排風機()～ 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系入口分岐点 ^{*26}						変更なし					
	脱硝廃ガス第1凝縮器() ～脱硝廃ガス第2凝縮器() ^{*4}						変更なし					
	脱硝廃ガス第1凝縮器() ～脱硝廃ガス第2凝縮器() ^{*4}						変更なし					
	脱硝装置(), 中間ポット() ～脱硝廃ガス第1凝縮器() ^{*18}						変更なし					
	脱硝装置(), 中間ポット() ～脱硝廃ガス第1凝縮器() ^{*19}						変更なし					
廃ガス処理第2グローブボックス() ～第2廃ガス洗浄塔() ^{*27}					変更なし							

(つづき)

- *1：脱硝施設のうち、代替換気設備と兼用。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋塔槽類廃ガス処理設備～高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備高レベル濃縮廃液廃ガス処理系配管()」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「脱硝廃ガス A, B 第 1 凝縮器()～脱硝廃ガス A, B 第 2 凝縮器()」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「脱硝廃ガス A, B 第 2 凝縮器()～」及び「～第 1 廃ガス洗浄塔()」と記載。
- *6：脱硝廃ガス冷却器()を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第 1 廃ガス洗浄塔()～」及び「～第 2 廃ガス洗浄塔()」と記載。
- *8：第 1 廃ガス洗浄塔デミスタ()を示す。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第 2 廃ガス洗浄塔()～」及び「～第 3 廃ガス洗浄塔()」と記載。
- *10：第 2 廃ガス洗浄塔デミスタ()を示す。
- *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第 3 廃ガス洗浄塔()～」、「～」及び「～第 1 高性能粒子フィルタ A, B, C()」と記載。
- *12：廃ガス第 1 冷却器デミスタ()を示す。
- *13：定量ポットデミスタ()を示す。
- *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第 1 排風機 A, B()～第 2 高性能粒子フィルタ A, B()」と記載。
- *15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「よう素フィルタ A, B()～」及び「～第 2 排風機 A, B, C()」と記載。
- *16：廃ガス第 2 冷却器()を示す。
- *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「まわり」と記載。
- *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「脱硝廃ガス A 第 1 凝縮器()まわり」と記載。
- *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「脱硝廃ガス B 第 1 凝縮器()まわり」と記載。
- *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「まわり」及び「第 1 廃ガス洗浄塔()まわり」と記載。
- *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「よう素フィルタ第 1 加熱器()～よう素フィルタ第 2 加熱器()」と記載。
- *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「よう素フィルタ第 2 加熱器()～よう素フィルタ A, B()」と記載。
- *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第 1 高性能粒子フィルタ A, B, C()～第 1 排風機 A, B()」と記載。
- *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第 2 高性能粒子フィルタ A, B()～よう素フィルタ第 1 加熱器()」と記載。
- *25：混合廃ガスデミスタ()を示す。
- *26：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「第 2 排風機 A, B, C()～主排気筒」と記載。
- *27：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「第 2 廃ガス洗浄塔()まわり」と記載。
- *28：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(kPa)」に「」と記載。
- *29：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(kPa)」に「」と記載。
- *30：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(kPa)」に「」と記載。
- *31：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(kPa)」に「」と記載。
- *32：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(kPa)」に「」と記載。
- *33：重大事故時における使用時の値。
- *34：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(kPa)」に「」と記載。
- *35：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。
- *37：脱硝施設のうち、廃ガス貯留設備と兼用。
- *38：廃ガス第 1 冷却器()を示す。
- *39：脱硝廃ガス冷却器気液分離器()を示す。
- *40：混合廃ガス凝縮器()を示す。

(6) 核物質等取扱ボックス

			変更前	変更後	
名称			廃ガス処理第1 グローブボックス ()	変更なし	
種類		—	グローブボックス		
最高使用圧力		MPa	[Redacted]		
最高使用温度		℃			
漏れ率*2		vol%/h			
主要寸法	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
	全高	mm			
主要材料		本体部	—		
個数		—	1		
漏えい液 受皿部	主要寸法	高さ*3	mm		[Redacted]
		厚さ*4	mm		
	主要材料		—		—
取付箇所	系統名(ライン名)		—	塔槽類廃ガス処理設備*5	
	設置床		—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*5	
	溢水防護上の区画番号		—	—*6	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*6	—
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—*7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「漏えい率」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「深さ」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「本体板厚さ」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：漏えい液受皿部を含む。

			変更前	変更後	
名称			廃ガス処理第2 グローブボックス ()	変更なし	
種類		—	グローブボックス		
最高使用圧力		MPa	[Redacted]		
最高使用温度		℃			
漏れ率*2		vol%/h			
主要寸法	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
	全高	mm			
主要材料		本体部	—		
個数		—	1		
漏えい液 受皿部	主要寸法	高さ*3	mm		[Redacted]
		厚さ*4	mm		
	主要材料		—		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	塔槽類廃ガス処理設備*5	
	設置床		—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*5	
	溢水防護上の区画番号		—	—*6	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*6	—
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—*7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「漏えい率」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「深さ」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「本体板厚さ」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：漏えい液受皿部を含む。

			変更前	変更後	
名称			廃ガス処理第3 グローブボックス ()	変更なし	
種類		—	グローブボックス		
最高使用圧力		MPa	[Redacted]		
最高使用温度		℃			
漏れ率*2		vol%/h			
主要寸法	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
	全高	mm			
主要材料		本体部	—		
個数		—	1		
漏えい液 受皿部	主要寸法	高さ*3	mm		[Redacted]
		厚さ*4	mm		
	主要材料		—		—
取付箇所	系統名(ライン名)		—		塔槽類廃ガス処理設備*5
	設置床		—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*5	
	溢水防護上の区画番号		—	—*6	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*6	—
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—*7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「漏えい率」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「深さ」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「本体板厚さ」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：漏えい液受皿部を含む。

		変更前	変更後		
名称		脱硝廃ガス処理 グローブボックス (XXXXXXXXXX)	変更なし		
種類	—	グローブボックス			
最高使用圧力	MPa	XXXXXXXXXX			
最高使用温度	°C				
漏れ率*2	vol%/h				
主要寸法	たて			mm	
	横			mm	
	高さ			mm	
	全高			mm	
主要材料	本体部			—	
個数				—	1
遮蔽体	主要材料			—	XXXXXXXXXX
	厚さ	mm			
	密度	g/cm ³			
漏えい液 受皿部	主要寸法	高さ*4		mm	
		厚さ*5		mm	
	主要材料	—			
取付箇所	系統名(ライン名)	—		塔槽類廃ガス処理設備*3	
	設置床	—		XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXXXXXX m*3	
	溢水防護上の区画番号	—		—*6	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*6	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*7	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*7	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「漏えい率」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「深さ」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「本体板厚さ」と記載。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：遮蔽体を除く本体外形寸法を示す。

(つづき)

*9 : 漏えい液受皿部を含む。

*10 : JIS G4304に定める[REDACTED]の密度。

1.1.2.6 高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備

1.1.2.6.1 高レベル廃液ガラス固化建屋

(1) 建物・構築物

a. 建物・洞道

		変更前		変更後	
名称		—		高レベル廃液ガラス固化建屋	
種類*2		—		鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造）	
主要寸法	たて×横*3	m	■*1 × ■*1	変更なし	
	高さ	m	地上 ■ (冷却空気入口シャフトの高さは, ■m。冷却空気出口シャフトの高さは, ■m) *1 地下 ■ ¹		
	壁厚さ	東壁	m		1.00*1
		西壁	m		1.20~2.10*1
		南壁	m		1.20~1.30*1
		北壁	m		1.20~1.30*1
主要材料		—			鉄筋コンクリート及び鋼材*5
個数		—			1
基礎	種類*2	—			直接基礎（鉄筋コンクリート造）*4
	主要寸法	たて×横	m		■*1 × ■*1
		高さ	m	■*1	
	主要材料		—		鉄筋コンクリート
	底面の標高		—		T. M. S. L. ■ ⁿ *1

- 注記 *1：公称値を示す。
 *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基礎及び構造の種類」と記載。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「南北方向，東西方向」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋コンクリート造（べた基礎）」と記載。
 *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 鋼材：JIS G 3106(溶接構造用圧延鋼材)に定めるSM400A, SM490A コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート（一部重量コンクリート）設計基準強度 29.5N/mm²」と記載。

b. 遮蔽設備

名 称 種 類		変更前		変更後	
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	主要寸法 (mm)	材料
セル遮蔽 (高レベル廃液ガラス固 化建屋)	高レベル廃液 ガラス固化建屋 地下4階 (T. M. S. L. ■■■ m)	■■■■	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	■■■■	変更なし
	重量コンクリート (密度 $3.3 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)				
	高レベル廃液 ガラス固化建屋 地下3階 (T. M. S. L. ■■■ m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし	
	高レベル廃液 ガラス固化建屋 地下2階 (T. M. S. L. ■■■ m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)		変更なし

(つづき)

名 称 種 類		変更前		変更後	
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	主要寸法 (mm)	材料
セル遮蔽 (高レベル廃 液ガラス固 化建屋)	高レベル廃液 ガラス固化建屋 地下2階 (T.M.S.L. ■■■m)	■■■■	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし	
	高レベル廃液 ガラス固化建屋 地下1階 (T.M.S.L. ■■■m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし	
	高レベル廃液 ガラス固化建屋 地上1階 (T.M.S.L. ■■■m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし	

注記 *1: 公称値を示す。
 *2: 遮蔽設計上考慮する厚さ(設計確認値)を示す。
 *3: 設計確認値は既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。

名称 種類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽窓 (高レベル廃液ガラス固化建屋)	高レベル廃液ガラス固化建屋 地下4階 (T. M. S. L. m)		ほうけい酸ガラス(密度 $2.52 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	-	-	変更なし		T. M. S. L. m以上	
			鉛ガラス(密度 $3.22 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)					T. M. S. L. m以上	
			鉛ガラス(密度 $3.22 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)					T. M. S. L. m以上	
			ほうけい酸ガラス(密度 $2.50 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)						
			鉛ガラス(密度 $5.18 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)						

(つづき)

名 称 類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽窓 (高レベル廃液ガラス固化建屋)	高レベル廃液ガラス固化建屋 地下1階 (T. M. S. L. ■■■m)	■■■■	ほうけい酸ガラス (密度2.52×10 ³ kg/m ³ 以上)	-	-	変更なし	■■■■	T. M. S. L. ■■■m以上	
			鉛ガラス (密度3.22×10 ³ kg/m ³ 以上)						
			鉛ガラス (密度3.22×10 ³ kg/m ³ 以上)						
			ほうけい酸ガラス (密度2.50×10 ³ kg/m ³ 以上)						
			鉛ガラス (密度5.18×10 ³ kg/m ³ 以上)						

(つづき)

名 称 種 類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽扉 (高レベル 廃液ガラ ス固化 建屋)	高レベル廃 液ガラス固 化建屋 地下4階 (T. M. S. L. ■■■■m)	■■■■	鋼材*4	-	-	変更なし	■■■■	T. M. S. L. ■■■■m以上	
			ポリエチレン* 5						
			鋼材*4						
	高レベル廃 液ガラス固 化建屋 地下3階 (T. M. S. L. ■■■■m)		鋼材*4	-	-	変更なし	■■■■	T. M. S. L. ■■■■m以上	
			ポリエチレン* 5						
			鋼材*4						
		鋼材*4	-	-	変更なし	-	-		
		ポリエチレン* 5							
		鋼材*4							

(つづき)

名 称 類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽扉 (高レベル 廃液ガラ ス固化 建 屋)	高レベル廃 液ガラス固 化建屋 地下1階 (T. M. S. L. ■■■■m)	■■■■	鋼材*4	—	—	変更なし	■■■■	T. M. S. L. ■■■■m以上	
			ポリエチレン* 5						
			鋼材*4	—	—	変更なし	—	—	
			鋼材*4						
			ポリエチレン* 5						
			鋼材*4						

(つづき)

名 称 種 類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽ハッ チ (高レベ ル廃液ガ ラス固化 建屋)	高レベル廃 液ガラス固 化建屋 地下2階 (T. M. S. L. ■■■■m)	■■■■	普通コンクリ ート (密度2.15×10 ³ kg/m ³ 以上)	-	-	変更なし	-	-	
	高レベル廃 液ガラス固 化建屋 地下1階 (T. M. S. L. ■■■■m)		普通コンクリ ート (密度2.15×10 ³ kg/m ³ 以上)	-	-	変更なし	-	-	
	高レベル廃 液ガラス固 化建屋 地上1階 (T. M. S. L. ■■■■m)		普通コンクリ ート (密度2.15×10 ³ kg/m ³ 以上)	-	-	変更なし	-	-	
	高レベル廃 液ガラス固 化建屋 地上1階 (T. M. S. L. ■■■■m)		普通コンクリ ート (密度2.15×10 ³ kg/m ³ 以上)	-	-	変更なし	-	-	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 遮蔽設計上考慮する厚さを示す。

*3: 設計確認値は既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。

*4: JIS G3101(一般構造用圧延鋼材)に定めるSS400

*5: JIS K6748(ポリエチレン成形材料)(JIS K6922-1(プラスチック-ポリエチレン(PE)成形用及び押出用材料))の規定によるポリエチレン成形材料

c. 地下水排水設備

				変更前	変更後	
名称					地下水排水設備 (高レベル廃液ガラス固化建屋周り)	
種類	シャフト部* ¹		—		鋼製造	
	ピット部* ¹		—		鉄筋コンクリート造	
	ポンプ		—		鋼製造	
	水位計		—		うず巻形	
ポンプ	容量		m ³ /h/個		45 以上 (45* ²)	
	揚程		m		45 以上 (45* ²)	
	最高使用圧力		MPa		0.5	
	最高使用温度		°C		40	
	主要寸法	吸込口径		mm		90* ²
		吐出口径		mm		105* ²
		外径		mm		386* ²
		高さ		mm		916* ²
	主要材料	ケーシング		—		FC200
	個数		—			4 (予備 2)
	原動機	種類		—		誘導電動機
出力		kW/個		15		
個数		—			4 (予備 2)	
水位計	計測範囲		—		+270~+1200 mm* ³	
	警報動作範囲		—		—	
	個数		—			10
排水配管	最高使用圧力		MPa		0.98	
	最高使用温度		°C		40	
	主要寸法	外径		mm		100* ¹
		厚さ		mm		6.0* ¹
主要材料		—			SUS304	
取付箇所	系統名(ライン名)		—		—	
	設置床	ピット* ⁴	—		FA No. 2 ピット (東側) FA No. 3 ピット (南東側) FA No. 4 ピット (南側) FA No. 5 ピット (南西側) FA No. 6 ピット (西側) FA No. 7 ピット (北西側) T. M. S. L 37.450 m FB No. 1 ピット (南西側) FB No. 2 ピット (北西側) T. M. S. L 37.450 m F1b No. 2 ピット (南西側) F1b No. 3 ピット (北西側) T. M. S. L 40.500 m	

				AA No. 1 ピット (北東側) T. M. S. L 32.700 m AB No. 1 ピット (南東側) AB No. 2 ピット (南西側) AB No. 3 ピット (西側) T. M. S. L 33.840 m KA No. 3 ピット (北西側) KA No. 4 ピット (北東側) T. M. S. L 28.180 m
		ポンプ	—	KA No. 2 ピット内 (南側)* ⁵ KA No. 5 ピット内 (北東側)* ⁶ T. M. S. L 28.180 m
		水位計	—	
		溢水防護上の区画番号	—	
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁷
		化学薬品防護上の区画番号	—	
		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁸

注記 *1: シャフト部及びピット部は、耐震性を有するポンプ、水位計を設置するピットと当該ピットに集水するための流路を形成するピット（流路確保ピット）を指す。

*2: 公称値を示す。

*3: 水位検出器の高さは、設置床からの高さを示す。

*4: ピットは、流路確保ピットを指す。

*5: 対象機器は、2800-P021, 2800-P022。対象計器は、2800-LE-02-1, 2800-LE-02-2, 2800-LE-02-3, 2800-LE-02-4, 2800-LE-02-5。

*6: 対象機器は、2800-P051, 2800-P052。対象計器は、2800-LE-05-1, 2800-LE-05-2, 2800-LE-05-3, 2800-LE-05-4, 2800-LE-05-5。

*7: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

1.1.2.6.2 高レベル廃液ガラス固化建屋高レベル廃液ガラス固化建屋/
第1ガラス固化体貯蔵建屋間洞道

(1) 建物・構築物

a. 建物・洞道

		変更前		変更後	
名称		—	高レベル廃液ガラス固化建屋/ 第1ガラス固化体貯蔵建屋間洞道(AT52)	変更なし	
種類*2		—	鉄筋コンクリート造(地下埋設)		
主要寸法	幅	m	8.05m~8.75m*1		
	高さ*5	m	6.50m~6.85m*1		
	壁 厚 さ	側壁	m		1.30m*1*3
		頂版	m		1.30m*1*3
底版		m	1.40m*1*3		
底面の標高		—	T. M. S. L. 39.40m*3		
主要材料		—	鉄筋コンクリート*4		
個数		—	1		

- 注記 *1：公称値を示す。
 *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「構造」と記載。
 *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート 設計基準強度 29.5N/mm²(300kgf/cm²)」と記載。
 *5：高さは、底版を含めた高さを示す。

1.1.2.6.3 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系

- ・常設
(1) 容器

			変更前	変更後	
名称			デミスタ ()	デミスタ () *1	
種類	—		横置円筒形		
容量	m ³ /h/個 [normal]		[REDACTED]	変更なし	
最高使用圧力	kPa				
最高使用温度	℃			変更なし [REDACTED] *10	
主要寸法	胴内径	mm			変更なし
	胴板厚さ	mm			
	鏡板厚さ	mm			
	鏡板中央部内半径	mm			
	鏡板隅の丸み半径	mm			
	入口管台外径 *4	mm			
	入口管台厚さ *4	mm			
	出口管台外径 *5	mm			
	出口管台厚さ *5	mm			
	全長	mm			
高さ *6	mm				
主要材料	胴板	—			
	鏡板	—			
個数		—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系		
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m *7		
	溢水防護上の 区画番号	—	— *8	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *9	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *9	—	

注記 *1：代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[REDACTED]」と記載。
記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
1 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面

「第 3.2.1.2.6.1-3 図 デミスタ () の構造図 管台一覧表 P1」
を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.1-3 図 デミスタ () の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*10：重大事故等時における使用時の値を示す。

*11：先端管台の中心位置までの高さを示す。

			変更前	変更後	
名称			廃ガス洗浄塔 ■■■■■	廃ガス洗浄塔 ■■■■■*1	
種類	—		たて置円筒形 (棚段塔)	変更なし	
容量	m ³ /h/個 [normal]		■■■■■		
最高使用圧力	kPa				
最高使用温度	℃				
主要寸法	上部胴内径	mm			■■■■■
	本体胴内径	mm			
	上部胴板厚さ	mm			
	本体胴板厚さ	mm			
	上部胴上部鏡板厚さ	mm			
	上部胴上部鏡板 中央部内半径	mm			
	上部胴上部鏡板 隅の丸み半径	mm			
	円すい胴板厚さ	mm			
	本体胴下部鏡板厚さ	mm			
	本体胴下部鏡板 中央部内半径	mm			
	本体胴下部鏡板 隅の丸み半径	mm			
	入口管台外径*4	mm			
	入口管台厚さ*4	mm			
	出口管台外径*5	mm			
	出口管台厚さ*5	mm			
	高さ*6	mm			
主要材料	上部胴上部鏡板	—	■■■■■		
	上部胴板	—			
	円すい胴板	—			
	本体胴板	—			
	本体胴下部鏡板	—			
個数		—	1	変更なし	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系		
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*7		
	溢水防護上の区画番号	—	—*8		—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*8		—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*9		—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9	—	

注記 *1: 代替換気設備と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.1-1 図 廃ガス洗浄塔（[REDACTED]）の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.1-1 図 廃ガス洗浄塔（[REDACTED]）の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *10：重大事故等時における使用時の値を示す。

(2) 熱交換器

				変更前	変更後	
名称				凝縮器	凝縮器 *1	
種類		—	たて置多管式			
容量	設計熱交換量		kW/個	変更なし		
最高使用圧力	管側	MPa				
	胴側	kPa				
最高使用温度	管側	℃				
	胴側	℃		変更なし *12		
伝熱面積		m ² /個	変更なし			
主要寸法	管側	ジャケット幅				mm
		ジャケット高さ				mm
		ジャケット厚さ				mm
		ジャケット長さ				mm
	胴側	胴長さ				mm
		胴幅				mm
		胴板厚さ				mm
		入口管台外径*6				mm
		入口管台厚さ*6				mm
		出口管台外径*7				mm
		出口管台厚さ*7				mm
		管板厚さ				mm
	伝熱管外径	mm				
	伝熱管厚さ	mm				
高さ*8	mm					
主要材料	管側ジャケット	—				
	胴側胴板	—				
	管板	—				
	伝熱管	—				
個数		—	1			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系			
	設置床	—	T. M. S. L. ■■■■■ m*9			
	溢水防護上の区画番号	—	— *10			
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *10			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *11			
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *11			

注記 *1：代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.1-2 図 凝縮器（[REDACTED]）の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.1-2 図 凝縮器（[REDACTED]）の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *12：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			第1, 第2加熱器 [REDACTED]	第1, 第2加熱器 [REDACTED] *1
種類		—	横置円筒形(電気ヒータ)	
容量	設計熱交換量	kW/個	[REDACTED]	
最高使用圧力		kPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	円すい胴板厚さ	mm		
	入口管台外径 *4	mm		
	入口管台厚さ *4	mm		
	出口管台外径 *5	mm		
	出口管台厚さ *5	mm		
主要材料	全長	mm		
	高さ *6	mm		
胴板		—	変更なし	
円すい胴板		—		
個数		—	1 *10	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m *7	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *8	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *9	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *9	

注記 *1: 代替換気設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。
記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安(核規)第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.1-6 図 第 1, 第 2 加熱器 ([REDACTED]) の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安(核規)第 538 号にて認可された設工認の添付図面

「第 3.2.1.2.6.1-6 図 第 1, 第 2 加熱器 () の構造図 管台一
覧表 P2」を示す。

- *6 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図
書による。
- *8 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *9 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *10 : 容器本体の個数を示す。 ()

(3) ファン

			変更前	変更後	
名称			排風機 [redacted]*2		
排風機	種類	—	ルーツ式	変更なし	
	最高使用圧力	kPa	[redacted]		
	最高使用温度	°C	[redacted]		
	容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]		
	主要寸法	吸込口径	mm		[redacted]
		吐出口径	mm		[redacted]
		たて	mm		[redacted]
		横	mm		[redacted]
		高さ*3	mm		[redacted]
	主要材料	ケーシング	—		[redacted]
	個数	—	2(予備1)*4		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系		
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]m*5		
	溢水防護上の 区画番号	—	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—	T. M. S. L. [redacted]m 以上	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—	[redacted]	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—	T. M. S. L. [redacted]m 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*5	変更なし	
	出力	kW/個	[redacted]		
	個数	—	[redacted]*5		
	取付箇所	—	排風機と同じ*5		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機 A, B ([redacted])」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：共通ベースの寸法を示す。

(4) フィルタ

			変更前	変更後
名称			第1, 第2 高性能 粒子フィルタ ■■■■■ *3	第1, 第2 高性能 粒子フィルタ ■■■■■ *1
種類	—		■■■■■	変更なし
最高使用圧力	kPa			変更なし ■■■■■ *13
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			変更なし
効率*5	単品	%		
	総合	%		
主要 寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径*6	mm		
	入口管台厚さ*6	mm		
	出口管台外径*7	mm		
	出口管台厚さ*7	mm		
	高さ*8	mm		
主要 材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	ろ材	—		
遮蔽体	厚さ	mm		
	主要材料	—		
個数			4(予備 2)*9	

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m ^{*10}
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*11}
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*11}
	化学薬品防護上の区 画番号	—	— ^{*12}
	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ	—	— ^{*12}

注記 *1：代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1,第2高性能粒子フィルタ A, B (■■■■■)」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には■■■■■と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.1-4図 第1,第2高性能粒子フィルタ A (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」及び「第3.2.1.2.6.1-5図 第1,第2高性能粒子フィルタ B (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.1-4図 第1,第2高性能粒子フィルタ A (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」及び「第3.2.1.2.6.1-5図 第1,第2高性能粒子フィルタ B (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には■■■■■と記載。

*10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*13：重大事故等時における使用時の値を示す。

*14：■■■■■

*15 : [REDACTED]

*16 : [REDACTED]

			変更前	変更後
名称			よう素フィルタ [redacted] *3	よう素フィルタ [redacted] *1
種類	—		たて置円筒形	変更なし
最高使用圧力	kPa		[redacted]	
最高使用温度	℃		[redacted]	
容量	m ³ /h/個 [normal]		[redacted]	
効率*4	%		[redacted]	
主要寸法	胴内径	mm	[redacted]	
	胴板厚さ	mm	[redacted]	
	鏡板厚さ	mm	[redacted]	
	鏡板中央部内半径	mm	[redacted]	
	鏡板隔の丸み半径	mm	[redacted]	
	入口管台外径*5	mm	[redacted]	
	入口管台厚さ*5	mm	[redacted]	
	出口管台外径*6	mm	[redacted]	
	出口管台厚さ*6	mm	[redacted]	
	高さ*7	mm	[redacted]	
フィルタベッド厚	mm	[redacted]		
主要材料	胴板	—	[redacted]	
	鏡板	—	[redacted]	
	ろ材	—	[redacted]	
遮蔽体	厚さ	mm	[redacted]	
	主要材料	—	[redacted]	
個数	—		3(予備1)*8	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液 廃ガス処理系	
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m*9	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	

注記 *1：代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素フィルタ A,B,C
[redacted]) 」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素除去効率」と記載。

- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.1-7図 よう素フィルタA () の構造図 管台一覧表 P1」,「第3.2.1.2.6.1-8図 よう素フィルタB () の構造図 管台一覧表 P1」及び「第3.2.1.2.6.1-9図 よう素フィルタC () の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.1-7図 よう素フィルタA () の構造図 管台一覧表 P2」,「第3.2.1.2.6.1-8図 よう素フィルタB () の構造図 管台一覧表 P2」及び「第3.2.1.2.6.1-9図 よう素フィルタC () の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には () と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(5) 主配管

変更前						変更後							
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料		
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系						廃ガス洗浄塔 () ~ 凝縮器 ()	変更なし						変更なし
						凝縮器 () ~ デミスタ ()	変更なし						変更なし
						デミスタ () ~ 第1, 第2高性能粒子フィルタ () *4*5	変更なし						変更なし
						第1, 第2高性能粒子フィルタ () ~ 第1, 第2加熱器 () *6	変更なし						変更なし
						第1, 第2加熱器 () ~ よう素フィルタ () *7							変更なし
第1, 第2加熱器 () ~ よう素フィルタ () *2	変更なし												
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系						廃ガス洗浄塔 () ~ 凝縮器 () *2	変更なし						変更なし
						凝縮器 () ~ デミスタ () *2	変更なし						変更なし
						デミスタ () ~ 第1, 第2高性能粒子フィルタ () *2	変更なし						変更なし
						第1, 第2高性能粒子フィルタ () ~ 第1, 第2加熱器 () *2	変更なし						変更なし
						第1, 第2加熱器 () ~ よう素フィルタ () *2							変更なし
第1, 第2加熱器 () ~ よう素フィルタ () *2	変更なし												

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系						よう素フィルタ () ~ 弁 () *8*9	変更なし				
							よう素フィルタ () ~ 弁 () *2	変更なし		変更なし	
						弁 () ~ 排風機 () *9	変更なし				
排風機 () ~ 高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備高レベル濃縮廃液廃ガス処理系配管 () 合流点 *10	変更なし										

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系						高レベル濃縮廃液廃ガス処理系					
高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備高レベル濃縮廃液廃ガス処理系配管 ()合流点						高レベル濃縮廃液廃ガス処理系					
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系配管 ()合流点						高レベル濃縮廃液廃ガス処理系					
高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備高レベル濃縮廃液廃ガス処理系配管 ()合流点						高レベル濃縮廃液廃ガス処理系					
主排気筒						高レベル濃縮廃液廃ガス処理系					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	廃ガス洗浄塔 () 入口配管					高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	— *35				
	高レベル廃液共用貯槽 () ~廃ガス洗浄塔 () *12*13						高レベル廃液共用貯槽 () ~廃ガス洗浄塔 () *2				
						変更なし				変更なし	

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () ~ 高レベル廃液共用貯槽 () 出口配管合流点*12*14*15	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () ~ 高レベル廃液共用貯槽 () 出口配管合流点*2	変更なし	[Redacted]	変更なし		
	第1, 第2高レベル濃縮廃液分配器 () ~ 高レベル廃液共用貯槽 () 出口配管合流点*12*16*17					変更なし					
	第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽 () ~ 高レベル廃液共用貯槽 () 出口配管合流点*18*19					変更なし	[Redacted]	変更なし			
	第1高レベル濃縮廃液貯槽 () まわり					— *35					
	第2高レベル濃縮廃液貯槽 () まわり					— *35					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	高レベル廃液共用貯槽 (■■■■)まわり					高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	— *35				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系						高レベル廃液混合槽()~高レベル廃液共用貯槽()出口配管合流点 *20*21	高レベル廃液混合槽()~高レベル廃液共用貯槽()出口配管合流点 *2	変更なし				
						高レベル廃液混合槽A()まわり	— *35	変更なし				
						高レベル廃液混合槽B()まわり	— *35	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	[Redacted]					供給液槽 ([Redacted]), 供給槽 ([Redacted]) ~ 高レベル廃液共用貯槽 ([Redacted]) 出口配管合流点 *24 *25 *26 *27	供給液槽 ([Redacted]), 供給槽 ([Redacted]) ~ 高レベル廃液共用貯槽 ([Redacted]) 出口配管合流点 *2	変更なし	[Redacted]	変更なし		
						供給液槽A ([Redacted]) まわり	— *35					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	供給液槽B()まわり					高レベル濃縮廃液廃ガス処理系	— *35				
	塔槽類廃ガス処理第3セル漏えい液受皿()～放射性配管分岐セル漏えい液受皿() *34						変更なし				

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：代替換気設備と兼用する。
 - *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「デミスタ()～ 」と記載。
 - *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ～第1,第2高性能粒子フィルタA,B() 」と記載。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1,第2高性能粒子フィルタA,B()～第1,第2加熱器() 」と記載。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1,第2加熱器()～よう素フィルタA,B,C() 」と記載。
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「よう素フィルタA,B,C()～ 」と記載。
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ～排風機A,B() 」と記載。
 - *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備高レベル濃縮廃液廃ガス処理系配管()合流点」 と記載。
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄塔()入口配管」と記載。
 - *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液共用貯槽()まわり」と記載。
 - *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液一時貯槽()まわり」と記載。
 - *15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液一時貯槽()まわり」と記載。
 - *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液分配器()まわり」と記載。
 - *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液分配器()まわり」と記載。
 - *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液貯槽()まわり」と記載。
 - *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液貯槽()まわり」と記載。
 - *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽A()まわり」と記載。

- *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽B()まわり」と記載。
- *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「()」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「()」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給液槽A()まわり」と記載。
- *25：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽A()まわり」と記載。
- *26：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給液槽B()まわり」と記載。
- *27：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽B()まわり」と記載。
- *28：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *29：単位は(MPa)
- *30：廃ガス冷却器()を示す。
- *31：ダストフィルタ()を示す。
- *32：高レベル廃液混合槽凝縮器()を示す。
- *33：供給液槽凝縮器()を示す。
- *34：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *35：当該ラインについては、主配管に該当しないため、記載の適正化を行う。

1.1.2.6.4 不溶解残渣廃液廃ガス処理系

- ・常設
- (1) 容器

			変更前	変更後
名称			デミスタ ■■■■■	
種類	—		横置円筒形	
容量	m ³ /h/個 [normal]		■■■■■	変更なし
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径*3	mm		
	入口管台厚さ*3	mm		
	出口管台外径*4	mm		
	出口管台厚さ*4	mm		
	全長	mm		
	高さ*5	mm		
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
個数	—		1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	不溶解残渣廃液 廃ガス処理系	
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m*6	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*7	—
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—*7	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*8	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*8	—

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には ■■■■■ と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安(核規)第 538 号にて認可された設工認の添付図面

「第 3.2.1.2.6.2-3 図 デミスタ () の構造図 管台一覧表 P1」
を示す。

*4 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安 (核規) 第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.2-3 図 デミスタ () の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*5 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*8 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*9 : 先端管台の中心位置までの高さを示す。

		変更前	変更後	
名称		廃ガス洗浄塔 ■■■■■	変更なし	
種類	—	たて置円筒形 (棚段塔)		
容量	m ³ /h/個 [normal]	■■■■■		
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	上部胴内径			mm
	本体胴内径			mm
	上部胴板厚さ			mm
	本体胴板厚さ			mm
	上部胴上部鏡板厚さ			mm
	上部胴上部鏡板 中央部内半径			mm
	上部胴上部鏡板 隅の丸み半径			mm
	円すい胴板厚さ			mm
	本体胴下部鏡板厚さ			mm
	本体胴下部鏡板 中央部内半径			mm
	本体胴下部鏡板 隅の丸み半径			mm
	入口管台外径 ^{*3}			mm
	入口管台厚さ ^{*3}			mm
	出口管台外径 ^{*4}			mm
	出口管台厚さ ^{*4}			mm
	高さ ^{*5}			mm
主要材料	上部胴上部鏡板			—
	上部胴板			—
	円すい胴板			—
	本体胴板			—
	本体胴下部鏡板			—
個数	—		1	

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	不溶解残渣廃液 廃ガス処理系
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m*6
	溢水防護上の 区画番号	—	—*7
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*7
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*8
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*8

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

■■■■■と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.2-1図 廃ガス洗浄塔（■■■■■）の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.2-1図 廃ガス洗浄塔（■■■■■）の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) 熱交換器

			変更前	変更後	
名称			凝縮器		
種類		—	たて置多管式		
容量	設計熱交換量	kW/個	[Redacted]	変更なし	
最高使用圧力	管側	MPa			
	胴側	kPa			
最高使用温度	管側	℃			
	胴側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	ジャケット幅			mm
		ジャケット高さ			mm
		ジャケット厚さ			mm
		ジャケット長さ			mm
	胴側	胴長さ			mm
		胴幅			mm
		胴板厚さ			mm
		入口管台外径*5			mm
		入口管台厚さ*5	mm		
		出口管台外径*6	mm		
		出口管台厚さ*6	mm		
		管板厚さ	mm		
	伝熱管外径	mm			
	伝熱管厚さ	mm			
高さ*7	mm				
主要材料	管側ジャケット	—			
	胴側胴板	—			
	管板	—			
	伝熱管	—			
個数		—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	不溶解残渣廃液 廃ガス処理系		
	設置床	—	T. M. S. L. [Redacted] m*8		
	溢水防護上の区画番号	—	—*9	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*9	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*10	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*10	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [Redacted] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.2-2 図 凝縮器（[REDACTED]）の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.2-2 図 凝縮器（[REDACTED]）の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			第 1, 第 2 加熱器 [REDACTED]	変更なし
種類		—	横置円筒形(電気ヒータ)	
容量	設計熱交換量	kW/個	[REDACTED]	
最高使用圧力		kPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	円すい胴板厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*3}	mm		
	入口管台厚さ ^{*3}	mm		
	出口管台外径 ^{*4}	mm		
	出口管台厚さ ^{*4}	mm		
	全長	mm		
高さ ^{*5}	mm			
主要材料	胴板	—		
	円すい胴板	—		
個数		—	1 ^{*9}	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	不溶解残渣廃液 廃ガス処理系	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m ^{*6}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*7}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*8}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*8}	—

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。
記載内容は、SI 単位のみを示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安(核規)第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.2.6.2-6 図 第 1, 第 2 加熱器 ([REDACTED]) の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安(核規)第 538 号にて認可された設工認の添付図面

「第 3.2.1.2.6.2-6 図 第 1, 第 2 加熱器 () の構造図 管台一
覧表 P2」を示す。

- *5 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *6 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計
図書による。
- *7 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *8 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *9 : 容器本体の個数を示す。 ()

(3) ファン

			変更前	変更後		
名称			排風機 [redacted]*2			
排風機	種類	—	ルーツ式	変更なし		
	最高使用圧力	kPa	[redacted]			
	最高使用温度	℃	[redacted]			
	容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]			
	主要寸法	吸込口径	mm		[redacted]	
		吐出口径	mm		[redacted]	
		たて	mm		[redacted]	
		横	mm		[redacted]	
		高さ*3	mm		[redacted]	
	主要材料	ケーシング	—		[redacted]	
	個数	—	2(予備1)*4			
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		不溶解残渣廃液 廃ガス処理系	
		設置床	—		[redacted] T. M. S. L. [redacted]m*5	
溢水防護上の 区画番号		—	—	[redacted]		
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [redacted]m 以上		
化学薬品防 護上の区画 番号		—	—	[redacted]		
化学薬品防 護上の配慮 が必要な高 さ		—	—	T. M. S. L. [redacted]m 以上		
原動機	種類	—	誘導電動機*5	変更なし		
	出力	kW/個	[redacted]			
	個数	—	[redacted]*5			
	取付箇所	—	排風機と同じ*5			

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「排風機 A, B ([redacted])」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：共通ベースの寸法を示す。

(4) フィルタ

			変更前	変更後
名称			第1, 第2高性能粒子フィルタ [redacted] *2	変更なし
種類	—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)		
最高使用圧力	kPa	[redacted]		
最高使用温度	℃	[redacted]		
容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]		
効率*4	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径*5	mm		
	入口管台厚さ*5	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
高さ*7	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	ろ材	—		
遮蔽体	厚さ	mm		
	主要材料	—		
個数	—	4(予備 2) *8		

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	不溶解残渣廃液廃ガス処理系	変更なし
	設置床	—	██████████ T. M. S. L. ██████████ m ^{*9}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *10	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *11	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1, 第2 高性能粒子フィルタ A, B (██████████)」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には██████████と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.2-4図 第1, 第2 高性能粒子フィルタ A (██████████) の構造図 管台一覧表 P1」及び「第3.2.1.2.6.2-5図 第1, 第2 高性能粒子フィルタ B (██████████) の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.2-4図 第1, 第2 高性能粒子フィルタ A (██████████) の構造図 管台一覧表 P2」及び「第3.2.1.2.6.2-5図 第1, 第2 高性能粒子フィルタ B (██████████) の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には██████████と記載。

*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*12：██████████

*13：██████████

*14



			変更前	変更後
名称			よう素フィルタ [redacted] *2	変更なし
種類	—	たて置円筒形		
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率*3	%			
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径*4	mm		
	入口管台厚さ*4	mm		
	出口管台外径*5	mm		
	出口管台厚さ*5	mm		
	高さ*6	mm		
フィルタベッド厚	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	ろ材	—		
遮蔽体	厚さ	mm		
	主要材料	—		
個数	—	3(予備1)*7		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	不溶解残渣廃液 廃ガス処理系	
	設置床	—	T. M. S. L. [redacted] m*8	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*9	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*10	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素フィルタ A,B,C
[redacted]) 」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素除去効率」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.2-7図 よう素フィルタA () の構造図 管台一覧表 P1」,「第3.2.1.2.6.2-8図 よう素フィルタB () の構造図 管台一覧表 P1」及び「第3.2.1.2.6.2-9図 よう素フィルタC () の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.2.6.2-7図 よう素フィルタA () の構造図 管台一覧表 P2」,「第3.2.1.2.6.2-8図 よう素フィルタB () の構造図 管台一覧表 P2」及び「第3.2.1.2.6.2-9図 よう素フィルタC () の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には () と記載。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

(5) 主配管

変更前						変更後										
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料					
不溶解残渣廃液廃ガス処理系						不溶解残渣廃液廃ガス処理系	変更なし									
							凝縮器■■■■■■■■■■～デミスタ■■■■■■■■■■					変更なし				
							デミスタ■■■■■■■■■■～第1, 第2高性能粒子フィルタ■■■■■■■■■■*3					変更なし				
							デミスタ■■■■■■■■■■～第1, 第2高性能粒子フィルタ■■■■■■■■■■*4					変更なし				
							第1, 第2高性能粒子フィルタ■■■■■■■■■■～第1, 第2加熱器■■■■■■■■■■*5					変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
不溶解残渣廃液廃ガス処理系	第1, 第2加熱器 [redacted] ~ よう素フィルタ [redacted] *6					変更なし					
	よう素フィルタ [redacted] ~ 排風機 [redacted] *7*8										
	排風機 [redacted] ~ 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系 *9										
	第1不溶解残渣廃液貯槽 [redacted] 第2不溶解残渣廃液貯槽 [redacted] ~ 廃ガス洗浄塔 [redacted] *11										
	塔槽類廃ガス処理第4セル漏えい液受皿 [redacted] ~ 放射性配管分岐セル漏えい液受皿 [redacted] *15										
	アルカリ濃縮廃液中和槽 [redacted] ~ 廃ガス洗浄塔 [redacted] 入口配管合流点 *15										
不溶解残渣廃液廃ガス処理系						変更なし					

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「XXXXXXXXXX」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「デミスタXXXXXXXXXX～XXXXXXXXXX」と記載。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「XXXXXXXXXX～第1, 第2高性能粒子フィルタA, B, XXXXXXXXXX」と記載。
 - *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1, 第2高性能粒子フィルタA, B, XXXXXXXXXX～第1, 第2加熱器XXXXXXXXXX」と記載。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1, 第2加熱器XXXXXXXXXX～よう素フィルタA, B, C, XXXXXXXXXX」と記載。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「よう素フィルタA, B, C, XXXXXXXXXX～XXXXXXXXXX」と記載。
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「XXXXXXXXXX～排風機A, B, XXXXXXXXXX」と記載。
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「排風機A, B, XXXXXXXXXX～高レベル濃縮廃液廃ガス処理系」と記載。
 - *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「XXXXXXXXXX」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄塔XXXXXXXXXX入口配管」, 「第1不溶解残渣廃液貯槽XXXXXXXXXXまわり」及び「第2不溶解残渣廃液貯槽XXXXXXXXXXまわり」と記載。
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「XXXXXXXXXX」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *13：廃ガス冷却器XXXXXXXXXXを示す。
 - *14：ダストフィルタXXXXXXXXXXを示す。
 - *15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - *16：単位は(MPa)

1.1.3 高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備

- ・常設
 - (1) 容器

			変更前	変更後
名称			廃ガス洗浄器 [REDACTED]*2	変更なし
種類		—	たて置円筒形 (充てん塔)	
容量	処理容量	m ³ /h/個 [normal]	[REDACTED]	
	設計熱交換量	kW/個		
最高使用圧力	管側	MPa		
	胴側	kPa		
最高使用温度	管側	℃		
	胴側	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	平板厚さ	mm		
	冷却コイル外径	mm		
	冷却コイル厚さ	mm		
	入口管台外径*6	mm		
	入口管台厚さ*6	mm		
	入口管台外径*7	mm		
	入口管台厚さ*7	mm		
	入口管台外径*8	mm		
	入口管台厚さ*8	mm		
	出口管台外径*9	mm		
	出口管台厚さ*9	mm		
出口管台外径*10	mm			
出口管台厚さ*10	mm			
高さ*11	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料	胴板	—	[REDACTED]	変更なし
	鏡板	—		
	平板	—		
	冷却コイル	—		
個数		—	2* ¹²	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m* ¹³	
	溢水防護上の区画番号	—	—* ¹⁴	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—* ¹⁴	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ¹⁵	—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—* ¹⁵	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「廃ガス洗浄器 A, B [REDACTED]」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 [REDACTED] [REDACTED]」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.3-1 図 廃ガス洗浄器 A [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P4」及び「第 3.2.1.3-2 図 廃ガス洗浄器 B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.3-1 図 廃ガス洗浄器 A [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P13」及び「第 3.2.1.3-2 図 廃ガス洗浄器 B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P13」を示す。

- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-1 図 廃ガス洗浄器 A [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P8, P10」及び「第3.2.1.3-2 図 廃ガス洗浄器 B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P8, P10」を示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-1 図 廃ガス洗浄器 A [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P7」及び「第3.2.1.3-2 図 廃ガス洗浄器 B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P7」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-1 図 廃ガス洗浄器 A [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P9, P11」及び「第3.2.1.3-2 図 廃ガス洗浄器 B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P9, P11」を示す。
- *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。
- *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *14：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *15：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			第1, 第2吸収塔	
種類	—		たて置円筒形 (棚段塔)	
容量	m ³ /h/個 [normal]			
最高使用圧力	管側	MPa		
	胴側	kPa		
最高使用温度	管側	°C		
	胴側	°C		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	胴内径	mm		変更なし
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	伝熱管外径	mm		
	伝熱管厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*4}	mm		
	入口管台厚さ ^{*4}	mm		
	入口管台外径 ^{*5}	mm		
	入口管台厚さ ^{*5}	mm		
	入口管台外径 ^{*6}	mm		
	入口管台厚さ ^{*6}	mm		
	出口管台外径 ^{*7}	mm		
	出口管台厚さ ^{*7}	mm		
	出口管台外径 ^{*8}	mm		
	出口管台厚さ ^{*8}	mm		
高さ ^{*9}	mm			
主要材料	上部鏡板	—		
	胴板	—		
	下部鏡板	—		
	伝熱管	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m ^{*10}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*11}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*11}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*12}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*12}	—

注記 *1 : 公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。
記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED]
[REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
1 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面
「第 3.2.1.3-3 図 第 1 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P1」及
び「第 3.2.1.3-4 図 第 2 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P1」
を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
1 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面
「第 3.2.1.3-3 図 第 1 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P8」及
び「第 3.2.1.3-4 図 第 2 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P8」
を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
1 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面
「第 3.2.1.3-3 図 第 1 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P4」及
び「第 3.2.1.3-4 図 第 2 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P4」
を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
1 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面
「第 3.2.1.3-3 図 第 1 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P2」及
び「第 3.2.1.3-4 図 第 2 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P2」
を示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
1 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面
「第 3.2.1.3-3 図 第 1 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P5」及
び「第 3.2.1.3-4 図 第 2 吸収塔 [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P5」
を示す。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計
図書による。
- *11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			ルテニウム吸着塔 [redacted] ^{*2}	
種類		—	たて置円筒形 (充てん塔)	
最高使用圧力		kPa	[redacted]	変更なし
最高使用温度		℃		
容量		m ³ /h/個 [normal]		
効率 ^{*4}		%		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	平板厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*5}	mm		
	入口管台厚さ ^{*5}	mm		
	出口管台外径 ^{*6}	mm		
	出口管台厚さ ^{*6}	mm		
高さ ^{*7}	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	平板	—		
	フランジ	—		
	ろ材	—		
個数		—	2(予備1) ^{*8}	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m ^{*9}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*10}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*10}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*11}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*11}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ルテニウム吸着塔 A, B [redacted]」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [redacted] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ルテニウム除去効率」と記載。

- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-7図 ルテニウム吸着塔 A,B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-7図 ルテニウム吸着塔 A,B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			純水中間貯槽 ■■■■■	
種類	—		横置円筒形	
容量	m ³ /個		■■■■■	変更なし
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	胴内径*2	mm		
	胴板厚さ*3	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
	長さ*4	mm		
高さ*5	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
個数	—		1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*7	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*8	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*8	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*9	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「L」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *10：上部管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後	
名称			安全冷水膨張槽 ■■■■■*2		
種類	—	たて置円筒形			
容量	m ³ /個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa				
最高使用温度	°C				
主要寸法	本体胴内径*3				mm
	本体胴板厚さ*4				mm
	本体胴下部鏡板厚さ				mm
	本体胴下部鏡板中央部内半径				mm
	本体胴下部鏡板隅の丸み半径				mm
	下部胴外径				mm
	下部胴板厚さ				mm
	下部胴下部平板厚さ				mm
	出口管台外径*8				mm
	出口管台厚さ*8				mm
高さ*5	mm				
主要材料	本体胴板*6	—			
	下部胴板	—			
	下部鏡板*7	—			
個数	—	2			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化 廃ガス処理設備		
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■■m*9	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■■m*9	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷水 A, B 膨張槽 ■■■■■ ■■■■■」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「胴板」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鏡板」と記載。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

(2) 熱交換器

			変更前	変更後	
名称			凝縮器	変更なし	
種類		—	たて置多管式		
容量	設計熱交換量	kW/個			
最高使用圧力	管側	kPa			
	胴側	MPa			
最高使用温度	管側	℃			
	胴側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		鏡板厚さ			mm
		鏡板中央部内半径			mm
		鏡板隅の丸み半径			mm
		入口管台外径 ^{*5}			mm
		入口管台厚さ ^{*5}			mm
		出口管台外径 ^{*6}			mm
	出口管台厚さ ^{*6}	mm			
	胴側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		入口管台外径 ^{*7}			mm
		入口管台厚さ ^{*7}		mm	
		出口管台外径 ^{*8}	mm		
出口管台厚さ ^{*8}		mm			
管板厚さ		mm			
伝熱管外径		mm			
伝熱管厚さ		mm			
高さ ^{*9}		mm			
主要材料	管側	胴板	—		
		鏡板	—		
	胴側	胴板	—		
	管板		—		
	伝熱管		—		

(つづき)

		変更前	変更後
	個数	—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化 廃ガス処理設備
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*10
	溢水防護上の区画番号	—	— *11
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *11
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *12
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *12

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には■■■■■と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には■■■■■と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には■■■■■と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-5図 凝縮器■■■■■の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-5図 凝縮器■■■■■の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-5図 凝縮器■■■■■の構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-5図 凝縮器■■■■■の構造図 管台一覧表 P6」を示す。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計
図書による。

*11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			加熱器 [redacted] *2	変更なし
種類		—	たて置円筒形 (電気ヒータ)	
容量	設計熱交換量	kW/個	[redacted]	
最高使用圧力		kPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板長径	mm		
	鏡板短径の2分の1	mm		
	管板厚さ	mm		
	伝熱管外径	mm		
	伝熱管厚さ	mm		
	入口管台外径*5	mm		
	入口管台厚さ*5	mm		
出口管台外径*6	mm			
出口管台厚さ*6	mm			
高さ*7	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	管板	—		
	フランジ	—		
	伝熱管	—		
個数		—	2(予備1)*8	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化 廃ガス処理設備	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m ^{*9}	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「加熱器 A, B ■■■■■」
と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には ■■■■■
と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には ■■■■■ と記
載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
1 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面
「第 3.2.1.3-9 図 加熱器 A, B ■■■■■ の構造図 管台一覧表
P1」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
1 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面
「第 3.2.1.3-9 図 加熱器 A, B ■■■■■ の構造図 管台一覧表
P2」を示す。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には ■■■■■
■■■■■ と記載。

*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図
書による。

*10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(3) ポンプ
a. ポンプ

			変更前	変更後	
名称			安全冷水ポンプ [redacted] [redacted]*2		
ポンプ	種類	—	うず巻形	変更なし	
	容量*3	m ³ /h/個	[redacted]		
	揚程	m	[redacted]		
	最高使用圧力	MPa	[redacted]		
	最高使用温度	℃	[redacted]		
	主要寸法	吸込口径	mm		[redacted]
		吐出口径	mm		[redacted]
		たて	mm		[redacted]
		横	mm		[redacted]
	主要材料	高さ*4	mm		[redacted]
		ケーシング	—		[redacted]
	個数		—		4(予備2)
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備
		設置床	—		[redacted] T. M. S. L. [redacted] m*5
溢水防護上の 区画番号		—	—		
溢水防護上の 配慮が必要 な高さ		—	—		
化学薬品防 護上の区画 番号		—	—		
化学薬品防 護上の配慮 が必要 な高さ		—	—		
			T. M. S. L. [redacted] m 以上	T. M. S. L. [redacted] m 以上	
			T. M. S. L. [redacted] m 以上	T. M. S. L. [redacted] m 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*5	変更なし	
	出力	kW/個	[redacted]		
	個数	—	[redacted]		
	取付箇所	—	ポンプと同じ*5		

注記 *1：公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷水 A ポンプ A, B [REDACTED] [REDACTED]」及び「安全冷水 B ポンプ A, B [REDACTED] [REDACTED]」と記載。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(4) ファン

			変更前	変更後		
名称			第1排風機 [redacted]*2			
排風機	種類	—	ルーツ式			
	最高使用圧力	kPa	[redacted]			
	最高使用温度	℃	[redacted]			
	容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]			
	主要寸法	吸込口径	mm	[redacted]		
		吐出口径	mm	[redacted]		
		たて	mm	[redacted]		
		横	mm	[redacted]		
		高さ*3	mm	[redacted]		
	主要材料	ケーシング	—	[redacted]		
	個数		—	2(予備1)*4		
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備		
		設置床	—	T. M. S. L. [redacted]m*5	T. M. S. L. [redacted]m*5	
		溢水防護上の 区画番号	—	—		
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [redacted]m 以上	T. M. S. L. [redacted]m 以上	
化学薬品防 護上の区画 番号		—	—			
化学薬品防 護上の配慮 が必要な高 さ		—	—	T. M. S. L. [redacted]m 以上	T. M. S. L. [redacted]m 以上	
種類		—	誘導電動機*5			
出力	kW/個	[redacted]				
個数	—	[redacted]*5				
取付箇所	—	排風機と同じ*5				

注記 *1：公称値を示す。

- *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1排風機 A, B [REDACTED]」と記載。
- *3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。
- *5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6: 共通ベースの寸法を示す。

			変更前	変更後		
名称			第2排風機 [redacted]*2			
排風機	種類	—	ルーツ式			
	最高使用圧力	kPa	[redacted]			
	最高使用温度	℃	[redacted]			
	容量	m ³ /h/個 [normal]	[redacted]			
	主要寸法	吸込口径	mm	[redacted]		
		吐出口径	mm	[redacted]		
		たて	mm	[redacted]		
		横	mm	[redacted]		
		高さ*3	mm	[redacted]		
	主要材料	ケーシング	—	[redacted]		
	個数	—	2(予備1)*4			
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備 [redacted]		
		設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m*5	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m*5	
		溢水防護上の 区画番号	—	—		
溢水防護上の 配慮が必要な 高さ		—	—	T. M. S. L. [redacted] m 以上	T. M. S. L. [redacted] m 以上	
化学薬品防 護上の区画 番号		—	—			
化学薬品防 護上の配慮 が必要な高 さ		—	—	T. M. S. L. [redacted] m 以上	T. M. S. L. [redacted] m 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*5			
	出力	kW/個	[redacted]			
	個数	—	[redacted]*5			
	取付箇所	—	排風機と同じ*5			

注記 *1：公称値を示す。

- *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第2排風機 A, B [REDACTED]」と記載。
- *3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。
- *5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6: 共通ベースの寸法を示す。

(5) フィルタ

			変更前	変更後
名称			ミストフィルタ ■■■■■*2	
種類	—		たて置円筒形 (ミストフィルタ 1段内蔵式)	
最高使用圧力	kPa		■■■■■	変更なし
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率*4	%			
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	平板厚さ	mm		
	入口管台外径*5	mm		
	入口管台厚さ*5	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
高さ*7	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	フランジ	—		
	平板	—		
	ろ材	—		
個数	—	2(予備1)*8		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化 廃ガス処理設備	
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*9	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ミストフィルタ A, B ■■■■」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.3-6 図 ミストフィルタ A, B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P 1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.3-6 図 ミストフィルタ A, B [REDACTED] の構造図 管台一覧表 P 2」を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [REDACTED] と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			第1 高性能粒子フィルタ (XXXXXXXXXX)*2	
種類		—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1 段内蔵式)	
最高使用圧力		kPa		変更なし
最高使用温度		℃		
容量		m ³ /h/個 [normal]		
効率*4	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	平板厚さ	mm		
	入口管台外径*5	mm		
	入口管台厚さ*5	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
高さ*7	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	平板	—		
	フランジ	—		
	ろ材	—		
個数		—	2(予備1)*8	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m*9	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	—

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1高性能粒子フィルタ A,B()」と記載。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-8図 第1高性能粒子フィルタ A,B()の構造図管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-8図 第1高性能粒子フィルタ A,B()の構造図管台一覧表 P2」を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

		変更前	変更後	
名称		よう素フィルタ (XXXXXXXXXX)*2	変更なし	
種類	—	たて置円筒形 (よう素フィルタ 1段内蔵式)		
最高使用圧力	kPa	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>		
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率*4	%			
主要寸法	胴内径			mm
	胴板厚さ			mm
	鏡板厚さ			mm
	鏡板中央部内半径			mm
	鏡板隅の丸み半径			mm
	平板厚さ			mm
	入口管台外径*5			mm
	入口管台厚さ*5			mm
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
	高さ*7	mm		
フィルタベッド厚	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	平板	—		
	フランジ	—		
	ろ材	—		
個数	—	2(予備 1)*8		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m*9	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	—

注記 *1：公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素フィルタ A,B ()」と記載。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「よう素除去効率」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.3-10 図 よう素フィルタ A,B () の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.3-10 図 よう素フィルタ A,B () の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			第2高性能粒子フィルタ (XXXXXXXXXX)*2	変更なし
種類	—	たて置円筒形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)		
最高使用圧力	kPa	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>		
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率*4	単品		%	
	総合		%	
主要寸法	胴内径		mm	
	胴板厚さ		mm	
	鏡板厚さ		mm	
	鏡板中央部内半径		mm	
	鏡板隅の丸み半径		mm	
	平板厚さ		mm	
	入口管台外径*5	mm		
	入口管台厚さ*5	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
高さ*7	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	平板	—		
	フランジ	—		
	ろ材	—		
個数	—	2(予備1)*8		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m*9	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*10	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	—

注記 *1：公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第2 高性能粒子フィルタ A,B ()」と記載。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-11 図 第2 高性能粒子フィルタ A,B () の構造図管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-11 図 第2 高性能粒子フィルタ A,B () の構造図管台一覧表 P2」を示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			第3高性能粒子フィルタ () ^{*2}	変更なし
種類	—	箱形 (高性能粒子フィルタ 1段内蔵式)		
最高使用圧力	kPa	[Redacted]		
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率 ^{*3}	単品		%	
	総合		%	
主要寸法	たて ^{*4}		mm	
	横 ^{*5}		mm	
	側壁板厚さ		mm	
	底板厚さ		mm	
	ふた板厚さ		mm	
	入口管台外径 ^{*6}	mm		
	入口管台厚さ ^{*6}	mm		
	出口管台外径 ^{*7}	mm		
	出口管台厚さ ^{*7}	mm		
高さ ^{*8}	mm			
主要材料	側壁板	—		
	底板	—		
	ふた板	—		
	ろ材	—		
個数	—	2(予備1) ^{*9}		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m ^{*10}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*11}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*11}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*12}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*12}	—

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第3高性能粒子フィルタ A, B()」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全長」と記載。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-13 図 第3 高性能粒子フィルタ A,B () の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.3-13 図 第3 高性能粒子フィルタ A,B () の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「
」と記載。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(6) 主要弁

			変更前	変更後
名称			主要弁 () ^{*2}	変更なし
種類	—		止め弁	
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	呼び径	—		
	弁箱厚さ	mm		
	弁ふた厚さ	mm		
主要材料	弁箱	—		
	弁ふた	—		
	弁体	—		
駆動方法		—		
個数		—	8	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化廃ガス処理設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m ^{*3}	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m 以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*4}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*4}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1, 第2 冷水停止弁 A~D()」
()」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書
による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(7) 主配管

変更前						変更後								
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料			
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備							ガラス溶融炉 () ～廃ガス洗浄器 () *2*							変更なし
							3*4*5							変更なし
							廃ガス洗浄器 () ～第1吸収塔 () *6							変更なし
							第1吸収塔 ()～第2吸収塔 ()							変更なし
							第2吸収塔 ()～凝縮器 ()							変更なし
							凝縮器 ()～ミストフィルタ () *7							変更なし
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備							ミストフィルタ ()～ ルテニウム吸着塔 () *							変更なし
8*9							変更なし							

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	ルテニウム吸着塔 () ~ 第1高性能粒子フィルタ () *10	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし						
	ミストフィルタ () ~ ルテニウム吸着塔 () *11*12					変更なし						
	ルテニウム吸着塔 () ~ 第1高性能粒子フィルタ () *13					変更なし						
	第1高性能粒子フィルタ () ~ 加熱器 () *14					変更なし						
	加熱器 () ~ よう素フィルタ () *15					変更なし						
	よう素フィルタ () ~ 第2高性能粒子フィルタ () *16*17					変更なし						
	加熱器 () ~ よう素フィルタ () *19					変更なし						
よう素フィルタ () ~ 第2高性能粒子フィルタ () *20*21	変更なし											
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	[REDACTED]						変更なし					
	[REDACTED]						変更なし					
	[REDACTED]						変更なし					
	[REDACTED]						変更なし					
	[REDACTED]						変更なし					
	[REDACTED]						変更なし					
	[REDACTED]						変更なし					

(つづき)

変更前						変更後															
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料										
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備						第2高性能粒子フィルタ () ~ 第1排風機 () *22	変更なし														
						第1排風機 () ~ 第3高性能粒子フィルタ () *23*24*25						変更なし									
						第3高性能粒子フィルタ () ~ 第2排風機 () *26											変更なし				
						第2排風機 () ~ 高レベル濃縮廃液廃ガス処理系 *27															

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	供給槽気液分離器()～ガラス溶融炉()出口配管合流点*4*29*3 0					高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	変更なし				
	供給槽気液分離器()～ガラス溶融炉()出口配管合流点*5*31*3 2						変更なし				
	安全冷水配管ヘッダ分岐点～主要弁()*3 3						変更なし				
	主要弁()～安全冷水配管ヘッダ合流点*3 3						変更なし				
	安全冷水配管ヘッダ分岐点～廃ガス洗浄器()*34						変更なし				
	廃ガス洗浄器()への冷水						—*60				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備						安全冷水配管ヘッダ分岐点～ 廃ガス洗浄器()*35	変更なし				
						廃ガス洗浄器()への 冷水	—*60				
						純水配管ヘッダ分岐点～第1 吸収塔()*36	変更なし				
						安全冷水配管ヘッダ分岐点～ 第1吸収塔()*37	変更なし				
						第1吸収塔()への冷 水	—*60				
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備							変更なし				
							—*60				
							変更なし				
							変更なし				
							—*60				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	安全冷水配管ヘッド分岐点～第2吸収塔 () *38	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし					
	第2吸収塔 () への冷水					— *60					
	純水配管ヘッド分岐点～第2吸収塔 () *39					変更なし					
	安全冷水配管ヘッド分岐点～凝縮器 () *40					変更なし					
	凝縮器 () への冷水					— *60					
	安全冷水冷却器 () ～安全冷水Aポンプ () *42					変更なし					
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし					
						— *60					
						変更なし					
						— *60					
						変更なし					
						— *60					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備						安全冷水AポンプA, B ()まわり	— *60				
						安全冷水ポンプ ()～安全冷水配管ヘッダ*4 3	変更なし				
						安全冷水Aポンプ ()～ 及び の冷水系	— *60				
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備							— *60				
							変更なし				
							— *60				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	安全冷水配管ヘッダ～安全冷水冷却器 () *44					高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	変更なし				
	の冷水系～安全冷水A冷却器 ()						— *60				
	安全冷水膨張槽 () ～安全冷水冷却器 ()) 出口配管合流点 *45						変更なし				
	安全冷水A膨張槽 () まわり						— *60				
	安全冷水冷却器 () ～安全冷水ポンプ ()) *46						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後									
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料				
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備						安全冷水Bポンプ()まわり									
						安全冷水ポンプ()～安全冷水配管ヘッダ*4									
						安全冷水Bポンプ()～ 及び の冷水系									
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備												— *60			
															変更なし

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	安全冷水配管ヘッダ～安全冷水冷却器 () *48					高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備	変更なし				
	() 及び () の冷水系～安全冷水B冷却器 ()						— *60				
	安全冷水膨張槽 () ～安全冷水冷却器 () 出口配管合流点 *49						変更なし				
	安全冷水B膨張槽 () まわり						— *60				
	純水中間貯槽 () ～純水配管ヘッダ *50						変更なし				
	() まわり						— *60				
	廃ガス処理セル漏えい液受皿 () ～廃ガス洗浄液槽セル漏えい液受皿 () *59						変更なし				

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「～廃ガス洗浄器A()」と記載。
 - *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「～廃ガス洗浄器B()」と記載。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄器A()まわり」と記載。
 - *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄器B()まわり」と記載。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄器A, B()～第1吸収塔()」と記載。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「凝縮器()～ミストフィルタA, B()」と記載。
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ミストフィルタA()～」と記載。
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「～ルテニウム吸着塔A()」と記載。
 - *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ルテニウム吸着塔 A()～第1高性能粒子フィルタ A()」と記載。
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ミストフィルタB()～」と記載。
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「～ルテニウム吸着塔B()」と記載。
 - *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ルテニウム吸着塔B()～第1高性能粒子フィルタB()」と記載。
 - *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高性能粒子フィルタA, B()～加熱器A, B()」と記載。
 - *15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「加熱器A()～よう素フィルタA()」と記載。
 - *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「よう素フィルタA()～」と記載。
 - *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「～第2高性能粒子フィルタA()」と記載。
 - *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「加熱器B()～よう素フィルタB()」と記載。
 - *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「よう素フィルタB()～」と記載。
 - *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「～第2高性能粒子フィルタB()」と記載。
 - *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高性能粒子フィルタA, B()～第1排風機A, B()」と記載
 - *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1排風機A()～」と記載。
 - *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1排風機B()～」と記載。
 - *25：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「～第3高性能粒子フィルタA, B()」と記載。
 - *26：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第3高性能粒子フィルタA, B()～第2排風機A, B()」と記載
 - *27：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2排風機A, B()～高レベル濃縮廃液廃ガス処理系」と記載
 - *28：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *29：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「まわり」と記載。
 - *30：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「まわり」と記載。
 - *31：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「まわり」と記載。
 - *32：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「まわり」と記載。
 - *33：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ガラス熔融炉A, B()まわり」と記載。
 - *34：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄器A()への冷水」と記載。
 - *35：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「廃ガス洗浄器B()への冷水」と記載。
 - *36：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1吸収塔()への純水」と記載。
 - *37：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1吸収塔()への冷水」と記載。
 - *38：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2吸収塔()への冷水」と記載。

- *39：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2吸収塔()への純水」と記載。
- *40：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「凝縮器()への冷水」と記載。
- *41：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「()」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *42：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷水AポンプA, B()まわり」と記載。
- *43：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷水AポンプA, B()～()及び()の冷水系」と記載。
- *44：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()及び()の冷水系～安全冷水A冷却器()」と記載。
- *45：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷水A膨張槽()まわり」と記載。
- *46：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷水BポンプA, B()まわり」と記載。
- *47：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷水BポンプA, B()～()及び()の冷水系」と記載。
- *48：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()及び()の冷水系～安全冷水B冷却器()」と記載。
- *49：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷水B膨張槽()まわり」と記載。
- *50：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()まわり」と記載。
- *51：単位は (MPa)
- *52：当該機器は、ガラス熔融炉の設計に合わせ、機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力を設定しないが、ここでは、接続される配管の最高使用圧力を () 内に示す。
- *53：ガラス熔融炉廃ガス冷却器()を示す。本機器は、高レベル廃液ガラス固化設備である。
- *54：ルテニウム吸着塔加熱器()を示す。
- *55：ルテニウム吸着塔加熱器()を示す。
- *56：よう素フィルタ冷却器()を示す。
- *57：よう素フィルタ冷却器()を示す。
- *58：第1排風機冷却器()を示す。
- *59：本設備は既存の設備である。
- *60：当該ラインについては、主配管に該当しないため、記載の適正化を行う。

1.1.4 換気設備

1.1.4.3 前処理建屋換気設備

・常設

(1) ファン

			変更前	変更後	
名称			建屋排風機 ■■■■■*2		
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個	■■■■■		
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ			mm
	主要材料*4	ケーシング			—
	個数	—	2		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		前処理建屋換気設備*3
		設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*3
溢水防護上の 区画番号		—	—	■■■■■*6 ■■■■■*7	
溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—	T. M. S. L. ■■■■■m以上 T. M. S. L. ■■■■■m以上*6 T. M. S. L. ■■■■■m以上*7	
化学薬品防護上の 区画番号		—	—*5	—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*5	—	
原動機	種類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出力	kW/個	■■■■■*1*3		
	個数	—	2*3		
	取付箇所	—	排風機と同じ*3		

注記 *1：公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「建屋排風機A, B, C [REDACTED] [REDACTED]」と記載。
- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *6：建屋排風機B 極数変換盤を示す。
- *7：建屋排風機A 極数変換盤を示す。

			変更前	変更後	
名称			建屋排風機 [redacted]*2		
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個	[redacted]		
	主要寸法	吸込口径	mm		[redacted]
		吐出口径	mm		[redacted]
		たて	mm		[redacted]
		横	mm		[redacted]
	高さ	mm	[redacted]		
	主要材料*4	ケーシング	—	[redacted]	
	個数	—	1		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋換気設備*3	
		設置床	—	[redacted] T. M. S. L [redacted]m*3	
溢水防護上の 区画番号		—	—	[redacted]	
溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—	T. M. S. L [redacted]m以上	
化学薬品防護上の 区画番号		—	—*5	—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*5	—	
原動機	種類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出力	kW/個	[redacted]*1*3		
	個数	—	1*3		
	取付箇所	—	排風機と同じ*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「建屋排風機 A, B, C [redacted] [redacted]」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			セル排風機 [redacted]*2		
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個	[redacted]		
	主要寸法	吸込口径	mm		[redacted]
		吐出口径	mm		[redacted]
		たて	mm		[redacted]
		横	mm		[redacted]
		高さ*4	mm		[redacted]
	主要材料*5	ケーシング	—		[redacted]
	個数	—	2*6		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		前処理建屋換気設備*3
		設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]m*3	
		溢水防護上の 区画番号	—	—	[redacted]*8 [redacted]*9
		溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [redacted]m以上 T. M. S. L. [redacted]m以上*8 T. M. S. L. [redacted]m以上*9
		化学薬品防護上の 区画番号	—	—*7	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*7	—	
原動機	種類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出力	kW/個	[redacted]*1*3		
	個数	—	1(予備1)*6		
	取付箇所	—	排風機と同じ*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「セル排風機A, B [REDACTED]」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*8：建屋排風機B 極数変換盤を示す。

*9：建屋排風機A 極数変換盤を示す。

			変更前	変更後	
名称			溶解槽セル排風機 [redacted]*2		
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個	[redacted]		
	主要寸法	吸込口径	mm		[redacted]
		吐出口径	mm		[redacted]
		たて	mm		[redacted]
		横	mm		[redacted]
		高さ*4	mm		[redacted]
	主要材料*5	ケーシング	—		[redacted]
	個数	—	2(予備2)*6		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		前処理建屋換気設備*3
		設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]m*3	
		溢水防護上の 区画番号	—	—	[redacted]*8 [redacted]*9
溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [redacted]m以上 T. M. S. L. [redacted]m以上 *8 T. M. S. L. [redacted]m以上 *9	
化学薬品防護上の区 画番号		—	—*7	—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*7	—	
原動機	種類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出力	kW/個	[redacted]*1*3		
	個数	—	2(予備2)*6		
	取付箇所	—	排風機と同じ*3		

注記 *1：公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「溶解槽セルA排風機A， B [REDACTED] [REDACTED]」，「溶解槽セルB排風機A， B [REDACTED] [REDACTED]」と記載。
- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。
- *7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *8：溶解槽セルA排風機B 極数変換盤及び溶解槽セルB排風機B 極数変換盤を示す。
- *9：溶解槽セルA排風機A 極数変換盤及び溶解槽セルB排風機A 極数変換盤を示す。

(2) フィルタ

			変更前	変更後
名称			建屋排気フィルタユニット	変更なし
種類			高性能粒子フィルタ 1段内蔵形	
最高使用圧力		MPa	[Redacted]	
容量		m ³ /h/個		
効率* ²	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	全長	mm		
	全幅	mm		
	全高	mm		
	厚さ	mm		
主要材料* ³	ケーシング	—		
	ろ材	—		
個数		—	18* ⁴	

(つづき)

取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋換気設備*7	
	設置床	—	■ T. M. S. L ■ m*7	
	溢水防護上の区画番号	—	—*6	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*6	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■ m 以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「19(内1個予備)」と記載。

*5：本機器は、大気圧付近の圧力で使用するフィルタユニットであり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、「—」とする。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称			建屋排気フィルタユニット ■■■■■	
種類		—	高性能粒子フィルタ 1段内蔵形	
最高使用圧力		MPa	■■■■■	変更なし
容量		m ³ /h/個		
効率* ²	単品	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	全長	mm		
	全幅	mm		
	全高	mm		
主要材料* ³	ケーシング	—		
	ろ材			
個数		—	1* ⁴	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋換気設備* ⁷	
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m* ⁷	
	溢水防護上の区画番号	—	—* ⁶	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁶	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L ■■■■■m 以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「19(内1個予備)」と記載。

- *5：本機器は、大気圧付近の圧力で使用するフィルタユニットであり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、「－」とする。
- *6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称			セル排気フィルタユニット [REDACTED]	
種類		—	高性能粒子フィルタ 1段内蔵形	
最高使用圧力		MPa	[REDACTED]	
容量		m ³ /h/個	[REDACTED]	
効率* ²	単品	%	[REDACTED]	
	総合	%	[REDACTED]	
主要寸法	吸込口径	mm	[REDACTED]	変更なし
	吐出口径	mm	[REDACTED]	
	全長	mm	[REDACTED]	
	全幅	mm	[REDACTED]	
	全高	mm	[REDACTED]	
主要材料* ³	ケーシング	—	[REDACTED]	
	ろ材	—	[REDACTED]	
個数		—	4(予備1)* ⁴	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	前処理建屋換気設備* ⁷	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]m* ⁷	
	溢水防護上の区画番号	—	—* ⁶	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁶	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	[REDACTED]
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [REDACTED]m以上

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4(内1個予備)」と記載。
- *5：本機器は、大気圧付近の圧力で使用するフィルタユニットであり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、「－」とする。
- *6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後	
名称			溶解槽セル 排気フィルタユニット [redacted]*2	変更なし	
種類		—	高性能粒子フィルタ 1段内蔵形		
容量		m ³ /h/個	[redacted]		
効率*4	単品		%		
	総合		%		
主要寸法	吸込口径		mm		
	吐出口径		mm		
	全長		mm		
	全幅		mm		
	全高		mm		
	厚さ		mm		
主要材料*5	ケーシング		—		
	ろ材		—		
個数			—		6(予備2)*6
取付箇所	系統名(ライン名)		—	前処理建屋換気設備*3	
	設置床		—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]m*3	
	溢水防護上の 区画番号		—	—*7	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*7	
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—	[redacted]
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [redacted]m 以上

注記 *1：公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「溶解槽セルA排気フィルタユニットA～D [REDACTED]」, 「溶解槽セルB排気フィルタユニットA～D [REDACTED]」と記載。
- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4(内1個予備)」と記載。
- *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理 建屋換気設備	[Redacted]					前処理 建屋換気設備	変更なし				
建屋排気フィルタユニット [Redacted] [Redacted] [Redacted] ~ 建屋排風機 [Redacted] *						2					

変更前						変更後										
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料					
前処理 建屋換気設備						建屋排風機■■■■■■■■■■ ～建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■*2	変更なし									
						建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■～ 建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■出口ライン合流点 *2						変更なし				
						建屋排風機■■■■■■■■■■～ 建屋排風機■■■■■■■■■■出口ライン 合流点*2										
						建屋排風機■■■■■■■■■■出口ライン 合流点～ 建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■*2	建屋排風機■■■■■■■■■■出口 ライン合流点～ 建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■*3				変更なし					
						建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■～ 建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■出口ライン合流点 *2	建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■～ 建屋排風機出口逆止ダンパ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■出口 ライン合流点*3							変更なし		

変更前						変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料		
前処理建屋換気設備	[Redacted]					建屋排風機出口逆止ダンパ [Redacted] 出口ライン合流点 ~ セル排風機 [Redacted] 出口合流点*2	[Redacted]					建屋排風機出口逆止ダンパ [Redacted] 出口ライン合流点 ~ セル排風機 [Redacted] 出口合流点*3	変更なし
						セル排風機 [Redacted] 出口合流点 ~ 高レベル廃液ガラス固化建屋排気系ダクト合流点*2						セル排風機 [Redacted] 出口合流点 ~ 高レベル廃液ガラス固化建屋排気系ダクト合流点*3	変更なし
						アクティブギャラリ [Redacted] ~ アクティブギャラリ [Redacted] 排気ダクト分岐点*2						アクティブギャラリ [Redacted] ~ アクティブギャラリ [Redacted] 排気ダクト分岐点*3	変更なし

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋換気設備	[Redacted]					セル排気フィルタユニット [Redacted] [Redacted] ~ セル排風機 [Redacted] *2	変更なし				
						セル排風機 ([Redacted]) ~セル排風機 ([Redacted]) 出口 合流点*2					

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋換気設備	[Redacted]					前処理建屋換気設備	変更なし				
溶解槽セル [Redacted] 及びせん断セル [Redacted] ~ 溶解槽セル排気フィルタユニット [Redacted] *2 (次頁へ続く)											

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋換気設備	(前頁からの続き)					前処理建屋換気設備	変更なし				

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋換気設備	[Redacted]					溶解槽セル排気フィルタユニット [Redacted] ~ 溶解槽セル排風機 [Redacted] *2	変更なし				
						溶解槽セル排風機 [Redacted] ~ 溶解槽セル排風機 [Redacted] 及び溶解槽セル排風機 [Redacted] [Redacted] 出口ライン合流点*2					

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋換気設備	[Redacted]					前処理建屋換気設備	変更なし				
溶解槽セル [Redacted] 及びせん断セル [Redacted] ~ 溶解槽セル排気フィルタユニット [Redacted] *2 (次頁へ続く)											

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋換気設備	(前頁からの続き)					前処理建屋換気設備	変更なし				

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋換気設備	[Redacted]					溶解槽セル排気フィルタユニット [Redacted] ~ 溶解槽セル排風機 [Redacted] *2	変更なし				
						溶解槽セル排風機 [Redacted] ~ 溶解槽セル排風機 [Redacted] 及び溶解槽セル排風機 [Redacted] [Redacted] 出口ライン合流点*2					

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
前処理建屋換気設備	[Redacted]					前処理建屋換気設備	変更なし				
溶解槽セル排風機 [Redacted] 及び溶解槽セル排風機 [Redacted] [Redacted] 出口ライン合流点～建屋排風機 [Redacted] 出口ライン合流点*2											

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認に記載が無いため、記載の適正化を行う。

*3：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*4：溶解槽セル排気前置フィルタ [Redacted] 及びせん断機・溶解槽保守セル排気前置フィルタ [Redacted] を示す。

*5：溶解槽セル排気前置フィルタ [Redacted] 及びせん断機・溶解槽保守セル排気前置フィルタ [Redacted] を示す。

*6：重大事故等時における使用時の値。

1.1.4.4 分離建屋換気設備

- ・常設
 - (1) ファン

			変更前	変更後	
名称			建屋排風機*3 ()	建屋排風機 () *1	
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	最高使用圧力	Pa			
	最高使用温度	℃			
	容量		m ³ /h/個		
	主要寸法	吸込口径	mm		
		吐出口径	mm		
		たて	mm		
		横	mm		
		高さ*4	mm		
	主要材料	ケーシング	—		変更なし
	個数		—	2	
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	分離建屋換気設備	
		設置床	—	T. M. S. L. m*5 T. M. S. L. m*5*9	
		溢水防護上の 区画番号	—	—	/ *9
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. m/ T. M. S. L. m*9	
化学薬品防護上の 区画番号		—	—	/ *9	

(つづき)

				変更前	変更後
排風機	取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m/ T. M. S. L. ■■■■m ^{*9}
原動機	種類		—	誘導電動機 ^{*5}	変更なし
	出力		kW/個	■■■■ ^{*5}	
	個数		—	2 ^{*5}	
	取付箇所		—	排風機と同じ ^{*5}	
設計上の空気の流入率			回/h	— ^{*5*6}	

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
 *2：公称値を示す。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「建屋排風機A，B」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
 *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 *6：居住性の維持に係る設備ではないため「—」とする。
 *7：建屋排風機の性能特性上の最大静圧とする。
 *8：建屋排風機上流側ダクトの最高使用温度とする。
 *9：建屋排風機の極数変換盤を示す。
 *10：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			グローブボックス ・セル排風機*2 ()		
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	最高使用圧力	kPa			
	最高使用温度	℃			
	容量	m ³ /h/個			
	主要寸法	吸込口径	mm		
		吐出口径	mm		
		たて	mm		
		横	mm		
		高さ*3	mm		
	主要材料	ケーシング	—		
		個数	—	3(内1個予備)	
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	分離建屋換気設備	
		設置床	—	T. M. S. L. m*4	
		溢水防護上の 区画番号	—	—	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. m	
化学薬品防護上の 区画番号		—	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. m	

(つづき)

			変更前	変更後
原動機	種類	—	誘導電動機*4	変更なし
	出力	kW/個	高速：■*4/低速：■*4*8	
	個数	—	3*4	
	取付箇所	—	排風機と同じ*4	
設計上の空気の流入率		回/h	—*4*5	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「グローブボックス・セル排風機 A, B, C」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：居住性の維持に係る設備ではないため「—」とする。

*6：グローブボックス・セル排風機の性能特性上の最大静圧とする。

*7：グローブボックス・セル排風機上流側のダクトの最高使用温度とする。

*8：■

(2) フィルタ

			変更前	変更後	
名称			建屋排気フィルタ ユニット*2 ()	変更なし	
種類	—	高性能粒子フィルタ 1段内蔵形			
最高使用圧力*2	Pa				
最高使用温度*2	℃				
容量	m ³ [normal] /h/個				
効率*3	単体		%		
	総合		%		
主要寸法	吸込口径		mm		
	吐出口径		mm		
	全長		mm		
	全幅		mm		
	高さ		mm		
主要材料	ろ材		—		
個数			15(内1個予備)		
取付箇所	系統名(ライン名)		—		分離建屋換気設備
	設置床		—	() T. M. S. L. ()m*4	
	溢水防護上の 区画番号		—	—*5	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*5	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	()	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ()m	

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「建屋排気フィルタユニットA～O」と記載。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *6：フィルタ単体の最高使用温度。

			変更前	変更後
名称			グローブボックス・セル 排気フィルタユニット*3 ()	グローブボックス・セル 排気フィルタユニット *1
種類		—	高性能粒子フィルタ 1段内蔵形	変更なし
最高使用圧力		Pa	[Redacted]	変更なし
最高使用温度		℃		
容量		m ³ /h/個		
効率*4	単体	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	全長	mm		
	全幅	mm		
	高さ*5	mm		
主要材料	ろ材	—		
個数		—	11(内1個予備)	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	分離建屋換気設備	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m ^{*6}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*7}	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■m

- 注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
 *2：公称値を示す。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「グローブボックス・セル排気フ
 イルタユニットA～K」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
 *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
 *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図
 書による。
 *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *8：フィルタユニット上流側のダクトの最高使用温度。
 *9：重大事故等時における使用時の値を示す。

(3) 主要弁

			変更前	変更後
名称			建屋給気閉止ダンパ (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類	—	閉止ダンパ		
最高使用圧力	kPa	XXXXXXXXXX		
最高使用温度	℃			
主要寸法	幅*2		mm	
	高さ*3		mm	
主要材料	ケーシング		—	
駆動方法			—	
個数		—	4	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	分離建屋換気設備	
	設置床	—	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m*4	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	XXXXXXXXXX
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. XXXXXX m
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	XXXXXXXXXX
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. XXXXXX m

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「W」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：建屋給気閉止ダンパ上流側のダクトの最高使用温度とする。

(4) 主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
分離建屋換気設備						分離建屋換気設備	分離建屋一時貯留処理槽第2セル ～ 放射性配管分岐第1セル出口ダクト合流点	変更なし				
							分離建屋一時貯留処理槽第1セル ～ 分離建屋一時貯留処理槽第2セル出口ダクト合流点	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備						溶解液中間貯槽セル ～ 分離建屋一時貯留処理槽第2セル出口ダクト合流点	変更なし				
						分離建屋一時貯留処理槽第3セル ～ 分離建屋一時貯留処理槽第2セル出口ダクト合流点	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分 離 建 屋 換 気 設 備	(つづき)					分 離 建 屋 換 気 設 備		変更なし			

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備	(つづき)					分離建屋換気設備	変更なし				
	プルトニウム溶液中間貯槽セル ～ 分離建屋一時貯留処理槽第3セル出口ダクト合流点						変更なし				
	高レベル濃縮廃液分配器セル ～ 分離建屋一時貯留処理槽第3セル出口ダクト合流点						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備	(つづき)					分離建屋換気設備	変更なし				
	高レベル廃液供給槽セル ～ 高レベル濃縮廃液分配器セル 出口ダクト合流点						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備						プルトリウム洗浄器セル ～ 分離建屋一時貯留処理槽第3セル出口ダクト合流点	変更なし				
						分配塔セル ～ 分離建屋一時貯留処理槽第3セル出口ダクト合流点	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
(つづき)						分離建屋換気設備	変更なし				
抽出塔セル ～ 分配塔セル出口ダクト 合流点							変更なし				
溶解液供給槽セル ～ 分離建屋一時貯留処理槽第3 セル出口ダクト合流点							変更なし				
放射性配管分岐第1セル ～ グローブボックス・セル排気 フィルタユニット							放射性配管分岐第1セル ～ グローブボックス・セル排気 フィルタユニット*2*3	変更なし			

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備	(つづき)					分離建屋換気設備	(つづき)				変更なし

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備	(つづき)					分離建屋換気設備					変更なし

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備	(つづき)					分離建屋換気設備					変更なし

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
分離建屋換気設備	高レベル廃液濃縮缶 第1セル ～ 放射性配管分岐第1セル 出口ダクト合流点	[Redacted]					分離建屋換気設備	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備						高レベル廃液濃縮缶 第2セル ～ 高レベル廃液濃縮缶第1セル 出口ダクト合流点	変更なし				
						放射性配管分岐第2セル ～ 高レベル廃液濃縮缶第1セル 出口ダクト合流点	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備						分離建屋換気設備					
グローブボックス・セル 排気フィルタユニット ～ 可搬型排風機入口ダクト 上流側接続口						グローブボックス・セル 排気フィルタユニット ～ 可搬型排風機入口ダクト 上流側接続口*2*3					

(つづき)

変更前						変更後										
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料					
分離建屋換気設備						グローブボックス・セル 排気フィルタユニット 出口ダクト分岐点 ～ グローブボックス・セル 排風機	変更なし									
						可搬型排風機入口ダクト 接続口 ～ グローブボックス・セル 排風機						変更なし				
						グローブボックス・セル 排気フィルタユニット 出口ダクト分岐点 ～ グローブボックス・セル 排風機										

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋換気設備	グロブボックス・セル 排風機 ～ 建屋排風機出口ダクト 合流点					分離建屋換気設備	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
分離 建屋換気設備	建屋排気フィルタユニット ～ 建屋排風機	[Redacted]					分離 建屋換気設備	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
分離建屋換気設備	建屋排気フィルタユニット 出口ダクト分岐点 ～ 可搬型排風機出口ダクト 接続口	[Redacted]				[Redacted]	変更なし					
	可搬型排風機出口ダクト 接続口 ～ 建屋排風機						可搬型排風機出口ダクト 接続口 ～ 建屋排風機*2*3	[Redacted]		変更なし		
	建屋排風機 ～ 建屋排風機出口ダクト 合流点						変更なし					
分離建屋換気設備	[Redacted]				分離建屋換気設備	変更なし						

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
分離建屋換気設備	建屋排風機 ～ 高レベル廃液ガラス固化建屋 排気系ダクト合流点					分離建屋換気設備	建屋排風機 ～ 高レベル廃液ガラス固化建屋 排気系ダクト合流点*2*3					変更なし

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設 代替換気設備と兼用する。
 - *3：本設備は既存の設備である。
 - *4：重大事故時における使用時の値を示す。
 - *5：角ダクトの寸法を示す。

1.1.4.5 精製建屋換気設備

・常設
(1) ファン

			変更前	変更後	
名称			建屋排風機 () *3	建屋排風機 () *1	
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	最高使用圧力*4	MPa	[REDACTED]	変更なし	
	最高使用温度*4	℃		変更なし ■ *8	
	容量	m ³ /h/個		変更なし	
	主要寸法	吸込口径*4			mm
		吐出口径*4			mm
		たて*4			mm
		横*4			mm
		高さ*4		mm	
	主要材料	ケーシング		—	変更なし
	個数			—	1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	精製建屋換気設備	
		設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m	
溢水防護上の区画番号		—	—	[REDACTED]	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED] m	
化学薬品防護上の区画番号		—	—	[REDACTED]	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED] m	
原動機	種類*4	—	誘導電動機*4	変更なし	
	出力*4	kW/個	■ *4		
	個数*4	—	1*4		
	取付箇所*4	—	排風機と同じ*4		
設計上の空気の流入率*4		回/h	— *4*5		

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「建屋排風機A, B ()」と記載。

- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：居住性の維持に係る設備ではないため「－」とする。
- *6：建屋排風機の性能特性上の最大静圧とする。
- *7：建屋排風機上流側のダクトの最高使用温度とする。
- *8：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			建屋排風機 [REDACTED] *3	建屋排風機 [REDACTED] *1	
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	最高使用圧力*4	MPa	[REDACTED]	変更なし	
	最高使用温度*4	℃	[REDACTED]	変更なし [REDACTED] *6	
	容量	m ³ /h/個	[REDACTED]	変更なし	
	主要寸法	吸込口径*4	mm		[REDACTED]
		吐出口径*4	mm		[REDACTED]
		たて*4	mm		[REDACTED]
		横*4	mm		[REDACTED]
		高さ*4	mm		[REDACTED]
	主要材料	ケーシング	—	[REDACTED]	
	個数	—	1		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	精製建屋換気設備	
		設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m	
溢水防護上の区画番号		—	—	[REDACTED]	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED] m	
化学薬品防護上の区画番号		—	—	[REDACTED]	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED] m	
原動機	種類*4	—	誘導電動機*4	変更なし	
	出力*4	kW/個	[REDACTED] *4		
	個数*4	—	1*4		
	取付箇所*4	—	排風機と同じ*4		
設計上の空気の流入率*4		回/h	— *4*5		

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「建屋排風機A,B([REDACTED])」と記載。

- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *5：居住性の維持に係る設備ではないため「－」とする。
- *6：建屋排風機の性能特性上の最大静圧とする。
- *7：建屋排風機上流側のダクトの最高使用温度とする。
- *8：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			グローブボックス・セル排風機 () *3	グローブボックス・セル排風機 () () *1	
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	最高使用圧力*5	MPa	[Redacted]		
	最高使用温度*5	℃			
	容量	m ³ /h/個			
	主要寸法	吸込口径*5			mm
		吐出口径*5			mm
		たて*5			mm
		横*5			mm
		高さ*4			mm
	主要材料	ケーシング			—
	個数	—			2(内1個予備)
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		精製建屋換気設備
		設置床	—		() T. M. S. L. () m
		溢水防護上の区画番号	—		—
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. () m	
化学薬品防護上の区画番号		—	—	()	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. () m	
原動機	種類*5	—	誘導電動機*5	変更なし	
	出力*5	kW/個	() *5		
	個数*5	—	2(内1個予備)*5		
	取付箇所*5	—	排風機と同じ*5		
設計上の空気の流入率*4		回/h	— *5*6		

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設の廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

- *3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「グローブボックス・セル排風機A, B()」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既認可申請書には「全高」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：居住性の維持に係る設備ではないため「－」とする。

(2) フィルタ

			変更前	変更後
名称			建屋排気フィルタユニット() *2	変更なし
種類		—	高性能粒子フィルタ1段内蔵形	
最高使用圧力*4		MPa	[REDACTED]	
最高使用温度*4		℃		
容量		m ³ /h/個 [normal]		
効率*2	単体*4	%		
	総合*4	%		
主要寸法	吸込口径*4	mm		
	吐出口径*4	mm		
	たて*4	mm		
	横*4	mm		
	高さ*4	mm		
主要材料	ろ材	—		
個数		—	17(内1個予備)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	精製建屋換気設備	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m	
	溢水防護上の区画番号	—	— *5	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *5	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	()
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. () m *7 T. M. S. L. () m *8

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書からの記載の適正化を行う。既認可申請書には「建屋排気フィルタユニットA~Q()」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *6：フィルタ単体の最高使用温度
- *7：建屋排気フィルタユニット A～D, G, I～N, P ([REDACTED])を示す。
- *8：建屋排気フィルタユニット E, F, H, O, Q ([REDACTED])を示す。

			変更前	変更後
名称			セル排気フィルタ ユニット () *3	セル排気フイ ルタユニット () *1
種類		—	高性能粒子フィルタ 1段内蔵形	変更なし
最高使用圧力*6		MPa	[REDACTED]	
最高使用温度*6		℃		
容量		m ³ /h/個 [normal]		
効率*4	単体*6	%		
	総合*6	%		
主要寸法	吸込口径*6	mm		
	吐出口径*6	mm		
	たて*6	mm		
	横*6	mm		
	高さ*5	mm		
主要材料	ろ材	—		
個数		—	10(内1個予備)	

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	精製建屋 換気設備
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	—*7
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*7
	化学薬品防護上の区画番号	—	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち，気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備及び廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「セル排気フィルタユニットA～J(■■■■■)」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既認可申請書には「粒子除去効率」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既認可申請書には「全高」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする

*8：フィルタ単体の最高使用温度

*9：セル排気フィルタユニットA, H, I(■■■■■)を示す。

*10：セル排気フィルタユニットB～G(■■■■■)を示す。

*11：セル排気フィルタユニットJ(■■■■■)を示す。

			変更前	変更後
名称			グローブボックス排気フィルタユニット () *2	変更なし
種類		—	高性能粒子フィルタ1 段内蔵形	
最高使用圧力*5		MPa	[Redacted]	
最高使用温度*5		℃		
容量		m ³ /h/個 [normal]		
効率*3	単体*5	%		
	総合*5	%		
主要寸法	吸込口径*5	mm		
	吐出口径*5	mm		
	たて*5	mm		
	横*5	mm		
	高さ*4	mm		
主要材料	ろ材	—		
個数		—	2(内1個予備)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	精製建屋 換気設備	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m	
	溢水防護上の区画番号	—	— *6	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *6	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	()
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. () m*8 T. M. S. L. () m*9

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既認可申請書には「グローブボックス排気フィルタユニット A, B()」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既認可申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既認可申請書には「全高」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする
- *7：フィルタ単体の最高使用温度。
- *8：グローブボックス排気フィルタユニット A()を示す。
- *9：グローブボックス排気フィルタユニット B()を示す。

(3) 主要弁

			変更前	変更後
名称			建屋給気閉止ダンパ ()	変更なし
種類	—	閉止ダンパ*3		
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	幅*2	mm		
	高さ*2	mm		
主要材料	ケーシング	—		
駆動方法		—		
個数		—	4	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	精製建屋換気設備	
	設置床	—	 T. M. S. L. m	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m 以上

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「W」および「H」と記載。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。

記載内容は、設計図書による。

(4) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
精製建屋換気設備	放射性配管分岐第1セル ■■■■〜セル排気フィルタ ユニット入口ダクト*4	—	—	■■■■	■■■■	放射性配管分岐第1セル■■■■ ■■■■〜セル排気フィルタユニッ ト入口ダクト*2	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	変更なし
	Pu系塔槽類廃ガス洗浄塔セル ■■■■〜セル排気フィルタ ユニット入口ダクト*4	—	—			Pu系塔槽類廃ガス洗浄塔セル ■■■■〜セル排気フィルタ ユニット入口ダクト*3					変更なし
	セル排気フィルタユニット 入口ダクト合流点〜セル排 気フィルタユニット*4	—	—			セル排気フィルタユニット入 口ダクト合流点〜セル排気フ ィルタユニット*2*3					変更なし

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
精製建屋換気設備	セル排気フィルタユニット [redacted]～可搬型排風機入口ダクト分岐点*4	—	—	[redacted]	[redacted]	セル排気フィルタユニット [redacted]～可搬型排風機入口ダクト分岐点*2	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	変更なし
	可搬型排風機入口ダクト分岐点～グローブボックス・セル排風機 [redacted]*4	—	—	[redacted]	[redacted]	可搬型排風機入口ダクト分岐点～グローブボックス・セル排風機 [redacted]*3	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	変更無し
	可搬型排風機出口ダクト合流点～建屋排風機 [redacted]*4	—	—	[redacted]	[redacted]	可搬型排風機出口ダクト合流点～建屋排風機 [redacted]*2	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	変更なし
	建屋排風機 [redacted]～建屋排風機，グローブボックス・セル排風機出口ダクト*4	—	—	[redacted]	[redacted]	建屋排風機 [redacted]～建屋排風機，グローブボックス・セル排風機出口ダクト*2* 3	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	変更なし
	グローブボックス・セル排風機 [redacted]～建屋排風機，グローブボックス・セル排風機出口ダクト*4	—	—	[redacted]	[redacted]	グローブボックス・セル排風機 [redacted]～建屋排風機，グローブボックス・セル排風機出口ダクト*3	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	変更なし
	建屋排風機，グローブボックス・セル排風機出口ダクト～ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋排気系ダクト合流点*4	—	—	[redacted]	[redacted]	建屋排風機，グローブボックス・セル排風機出口ダクト～ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋排気系ダクト合流点*2* 3	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	変更なし
精製建屋換気設備											

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
精製建屋換気設備	プラトニウム洗浄器セル ()、グローブボックス、フード～グローブボックス排気フィルタユニット () ^{*4}	—	—			精製建屋換気設備	変更なし				
	グローブボックス排気フィルタユニット ()～セル排気フィルタユニット 出口ダクト合流点 ^{*4}	—	—				変更なし				
	安重セル () () () () () () 配管収納容器 1 () () () 配管収納容器 () ～セル排気フィルタユニット入口ダクト合流点 ^{*4*11}	—	—				変更なし				
(続く)											

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
精製建屋換気設備						精製建屋換気設備					
安重セル 配管収納容器 1 セル排気フィルタユニット入口ダクト合流点**11 (続く)	—	—				変更なし					

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
精製建屋換気設備 安重セル [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED], [REDACTED] 配管収納容器 1 [REDACTED] [REDACTED], [REDACTED] 配管収納容器 [REDACTED] ~ セル排気フィルタユニット入 口ダクト合流点*4*11	—	—	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	精製建屋換気設備					変更なし

(続き)

変更前						変更後											
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料						
精製建屋換気設備	プルトニウム濃縮液ポンプ E グローブボックス■■■■ ■■■■～プルトニウム濃縮液 ポンプ D グローブボックス ■■■■ 出口ダクト合流 点*4					精製建屋換気設備 変更なし											
	プルトニウム濃縮液ポンプ D グローブボックス■■■■ ■■■■～グローブボックス排 気フィルタユニット入口ダク ト合流点*4											変更なし					
	プルトニウム濃縮液ポンプ B グローブボックス■■■■ ■■■■～グローブボックス排 気フィルタユニット入口ダク ト合流点*4											変更なし					
	プルトニウム濃縮液弁グロー ブボックス■■■■～グ ローブボックス排気フィルタ ユニット入口ダクト合流点*4											変更なし					
	プルトニウム濃縮液ポンプ A グローブボックス■■■■ ■■■■～グローブボックス排 気フィルタユニット入口ダク ト合流点*4											変更なし					
	■■■■ 配管収納容器■■■■ ■■■■～セル排気フィルタユ ニット入口ダクト合流点*4											変更なし					
	■■■■ 配管収納容器 1■■■■ ■■■■～セル排気フィルタユ ニット入口ダクト合流点*4											変更なし					

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。
 - *3：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
 - *4：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。
 - *5：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *6：プルトニウム濃縮液ポンプEグローブボックス排気フィルタA, B [] を示す。
 - *7：プルトニウム濃縮液ポンプDグローブボックス排気フィルタA, B [] を示す。
 - *8：プルトニウム濃縮液ポンプBグローブボックス排気フィルタA, B [] を示す。
 - *9：プルトニウム濃縮液弁グローブボックス排気フィルタA, B [] を示す。
 - *10：プルトニウム濃縮液ポンプAグローブボックス排気フィルタA, B [] を示す。
 - *11：安全上重要な施設のセルは、精製建屋一時貯留処理槽第2セル [] , 精製建屋一時貯留処理槽第1セル [] , プルトニウム濃縮液一時貯槽セル [] , プルトニウム濃縮液計量槽セル [] , プルトニウム精製塔セル [] , プルトニウム溶液供給槽セル [] , プルトニウム濃縮缶供給槽セル [] , プルトニウム濃縮液受槽セル [] , 放射性配管分岐第1セル [] , 放射性配管分岐第2セル [] , 放射性配管分岐第1セル [] , プルトニウム溶液一時貯槽セル [] , 油分離槽セル [] , プルトニウム濃縮缶セル [] である。

1.1.4.7 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備

・常設

(1) ファン

			変更前	変更後	
名称			建屋排風機 () *2	変更なし	
排風機	種類	—	遠心式		
	容量	m ³ /h/個	[REDACTED]		
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ			mm
	主要材料	ケーシング	—		
個数	—	2			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	建屋換気設備 *3		
	設置床	—	T. M. S. L. [REDACTED] m *3		
	溢水防護上の区画番号	—	—		[REDACTED]
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [REDACTED] m以上	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	[REDACTED]	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [REDACTED] m以上	
原動機	種類	—	誘導電動機 *3	変更なし	
	出力	kW/個	[REDACTED] *3		
	個数	—	2 *3		
	取付箇所	—	排風機と同じ *3		

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「建屋排風機A, B ()」
と記載。

*3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計
図書による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成
11年1月29日10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第
3.2.1.4.5-3図 建屋排風機の構造図」を示す。

			変更前	変更後	
名称			グローブボックス・セル排風機 () *2		
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個			
	主要寸法	吸込口径	mm		
		吐出口径	mm		
		たて	mm		
		横	mm		
		高さ*4	mm		
	主要材料	ケーシング	—		
	個数	—	3*5		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	建屋換気設備*3	
		設置床	—	T. M. S. L. m*3	
		溢水防護上の区画番号	—	—	
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m以上
化学薬品防護上の区画番号		—	—		
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. m以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出力	kW/個	*3		
	個数	—	3*3		
	取付箇所	—	排風機と同じ*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「グローブボックス・セル排風機 A, B, C ()」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「3(内1個予備)」と記載。

(2) フィルタ

			変更前	変更後	
名称			建屋排気フィルタ ユニット () *2	変更なし	
種類		—	高性能粒子フィルタ 2段内蔵形		
容量		m ³ /h/個	[Redacted]		
効率*4	単品	%			
	総合	%			
主要寸法	吸込口径	mm			
	吐出口径	mm			
	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
主要材料	ろ材	—			
個数		—			22*6
取付箇所	系統名(ライン名)	—			建屋換気設備*3
	設置床	—			T. M. S. L. [Redacted] m*3
	溢水防護上の区画番号	—		—*7	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—*7	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	[Redacted]	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m以上	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「建屋排気フィルタユニットA～V()」と記載。

*3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*5: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.5-2図 建屋排気フィルタユニットの構造図」を示す。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「22(内1個予備)」と記載。

*7: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8: [Redacted]。

(つづき)

*9 : 上部の管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後
名称			グローブボックス・セル 排気フィルタユニット () ^{*2}	変更なし
種類		—	高性能粒子フィルタ 2段内蔵形	
容量		m ³ /h/個	[Redacted]	
効率 ^{*4}	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	たて	mm		
	横	mm		
	高さ ^{*5}	mm		
主要材料	ろ材	—		
個数		—	6 ^{*6}	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	建屋換気設備 ^{*3}	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m ^{*3}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*7}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	[Redacted]
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m以上

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「グローブボックス・セル排気フィルタユニットA～F()」と記載。

*3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「6(内1個予備)」と記載。

*7: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8: [Redacted]。

*9: 上部の管台を含めた高さを示す。

(3) 主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	[REDACTED]					ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	一時貯槽第2グローブボックス([REDACTED]) ～グローブボックス排気ライン	変更なし				
							還元気送廃ガス高性能粒子フィルタ出口ライン～グローブボックス排気ライン	変更なし				
							検査フード([REDACTED])～検査フード([REDACTED])	変更なし				
							検査フード([REDACTED]), 蓋取扱フード([REDACTED])～弁([REDACTED])	変更なし				
							混合気送廃ガス高性能粒子フィルタ出口ライン～グローブボックス排気ライン	変更なし				
							脱硝皿取扱装置第1, 2, 3, 4グローブボックスA([REDACTED])～弁([REDACTED])	変更なし				
							弁([REDACTED])～弁([REDACTED])	変更なし				
							脱硝装置グローブボックス([REDACTED])～弁([REDACTED])	変更なし				
							弁([REDACTED])～グローブボックス排気ライン	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	[Redacted]					ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	変更なし				
	[Redacted]						変更なし				
	[Redacted]						変更なし				
	[Redacted]						変更なし				
	[Redacted]						変更なし				
	[Redacted]						変更なし				
[Redacted]					変更なし						
[Redacted]					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料
ウ ラ ン ・ プ ル ト ニ ウ ム 混 合 脱 硝 建 屋 換 気 設 備	粉砕払出グローブボックス ()) ~ 弁 ()					ウ ラ ン ・ プ ル ト ニ ウ ム 混 合 脱 硝 建 屋 換 気 設 備	変更なし				
	弁 () ~ 弁 ()						変更なし				
	粉体移送廃ガスグローブボックス ()) ~ グローブボックス排気ライン						変更なし				
	粉末缶受払グローブボックス () ~ 粉末充てんグローブボックス ()						変更なし				
	粉末サンプル気送グローブボックス ()) , 比表面積測定グローブボックス () , 粉末粒径測定グローブボッ クス () , 粉末 O/M 測定グローブボッ クス () , 粉末 O/M 測定前処理グロ ーブボックス () , 粉末水分測定グ ローブボックス () , 溶液サンプル 気送グローブボックス () , 粉末密 度測定グローブボックス () , 粉末 サンプル移動グローブボックス ()) , 粉末残サンプル保管グローブボッ クス () ~ 弁 ()						変更なし				
	リワーク気送廃ガス高性能粒子フィルタ出 口ライン ~ グローブボックス排気ライン						変更なし				
	粉末充てんグローブボックス () , 粉砕グローブボックス ()) ~ 弁 ()						変更なし				
	弁 () ~ 弁 ()						変更なし				
	機器調整用グローブボックス () , 粉末調整グローブボックス () ~ 弁 ()						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	グローブボックス・セル排気フィルタ入口ライン点検口合流点～グローブボックス・セル排気フィルタ ()					変更なし					
	グローブボックス・セル排気フィルタ ()～グローブボックス・セル排風機 ()					変更なし					
	グローブボックス・セル排風機 ()～グローブボックス・セル排風機出口ライン合流点					変更なし					
	硝酸プルトニウム貯槽セル ()～グローブボックス・セル排気フィルタユニット入口ライン点検口合流点					硝酸プルトニウム貯槽セル ()～グローブボックス・セル排気フィルタユニット入口ライン点検口合流点*2			変更なし		

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	グローブボックス排気ライン, 弁() ～グローブボックス・セル排気フィルタ ユニット入口ライン合流点					ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	変更なし				
	一時貯槽セル()～硝酸プルトニウム貯槽セル合流点						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	[REDACTED]					ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備	変更なし					
							混合槽セル([REDACTED])～一時貯槽セル, 硝酸プルトニウム貯槽セル合流点	変更なし				
							建屋排風機出口ライン点検口合流点～精製建屋排気系ダクト合流点	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし		
							ダンパ([REDACTED])～ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋排気系ダクト合流点	変更なし				
							精製建屋排気系ダクト合流点～主排気筒	[REDACTED]	[REDACTED]			
							建屋排気フィルタユニット([REDACTED])～建屋排風機([REDACTED])	変更なし				
							建屋排風機([REDACTED])～ダンパ([REDACTED])	変更なし				
ダンパ([REDACTED])～建屋排風機出口ライン点検口合流点	変更なし											

(つづき)

- *1：公称値を示す。
- *2：脱硝施設のうち，代替換気設備と兼用する。
- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *4：重大事故時における使用時の値。
- *5：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *6：脱硝施設のうち，代替換気設備，廃ガス貯留設備と兼用する。
- *7：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *8：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *9：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *10：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *11：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *12：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *13：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *14：グローブボックス排気フィルタ()を示す。
- *16：貯槽セル排気フィルタユニット()を示す。
- *17：混合槽セル排気フィルタユニット()を示す。

1.1.4.8 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋換気設備

・常設

(1) ファン

			変更前	変更後	
名称			貯蔵室排風機 () *2	変更なし	
排風機	種類	—	遠心式		
	容量	m ³ /h/個	[Redacted]		
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
	高さ*4	mm			
	主要材料	ケーシング	—		
	個数	—	4*5		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		建屋換気設備*3
設置床		—	T. M. S. L. [Redacted] m*3		
			T. M. S. L. [Redacted] m*3		
溢水防護上の 区画番号		—	—		[Redacted]
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [Redacted] m以上	
				T. M. S. L. [Redacted] m以上	
化学薬品防護上の 区画番号	—	—*6	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*6	—		
原動機	種類	—	誘導電動機*3	変更なし	
	出力	kW/個	[Redacted]*3		
	個数	—	4*3		
	取付箇所	—	排風機と同じ*3		

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「貯蔵室排風機A~D() *2」と記載。

*3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4(内2個予備)」と記載。

*6: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) フィルタ

			変更前	変更後
名称			貯蔵室排気フィルタ ユニット [] *2	変更なし
種類		—	高性能粒子フィルタ 2段内蔵形	
容量		m ³ /h/個	[]	
効率*4	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	たて	mm		
	横	mm		
	高さ*5	mm		
主要材料	ろ材	—		
個数		—		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	建屋換気設備*3	
	設置床	—	[] T. M. S. L. [] m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	—*7	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*7	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*8	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*8	—

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「貯蔵室排気フィルタユニットA～Q ([])」と記載。

*3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「17(内1個予備)」と記載。

*7: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9: []。

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料
換気設備	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>					換気設備	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料
換気設備	[Redacted]					換気設備	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	材料
換気設備	貯蔵室排風機 () ~ 低レベル廃棄物処理建屋換気筒					換気設備	変更なし				
換気設備	建屋排気フィルタユニット () ~ 建屋排風機 ()					換気設備	変更なし				
換気設備	建屋排風機 () ~ 貯蔵室排風機出口ライン合流部					換気設備	変更なし				

*1: 公称値を示す。

1.1.4.9 高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備

- ・常設
- (1) 容器

			変更前	変更後
名称			洗浄塔 (████████)	
種類	—		たて置円筒形 (棚段塔)	
容量	m ³ /h/個 [normal]			
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	上部胴内径	mm		変更なし
	本体胴内径	mm		
	上部胴板厚さ	mm		
	本体胴板厚さ	mm		
	上部胴上部鏡板厚さ	mm		
	上部胴上部鏡板 中央部内半径	mm		
	上部胴上部鏡板 隅の丸み半径	mm		
	円すい胴板厚さ	mm		
	本体胴下部鏡板厚さ	mm		
	本体胴下部鏡板 中央部内半径	mm		
	本体胴下部鏡板 隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径*3	mm		
	入口管台厚さ*3	mm		
	入口管台外径*4	mm		
	入口管台厚さ*4	mm		
	出口管台外径*5	mm		
	出口管台厚さ*5	mm		
高さ*6	mm			
主要材料	上部胴上部鏡板	—		
	上部胴板	—		
	円すい胴板	—		
	本体胴板	—		
	本体胴下部鏡板	—		
個数	—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	
	設置床	—	████████ T. M. S. L. ██████ m*7	
	溢水防護上の区画番号	—	—*8	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*8	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*9	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*9	—

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.4.8-1 図 洗浄塔（）の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.4.8-1 図 洗浄塔（）の構造図 管台一覧表 P6」を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.1.4.8-1 図 洗浄塔（）の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の「V-2-2-3-1-3-1 高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備の耐圧強度に関する計算書」による。

		変更前	変更後	
名称		ルテニウム吸着塔 ()	変更なし	
種類	—	箱形		
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率* ³	%			
主要寸法	たて* ⁴			mm
	横* ⁵			mm
	側壁板厚さ			mm
	本体ふた板厚さ			mm
	底板厚さ			mm
	本体胴板厚さ			mm
	上部胴板厚さ			mm
	上部ふた板厚さ			mm
	入口管台外径* ⁶			mm
	入口管台厚さ* ⁶	mm		
	出口管台外径* ⁷	mm		
	出口管台厚さ* ⁷	mm		
高さ* ⁸	mm			
主要材料	側壁板	—		
	本体ふた板	—		
	底板	—		
	本体胴板	—		
	上部胴板	—		
	上部ふた板	—		
	フランジ	—		
	ろ材	—		
個数	—	1		

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	変更なし
	設置床	—	██████████ T. M. S. L. ██████████ m*9	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *10	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *11	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「██████████」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ルテニウム除去効率」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全長」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-4図 ルテニウム吸着塔(██████████)の構造図 管台一覧表P1」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-4図 ルテニウム吸着塔(██████████)の構造図 管台一覧表P2」を示す。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) 熱交換器

			変更前	変更後	
名称			凝縮器 ()	変更なし	
種類		—	たて置多管式		
容量	設計熱交換量	kW/個			
最高使用圧力	管側	kPa			
	胴側	MPa			
最高使用温度	管側	°C			
	胴側	°C			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		鏡板厚さ			mm
		鏡板中央部内半径			mm
		鏡板の隅の丸み半径			mm
		入口管台外径*5			mm
		入口管台厚さ*5			mm
		出口管台外径*6			mm
	出口管台厚さ*6	mm			
	胴側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		入口管台外径*7			mm
		入口管台厚さ*7			mm
		出口管台外径*8			mm
		出口管台厚さ*8			mm
	管板厚さ				mm
伝熱管外径		mm			
伝熱管厚さ		mm			
高さ*9		mm			
主要材料	管側	胴板		—	
		鏡板	—		
	胴側	胴板	—		
	管板		—		
	伝熱管		—		
個数		—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備		
	設置床	—	T. M. S. L. m*10		
	溢水防護上の区画番号	—	—*11	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*12	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*12	—	

注記 *1：公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-2図 凝縮器（）の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-2図 凝縮器（）の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-2図 凝縮器（）の構造図 管台一覧表 P5」を示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-2図 凝縮器（）の構造図 管台一覧表 P6」を示す。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後	
名称			セル内クーラ (*2)		
種類		—	フィン付き管熱交換式		
送風機	種類	—	シロッコファン*11		
	容量	m ³ /h/個	以上*11 (*1* 11)		
	個数	—	/冷却器*11		
原動機	種類	—	誘導電動機*11		
	出力	kW/個	*11		
	個数	—	/冷却器*11		
冷却器	容量	設計熱交換量	kW/個	変更なし	
	最高使用圧力		MPa		
	最高使用温度		℃		
	伝熱面積 (フィン外表面)		m ² /個		
	主要寸法	たて*5			mm
		横*6			mm
		高さ*7			mm
		伝熱管外径			mm
		伝熱管厚さ			mm
		ヘッド外径*8			mm
		ヘッド厚さ*8			mm
		入口管台外径*8			mm
		入口管台厚さ*8			mm
		出口管台外径*9			mm
	出口管台厚さ*9		mm		
主要材料	伝熱管		—		
	ヘッド		—		
個数		—	10*10		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	
	設置床		—	T. M. S. L. m*11	
	溢水防護上の区画番号		—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. m以上
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—*12	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*12	—

注記 *1: 公称値を示す。

- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「セル内クーラA～J（ ）」と記載。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全長」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-8図 セル内クーラの構造図(その1) 管台一覧表 P1」及び「第3.2.1.4.8-9図 セル内クーラの構造図(その2) 管台一覧表 P1」を示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-8図 セル内クーラの構造図(その1) 管台一覧表 P2」及び「第3.2.1.4.8-9図 セル内クーラの構造図(その2) 管台一覧表 P2」を示す。
- *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「10 」と記載。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(3) ファン

			変更前	変更後	
名称			固化セル換気系排風機 () *2		
排風機	種類	—	ルーツ式	変更なし	
	最高使用圧力	kPa	[Redacted]		
	最高使用温度	℃			
	容量	m ³ /h/個 [normal]			
	主要寸法	吸入口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ*3			mm
	主要材料	ケーシング			—
個数	—	2(予備1)*4			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備		
	設置床	—	[Redacted]		
			T. M. S. L. [Redacted] m*5		
	溢水防護上の 区画番号	—	—	[Redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m 以上	
	化学薬品防 護上の区画 番号	—	—	[Redacted]	
	化学薬品防 護上の配慮 が必要な高 さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*5	変更なし	
	出力	kW/個	[Redacted]*5		
	個数	—	2(予備1)*5		
	取付箇所	—	排風機と同じ*5		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「固化セル換気系排風機 A, B ()」と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：共通ベースの寸法を示す。

			変更前	変更後	
名称			建屋排風機 (XXXXXXXXXX) *2		
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個	XXXXXXXXXX		
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ			mm
	主要材料	ケーシング	—		
	個数	—	2		
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備
		設置床	—		XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m ^{*3}
溢水防護上の 区画番号		—	—	XXXXXXXXXX	
溢水防護上の配 慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. XXXXXX m 以上	
化学薬品防護上 の区画番号		—	—	XXXXXXXXXX	
化学薬品防護上 の配慮が必要な 高さ	—	—	T. M. S. L. XXXXXX m 以上		
原動機	種類	—	誘導電動機 ^{*3}	変更なし	
	出力	kW/個	XXXXXX ^{*3}		
	個数	—	2 ^{*3}		
	取付箇所	—	排風機と同じ ^{*3}		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「建屋排風機A, B (XXXXXXXXXX)
XXXXXX」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

				変更前	変更後
名称				セル排風機 () *3	セル排風機 () *1
排風機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/個			
	主要寸法	吸込口径	mm		
		吐出口径	mm		
		たて	mm		
		横	mm		
		高さ*4	mm		
	主要材料	ケーシング	—		
	個数	—	2(予備1)*5		
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備
		設置床	—	T. M. S. L. m*6	
		溢水防護上 の区画番号	—	—	
		溢水防護上 の配慮が必 要な高さ	—	—	T. M. S. L. m 以上
		化学薬品防 護上の区画 番号	—	—	
化学薬品防 護上の配慮 が必要な高 さ		—	—	T. M. S. L. m 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*6	変更なし	
	出力	kW/個	*6		
	個数	—	2(予備1)*6		
	取付箇所	—	排風機と同じ*6		

注記 *1：代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「セル排風機A, B()」
と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(4) フィルタ

		変更前	変更後	
名称		ミストフィルタ () *2		
種類	—	たて置円筒形 (ミストフィルタ 1 段 内蔵式)		
最高使用圧力	kPa	[Redacted]	変更なし	
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個 [normal]			
効率*4	%			
主要寸法	胴内径			mm
	胴板厚さ			mm
	鏡板厚さ			mm
	鏡板中央部内半径			mm
	鏡板隅の丸み半径			mm
	平板厚さ			mm
	入口管台外径*5	mm		
	入口管台厚さ*5	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
高さ*7	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	フランジ	—		
	平板	—		
	ろ材	—		
個数	—	2(予備 1) *8		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m *9	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *10	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *11	—

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ミストフィルタ A, B () ()」 と記載。

			変更前	変更後
名称			固化セル換気系 排気フィルタユニット () *2	
種類		—	高性能粒子フィルタ 2段内蔵形	
最高使用圧力		kPa		変更なし
最高使用温度		℃		
容量		m ³ /h/個 [normal]		
効率*4	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	たて*5	mm		
	横*6	mm		
	側壁板厚さ	mm		
	底板厚さ	mm		
	ふた板厚さ	mm		
	入口管台外径*7	mm		
	入口管台厚さ*7	mm		
	出口管台外径*8	mm		
	出口管台厚さ*8	mm		
高さ*9	mm			
主要材料	側壁板	—		
	底板	—		
	ふた板	—		
	ろ材	—		
個数		—	2(予備1)*10	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化 建屋換気設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m*11	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*12	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*12	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*13	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*13	—

注記 *1：公称値を示す。

- *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「固化セル換気系排気フィルタユニット A, B ()」と記載。
- *3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。
- *6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全長」と記載。
- *7: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-5図 固化セル換気系排気フィルタユニット A, B ()の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.4.8-5図 固化セル換気系排気フィルタユニット A, B ()の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *9: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *10: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。
- *11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *12: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *13: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *14: %以上/2段

			変更前	変更後		
名称			固化セル圧力放出系前置 フィルタユニット (XXXXXXXXXX) *2	変更なし		
種類		—	箱形*3	高性能粒子フィルタ		
最高使用圧力		kPa		変更なし		
最高使用温度		℃				
容量		m ³ /h/個				
効率	単品	%				
	総合	%				
主要寸法	吸込口径	mm				
	吐出口径	mm				
	たて*5	mm				
	横*6	mm				
	高さ*8	mm				
主要材料	ケーシング	—		変更なし		
	ろ材	—				
個数		—			2(予備1)*9	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			高レベル廃液ガラス固化 建屋換気設備	
	設置床	—			XXXXXXXXXX T. M. S. L XXXXXXXXXX m*4	
	溢水防護上の 区画番号	—			— *10	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			— *10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—			— *11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—			— *11	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「固化セル圧力放出系前置フィルタユニットA,B (XXXXXXXXXX)」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「平底たて置角形容器」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「L」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「W」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2」と記載。

*10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			固化セル圧力放出系排気 フィルタユニット () *2	変更なし
種類	—	高性能粒子フィルタ 1 段内蔵形		
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個			
効率*3	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	たて	mm		
	横	mm		
	高さ*4	mm		
主要材料	ケーシング	—		
	ろ材	—		
個数	—	2(予備 1) *5		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m*6	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*7	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*7	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*8	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*8	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「固化セル圧力放出系排気フィルタユニット A, B ()」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内 1 個予備)」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			建屋排気フィルタ ユニット () *2	変更なし
種類	—	高性能粒子フィルタ 1 段内蔵形		
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
容量	m ³ /h/個			
効率*3	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	たて	mm		
	横	mm		
主要材料	ケーシング	—		
	ろ材	—		
個数	—	11(予備 1) *4		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m *5	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *6	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *6	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「建屋排気フィルタユニット A~K
()」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「11(内 1 個予備)」と記載。

- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *8：上部の管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後
名称			セル排気フィルタユニット () *2	変更なし
種類	—	高性能粒子フィルタ 1段内蔵形		
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
容量		m ³ /h/個		
効率*3	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm		
	吐出口径	mm		
	たて	mm		
	横	mm		
	高さ*4	mm		
主要材料	ケーシング	—		
	ろ材	—		
個数		—	7(予備1)*5	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m *6	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *7	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *7	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *8	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「セル排気フィルタユニット A～
G ()」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「7(内1個予備)」と記載。セル排
気フィルタユニット () を含めた個数を示す。

- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *9：上部管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後	
名称			セル排気フィルタ ユニット () *3	セル排気フィルタユニット () *1	
				() *14	() *15
種類	—		高性能粒子フィルタ 1段内蔵形	変更なし 箱形	変更なし 金属フィルタ *16
最高使用圧力	kPa			変更なし	
最高使用温度	℃				
容量	m ³ /h/個			変更なし — *17	変更なし () *2 *17 *16 以上
効率 *4	単品	%		変更なし — *17	
	総合	%		変更なし — *17	
主要 寸法	吸込口径 *5	mm		変更なし	
	吸込口径 *6	mm		() *2	—
	吐出口径 *7	mm		変更なし	変更なし
	吐出口径 *8	mm		—	() *2
	たて	mm		変更なし	
	横	mm			
高さ *9	mm				
主要 材料	ケーシング	—			
	ろ材	—	変更なし —	変更なし () *16	
個数	—	7(予備 1) *10	変更なし 2 *17		
取付 箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	変更なし	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m *11		
	溢水防護上 の区画番号	—	— *12	—	
	溢水防護上 の配慮が必 要な高さ	—	— *12	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— *13	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— *13	—	

注記 *1：代替換気設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「セル排気フィルタユニット
A~G ()」と記載。

- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「粒子除去効率」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.4.9-1図 セル排気フィルタユニット()の構造図 管台一覧表 P1」及び「第2.5.5.1.4.9-2図 セル排気フィルタユニット()の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.4.9-1図 セル排気フィルタユニット()の構造図 管台一覧表 P3」を示す。
- *7：：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.4.9-1図 セル排気フィルタユニット()の構造図 管台一覧表 P2」及び「第2.5.5.1.4.9-2図 セル排気フィルタユニット()の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.4.9-2図 セル排気フィルタユニット()の構造図 管台一覧表 P3」を示す。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「7(内1個予備)」と記載。セル排気フィルタユニット()を含めた個数を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *13：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *14：重大事故等時にセル排気フィルタユニット()のろ材を取り外すとともに、管台P3に可搬型ダクトを接続し、管台P1はフランジで閉止する。
- *15：重大事故等時にセル排気フィルタユニット()のろ材を可搬型デミスタに交換するとともに、管台P3に可搬型ダクトを接続し、管台P2はフランジで閉止する。
- *16：可搬型デミスタの仕様を示す。
- *17：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *18：上部管台を含めた高さを示す。

(5) 主要弁

			変更前	変更後
名称			主要弁 () *2	変更なし
種類	—	止め弁		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	呼び径	—		
	弁箱厚さ	mm		
主要材料	弁箱	—		
	弁体	—		
駆動方法		—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m *3	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m 以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *4	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *4	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「固化セル第1 隔離ダンパ A, B
(
)」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図
書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後		
名称			主要弁 [REDACTED] *2	変更なし		
種類	—	止め弁	[REDACTED]			
最高使用圧力	MPa	[REDACTED]				
最高使用温度	℃					
主要寸法	呼び径				—	
	弁箱厚さ				mm	
主要材料	弁箱				—	
	弁体				—	
駆動方法					—	
個数					—	2
取付箇所	系統名(ライン名)				—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備
	設置床			—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m*3	
	溢水防護上の 区画番号		—	—	[REDACTED]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [REDACTED] m 以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4	—		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4	—		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「固化セル第2 隔離ダンパ A, B
[REDACTED]」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			主要弁 ^{*2} (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類	—	逆止め弁		
最高使用圧力	MPa	XXXXXXXXXX		
最高使用温度	℃			
主要寸法	呼び径		—	
	弁箱厚さ		mm	
主要材料	弁箱		—	
	弁ふた		—	
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス 固化建屋換気設備	
	設置床	—	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXXXXXX m ^{*2}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*3}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*3}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*4}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*4}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(6) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備						固化セル()～洗浄塔()	変更なし				
						洗浄塔()～凝縮器()	変更なし				
						凝縮器()～ミストフィルタ()*2	変更なし				
						ミストフィルタ()～ルテニウム吸着塔()*3	変更なし				
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備						高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備						ルテニウム吸着塔() ～固化セル換気系排気フィル タユニット()*4	変更なし				
						固化セル換気系排気フィル タユニット()～固 化セル換気系排風機() ()*5	変更なし				
						固化セル換気系排風機() ()～ダクト*6	変更なし				
						高レベル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備～洗浄塔() ()*7	変更なし				
						高レベル廃液ガラス固化廃ガ ス処理設備～凝縮器() ()*9	変更なし				
						凝縮器()への冷水	— *26				
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備							変更なし				
							変更なし				
							変更なし				
							変更なし				
							変更なし				
							— *26				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ()*11	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし					
	セル内クーラA()への冷水					—*26					
	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ()*12					変更なし					
	セル内クーラB()への冷水					—*26					
	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ()*13					変更なし					
	セル内クーラC()への冷水					—*26					
	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ()*14					変更なし					
	セル内クーラD()への冷水					—*26					
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし					
						—*26					
						変更なし					
						—*26					
						変更なし					
						—*26					
						変更なし					
						—*26					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ () *15	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし					
	セル内クーラE () への冷水					— *26					
	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ () *16					変更なし					
	セル内クーラF () への冷水					— *26					
	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ () *17					変更なし					
	セル内クーラG () への冷水					— *26					
	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ () *18					変更なし					
	セル内クーラH () への冷水					— *26					
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし					
						— *26					
						変更なし					
						— *26					
						変更なし					
						— *26					
						変更なし					
						— *26					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ () *19					高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	変更なし				
	セル内クーラI () への冷水						— *26				
	高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備～セル内クーラ () *20						変更なし				
	セル内クーラJ () への冷水						— *26				
	固化セル換気処理セル漏えい液受皿 () ～廃ガス洗浄液槽セル漏えい液受皿 () *25						変更なし				

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「凝縮器 () ～ミストフィルタA, B () 」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ミストフィルタA () ～ () 」, 「ミストフィルタB () ～ () 」, 「 () 」及び「 () ～ルテニウム吸着塔 () 」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ルテニウム吸着塔 () ～固化セル換気系排気フィルタユニットA, B () 」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「固化セル換気系排気フィルタユニットA, B () ～固化セル換気系排風機A, B () 」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「固化セル換気系排風機A, B () ～ダクト」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「洗浄塔 () への純水」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 () 」と記載。記載内容は, SI 単位のみを示す。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「凝縮器 () への冷水」と記載。

*10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 () 」と記載。記載内容は, SI 単位のみを示す。

*11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラ A () への冷水」と記載。

*12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラB () への冷水」と記載。

*13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラC () への冷水」と記載。

*14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラD () への冷水」と記載。

*15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラE () への冷水」と記載。

- *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラF()への冷水」と記載。
- *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラG()への冷水」と記載。
- *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラH()への冷水」と記載。
- *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラI()への冷水」と記載。
- *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「セル内クーラJ()への冷水」と記載。
- *21：第1加温器()0)を示す。
- *22：固化セル換気系粒子フィルタユニット()を示す。
- *23：第2加温器()を示す。
- *24：単位は(MPa)
- *25：本設備は既存の設備である。
- *26：当該ラインについては、主配管に該当しないため、記載の適正化を行う。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	主要弁()～ 固化セルクレーン保守室()*3					高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	変更なし				
	固化セル()～固化セル圧力放出系前置フィルタユニット()*3						変更なし				
	固化セル圧力放出系前置フィルタユニット()～固化セル圧力放出系排気フィルタユニット()*3						変更なし				
	固化セル圧力放出系排気フィルタユニット()～セル排風機()出口ダクト合流点* 3						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	[Redacted]					放射性配管分岐セル()～ダンパ()*3	[Redacted]					放射性配管分岐セル()～ダンパ()*1
						ダンパ()～セル排気フィルタユニット()*3						ダンパ()～セル排気フィルタユニット()*1
						放射性配管分岐セル()～セル導出ユニットフィルタ()出口配管合流点*3						放射性配管分岐セル()～セル導出ユニットフィルタ()出口配管合流点*1
						セル導出ユニットフィルタ()出口配管合流点～ダンパ()出口ダクト合流点*3						変更なし

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	[Redacted]					セル排気フィルタユニット ([Redacted]) ~セル排風機 ([Redacted]) *3	[Redacted]				
						セル排風機 ([Redacted]) ~ 主排気筒*3					
						高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備					
						セル排風機 ([Redacted]) ~ 主排気筒*1					

(つづき)

変更前						変更なし変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
セル排気フィルタユニット (■■■■) 入口ダクト分岐点～セル排気フィルタユニット (■■■■) *3	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	変更なし					
セル排気フィルタユニット (■■■■)～セル排気フィルタユニット (■■■■) 出口ダクト合流点*3						変更なし					
建屋排気フィルタユニット (■■■■)～建屋排風機 (■■■■) *3						変更なし					

高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備

高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	貯蔵ピット収納管排気フィルタユニット()～貯蔵ピット収納管排風機()*3						変更なし				
	貯蔵ピット収納管排風機()～貯蔵ピット収納管排風機()出口逆止ダンパ*3						変更なし				
	フード排気フィルタユニット()～フード排風機()*3						変更なし				
	フード排風機()～フード排風機()出口逆止ダンパ*3						変更なし				
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備											

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	建屋排風機()～セル排風機()出口ダクト合流点*3					高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	変更なし				
	フード排風機()出口逆止ダンパ～セル排風機()出口ダクト合流点*3						変更なし				
	貯蔵ピット収納管排風機()出口逆止ダンパ～セル排風機()出口ダクト合流点*3						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	[Redacted]					高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	変更なし				
安重セル([Redacted]) [Redacted] [Redacted]配管収納容器([Redacted]) [Redacted]～ダンパ([Redacted])出口 ダクト合流点*3 (次ページへつづく)	[Redacted]						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	(前ページからのつづき)	[Redacted]				[Redacted]	高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備	変更なし				
								変更なし				

- 注記
- *1：代替換気設備と兼用する。
 - *2：公称値を示す。
 - *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - *4：固化セル入気フィルタユニット([Redacted])を示す。
 - *5：角ダクトの寸法を示す。

1.1.4.16 北換気筒

(1) 建物・構築物

a. 排気筒

			変更前	変更後	
名称	-		北換気筒*1*2 (ハル・エンドピース及び第一ガラス固化体貯蔵建屋換気筒)	変更なし	
種類	-		六角鉄塔支持形	六角鉄塔支持形 (制振装置付き[減衰係数:1.0C*3])	
主要寸法	筒身	出口内径*4	m	1.8	
		地上高さ*4	m	75	
		厚さ*4	mm	上部9及び下部11	
主要材料	筒身	-	SMA400BP	変更なし	
	支持鉄塔	-	STK400		
基礎	種類	-	鉄筋コンクリート*5		
	主要寸法	たて×横	m		35.00×30.31
		高さ	m		8
	主要材料	-	鉄筋： JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 コンクリート： JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6 N/mm ²		
	底面の標高	-	T. M. S. L. 47.50m		
個数*4	-	1			

- 注記
- * 1 : 北換気筒 (ハル・エンドピース及び第一ガラス固化体貯蔵建屋換気筒) を支持する支持鉄塔は, 廃棄物管理施設と共用する。
 - * 2 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「北換気筒」と記載。
 - * 3 : オイルダンパの減衰係数を示す。
 - * 4 : 公称値を示す。
 - * 5 : 既設工認申請書に記載がないため, 記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

1.1.5 主排気筒

(1) 建物・構築物

a. 排気筒

			変更前	変更後
名称			主排気筒	
種類		-	四角鉄塔支持形	
主要寸法	筒身	出口内径	m	5.15* ¹
		地上高さ	m	150* ¹
		厚さ* ¹ * ²	mm	上部：12+2 下部：15+2
主要材料	筒身	-	ステンレスクラッド鋼：JIS G 3601 (母材：SMA400BP, 合せ板：SUS304)	
	支持鉄塔	-	STK400 STK490	
耐火被覆	種類	-	耐火塗料 * ⁴ * ⁵	
	厚さ	mm	3以上* ⁶	
基礎	種類		-	鉄筋コンクリート
	主要寸法	たて×横	m	54×54
		高さ	m	15
	主要材料		-	鉄筋： JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 コンクリート： JASS5N の規定による普通コンクリート設計基準強度 23.6 N/mm ²
底面の標高		-	T. M. S. L. 40. 50m	
個数* ³		-	1	
取付箇所	設置床	-	-	
	溢水防護上の区画番号	-		
	化学薬品防護上の区画番号	-		
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	屋外	
			T. M. S. L. 55. 30m 以上	

- 注記
- * 1 : 公称値を示す。
 - * 2 : 厚さは、母材+合せ板を示す。
 - * 3 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - * 4 : 建築基準法第二条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0788を取得した主材及び下塗り材を使用する。
 - * 5 : 周辺施設を含め、航空機墜落火災の想定位置を考慮し、支持架構等の構造を維持する必要がある部材については、火炎直近となる部材は全てを塗装対象とし、それ以外の部材は、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。
 - * 6 : 主材厚さを示す。

安全上重要な施設に対する離隔距離表

材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)
炭素鋼	36	1
	28	2
	22	4
	19	5
	15	7
	14	7
	13	8
	12	9
	11	9
	10	-
	9	11
	8	13
	6.5	15
	6.4	15
	6	15
	4.5	18
	3.91	19
	3.9	19
	3.2	21
	2.3	23
2.11	23	
1.2	25	
ステンレス鋼	20	/
	16	
	12	
	9	

1.1.6 代替換気設備

- ・常設
(1) 容器

			変更前	変更後
名称			—	廃ガス洗浄塔 シールポット ■■■■■
種類	—	たて置円筒形		
容量	m ³ /個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径* ³			mm
	胴板厚さ* ⁴			mm
	鏡板厚さ			mm
	鏡板中央部内半径			mm
	鏡板隅の丸み半径			mm
	入口管台外径* ⁵			mm
	入口管台厚さ* ⁵			mm
高さ* ⁶	mm			
主要材料 * ⁷	胴板	—		
	鏡板	—		
個数		—		1
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替換気設備* ²
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■■ m* ²
	溢水防護上の区画番号	—		—* ⁸
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		—* ⁸
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ⁹	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁹	

前処 A

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法D」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

の「管台一覧表 P2」を示す。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法H」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*11：重大事故等時における使用時の値を示す。

*12：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後
名称			廃ガスリリーフポット (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類	—	たて置円筒形		
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	胴内径*2		mm	
	胴板厚さ*3	mm		
	長径	mm		
	短径の2分の1	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	高さ*4	mm		
	入口管台外径*5	mm		
	入口管台厚さ*5	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
個数			1	変更なし

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m ^{*7}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*8}	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*8}	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— ^{*9}	—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*9}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の管台一覧表 P1」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の管台一覧表 P2」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*10：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

*11：重大事故等時における使用時の値を示す。

				変更前	変更後
名称				凝縮液分配器 (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類			—	たて置円筒形	
臨界管理	核的制限値	最大内径	mm		
容量			m ³ /個		
最高使用圧力			MPa		
最高使用温度			℃	変更なし	
主要寸法	胴内径		mm		
	胴板厚さ		mm		
	長径		mm		
	短径の2分の1		mm		
	鏡板厚さ		mm		
	高さ*2		mm		
	入口管台外径*3		mm		
	入口管台厚さ*3		mm		
	出口管台外径*4		mm		
	出口管台厚さ*4		mm		
主要材料	胴板		—		
	鏡板		—		
個数			—	1	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備	変更なし
	設置床	—	██████████ T. M. S. L. ████████ m ^{*6}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*7}	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*8}	—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*8}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	廃ガスポット ()
種類	—	たて置円筒形		
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径* ³	mm		
	胴板厚さ* ⁴	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径* ⁵	mm		
	入口管台厚さ* ⁵	mm		
	出口管台外径* ⁵	mm		
	出口管台厚さ* ⁵	mm		
高さ* ⁶	mm			
主要材料 * ⁷	胴板	—		
	鏡板	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替換気設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m* ²	
	溢水防護上の区画番号	—	—* ⁸	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁸	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ⁹	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁹	

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。
 - *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
 - *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
 - *9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
 - *10：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *11：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。
 - *12：水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後	
名称			—	気液分離器 ()	
種類		—		たて置円筒形	
容量		m ³ /個			
最高使用圧力*4		MPa			
最高使用温度*4		℃			
主要寸法	胴外径			mm	
	胴板厚さ			mm	
	鏡板厚さ			mm	
	鏡板長径			mm	
	鏡板短径の2分の1			mm	
	高さ			mm	
	入口管台外径			mm	
	入口管台厚さ			mm	
	出口管台外径			mm	
	出口管台厚さ			mm	
出口管台外径		mm			
出口管台厚さ		mm			
主要材料	胴板		—		
	鏡板		—		
個数		—		1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備	
	設置床		—	T. M. S. L. m	
	溢水防護上の区画番号		—	*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	*2	—
	化学薬品防護上の区画番号		—	*3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

*5：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

*6：上下部の管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後
名称				廃ガスシールポット [REDACTED] *2
種類		—		たて置円筒形 *3
容量		m ³ /個		
最高使用圧力 *12				
最高使用温度 *12				
主要寸法	胴内径 *4	mm	—	
	胴板厚さ *5	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径 *7	mm		
	入口管台厚さ *7	mm		
	出口管台外径 *8	mm		
	出口管台厚さ *8	mm		
主要材料	高さ *6	mm		
	胴板	—		
	鏡板	—		
個数		—		1
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替換気設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m *9
	溢水防護上の 区画番号	—	— *10	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *11	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *11	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：本設備は既存の高レベル廃液ガラス固化建屋塔槽類廃ガス処理設備の高レベル濃縮廃液廃ガス処理系の設備である。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4 ラグ支持たて置円筒形容器」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。

- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *11：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *12：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *13：水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。
- *14：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

(2) 熱交換器

				変更前	変更後
名称					凝縮器
種類				—	横置U字管式
容量	設計熱交換量			kW/個	
最高使用圧力	管側			MPa	
	胴側			MPa	
最高使用温度	管側			℃	
	胴側			℃	
伝熱面積				m ² /個	
主要寸法	管側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		鏡板厚さ			mm
		鏡板長径			mm
		鏡板短径の2分の1			mm
		入口管台外径*4			mm
		入口管台厚さ*4			mm
		出口管台外径*5			mm
		出口管台厚さ*5			mm
		フランジ厚さ			mm
	胴側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		鏡板厚さ			mm
		鏡板長径			mm
		鏡板短径の2分の1			mm
		入口管台外径*6			mm
		入口管台厚さ*6			mm
		出口管台外径*7			mm
		出口管台厚さ*7			mm
		出口管台外径*8			mm
	出口管台厚さ*8			mm	
	フランジ厚さ			mm	
	管板厚さ			mm	
	伝熱管外径			mm	
	伝熱管厚さ			mm	

前処 A

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	全長		mm	
主要材料	管側	胴板	—	■
		鏡板	—	
		フランジ	—	
	胴側	胴板	—	
		鏡板	—	
		フランジ	—	
	管板		—	
伝熱管		—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備
	設置床		—	■ T. M. S. L. ■ m
	溢水防護上の区画番号		—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— *2
	化学薬品防護上の区画番号		—	— *3
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	— *3

前処 A

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*5：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*6：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*7：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*8：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

*10：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後
名称				予備凝縮器 ■■■■■
種類		—		横置U字管式
容量	設計熱交換量	kW/個		
最高使用圧力	管側	MPa		
	胴側	MPa		
最高使用温度	管側	℃		
	胴側	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	管側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		入口管台外径*4	mm	
		入口管台厚さ*4	mm	
		出口管台外径*5	mm	
		出口管台厚さ*5	mm	
		フランジ厚さ	mm	
	胴側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		入口管台外径*6	mm	
		入口管台厚さ*6	mm	
		出口管台外径*7	mm	
		出口管台厚さ*7	mm	
		出口管台外径*8	mm	
出口管台厚さ*8	mm			
	フランジ厚さ	mm		
	管板厚さ	mm		
	伝熱管外径	mm		
	伝熱管厚さ	mm		

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	全長		mm	
主要材料	管側	胴板	—	[Redacted]
		鏡板	—	
		フランジ	—	
	胴側	胴板	—	
		鏡板	—	
		フランジ	—	
	管板		—	
伝熱管		—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備
	設置床		—	T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号		—	— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— *2
	化学薬品防護上の区画番号		—	— *3
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	— *3

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*5：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*6：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*7：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*8：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-1図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

*10：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

				変更前	変更後
名称					凝縮器
種類				—	()
					横置U字管式
容量	処理容量		kg/h/個	—	
	設計熱交換量		kW/個		
最高使用圧力		管側	MPa		
		胴側	MPa		
最高使用温度		管側	℃		
		胴側	℃		
伝熱面積			m ² /個		
主要寸法	管側	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		中央部の内半径	mm		
		隅の丸み内半径	mm		
		鏡板厚さ	mm		
		入口管台外径*4	mm		
		入口管台厚さ*4	mm		
		出口管台外径*5	mm		
		出口管台厚さ*5	mm		
		胴側	胴内径	mm	
	胴板厚さ		mm		
	中央部の内半径		mm		
	隅の丸み内半径		mm		
	鏡板厚さ		mm		
	入口管台外径*6		mm		
	入口管台厚さ*6		mm		
	出口管台外径*7		mm		
	出口管台厚さ*7		mm		
	出口管台外径*8		mm		
	出口管台厚さ*8	mm			
出口管台外径*10	mm				
出口管台厚さ*10	mm				

(つづき)

			変更前	変更後	
主要寸法	管板厚さ		mm		
	伝熱管外径		mm		
	伝熱管厚さ		mm		
	全長		mm		
	高さ		mm		
主要材料	管側	胴板	—		
		鏡板	—		
	胴側	胴板	—		
		鏡板	—		
	管板		—		
	伝熱管		—		
個数			—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備	
	設置床		—	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> T. M. S. L. m	
	溢水防護上の 区画番号		—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*2	—
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—*3	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*5：記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*6：記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*7：記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*8：記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*10：記載内容は、添付図面「第〇〇〇図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P7」

を示す。

*10：重大事故等時における使用時の値を示す。

*11：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

				変更前	変更後
名称				高レベル廃液濃縮缶凝縮器*3 (XXXXXXXXXX)	高レベル廃液濃縮缶凝縮器 XXXXXXXXXX *1
種類			—	横置U字管式 (横置多管式)	変更なし
容量	処理容量		m ³ /h/個		
	設計熱交換量		kW/個		
最高使用圧力	管側		MPa		
	胴側		MPa		
最高使用温度	管側		°C		
	胴側		°C		
伝熱面積			m ² /個		
主要寸法	管側	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		長径	mm		
		短径の2分の1	mm		
		鏡板厚さ	mm		
		入口管台外径*4	mm		
		入口管台厚さ*4	mm		
		出口管台外径*5	mm		
	出口管台厚さ*5	mm			
	胴側	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		長径	mm		
		短径の2分の1	mm		
		鏡板厚さ	mm		
		入口管台外径*6	mm		
		入口管台厚さ*6	mm		
				変更なし	

(つづき)

				変更前	変更後
主要寸法	胴側	出口管台外径*7	mm		変更なし
		出口管台厚さ*7	mm		
		出口管台外径*8	mm		
		出口管台厚さ*8	mm		
		出口管台外径*10	mm		
		出口管台厚さ*10	mm		
		出口管台外径*10	mm		
		出口管台厚さ*10	mm		
		出口管台外径*11	mm		
		出口管台厚さ*11	mm		
	管板厚さ		mm		
	伝熱管外径		mm		
	伝熱管厚さ		mm		
	全長		mm		
高さ*12		mm			
主要材料	管側	胴板	—		
		鏡板	—		
	胴側	胴板	—		
		鏡板	—		
	管板		—		
	伝熱管		—		
個数			—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備	
	設置床		—	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> T. M. S. L. m*13	
	溢水防護上の区画番号		—	—*14	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*14	—
	化学薬品防護上の区画番号		—	—*15	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—*15	—

注記 *1: その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系及び放射性廃棄物の廃棄施設のうち高レベル廃液濃縮系と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液濃縮缶凝縮器A」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-3図 高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの構造図 管台一覧表 P3」を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-3図 高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの構造図 管台一覧表 P4」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-3図 高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-3図 高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-3図 高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの構造図 管台一覧表 P5」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-3図 高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの構造図 管台一覧表 P6」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-3図 高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの構造図 管台一覧表 P7」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年6月22日付け11安(核規)第334号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-3図 高レベル廃液濃縮缶凝縮器Aの構造図 管台一覧表 P8」を示す。
- *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *14：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *15：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *16：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。
- *17：重大事故等時における使用時の値を示す。

				変更前	変更後						
名称				第1エジェクタ 凝縮器 ()	第1エジェクタ 凝縮器 () *1						
種類		—	横置U字管式								
容量	処理容量		m ³ /h/個		変更なし						
	設計熱交換量		kW/個								
最高使用圧力	管側		MPa			変更なし					
	胴側		MPa								
最高使用温度	管側		℃					変更なし			
	胴側		℃								
伝熱面積			m ² /個							変更なし	
主要寸法	管側	胴板内径									mm
		胴板厚さ									mm
		長径									mm
		短径の2分の1		mm							
		鏡板厚さ		mm							
		入口管台外径*3		mm							
		入口管台厚さ*3		mm							
		出口管台外径*4		mm							
		出口管台厚さ*4		mm							
		胴側	胴板内径		mm						
	胴板厚さ		mm								
	長径		mm								
	短径の2分の1		mm								
	鏡板厚さ		mm								
	入口管台外径*5		mm								
	入口管台厚さ*5		mm								
	出口管台外径*6		mm								
	出口管台厚さ*6		mm								
	出口管台外径*7		mm								
	出口管台厚さ*7		mm								

(つづき)

			変更前	変更後	
主要寸法	管板厚さ	mm	[Redacted]	変更なし	
	伝熱管外径	mm			
	伝熱管厚さ	mm			
	全長*8	mm			
	高さ*9	mm			
主要材料	管側	胴板			—
		鏡板			—
	胴側	胴板			—
		鏡板			—
	管板				—
	伝熱管		—		
個数		—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備	
	設置床		—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*10	
	溢水防護上の区画番号		—	—*11	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*11	—
	化学薬品防護上の区画番号		—	—*12	—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ		—	—*12	—

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系及び放射性廃棄物の廃棄施設のうち高レベル廃液濃縮系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P4」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P4」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P4」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P4」を示す。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「L」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

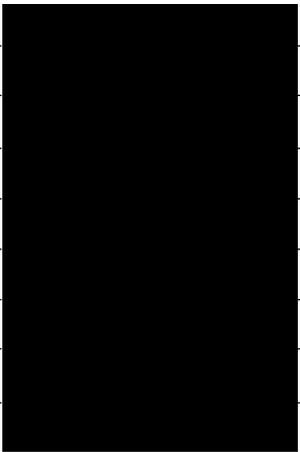
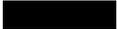
*10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計

図書による。

- *11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *13：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。
- *14：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称				凝縮器 ()
種類			—	横置多管式
容量	設計熱交換量		kW/個	
最高使用圧力	管側		MPa	
	胴側		MPa	
最高使用温度	管側		℃	
	胴側		℃	
伝熱面積			m ² /個	
主要寸法	管側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板の長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		冷却水入口管台外径*2	mm	
		冷却水入口管台厚さ*2	mm	
		冷却水出口管台外径*3	mm	
		冷却水出口管台厚さ*3	mm	
		胴板フランジ厚さ	mm	
	胴側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		混合ガス入口管台外径*4	mm	
		混合ガス入口管台厚さ*4	mm	
		胴側ベント管台外径*5	mm	
		胴側ベント管台厚さ*5	mm	
		凝縮液出口管台外径*6	mm	
凝縮液出口管台厚さ*6	mm			
管板厚さ		mm		
伝熱管外径		mm		

(つづき)

			変更前	変更後	
主要寸法	伝熱管厚さ		mm		
	全長		mm		
主要材料	管側	胴板	—		
		鏡板	—		
		胴板フランジ	—		
	胴側	胴板	—		
		鏡板	—		
		管板	—		
伝熱管		—			
個数			—		1
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備	
	設置床		—	 T. M. S. L.  m	
	溢水防護上の区画番号		—	— *7	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	— *7	—
	化学薬品防護上の 区画番号		—	— *8	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	— *8	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器()の構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*3：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器()の構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*4：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器()の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器()の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*6：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器()の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

*10：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後
名称				予備凝縮器 ()
種類			—	横置多管式
容量	設計熱交換量		kW/個	
最高使用圧力	管側		MPa	
	胴側		MPa	
最高使用温度	管側		℃	
	胴側		℃	
伝熱面積			m ² /個	
主要寸法	管側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板の長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		冷却水入口管台外径*2	mm	
		冷却水入口管台厚さ*2	mm	
		冷却水出口管台外径*3	mm	
		冷却水出口管台厚さ*3	mm	
		胴板フランジ厚さ	mm	
	胴側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板の長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		混合ガス入口管台外径*4	mm	
		混合ガス入口管台厚さ*4	mm	
		胴側ベント管台外径*5	mm	
		胴側ベント管台厚さ*5	mm	
		凝縮液出口管台外径*6	mm	
凝縮液出口管台厚さ*6	mm			
管板厚さ		mm		
伝熱管外径		mm		

(つづき)

				変更前	変更後
主要寸法	伝熱管厚さ		mm		
	全長		mm		
主要材料	管側	胴板	—		
		鏡板	—		
		フランジ	—		
	胴側	胴板	—		
		鏡板	—		
	管板		—		
伝熱管		—			
個数			—		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備	
	設置床		—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の区画番号		—	— *7	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— *7	
	化学薬品防護上の区画番号		—	— *8	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	— *8	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*3：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*4：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*6：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-3図 凝縮器(1405-C55)及び予備凝縮器(■■■■■)の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

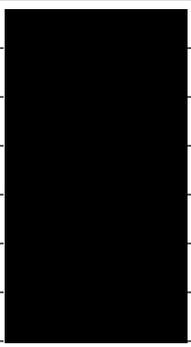
*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

*10：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後
名称				凝縮器 ()
種類		—		横置多管式
容量	設計熱交換量	kW/個		
最高使用圧力	管側	MPa		
	胴側	MPa		
最高使用温度	管側	℃		
	胴側	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	管側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		胴板フランジ厚さ	mm	
		冷却水入口管台外径	mm	
		冷却水入口管台厚さ	mm	
		冷却水出口管台外径	mm	
		冷却水出口管台厚さ	mm	
	胴側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		混合ガス入口管台外径	mm	
		混合ガス入口管台厚さ	mm	
		胴側ベント管台外径	mm	
		胴側ベント管台厚さ	mm	
		凝縮液出口管台外径	mm	
凝縮液出口管台厚さ	mm			
管板厚さ		mm		
伝熱管外径		mm		
伝熱管厚さ		mm		
全長		mm		

(つづき)

				変更前	変更後	
主要材料	管側	胴板	—	—		
		鏡板	—			
		胴板フランジ	—			
	胴側	胴板	—			
		鏡板	—			
	管板		—			
	伝熱管		—			
個数			—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—	代替換気設備	
	設置床		—		 T. M. S. L.  m	
	溢水防護上の区画番号		—		— *2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—		— *2	—
	化学薬品防護上の区画番号		—		— *3	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—		— *3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

*5：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後
名称				予備凝縮器 ()
種類		—		横置多管式
容量	設計熱交換量	kW/個		
最高使用圧力	管側	MPa		
	胴側	MPa		
最高使用温度	管側	℃		
	胴側	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	管側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		胴板フランジ厚さ	mm	
		冷却水入口管台外径	mm	
		冷却水入口管台厚さ	mm	
		冷却水出口管台外径	mm	
		冷却水出口管台厚さ	mm	
	胴側	胴内径	mm	
		胴板厚さ	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		混合ガス入口管台外径	mm	
		混合ガス入口管台厚さ	mm	
		胴側ベント管台外径	mm	
		胴側ベント管台厚さ	mm	
		凝縮液出口管台外径	mm	
凝縮液出口管台厚さ	mm			
管板厚さ		mm		
伝熱管外径		mm		
伝熱管厚さ		mm		
全長		mm		

(つづき)

				変更前	変更後	
主要材料	管側	胴板	—	—		
		鏡板	—			
		胴板フランジ	—			
	胴側	胴板	—			
		鏡板	—			
	管板		—			
	伝熱管		—			
個数			—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—	代替換気設備	
	設置床		—		 T. M. S. L.  m	
	溢水防護上の区画番号		—		— *2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—		— *2	—
	化学薬品防護上の区画番号		—		— *3	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—		— *3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

*5：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

				変更前	変更後
名称					凝縮器 ()
種類			—		横置二胴直管式
容量	設計熱交換量		kW/個		
最高使用圧力*4	管側		MPa		
	胴側		MPa		
最高使用温度*4	管側		℃		
	胴側		℃		
伝熱面積			m ² /個		
主要寸法	上胴	管側	胴外径	mm	
			胴板厚さ	mm	
			鏡板厚さ	mm	
			鏡板長径	mm	
			鏡板短径の 2分の1	mm	
			出口管台外径	mm	
		出口管台厚さ	mm		
		胴側	胴外径	mm	
			胴板厚さ	mm	
		管板厚さ		mm	
		伝熱管外径		mm	
		伝熱管厚さ		mm	
	長さ		mm		
	下胴	管側	胴外径	mm	
			胴板厚さ	mm	
			鏡板厚さ	mm	
			鏡板長径	mm	
			鏡板短径の 2分の1	mm	
			入口管台外径	mm	
		入口管台厚さ	mm		
		胴側	胴外径	mm	
			胴板厚さ	mm	
		出口管台外径		mm	
		出口管台厚さ		mm	
管板厚さ		mm			
伝熱管外径		mm			
伝熱管厚さ		mm			
長さ		mm			

(つづき)

					変更前	変更後
主要寸法	入口分散管外径		mm		—	[Redacted]
	入口分散管厚さ		mm			
	連絡管外径		mm			
	連絡管厚さ		mm			
	入口管台外径		mm			
	入口管台厚さ		mm			
主要材料	上胴	管側	胴板	—		
			鏡板	—		
		胴側	胴板	—		
			管板	—		
	下胴	管側	胴板	—		
			鏡板	—		
		胴側	胴板	—		
			管板	—		
		伝熱管		—		
		入口分散管		—		
連絡管		—				
個数			—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替換気設備		
	設置床		—	T. M. S. L. [Redacted] m		
	溢水防護上の区画番号		—	— *2		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— *2		
	化学薬品防護上の区画番号		—	— *3		
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	— *3		

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

*5 : 水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

				変更前	変更後	
名称				—	予備凝縮器 ()	
種類			—		横置二胴直管式	
容量	設計熱交換量		kW/個			
最高使用圧力*4	管側		MPa			
	胴側		MPa			
最高使用温度*4	管側		℃			
	胴側		℃			
伝熱面積			m ² /個			
主要寸法	上胴	管側	胴外径			mm
			胴板厚さ			mm
			鏡板厚さ	mm		
			鏡板長径	mm		
			鏡板短径の 2分の1	mm		
			出口管台外径	mm		
		出口管台厚さ	mm			
		胴側	胴外径	mm		
			胴板厚さ	mm		
		管板厚さ		mm		
		伝熱管外径		mm		
		伝熱管厚さ		mm		
	長さ		mm			
	下胴	管側	胴外径	mm		
			胴板厚さ	mm		
			鏡板厚さ	mm		
			鏡板長径	mm		
			鏡板短径の 2分の1	mm		
			入口管台外径	mm		
		入口管台厚さ	mm			
		胴側	胴外径	mm		
			胴板厚さ	mm		
		出口管台外径	mm			
		出口管台厚さ	mm			
管板厚さ		mm				
伝熱管外径		mm				
伝熱管厚さ		mm				
長さ		mm				

(つづき)

					変更前	変更後
主要寸法	入口分散管外径		mm	-		
	入口分散管厚さ		mm			
	連絡管外径		mm			
	連絡管厚さ		mm			
	入口管台外径		mm			
	入口管台厚さ		mm			
主要材料	上胴	管側	胴板	-	-	
			鏡板	-		
		胴側	胴板	-		
			管板	-		
		伝熱管		-		
	下胴	管側	胴板	-		
			鏡板	-		
		胴側	胴板	-		
			管板	-		
		伝熱管		-		
	入口分散管		-			
	連絡管		-			
	個数		-	1		
	取付箇所	系統名(ライン名)		-		
設置床		-	T. M. S. L. [] m			
溢水防護上の 区画番号		-	- *2			
溢水防護上の配慮が 必要な高さ		-	- *2			
化学薬品防護上の 区画番号		-	- *3			
化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ		-	- *3			

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

*5 : 水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

(3) フィルタ

			変更前	変更後	
名称				セル導出ユニットフィルタ ■■■■■	
種類		—		高性能粒子フィルタ	
最高使用圧力		MPa		■■■■■	
最高使用温度		℃			
容量		m ³ /h/個 [normal]			
効率	単品	%			
主要寸法	吸込口径*4	mm	—		
	吐出口径*5	mm			
	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
主要材料	ケーシング	—			
	ろ材	—			
個数		—			1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを1台)
取付箇所	系統名(ライン名)	—			代替換気設備
	設置床	—			■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

- *4: 記載内容は, 添付図面「第2.5.5.1.6-13図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *5: 記載内容は, 添付図面「第2.5.5.1.6-13図 凝縮器の構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *6: 重大事故等時における使用時の値を示す。
- *7: 水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。
- *8: 内蔵フィルタの定格処理風量は \blacksquare m³/h/個以上とする。

			変更前	変更後
名称				セル導出ユニットフィルタ (XXXXXXXXXX)
種類		—		たて置円筒形
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
容量		m ³ /h/個		
効率	単品	%		
主要寸法	吸込口径	mm	—	
	吐出口径	mm		
	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	高さ	mm		
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	ろ材	—		
個数		—		2(内1個予備)
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替換気設備
	設置床	—		XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	XXXXXXXXXX
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. XXXXXX m

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：重大事故等時における使用時の値を示す。

*4：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

*5：水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後	
名称			—	セル導出ユニット フィルタ (XXXXXXXXXX)	
種類		—		箱型(高性能粒子フィルタ1段内蔵形)	
容量		m ³ /h/個 [normal]			
最高使用圧力		MPa			
最高使用温度		°C			
効率	単品	%			
	総合	%			
主要寸法	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
	厚さ	mm			
	廃ガス入口管台外径*2	mm			
	廃ガス入口管台厚さ*2	mm			
	廃ガス出口管台外径*3	mm			
	廃ガス出口管台厚さ*3	mm			
主要材料	ケーシング	—			
	ろ材	—			
個数		—			2(予備として故障時のバックアップを1)
取付箇所	系統名(ライン名)	—			代替換気設備
	設置床	—	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m		
	溢水防護上の区画番号	—	— *4		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *4		
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *5		
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *5		

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-8図 セル導出ユニットフィルタ(XXXXXXXXXX)の構造図 管台一覧表 P1/P2」を示す。

- *3：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.6-8図 セル導出ユニットフィルタ()の構造図 管台一覧表 P3/P4」を示す
- *4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *6：内蔵フィルタの定格処理風量は $\text{m}^3/\text{h}/\text{個}$ とする。
- *7：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *8：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。
- *9： と が連結されている寸法を示す。

			変更前	変更後
名称				セル導出ユニット フィルタ ()
種類		—		箱型(高性能粒子フィルタ1段内蔵形)
容量		m ³ /h/個 [normal]		
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
効率	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	たて	mm		
	横	mm		
	高さ	mm		
	厚さ	mm		
	入口管台外径	mm		
	入口管台外径厚さ	mm		
	出口管台外径	mm		
	出口管台外径厚さ	mm		
主要材料	ケーシング	—		
	ろ材	—		
個数		—		2(予備として故障時のバックアップを1)
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替換気設備
	設置床	—		 T. M. S. L.  m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：内蔵フィルタの定格処理風量はm³/h/個とする。

(つづき)

- *5 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
- *6 : 水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。
- *7 : ■■■■■と■■■■■が連結されている寸法を示す。

			変更前	変更後
名称				セル導出ユニットフィルタ ()
種類		—		高性能粒子フィルタ
容量		m ³ /h/個		
最高使用圧力*4		MPa		
最高使用温度*4		℃		
効率	単品	%		
	総合	%		
主要寸法	吸込口径	mm	—	
	吐出口径	mm		
	たて	mm		
	横	mm		
	高さ	mm		
主要材料	ケーシング	—		
	ろ材	—		
個数		—		2(予備 1)
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		代替換気設備
	設置床	—		T. M. S. L. m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

*5：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

(4) 主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替換気設備	-					フィルタ■■■■■■入口配管■■■■■■ ■■■■■■~ 弁■■■■■■	代替換気設備	■■■■■■				
	-					廃ガス洗浄塔シールポット■■■■■■ ~中間ポット■■■■■■ 出口配管合流点		■■■■■■				
	-					廃ガス洗浄塔入口配管■■■■■■~ 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備系空気供給配管分岐点		■■■■■■				
	-					前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備系空気供給配管分岐点~ 凝縮器及び予備凝縮器入口ライン上流側接続口		■■■■■■				
	-					凝縮器及び予備凝縮器入口ライン下流側接続口~ 凝縮器■■■■■■		■■■■■■				
	-					凝縮器入口配管■■■■■■ ■■■■■■~ 予備凝縮器入口ライン上流側接続口		■■■■■■				
	-					予備凝縮器入口ライン下流側接続口~ 予備凝縮器■■■■■■		■■■■■■				

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替換気設備	-					代替換気設備	凝縮器■■■■■■～ 凝縮器出口ライン上流側 接続口					
	-						凝縮器出口ライン下流側 接続口～ アクティブギャラリ■■■■■■ ■■■■■■給気ダクト合流点					
	-						アクティブギャラリ■■■■■■ ■■■■■■給気ダクト合流点～ アクティブギャラリ■■■■■■ ■■■■■■					
	-						予備凝縮器■■■■■■ ～予備凝縮器出口ライン 上流側接続口					
	-						予備凝縮器出口ライン下 流側接続口～ 凝縮器出口配管■■■■■■ ■■■■■■					
	-						凝縮器■■■■■■～ 迅速流体継手接続口■■■■■■ ■■■■■■					
	-						迅速流体継手接続口■■■■■■ ■■■■■■～ 凝縮器出口配管■■■■■■ ■■■■■■					
	-						予備凝縮器■■■■■■ ～迅速流体継手接続口■■■■■■ ■■■■■■					

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替換気設備	-					代替換気設備	迅速流体継手接続口 ■■■■■ ■■■■■ ~ 凝縮器出口配管 ■■■■■ ■■■■■					
	-						アクティブギャラリ ■■■■■ ■■■■■ 排気ダクト ~ 可搬型フィルタ入口ライン上流側接続口					
	-						可搬型フィルタ入口ライン下流側接続口 ~ 可搬型フィルタ入口接続口					
	-						可搬型フィルタ出口接続口 ~ 可搬型排風機入口接続口					
	-						可搬型排風機出口接続口 ~ 可搬型排風機出口ライン上流側接続口					
	-						可搬型排風機出口ライン下流側接続口 ~ 排風機 (K752) 出口ライン合流点					

注記 *1: 公称値を示す。
 *2: 重大事故等時における使用時の値。
 *3: 水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。
 *4: 本設備は既存の設備である。

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替換気設備		—				廃ガス洗浄塔入口配管分岐点～廃ガスリリーフポット() *2					
		—				廃ガス洗浄塔入口配管分岐点～弁出口配管分岐点*2					
		—				排風機入口配管分岐点～弁() *2					
		—				放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿2入口配管合流点～放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿2() *2					
		—				高レベル廃液濃縮缶凝縮器, 第1エジクタ凝縮器～凝縮液分配器() *2					
		—				凝縮液分配器()～第1, 第2供給槽() *2					
		—				弁出口配管分岐点～凝縮器入口配管接続口(フランジ), 迅速流体継手接続口(), セル導出ユニットフィルタ(), 放射性配管分岐第1セル					
		—				凝縮器入口配管接続口(フランジ)～凝縮器()					
	—				凝縮器()～凝縮器出口配管接続口(フランジ)						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替換気設備	—					代替換気設備	凝縮器出口配管接続口(フランジ)～凝縮器入口配管接続口(フランジ), 迅速流体継手接続口(), セル導出ユニットフィルタ(), 放射性配管分岐第1セル				
	—						迅速流体継手接続口()～凝縮器入口配管接続口(フランジ), 迅速流体継手接続口(), セル導出ユニットフィルタ(), 放射性配管分岐第1セル				
	—						セル導出ユニットフィルタ()～凝縮器入口配管接続口(フランジ), 迅速流体継手接続口(), セル導出ユニットフィルタ(), 放射性配管分岐第1セル				
	—						凝縮器()～放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿2入口配管接続口(フランジ)				
	—						放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿2入口配管接続口(フランジ)～放射性配管分岐第1セル漏えい液受皿2入口配管合流点				

- 注記 *1: 公称値を示す。
 *2: 本設備は既存の設備である。
 *3: 凝縮液シールポット()を示す。
 *4: 内径を示す。
 *5: 角ダクトの寸法を示す。
 *6: 水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替換気設備	—					廃ガス洗浄塔入口配管分岐点 ～廃ガスポット ██████████ *2*3	大気圧*4 █████*5	[Redacted]				
	—					廃ガスポット ██████████～ セル開放部*2*3	大気圧*4					
	—					廃ガス洗浄塔入口配管分岐点 ～凝縮器 ██████████	大気圧*3*4 █████*5					
							█████*3*4 █████*5					
							█████*4 █████*5					
	—					排風機入口配管分岐点～弁 ██████████*2*3	大気圧*4 (外圧)*4					
	—					弁 ██████████ 入口 配管分岐点～弁 ██████████ *3	大気圧*4 (外圧)*4					
	—					凝縮器 ██████████～セル導出 ユニットフィルタ ██████████ ██████████	大気圧*4 █████*5					
—					凝縮器入口配管分岐点～フラ ンジ	大気圧*4 █████*5						
—					フランジ～予備凝縮器 ██████████ ██████████	大気圧*4 █████*5						
—					予備凝縮器 ██████████～フラ ンジ	大気圧*4 █████*5						

(続き)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替換気設備	—					代替換気設備	フランジ～凝縮器入口配管合流点	大気圧*4 ■*5	[Redacted]			
	—						セル導出ユニットフィルタ■ ■■■■～放射性配管分岐第1セル給気ダクト合流点	大気圧*4 ■*5				
	—						セル導出ユニットフィルタ入口配管分岐点～セル導出ユニットフィルタ出口配管合流点	大気圧*4 ■*5				
	—						セル導出ユニットフィルタ出口配管分岐点～フランジ	大気圧*4 ■*5				
	—						フランジ～セル導出ユニットフィルタ出口配管合流点	大気圧*4 ■*5				
	—						凝縮器■■■■，迅速流体継手接続口■■■■～精製建屋一時貯留処理槽第1セル	静水頭*4 *3*4				
	—						予備凝縮器■■■■～迅速流体継手接続口■■■■	静水頭*4				
	—						セル導出ラインダクト合流点～放射性配管分岐第1セル■■■■給気ライン*3	■■■■ (外圧)*4 ■*5 ■■■■ (外圧)*4 ■*5				

注記 *1：公称値を示す。
 *2：放射性廃棄物の廃棄施設のうち，気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
 *3：本設備は既存の設備である。
 *4：重大事故等時における使用時の値を示す。
 *5：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料
代替換気設備	—	—	—	—	—	弁 () ~ 第 1 排風機入口配管合流点*2	代替換気設備	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	セル導出ユニットフィルタ入口配管分岐点~セル導出ユニットフィルタ出口配管合流点					
	—	—	—	—	—	セル導出ユニットフィルタ () ~ 硝酸プルトニウム貯槽セル給気ダクト接続口					
	—	—	—	—	—	予備凝縮器出口ライン下流側接続口~弁 ()					
	—	—	—	—	—	予備凝縮器入口ライン下流側接続口~予備凝縮器 ()					
	—	—	—	—	—	凝縮器 (), 迅速流体継手 () ~ 迅速流体継手 ()					
	—	—	—	—	—	凝縮器 () ~ セル導出ユニットフィルタ ()					
	—	—	—	—	—	凝縮器 () 出口ライン分岐点~迅速流体継手 ()					
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () ~ 凝縮器 () 出口ライン合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(°C)	外径(mm)*1	厚さ(mm)*1	主要材料	名称	最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(°C)	外径(mm)*1	厚さ(mm)*1	主要材料
代替換気設備	—	—	—	—	—	第1排風機入口配管分岐点～凝縮器 ()	代替換気設備	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	弁()～凝縮器入口配管合流点					
	—	—	—	—	—	凝縮器入口配管分岐点～予備凝縮器入口ライン上流側接続口					
	—	—	—	—	—	予備凝縮器()～迅速流体継手()					
	—	—	—	—	—	予備凝縮器()～予備凝縮器出口ライン上流側接続口					
	—	—	—	—	—	フランジ～凝縮廃液受槽セル漏えい液受皿(), 凝縮廃液貯槽セル漏えい液受皿()					
	—	—	—	—	—	硝酸プルトニウム貯槽セル給気ダクト接続口～硝酸プルトニウム貯槽セル()					
	—	—	—	—	—	フランジ～グローブボックス・セル排気フィルタユニット入口ライン点検口合流点					
—	—	—	—	—	フランジ～建屋排風機出口ライン点検口合流点						

*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1排風機 A, B()まわり」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(kPa)」に「 」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書に記載。

*5：重大事故時における使用時の値。

*6：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替換気設備						高レベル廃液共用貯槽 (■ ■■■■) 出口配管分岐点～ 建屋換気ダクト入口配管 分岐点					
						建屋換気ダクト入口配管 分岐点～凝縮器 (■■■■ ■)					
						高レベル廃液共用貯槽 (■ ■■■■) 出口配管分岐点～ 廃ガスシールポット (■■■■ ■■■■)					
						廃ガスシールポット (■■■■ ■■■■)～塔槽類廃ガス処 理第1セル (■■■■)					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替換気設備	-					凝縮器() 入口配管分岐点～予備凝縮器() 入口配管接続口 (フランジ)	代替換気設備	-				
	-					凝縮器()～気液分離器()		-				
	-					予備凝縮器() 出口配管接続口(フランジ)～気液分離器() 入口配管合流点		-				
	-					気液分離器()～セル導出ユニットフィルタ()		-				
	-					セル導出ユニットフィルタ()～放射性配管分岐セル() 出口ダクト合流点		-				
	-					気液分離器()～供給槽第2セル除染配管合流点		-				
	-					供給槽第2セル除染配管合流点～供給槽第2セル()		-				

新 R②

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替換気設備	-					代替換気設備	凝縮器()入口配管分岐点～迅速流体継手接続口()	[REDACTED]				
	-						迅速流体継手接続口()～凝縮器()入口配管合流点					
	-						弁()～排風機()入口配管合流点					

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *3：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。
 - *4：本設備は既存の設備である。

・可搬
(1) 容器

			変更前	変更後
名称			—	可搬型デミスタ
種類	—			金属フィルタ
容量	m ³ /h/基			2400以上(2400 ^{*1})
最高使用圧力	MPa			0.0047(外圧) ^{*2}
最高使用温度	℃			50 ^{*2}
主要寸法	たて	mm		292 ^{*1}
	横	mm		610 ^{*1}
	高さ	mm		610 ^{*1}
主要材料	メッシュパッド			SUS304
個数				—
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	代替換気設備
	設置床	—		保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化 建屋内(4個) T. M. S. L. ■■■■m ・第1保管用コンテナ エリア(4個) T. M. S. L. 55.00m (取付箇所： KA ■■■■ T. M. S. L. ■■■■m)

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故時における使用時の値を示す。

(2) ファン

			変更前	変更後	
名称				可搬型排風機	
排風機	種類	—	—	遠心式	
	容量	m ³ /h/個		2,400 以上 (2,400 ^{*1})	
	主要寸法	吸込口径		mm	175 ^{*1}
		吐出口径		mm	160 ^{*1}
		たて		mm	448 ^{*1}
		横		mm	700 ^{*1}
		高さ		mm	840 ^{*1}
	主要材料	ケーシング		—	SUS304
	個数	—		3(予備として故障時のバックアップを2個)	
	系統名 (ライン名)	—		代替換気設備	
設置床	—	—	保管場所： ・ █████ (1 個) T. M. S. L. 約 █████ m ・ 第2 保管庫 W0112(2 個) T. M. S. L. 約 48.65m (取付箇所： █████ T. M. S. L. 約 █████ m)		
原動機	種類	—	—	誘導電動機	
	出力	kW/個		3.7	
	個数	—		3	
	取付箇所	—		可搬型排風機と同じ	

注記 *1：公称値を示す。

			変更前	変更後	
名称				可搬型排風機	
排風機	種類	—		遠心式	
	容量	m ³ /h/個		2400以上 (2400 ^{*1})	
	最高使用圧力	kPa		4.7	
	最高使用温度	°C		50	
	主要寸法	吸込口径	mm		240 ^{*1}
		吐出口径	mm		210 ^{*1}
		たて	mm		620 ^{*1}
		横	mm		993 ^{*1}
		高さ	mm		1049 ^{*1}
	主要材料	ケーシング	—		SUS304
	個数		—		2(予備として故障時のバックアップを1個)
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替換気設備	
	設置床	—		保管場所： <ul style="list-style-type: none"> ・ [] (1個) T. M. S. L. 約 [] m ・ 分離建屋外 (1個) T. M. S. L. 約48.65m (取付箇所： [] T. M. S. L. [] m)	
原動機	種類	—		誘導電動機	
	出力	kW/個		3.7	
	個数	—		3	
	取付箇所	—		排風機と同じ	

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称				可搬型排風機	
排風機	種類	—		遠心式	
	最高使用圧力	kPa		4.7	
	最高使用温度	℃		50	
	容量	m ³ /h/個		2400以上 (2400* ¹)	
	主要寸法	吸込口径	mm		240* ¹
		吐出口径	mm		210* ¹
		たて	mm		448* ¹
		横	mm		700* ¹
		高さ	mm		755* ¹
	主要材料	ケーシング	—		SUS304
個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを1台)		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		代替換気設備	
	設置床	—		保管場所： ・ [] (1台) T. M. S. L. 約 [] m ・ 第2保管庫 W0112(1台) T. M. S. L. 約48.65m (取付箇所： [] T. M. S. L. [] m)	
原動機	種類	—	—	誘導電動機	
	出力	kW/個		3.7	
	個数	—	—	3	
	取付箇所	—		排風機と同じ	

注記 *1：公称値を示す

			変更前	変更後	
名称				可搬型排風機	
排風機	種類	—	—	遠心式	
	容量	m ³ /h/個		2400以上 (2400* ¹)	
	最高使用圧力	kPa		(外圧)4.7* ²	
	最高使用温度	℃		50* ²	
	主要寸法	吸込口径		mm	200* ¹
		吐出口径		mm	200* ¹
		たて		mm	800* ¹
		横		mm	630* ¹
	主要材料	ケーシング		—	SUS304
		高さ		mm	840* ¹
	個数	—		2(予備として故障時のバックアップを1個)	
系統名(ライン名)	—	代替換気設備			
取付箇所	—	—	保管場所： ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内(1個) T. M. S. L. ■■■■m ・第2保管庫・貯水所 T. M. S. L. 48.65m(1個) (取付箇所： ■■■■ T. M. S. L. ■■■■m)		
原動機	種類	—	—	誘導電動機	
	出力	kW/個		3.7	
	個数	—		2	
	取付箇所	—		排風機と同じ	

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			—	可搬型排風機	
排風機	種類	—		遠心式	
	容量	m ³ /h/個		2400以上(2400 ^{*1})	
	最高使用圧力	MPa		0.0047(外圧) ^{*2}	
	最高使用温度	℃		50 ^{*2}	
	主要寸法	吸込口径		mm	200 ^{*1}
		吐出口径		mm	200 ^{*1}
		たて		mm	800 ^{*1}
		横		mm	630 ^{*1}
		高さ		mm	840 ^{*1}
	主要材料	ケーシング		—	SUS304
個数	—	—	2(予備として故障時バックアップを1)		
系統名(ライン名)	—	—	代替換気設備		
取付箇所	—		保管場所： ・高レベル廃液ガラス 固化建屋内(1個) T. M. S. L. ■■■■m ・第2保管庫・貯水所 (1個) T. M. S. L. 48.65m (取付箇所： KA ■■■■ T. M. S. L. ■■■■m)		
原動機	種類	—	—	誘導電動機	
	出力	kW/個		3.7	
	個数	—		2	
	取付箇所			排風機と同じ	

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故時における使用時の値を示す。

(3) フィルタ

			変更前	変更後
名称			—	可搬型フィルタ
種類		—		高性能粒子フィルタ
最高使用圧力		MPa		0.0047 ^{*1} (外圧)
最高使用温度		℃		130 ^{*1}
容量		m ³ /h/個		2,500以上(2,500 ^{*2})
効率	単品	%		99.97以上(0.15μmDOP粒子)
	総合 ^{*2}	%		99.9以上/段 ^{*3} (0.3μmDOP粒子)
主要寸法	吸込口径	mm		300 ^{*2}
	吐出口径	mm		300 ^{*2}
	たて	mm		708 ^{*2}
	横	mm		610 ^{*2}
	高さ	mm		610 ^{*2}
主要材料	ケーシング	—		SUS304
	ろ材	—		ガラス繊維
個数		—	4(予備として故障時のバックアップを2個)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	代替換気設備
	設置床	—		保管場所： ・ [] (2個) T. M. S. L. 約 [] m ・ 第1保管用コンテナエリア (2個) T. M. S. L. 約55.00m (取付箇所： [] T. M. S. L. 約 [] m)

注記 *1：重大事故等時における使用時の値を示す。

*2：公称値を示す。

*3：99.999%以上/2段。

			変更前	変更後
名称			—	可搬型フィルタ
種類		—		高性能粒子フィルタ
容量		m ³ /h/個		2500以上(2500* ¹)
最高使用圧力		kPa		(外圧)4.7* ²
最高使用温度		℃		50* ²
効率	単品	%		99.97以上(0.15μmDOP粒子)
	総合	%		99.9以上(0.3μmDOP粒子)* ³
主要寸法	吸込口径	mm		530* ¹
	吐出口径	mm		530* ¹
	胴内径	mm		570* ¹
	たて	mm		870* ¹
	横	mm		970* ¹
	高さ	mm		1000* ¹
主要材料	ケーシング	—		SUS304
	ろ材	—		ガラス繊維
個数		—		4(予備として故障時のバックアップを2個)
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替換気設備
	設置床	—		保管場所： ・ ████████ (2個) T. M. S. L. 約 ████████ m ・ 第1保管用コンテナエリア (2個) T. M. S. L. 約55.00m (取付箇所： ██████████ T. M. S. L. ████████ m)

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故時における使用時の値を示す。

*3：99.999%以上/2段。

			変更前	変更後
名称				可搬型フィルタ
種類		—		高性能粒子フィルタ (可搬式)
最高使用圧力		kPa		4.7 (外圧) * ²
最高使用温度		℃		50* ²
容量		m/h/個		2500以上 (2500* ¹)
効率	単品	%		99.97以上 (0.15 μmDOP粒子)
	総合* ²	%		99.9以上 (0.3 μmDOP粒子) * ³
主要寸法	吸込口径	mm		300* ¹
	吐出口径	mm		300* ¹
	たて	mm		508* ¹
	横	mm		610* ¹
	高さ	mm		610* ¹
主要材料	ケーシング	—		SUS304
	ろ材	—		ガラス繊維
個数		—		4 (予備として故障時の バックアップを2個)
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		代替換気設備
	設置床	—		保管場所： <ul style="list-style-type: none"> ・ [] (2個) T. M. S. L. 約 [] m ・ 第1保管用コンテナエリア (2個) T. M. S. L. 約55.00m (取付箇所： [] T. M. S. L. [] m)

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

*3：99.999%以上/2段。

			変更前	変更後
名称			—	可搬型フィルタ
種類	—			高性能粒子フィルタ
容量	m ³ /h/個			2500以上(2500* ¹)
最高使用圧力	kPa			(外圧)4.7* ²
最高使用温度	℃			50* ²
効率	単品	%		99.97以上(0.15μmDOP粒子)
	総合* ²	%		99.9以上/段* ³ (0.3μmDOP粒子)
主要寸法	吸込口径	mm		300* ¹
	吐出口径	mm		300* ¹
	たて	mm		508* ¹
	横	mm		610* ¹
	高さ	mm		610* ¹
主要材料	ケーシング	—		SUS304
	ろ材	—		ガラス繊維
個数		—	4(予備として故障時のバックアップを2個)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	代替換気設備
	設置床	—		保管場所： ・ウラン・プルトニウム混合 脱硝建屋内(2個) T. M. S. L. ■■■m ・第1保管用コンテナ エリア(2個) T. M. S. L. 55.00m (取付箇所： ■■■ T. M. S. L. ■■■m)

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

*3：99.999%以上/2段。

			変更前	変更後
名称			—	可搬型フィルタ
種類	—			高性能粒子フィルタ
容量	m ³ /h/個			2500以上(2550 ^{*1})
最高使用圧力	MPa			0.0047(外圧) ^{*2}
最高使用温度	℃			50 ^{*2}
効率	単品	%		99.97以上(0.15μmDOP粒子)
	総合 ^{*2}	%		99.9以上/段 ^{*3} (0.3μmDOP粒子)
主要寸法	吸込口径	mm		200 ^{*1}
	吐出口径	mm		200 ^{*1}
	たて	mm		560 ^{*1}
	横	mm		696 ^{*1}
	高さ	mm		786 ^{*1}
主要材料	ケーシング	—		SUS304
	ろ材	—		ガラス繊維
個数		—	4(予備として故障時のバックアップを2)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	代替換気設備
	設置床	—		保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化 建屋内(2個) T. M. S. L. ■■■■m ・第1保管用コンテナ エリア(2個) T. M. S. L. 55.00m (取付箇所： KA ■■■■ T. M. S. L. ■■■■m)

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故時における使用時の値を示す。

*3：99.999%以上/2段。

(4) 主配管

変更前								変更後							
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要 材料	個数	取付 箇所	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要 材料	個数	取付箇所
代替換気設備	-							代替換気用 0.5m, 4m 可搬型ダクト	[REDACTED]					8*5 (予備として故障時バックアップを4本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内 T. S. M. L. [REDACTED]m 上記に4本保管する。 ・第1保管用コンテナエリア T. S. M. L. 55.00m 上記に4本保管する。 取付箇所： [REDACTED] T. S. M. L. [REDACTED]m(1本)
								代替換気用 1m可搬型建 屋内ホース						4*6 (予備として故障時バックアップを2本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内 T. S. M. L. [REDACTED]m 上記に2本保管する。 ・第1保管用コンテナエリア T. S. M. L. 55.00m 上記に2本保管する。 取付箇所： [REDACTED] T. S. M. L. [REDACTED]m(2本)

*1：重大事故等時における使用時の値を示す。

*2：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

*3：メーカーにて規定する呼び径を示す。

*4：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*5：必要本数4本（4m：2本，0.5m：2本）を示す。

*6：必要本数2本（1m：2本）を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替換気設備			—					代替換気用 2m 可搬型ダクト						6*3 (予備3本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内 T.M.S.L.■■■■m 上記に3本保管する。 ・第1保管用コンテナエリア T.M.S.L.約55.00m 上記に3本保管する。 (取付箇所： ■■■■ T.M.S.L.■■■■m(1本)) (取付箇所： ■■■■ T.M.S.L.■■■■m(7本))

- 注記
- *1：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *2：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
 - *3：必要本数4本（2m：3本）を示す。
 - *4：メーカーにて規定する呼び径を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替換気設備 セル導出設備 (分離建屋)				—				代替換気設備 セル導出設備 (分離建屋) 代替換気用 可搬型配管 100A						1 (予備として 故障時のバックアップ を1本)	保管場所： 外部保管エリア 1 T. M. S. L. 55.00m (1本) 外部保管エリア 2 T. M. S. L. 48.50m (1本) 取付箇所： 1本 分離建屋 塔槽類廃ガス第3処理室 () T. M. S. L. 約 m 凝縮器廃ガス入口

* 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : 水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

* 3 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 4 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

* 5 : 必要本数1本を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替換気設備 セル導出設備 (分離建屋)				—				代替換気用 可搬型配管 65A						1 (予備として 故障時のバックアップ を1本)	保管場所： 外部保管エリア 1 T. M. S. L. 55.00m (1本) 外部保管エリア 2 T. M. S. L. 48.50m (1本) 取付箇所： 1本 分離建屋 塔槽類廃ガス第3処理室 () T. M. S. L. 約 m 凝縮器廃ガス出口

* 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : 水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

* 3 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 4 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

* 5 : 必要本数1本を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替換気設備 セル導出設備 (分離建屋)				—				代替換気用 可搬型配管 25A						1 (予備として 故障時のバックアップ を1本)	保管場所： 外部保管エリア 1 T. M. S. L. 55.00m (1本) 外部保管エリア 2 T. M. S. L. 48.50m (1本) 取付箇所： 1本 分離建屋 塔槽類廃ガス第3処理室 () T. M. S. L. 約 m 凝縮液出口

* 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

* 4 : 必要本数 1 本を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替換気設備 代替セル排気系屋 (分離建屋)				—				代替換気設備 代替セル排気系屋 (分離建屋)						一式 (予備として故障時のバックアップを1本)	保管場所： 分離建屋内 排気モニタ室 () T. M. S. L. 約 m (一式) 外部保管エリア 1 T. M. S. L. 55.00m (一式) 取付箇所： 分離建屋 排風機室 () T. M. S. L. 約 m

* 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替換気設備 代替セル排気系 (精製建屋)			—					代替換気設備 代替セル排気系 (精製建屋) 代替換気用 可搬型ダクト (φ500)						一式 (予備として故障時のバックアップを一式)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・精製建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■ m T.M.S.L. 約 ■■■ m 上記に一式保管する。 ・第1保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 ■■■ m (一式) (取付箇所： ■■■ T.M.S.L. ■■■ m)

注記 *1: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*2: メーカーにて規定する呼び径を示す。

*3: メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

変更前								変更後							
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要 材料	個数	取付 箇所	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要 材料	個数	取付箇所
代替換気設備 (精製建屋) セル導出設備				—				代替換気設備 (精製建屋) セル導出設備 代替換気 用 0.26m, 1m 可搬型 建屋内ホ ース						3*5 (予備として故 障時バックアッ プを3本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・精製建屋内 T. S. M. L. ■■■m 上記に3本保管する。 ・第1保管用テナエリア T. S. M. L. ■■■m 上記に3本保管する。 (取付箇所： ■■■■■ T. S. M. L. ■■■m(3本))

- 注記 *1：重大事故等時における使用時の値を示す。
*2：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。
*3：メーカーにて規定する呼び径を示す。
*4：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
*5：必要本数3本（100A：2本，25A：1本）を示す。

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(代替換気設備 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)			—					(代替換気設備 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)						25 (予備として故障時のバックアップを25本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内) T. M. S. L. ■■■■m(25台) (第1保管用コンテナエリア) T. M. S. L. 55.00m(25台) (取付箇所： ■■■■m 及び T. M. S. L. ■■■■m (25台))

注記 *1：重大事故等時における使用時の値を示す。
*2：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(代替換気設備 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋) セル導出設備				—				(代替換気設備 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋) 代替換気可 用4m搬型建 内ホース						10 (予備として故障時のバックアップを10本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内) T. M. S. L. ■■■ m (10本) (第1保管用コンテナエリア) T. M. S. L. 55.00m (10本) (取付箇所： ■■■■ m及び ■■■■ m (5本) ■■■■ m及び ■■■■ m (5本))

注記 *1：重大事故等時における使用時の値を示す。
*2：メーカーにて規定する呼び径を示す。
*3：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(代替換気設備トセルウム導出設備脱硝建屋)			—					(代替換気設備トセルウム導出設備脱硝建屋)						2 (予備と故障時のバックアップを2本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内) T. M. S. L. ■■■■m (2本) (第1保管用コンテナエリア) T. M. S. L. 55.00m (2本) (取付箇所： T. M. S. L. ■■■■m及び T. M. S. L. ■■■■m (2本))

注記 *1：重大事故等時における使用時の値を示す。
 *2：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。
 *3：メーカーにて規定する呼び径を示す。
 *4：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替換気設備 代替セル排気系屋 (高レベル廃液ガラス固化建屋)				—				代替換気設備 代替セル排気系屋 (高レベル廃液ガラス固化建屋)						41 *4 (予備 41)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・排気フィルタ第4室 () T. M. S. L. 約 () m (41本 (一式)) 1900mm×19本 1839mm×1本 1700mm×1本 1300mm×2本 1220mm×1本 1200mm×4本 700mm×4本 ベローズ付 572mm×1本 ベローズ付 700mm×6本 ベローズ付 500mm×2本 ・高レベル廃液ガラス固化建屋外 T. M. S. L. 約 () m (41本 (一式)) 取付箇所： 41本 (一式) 高レベル廃液ガラス固化建屋 排気フィルタ第2室 () -地下1階南 北第3廊下 () T. M. S. L. 約 49.10m

* 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

* 4 : 必要本数 41 本を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 *1 (mm)	厚さ *1 (mm)	材料	個数	取付箇所
代替換気設備 セル導出設備 (高レベル廃液ガラス固化建屋)				-				代替換気用 可搬型配管						1 *4 (予備 1)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・排気モニタ室 (■■■■) T.M.S.L. 約■■■■m (各 1 本) 高レベル廃液ガラス固化建屋外 T.M.S.L. 約■■■■m (各 1 本)
														1 *4 (予備 1)	取付箇所： 高レベル廃液ガラス固化建屋 250A：1 本 塔槽類廃ガス処理第 2 室 (■■■■) T.M.S.L. 約■■■■m 予備凝縮器廃ガス出口 400A：1 本 塔槽類廃ガス処理第 2 室 (■■■■) T.M.S.L. 約■■■■m 予備凝縮器廃ガス入口

- * 1 : 公称値を示す。
- * 2 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
- * 3 : 水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。
- * 4 : 必要本数：1 本を示す。

1.1.7 廃ガス貯留設備

- ・常設
- (1) 容器

			変更前	変更後
名称			—	廃ガス貯留槽 (██████████)
種類		—		たて置円筒形
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	MPa	—		
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板長径	mm		
	鏡板短径の2分の1	mm		
	廃ガス入口/出口管台外径*2	mm		
	廃ガス入口/出口管台厚さ*2	mm		
	マンホール管台外径*3	mm		
	マンホール管台厚さ*3	mm		
	マンホール平板厚さ*3	mm		
高さ	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
	マンホール平板	—		
個数		—		4
取付箇所	系統名(ライン名)	—		廃ガス貯留設備
	設置床	—		██████████ T. M. S. L. ████████m
	溢水防護上の区画番号	—	—*4	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*5	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*5	—

前処 A

注記 *1 : 公称値を示す。

- *2: 記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.7-1図 廃ガス貯留槽の構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *3: 記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.7-1図 廃ガス貯留槽の構造図 管台一覧表 P5」を示す。
- *4: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *5: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *6: 重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	廃ガス貯留槽 (██████████ ██████████)
種類		—		たて置円筒形
容量		m ³ /個	—	
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	胴内径	mm	—	
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	廃ガス入口/出口管台 外径*2	mm		
	廃ガス入口/出口管台 厚さ*2	mm		
	検査穴管台外径*3	mm		
	検査穴管台厚さ*3	mm		
	検査穴平板厚さ*3	mm		
主要材料	高さ	mm		
	胴板	—		
	鏡板	—		
	検査穴平板	—		
個数		—		13
取付箇所	系統名(ライン名)	—		廃ガス貯留設備
	設置床	—		██████████ T. M. S. L. ██████████ m
	溢水防護上の区画番号	—	— *4	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *4	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *5	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *5	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.7-2図 廃ガス貯留槽()の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*3：記載内容は、添付図面「第2.5.5.1.7-2図 廃ガス貯留槽()の構造図 管台一覧表 P6 /P7」を示す。

*4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*6：重大事故等時における使用時の値を示す。

(2) 圧縮機

				変更前	変更後		
名称					空気圧縮機 ()		
圧縮機	種類		—	—	軸封遠心式		
	容量		m ³ /h/個 [normal]				
	吐出圧力		MPa				
	主要寸法	吸込口径			mm		
		吐出口径			mm		
		たて			mm		
		横			mm		
		高さ			mm		
	主要材料	ケーシング			—		
	個数				—	1(予備1)	
	取付箇所	系統名(ライン名)			—	廃ガス貯留設備	
		設置床			—	T. M. S. L. m	
		溢水防護上の区画番号			—	— *2	—
		溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	— *2	—
化学薬品防護上の区画番号		—	— *3	—			
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	— *3	—			
原動機	種類		—	誘導電動機			
	出力		kW/個	■			
	個数		—	1(予備 1)			
	取付箇所		—	圧縮機と同じ			

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後		
名称				空気圧縮機 <div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin: 5px 0;"></div>		
圧縮機	種類	—	—	軸封遠心式		
	容量	m ³ /h/個 [normal]				
	吐出圧力	MPa				
	主要寸法	吸込口径			mm	
		吐出口径			mm	
		たて			mm	
		横			mm	
		高さ			mm	
	主要材料	ケーシング			—	
	個数	—			2(予備1)	
	取付箇所	系統名(ライン名)			—	廃ガス貯留設備
		設置床			—	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin: 5px 0;"></div> T. M. S. L. <div style="background-color: black; width: 50px; height: 15px; display: inline-block;"></div> m
		溢水防護上の区画番号			—	— *2
		溢水防護上の配慮が必要な高さ			—	— *2
化学薬品防護上の区画番号		—	— *3			
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	— *3			
原動機	種類	—	—	誘導電動機		
	出力	kW/個		<div style="background-color: black; width: 20px; height: 15px; display: inline-block;"></div>		
	個数	—		2(予備 1)		
	取付箇所	—		圧縮機と同じ		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(3) 主要弁

		変更前	変更後						
名称		—	主要弁 ()						
種類	—	—							
最高使用圧力	MPa	—							
最高使用温度	℃	—							
主要寸法	呼び径	—							
	弁箱厚さ	mm							
	弁ふた厚さ	mm							
主要材料	弁箱	—							
	弁ふた	—							
駆動方法		—							
個数		—		4					
取付箇所	系統名(ライン名)	—	廃ガス貯留設備						
	設置床	—	<table border="1"> <tr> <td>■</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>T. M. S. L.</td> <td>T. M. S. L.</td> </tr> <tr> <td>■ m</td> <td>■ m</td> </tr> </table>	■	■	T. M. S. L.	T. M. S. L.	■ m	■ m
	■	■							
	T. M. S. L.	T. M. S. L.							
	■ m	■ m							
	溢水防護上の区画番号	—	— *1	—					
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *1	—						
化学薬品防護上の区画番号	—	— *2	—						
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	—						

前処 A

- 注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *3: 重大事故等時における使用時の値を示す。
 *4: 当該設備は、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力を設定しないが、ここでは、接続配管の最高使用圧力を()内に示す。

		変更前	変更後
名称		—	主要弁 ()
種類	—	—	
最高使用圧力	MPa	—	
最高使用温度	℃	—	
主要寸法	呼び径	—	
	弁箱厚さ	mm	
	弁ふた厚さ	mm	
主要材料	弁箱	—	
	弁ふた	—	
駆動方法		—	
個数		—	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	廃ガス貯留設備
	設置床	—	T. M. S. L. m
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：重大事故等時における使用時の値を示す。

*4：当該設備は、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力を設定しないが、ここでは、接続配管の最高使用圧力を()内に示す。

		変更前	変更後	
名称		—	主要弁 ()	
種類	—	—	逆止め弁	
最高使用圧力	MPa	—		
最高使用温度	℃	—		
主要寸法	呼び径	—		
	弁箱厚さ	mm		
	弁ふた厚さ	mm		
主要材料	弁箱	—		
	弁ふた	—		
個数		—		1
取付箇所	系統名(ライン名)	—		廃ガス貯留設備
	設置床	—		T. M. S. L. m
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	

- 注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
 *3：重大事故等時における使用時の値を示す。
 *4：当該設備は、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力を設定しないが、ここでは、接続配管の最高使用圧力を()内に示す。

			変更前	変更後						
名称			主要弁 ())*3	主要弁 ())*1						
			種類	—	止め弁					
最高使用圧力		kPa		変更なし						
最高使用温度		℃		変更なし)*7						
主要寸法	呼び径	—			変更なし					
	弁箱厚さ	mm								
主要材料	弁箱	—					変更なし			
	弁体	—								
駆動方法		—							変更なし	
遮蔽体	厚さ	mm								
	主要材料	—								
個数		—								6
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	せん断処理・ 溶解廃ガス処理設備							
	設置床	—	 T. M. S. L. m							
	溢水防護上の区画番号	—	— *4							
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *4							
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *5							
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *5							

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*6：当該設備は，その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため，最高使用圧力を設定しないが，ここでは，接続配管の最高使用圧力を()内に示す。

*7：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			主要弁 [REDACTED] *3	主要弁 [REDACTED] *1	
種類	—	止め弁 *3			
最高使用圧力	KPa	[REDACTED]			
最高使用温度	℃				
主要寸法	呼び径				—
	弁箱厚さ				mm
主要材料	弁箱				—
駆動方法		—	変更なし		
個数		—			1 *3
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系 (プルトニウム系) *3	廃ガス貯留設備	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m *3	変更なし	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *4	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *4	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *5	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *5	—	

注記 *1：精製施設のうち塔槽類廃ガス処理系（プルトニウム系）と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			主要弁 () *3	主要弁 () *1	
種類	—	止め弁 *3		変更なし	
最高使用圧力	MPa	[Redacted]			
最高使用温度	℃				
主要寸法	呼び径 *4				—
	弁箱厚さ				mm
主要材料	弁箱 *5				—
駆動方法					—
個数				—	1 *3
取付箇所	系統名(ライン名)	—	塔槽類廃ガス処理系 (プルトニウム系) *3	廃ガス貯留設備	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m *3	変更なし	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *6	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *6	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *7	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *7	—	

注記 *1：精製建屋塔槽類廃ガス処理設備のうち塔槽類廃ガス処理系（プルトニウム系）と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [Redacted]

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には [Redacted]

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：接続配管の厚さを()内に示す。

		変更前	変更後
名称		-	主要弁 ()
種類	-	-	止め弁
最高使用圧力	MPa	-	
最高使用温度	℃	-	
主要寸法	呼び径	-	
	弁箱厚さ	mm	
主要材料	弁箱	-	
駆動方法		-	
個数		-	
取付箇所	系統名(ライン名)	-	廃ガス貯留設備
	設置床	-	T. M. S. L. m
	溢水防護上の 区画番号	-	- *2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *2
	化学薬品防護上の 区画番号	-	- *3
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *3

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

		変更前	変更後
名称		-	主要弁 ()
種類	-	-	逆止め弁
最高使用圧力	MPa	-	
最高使用温度	℃	-	
主要寸法	呼び径	-	
	弁箱厚さ	mm	
主要材料	弁箱	-	
個数		-	1
取付箇所	系統名(ライン名)	-	廃ガス貯留設備
	設置床	-	T. M. S. L. m
	溢水防護上の 区画番号	-	- *2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *2
	化学薬品防護上の 区画番号	-	- *3
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *3

注記 *1 : 公称値を示す

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

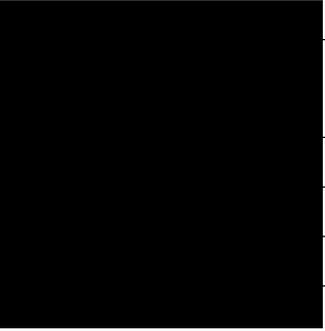
(4) 安全弁及び逃がし弁

		変更前	変更後	
名称		—	安全弁 (XXXXXXXXXX)	
種類	—	—	非平衡型	
吹出圧力	MPa	—		
吹出量	kg/h/個	—		
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
個数		—		4
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		廃ガス貯留設備
	設置床	—		XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*3	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	安全弁    
種類		—		全量式
吹出圧力		MPa		
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
個数		—		13
取付箇所	系統名(ライン名)	—		廃ガス貯留設備
	設置床	—		 T. M. S. L.  m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—		—*2
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

(5) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
廃ガス貯留設備	-					NOx吸収塔出口配管 () ~ ()	[Redacted]				
	-					空気圧縮機入口配管 ()					
	-					空気圧縮機入口配管 () ~ 主要弁 ()					
	-					主要弁 () ~ 主要弁 ()					
	-					主要弁 () ~ 空気圧縮機 ()					
	-					空気圧縮機 () ~ 主要弁 ()					
-					主要弁 () ~ 廃ガス貯留槽 ()						

注記 *1: 公称値を示す。
 *2: 重大事故等時における使用時の値。
 *3: 本設備は既存の設備である。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
廃ガス貯留処理設備	—					廃ガス貯留処理設備	排風機入口配管分岐点～空気圧縮機 (■■■■)					
	—						空気圧縮機 (■■■■)～廃ガス貯留槽 (■■■■)					
	—						弁 (■■■■)～主要弁 (■■■■)*3					
	—						弁 (■■■■)～主要弁 (■■■■)*3					

注記 *1：公称値を示す。
*2：重大事故等時における使用時の値を示す。
*3：本設備は既存の設備である。

- 1.2 液体廃棄物の廃棄施設
 - 1.2.1 高レベル廃液処理設備
 - 1.2.1.1 高レベル廃液濃縮設備
 - 1.2.1.1.1 高レベル廃液濃縮系

- ・常設
 - (1) 容器

			変更前	変更後
名称			高レベル 廃液濃縮缶*3 ()	高レベル 廃液濃縮缶 *1
種類		—	ケトル形 減圧蒸発方式	
容量	容量	m ³ /個	[REDACTED]	変更なし
	処理容量	m ³ /h/個		
	設計蒸発量	kg/h/個		
最高使用圧力	本体	MPa	[REDACTED]	変更なし
	加熱・冷却 コイル部	MPa		
	加熱・冷却 ジャケット部	MPa		
最高使用温度	本体	℃	[REDACTED]	変更なし
	加熱・冷却 コイル部	℃		
	加熱・冷却 ジャケット部	℃		
伝熱面積	加熱・冷却 コイル部	m ² /個	[REDACTED]	変更なし
	加熱・冷却 ジャケット部	m ² /個		

(つづき)

				変更前	変更後	
主要寸法	上部	胴内径	mm		変更なし	
		胴板厚さ	mm			
		長径	mm			
		短径の2分の1	mm			
		鏡板厚さ	mm			
	本体	胴内径	mm			
		胴板厚さ	mm			
		中央部内半径	mm			
		隅の丸み内半径	mm			
		鏡板厚さ	mm			
	加熱・冷却 ジャケット 部	胴内径	mm			
		胴板厚さ	mm			
		中央部内半径	mm			
		隅の丸み内半径	mm			
		鏡板厚さ	mm			
			平板厚さ			mm
		入口管台外径*4				mm
		入口管台厚さ*4				mm
		入口管台外径*5				mm
		入口管台厚さ*5				mm
		出口管台外径*6				mm
		出口管台厚さ*6				mm
		出口管台外径*7				mm
		出口管台厚さ*7				mm
		出口管台外径*8				mm
		出口管台厚さ*8				mm
		入口管台外径*9				mm
	入口管台厚さ*9		mm			
	入口管台外径*10		mm			
	入口管台厚さ*10		mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	入口管台外径*11	mm	[Redacted]	変更なし
	入口管台厚さ*11	mm		
	入口管台外径*12	mm		
	入口管台厚さ*12	mm		
	入口管台外径*13	mm		
	入口管台厚さ*13	mm		
	入口管台外径*14	mm		
	入口管台厚さ*14	mm		
	出口管台外径*15	mm		
	出口管台厚さ*15	mm		
	出口管台外径*16	mm		
	出口管台厚さ*16	mm		
	出口管台外径*17	mm		
	出口管台厚さ*17	mm		
	出口管台外径*18	mm		
	出口管台厚さ*18	mm		
	出口管台外径*19	mm		
	出口管台厚さ*19	mm		
	出口管台外径*20	mm		
	出口管台厚さ*20	mm		
	出口管台外径*21	mm		
	出口管台厚さ*21	mm		
	入口管台外径*22	mm		
	入口管台厚さ*22	mm		
	入口管台外径*23	mm		
	入口管台厚さ*23	mm		
	入口管台外径*24	mm		
	入口管台厚さ*24	mm		
入口管台外径*25	mm			
入口管台厚さ*25	mm			
入口管台外径*26	mm			
入口計台厚さ*26	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	入口管台外径*27	mm	[Redacted]	変更なし
	入口管台厚さ*27	mm		
	加熱・冷却コイル外径	mm		
	加熱・冷却コイル厚さ	mm		
	円すい胴板厚さ	mm		
	高さ*28	mm		
主要材料	上部胴板	—		
	本体胴板	—		
	上部胴上部鏡板	—		
	本体胴下部鏡板	—		
	円すい胴板	—		
	加熱・冷却コイル	—		
	加熱・冷却 ジャケット胴板	—		
	加熱・冷却 ジャケット鏡板	—		
加熱・冷却 ジャケット平板	—			
個数	—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	
	設置床	—	T. M. S. L. [Redacted] m*29	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *30	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *30	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *31	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *31	—

注記 *1: その他再処理設備の附属施設のうち代替安全圧縮空気系, その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系及び放射線廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液濃縮缶A」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P3」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P5」を示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P6」を示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P7」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P8」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P9」を示す。
- *12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P10」を示す。
- *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P11」を示す。
- *14：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P12」を示す。
- *15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P19」を示す。

- * 16 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P20」を示す。
- * 17 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P21」を示す。
- * 18 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P22」を示す。
- * 19 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P23」を示す。
- * 20 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P24」を示す。
- * 21 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P26」を示す。
- * 22 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P27」を示す。
- * 23 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P28」を示す。
- * 24 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P31」を示す。
- * 25 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 P32」を示す。
- * 26 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 C1」を示す。

- *27：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成23年1月18日付け1平成22・11・30原第29号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Aの構造図 管台一覧表 C4」を示す。
- *28：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *29：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *30：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *31：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *32：単位は「kPa」。
- *33：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *34：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。
- *35：水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。

				変更前	変更後
名称				高レベル廃液濃縮缶*2 (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類		—		ケトル形 減圧蒸発方式	
容量	容量	m ³ /個		<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	
	処理容量	m ³ /h/個			
	設計蒸発量	kg/h/個			
最高使用圧力	本体	MPa			
	加熱・冷却 コイル部	MPa			
	加熱・冷却 ジャケット部	MPa			
最高使用温度	本体	℃			
	加熱・冷却 コイル部	℃			
	加熱・冷却 ジャケット部	℃			
伝熱面積	加熱・冷却 コイル部	m ² /個			
	加熱・冷却 ジャケット部	m ² /個			
主要寸法	上部	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		長径	mm		
		短径の2分の1	mm		
		鏡板厚さ	mm		

(つづき)

				変更前	変更後
主要寸法	本体	胴内径	mm		変更なし
		胴板厚さ	mm		
		中央部内半径	mm		
		隅の丸み内半径	mm		
		鏡板厚さ	mm		
	加熱・冷却 ジャケット 部	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		平板厚さ	mm		
		中央部内半径	mm		
		隅の丸み内半径	mm		
		鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径*3	mm			
	入口管台厚さ*3	mm			
	入口管台外径*4	mm			
	入口管台厚さ*4	mm			
	出口管台外径*5	mm			
	出口管台厚さ*5	mm			
	出口管台外径*6	mm			
	出口管台厚さ*6	mm			
	出口管台外径*7	mm			
	出口管台厚さ*7	mm			
	入口管台外径*8	mm			
	入口管台厚さ*8	mm			
入口管台外径*9	mm				
入口管台厚さ*9	mm				
入口管台外径*10	mm				
入口管台厚さ*10	mm				
入口管台外径*11	mm				
入口管台厚さ*11	mm				

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	入口管台外径 ^{*12}	mm	[Redacted]	変更なし
	入口管台厚さ ^{*12}	mm		
	入口管台外径 ^{*13}	mm		
	入口管台厚さ ^{*13}	mm		
	出口管台外径 ^{*14}	mm		
	出口管台厚さ ^{*14}	mm		
	出口管台外径 ^{*15}	mm		
	出口管台厚さ ^{*15}	mm		
	出口管台外径 ^{*16}	mm		
	出口管台厚さ ^{*16}	mm		
	出口管台外径 ^{*17}	mm		
	出口管台厚さ ^{*17}	mm		
	出口管台外径 ^{*18}	mm		
	出口管台厚さ ^{*18}	mm		
	出口管台外径 ^{*19}	mm		
	出口管台厚さ ^{*19}	mm		
	出口管台外径 ^{*20}	mm		
	出口管台厚さ ^{*20}	mm		
	入口管台外径 ^{*21}	mm		
	入口管台厚さ ^{*21}	mm		
	入口管台外径 ^{*22}	mm		
	入口管台厚さ ^{*22}	mm		
	入口管台外径 ^{*23}	mm		
	入口管台厚さ ^{*23}	mm		
	加熱・冷却コイル外径	mm		
	加熱・冷却コイル厚さ	mm		
円すい胴板厚さ	mm			
高さ ^{*24}	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料	上部胴板	—	[Redacted]	変更なし
	本体胴板	—		
	上部胴上部鏡板	—		
	本体胴下部鏡板	—		
	円すい胴板	—		
	加熱・冷却コイル	—		
	加熱・冷却ジャケット胴板	—		
	加熱・冷却ジャケット鏡板	—		
	加熱・冷却ジャケット平板	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m ^{*25}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*26}	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*26}	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— ^{*27}	—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*27}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液濃縮缶B」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P6」を示す。

- *8 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P7」を示す。
- *9 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P8」を示す。
- *10 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P9」を示す。
- *11 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P10」を示す。
- *12 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P11」を示す。
- *13 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P12」を示す。
- *14 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P19」を示す。
- *15 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P20」を示す。
- *16 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P21」を示す。
- *17 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P22」を示す。
- *18 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P23」を示す。

- * 19 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P24」を示す。
- * 20 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P26」を示す。
- * 21 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P27」を示す。
- * 22 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P31」を示す。
- * 23 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.4.1.1.1.1-2図 高レベル廃液濃縮缶Bの構造図 管台一覧表 P32」を示す。
- * 24 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- * 25 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- * 26 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- * 27 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- * 28 : 単位は「kPa」。

			変更前	変更後	
名称			高レベル廃液供給槽*3 ()	高レベル廃液供給槽 *1	
種類		—	たて置円筒形	変更なし	
容量		m ³ /個	[Redacted]		
最高使用圧力	本体	MPa			
	冷却コイル部	MPa			
最高使用温度	本体	°C			
	冷却コイル部	°C			
伝熱面積		m ² /個		[Redacted]	変更なし
主要寸法	胴内径	mm			
	胴板厚さ	mm			
	上部鏡板厚さ	mm			
	中央部内半径	mm			
	隅の丸み内半径	mm			
	下部鏡板厚さ	mm			
	入口管台外径*4	mm			
	入口管台厚さ*4	mm			
	出口管台外径*5	mm			
	出口管台厚さ*5	mm			
	出口管台外径*6	mm			
	出口管台厚さ*6	mm			
	出口管台外径*7	mm			
	出口管台厚さ*7	mm			
	入口管台外径*8	mm			
	入口管台厚さ*8	mm			
	入口管台外径*9	mm			
	入口管台厚さ*9	mm			
	入口管台外径*10	mm			
	入口管台厚さ*10	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	入口管台外径*11	mm	[Redacted]	変更なし
	入口管台厚さ*11	mm		
	入口管台外径*12	mm		
	入口管台厚さ*12	mm		
	入口管台外径*13	mm		
	入口管台厚さ*13	mm		
	入口管台外径*14	mm		
	入口管台厚さ*14	mm		
	入口管台外径*15	mm		
	入口管台厚さ*15	mm		
	出口管台外径*16	mm		
	出口管台厚さ*16	mm		
	出口管台外径*17	mm		
	出口管台厚さ*17	mm		
	出口管台外径*18	mm		
	出口管台厚さ*18	mm		
	出口管台外径*19	mm		
	出口管台厚さ*19	mm		
	出口管台外径*20	mm		
	出口管台厚さ*20	mm		
	出口管台外径*21	mm		
	出口管台厚さ*21	mm		
	入口管台外径*22	mm		
	入口管台厚さ*22	mm		
	入口管台外径*23	mm		
入口管台厚さ*23	mm			
入口管台外径*24	mm			
入口管台厚さ*24	mm			
入口管台外径*25	mm			
入口管台厚さ*25	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	入口管台外径*26	mm		変更なし
	入口管台厚さ*26	mm		
	冷却コイル外径	mm		
	冷却コイル厚さ	mm		
	高さ*27	mm		
主要材料	胴板	—		
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
	冷却コイル	—		
個数		—		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	
	設置床	—	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> T. M. S. L. <div style="background-color: black; width: 50px; height: 15px; display: inline-block;"></div> m*28	
	溢水防護上の区画番号	—	—*29	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*29	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*30	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*30	—

注記 *1: その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系及び放射性廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液供給槽A」と記載。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P2」を示す。

*6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*7: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P4」を示す。

*8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12

- 年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P7」を示す。
- *9 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P8」を示す。
 - *10 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P9」を示す。
 - *11 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P10」を示す。
 - *12 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P11」を示す。
 - *13 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P12」を示す。
 - *14 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P13」を示す。
 - *15 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P14」を示す。
 - *16 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P15」を示す。
 - *17 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P16」を示す。
 - *18 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P17」を示す。
 - *19 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P18」を示す。

す。

- *20 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P19」を示す。
- *21 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P20」を示す。
- *22 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P22」を示す。
- *23 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P24」を示す。
- *24 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P33」を示す。
- *25 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 P34」を示す。
- *26 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Aの構造図 管台一覧表 C4」を示す。
- *27 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *28 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *29 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *30 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *31 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			高レベル廃液供給槽*2 ()	変更なし
種類		—	たて置円筒形	
容量		m ³ /個		
最高使用圧力	本体	MPa		
	冷却コイル部	MPa		
最高使用温度	本体	℃		
	冷却コイル部	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	中央部内半径	mm		
	隅の丸み内半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径*3	mm		
	入口管台厚さ*3	mm		
	出口管台外径*4	mm		
	出口管台厚さ*4	mm		
	出口管台外径*5	mm		
	出口管台厚さ*5	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
	入口管台外径*7	mm		
	入口管台厚さ*7	mm		
入口管台外径*8	mm			
入口管台厚さ*8	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	入口管台外径*9	mm	[Redacted]	変更なし
	入口管台厚さ*9	mm		
	入口管台外径*10	mm		
	入口管台厚さ*10	mm		
	入口管台外径*11	mm		
	入口管台厚さ*11	mm		
	入口管台外径*12	mm		
	入口管台厚さ*12	mm		
	入口管台外径*13	mm		
	入口管台厚さ*13	mm		
	入口管台外径*14	mm		
	入口管台厚さ*14	mm		
	出口管台外径*15	mm		
	出口管台厚さ*15	mm		
	出口管台外径*16	mm		
	出口管台厚さ*16	mm		
	出口管台外径*17	mm		
	出口管台厚さ*17	mm		
	出口管台外径*18	mm		
	出口管台厚さ*18	mm		
	出口管台外径*19	mm		
	出口管台厚さ*19	mm		
	出口管台外径*20	mm		
	出口管台厚さ*20	mm		
	入口管台外径*21	mm		
	入口管台厚さ*21	mm		
入口管台外径*22	mm			
入口管台厚さ*22	mm			
冷却コイル外径	mm			
冷却コイル厚さ	mm			
高さ*23	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料	胴板	—	[Redacted]	変更なし
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
	冷却コイル	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m ^{*24}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*25}	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*25}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*26}	—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*26}	—

注記 *1: 公称値を示す。

- *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液供給槽B」と記載。
- *3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P1」を示す。
- *4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P2」を示す。
- *5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P3」を示す。
- *6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P4」を示す。
- *7: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P7」を示す。
- *8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P8」を示す。

- *9 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P9」を示す。
- *10 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P10」を示す。
- *11 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P11」を示す。
- *12 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P12」を示す。
- *13 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P13」を示す。
- *14 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P14」を示す。
- *15 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P15」を示す。
- *16 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P16」を示す。
- *17 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P17」を示す。
- *18 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P18」を示す。
- *19 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P19」を示す。
- *20 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成

12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P20」を示す。

- *21 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P24」を示す。
- *22 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図「第3.4.1.1.1.1-1図 高レベル廃液供給槽Bの構造図 管台一覧表 P34」を示す。
- *23 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *24 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *25 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *26 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

		変更前	変更後	
名称		フラッシュドラム*2 ()	変更なし	
種類	—	たて置円筒形		
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	胴内径*3	mm		
	胴板厚さ*4	mm		
	中央部内半径	mm		
	隅の丸み内半径	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径*5	mm		
	入口管台厚さ*5	mm		
	出口管台外径*6	mm		
	出口管台厚さ*6	mm		
	出口管台外径*7	mm		
	出口管台厚さ*7	mm		
	高さ*8	mm		
主要材料	胴板	—		
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
個数	—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		高レベル廃液濃縮系
	設置床	—		T. M. S. L. m*9
			T. M. S. L. m*9	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	溢水防護上の 区画番号	—	— *10	—
	溢水防護上の 配慮が 必要な高さ	—	— *10	—
	化学薬品 防護上の 区画番号	—	—	
	化学薬品 防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m T. M. S. L. ■■■■ m

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「フラッシュドラムA、B」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P7」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P8」を示す。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			漏えい液 希釈溶液供給槽 ()	
種類	—		横置円筒形	
容量	m ³ /個			変更なし
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	胴内径* ²	mm		
	胴板厚さ* ³	mm		
	中央部内半径	mm		
	隅の丸み内半径	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	全長* ⁴	mm		
	高さ* ⁵	mm		
	出口管台外径* ⁶	mm		
出口管台厚さ* ⁶	mm			
主要材料	胴板	—		
個数			1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	
	設置床	—	T. M. S. L. m* ⁷	
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ⁸	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—* ⁸	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	()
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「L」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P4」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			高レベル廃液濃縮缶 第1セル漏えい液受皿 ()	変更なし
種類		—	漏えい液受皿	
主要寸法	高さ*2	cm	[REDACTED]	
	厚さ*3	mm		
主要材料		—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m*4	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*5	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*5	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*6	—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*6	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*6：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		高レベル濃縮廃液分配器 セル漏えい液受皿 ()	変更なし	
種類		—		漏えい液受皿
主要寸法	高さ*2	cm		[REDACTED]
	厚さ*3	mm		
主要材料		—		
個数		—		1
取付箇所	系統名(ライン名)	—		高レベル廃液濃縮系
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m*4	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*5	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*5	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*6	—
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*6	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*6：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			高レベル廃液供給槽セル 漏えい液受皿 (██████)	変更なし	
種類		—	漏えい液受皿		
主要寸法	高さ*2	cm	██████		
	厚さ*3	mm			
主要材料		—			
個数		—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系		
	設置床	—	██████ T. M. S. L. ██████m*4		
	溢水防護上の 区画番号	—	—*5		—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*5		—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*6	—	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*6	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*6：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			高レベル廃液濃縮缶 第2セル漏えい液受皿 (████████)	変更なし	
種類		—	漏えい液受皿		
主要寸法	高さ*2	cm	████████		
	厚さ*3	mm			
主要材料		—	████████		
個数		—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系		
	設置床	—	████████ T. M. S. L. ██████ m*4		
	溢水防護上の 区画番号	—	—*5		—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*5		—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*6	—	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*6	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*6：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			高レベル濃縮廃液 分配器*2*3 ()	変更なし
種類	—	たて置円筒形		
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	胴内径*4		mm	
	胴板厚さ*5		mm	
	中央部内半径		mm	
	隅の丸み内半径		mm	
	鏡板厚さ		mm	
	高さ*6		mm	
	入口管台外径*7		mm	
	入口管台厚さ*7		mm	
	出口管台外径*8		mm	
	出口管台厚さ*8		mm	
	出口管台外径*9		mm	
	出口管台厚さ*9		mm	
	出口管台外径*10		mm	
	出口管台厚さ*10		mm	
出口管台外径*11	mm			
出口管台厚さ*11	mm			
入口管台外径*12	mm			
入口管台厚さ*12	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		

(つづき)

		変更前	変更後
	個数	—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m ^{*13}
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*14}
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*14}
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*15}
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*15}

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル濃縮廃液分配器A」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル濃縮廃液分配器B」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。

*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。

*10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P4」を示す。

*11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P8」を示す。

*12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P9」を示す。

*13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*14：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*15：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

				変更前	変更後	
名称				温度計保護管加圧設備 [REDACTED] [REDACTED]*2	変更なし	
種類		—	横置円筒形			
		—	核物質取扱ボックス			
容器 (空気貯槽)	容量		m ³ /個	[REDACTED]	変更なし	
	最高使用圧力		MPa			
	最高使用温度		°C			
	主要寸法	胴内径				mm
		胴板厚さ				mm
		出口管台外径*3				mm
		出口管台厚さ*3				mm
主要材料	胴板		—			
個数		—	1			
圧縮空気配 管	最高使用圧力		MPa	[REDACTED]	変更なし	
	最高使用温度		°C			
	主要寸法	外径				mm
		厚さ				mm
	主要材料		—			
温度計保護 管	最高使用圧力		MPa	[REDACTED]	変更なし	
	最高使用温度		°C			
	主要寸法	外径				mm
		厚さ				mm
	主要材料		—			

(つづき)

				変更前	変更後
核物質取扱ボックス (換気ボックス)	主要寸法	たて	mm	[Redacted]	変更なし
		横	mm		
		入口管台外径*4	mm		
		入口管台厚さ*4	mm		
		出口管台外径*5	mm		
		出口管台厚さ*5	mm		
	主要材料	高さ	mm		
		本体	—		
	窓板部	—			
	個数	—	1		
遮蔽体	主要寸法	厚さ	mm	[Redacted]	変更なし
	主要材料	本体	—		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	高レベル廃液濃縮系	変更なし
	設置床		—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m	
	溢水防護上の 区画番号		—	—*6	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*6	—
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—*7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P5」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P5」を示す。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) ポンプ
a. 特殊ポンプ

		変更前	変更後	
名称		高レベル廃液供給槽 セル漏えい液 スチームジェットポンプ (XXXXXXXXXX)*2	変更なし	
種類	—	流体噴射駆動式		
容量(流量)	m ³ /h/個	XXXXXXXXXX		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	蒸気供給管台外径*3			mm
	蒸気供給管台厚さ*3			mm
	入口管台外径*4			mm
	入口管台厚さ*4			mm
	出口管台外径*5			mm
	出口管台厚さ*5			mm
主要材料	—			
個数	—			2
取付箇所	系統名(ライン名)		—	高レベル廃液濃縮系
	設置床		—	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*6	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*6	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*7	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*7	

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

(3) 主要弁

			変更前	変更後	
名称			主要弁* ² ()	変更なし	
種類		—	止め弁		
最高使用圧力		MPa			
最高使用温度		°C			
主要寸法	呼び径	—			
	弁箱厚さ	mm			
	弁ふた厚さ	mm			
主要材料	弁箱	—			
	弁ふた	—			
	弁体	—			
駆動方法		—			
閉止時間		s			
個数		—			1
取付箇所	系統名(ライン名)	—			高レベル廃液濃縮系
	設置床	—			T. M. S. L. m* ³
	溢水防護上の区画番号	—		—* ⁴	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—		—* ⁴	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	()	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「加熱蒸気しや断弁」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前 主要弁*3 ()	変更後 主要弁 () *1		
名称		()	() *1		
種類	—	止め弁	変更なし		
最高使用圧力	MPa	[Redacted]			
最高使用温度	℃				
主要寸法	呼び径			—	
	弁箱厚さ			mm	
	弁ふた厚さ			mm	
主要材料	弁箱			—	
	弁ふた			—	
	弁体			—	
駆動方法				—	
閉止時間				s	
個数				—	2
取付箇所	系統名(ライン名)			—	高レベル廃液濃縮系
	設置床			—	T. M. S. L. [Redacted] m*4
	溢水防護上の 区画番号		—	—*5	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*5		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m	

- 注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。
*2：公称値を示す。
*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「加熱蒸気冷却水切替弁」と記載。
*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
*5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後		
名称			主要弁*3 (██████████ ██████)	主要弁 (██████████ ██████)*1		
種類	—		止め弁	変更なし		
最高使用圧力	MPa	██████████				
最高使用温度	℃					
主要寸法	呼び径				—	
	弁箱厚さ				mm	
	弁ふた厚さ				mm	
主要材料	弁箱				—	
	弁ふた				—	
	弁体				—	
駆動方法	—					
閉止時間	s					
個数	—				2	
取付箇所	系統名(ライン名)				—	高レベル廃液濃縮系
	設置床			—	██████████ T. M. S. L. ██████m*4	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*5	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*5	—		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	██████████		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. █████m		

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「加熱蒸気冷却水切替弁」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		主要弁 ^{*2} ()	変更なし	
種類	—	止め弁		
最高使用圧力	MPa	[Redacted]		
最高使用温度	℃			
主要寸法	呼び径			—
	弁箱厚さ			mm
	弁ふた厚さ			mm
主要材料	弁箱			—
	弁ふた			—
	弁体			—
駆動方法				—
閉止時間				s
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		高レベル廃液濃縮系
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m ^{*3}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*4}	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*4}	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	[Redacted]
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「加熱蒸気冷却水切替弁」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		変更前 主要弁 ^{*3} [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED])	変更後 主要弁 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]) ^{*1}	
種類	—	止め弁	変更なし	
最高使用圧力	MPa	[REDACTED]		
最高使用温度	℃	[REDACTED]		
主要寸法	呼び径	—		
	弁箱厚さ	mm		
	弁ふた厚さ	mm		
主要材料	弁箱	—		
	弁ふた	—		
	弁体	—		
駆動方法	—	[REDACTED]		
閉止時間	s	[REDACTED]		
個数	—	6		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液濃縮系	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m ^{*4}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*5}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*5}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	[REDACTED]
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [REDACTED] m

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「加熱蒸気冷却水切替弁」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図

書による。

*5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

		変更前	変更後	
名称		主要弁*2 ()	変更なし	
種類	—	止め弁		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	呼び径			—
	弁箱厚さ			mm
	弁ふた厚さ			mm
主要材料	弁箱			—
	弁ふた			—
	弁体			—
駆動方法				—
閉止時間				s
個数		—		1
取付箇所	系統名(ライン名)	—		高レベル廃液濃縮系
	設置床	—	T. M. S. L. m*3	
	溢水防護上の区画番号	—	—*4	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	()
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「加熱蒸気冷却水切替弁」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			主要弁*2 ()	変更なし	
種類		—	止め弁		
最高使用圧力		MPa	[Redacted]		
最高使用温度		℃			
主要寸法	呼び径	—			
	弁箱厚さ	mm			
	弁ふた厚さ	mm			
主要材料	弁箱	—			
	弁ふた	—			
	弁体	—			
駆動方法		—			
閉止時間		s			
個数		—			1
取付箇所	系統名(ライン名)	—			高レベル廃液濃縮系
	設置床	—		[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*3	
	溢水防護上の区画番号	—		—*4	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*4	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	[Redacted]	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「加熱蒸気しゃ断弁」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(4) 主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系						高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	供給ポット()～高 レベル廃液供給槽() *2	変更なし				
						高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	高レベル廃液供給槽() ～高レベル廃液濃縮缶 () *6*7*8*9*10*11*12* 13*14					
						高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	高レベル廃液供給槽() ～高レベル廃液濃縮缶 () *5	変更なし				
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	高レベル廃液供給槽() ～高レベル廃液濃縮缶 () *5											
						変更なし						

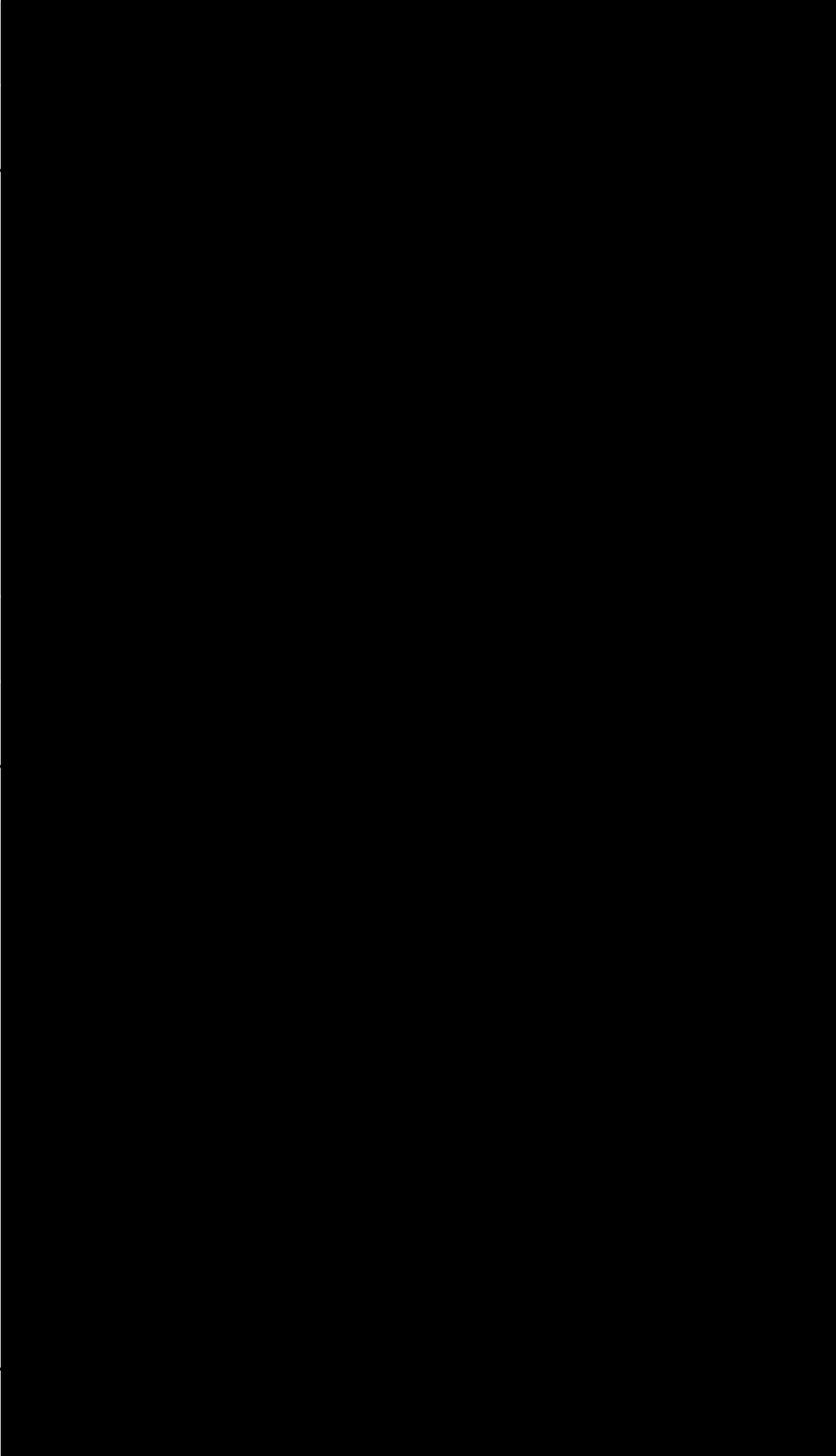
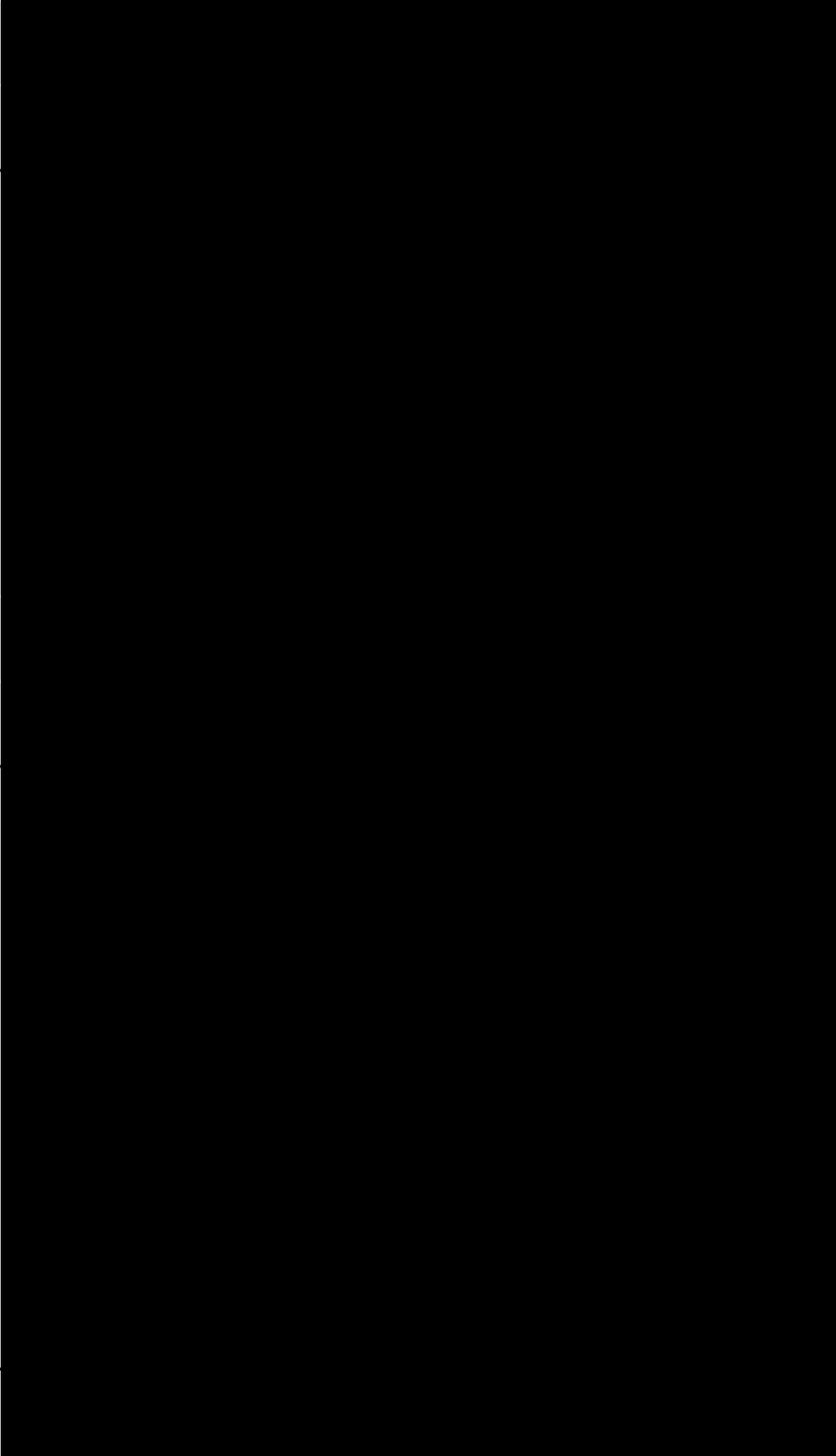
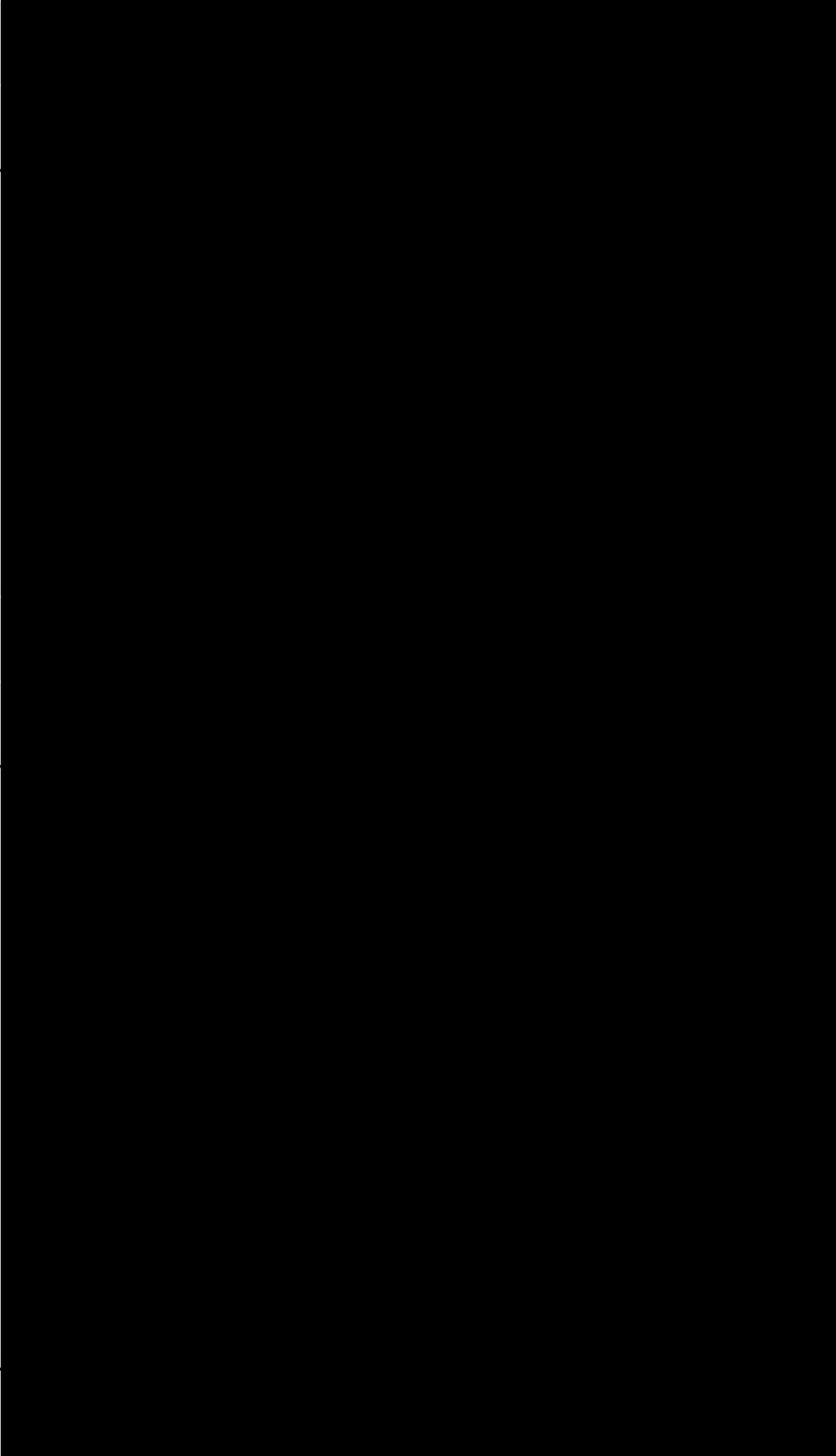
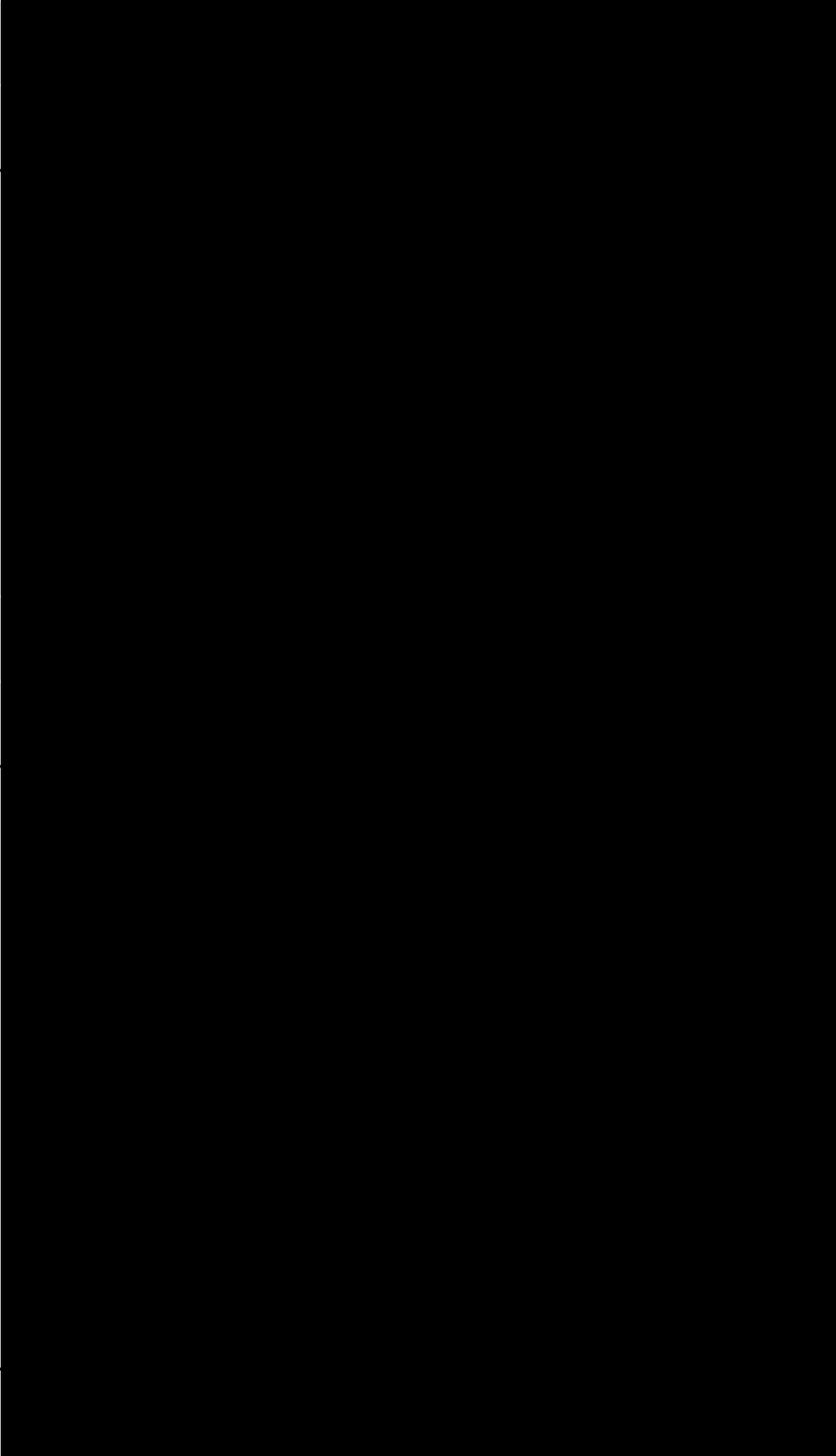
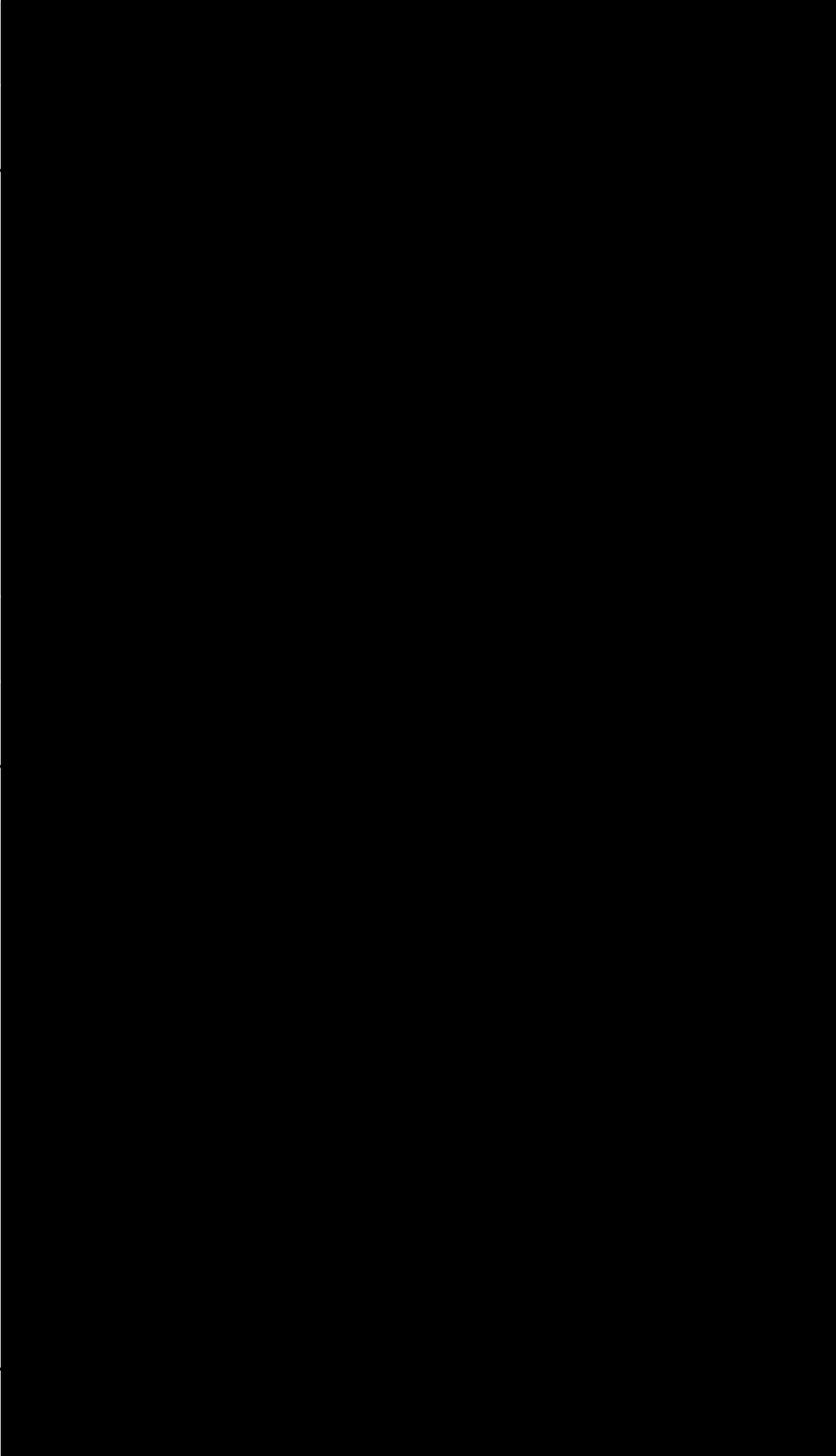
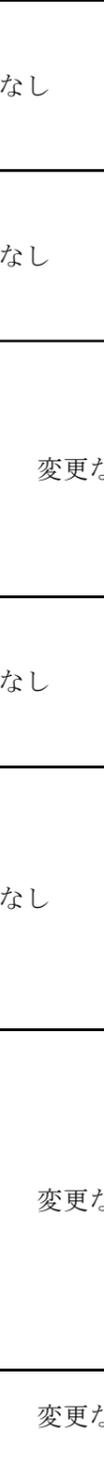
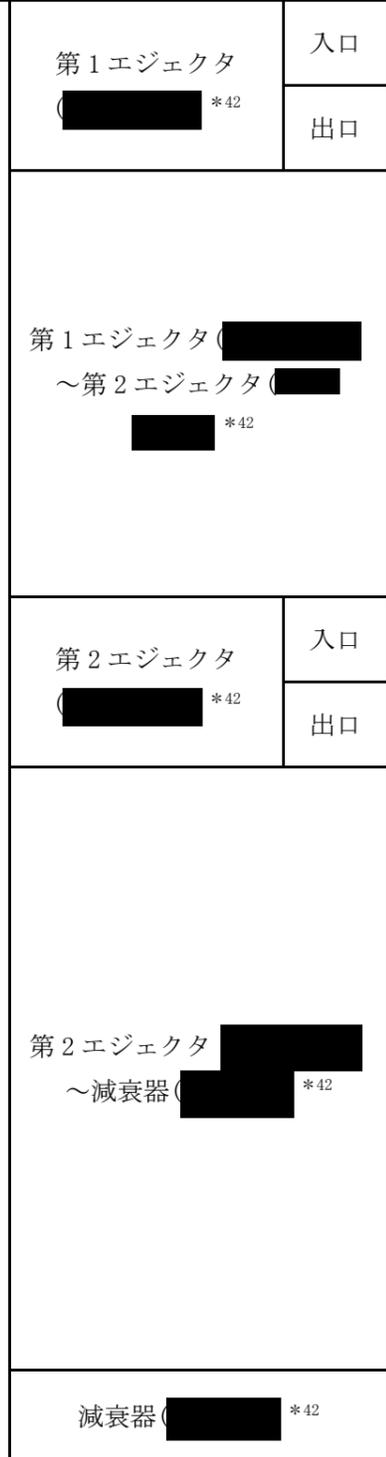
(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液濃縮系	高レベル廃液濃縮缶()~高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ() *19						変更なし				
	高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ() *22	入口	出口								
	高レベル廃液濃縮缶()~高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ() *24										
	高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ() *25	入口	出口								

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液濃縮系	高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液 抽出スチームジェットポンプ () () ~ 高レベル濃縮廃液分配器 () *26*27*28*29					変更なし					
	高レベル濃縮廃液分配器 () ~高レベル濃縮 廃液貯蔵系第1高レベル濃縮 廃液分配器()高レベル 濃縮廃液貯蔵系第2高レベル 濃縮廃液分配器() 高レベル廃液供給槽() () *35*36*37					変更なし					
	高レベル廃液濃縮缶() () ~第1エジェクタ() () *38*39*40					高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	高レベル廃液濃縮缶() () ~第1エジェクタ() () *42				

(つづき)

変更前						変更後							
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	第1エジェクタ ()*44						第1エジェクタ ()*42	入口					変更なし
							出口						
	第1エジェクタ ～第2エジェクタ() *45*46						変更なし						
	第2エジェクタ ()*47						入口	変更なし					
							出口	変更なし					
	第2エジェクタ() ～減衰器()*48*49*50						変更なし						
減衰器()		変更なし											
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	第1エジェクタ ()*42						第1エジェクタ ()*42	入口					変更なし
							出口						
	第1エジェクタ() ～第2エジェクタ() *42						変更なし						
	第2エジェクタ ()*42						入口	変更なし					
							出口	変更なし					
	第2エジェクタ ～減衰器()*42						変更なし						
減衰器()*42		変更なし											

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系						安全冷却水ポンプ出口配管分岐点～高レベル廃液供給槽 [REDACTED] *37	安全冷却水ポンプ出口配管分岐点～高レベル廃液供給槽 [REDACTED] *5	変更なし				
						高レベル廃液供給槽 [REDACTED] [REDACTED]～安全冷却水中間熱交換器入口配管合流点 *37	高レベル廃液供給槽 [REDACTED] [REDACTED]～安全冷却水中間熱交換器入口配管合流点 *5	変更なし				
						弁 [REDACTED] [REDACTED]～高レベル廃液供給槽 [REDACTED] *37	変更なし					
						迅速流体継手接続口 [REDACTED] [REDACTED]～高レベル廃液供給槽セル漏えい液受け皿 [REDACTED] [REDACTED] *53	変更なし					
						高レベル廃液供給槽セル漏えい液受け皿 [REDACTED] [REDACTED]～高レベル廃液供給槽セル漏えい液スチームジェットポンプ [REDACTED] *53	変更なし					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	高レベル廃液供給槽セル漏えい液スチームジェットポンプ [] ~高レベル濃縮 廃液貯蔵系第1高レベル濃縮 廃液分配器入口配管合流点*53 *54										変更なし	
	高レベル廃液供給槽セル漏えい液受け皿 [] ~高レ ベル廃液供給槽セル漏えい液 スチームジェットポンプ [] *53										変更なし	
	高レベル廃液供給槽セル漏えい液スチームジェットポンプ [] ~高レベル濃縮 廃液貯蔵系第2高レベル濃縮 廃液分配器入口配管合流点*53 *54										変更なし	
	迅速流体継手接続口 [] [] ~高レベル廃液供給槽 セル漏えい液スチームジェッ トポンプ [] *53											変更なし
	迅速流体継手接続口 [] [] ~高レベル廃液供給槽 セル漏えい液スチームジェッ トポンプ [] *53											変更なし

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系						高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	弁()～高レベル廃 液濃縮缶() *59*60	変更なし				
							弁()～高レベル廃 液濃縮缶() *5					
							弁()～高レベル廃 液濃縮缶() *62	変更なし				
							弁()～高レベル廃 液濃縮缶() *63					
							溶接キャップ～高レベ ル濃縮廃液分配器出口配管合 流点 *64*65*66*67*68*69	変更なし				
高レベル廃液供給槽出口配管 水封部～高レベル廃液供給槽 出口配管合流点 *70	変更なし											
高レベル廃液濃縮缶出口配管 水封部～高レベル廃液濃縮缶 出口配管合流点 *71	変更なし											

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	高レベル廃液濃縮缶第1セル 漏えい液受皿 () 高レ ベル濃縮廃液分配器セル漏え い液受皿 () 高レベル 廃液濃縮缶第2セル漏えい液 受皿 () ~高レベル廃 液供給槽セル漏えい液受皿 () *72*73*74					変更なし					
	供給ポット () ~高 レベル廃液供給槽 () * 75					変更なし					
	高レベル廃液供給槽 () () ~高レベル廃液濃縮缶 () *77*78*79*80*81*82*83 *84*85					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	高レベル廃液濃縮缶()～高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ()*88						変更なし					
	高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ()*89	入口	出口									
	高レベル廃液濃縮缶()～高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ()*90											
	高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ()*91	入口	出口									
	高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出スチームジェットポンプ()～高レベル濃縮廃液分配器()*92*93*94*95											変更なし

(つづき)

変更前						変更後															
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料										
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系						高レベル濃縮廃液分配器 ■■■■)～高レベル濃縮 廃液貯蔵系第1高レベル濃縮 廃液分配器(■■■■)高レベ ル濃縮廃液貯蔵系第2高レベ ル濃縮廃液分配器(■■■■) 高レベル廃液供給槽(■■■■ ■■■■)*98*99*100	変更なし														
						高レベル廃液濃縮缶(■■■■ ■■■■)～■■■■溶接キャップ*101 *102						変更なし									
						安全冷却水ポンプ出口配管分 岐点～高レベル廃液供給槽 ■■■■*100											変更なし				
						高レベル廃液供給槽(■■■■ ■■■■)～安全冷却水中間熱交換 器入口配管合流点*100															

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	弁()～高レベル廃液供給槽() *100					変更なし					
	高レベル廃液供給槽出口配管水封部～高レベル廃液供給槽出口配管合流点 *104					変更なし					
	高レベル廃液濃縮缶出口配管水封部～高レベル廃液濃縮缶出口配管合流点 *105					変更なし					
	高レベル廃液濃縮缶入口配管()セル内壁部～高レベル廃液濃縮缶() *106					変更なし					
	弁()～高レベル廃液濃縮缶() *108					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	弁()～高レベル廃 液供給槽() *37										変更なし
	弁()～高レベル廃 液供給槽() *37										変更なし
	弁()～高レベル廃 液供給槽() *100										変更なし
	弁()～高レベル廃 液供給槽() *100										変更なし

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	弁()～排ガス槽 () *109										変更なし
	弁()～排ガス槽入 口配管合流点 *109										変更なし
	弁()～排ガス槽 () *100										変更なし
	弁()～排ガス槽入 口配管合流点 *100										変更なし

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系						弁()～高レベル廃 液濃縮缶()*62	高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	変更なし				
						弁()～高レベル廃 液濃縮缶()*5						
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系						弁()～高レベル廃 液濃縮缶()*62	高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	変更なし				
						弁()～高レベル廃 液濃縮缶()*5						
						変更なし						

(つづき)

変更前						変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料		
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系						高レベル廃液濃縮缶 (■■■■) ■■■■) ~フラッシュドラム ■■■■ *62*111	高レベル廃液濃縮系	高レベル廃液濃縮缶 (■■■■) ■■■■) ~フラッシュドラム ■■■■ *5					変更なし
						変更なし							
						高レベル廃液濃縮缶 (■■■■) ■■■■) ~フラッシュドラム ■■■■ *62*112	高レベル廃液濃縮系	高レベル廃液濃縮缶 (■■■■) ■■■■) ~フラッシュドラム ■■■■ *5					変更なし
変更なし													
高レベル廃液濃縮缶入口配管 分岐点~高レベル廃液濃縮缶 (■■■■ *62*108						変更なし							

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高 レ ベ ル 廃 液 濃 縮 系	高レベル廃液濃縮缶 () ~ 高レベル廃液濃縮缶出口配管合流点 *62*108					変更なし					
	漏えい液希釈溶液供給槽 () ~ 迅速流体継手接続口 () *113										

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「供給ポット A () ~ 高レベル廃液供給槽 A ()」と記載。

*3: 供給ポット () を示す。

*4: 内径を示す。

*5: その他再処理設備の附属施設のうち冷却水設備重大事故等対処設備代替安全冷却水系と兼用する。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*7: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*8: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*9: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*10: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*11: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*12: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*13: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*14: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*15: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*16: 高レベル廃液供給槽供給液脈動整定ポット () を示す。

*17: 高レベル廃液供給槽供給液脈動整定ポット () を示す。

*18: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*19: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*20: 単位は(kPa)。

(つづき)

- *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *25：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *26：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *27：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *28：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *29：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *30：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *31：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *32：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *33：高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出ポット()を示す。
- *34：高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液抽出ポット()を示す。
- *35：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *36：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *37：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *38：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *39：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *40：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *41：高レベル廃液濃縮缶凝縮器デミスタ()を示す。
- *42：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設代替換気設備セル導出設備と兼用する。
- *43：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *44：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *45：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *46：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *47：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *48：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *49：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *50：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *51：第2エジェクタ凝縮器()を示す。
- *52：第2エジェクタ凝縮器デミスタ()を示す。
- *53：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *54：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *55：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *56：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

(つづき)

- *57：高レベル廃液供給槽セル漏えい液シールポット()を示す。
- *58：高レベル廃液供給槽セル漏えい液シールポット()を示す。
- *59：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「攪拌蒸気ポット A()まわり」と記載。
- *60：既設工認申請書の仕様表に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。
- *61：攪拌蒸気ポット()を示す。
- *62：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液濃縮缶 A()まわり」と記載。
- *63：その他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備重大事故等対処設備代替安全圧縮空気系と兼用する。
- *64：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *65：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *66：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *67：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *68：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *69：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *70：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *71：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *72：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *73：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *74：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *75：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *76：供給ポット()を示す。
- *77：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *78：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *79：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *80：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *81：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *82：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *83：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *84：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *85：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *86：高レベル廃液供給槽供給液脈動整定ポット()を示す。
- *87：高レベル廃液供給槽供給液脈動整定ポット()を示す。
- *88：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *89：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *90：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *91：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *92：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

(つづき)

- *93：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *94：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *95：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *96：高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液拔出ポット()を示す。
- *97：高レベル廃液濃縮缶濃縮廃液拔出ポット()を示す。
- *98：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *99：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *100：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *101：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *102：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *103：高レベル廃液濃縮缶凝縮器()を示す。
- *104：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *105：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *106：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *107：攪拌蒸気ポット()を示す。
- *108：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *109：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *110：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *111：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *112：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *113：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
- *114：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。

1.2.1.2 高レベル廃液貯蔵設備
 1.2.1.2.1 高レベル濃縮廃液貯蔵系

- ・常設
 (1) 容器

			変更前	変更後
名称			第1,第2高レベル濃縮廃液分配器 (████████)	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m ³ /個		████████	変更なし
最高使用圧力	kPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径 ^{*3}	mm		
	胴板厚さ ^{*4}			
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板中央部内半径	mm		
	下部鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径 ^{*7}	mm		
	入口管台厚さ ^{*7}	mm		
	入口管台外径 ^{*8}	mm		
	入口管台厚さ ^{*8}	mm		
	入口管台外径 ^{*9}	mm		
	入口管台厚さ ^{*9}	mm		
	出口管台外径 ^{*10}	mm		
	出口管台厚さ ^{*10}	mm		
	出口管台外径 ^{*11}	mm		
	出口管台厚さ ^{*11}	mm		
出口管台外径 ^{*12}	mm			
出口管台厚さ ^{*12}	mm			
高さ ^{*5}	mm			
主要材料	胴板	—		
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
取付箇所	個数	—	2	変更なし
	系統名 (ライン名)	—	高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	—	████████ T. M. S. L. ██████ m ^{*6}	
	溢水防護上の区画番号	—	— ^{*13}	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— ^{*13}	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— ^{*14}	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— ^{*14}	—

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[REDACTED]」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「[REDACTED] 管台一覧表 P1, 2, 4, 6, 7, 9、[REDACTED] 管台一覧表 P1, 2, 5, 6, 7, 8」に示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「[REDACTED] 管台一覧表 P8、[REDACTED] 管台一覧表 P4, 9」に示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「[REDACTED] 管台一覧表 P3, 5、[REDACTED] 管台一覧表 P3, 11」に示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「[REDACTED] 管台一覧表 P13, 14, 16, 18, 19、[REDACTED] 管台一覧表 P13, 14, 16, 18, 19」に示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「[REDACTED] 管台一覧表 P15, 17、[REDACTED] 管台一覧表 P15, 17」に示す。
- *12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「[REDACTED] 管台一覧表 P20、[REDACTED] 管台一覧表 P20」に示す。
- *13：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *14：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			第1, 第2 高レベル濃縮廃液貯槽 ()	第1, 第2 高レベル濃縮廃液貯槽 () ^{*1}
種類		—	たて置円筒形	変更なし *20
容量		m ³ /個		
最高使用圧力	本体	kPa		
	上部鏡板	kPa		
	冷却コイル部	MPa		
	ジャケット部	MPa		
最高使用温度	本体	°C		
	冷却コイル部	°C		
	ジャケット部	°C		
伝熱面積	冷却コイル部	m ² /個		
	変更なし			
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板中央部内半径	mm		
	下部鏡板隅の丸み半径	mm		
	冷却コイル外径	mm		
	冷却コイル厚さ	mm		
	ジャケット厚さ	mm		
	マンホール管台外径	mm		
	マンホール管台厚さ	mm		
	マンホール鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*6}			
	入口管台厚さ ^{*6}			
	入口管台外径 ^{*7}			
	入口管台厚さ ^{*7}			
	入口管台外径 ^{*8}	mm		
	入口管台厚さ ^{*8}	mm		
	入口管台外径 ^{*9}			
	入口管台厚さ ^{*9}			
	入口管台外径 ^{*10}			
	入口管台厚さ ^{*10}			
入口管台外径 ^{*11}				
入口管台厚さ ^{*11}				
入口管台外径 ^{*12}				
入口管台厚さ ^{*12}				

(つづき)

			変更前	変更後		
主要寸法	出口管台外径 ^{*13}	mm	[Redacted]	変更なし		
	出口管台厚さ ^{*13}	mm				
	出口管台外径 ^{*14}	mm				
	出口管台厚さ ^{*14}	mm				
	高さ ^{*15}	mm				
主要材料	胴板	—				
	上部鏡板	—				
	下部鏡板	—				
	冷却コイル	—				
	ジャケット	—				
個数		—			2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	—			[Redacted]	[Redacted]
					T. M. S. L. [Redacted] m *16	T. M. S. L. [Redacted] m *16
	溢水防護上の 区画番号	—			— *17	
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—	— *17		—	
	化学薬品防護上の区画 番号	—	— *18		—	
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	—	— *18		—	

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。記載内容は, SI 単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。記載内容は, SI 単位のみを示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安 (核規) 第 596 号にて認可された設工認の「VI 設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-8 崩壊熱除去に関する説明書」による。

- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽（）の構造図 管台一覧表 P1,P2」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽（）の構造図 管台一覧表 P7」を示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽（）の構造図 管台一覧表 P8」を示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽（）の構造図 管台一覧表 P9」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽（）の構造図 管台一覧表 P10,P11」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽（）の構造図 管台一覧表 P12,P13」を示す。
- *12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽（）の構造図 管台一覧表 P15,P17,P19,P21,P23,P25,P27,P29,P31,P33」を示す。
- *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-2図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽（）の構造図 管台一覧表 P3,P5,P16,P18,P20,P22,P24,P26,P28,P30,P32,P34」を示す。
- *14：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第

3.2.2.1.2.1-2 図 第1,第2高レベル濃縮廃液貯槽 () の
構造図 管台一覧表 P14」を示す。

*15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*16：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図
書による。

*17：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*18：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*19：重大事故等時における使用時の値を示す。

*20：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

			変更前	変更後	
名称			第1, 第2 高レベル濃縮 廃液一時貯槽 ()	第1, 第2 高レ ベル濃縮廃液 一時貯槽 ())*1	
種類		—	たて置円筒形	変更なし	
容量		m ³ /個		変更なし)*19	
最高使用圧力	本体	kPa		変更なし)*19	
	上部鏡板	kPa		変更なし	
	冷却コイル部	MPa		変更なし	
	ジャケット部	MPa		変更なし	
最高使用温度	本体	°C		変更なし)*18	
	冷却コイル部	°C			
	ジャケット部	°C			
伝熱面積	冷却コイル部	m ² /個			
主要寸法	胴内径	mm			変更なし
	胴板厚さ	mm			
	上部鏡板厚さ	mm			
	上部鏡板中央部内半径	mm			
	上部鏡板隅の丸み半径	mm			
	下部鏡板厚さ	mm			
	下部鏡板中央部内半径	mm			
	下部鏡板隅の丸み半径	mm			
	冷却コイル外径	mm			
	冷却コイル厚さ	mm			
	ジャケット厚さ	mm			
	マンホール管台外径	mm			
	マンホール管台厚さ	mm			
	マンホール鏡板厚さ	mm			
	入口管台外径*6	mm			
	入口管台厚さ*6	mm			
	入口管台外径*7	mm			
	入口管台厚さ*7	mm			
	入口管台外径*8	mm			
	入口管台厚さ*8	mm			
	入口管台外径*9	mm			
	入口管台厚さ*9	mm			
	入口管台外径*10	mm			
	入口管台厚さ*10	mm			
出口管台外径*11	mm				
出口管台厚さ*11	mm				
出口管台外径*12	mm				
出口管台厚さ*12	mm				

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料	出口管台外径*13	mm	[REDACTED]	
	出口管台厚さ*13	mm		
	高さ*14	mm		
	胴板	—		
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
	冷却コイル	—		
	ジャケット	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m*15	
	溢水防護上の区画番号	—	—*16	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*16	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*17	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*17	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[REDACTED]」と記載。記載内容は、SI 単位系のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[REDACTED]」と記載。記載内容は、SI 単位系のみを示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安（核規）第 596 号にて認可された設工認の「VI 設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-8 崩壊熱除去に関する説明書」による。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安（核規）第 596 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 2. 1. 2. 1-4 図 第 1 高レベル濃縮廃液一時貯槽 ([REDACTED]) の構造図

管台一覧表 P1, P2, P43, P44」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P1, P9, P45, P46」を示す。

- *7: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P11, P13, P16」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P11, P13, P16」を示す。
- *8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P17, P23, P25, P29, P31」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P17, P23, P25, P29, P31」を示す。
- *9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P19, P20」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P19, P20, P41, P42」を示す。
- *10: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P21」及び「第3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P21」を示す。
- *11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P3, P10, P12, P14, P24, P26, P30, P32」及び「3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P3, P10, P12, P14, P24, P26, P30, P32」を示す。
- *12: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P5, P7」及び「3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の構造図 管台一覧表 P5, P7」を示す。

- *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.1-4図 第1高レベル濃縮廃液一時貯槽（XXXXXXXXXX）の構造図 管台一覧表 P22」及び「3.2.2.1.2.1-6図 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽（XXXXXXXXXX）の構造図 管台一覧表 P22」を示す。
- *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *16：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *17：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *18：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *19：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

		変更前	変更後
名称		放射性配管分岐セル 漏えい液受皿 ()	変更なし
種類		— 金属ライニング形*2	
主要寸法	高さ*3	[REDACTED]	
	厚さ*4		
主要材料		—	
個数		— 2	
取付箇所	系統名(ライン名)	— 高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	[REDACTED]	
		[REDACTED] T. M. S. L.	
		[REDACTED] m*5	
	溢水防護上の区画番号	— *6	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	— *6	
	化学薬品防護上の区画番号	— *7	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	— *7		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		高レベル濃縮廃液貯槽第1, 第2セル漏えい液受皿 ()	変更なし	
種類		— 金属ライニング形*2		
主要寸法	高さ*3			
	厚さ*4			
主要材料		—		
個数		— 2		
取付箇所	系統名(ライン名)	— 高レベル濃縮廃液貯蔵系		
	設置床	—		T. M. S. L. m*5
		—		T. M. S. L. m*5
	溢水防護上の区画番号	—		—*6
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*6	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*7	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*7	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		高レベル濃縮廃液一時貯槽セル漏えい液受皿 ()	変更なし	
種類		—		金属ライニング形*2
主要寸法	高さ*3			
	厚さ*4			
主要材料		—		
個数		—		1
取付箇所	系統名(ライン名)	—		高レベル濃縮廃液貯蔵系
	設置床	—	T. M. S. L. m*5	
	溢水防護上の区画番号	—	—*6	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*6	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*7	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後		
名称		分配器セル漏えい液受皿 ()	変更なし		
種類		—		金属ライニング形*2	
主要寸法	高さ*3				
	厚さ*4				
主要材料		—			
個数		—		1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—		高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	—		T. M. S. L. m*5	
	溢水防護上の区画番号	—		—*6	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		—*6	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*7	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*7	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後
名称		AT06 配管収納容器 1 ■■■■■		変更なし
種類		—	漏えい液受皿	
臨界管理	核的制限値	mm	—	
主要寸法	高さ* ²	mm	700~1470, 50* ¹	
	厚さ* ³	mm	2.5(4* ¹)	
主要材料		—	SUS304	
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	—	洞道 T. S. M. L. 45. 50m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」「H₁」と記載。

* 3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」「t_m」と記載。

		変更前		変更後
名称		AT06 配管収納容器 2 ■■■■■		変更なし
種類		—	配管収納容器	
臨界管理	核的制限値	mm	—	
主要寸法	高さ* ²	mm	700～1470, 50* ¹	
	厚さ* ³	mm	2.5(4* ¹)	
主要材料		—	SUS304	
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	—	洞道 T. S. M. L. 45. 50m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」 「H₁」 と記載。

* 3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」 「t_m」 と記載。

		変更前		変更後
名称		AT06 漏えい液受皿 1 [REDACTED]		変更なし
種類		—	漏えい液受皿	
臨界管理	核的制限値	mm	—	
主要寸法	高さ*2	mm	200*1	
	厚さ*3	mm	4*1	
主要材料		—	SUS304	
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	—	洞道 T. S. M. L. 45.80m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

		変更前		変更後
名称		AT06 漏えい液受皿 2 [REDACTED]		変更なし
種類		—	漏えい液受皿	
臨界管理	核的制限値	mm	—	
主要寸法	高さ*2	mm	200*1	
	厚さ*3	mm	4*1	
主要材料		—	SUS304	
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液貯蔵系	
	設置床	—	洞道 T. S. M. L. 45.80m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

(2) ポンプ
a. 特殊ポンプ

			変更前	変更後	
名称			高レベル濃縮廃液貯槽 第1, 第2セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ [REDACTED] [REDACTED])*2	変更なし	
種類	—	流体噴射駆動式			
容量(流量)	m ³ /h/個	[REDACTED]			
最高使用圧力	MPa				
最高使用温度	℃				
主要寸法	蒸気供給管台外径				mm
	蒸気供給管台厚さ				mm
	入口管台外径				mm
	入口管台厚さ	mm			
	出口管台外径	mm			
	出口管台厚さ	mm			
主要材料	—				
個数	—	4*2			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル濃縮廃液貯蔵系		
	設置床	—	[REDACTED]	[REDACTED]	
			T. M. S. L.	T. M. S. L.	
			[REDACTED]m	[REDACTED]m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*3		
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—*3		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4			

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			高レベル濃縮廃液一時貯槽 セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () ^{*2}	変更なし	
種類		—	流体噴射駆動式		
容量(流量)		m ³ /h/個	[Redacted]		
最高使用圧力		MPa			
最高使用温度		℃			
主要寸法	蒸気供給管台外径	mm			
	蒸気供給管台厚さ	mm			
	入口管台外径	mm			
	入口管台厚さ	mm			
	出口管台外径	mm			
	出口管台厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			2 ^{*2}
取付箇所	系統名(ライン名)	—			高レベル濃縮廃液貯蔵系
	設置床	—		[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m ^{*2}	
	溢水防護上の 区画番号	—		— ^{*3}	—
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	— ^{*3}	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*4}	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*4}	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
高 レ ベ ル 濃 縮 廃 液 貯 蔵 系	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () ～第1高レベル濃縮廃液分配器 ()					高 レ ベ ル 濃 縮 廃 液 貯 蔵 系	変更なし				
	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () ～第2高レベル濃縮廃液分配器 ()						変更なし				
	第1高レベル濃縮廃液分配器 () ～高レベル廃液混合槽 ()*3						変更なし				
	第1高レベル濃縮廃液分配器 () ～高レベル廃液混合槽 ()*4						変更なし				
	第1高レベル濃縮廃液分配器 () ～第1高レベル濃縮廃液貯槽 ()						変更なし				
	第1高レベル濃縮廃液分配器 () ～第2高レベル濃縮廃液貯槽 ()						変更なし				
	第1高レベル濃縮廃液分配器 () ～第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	第1高レベル濃縮廃液分配器 () ～第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	第2高レベル濃縮廃液分配器 () ～高レベル廃液混合槽 ()*5						変更なし				
	第2高レベル濃縮廃液分配器 () ～高レベル廃液混合槽 ()*6						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
高 レ ベ ル 濃 縮 廃 液 貯 蔵 系	第2高レベル濃縮廃液分配器 () ～第1高レベル濃縮廃液貯槽 ()										
	第2高レベル濃縮廃液分配器 () ～第2高レベル濃縮廃液貯槽 ()					変更なし					
	第2高レベル濃縮廃液分配器 () ～第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()					変更なし					
	第2高レベル濃縮廃液分配器 () ～第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()					変更なし					
	第1高レベル濃縮廃液貯槽 () ～第1高レベル濃縮廃液分配器 ()					変更なし					
	第1高レベル濃縮廃液貯槽 () ～第2高レベル濃縮廃液分配器 ()					変更なし					
	第2高レベル濃縮廃液貯槽 () ～第1高レベル濃縮廃液分配器 ()					変更なし					
	第2高レベル濃縮廃液貯槽 () ～第2高レベル濃縮廃液分配器 ()					変更なし					
	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () ～第1高レベル濃縮廃液分配器 ()					変更なし					
	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () ～第2高レベル濃縮廃液分配器 ()					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
高 レ ベ ル 濃 縮 廃 液 貯 蔵 系	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () ~ ()					変更なし					
	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () ~ ()					変更なし					
	() ~第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()					変更なし					
	() ~第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()					変更なし					
	放射性配管分岐セル漏えい液 受皿1 () ~放射性配管分岐セル漏えい液 受皿2 ()*7					変更なし					
	放射性配管分岐セル漏えい液 受皿2 () ~高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿 ()*8*9					変更なし					
放射性配管分岐セル漏えい液 受皿2 () ~高レベル廃液混合槽第2セル 漏えい液受皿 ()*8*9					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
高レベル濃縮廃液貯蔵系	■■■■■ ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿入口配管合流点*9*12					変更なし					
	■■■■■ ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿入口配管合流点*9					変更なし					
	■■■■■ ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿入口配管合流点*15*16					変更なし					
	■■■■■ ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿入口配管合流点*9					変更なし					
	弁(■■■■■) ～第1高レベル濃縮廃液貯槽 (■■■■■)*19					弁(■■■■■) ～第1高レベル濃縮廃液貯槽 (■■■■■)*20*21		変更なし ■■■■■*2*22	変更なし ■■■■■*22	変更なし	
弁(■■■■■) ～第2高レベル濃縮廃液貯槽 (■■■■■)*23					弁(■■■■■) ～第2高レベル濃縮廃液貯槽 (■■■■■)*20*21		変更なし ■■■■■*2*22	変更なし ■■■■■*22	変更なし		
							変更なし ■■■■■*2*22	変更なし ■■■■■*22	変更なし		
							変更なし ■■■■■*2*22	変更なし ■■■■■*22	変更なし		

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
高レベル濃縮廃液貯蔵系						弁() ～第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()*24	変更なし ■*22	変更なし ■*22	変更なし		
							変更なし ■*22	変更なし ■*22	変更なし		
						弁() ～第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()*25	変更なし ■*22	変更なし ■*22	変更なし		
							変更なし ■*22	変更なし ■*22	変更なし		
						高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿() ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ1()*26	変更なし				
						高レベル濃縮廃液貯槽 第1セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ ()*16	入口	変更なし			
出口	変更なし										
高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ1() ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿第1シールポット ()*26	変更なし										
迅速流体継手接続口 () ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ1()*26	変更なし										
高レベル濃縮廃液貯蔵系						弁() ～第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()*20*21	変更なし ■*22	変更なし ■*22	変更なし		
							変更なし ■*22	変更なし ■*22	変更なし		
						弁() ～第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 ()*20*21	変更なし ■*22	変更なし ■*22	変更なし		
							変更なし ■*22	変更なし ■*22	変更なし		
						変更なし					
						変更なし					
変更なし											

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
高 レ ベ ル 濃 縮 廃 液 貯 蔵 系	迅速流体継手接続口 () ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿 () ^{*26}					高 レ ベ ル 濃 縮 廃 液 貯 蔵 系	変更なし					
	高レベル濃縮廃液貯槽第2セル 漏えい液受皿 () ～高レベル濃縮廃液貯槽第2セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () ^{*27}						変更なし					
	高レベル濃縮廃液貯槽 第2セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () ^{*16}	入口					変更なし					
		出口										
	高レベル濃縮廃液貯槽第2セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿第1シールポット () ^{*27}						変更なし					
	迅速流体継手接続口 () ～高レベル濃縮廃液貯槽第2セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () ^{*27}						変更なし					
	迅速流体継手接続口 () ～高レベル濃縮廃液貯槽第2セル 漏えい液受皿 () ^{*27}						変更なし					
	高レベル濃縮廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿 () ～高レベル濃縮廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () ^{*28}						変更なし					
	高レベル濃縮廃液一時貯槽 セル漏えい液受皿スチーム ジェットポンプ () ^{*16}	入口					変更なし					
	出口											

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
高レベル濃縮廃液貯蔵系	高レベル濃縮廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿第1シールポット () *28					変更なし					
	迅速流体継手接続口 () ～高レベル濃縮廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () *28					変更なし					
	迅速流体継手接続口 () ～高レベル濃縮廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿 () *28					変更なし					
	分配器セル漏えい液受皿 () ～高レベル濃縮廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿 () *29					変更なし					
	高レベル濃縮廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿第1シールポット () ～高レベル廃液共用貯槽 () *31*32					変更なし					
						高レベル濃縮廃液貯蔵系					

注記 *1：公称値を示す。

*2：単位は(MPa)。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液分配器 ()～高レベル廃液混合槽A ()」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液分配器 ()～高レベル廃液混合槽B ()」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液分配器 ()～高レベル廃液混合槽A ()」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液分配器 ()～高レベル廃液混合槽B ()」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()まわり」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()まわり」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には配管番号のみ記載。

*10：放射性配管分岐セル漏えい液受皿2漏えい検知ポット1 ()を示す。

*11：放射性配管分岐セル漏えい液受皿2漏えい検知ポット2 ()を示す。

*12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()まわり」と記載。

*13： ()配管収納容器1漏えい検知ポット ()を示す。

*14： ()配管収納容器2漏えい検知ポット ()を示す。

*15：既設工認申請書に記載が無い場合、記載の適正化を行う。

*16：本設備は既存の設備である。

- *17： 漏えい液受皿2漏えい検知ポット()を示す。
- *18： 漏えい液受皿1漏えい検知ポット()を示す。
- *19： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液貯槽()まわり」と記載。
- *20： その他再処理設備の附属施設の安全冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。
- *21： その他再処理設備の附属施設の安全圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系と兼用する。
- *22： 重大事故時における使用時の値を示す。
- *23： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液貯槽()まわり」と記載。
- *24： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液一時貯槽()まわり」と記載。
- *25： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液一時貯槽()まわり」と記載。
- *26： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 」まわり」と記載。
- *27： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 」まわり」と記載。
- *28： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 」まわり」と記載。
- *29： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 」まわり」と記載。
- *30： 分配器セル漏えい液受け皿漏えい検知ポット()を示す。
- *31： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル濃縮廃液貯槽第1セル漏えい液受皿第1シールポット()まわり」と記載。
- *32： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル濃縮廃液貯槽第1セル漏えい液受皿第2シールポット()まわり」と記載。
- *33： 高レベル濃縮廃液貯槽第1セル漏えい液受皿第1シールポット()を示す。
- *34： 高レベル濃縮廃液貯槽第1セル漏えい液受皿第2シールポット()を示す。

1.2.1.2.2 不溶解残渣廃液貯蔵系

- ・常設
- (1) 容器

			変更前	変更後
名称			第 1, 第 2 不溶解残渣 廃液一時貯槽 (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類		—	たて置円筒形	
容量		m ³ /個		
最高使用圧力	本体	kPa		
	冷却ジャケット部	MPa		
最高使用温度	本体	℃		
	冷却ジャケット部	℃		
伝熱面積	冷却ジャケット部	m ² /個		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板中央部内半径	mm		
	下部鏡板隅の丸み半径	mm		
	冷却ジャケット厚さ	mm		
	マンホール管台外径	mm		
	マンホール管台厚さ	mm		
	マンホール鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*4}	mm		
	入口管台厚さ ^{*4}	mm		
	入口管台外径 ^{*5}	mm		
	入口管台厚さ ^{*5}	mm		
	入口管台外径 ^{*6}	mm		
	入口管台厚さ ^{*6}	mm		
	入口管台外径 ^{*7}	mm		
	入口管台厚さ ^{*7}	mm		
	入口管台外径 ^{*8}	mm		
	入口管台厚さ ^{*8}	mm		
	出口管台外径 ^{*9}	mm		
	出口管台厚さ ^{*9}	mm		
	出口管台外径 ^{*10}	mm		
	出口管台厚さ ^{*10}	mm		
	出口管台外径 ^{*11}	mm		
出口管台厚さ ^{*11}	mm			
出口管台外径 ^{*12}	mm			
出口管台厚さ ^{*12}	mm			
高さ ^{*13}	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料	胴板	—	[Redacted]	変更なし
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
	冷却ジャケット	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	不溶解残渣廃液貯蔵系	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m ^{*14}	
	溢水防護上の区 画番号	—	— *15	—
	溢水防護上の配 慮が必要な高さ	—	— *15	—
	化学薬品防護上 の区画番号	—	— *16	—
	化学薬品防護上 の配慮が必要な 高さ	—	— *16	—

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]）」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽（[Redacted]）の構造図管台一覧表 P8, P9, P10, P11」を示す。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の「VI設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-8 崩壊熱除去に関する説明書」による。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽（[Redacted]）の構造図管台一覧表 P1, P69」を示す。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽（[Redacted]）の構造図管台一覧表 P2, P3, P4, P5, P6, P7, P22, P24」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.

- 2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () の構造図管台一覧表P19」を示す。
- *8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () の構造図管台一覧表P40,P42,P43,P45」を示す。
 - *9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () の構造図管台一覧表P12,P13,P15,P16,P31,P33」を示す。
 - *10: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () の構造図管台一覧表P14,P21,P23,P25,P27,P29,P35」を示す。
 - *11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () の構造図管台一覧表P37」を示す。
 - *12: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-2図 第1,第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () の構造図管台一覧表P39,P41,P44,P46」を示す。
 - *13: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
 - *14: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - *15: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
 - *16: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			第 1, 第 2 不溶解残渣 廃液貯槽 ()	
種類		—	たて置円筒形	
容量		m ³ /個		
最高使用圧力	本体	kPa		
	冷却ジャケット部	MPa		
最高使用温度	本体	°C		
	冷却ジャケット部	°C		
伝熱面積	冷却ジャケット部	m ² /個		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板中央部内半径	mm		
	下部鏡板隅の丸み半径	mm		
	冷却ジャケット厚さ	mm		
	マンホール管台外径	mm		
	マンホール管台厚さ	mm		
	マンホール鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*5}	mm		
	入口管台厚さ ^{*5}	mm		
	入口管台外径 ^{*6}	mm		
	入口管台厚さ ^{*6}	mm		
	入口管台外径 ^{*7}	mm		
	入口管台厚さ ^{*7}	mm		
	入口管台外径 ^{*8}	mm		
	入口管台厚さ ^{*8}	mm		
	入口管台外径 ^{*9}	mm		
	入口管台厚さ ^{*9}	mm		
	出口管台外径 ^{*10}	mm		
	出口管台厚さ ^{*10}	mm		
	出口管台外径 ^{*11}	mm		
	出口管台厚さ ^{*11}	mm		
	出口管台外径 ^{*12}	mm		
	出口管台厚さ ^{*12}	mm		
出口管台外径 ^{*13}	mm			
出口管台厚さ ^{*13}	mm			
高さ ^{*14}	mm			

変更なし

(つづき)

			変更前		変更後
主要材料	胴板	—	[Redacted]		変更なし
	上部鏡板	—			
	下部鏡板	—			
	冷却ジャケット	—			
個数		—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	不溶解残渣廃液貯蔵系		
	設置床	—	[Redacted]	[Redacted]	
			T. M. S. L. [Redacted] m*15	T. M. S. L. [Redacted] m*15	
	溢水防護上の区 画番号	—	— *16		—
	溢水防護上の配 慮が必要な高さ	—	— *16		—
	化学薬品防護上 の区画番号	—	— *17		—
	化学薬品防護上 の配慮が必要な 高さ	—	— *17		—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の「VI設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-8 崩壊熱除去に関する説明書」による。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯蔵槽([Redacted])の構造図管台一覧表 P1,P4」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯蔵槽([Redacted])の構造図管台一覧表 P2,P3」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安(核規)第596号にて認可された設工認の添付図面「第

3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽()の構造
図管台一覧表 P20」を示す。

- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽(1721-V30, V40)の構造図管台一覧表 P22」を示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽(1721-V30, V40)の構造図管台一覧表 P25, P27, P28, P30」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽(1721-V30, V40)の構造図管台一覧表 P5, P6, P12, P14」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽(1721-V30, V40)の構造図管台一覧表 P7, P9」を示す。
- *12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽(1721-V30, V40)の構造図管台一覧表 P23」を示す。
- *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.2-4図 第1,第2不溶解残渣廃液貯槽(1721-V30, V40)の構造図管台一覧表 P24, P26, P29, P31」を示す。
- *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *16：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *17：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

		変更前	変更後
名称		不溶解残渣廃液一時貯槽 セル漏えい液受皿 (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類		— 金属ライニング形*2	
主要寸法	高さ*3	XXXXXXXXXX	
	厚さ*4		
主要材料		—	
個数		— 2	
取付箇所	系統名(ライン名)	— 不溶解残渣廃液貯蔵系	
	設置床	— XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX	
		— T. M. S. L. XXXXXXXXXX m*5 T. M. S. L. XXXXXXXXXX m*5	
	溢水防護上の区画番号	— *6	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	— *6	
	化学薬品防護上の区画番号	— *7	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	— *7	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後
名称		不溶解残渣廃液貯槽第1, 第2セル漏えい液受皿 ()	変更なし
種類		— 金属ライニング形*2	
主要寸法	高さ*3	■	
	厚さ*4		
主要材料		—	
個数		— 2	
取付箇所	系統名(ライン名)	— 不溶解残渣廃液貯蔵系	
	設置床	— ■ ■	
		— T. M. S. L. T. M. S. L. ■ m*5 ■ m*5	
	溢水防護上の区画番号	— *6	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	— *6	
	化学薬品防護上の区画番号	— *7	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	— *7	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) ポンプ

a. 特殊ポンプ

		変更前	変更後	
名称		不溶解残渣廃液一時貯槽 セル漏えい液受皿1 スチームジェットポンプ () ^{*2}	変更なし	
種類	—	流体噴射駆動式		
容量(流量)	m ³ /h/個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	蒸気供給管台外径			mm
	蒸気供給管台厚さ			mm
	入口管台外径			mm
	入口管台厚さ			mm
	出口管台外径			mm
	出口管台厚さ		mm	
主要材料	—			
個数	—	2 ^{*2}		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	不溶解残渣廃液貯蔵系	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m ^{*2}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*3}	—
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	— ^{*3}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*4}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*4}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		不溶解残渣廃液貯槽第1, 第2 セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () *2	変更なし	
種類	—	流体噴射駆動式		
容量(流量)	m ³ /h/個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	蒸気供給管台外径			mm
	蒸気供給管台厚さ			mm
	入口管台外径			mm
	入口管台厚さ			mm
	出口管台外径			mm
	出口管台厚さ			mm
主要材料	—			
個数	—	4 *2		
取付箇所	系統名(ライン名)	—		不溶解残渣廃液貯蔵系
	設置床	—	 T. M. S. L. m *2	
			 T. M. S. L. m *2	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *3	—
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	— *3	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *4	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *4	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
不溶解残渣廃液貯蔵系	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～高レベル廃液混合槽 ()*3					不溶解残渣廃液貯蔵系	変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～ ()						変更なし				
					入口		変更なし				
					出口		変更なし				
	～高レベル廃液混合槽 ()*5						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～高レベル廃液混合槽 ()*6						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～ ()						変更なし				
					入口		変更なし				
					出口		変更なし				
	～高レベル廃液混合槽 ()*7						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～第1不溶解残渣廃液貯槽 ()						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～ ()						変更なし				
				入口	変更なし						
				出口	変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
不溶解残渣廃液貯蔵系	[Redacted] 不溶解残渣廃液貯蔵槽 ([Redacted])					不溶解残渣廃液貯蔵系	変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯蔵槽 ([Redacted]) ～第2不溶解残渣廃液貯蔵槽 ([Redacted])						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯蔵槽 ([Redacted]) ～ [Redacted]						変更なし				
	[Redacted]				入口		変更なし				
	[Redacted]				出口						
	[Redacted] 不溶解残渣廃液貯蔵槽 ([Redacted])						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液貯蔵槽 ([Redacted]) ～ [Redacted]						変更なし				
	[Redacted] 不溶解残渣廃液一時貯蔵槽 ([Redacted])						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液貯蔵槽 ([Redacted]) ～ [Redacted]						変更なし				
	[Redacted]				入口		変更なし				
[Redacted]				出口							
[Redacted] 不溶解残渣廃液貯蔵槽 ([Redacted])					変更なし						
[Redacted] 不溶解残渣廃液一時貯蔵槽 ([Redacted])					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
不溶解残渣廃液貯蔵系	第1不溶解残渣廃液貯槽 () ~ ()					不溶解残渣廃液貯蔵系	変更なし				
	() ~第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液貯槽 () ~ ()						変更なし				
	()				入口		変更なし				
	()				出口						
	() ~ ()						変更なし				
	() ~第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ~高レベル廃液混合槽 ()*8						変更なし				
	第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ()						変更なし				
	()				入口		変更なし				
()				出口							
() ~高レベル廃液混合槽 ()*9					変更なし						
第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ~高レベル廃液混合槽 ()*10					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
不溶解残渣廃液貯蔵系	第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ~ ()					不溶解残渣廃液貯蔵系	変更なし				
	()	入口					()	変更なし			
		出口						変更なし			
	() ~高レベル廃液混合槽 ()*11						変更なし				
	第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ~第1不溶解残渣廃液貯槽 ()						変更なし				
	()	入口					()	変更なし			
		出口						変更なし			
	() ~第1不溶解残渣廃液貯槽 ()						変更なし				
	第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ~第2不溶解残渣廃液貯槽 ()						変更なし				
	()	入口					()	変更なし			
		出口						変更なし			
	() ~第2不溶解残渣廃液貯槽 ()						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
不 溶 解 残 渣 廃 液 貯 蔵 系	第2不溶解残渣廃液貯槽 () ~ ()					不 溶 解 残 渣 廃 液 貯 蔵 系	変更なし				
	~第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	第2不溶解残渣廃液貯槽 () ~ ()						変更なし				
					入口		変更なし				
					出口		変更なし				
	~ ()						変更なし				
	~第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	第2不溶解残渣廃液貯槽 () ~ ()						変更なし				
	~第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	第2不溶解残渣廃液貯槽 () ~ ()						変更なし				
				入口	変更なし						
				出口	変更なし						
~ ()					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
[REDACTED] ~第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ([REDACTED])						変更なし					
第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ([REDACTED]) ~ [REDACTED]						変更なし					
第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ([REDACTED]) ~ [REDACTED]						変更なし					
[REDACTED] 入口 [REDACTED] 出口						変更なし					
[REDACTED] ~ [REDACTED]						変更なし					
[REDACTED] ~ [REDACTED]						変更なし					
[REDACTED] ~第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ([REDACTED])						変更なし					
[REDACTED] ~ [REDACTED]						変更なし					
[REDACTED] ~第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ([REDACTED])						変更なし					
第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ([REDACTED]) ~ [REDACTED]						変更なし					
第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ([REDACTED]) ~ [REDACTED]						変更なし					

不溶解残渣廃液貯蔵系

不溶解残渣廃液貯蔵系

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
不 溶 解 残 渣 廃 液 貯 蔵 系	入口					不 溶 解 残 渣 廃 液 貯 蔵 系	変更なし				
	出口						変更なし				
	~						変更なし				
	~						変更なし				
	~第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	~						変更なし				
	~第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	不溶解残渣廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿2 () ~不溶解残渣廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿1 () ^{*12}						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ~第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ^{*16}						変更なし				
	弁 () ~第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ^{*16}						変更なし				
第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()まわり	_*17										

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()*18	不溶解残渣廃液貯蔵系	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし						
弁 () ～第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()*18						変更なし						
第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()まわり						-*17						
第1不溶解残渣廃液貯槽 () ～第2不溶解残渣廃液貯槽 ()*19						変更なし						
弁 () ～第1不溶解残渣廃液貯槽 ()*19						変更なし						
第2不溶解残渣廃液貯槽 () ～第1不溶解残渣廃液貯槽 ()*20						変更なし						
弁 () ～第2不溶解残渣廃液貯槽 ()*20						変更なし						
不溶解残渣廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿1 () ～不溶解残渣廃液一時貯槽セル漏 えい液受皿1スチームジェット ポンプ ()*21						変更なし						
不溶解残渣廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿1 スチームジェットポンプ ()*15						入口	変更なし					
						出口	変更なし					
不溶解残渣廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿1スチームジェット ポンプ () ～不溶解残渣廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿1シールポット ()*21	変更なし											
		不溶解残渣廃液貯蔵系										

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
不 溶 解 残 渣 廃 液 貯 蔵 系	迅速流体継手接続口 () ～不溶解残渣廃液一時貯槽セル 漏えい液受皿1スチームジェット ポンプ () *21					不 溶 解 残 渣 廃 液 貯 蔵 系	変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ～不溶解残渣廃液一時貯槽セル漏 えい液受皿1 () *21						変更なし				
	不溶解残渣廃液貯槽第1セル漏え い液受皿 () ～不溶解残渣廃液貯槽第1セル漏 えい液受皿スチームジェットポン プ () *22						変更なし				
	不溶解残渣廃液貯槽 第1セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () *15				入口		変更なし				
					出口						
	不溶解残渣廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () ～不溶解残渣廃液貯槽セル漏えい 液受皿1シールポット () *22						変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ～不溶解残渣廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () *22						変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ～不溶解残渣廃液貯槽第1セル 漏えい液受皿 () *22						変更なし				
	不溶解残渣廃液貯槽第2セル漏え い液受皿 () ～不溶解残渣廃液貯槽第2セル漏 えい液受皿スチームジェットポン プ () *23						変更なし				
不溶解残渣廃液貯槽 第2セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () *15				入口	変更なし						
				出口							

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
不 溶 解 残 渣 廃 液 貯 蔵 系	不溶解残渣廃液貯槽第2セル漏えい液受皿スチームジェットポンプ () ～不溶解残渣廃液一時貯槽セル漏えい液受皿1シールポット () ^{*23}					不 溶 解 残 渣 廃 液 貯 蔵 系	変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ～不溶解残渣廃液貯槽第2セル漏えい液受皿スチームジェットポンプ () ^{*23}						変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ～不溶解残渣廃液貯槽第2セル漏えい液受皿 () ^{*23}						変更なし				
	不溶解残渣廃液一時貯槽セル漏えい液受け皿1シールポット () ～高レベル濃縮廃液貯槽第1セル漏えい液受け皿第2シールポット () ^{*24}						変更なし				
	予備配管まわり						—*17				

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：単位は(MPa)。
 - *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()～高レベル廃液混合槽A ()」と記載。
 - *4： ()相当。
 - *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()～高レベル廃液混合槽A ()」と記載。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()～高レベル廃液混合槽B ()」と記載。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()～高レベル廃液混合槽B ()」と記載。
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()～高レベル廃液混合槽A ()」と記載。
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()～高レベル廃液混合槽A ()」と記載。
 - *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()～高レベル廃液混合槽B ()」と記載。
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()～高レベル廃液混合槽B ()」と記載。
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()まわり」と記載。
 - *13：不溶解残渣廃液一時貯槽セル漏えい液受皿2漏えい検知ポット ()を示す。
 - *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には配管番号のみ記載。
 - *15：本設備は既存の設備である。
 - *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()まわり」と記載。
 - *17：本設備は設計基準対象施設及び重大事故等対処設備として使用しないため本申請より手続き対象外とする。
 - *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ()まわり」と記載。
 - *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1不溶解残渣廃液貯槽 ()まわり」と記載。
 - *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2不溶解残渣廃液貯槽 ()まわり」と記載。
 - *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()まわり」と記載。
 - *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()まわり」と記載。
 - *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 ()まわり」と記載。

*24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「 まわり」と記載。

*25：不溶解残渣廃液一時貯槽セル漏えい液受皿1シーラポット()を示す。

1.2.1.2.3 アルカリ濃縮廃液貯蔵系

- ・常設
- (1) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
アルカリ濃縮廃液貯蔵系	アルカリ濃縮廃液貯槽 () ～アルカリ濃縮廃液中和槽 ()	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	アルカリ濃縮廃液貯蔵系	変更なし				
	アルカリ濃縮廃液貯槽 () ～ ()						変更なし				
	() ～アルカリ濃縮廃液貯槽 ()						変更なし				

注記 *1：公称値を示す。
*2：単位は(MPa)。

1.2.1.2.4 共用貯蔵系

- ・常設
- (1) 容器

			変更前	変更後
名称			高レベル 廃液共用貯槽 (██████)	高レベル 廃液共用貯槽 (██████)*1
種類		—	たて置円筒形	
容量		m ³ /個	変更なし ██████*23	
最高使用圧力	本体	kPa	変更なし ██████*23	
	上部鏡板	kPa	変更なし ██████*23	
	冷却コイル部	MPa	変更なし	
	冷却ジャケット部	MPa	変更なし	
最高使用温度	本体	℃	変更なし ██████*22	
	冷却コイル部	℃		
	冷却ジャケット部	℃		
伝熱面積	冷却コイル部 (高レベル濃縮廃液貯蔵時)	m ² /個		
	冷却ジャケット部 (高レベル濃縮廃液貯蔵時)	m ² /個		
	冷却ジャケット部 (不溶解残渣廃液貯蔵時)	m ² /個		
主要寸法	胴内径	mm	変更なし	
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板中央部内半径	mm		
	下部鏡板隅の丸み半径	mm		
	冷却コイル外径	mm		
	冷却コイル厚さ	mm		
	冷却ジャケット厚さ	mm		
	マンホール管台外径	mm		
	マンホール管台厚さ	mm		
	マンホール鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径*6			
	入口管台厚さ*6			
	入口管台外径*7			
	入口管台厚さ*7			
	入口管台外径*8	mm		
	入口管台厚さ*8	mm		
入口管台外径*9				
入口管台厚さ*9				
入口管台外径*10				
入口管台厚さ*10				
入口管台外径*11				
入口管台厚さ*11				

(つづき)

			変更前	変更後
主要 寸法	入口管台外径 ^{*12}			変更なし
	入口管台厚さ ^{*12}			
	入口管台外径 ^{*13}			
	入口管台厚さ ^{*13}			
	出口管台外径 ^{*14}	mm		
	出口管台厚さ ^{*14}	mm		
	出口管台外径 ^{*15}	mm		
	出口管台厚さ ^{*15}	mm		
	出口管台外径 ^{*16}			
	出口管台厚さ ^{*16}			
	出口管台外径 ^{*17}			
	出口管台厚さ ^{*17}			
	高さ ^{*18}	mm		
主要 材料	胴板	—		
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
	冷却コイル	—		
	冷却ジャケット	—		
個数		—	1	
取付 箇所	系統名 (ライン名)	—	共用貯蔵系	
	設置床	—	T. M. S. L. ■■■■■ m ^{*19}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*20}	—
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—	— ^{*20}	—
	化学薬品防護上の区画 番号	—	— ^{*21}	—
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	—	— ^{*21}	—

注記 *1：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 10 年 6 月 9 日付け 9 安（核規）第 596 号にて認可された設工認の「VI 設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-8 崩壊熱除去に関する説明書」による。

- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P1, P2」を示す。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P21, P22, P33, P36, P38, P40, P42, P44, P46, P48, P50, P52, P54, P56」を示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P23, P24, P34, P35」を示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P27」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P83, P84, P26, P28, P29」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P25, P37」を示す。
- *12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P31, P32」を示す。
- *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P58, P60, P62, P64」を示す。
- *14：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P3, P5, P9, P11, P13, P15, P39, P41, P43, P45, P47, P49, P51, P53, P55, P57」を示す。
- *15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P7, P17, P19, P20, P67, P69」を示す。
- *16：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P30」を示す。
- *17：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成10年6月9日付け9安（核規）第596号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.1.2.4-2 図 高レベル廃液共用貯槽()の構造図管台一覧表 P59, P61, P63, P65」を示す。

- *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *19：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *20：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *21：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *22：重大事故等時における使用時の値を示す。
- *23：水素による爆発発生時の瞬間圧力を示す。

		変更前	変更後	
名称		高レベル廃液共用貯槽 セル漏えい液受皿 ()	変更なし	
種類		—		金属ライニング形*2
主要寸法	高さ*3			
	厚さ*4			
主要材料		—		
個数		—		1
取付箇所	系統名(ライン名)	—		共用貯蔵系
	設置床	—	T. M. S. L. m*5	
	溢水防護上の区画番号	—	—*6	—
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—	—*6	—
	化学薬品防護上の区画 番号	—	—*7	—
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	—	—*7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) ポンプ
a. 特殊ポンプ

		変更前	変更後	
名称		高レベル廃液共用貯槽セル 漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () ^{*2}	変更なし	
種類	—	流体噴射駆動式		
容量(流量)	m ³ /h/個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	蒸気供給管台外径			mm
	蒸気供給管台厚さ			mm
	入口管台外径			mm
	入口管台厚さ			mm
	出口管台外径			mm
	出口管台厚さ			mm
主要材料	—			
個数	—	2 ^{*2}		
取付箇所	系統名(ライン名)	—		共用貯蔵系
	設置床	—	T. M. S. L. m ^{*2}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*3}	—
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	— ^{*3}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*4}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*4}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
共用貯蔵系	第1高レベル濃縮廃液分配器 () ～高レベル廃液共用貯槽 ()					共用貯蔵系	変更なし				
	第2高レベル濃縮廃液分配器 () ～高レベル廃液共用貯槽 ()						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～高レベル廃液共用貯槽 ()						変更なし				
	第1不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～ ()						変更なし				
	[]						変更なし				
	[]						変更なし				
	[]						変更なし				
	[]						変更なし				
	[]						変更なし				
	[]						変更なし				
	[]						変更なし				
	[]						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
共用貯蔵系	第2不溶解残渣廃液貯槽 () ~高レベル廃液共用貯槽 ()					共用貯蔵系	変更なし				
	アルカリ濃縮廃液貯槽 () ~高レベル廃液共用貯槽 ()						変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽 () ~第1高レベル濃縮廃液分配器 ()						変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽 () ~第2高レベル濃縮廃液分配器 ()						変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽 () ~ ()						変更なし				
	() ~第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()						変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽 () ~ ()						変更なし				
	()		入口				変更なし				
	()		出口				変更なし				
	() ~ ()						変更なし				
() ~第1不溶解残渣廃液一時貯槽 ()					変更なし						
高レベル廃液共用貯槽 () ~ ()					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
共用貯蔵系	[Redacted] ~ 第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ([Redacted])					変更なし					
	高レベル廃液共用貯槽 ([Redacted]) ~ [Redacted]					変更なし					
	[Redacted]					入口	変更なし				
	[Redacted]					出口	変更なし				
	[Redacted] ~ [Redacted]					変更なし					
	[Redacted] ~ 第2不溶解残渣廃液一時貯槽 ([Redacted])					変更なし					
	高レベル廃液共用貯槽 ([Redacted]) ~ アルカリ濃縮廃液貯槽 ([Redacted])					変更なし					
	高レベル廃液共用貯槽 ([Redacted]) ~ アルカリ濃縮廃液中和槽 ([Redacted])					変更なし					
	高レベル廃液共用貯槽 ([Redacted]) ~ [Redacted]*4					変更なし					
	弁 ([Redacted]) ~ 高レベル廃液共用貯槽 ([Redacted])*4					弁 ([Redacted]) ~ 高レベル廃液共用貯槽 ([Redacted])*5*6 変更なし					
高レベル廃液共用貯槽セル 漏えい液受皿 ([Redacted]) [Redacted]槽セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ ([Redacted])*8					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
共用貯蔵系	高レベル廃液共用貯槽セル 漏えい液受皿スチーム ジェットポンプ ()	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	共用貯蔵系	変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ () ～高レベル廃液共用貯槽セル 漏えい液受皿シールポット ()*8						変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液共用貯槽セル 漏えい液受皿スチームジェット ポンプ ()*4						変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液共用貯槽セル 漏えい液受皿 ()*8						変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽セル 漏えい液受皿シールポット () ～第2高レベル濃縮廃液分配器 ()*9						変更なし				

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：単位は(MPa)。
 - *3：[Redacted]相当。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液共用貯槽 ()まわり」と記載。
 - *5：その他再処理設備の附属施設の安全冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。
 - *6：その他再処理設備の附属施設の安全圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系と兼用する。
 - *7：重大事故時における使用時の値を示す。
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認可申請書には「名称」に「[Redacted]まわり」と記載。
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認可申請書には「名称」に「高レベル廃液共用貯槽セル漏えい液受皿シールポット ()まわり」と記載。
 - *10：高レベル廃液共用貯槽セル漏えい液受皿シールポット ()を示す。

1.2.2 低レベル廃液処理設備

1.2.2.7 海洋放出管理系

・常設

(1) 容器

		変更前	変更後	
名称		第1放出前貯槽*2 ■■■■ ■■■■	第1放出前貯槽 ■■■■ ■■■■ (再処理施設*6, MOX燃料加工施設 と共用)*7	
種類	—	ライニングプール式	変更なし	
容量	m ³ /個	■■■■		
主要寸法	たて			m
	横			m
	深さ			m
	ライニング板厚さ			mm
主要材料 (ライニング)	—			
個数	—	4		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		低レベル廃液処理設備 (海洋放出管理系)
	設置床	—		■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m*3
	溢水防護上の区画番号	—	—*4	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*5	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*5	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1放出前貯槽A, B, C, D」と記載。

*3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*6：第1放出前貯槽 [REDACTED] は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*7：第1放出前貯槽 [REDACTED] は、MOX燃料加工施設と共用する。

(2) ポンプ
a. ポンプ

		変更前	変更後		
ポンプ	名称	第1海洋放出ポンプ*2 [Redacted]	第1海洋放出ポンプ [Redacted] (再処理施設* 8, MOX燃料加工 施設と共用) *9		
	種類	—	うず巻形		
	容量*3	m ³ /h/ 個	[Redacted]	変更なし	
	揚程*4	m			
	最高使用圧力	MPa			
	最高使用温度	°C			
	主要寸法	吸込口径			—
		吐出口径			—
		たて			mm
		横			mm
	主要材料	高さ			mm
		ケーシング			—
	個数	—	2		
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	低レベル廃液処理設備 (海洋放出管理系)	
設置床		—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m *5		
溢水防護上の区画番号		—	— *6	—	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— *6	—	
化学薬品防護上の区画番号		—	— *7	—	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	— *7	—	

(つづき)

		変更前	変更後
原 動 機	種類	—	誘導電動機*5
	出力	kW/個	■*5
	個数	—	2
	取付箇所	—	■*5
			変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1海洋放出ポンプA, B」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：第1海洋放出ポンプ■は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*9：第1海洋放出ポンプ■は、MOX燃料加工施設と共用する。

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 *1 (mm)	厚さ *1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 *1 (mm)	厚さ *1 (mm)	主要材料
海洋放出管 理系	[Redacted]					第1放出前貯槽入口廃液収集ヘッダ～第1放出前貯槽 [Redacted] [Redacted]*2	変更なし				
						第1放出前貯槽 [Redacted] [Redacted]～第1海洋放出ポンプ [Redacted] [Redacted]* 3*4					

(つづき)

変更前						変更後										
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 *1 (mm)	厚さ *1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 *1 (mm)	厚さ *1 (mm)	主要材料					
海洋 放出 管理 系	第1 海洋放出 ポンプ■■■■ ■■■■～ ピット■■■■合 流部*8*9					海洋 放出 管理 系	第1 海洋放出ポン プ■■■■ ■■■■～ピット■■■■ ■■■■合流部（再処理 施設*14, MOX燃料 加工施設と共用） *15					変更なし				
	—						境界弁～第1 放出 前貯槽入口廃液収 集ヘッダ合流点 （再処理施設*16, MOX燃料加工施設 と共用）*17					■■■■				

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1 放出前貯槽A～D入口廃液収集ヘッダ～第1 放出前貯槽A～D■■■■」
と記載。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1放出前貯槽A～D」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「P3/」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「(内圧)/(外圧) kPa (kg/cm²)」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「MPa (kg/cm²)」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「MPa (kg/cm²)」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「～海洋放出管」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「低レベル廃液処理建屋～合流部」と記載。
- *10：第1放出前貯槽入口廃液収集ヘッダ～第1放出前貯槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。
- *11：第1放出前貯槽入口廃液収集ヘッダ～第1放出前貯槽は、MOX燃料加工施設と共用する。
- *12：第1放出前貯槽～第1海洋放出ポンプは、再処理施設にて設備登録を行っている。
- *13：第1放出前貯槽～第1海洋放出ポンプは、MOX燃料加工施設と共用する。
- *14：第1海洋放出ポンプ～ピット合流部は、再処理施設にて設備登録を行っている。
- *15：第1海洋放出ポンプ～ピット合流部は、MOX燃料加工施設と共用する。
- *16：境界弁～第1放出前貯槽入口廃液収集ヘッダ合流点は、再処理施設にて設備登録を行っている。
- *17：境界弁～第1放出前貯槽入口廃液収集ヘッダ合流点は、MOX燃料加工施設と共用する。

1.3 固体廃棄物の廃棄施設
 1.3.1 高レベル廃液ガラス固化設備

- ・常設
 (1) 容器

			変更前	変更後
名称			高レベル廃液混合槽 () *3	高レベル廃液混合槽 () *1
種類		—	たて置円筒形	変更なし
容量		m ³ /個		変更なし
最高使用圧力	本体	kPa		変更なし *22, *23
	冷却コイル部	MPa		変更なし
	ジャケット部	MPa		
最高使用温度	本体	℃		変更なし *24
	冷却コイル部	℃		
	ジャケット部	℃		
伝熱面積	冷却コイル部	m ² /個		変更なし
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板長径	mm		
	下部鏡板短径の2分の1	mm		
	冷却コイル外径	mm		
	冷却コイル厚さ	mm		
	ジャケット厚さ	mm		
	ジャケット中央部内半径	mm		
	ジャケット隅の丸み半径	mm		
	マンホール外径	mm		
	マンホール厚さ	mm		
	マンホール鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径*7	mm		
	入口管台厚さ*7	mm		
	入口管台外径*8	mm		
	入口管台厚さ*8	mm		
	入口管台外径*9	mm		
	入口管台厚さ*9	mm		
	入口管台外径*10	mm		
	入口管台厚さ*10	mm		
	入口管台外径*11	mm		
	入口管台厚さ*11	mm		
	入口管台外径*12	mm		
	入口管台厚さ*12	mm		
入口管台外径*13	mm			
入口管台厚さ*13	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要寸法	出口管台外径 ^{*14}	mm		変更なし
	出口管台厚さ ^{*14}	mm		
	出口管台外径 ^{*15}	mm		
	出口管台厚さ ^{*15}	mm		
	出口管台外径 ^{*16}	mm		
	出口管台厚さ ^{*16}	mm		
	出口管台外径 ^{*17}	mm		
	出口管台厚さ ^{*17}	mm		
高さ ^{*18}	mm			
主要材料	胴板	—		
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
	冷却コイル	—		
	ジャケット	—		
個数	—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		
	設置床	—		
		—	T. M. S. L. m ^{*19}	T. M. S. L. m ^{*19}
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*20}	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*20}	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*21}	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*21}		

注記 *1: 放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びに
その他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び
冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液混合槽 A, B()」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「」と記載。
記載内容は、SI 単位のみを示す。

- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の「VI 設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-11 崩壊熱除去に関する説明書」による。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 C5, C6」及び「第3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 C5, C6」を示す。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P29, P31」及び「第3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P28, P30」を示す。
- *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P19, P20」及び「第3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P17, P18」を示す。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P1~P4, P24, P30」及び「第3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P1~P4, P22, P29」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P5」及び「第3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P5」を示す。
- *12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P7, P8, P10, P11」及び「第3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P8, P9」を示す。
- *13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面

「第 3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P32, P34」及び「第 3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P31, P33」を示す。

*14：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P13～P16」及び「第 3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P11～P14」を示す。

*15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P12, P17」及び「第 3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P10, P15」を示す。

*16：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P33, P35」及び「第 3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P32, P34」を示す。

*17：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.3.1-1 図 高レベル廃液混合槽 A () の構造図 管台一覧表 P28」及び「第 3.2.3.1-2 図 高レベル廃液混合槽 B () の構造図 管台一覧表 P27」を示す。

*18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*19：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*20：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*21：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*22：水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。単位は(MPa)

*23：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。単位は(MPa)

*24：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			アルカリ濃縮廃液中和槽 ()	変更なし
種類	—		たて置円筒形	
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	本体	kPa		
	冷却コイル部	MPa		
	加熱コイル部	MPa		
最高使用温度	本体	°C		
	冷却コイル部	°C		
	加熱コイル部	°C		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板中央部内半径	mm		
	下部鏡板隅の丸み半径	mm		
	冷却コイル外径	mm		
	加熱コイル外径	mm		
	冷却コイル厚さ	mm		
	加熱コイル厚さ	mm		
	マンホール外径	mm		
	マンホール胴板厚さ	mm		
	マンホール鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径 ^{*4}	mm		
	入口管台厚さ ^{*4}	mm		
	入口管台外径 ^{*5}	mm		
	入口管台厚さ ^{*5}	mm		
	出口管台外径 ^{*6}	mm		
	出口管台厚さ ^{*6}	mm		
	出口管台外径 ^{*7}	mm		
	出口管台厚さ ^{*7}	mm		
出口管台外径 ^{*8}	mm			
出口管台厚さ ^{*8}	mm			
高さ ^{*9}	mm			

(つづき)

			変更前	変更後
主要材料	胴板	—	[Redacted]	変更なし
	上部鏡板	—		
	下部鏡板	—		
	冷却コイル	—		
	加熱コイル	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液 ガラス固化設備	
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*10	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*11	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*11	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*12	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*12	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-3図 アルカリ濃縮廃液中和槽([Redacted])の構造図 管台一覧表 P4, P5」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-3図 アルカリ濃縮廃液中和槽([Redacted])の構造図 管台一覧表 P6, P7」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-3図 アルカリ濃縮廃液中和槽([Redacted])の構造図 管台一覧表 P17」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面

「第 3.2.3.1-3 図 アルカリ濃縮廃液中和槽 () の構造図 管台一覧表 P8」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.3.1-3 図 アルカリ濃縮廃液中和槽 () の構造図 管台一覧表 P9～P12」を示す。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*11：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*12：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			供給液槽 () *3	供給液槽 () *1
種類		—	たて置円筒形	変更なし
容量		m ³ /個		変更なし
最高使用圧力	本体	kPa		変更なし *20, *21
	冷却コイル部	MPa		変更なし
	ジャケット部	MPa		
最高使用温度	本体	°C		変更なし *22
	冷却コイル部	°C		
	ジャケット部	°C		
伝熱面積	冷却コイル部	m ² /個		変更なし
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板中央部内半径	mm		
	下部鏡板隅の丸み半径	mm		
	冷却コイル外径	mm		
	冷却コイル厚さ	mm		
	ジャケット厚さ	mm		
	ジャケット中央部内半径	mm		
	ジャケット隅の丸み半径	mm		
	マンホール外径	mm		
	マンホール厚さ	mm		
	マンホール鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径*7	mm		
	入口管台厚さ*7	mm		
	入口管台外径*8	mm		
	入口管台厚さ*8	mm		
	入口管台外径*9	mm		
	入口管台厚さ*9	mm		
	入口管台外径*10	mm		
	入口管台厚さ*10	mm		
	入口管台外径*11	mm		
	入口管台厚さ*11	mm		
	出口管台外径*12	mm		
	出口管台厚さ*12	mm		
	出口管台外径*13	mm		
	出口管台厚さ*13	mm		
	出口管台外径*14	mm		
	出口管台厚さ*14	mm		
	出口管台外径*15	mm		
出口管台厚さ*15	mm			
高さ*16	mm			

(つづき)

			変更前		変更後
主要材料	胴板	—	[Redacted]		変更なし
	上部鏡板	—			
	下部鏡板	—			
	冷却コイル	—			
	ジャケット	—			
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備		
	設置床	—	[Redacted]	[Redacted]	
			T. M. S. L. [Redacted] m ^{*17}	T. M. S. L. [Redacted] m ^{*17}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *18		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *18		—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *19		—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *19		—

注記 *1: 放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びに
 その他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び
 冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「供給液槽 A, B ([Redacted])」
 と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」
 と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。
 記載内容は、SI 単位のみを示す。

*6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
 1 年 1 月 29 日付け 10 安 (核規) 第 538 号にて認可された設工認の「VI 設計
 及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-11 崩壊熱除去
 に関する説明書」による。

*7: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
 1 年 1 月 29 日付け 10 安 (核規) 第 538 号にて認可された設工認の添付図面

「第3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 C6, C7, P21」及び「第3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 C6, C7, P19」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 P20」及び「第3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 P18」を示す。

*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 P1～P3, P10, P19, P22」及び「第3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 P1～P3, P9, P17, P20」を示す。

*10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 P25, P27」及び「第3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 P22, P24」を示す。

*11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 P6」及び「第3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 P5」を示す。

*12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 P11」及び「第3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 P10」を示す。

*13：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 P12, P13」及び「第3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 P11, P12」を示す。

*14：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 P26, P28」

及び「第 3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 P23, P25」を示す。

- * 15 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安 (核規) 第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3.2.3.1-4 図 供給液槽 A () の構造図 管台一覧表 P18」及び「第 3.2.3.1-5 図 供給液槽 B () の構造図 管台一覧表 P16」を示す。
- * 16 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- * 17 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- * 18 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- * 19 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- * 20 : 水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。単位は (MPa)
- * 21 : 水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。単位は (MPa)
- * 22 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			供給槽 () *3	供給槽 () *1
種類	—		たて置円筒形	
容量	m ³ /個		変更なし	
最高使用圧力	本体	kPa	変更なし *20, *21	
	冷却コイル部	MPa	変更なし	
	ジャケット部	MPa		
最高使用温度	本体	℃	変更なし *22	
	冷却コイル部	℃	変更なし	
	ジャケット部	℃		
伝熱面積	冷却コイル部	m ² /個	変更なし	
主要寸法	胴内径	mm	変更なし	
	胴板厚さ	mm		
	上部鏡板厚さ	mm		
	上部鏡板中央部内半径	mm		
	上部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部鏡板厚さ	mm		
	下部鏡板長径	mm		
	下部鏡板短径の2分の1	mm		
	冷却コイル外径	mm		
	冷却コイル厚さ	mm		
	ジャケット厚さ	mm		
	ジャケット中央部内半径	mm		
	ジャケット隅の丸み半径	mm		
	マンホール外径	mm		
	マンホール厚さ	mm		
	マンホール鏡板厚さ	mm		
	入口管台外径 *7	mm		
	入口管台厚さ *7	mm		
	入口管台外径 *8	mm		
	入口管台厚さ *8	mm		
	入口管台外径 *9	mm		
	入口管台厚さ *9	mm		
	入口管台外径 *10	mm		
入口管台厚さ *10	mm			

(つづき)

			変更前		変更後
主要寸法	出口管台外径 ^{*11}	mm	[Redacted]		変更なし
	出口管台厚さ ^{*11}	mm			
	出口管台外径 ^{*12}	mm			
	出口管台厚さ ^{*12}	mm			
	出口管台外径 ^{*13}	mm			
	出口管台厚さ ^{*13}	mm			
	出口管台外径 ^{*14}	mm			
	出口管台厚さ ^{*14}	mm			
	出口管台外径 ^{*15}	mm			
	出口管台厚さ ^{*15}	mm			
	高さ ^{*16}	mm			
主要材料	胴板	—	[Redacted]		変更なし
	上部鏡板	—			
	下部鏡板	—			
	冷却コイル	—			
	ジャケット	—			
個数	—	2			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備		
	設置床	—	[Redacted]	[Redacted]	
			T. M. S. L. [Redacted] m ^{*17}	T. M. S. L. [Redacted] m ^{*17}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*18}		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*18}		—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*19}		—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*19}		—

注記 *1: 放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設の代替換気設備並びに
 その他再処理設備の附属施設のうち圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系及び
 冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「供給槽 A, B ([Redacted])」と
 記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]
 [Redacted]」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[Redacted]」と記載。
 記載内容は、SI 単位のみを示す。

*6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 1
 1 年 1 月 29 日付け 10 安 (核規) 第 538 号にて認可された設工認の「VI 設計

及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-11 崩壊熱除去に関する説明書」による。

- *7: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-6図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 C2, C3, P9~P11」を示す。
- *8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-6図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 P8」を示す。
- *9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-6図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 P12, P14」を示す。
- *10: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-6図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 P1, P2」を示す。
- *11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-6図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 P5, P6」を示す。
- *12: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-6図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 P4」を示す。
- *13: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-6図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 P13, P15」を示す。
- *14: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-6図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 P7」を示す。
- *15: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面

「第 3.2.3.1-6 図 供給槽 A, B () の構造図 管台一覧表 P3」
を示す。

- *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *17：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *18：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *19：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *20：水素による爆発発生時の液相部の瞬間圧力を示す。単位は(MPa)
- *21：水素による爆発発生時の気相部の瞬間圧力を示す。単位は(MPa)
- *22：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			ガラス溶融炉 () *2	変更なし
種類		—	液体供給式直接通電 セラミックメルタ	
容量	処理容量	L/h/個		
最高使用圧力		kPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	ガラス溶融炉	たて	mm	
		横	mm	
		入口管台外径 *8*19	mm	
		入口管台厚さ *8*19	mm	
		出口管台外径 *9*19	mm	
		出口管台厚さ *9*19	mm	
		出口管台外径 *10*19	mm	
		出口管台厚さ *10*19	mm	
		出口管台外径 *11*19	mm	
		出口管台厚さ *11*19	mm	
	高さ	mm		
	原料供給器 *4	入口管台外径 *12*19	mm	
		入口管台厚さ *12*19	mm	
		高さ *13*22	mm	
	保守治具入口 シャッタ *5	フランジ内径	mm	
		フランジ厚さ *13	mm	
	レンガ回収治具 *6*20	キーフランジ内径	mm	
下部ガイド管外径		mm		
高さ *13*22				
負圧維持治具 *7	上部シャッタ内径	mm		
	高さ *13*22			
主要材料	ガラス溶融炉	ケーシング	—	
		耐火物	—	
		電極	—	
		結合装置	—	
	原料供給器 *4	上部胴板	—	
		下部胴板	—	
	保守治具入口 シャッタ *5	フランジ	—	
	レンガ回収治具 *6*20	カバー	—	
負圧維持治具 *7	カバー	—		

(つづき)

個 数	ガラス溶融炉	—	2*14	変更なし
	原料供給器	—	2	
	保守治具入口シャッタ	—	2	
	レンガ回収治具	—	6	
	負圧維持治具	—	2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液 ガラス固化設備	—
	設置床	—	T. M. S. L. ■■■■■ m*15	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*16	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*16	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*17	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*17	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ガラス溶融炉 A, B (■■■■■)」と記載。

*3：当該設備は、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力を設定しないが、ここでは、接続配管の最高使用圧力を () 内に示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ガラス溶融炉 A, B 原料供給器 (■■■■■)」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「保守治具入口シャッタ 1, 2 (■■■■■)」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「レンガ回収治具 1~6 (■■■■■)」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「負圧維持治具 1, 2 (■■■■■)」と記載。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安 (核規) 第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 3. 1-7 図 ガラス溶融炉 A, B (■■■■■) の構造図 管台一覧表 P10」を示す。

*9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安 (核規) 第 538 号にて認可された設工認の添付図面「第 3. 2. 3. 1-7 図 ガラス溶融炉 A, B (■■■■■) の構造図 管台一覧表 P2」を示す。

- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-7図 ガラス溶融炉A,B () の構造図 管台一覧表 P3」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安（核規）第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.3.1-7図 ガラス溶融炉A,B () の構造図 管台一覧表 P9」を示す。
- *12：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P5～P8」を示す。
- *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
- *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(1個/系列×2系列)」と記載。
- *15：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *16：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *17：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *18：ケーシングの最高使用温度を示す。
- *19：本管台に接続される系統の機器・配管は、取り付け・取り外しが可能なフランジ接続のものがある。
- *20：レンガ回収治具は、レンガ回収作業の進捗により必要に応じて交換し、以降使用しない場合がある。
- *21：溶融ガラスに接する耐火物には、荷重軟化点 以上の耐火レンガを使用し、炉内気相部に接する耐火物には、耐火度 以上の JIS R 2305 2種4級の耐火レンガを使用する。なお、ケーシングと耐火レンガの間には断熱材を設ける。
- *22：上部フランジ上端から下部フランジ下端までの高さを示す。

			変更前	変更後		
名称			放射性配管分岐セル 漏えい液受皿 () *2			
種類		—	金属ライニング形 *3			
主要寸法	高さ *4	mm	[Redacted]			
	厚さ *5	mm				
主要材料		—			変更なし	
個数		—			2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備			
	設置床	—	[Redacted]	[Redacted]		
			T. M. S. L. [Redacted] m *6	T. M. S. L. [Redacted] m *6		
	溢水防護上の 区画番号	—	— *7			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *7			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *8			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8				

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「放射性配管分岐セル漏えい液受皿 3 ()」及び「放射性配管分岐セル漏えい液受皿 4 ()」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			固化セル漏えい液受皿 ()	固化セル 漏えい液受皿 () ^{*1}	
種類	—		金属ライニング形 ^{*3}	変更なし	
最高使用圧力	MPa		[Redacted]		
最高使用温度	℃				
主要寸法	高さ ^{*4}	mm			
	厚さ ^{*5}	mm			
主要材料	—				
個数	—	1			
取付箇所	系統名(ライン名)	—			高レベル廃液 ガラス固化設備
	設置床	—			T. M. S. L. [Redacted] m ^{*6}
	溢水防護上の 区画番号	—			— ^{*7}
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*8}	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*8}	—	

注記 *1： 気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2： 公称値を示す。

*3： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*4： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*5： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*6： 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7： 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8： 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			高レベル廃液混合槽 第1,第2セル漏えい液受皿 ()	
種類		—	金属ライニング形*2	
主要寸法	高さ*3	mm	[Redacted]	
	厚さ*4	mm		
主要材料		—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備	
	設置床	—	[Redacted]	[Redacted]
			T. M. S. L. [Redacted] m*5	T. M. S. L. [Redacted] m*5
	溢水防護上の 区画番号	—	—*6	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*6	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*7	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*7	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			供給槽第1セル 漏えい液受皿 ()	変更なし
種類		—	金属ライニング形*2	
主要寸法	高さ*3	mm		
	厚さ*4	mm		
主要材料		—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液 ガラス固化設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m*5	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*6	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*6	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			供給槽第2セル 漏えい液受皿 ()	供給槽第2セル 漏えい液受皿 () ^{*1}	
種類		—	金属ライニング形 ^{*3}	変更なし	
最高使用圧力		MPa			
最高使用温度		℃			
主要寸法	高さ ^{*4}	mm			
	厚さ ^{*5}	mm			
主要材料		—			
個数		—			1
取付箇所	系統名(ライン名)	—			高レベル廃液 ガラス固化設備
	設置床	—			T. M. S. L. m ^{*6}
	溢水防護上の 区画番号	—			— ^{*7}
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*8}	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*8}	—	

注記 *1： 気体廃棄物の廃棄施設のうち代替換気設備と兼用する。

*2： 公称値を示す。

*3： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ライニング型容器」と記載。

*4： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*5： 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*6： 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7： 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8： 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			流下ノズル冷却用空気槽 () ^{*2}	
種類	—		たて置円筒形	
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径 ^{*3}	mm		変更なし
	胴板厚さ ^{*4}	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	入口管台外径 ^{*6}	mm		
	入口管台厚さ ^{*6}	mm		
	出口管台外径 ^{*7}	mm		
	出口管台厚さ ^{*7}	mm		
高さ ^{*5}	mm			
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
個数	—		2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m ^{*8}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*9}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*9}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*10}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*10}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「流下ノズル冷却用空気槽 A, B ()」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図

書による。

*9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*11：上部の管台を含めた高さを示す。

(2) ポンプ
a. 特殊ポンプ

		変更前	変更後	
名称		固化セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () *5	変更なし	
種類	—	流体噴射駆動式		
容量(流量)	m ³ /h/個	[Redacted]		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	入口管台外径 *2			mm
	入口管台厚さ *2			mm
	入口管台外径 *3			mm
	入口管台厚さ *3			mm
	出口管台外径 *4			mm
	出口管台厚さ *4			mm
主要材料	—			
個数	—	2 *5		
取付箇所	系統名(ライン名)	—		高レベル廃液ガラス固化設備
	設置床	—	T. M. S. L. [Redacted] m *5	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *6	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *6	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *7	—

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。

*5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			高レベル廃液混合槽第1セル 漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () ^{*5}	変更なし
種類		—	流体噴射駆動式	
容量(流量)		m ³ /h/個	[Redacted]	
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	入口管台外径 ^{*2}	mm		
	入口管台厚さ ^{*2}	mm		
	入口管台外径 ^{*3}	mm		
	入口管台厚さ ^{*3}	mm		
	出口管台外径 ^{*4}	mm		
	出口管台厚さ ^{*4}	mm		
主要材料		—		
個数		—	2 ^{*5}	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備	
	設置床	—	T. M. S. L. () ^m ^{*5}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*6}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*6}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			高レベル廃液混合槽第2セル 漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () ^{*5}	変更なし
種類		—	流体噴射駆動式	
容量(流量)		m ³ /h/個	[Redacted]	
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	入口管台外径 ^{*2}	mm		
	入口管台厚さ ^{*2}	mm		
	入口管台外径 ^{*3}	mm		
	入口管台厚さ ^{*3}	mm		
	出口管台外径 ^{*4}	mm		
	出口管台厚さ ^{*4}	mm		
主要材料		—		
個数		—	2 ^{*5}	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液ガラス固化設備	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m ^{*5}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*6}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*6}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

(3) 主要弁

		変更前	変更後		
名称		主要弁*2 ()	変更なし		
種類	—	止め弁			
最高使用圧力	MPa	[Redacted]			
最高使用温度	℃				
主要寸法	呼び径			—	
	弁箱厚さ			mm	
	弁ふた厚さ			mm	
主要材料	弁箱			—	
	弁ふた			—	
	弁体			—	
駆動方法	—				
個数	—			4	
取付箇所	系統名(ライン名)			—	高レベル廃液 ガラス固化設備
	設置床			—	T. M. S. L. [Redacted] m*3
	溢水防護上の 区画番号		—	—	[Redacted]
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [Redacted] m 以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「流下ノズル A, B 空気供給弁 A, B」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(4) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備	高レベル廃液混合槽 () ~ 供給液槽 () *4	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	高レベル廃液ガラス固化設備	変更なし				
	高レベル廃液混合槽 () ~ 供給液槽 () *7						変更なし				
	高レベル廃液混合槽 () ~ 供給液槽 () *8						変更なし				
	高レベル廃液混合槽 () ~ 供給液槽 () *9						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備	供給液槽 () ~ 供給槽 () *10					変更なし					
	供給槽 () ~ 供給液槽 () *12					変更なし					
	供給槽 () ~ ガラス溶融炉 () *14 *15 *16					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備						供給液槽()～供給槽()*17	変更なし				
						供給槽()～供給液槽()*18	変更なし				
						供給槽()～ガラス溶融炉()*15*19*20	変更なし				
高レベル廃液ガラス固化設備						高レベル廃液ガラス固化設備					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備						高レベル廃液ガラス固化設備	変更なし				
							変更なし				
アルカリ濃縮廃液中和槽 ()～高レベル廃液 混合槽() *21						変更なし					
アルカリ濃縮廃液中和槽 ()～高レベル廃液 混合槽() *22						変更なし					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高レベル廃液ガラス固化設備						供給液槽 (■■■■■), 供給槽 (■■■■■) ~ 高レベル廃液混合槽 (■■■■■) *14*19*23*24*25	変更なし					
						安全冷却水系 ~ 高レベル廃液混合槽 (■■■■■) の冷却コイル*25	安全冷却水系 ~ 高レベル廃液混合槽 (■■■■■) の冷却コイル*2	変更なし				
						高レベル廃液混合槽 A (■■■■■) まわり	— *50					
						高レベル廃液混合槽 (■■■■■) ~ 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 (■■■■■) *25	変更なし					
						高レベル廃液混合槽 (■■■■■) ~ 高レベル廃液混合槽 (■■■■■) *25	変更なし					
高レベル廃液ガラス固化設備						変更なし						
						変更なし						
						— *50						
						変更なし						
						変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備	安全圧縮空気系～高レベル廃液混合槽 () * 25	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全圧縮空気系～高レベル廃液混合槽 () *2*3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
	安全冷却水系～高レベル廃液混合槽 () の冷却コイル*28					安全冷却水系～高レベル廃液混合槽 () の冷却コイル*2					変更なし
	高レベル廃液混合槽 B () まわり					— *50					
	高レベル廃液混合槽 () ～第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () *28					変更なし					
	高レベル廃液混合槽 () ～高レベル廃液混合槽 () *28					変更なし					
	安全圧縮空気系～高レベル廃液混合槽 () * 28					安全圧縮空気系～高レベル廃液混合槽 () *2*3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備						安全冷却水系～供給液槽 () の冷却コイル*23	変更なし				
						供給液槽A () まわり					
						供給液槽 () ～供給槽 () *23	変更なし				
高レベル廃液ガラス固化設備						安全冷却水系～供給液槽 () の冷却コイル*2					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高レベル廃液ガラス固化設備	安全圧縮空気系～供給液槽 () *23						安全圧縮空気系～供給液槽 A () *2*3			変更なし		
	安全冷却水系～供給槽 () の冷却コイル* 14						安全冷却水系～供給槽 () の冷却コイル *2					
	供給槽A () まわり											— *50

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高レベル廃液ガラス固化設備	安全圧縮空気系～供給槽 () *14	[Redacted]				高レベル廃液ガラス固化設備	安全圧縮空気系～供給槽 () *2*3	[Redacted]		変更なし		
	供給液槽B () まわり						— *50					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
高レベル廃液ガラス固化設備	安全冷却水系～供給液槽 () の冷却コイル* 24						安全冷却水系～供給液槽 () の冷却コイル*2	変更なし				
	供給液槽 () ～供給槽 () *24						変更なし					
	安全圧縮空気系～供給液槽 () *24								変更なし			
	安全冷却水系～供給槽 () の冷却コイル* 19						変更なし					
	供給槽B () まわり						— *50					
高レベル廃液ガラス固化設備												

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備	安全圧縮空気系～供給槽 () *19					安全圧縮空気系～供給槽 () *2*3					変更なし
	放射性配管分岐セル漏えい液受皿 () ～放射性配管分岐セル漏えい液受皿 () *29										変更なし
	放射性配管分岐セル漏えい液受皿 () ～高レベル廃液混合槽第2セル漏えい液受皿 () *30										変更なし
	迅速流体継手接続口 () ～固化セル漏えい液受皿スチームジェットポンプ () *31										変更なし
	迅速流体継手接続口 () ～固化セル漏えい液受皿 () *31										変更なし
	固化セル漏えい液受皿 () ～固化セル漏えい液受皿スチームジェットポンプ () *31										変更なし
	固化セル漏えい液受皿スチームジェットポンプ () ～高レベル廃液共用貯槽 () *31										変更なし
						高レベル廃液ガラス固化設備					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備	迅速流体継手接続口 () ~ 高レベル廃液混合槽第1セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () *32					高レベル廃液ガラス固化設備	変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ~ 高レベル廃液混合槽第1セル漏えい液受皿 () *32						変更なし				
	高レベル廃液混合槽第1セル漏えい液受皿 () ~ 高レベル廃液混合槽第1セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () *32						変更なし				
	高レベル廃液混合槽第1セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () ~ 高レベル廃液共用貯槽 () *32						変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ~ 高レベル廃液混合槽第2セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () *33						変更なし				
	迅速流体継手接続口 () ~ 高レベル廃液混合槽第2セル () *33						変更なし				
	高レベル廃液混合槽第2セル () ~ 高レベル廃液混合槽第2セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () *33						変更なし				
	高レベル廃液混合槽第2セル漏えい液受皿 スチームジェットポンプ () ~ 高レベル廃液共用貯槽 () *33						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備	供給槽第1セル漏えい液受皿 () ~ 供給槽第1セル漏えい液検知ポット () 入口配管*34					高レベル廃液ガラス固化設備	変更なし				
	供給槽第1セル漏えい液検知ポット () 入口配管 ~ 固化セル漏えい液受皿 () *48						変更なし				
	供給槽第2セル漏えい液受皿 () ~ 供給槽第2セル漏えい液検知ポット () 入口配管*35						変更なし				
	供給槽第2セル漏えい液検知ポット () 入口配管 ~ 固化セル漏えい液受皿 () *48						変更なし				
	固体廃棄物除染セル漏えい液受皿 () ~ 低レベル無塩廃液第2受槽 () *48						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備	安全圧縮空気系～流下ノズル空気槽 () *15					高レベル廃液ガラス固化設備	変更なし				
	流下ノズル空気槽 ()～主要弁 () *15										
	主要弁 ()～ガラス溶融炉 () *15										
	安全圧縮空気系～流下ノズル空気槽 () *15						変更なし				
	流下ノズル空気槽 ()～主要弁 () *15										
	主要弁 ()～ガラス溶融炉 () *15										
	ガラス溶融炉 ()まわり						— *50				
アルカリ濃縮廃液中和槽 ()～アルカリ濃縮廃液貯槽 () *48					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
高レベル廃液ガラス固化設備	模擬廃液受入槽 () ~ 模擬廃液供給槽 () *48					高レベル廃液ガラス固化設備	変更なし				
	模擬廃液供給槽 () ~ 供給槽気液分離器 () *48										

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：その他再処理設備の附属施設のうち安全冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。
 - *3：その他再処理設備の附属施設のうち安全圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系と兼用する。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽A () ~ ()」「 () ~ 供給液槽A ()」「高レベル廃液混合槽A () ~ ()」及び「 () ~ 供給液槽A ()」と記載。
 - *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 ()」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 ()」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽A () ~ ()」「 () ~ 供給液槽B ()」「高レベル廃液混合槽A () ~ ()」及び「 () ~ 供給液槽B ()」と記載。
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽B () ~ ()」「 () ~ 供給液槽A ()」「高レベル廃液混合槽B () ~ ()」及び「 () ~ 供給液槽A ()」と記載。
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽B () ~ ()」「 () ~ 供給液槽B ()」「高レベル廃液混合槽B () ~ ()」及び「 () ~ 供給液槽B ()」と記載。
 - *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給液槽A () ~ 供給槽A ()」と記載。
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 ()」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽A () ~ 供給液槽A ()」と記載。
 - *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 ()」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。
 - *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽A () まわり」と記載。
 - *15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「ガラス熔融炉A, B () まわり」と記載。
 - *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽A () ~ ()」と記載。
 - *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給液槽B () ~ 供給槽B ()」と記載。
 - *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽B () ~ 供給液槽B ()」と記載。
 - *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽B () まわり」と記載。

- *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽B()～()」と記載。
- *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「アルカリ濃縮廃液中和槽()～()」「()～高レベル廃液混合槽A()」「アルカリ濃縮廃液中和槽()～()」及び「()～高レベル廃液混合槽A()」と記載。
- *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「アルカリ濃縮廃液中和槽()～()1」「()～高レベル廃液混合槽B()」「アルカリ濃縮廃液中和槽()～()」及び「()～高レベル廃液混合槽B()」と記載。
- *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給液槽A()まわり」と記載。
- *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給液槽B()まわり」と記載。
- *25：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽A()まわり」と記載。
- *26：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「()」と記載。記載内容は, SI 単位のみを示す。
- *27：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「()」と記載。記載内容は, SI 単位のみを示す。
- *28：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽B()まわり」と記載。
- *29：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()まわり」と記載。
- *30：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()まわり」と記載。
- *31：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()まわり」と記載。
- *32：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()まわり」と記載。
- *33：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()まわり」と記載。
- *34：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()まわり」と記載。
- *35：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「()まわり」と記載。
- *36：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「()」と記載。記載内容は, SI 単位のみを示す。
- *37：単位は(MPa)
- *38：供給槽サンプリングポット()を示す。
- *39：供給槽気液分離器()を示す。
- *40：当該機器は, ガラス溶融炉の設計に合わせ, 機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため, 最高使用圧力を設定しないが, ここでは, 接続される配管の最高使用圧力を()内に示す。
- *41：ガラス溶融炉原料供給器()を示す。
- *42：供給槽サンプリングポット()を示す。
- *43：供給槽気液分離器()を示す。
- *44：ガラス溶融炉原料供給器()を示す。
- *45：放射性配管分岐セル漏えい液受皿漏えい液検知ポット()を示す。
- *46：供給槽第1セル漏えい液検知ポット()を示す。
- *47：供給槽第2セル漏えい液検知ポット()を示す。
- *48：本設備は既存の設備である。
- *49：洗浄廃液シールポット()を示す。
- *50：当該ラインについては, 主配管に該当しないため, 記載の適正化を行う。
- *51：重大事故等時における使用時の値を示す。

(5) 搬送設備

		変更前	変更後	
名称		固化セル移送台車 () *2	変更なし	
種類	—	床面レール走行形		
容量	N			
主要寸法	走行レール間距離	mm		
	高さ *4	mm		
主要材料		—		
個数		—		2 *5
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液 ガラス固化設備	
	設置床	—	T. M. S. L. m *6	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *7	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *7	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *8	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8	—

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「固化セル移送台車 A, B ()」と記載。

*3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。

*6 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9 : レールガード下面からの高さを示す。

			変更前	変更後
名称			ガラス固化体取扱 ジブクレーン ()	変更なし
種類	—	ジブクレーン*3		
容量	N/個			
主要寸法	クレーン長さ*2		mm	
	クレーン本体ジブ幅		mm	
	クレーン本体ジブ高さ		mm	
主要材料	ジブ	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	高レベル廃液 ガラス固化設備	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m*5	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*6	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*6	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*7	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「L」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「機械装置」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「()/個, ()/個」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

1.3.2 ガラス固化体貯蔵設備

・常設

(1) ラック/ピット/棚

a. ガラス固化体貯蔵ピット

			変更前	変更後	
名称			高レベル廃液ガラス固化建屋の貯蔵ピット 〔収納管()〕 〔通風管()〕	変更なし	
種類		—	間接自然空冷貯蔵方式		
容量		—			
		—			
主要寸法	貯蔵ピット				mm
	収納管	内径			mm
		厚さ			mm
		長さ			mm
	通風管	内径			mm
		長さ			mm
主要材料	収納管				—
	通風管				—
	支持架構				—
	プレナム形成板				—
個数*2		—		1	
取付箇所	系統名(ライン名)			—	ガラス固化体貯蔵設備
	設置床		—		
	溢水防護上の区画番号		—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	
	化学薬品防護上の区画番号		—	—*4	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—*4	

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基数」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			第1ガラス固化体貯蔵建屋東棟の 第1貯蔵ピット～第4貯蔵ピット [収納管  通風管 ]	変更なし
種類	—		間接自然空冷貯蔵方式	
容量		—		
		—		
主要寸法	貯蔵ピット		mm	
	収納管	内径	mm	
		厚さ	mm	
		長さ	mm	
	通風管	内径	mm	
		長さ	mm	
主要材料	収納管		—	
	通風管		—	
	支持架構		—	
	プレナム形成板		—	
個数*5		—	4	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	ガラス固化体貯蔵設備	変更なし
	設置床	—	■■■■■■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m ^{*6}	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	■■■■■■■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m 以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*7}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「収納管及び通風管 各 ■■■本/基」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「ガラス固化体 ■■■本/基」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「■■■■■」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基数」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) 搬送設備

				変更前	変更後		
名称				トレンチ移送台車(ガラス固化体の移送機構/遮蔽容器) () ^{*2}			
種類		—		しゃへい容器付き 床面レール走行形			
容量		N		変更なし			
主要寸法	ガラス固化体の移送機構	走行レール間 距離				mm	
		遮蔽容器 ^{*4}	内側厚さ			mm	
	中央部厚さ		mm				
	外側厚さ		mm				
		高さ ^{*5}				mm	
主要材料 ^{*6}	遮蔽容器 ^{*4}	内側				—	
		中央部				—	
		外側				—	
個数						—	
				1			
取付箇所	系統名(ライン名)		—		ガラス固化体貯蔵設備		
	設置床		—		T. M. S. L. () ^m ^{*7}		
	溢水防護上の区画番号		—		— ^{*8}		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—		— ^{*8}		
	化学薬品防護上の 区画番号		—		— ^{*9}		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—		— ^{*9}		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「トレンチ移送台車((ガラス固化体の移送機構)(), (しゃへい容器)())」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「()」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「しゃへい容器(しゃへい体)」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

				変更前	変更後
名称				第1 ガラス固化体貯蔵建屋 床面走行クレーン(ガラス固化 体の移送機構/遮蔽容器) () ^{*2}	変更なし
種類		—		しゃへい容器付き床面走行形	
容量		N			
主要寸法	ガラス固 化体の移 送機構	走行レール 間距離	mm		
	遮蔽容器 ^{*4}	内側厚さ	mm		
		中央部厚さ	mm		
		外側厚さ	mm		
高さ ^{*5}		mm			
主要材料 ^{*6}	遮蔽容器 ^{*4}	内側	—		
		中央部	—		
		外側	—		
個数		—		1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	ガラス固化体貯蔵設備	
	設置床		—	() T. M. S. L. () m ^{*7}	
	溢水防護上の 区画番号		—	— ^{*8}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	— ^{*8}	—
	化学薬品防護上の 区画番号		—	— ^{*9}	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	— ^{*9}	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1 ガラス固化体貯蔵建屋床面走行クレーン((ガラス固化体の移送機構) () , (しゃへい容器) ())」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 () 」と記載。記載内容は、SI 単位のみを示す。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「しゃへい容器 (しゃへい体)」と記載。

- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *9：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

1.3.2.1 第1 ガラス固化体貯蔵建屋東棟

(1) 建物・構築物

a. 建物・洞道

		変更前		変更後	
名称		-		第1 ガラス固化体貯蔵建屋東棟	
種類*2		-		鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造）	
主要寸法	たて×横*3	m	47.00*1×55.50*1		
	高さ	m	地上 13.90（冷却空気入口シャフトの 高さは、25.20m。冷却空気出口シャフトの 高さは、35.90m）*1 地下 19.80*1		
	壁 厚さ	東壁	m	0.5～1.3*1	
		西壁	m	1.3*1	
		南壁	m	0.4～1.3*1	
北壁		m	0.8～1.3*1		
主要材料		-		鉄筋コンクリート及び鋼材*5	
個数		-		1	
基礎	種類*2	-		直接基礎（鉄筋コンクリート造）*4	
	主要寸法	たて×横	m	47.00*1×55.50*1	
		高さ	m	3.0*1	
	主要材料		-		鉄筋コンクリート
	底面の標高		-		T. M. S. L. 35.2m*1

変更なし

- 注記 *1：公称値を示す。
 *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基礎及び構造の種類」と記載。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「南北方向，東西方向」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋コンクリート造（べた基礎）」と記載。
 *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 鋼材：JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材)に定めるSS400 及び JIS G 3106(溶接構造用圧延鋼材)に定めるSM490A コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度29.5N/mm²」と記載。

b. 遮蔽設備

名 称 種 類		変更前		変更後	
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	主要寸法 (mm)	材料
セル遮蔽 (第1ガラス 固化体貯蔵 建屋東棟)	第1ガラス固化体貯蔵 建屋東棟 地下2階 (T. M. S. L. ■■■■m)	■■■■	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし	
	第1ガラス固化体貯蔵 建屋東棟 地下1階 (T. M. S. L. ■■■■m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし	
	第1ガラス固化体貯蔵 建屋東棟 地上1階 (T. M. S. L. ■■■■m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし	

注記 *1：公称値を示す。

*2：遮蔽設計上考慮する厚さ(設計確認値)を示す。

*3：設計確認値は既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。

(つづき)

名 称 種 類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽扉 (第1ガラス 固化体貯蔵建 屋東棟)	第1ガラス固 化体貯蔵建 屋東棟 地下2階 (T. M. S. L. ■■■■m)	■■■■	鋼材*4	—	—	変更なし		—	—
			ポリエチレン *5	—	—			—	—
			鋼材*4	—	—			—	—
	第1ガラス固 化体貯蔵建 屋東棟 地下1階 (T. M. S. L. ■■■■m)		鋼材*4	—	—	変更なし		—	—
			ポリエチレン *5	—	—			—	—
			鋼材*4	—	—			—	—

(つづき)

名 称 種 類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽窓 (第1ガラス固化体 貯蔵建屋東棟)	第1ガラス固 化体貯蔵建 屋東棟 地下1階 (T. M. S. L. ■■■■m)		ほうけい酸ガ ラス (密度2.52×1 0 ³ kg/m ³ 以上)	—	—	変更なし		—	—
			鉛ガラス (密度3.22×1 0 ³ kg/m ³ 以上)	—	—			—	—
			鉛ガラス (密度3.22×1 0 ³ kg/m ³ 以上)	—	—			—	—
			ほうけい酸ガ ラス (密度2.50×1 0 ³ kg/m ³ 以上)	—	—			—	—
			鉛ガラス (密度5.18×1 0 ³ kg/m ³ 以上)	—	—			—	—

(つづき)

名 称 種 類		変更前				変更後			
		主要寸法*1 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽扉 (第1ガラ ス固化体 貯蔵建屋 東棟)	第1ガラス固 化体貯蔵建 屋東棟 地下1階 (T. M. S. L. ■■■■m)	■■■■	鋼材*4	—	—	変更なし	■■■■	—	—
			ポリエチレン *5	—	—			—	—
			鋼材*4	—	—			—	—
	第1ガラス固 化体貯蔵建 屋東棟 地上1階 (T. M. S. L. ■■■■m)		重量コンクリ ート (密度 3.3×10^3 kg/m ³ 以上)	—	—	変更なし	■■■■	—	—

- 注記 *1：公称値を示す。
 *2：遮蔽設計上考慮する厚さを示す。
 *3：設計確認値は既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。
 *4：JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材)に定めるSS400
 *5：JIS K 6922-1(プラスチック-ポリエチレン(PE)成形用及び押出用材料)の規定によるポリエチレン成形材料

c. 地下水排水設備

				変更前	変更後	
名称					地下水排水設備 (第1ガラス固化体貯蔵建屋周り)	
種類	シャフト部 ^{*1}		—		鋼製造	
	ピット部 ^{*1}		—		鉄筋コンクリート造	
	ポンプ		—		うず巻形	
	水位計		—		電極式	
ポンプ	容量		m ³ /h/個		30.4以上 (30.4 ^{*2})	
	揚程		m		30.2以上 (30.2 ^{*2})	
	最高使用圧力		MPa		0.5	
	最高使用温度		°C		40	
	主要寸法	吸込口径		mm		80 ^{*2}
		吐出口径		mm		100 ^{*2}
		外径		mm		350 ^{*2}
		高さ		mm		791 ^{*2}
	主要材料	ケーシング		—		FCD450
	個数		—			4(予備2)
原動機	種類				誘導電動機	
	出力		kW/個		5.5	
	個数		—			4(予備2)
水位計	計測範囲		—		+230~+1200 mm ^{*3}	
	警報動作範囲		—		—	
	個数		—			10
排水配管	最高使用圧力		MPa	—	0.98	
	最高使用温度		°C		40	
	主要寸法	外径		mm		100 ^{*1}
		厚さ		mm		6.0 ^{*1}
主要材料		—			SUS304	
取付箇所	系統名(ライン名)		—		—	
	設置床	ピット ^{*4}		—		KB No.2 ピット (北西側) KB No.3 ピット (北東側) KB No.5 ピット (南西側) KB No.8 ピット (北西側) T.M.S.L 34.700 m
		ポンプ		—		KB No.1 ピット内 (北側) ^{*5}
		水位計		—		KB No.6 ピット内 (南側) ^{*6} T.M.S.L 33.00 m
	溢水防護上の区画番号		—			— ^{*7}
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—			— ^{*8}
	化学薬品防護上の区画番号		—			
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—			

注記 *1: シャフト部及びピット部は、耐震性を有するポンプ、水位計を設置するピットと当該ピットに集水するための流路を形成するピット(流路確保ピット)を指す。

*2: 公称値を示す。

*3: 水位検出器の高さは、設置床からの高さを示す。

- *4：流路確ピットは，流路確保ピットを指す。
- *5：対象機器は，2900-P011，2900-P012。対象計器は，2900-LE-01-1，2900-LE-01-2，2900-LE-01-3，2900-LE-01-4，2900-LE-01-5。
- *6：対象機器は，2900-P061，2900-P062。対象計器は，2900-LE-06-1，2900-LE-06-2，2900-LE-06-3，2900-LE-06-4，2900-LE-06-5。
- *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

%''''
%''''''&

U

		変更前	変更後		
名称	—	チャンネル ボックス・バーナブル ポイズン処理建屋	変更なし		
種類*2		鉄筋コンクリート造			
主要寸法	たて×横*3	m		61.00*1×60.88*1	
	高さ	m		地上 25.30*1 地下 9.97*1	
		東壁		m	1.25～1.7*1
	壁厚さ	西壁		m	1.25*1
		南壁		m	1.25～1.7*1
		北壁		m	1.25*1
	主要材料	—		鉄筋コンクリート*5	
個数	—	1			
基礎	種類*2	—		直接基礎 (鉄筋コンクリート造) *4	
	主要寸法	たて×横		m	61.00*1×60.88*1
		高さ		m	2.5*1
	主要材料	—		鉄筋コンクリート	
	底面の標高	—	T. M. S. L. 45.03m*1		

- 注記 *1：公称値を示す。
 *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基礎及び構造の種類」と記載。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「南北方向，東西方向」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋コンクリート造 (べた基礎)」と記載。
 *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度 29.5N/mm²」と記載。

廃管 A

b. 遮蔽設備

名 称 種 類		変更前		変更後	
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	主要寸法 (mm)	材料
セル遮蔽 (チャンネル ボックス・ バーナブル ポイズン処 理建屋)	チャンネルボック ス・バーナブルポイ ズン処理建屋 地下1階 (T.M.S.L. 48.30m)	1590(1600*1) 1690(1700*1) 1790(1800*1)	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{ kg/m}^3$ 以上)	変更なし	
	チャンネルボック ス・バーナブルポイ ズン処理建屋 地上1階 (T.M.S.L. 55.30m)	1590(1600*1) 1690(1700*1) 1790(1800*1)	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{ kg/m}^3$ 以上)	変更なし	

注記 *1：公称値を示す。
 *2：遮蔽設計上考慮する厚さ(設計確認値)を示す。
 *3：設計確認値は既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。

名称 種類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽扉 (チャンネルボックス・バーナブル ポイズン処理建屋)	チャンネル ボックス・ バーナブル ポイズン処 理建屋 地下1階 (T. M. S. L. 48.30m)	450(450*1)	鋼材*4	—	—			変更なし	
遮蔽 ハッチ (チャンネルボックス・バーナブル ポイズン処理建屋)	チャンネル ボックス・ バーナブル ポイズン処 理建屋 地上1階 (T. M. S. L. 55.30m)	1590(1600*1)	普通コンクリート (密度 2.15×10 ³ kg/m ³ 以上)	—	—			変更なし	

- 注記 *1：公称値を示す。
*2：遮蔽設計上考慮する厚さ(設計確認値)を示す。
*3：設計確認値は既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。
*4：JIS G3101(一般構造用圧延鋼材)に定めるSS400

1.3.3.6 チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理系

(1) 機械装置

a. 廃棄処理機械装置

名称		変更前	変更後	
種類	—	第1チャンネルボックス切断装置 (7115A, C-M11) *2	変更なし	
容量	—	溶断式 チャンネルボックス 約 0.5 個 /h/個		
全高	mm	■ *1*5		
個数	—	2		
系統名(ライン名)	—	—		
取付箇所	設置床	—		FA-Y0403 T. M. S. L. 55300mm *5
	溢水防護上の区画番号	—		— *3
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		— *3
	化学薬品防護上の区画番号	—		— *4
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—		— *4

注記 *1: 公称値を示す。

*2 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1チャンネルボックス切断装置 A, B (7115A, C-M11)」と記載。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備のため「—」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備のため「—」とする。

*5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前	変更後	
名称		第1 バーナブル ポイズン切断装 置 (7115B, C- M12) *2	変更なし	
種類	—	機械式		
容量	—	バーナブルポイ ズン 約 0.5 個 /h/個		
全高	mm	12674.5 *1*5		
個数	—	2		
系統名(ライン名)		—		
取 付 箇 所	設置床	—		FA-Y0403 T. M. S. L. 55300mm *5
	溢水防護上の区画番号	—		— *3
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		— *3
	化学薬品防護上の区画番号	—		— *4
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *4	

注記 *1：公称値を示す。

*2 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1 バーナブルポイズン切断装置 A, B (7115B, C-M12)」と記載。

*3：溢水防護機能を要求されない設備のため「—」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備のため「—」とする。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

%"' "(
%"' ("%"

U

		変更前		変更後	
名称		-		ハル・エンドピース貯蔵建屋	
種類*2				鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造）	
主要寸法	たて×横*3	m	■*1×■*1	変更なし	
	高さ	m	地上 ■*1		
		m	地下 ■*1		
	壁厚さ	東壁	m		1.15～1.5*1
		西壁	m		1.15～1.5*1
		南壁	m		1.25～1.5*1
北壁		m	1.25～1.5*1		
主要材料		-			鉄筋コンクリート及び鋼材*5
個数		-			1
基礎	種類*2	-			直接基礎（鉄筋コンクリート造）*4
	主要寸法	たて×横	m	■*1×■*1	
		高さ	m	■*1	
	主要材料		-		鉄筋コンクリート
	底面の標高		-		T. M. S. L ■*1

- 注記 *1：公称値を示す。
 *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基礎及び構造の種類」と記載。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「南北方向，東西方向」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋コンクリート造（べた基礎）」と記載。
 *5：記載の適正化を行う。既設工認には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 鋼材：JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材)に定めるSS400, JIS G 3106(溶接構造用圧延鋼材)に定めるSM490A, JIS G 4304(熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)に定めるSUS304及びJIS G 3601(ステンレスクラッド鋼)に定めるSM490A+SUS304 コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度29.4N/mm²」と記載。

b. 遮蔽設備

名 称 種 類	変更前		変更後	
	主要寸法*2*3 (mm)	材料	主要寸法 (mm)	材料
セル遮蔽 (ハル・エンドピース貯蔵建屋)	ハル・エンドピース 貯蔵建屋 地下4階 (T.M.S.L. ■■■■m)	■■■■	普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし
	ハル・エンドピース 貯蔵建屋 地下3階 (T.M.S.L. ■■■■m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし
	ハル・エンドピース 貯蔵建屋 地下2階 (T.M.S.L. ■■■■m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし
	ハル・エンドピース 貯蔵建屋 地下1階 (T.M.S.L. ■■■■m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし
	ハル・エンドピース 貯蔵建屋 地上1階 (T.M.S.L. ■■■■m)		普通コンクリート (密度 $2.15 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ 以上)	変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：遮蔽設計上考慮する厚さ(設計確認値)を示す。

*3：設計確認値は既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。

名 称 類		変更前				変更後			
		主要寸法*2*3 (mm)	材料	取付箇所		主要寸法 (mm)	材料	取付箇所	
				化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ			化学薬品 防護上の 区画番号	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ
遮蔽 プラグ*4 (ハル・ エンドピ ース貯蔵 建屋)	ハル・エン ドピース貯 蔵建屋 地上1階 (T.M.S.L. ■ mm)	■	普通コンクリ ート (密度 2.15×10^3 kg/m^3 以上)		—	変更なし	—	—	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 遮蔽設計上考慮する厚さ(設計確認値)を示す。

*3: 設計確認値は既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。

*4: 既設工認申請書において、上記に加えて普通コンクリート(■mm)及び鋼材(■mm)を記載しているが、遮蔽計算で考慮しないため、記載しない。

W

				変更前	変更後	
名称					地下水排水設備 (ハル・エンドピース貯蔵建屋周り)	
種類	シャフト部*1		—		鋼製造	
	ピット部*1		—		鉄筋コンクリート造	
	ポンプ		—		うず巻形	
	水位計		—		電極式	
	発電機		—		三相同期発電機	
	内燃機関		—		立形直列水冷4サイクル ディーゼル機関	
	燃料油貯槽		—		たて置円筒形	
ポンプ	容量		m ³ /h/個		30.4以上 (30.4* ²)	
	揚程		m		30.2以上 (30.2* ²)	
	最高使用圧力		MPa		0.5	
	最高使用温度		℃		40	
	主要寸法	吸込口径		mm		80* ²
		吐出口径		mm		100* ²
		外径		mm		350* ²
		高さ		mm		791* ²
	主要材料	ケーシング		—		FCD450
		個数		—		4(予備2)
	原動機	種類		—		誘導電動機
出力		kW/個		5.5		
個数		—		4(予備2)		
水位計	計測範囲		—		+230~+1200 mm* ³	
	警報動作範囲		—		—	
	個数		—		10	
排水配管	最高使用圧力		MPa		0.98	
	最高使用温度		℃		40	
	主要寸法	外径		mm		100* ²
		厚さ		mm		6.0* ²
主要材料		—		SUS304		
発電機	容量		kVA/台		34.0	
	主要寸法	たて		mm		693* ²
		横		mm		1688* ²
		高さ		mm		1200* ²
	力率		—		0.8	
	電圧		V		200	
	相		—		3	
	周波数		Hz		50	
	回転速度		min ⁻¹		3000	
	結線法		—		スター結線	
	冷却法		—		空気冷却式	
個数		—		2		
内燃機関	出力		kW/個		40.8	
	回転速度		min ⁻¹		3000	
	燃料	種類		—		軽油
		使用量		L/h/個		9.3
個数		—		2		
燃料油貯槽	容量		m ³ /個		0.69以上(0.9* ²)	
	最高使用圧力		MPa		静水頭	
	最高使用温度		℃		40	

	主要寸法	胴内径	mm	960* ²
		高さ	mm	1498* ²
		厚さ	mm	4.8(6.0* ²)
	主要材料		—	SS400
	個数		—	2
燃料油配管	最高使用圧力		MPa	静水頭
	最高使用温度		°C	40
	主要寸法	外径	mm	21.7* ²
		厚さ	mm	3.7* ²
	主要材料		—	STPG370
個数		—		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—
	設置床	ピット* ⁴	—	AE No.1 ピット (北東側) AH No.3 ピット (南西側) T. M. S. L 30.250 m
		ポンプ	—	AE No.2 ピット内 (南東側)* ⁵
		水位計	—	AE No.4 ピット内 (北西側)* ⁶ T. M. S. L 28.950 m
		発電機 内燃機関	—	AE建屋 近傍 (東側)* ⁷ AE建屋 近傍 (西側)* ⁸ T. M. S. L. 約 55.000m
		燃料油貯槽	—	
	溢水防護上の区画番号		—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* ⁹
	化学薬品防護上の区画番号		—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—* ¹⁰

注記 *1: シャフト部及びピット部は、耐震性を有するポンプ、水位計を設置するピットと当該ピットに集水するための流路を形成するピット(流路確保ピット)を指す。

*2: 公称値を示す。

*3: 水位検出器の高さは、設置床からの高さを示す。

*4: ピットは、流路確保ピットを指す。

*5: 対象機器は、1600-P021, 1600-P022。対象計器は、1600-LE-02-1, 1600-LE-02-2, 1600-LE-02-3, 1600-LE-02-4, 1600-LE-02-5。

*6: 対象機器は、1600-P041, 1600-P042。対象計器は、1600-LE-04-1, 1600-LE-04-2, 1600-LE-04-3, 1600-LE-04-4, 1600-LE-04-5。

*7: 対象機器は、1600-X11, 1600-V11

*8: 対象機器は、1600-X12, 1600-V12

*9: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*10: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		貯蔵プール (██████████)*2	変更なし	
種類	—	水プール式		
最高使用圧力	MPa	██████████		
最高使用温度	℃			
容量	m			
主要寸法	たて			m
	横			m
	深さ			m
	ライニング板厚			mm
主要材料 (ライニング)		—		
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	ハル・エンドピース貯蔵系	
	設置床	—	██████████ T. M. S. L. ████████m*3	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*4	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*4	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*5	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*5	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「貯蔵プールA, B (██████████)」と記載。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*6：貯蔵プール通常水深

2. 準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号) ・消防法 (昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号) ・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号) ・クレーン等安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 34 号) ・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号) ・危険物の規制に関する政令 (昭和 34 年 9 月 26 日政令第 306 号) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

六-規-1

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・電気設備に関する技術基準を定める省令 (平成9年3月27日通商産業省令第52号)・核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示 (平成27年8月31日原子力規制委員会告示第8号)・平成12年建設省告示第1400号 (平成12年5月30日建設省告示第1400号)・日本産業規格(JIS)・日本建築学会各種構造設計及び計算規準等・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)・日本電機工業会規格(JEM)・日本電線工業会規格(JCS)・クレーン構造規格 (平成15年12月19日厚生労働省告示第399号)・圧力容器構造規格 (平成15年4月30日厚生労働省告示第196号)・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針 (昭和50年5月13日原子力委員会決定)・工場電気設備防爆指針 (ガス蒸気防爆2006)	変更なし

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・ 日本空気清浄協会「空気清浄装置用ろ材燃焼性試験方法指針」 (JACA No. 11A-2003)・ 日本電気協会電気技術規程・指針・ 原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-2007)・ 電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」 (SBA G 0603-2001)・ 日本道路協会による各種示方書等・ 実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)・ 発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)・ 再処理施設用ステンレス鋼規格・ 発電用原子力設備に関する構造等の技術基準 (昭和 55 年 10 月 30 日通商産業省告示第 501 号)・ 日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準－許容応力度設計法－・ 空気調和・衛生工学会規格 (SHASE)・ 核燃料施設における高性能エアフィルタの現場試験法に関する指針 (JACA No. 23(1990))・ 港湾法 (昭和 25 年 5 月 31 日法律第 218 号)・ 石油パイプライン事業法 (昭和 47 年 6 月 26 日法律第 105 号)・ 発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針 (昭和 53 年 9 月 29 日 原子力委員会決定)	変更なし

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">• 発電用軽水型原子炉施設における事故時の放射線計測に関する審査指針 (昭和 56 年 7 月 23 日原子力安全委員会決定)• 原子力発電所放射線モニタリング指針 (JEAG4606-2003)• NF 規格 (Normes Francaises)• 高放射性物質取扱施設 設計マニュアル (1985 年 11 月 日本原子力学会「遠隔操作技術」研究専門委員会)• ASME 規格 (American Society of Mechanical Engineers)• ASTM 規格 (American Society for Testing and Materials)• BS 規格 (British Standard)• DIN 規格 (Deutsches Institut fur Normung)• 煙突構造設計施工指針	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

ㄟ. 放射線管理施設

へ. 放射線管理施設

1. 設計条件及び仕様

1.1 放射線監視設備

1.1.1 主排気筒管理建屋

(1) 建物・構築物

a. 建屋・洞道

		変更前		変更後	
名称		—	主排気筒管理建屋	変更なし	
種類*2			鉄筋コンクリート造		
主要寸法	たて×横*3	m	12.5*1×25.5*1		
	高さ		地上 4.4*1		
			地下 2.0*1		
	壁厚さ	東壁	m		0.2～0.5*1
		西壁	m		0.2～0.5*1
南壁		m	0.2～0.4*1		
	北壁	m	0.2～0.4*1		
主要材料		—	鉄筋コンクリート*6		
個数		—	1		
基礎	種類*2	—	鉄筋コンクリート造*4	—	
	主要寸法	たて×横	m		—*5
		高さ	m	—*5	
	主要材料		—	鉄筋コンクリート	変更なし
	底面の標高		—	T. M. S. L. 53. 0m*1	

注記

*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基礎及び構造の種類」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「南北方向，東西方向」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「主排気筒管理建屋は主排気筒の基礎上部に設置する。」と記載。

*5：主排気筒基礎上部の設置であるため，「—」とする。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度 23. 6N/mm²」と記載。

1.1.3 屋外モニタリング設備

1.1.3.1 排気モニタリング設備

・常設

(1) 計装/放管設備

		変更前			変更後												
名称		主排気筒ガスモニタ			変更なし												
検出器の種類	—	プラスチックシンチレーション検出器		電離箱			変更なし										
		低レンジ	中レンジ	高レンジ													
計測範囲	min ⁻¹	10~10 ⁶	10~10 ⁶	—					変更なし								
	A	—	—	10 ⁻¹² ~10 ⁻⁷													
警報動作範囲	min ⁻¹	10~10 ⁶	10~10 ⁶	—							変更なし						
	A	—	—	10 ⁻¹² ~10 ⁻⁷													
個数*1		—	2	2									2	変更なし			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	主排気筒ガスモニタ										変更なし				
	設置床	—	AP-G0101 T. M. S. L. 55. 30m AP-G0102 T. M. S. L. 55. 30m (指示は中央制御室及び緊急時対策所) (記録は中央制御室)														
	溢水防護上の 区画番号	—	—			AP-1-01										AP-1-02	
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—			T. M. S. L. 55. 34m以上											

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	化学薬品防護上の区画番号	—	—*2	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—

注記 *1：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「設置建屋及び検出器個数」と記載。

*2：化学薬品防護機能を要求される設備であるが、化学薬品を保有していない建屋に設置しているため「—」とする。

1.2 代替モニタリング設備

1.2.1 代替排気モニタリング設備

・可搬

(1) 発電機

			変更前	変更後	
名称				可搬型排気モニタリング用発電機 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹	
発電機	種類	—		回転界磁形同期発電機	
	容量	kVA/個		3.1	
	主要寸法	幅	mm		870* ²
		奥行	mm		585* ²
		高さ	mm		857* ²
	力率	%		100	
	電圧	V		100	
	相	—		単相	
	周波数	Hz		50	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	結線法	—		星形	
	冷却方法	—		自由通風	
機関	種類	—		4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン	
	出力	kW/個		5.5	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	燃料	種類	—		軽油
		使用量	l/h/個		1.4
	個数	—		1	
燃料タンク	種類	—		鋼板溶接製箱形	
	容量	L/個		7.0以上(15* ²)	
	最高使用圧力	MPa		静水頭	
	最高使用温度	℃		40	
	主要材料	—		SECC	

(つづき)

		変更前	変更後
個数		—	1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) (取付箇所：—)

注記 *1：可搬型排気モニタリング用発電機は、再処理施設にて設備登録を行っている。
 *2：公称値を示す。

1.2.1.1 可搬型排気モニタリング設備

・可搬

(1) 計装/放管設備

		変更前	変更後
名称		—	可搬型ガスモニタ
検出器の種類	—	—	電離箱
計測範囲	A	—	$10^{-15} \sim 10^{-8}$
個数		—	2(予備として故障時のバックアップを2台)
取付箇所	設置床	—	<p>保管場所：</p> <p>可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m(1台)</p> <p>可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(2台)</p> <p>可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台)</p> <p>取付箇所：</p> <p>AP-G0101 T. M. S. L. 約55.30m(1台)</p> <p>FB-Y0114 T. M. S. L. 約40.50m(1台)</p> <p>(指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)</p>

1.2.2 代替環境モニタリング設備

・可搬

(1) 発電機

			変更前	変更後	
名称				可搬型環境モニタリング用発電機 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	
発電機	種類	—		回転界磁形同期発電機	
	容量	kVA/台		3.1	
	主要寸法	幅	mm		870*2
		奥行	mm		585*2
		高さ	mm		857*2
	力率	%		100	
	電圧	V		100	
	相	—		単相	
	周波数	Hz		50	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	結線法	—		星形	
	冷却方法	—		自由通風	
機関	種類	—		4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン	
	出力	kW/個		5.5	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	燃料	種類	—		軽油
		使用量	l/h/個		1.4
個数	—		1		
燃料タンク	種類	—		鋼板溶接製箱形	
	容量	L/個		9.4以上(15*2)	
	最高使用圧力	MPa		静水頭	
	最高使用温度	℃		40	
	主要材料	—		SECC	

(つづき)

			変更前	変更後
個数			—	9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)
取付箇所	設置床	—	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T. M. S. L. 約55. 15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T. M. S. L. 約48. 65m(10台) [取付箇所：—]

注記 *1：可搬型環境モニタリング用発電機は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

1.2.2.1 可搬型環境モニタリング設備

・可搬

(1) 計装/放管設備

		変更前	変更後	
名称		—	可搬型線量率計 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	
検出器の種類	—	—	NaI(Tl)シンチレーション式検出器	半導体式検出器
計測範囲	mGy/h	—	B. G. ~100	
個数	—	—	9(予備として故障時のバックアップを9台)	
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(9台) 〔 取付箇所：— (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所) 〕	

注記 *1：可搬型線量率計は、再処理施設にて設備登録を行っている。

		変更前	変更後
名称		—	可搬型ダストモニタ (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1
検出器の種類	—	—	ZnS(Ag)シンチレーション式検出器 プラスチックシンチレーション式検出器
計測範囲	min ⁻¹	—	B. G. ~99.9k
個数		—	9(予備として故障時のバックアップを9台)
取付箇所	設置床	—	<p>保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(9台)</p> <p>取付箇所：— (指示・記録は中央制御室及び緊急時対策所)</p>

注記 *1：可搬型ダストモニタは，再処理施設にて設備登録を行っている。

1.2.2.2 可搬型建屋周辺モニタリング設備

・可搬

(1) 計装/放管設備

		変更前	変更後
名称		—	ガンマ線用サーベイメータ (SA)
検出器の種類	—	—	半導体式検出器
計測範囲	mSv/h	—	0.0001~1000
個数	—	—	8(予備として故障時のバックアップを8台)
取付箇所	設置床	—	<p>保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55.30m(7台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (FA-W0525) T. M. S. L. 約63.80m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(8台)</p> <p>(取付箇所：—)</p>

		変更前	変更後
名称		—	中性子線用サーベイメータ (SA)
検出器の種類	—	—	³ He比例計数管
計測範囲	μ Sv/h	—	0.01~10000
個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを2台)
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55.30m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m (2台) (取付箇所：—)

		変更前	変更後	
名称		—	アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA)	
検出器の種類	—	—	ZnS (Ag) シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器
計測範囲	min ⁻¹	—	B. G. ～100k	B. G. ～300k
個数		—	3 (予備として故障時のバックアップを3台)	
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AG-W0308) T. M. S. L. 約55. 30m (2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (FA-W0525) T. M. S. L. 約63. 80m (1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m (3台) (取付箇所：—)	

1.3 試料分析関係設備

1.3.2 放出管理分析設備

・常設

(1) 計装/放管設備

		変更前*1	変更後
名称		核種分析装置(ガンマ線用)	
検出器の種類	—	Ge半導体検出器	変更なし
計測範囲	keV	10～2500	
個数	—	1台	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	
	設置床	— T. M. S. L. — m	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	— *2
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	— *2
	化学薬品防護上の区 画番号	—	— *3
	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ	—	— *3

注記 *1：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前*1	変更後
名称		放射能測定装置(低エネルギーベータ線用)	変更なし
検出器の種類	—	光電子増倍管	
計測範囲	keV	0~2000	
個数	—	1台	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—
	設置床	—	■ T. M. S. L. ■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—*2
	化学薬品防護上の区 画番号	—	—*3
	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ	—	—*3

注記 *1：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前*1	変更後
名称		放射能測定装置(アルファ・ベータ線用)	
検出器の種類	—	ガスフローカウンタ	変更なし
計測範囲	min ⁻¹	B. G. ～99. 9k	
個数	—	1台	
系統名 (ライン名)	—	—	
取付 箇所	設置床	■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	— *2	—
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	— *2	—
	化学薬品防護上の区 画番号	— *3	—
	化学薬品防護上の配 慮が必要な高さ	— *3	—

注記 *1：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

1.4 代替試料分析関係設備

1.4.1 可搬型試料分析設備

・可搬

(1) 計装/放管設備

		変更前	変更後	
名称		—	可搬型放射能測定装置 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	
検出器の種類	—	—	ZnS(Ag)シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器
計測範囲	min ⁻¹	—	B. G. ～99.9k	
個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)	
取付箇所	設置床	—	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 取付箇所：—

注記 *1：可搬型放射能測定装置は、再処理施設にて設備登録を行っている。

		変更前	変更後
名称		—	可搬型トリチウム測定装置
検出器の種類	—	—	光電子増倍管
計測範囲	keV	—	2～2000
個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)
取付箇所	設置床	—	<p>保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103)T.M.S.L.約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T.M.S.L.約55.15m(1台)</p> <p>〔 取付箇所：— 〕</p>

		変更前	変更後
名称		—	可搬型核種分析装置 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹
検出器の種類	—	—	Ge半導体式検出器
計測範囲	keV	—	27.5~11000
個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを2台)
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (AP-G0103) T. M. S. L. 約55.30m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(2台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) (取付箇所：—)

注記 *1：可搬型核種分析装置は，再処理施設にて設備登録を行っている。

1.6 代替放射能観測設備

1.6.1 可搬型放射能観測設備

・可搬

(1) 計装/放管設備

		変更前	変更後
名称		—	ガンマ線用サーベイメータ (NaI (Tl) シンチレーション) (SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹
検出器の種類	—	—	NaI (Tl) シンチレーション式検出器
計測範囲	—	—	B. G. ~30 μ Sv/h, 0~30ks ⁻¹
個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55. 15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48. 65m(1台) (取付箇所：—)

注記 *1: ガンマ線用サーベイメータ (NaI (Tl) シンチレーション) (SA) は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

		変更前	変更後
名称		—	ガンマ線用サーベイメータ(電離箱)(SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹
検出器の種類	—	—	電離箱式検出器
計測範囲	mSv/h	—	0.001~300
個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)
取付箇所	設置床	—	保管場所: 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T. M. S. L. 約48.65m(1台) 取付箇所: —

注記 *1: ガンマ線用サーベイメータ(電離箱)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

		変更前	変更後
名称		—	中性子線用サーベイメータ (SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹
検出器の種類	—	—	³ He比例計数管
計測範囲	μ Sv/h	—	0.01~10,000
個数	—	—	1(予備として故障時のバックアップを1台)
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) 〔 取付箇所：— 〕

注記 *1：中性子線用サーベイメータ(SA)は、再処理施設にて設備登録を行っている。

		変更前	変更後	
名称		—	アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹	
検出器の種類	—	—	ZnS (Ag) シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器
計測範囲	min ⁻¹	—	B. G. ~100k	B. G. ~300k
個数		—	1(予備として故障時のバックアップを1台)	
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(1台) 取付箇所：—	

注記 *1：アルファ・ベータ線用サーベイメータ (SA) は，再処理施設にて設備登録を行っている。

1.7 代替気象観測設備

・可搬

(1) 発電機

			変更前	変更後	
名称				可搬型気象観測用発電機 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹	
発電機	種類	—		回転界磁形同期発電機	
	容量	kVA/台		3.1	
	主要寸法	幅	mm		870* ²
		奥行	mm		585* ²
		高さ	mm		857* ²
	力率	%		100	
	電圧	V		100	
	相	—		単相	
	周波数	Hz		50	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	結線法	—		星形	
	冷却方法	—		自由通風	
機関	種類	—		4サイクル水冷直列立形過流室式ディーゼルエンジン	
	出力	kW/個		5.5	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	燃料	種類	—		軽油
		使用量	l/h/個		1.4
個数	—		1		
燃料タンク	種類	—		鋼板溶接製箱形	
	容量	L/個		9.4以上(15* ²)	
	最高使用圧力	MPa		静水頭	
	最高使用温度	℃		40	
	主要材料	—		SECC	

(つづき)

		変更前	変更後
個数		—	1(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを2台)
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118)T. M. S. L. 約55. 15m(1台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114)T. M. S. L. 約48. 65m(2台) [取付箇所：—]

注記 *1：可搬型気象観測用発電機は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

1.8 環境モニタリング用代替電源設備

・可搬

(1) 発電機

			変更前	変更後	
名称				環境モニタリング用可搬型発電機 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	
発電機	種類	—	—	回転界磁形同期発電機	
	容量	kVA/台		6.5	
	主要寸法	幅		mm	1220*2
		奥行		mm	610*2
		高さ		mm	720*2
	力率	%		80	
	電圧	V		200	
	相	—		三相	
	周波数	Hz		50	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	結線法	—		星形	
	冷却方法	—		自由通風	
機関	種類	—	4サイクル水冷立形ディーゼルエンジン		
	出力	kW/個	6.8		
	回転速度	min ⁻¹	3000		
	燃料	種類	—	軽油	
		使用量	l/h/個	2.1	
個数	—	1			
燃料タンク	種類	—	鋼板溶接製箱形		
	容量	L/個	14.1以上(26*2)		
	最高使用圧力	MPa	静水頭		
	最高使用温度	℃	40		
	主要材料	—	SECC		

(つづき)

		変更前	変更後
個数		—	9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを10台)
取付箇所	設置床	—	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G13-W0118) T. M. S. L. 約55.15m(9台) 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (G14-W0114) T. M. S. L. 約48.65m(10台) [取付箇所：—]

注記 *1：環境モニタリング用可搬型発電機は，再処理施設にて設備登録を行っている。
 *2：公称値を示す。

2. 準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号) ・核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示 (平成 27 年 8 月 31 日原子力規制委員会告示第 8 号) ・平成 12 年建設省告示第 1400 号 (平成 12 年 5 月 30 日建設省告示第 1400 号) ・日本産業規格(JIS) ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) ・日本電機工業会規格(JEM) ・日本電線工業会規格(JCS) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(つづき)

2
1
2

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・日本電気協会電気技術規程・指針・原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-2007)・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)・IEEE Std 383-1974 垂直トレイ燃焼試験・IEEE Std 1202-1991 垂直トレイ燃焼試験・UL1581 (Fourth Edition-2001) 1080. VW-1 垂直燃焼試験・IEEE 384-1992 ケーブルトレイ分離距離・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準—許容応力度設計法—・発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針 (昭和 53 年 9 月 29 日 原子力委員会決定)・発電用軽水型原子炉施設における事故時の放射線計測に関する審査指針 (昭和 56 年 7 月 23 日原子力安全委員会決定)・原子力発電所放射線モニタリング指針 (JEAG4606-2003)・気象業務法 (昭和 27 年 6 月 2 日 法律第 165 号)・発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針 (昭和 57 年 1 月 28 日 原子力委員会決定)	変更なし

(つづき)

変更前	変更後
・電離放射線障害防止規則 (昭和47年9月30日 労働省令第41号)	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

ト. その他再処理設備の付属施設

- ト. その他再処理設備の附属施設
1. 設計条件及び仕様
 - 1.1 動力装置及び非常用動力装置
 - 1.1.1 電気設備
 - 1.1.1.1 非常用電源建屋

- (1) 建物・構築物
- a. 建物・洞道

		変更前		変更後	
名称		-		非常用電源建屋	
種類*2		-		鉄筋コンクリート造	
主要寸法	たて×横*3	m	24.80*1×48.80*1	変更なし	
	高さ	m	地上 13.80*1 地下 7.50*1		
		壁厚さ	東壁		m
	西壁		m		0.3~1.35*1
	南壁		m		0.3~1.20*1
	北壁		m		0.3~1.20*1
主要材料		-			鉄筋コンクリート*5
個数		-			1
基礎	種類*2	-			直接基礎 (鉄筋コンクリート造) *4
	主要寸法	たて×横	m		24.80*1×48.80*1
		高さ	m	2.5*1	
	主要材料		-		鉄筋コンクリート
	底面の標高		-		T. M. S. L. 47.5m*1

- 注記 *1: 公称値を示す。
 *2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「基礎及び構造の種類」と記載。
 *3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「南北方向, 東西方向」と記載。
 *4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋コンクリート造 (べた基礎)」と記載。
 *5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鉄筋: JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定めるSD345 コンクリート: JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度 29.5N/mm²」と記載。

b. 地下水排水設備

			変更前	変更後	
名称				地下水排水設備 (非常用電源建屋周り)	
種類	シャフト部* ¹		—	鋼製造	
	ピット部* ¹		—	鉄筋コンクリート造	
	ポンプ		—	うず巻形	
	水位計		—	電極式	
ポンプ	容量		m ³ /h/個	30.4 以上 (30.4* ²)	
	揚程		m	30.2 以上 (30.2* ²)	
	最高使用圧力		MPa	0.5	
	最高使用温度		°C	40	
	主要寸法	吸込口径		mm	80* ²
		吐出口径		mm	100* ²
		外径		mm	350* ²
		高さ		mm	791* ²
	主要材料	ケーシング		—	FCD450
	個数		—	4(予備 2)	
	原動機	種類		—	誘導電動機
出力		kW/個	5.5		
個数		—	4(予備 2)		
水位計	計測範囲		—	+230~+1200 mm* ³	
	警報動作範囲		—	—	
	個数		—	10	
排水配管	最高使用圧力		MPa	0.98	
	最高使用温度		°C	40	
	主要寸法	外径		mm	100* ¹
		厚さ		mm	6.0* ¹
	主要材料		—	SUS304	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床	ピット* ⁴		—	GA No.1 ピット (北東側) GA No.3 ピット (南西側) T.M.S.L 42.500 m
		ポンプ		—	GA No.2 ピット内 (北東側)* ⁵
		水位計		—	GA No.4 ピット内 (南東側)* ⁶ T.M.S.L 41.20 m
	溢水防護上の区画番号		—	—* ⁷	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* ⁷	
	化学薬品防護上の区画番号		—	—* ⁸	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—* ⁸	

注記 *1: シャフト部及びピット部は、耐震性を有するポンプ、水位計を設置するピットと当該ピットに集水するための流路を形成するピット(流路確保ピット)を指す。

*2: 公称値を示す。

*3: 水位検出器の高さは、設置床からの高さを示す。

*4: ピットは、流路確保ピットを指す。

*5: 対象機器は、8111-P021, 8111-P022。対象計器は、8111-LE-02-1, 8111-LE-02-2, 8111-LE-02-3, 8111-LE-02-4, 8111-LE-02-5。

*6: 対象機器は、8111-P041, 8111-P042。対象計器は、8111-LE-04-1, 8111-LE-04-2, 8111-LE-04-3, 8111-LE-04-4, 8111-LE-04-5。

- *7：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *8：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

1.1.1.4 所内高圧系統

・常設

(1) 電源盤

		変更前		変更後		
名称		6.9kV非常用メタクラ (AA-M/C-A, B)		6.9kV非常用メタクラ (AA-M/C-A, B) *1		
電圧	V	6900		変更なし		
電流	A	1200*3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*4			
	奥行	mm	■■■■ *2*4			
	高さ	mm	■■■■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■■■■			■■■■
			T. M. S. L. ■■■■ m*5			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：所内高圧系統のうち重大事故等対処設備の所内高圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-1図 前処理建屋の電気盤(直立盤その1)の構造図」による。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.1-5図 前処理建屋の機器配置図(その5)」による。

		変更前		変更後		
名称		6.9kV非常用メタクラ (AG-M/C-A, B)		6.9kV非常用メタクラ (AG-M/C-A, B) ^{*1*2*3} (再処理施設, MOX燃料加工 施設と共用)		
電圧		V	6900		変更なし	
電流		A	1200 ^{*5}			
主要 寸法	幅	mm	■ ^{*4*6}			
	奥行	mm	■ ^{*4*6}			
	高さ	mm	■ ^{*4}			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			AG-W0113	AG-W0115		
			T. M. S. L. 40. 10m ^{*5}			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■	B系 ■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*7}		—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*7}		—		

注記 *1: AG-M/C-Bについては、MOX燃料加工施設と共用する。

*2: AG-M/C-Bについては、再処理施設にて設備登録を行っている。

*3: 所内高圧系統のうち重大事故等対処設備の所内高圧系統と兼用する。

*4: 公称値を示す。

*5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-1図 制御建屋の電気盤(直立盤その1)の構造図」による。

*7: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		6.9kV非常用メタクラ (CA-M/C-A, B)		6.9kV非常用メタクラ (CA-M/C-A, B) ^{*1}		
電圧	V	6900		変更なし		
電流	A	1200 ^{*3}				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ ^{*2*4}			
	奥行	mm	■■■■ ^{*2*4}			
	高さ	mm	■■■■ ^{*2}			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
	T. M. S. L. ■■■■ ^{m*3}					
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ ^m 以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ ^m 以上		

注記 *1：所内高圧系統のうち重大事故等対処設備の所内高圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-1図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(直立盤その1)の構造図」による。

		変更前		変更後				
名称		6.9kV非常用メタクラ (GA-M/C-A, B)		6.9kV非常用メタクラ (GA-M/C-A, B) ^{*1*2*3} (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)				
電圧	V	6900		変更なし				
電流	A	1200 ^{*5}						
主要 寸法	幅	mm	■ ^{*4*6}	■ ^{*4*9}				
	奥行	mm	■ ^{*4*6}	■ ^{*4*10}				
	高さ	mm	■ ^{*4}	変更なし				
個数	—	2						
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—		—				
	設置床	—	A系	B系	A系		B系	
			GA-W0203	GA-W0204	GA-W0203	GA-W0104	GA-W0204	GA-W0106
			T. M. S. L. 55.80m ^{*7}		T. M. S. L. 55.80m	T. M. S. L. 50.00m	T. M. S. L. 55.80m	T. M. S. L. 50.00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系		B系	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m 以上			
化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*8}		—				
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*8}		—				

注記 *1: GA-M/C-Bについては, MOX燃料加工施設と共用する。

*2: GA-M/C-Bについては, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*3: 所内高圧系統のうち重大事故等対処設備の所内高圧系統と兼用する。

*4: 公称値を示す。

*5: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*6: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.

1. 1. 12- 1 図 非常用電源建屋の電気盤(直立盤その1)の構造図」による。
- *7 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年11月15日付け六再事発第316号にて認可された設工認の添付図面「第2. 2. 19- 2 図 非常用電源建屋の機器配置図(その2)」による。
 - *8 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
 - *9 : 本設備はW0203, W0204に設置する。
 - *10 : 本設備はW0104, W0106に設置する。

1.1.1.5 所内低圧系統

・常設

(1) 変圧器

		変更前		変更後	
名称		非常用動力用変圧器 (GA-PTR-A, B)		非常用動力用変圧器 (GA-PTR-A, B) *1	
種類	—	乾式		変更なし	
容量	kVA	750 *3			
電圧	一次	V	6600 *3		
	二次	V	460 *3		
	三次	V	—		
周波数	Hz	50 *3			
結線法	一次	—	三角形 *3		
	二次	—	三角形 *3		
	三次	—	—		
冷却法	—	自冷 *3			
主要寸法	幅	mm	■ *2*4		
	奥行	mm	■ *2*4		
	高さ	mm	■ *2		
個数	—	2			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	A系	B系	
			GA-W0203	GA-W0204	
			T. M. S. L. 55.80m *5		
	溢水防護上の区画番号	—	—	A系	B系
				■	■
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■m以上	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *6	—	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *6	—		

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.12-2 図 非常用電源建屋の電気盤(直立盤その2)の構造図」による。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年11月15日付け六再事発第316号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.19-2 図 非常用電源建屋の機器配置図(その2)」による。
- *6：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(2) 電源盤

		変更前	変更後
名称		460V非常用パワーセンタ (AA-P/C-A, B)	460V非常用パワーセンタ (AA-P/C-A, B) *1
電圧	V	460	変更なし
電流	A	4000 *3*7	
		3000 *3*8	
主要 寸法	幅	■ *2*4*7 (非常用動力用変圧器)	
		■ *2*4*8 (非常用動力用変圧器)	
		■ *2*4*7 (460V非常用母線)	
		■ *2*4*8 (460V非常用母線)	
	奥行	■ *2*4*7 (非常用動力用変圧器)	
		■ *2*4*8 (非常用動力用変圧器)	
		■ *2*4 (460V非常用母線)	
	高さ	■ *2*7 (非常用動力用変圧器)	
■ *2*8 (非常用動力用変圧器)			
■ *2 (460V非常用母線)			
個数		—	2 *6
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	
	設置床	A系	B系
		■	■
		T. M. S. L. ■ n *5	

(つづき)

			変更前	変更後	
取 付 箇 所	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系	B系
				■■■■	■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上	
化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上	

- 注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-2図 前処理建屋の電気盤(直立盤その2)の構造図」及び「第3.2.1.1.1-3図 前処理建屋の電気盤(直立盤その3)の構造図」による。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.1-5図 前処理建屋の機器配置図(その5)」による。
- *6：460V非常用パワーセンタは、非常用動力用変圧器及び460V非常用母線の列盤構成とし、一連のキュービクルで構成する。
- *7：AA-P/C-Aを示す。
- *8：AA-P/C-Bを示す。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用パワーセンタ (AB-P/C-A, B)		460V非常用パワーセンタ (AB-P/C-A, B) * ¹		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	3000 * ³				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ * ² * ⁴ (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ * ² * ⁴ (460V非常用母線)			
	奥行	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	高さ	mm	■■■■ * ²			
個数	—	2 * ⁵				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■■■■			■■■■
			T. M. S. L. ■■■■ m * ³			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系	B系	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上			

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.2-1図 分離建屋の電気盤(直立盤その1)の構造図」による。

*5：460V非常用パワーセンタは、非常用動力用変圧器及び460V非常用母線の列盤構成とし、一連のキュービクルで構成する。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用パワーセンタ (AC-P/C-A, B)		460V非常用パワーセンタ (AC-P/C-A, B) * ¹		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	2000 * ³				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ * ² * ⁴ (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ * ² * ⁴ (460V非常用母線)			
	奥行	mm	■■■■ * ² * ⁴ (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ * ² * ⁴ (460V非常用母線)			
	高さ	mm	■■■■ * ² (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ * ² (460V非常用母線)			
個数	—	2 * ⁵				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
	T. M. S. L. ■■■■ m * ³					
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
					■■■■	■■■■
溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		
化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第

3.2.1.1.3-1 図 精製建屋の電気盤(直立盤その1)の構造図」及び「第3.
2.1.1.3-2 図 精製建屋の電気盤(直立盤その2)の構造図」による。

*5 : 460V非常用パワーセンタは、非常用動力用変圧器及び460V非常用母線の列盤構成とし、一連のキュービクルで構成する。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用パワーセンタ (AG-P/C-A, B)		460V非常用パワーセンタ (AG-P/C-A, B) *1*2*3 (再処理施設, MOX燃料加工 施設と共用)		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	2000 *5*9				
		3000 *5*10				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *4*6*9 (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ *4*6*10 (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ *4*6*9 (460V非常用母線)			
			■■■■ *4*6*10 (460V非常用母線)			
奥行	mm	■■■■ *4*6*9 (非常用動力用変圧器)				
		■■■■ *4*6*10 (非常用動力用変圧器)				
		■■■■ *4*6 (460V非常用母線)				
高さ	mm	■■■■ *4 (非常用動力用変圧器)				
		■■■■ *4 (460V非常用母線)				
個数	—	2 *8				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			AG-W0113	AG-W0115		
			T. M. S. L. 40. 10m *5			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
				■■■■	■■■■	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—		T. M. S. L. ■■■■m以上	

(つづき)

			変更前	変更後
取 付 箇 所	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*7	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*7	—

- 注記 *1：AG-P/C-Bは，MOX燃料加工施設と共用する。
- *2：AG-P/C-Bは，再処理施設にて設備登録を行っている。
- *3：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。
- *4：公称値を示す。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-2図 制御建屋の電気盤(直立盤その2)の構造図」及び「第3.2.1.1.11-3図 制御建屋の電気盤(直立盤その3)の構造図」による。
- *7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *8：460V非常用パワーセンタは，非常用動力用変圧器及び460V非常用母線の列盤構成とし，一連のキュービクルで構成する。
- *9：AG-P/C-Aを示す。
- *10：AG-P/C-Bを示す。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用パワーセンタ (CA-P/C-A, B)		460V非常用パワーセンタ (CA-P/C-A, B) * ¹		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	2400 * ³				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ * ² * ⁴ (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ * ² * ⁴ (460V非常用母線)			
	奥行	mm	■■■■ * ² * ⁴ (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ * ² * ⁴ (460V非常用母線)			
	高さ	mm	■■■■ * ² (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ * ² (460V非常用母線)			
個数	—	2 * ⁵				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. 55. 30m * ³			
	溢水防護上の 区画番号	—	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—				
				A系	B系	
				■■■■	■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■m以上		
				■■■■	■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■m以上		

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3. 2.

1.1.5-2 図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(直立盤その2)の構造図」による。

*5 : 460V非常用パワーセンタは、非常用動力用変圧器及び460V非常用母線の列盤構成とし、一連のキュービクルで構成する。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用パワーセンタ (CB-P/C-A, B)		変更なし		
電圧	V	460				
電流	A	1600*2				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*3 (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ *1*3 (460V非常用母線)			
	奥行	mm	■■■■ *1*3			
	高さ	mm	■■■■ *1 (非常用動力用変圧器)			
■■■■ *1 (460V非常用母線)						
個数		—	2*5			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. 55.30m*2			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■■■■	B系 ■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *4	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *4	—			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.6-1図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気盤(直立盤その1)の構造図」による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5：460V非常用パワーセンタは、非常用動力用変圧器及び460V非常用母線の列盤構

成とし，一連のキュービクルで構成する。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用パワーセンタ (KA-P/C-A, B)		460V非常用パワーセンタ (KA-P/C-A, B) *1		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	3000*3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*4 (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ *2*4 (460V非常用母線)			
	奥行	mm	■■■■ *2*4 (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ *2*4 (460V非常用母線)			
	高さ	mm	■■■■ *2 (非常用動力用変圧器)			
			■■■■ *2 (460V非常用母線)			
■■■■ *2 (460V非常用母線)						
個数	—	2*6				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*5			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

による。

- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-1図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その1)の構造図」による。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。
- *6：460V非常用パワーセンタは，非常用動力用変圧器及び460V非常用母線の列盤構成とし，一連のキュービクルで構成する。

		変更前	変更後			
名称		460V非常用 コントロールセンタ (AA-MCC-A1, A2, A3, B1, B2)	460V非常用 コントロールセンタ (AA-MCC-A1, A2, A3, B1, B2) *1			
電圧	V	460	変更なし			
電流	A	800 *3 *5				
		1000 *3 *6				
主要 寸法	幅	■ *2 *4 *7				
		■ *2 *4 *6				
		■ *2 *4 *8				
	奥行	mm			■ *2 *4	
高さ	mm	■ *2				
個数	—	5				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—				
	設置床	—	A系	B系		
			■	■		
			T. M. S. L. ■ m *9			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系	B系	
			■		■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■ m以上		
化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■	■		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■ m以上			

注記 *1: AA-MCC-A1, A2, B1及びB2については、所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-4図 前処理建屋の電気盤(直立盤その4)の構造図」による。

*5: AA-MCC-A1, A3, B1及びB2を示す。

*6: AA-MCC-A2を示す。

*7: AA-MCC-A1, A3及びB1を示す。

*8 : AA-MCC-B2を示す。

*9 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年10月24日付け12安(核規)第556号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.1-5図 前処理建屋の機器配置図(その5)」による。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用 コントロールセンタ (AB-MCC-A, B)		460V非常用 コントロールセンタ (AB-MCC-A, B) *1		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	800*3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*4			
	奥行	mm	■■■■ *2*4			
	高さ	mm	■■■■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.2-2図 分離建屋の電気盤(直立盤その2)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用 コントロールセンタ (AC-MCC-A1, A2, B1, B2)		460V非常用 コントロールセンタ (AC-MCC-A1, A2, B1, B2) *1		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	800*3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*4*5		■■■■ *5 変更なし	
		mm	■■■■ *2*4*6			
	奥行	mm	■■■■ *2*4			
	高さ	mm	■■■■ *2			
個数		—	4			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A1	B1		変更なし
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*3			
			A2	B2		
			■■■■	■■■■		
	T. M. S. L. ■■■■ m*3					
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A1	B1
			—		■■■■	■■■■
			—		A2	B2
			—		■■■■	■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		A1, B1	A2, B2
—			T. M. S. L. ■■■■ m以上	T. M. S. L. ■■■■ m以上		
化学薬品防護上の 区画番号	—	—		A1	B1	
		—		■■■■	■■■■	
		—		A2	B2	
		—		■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		A1, B1	A2, B2	
		—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	T. M. S. L. ■■■■ m以上	

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

- *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-3図 精製建屋の電気盤(直立盤その3)の構造図」による。
- *5：AC-MCC-A1, B1を示す。
- *6：AC-MCC-A2, B2を示す。

		変更前	変更後		
名称		460V非常用 コントロールセンタ (AG-MCC-A1, A2, B1, B2)	460V非常用 コントロールセンタ (AG-MCC-A1, A2, B1, B2) *1*2*3 (再処理施設, MOX燃料加工 施設と共用)		
電圧	V	460	変更なし		
電流	A	1200*5			
主要 寸法	幅	mm			■■■■ *4*6*8
		■■■■ *4*6*9			
		■■■■ *4*6*10			
		■■■■ *4*6*11			
奥行	mm	■■■■ *4*6			
高さ	mm	■■■■ *4			
個数	—	4			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—			—
	設置床	—	A系	B系	
			AG-W0113	AG-W0115	
		T. M. S. L. 40. 10m*5			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*7	—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*7	—		

注記 *1 : AG-MCC-A1, B1については所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2 : AG-MCC-B1は, MOX燃料加工施設と共用する。

*3 : AG-MCC-B1 は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*4 : 公称値を示す。

*5 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-4図 制御建屋の電気盤(直立盤その4)の構造図」による。
- *7：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *8：AG-MCC-A1を示す。
- *9：AG-MCC-A2を示す。
- *10：AG-MCC-B1を示す。
- *11：AG-MCC-B2を示す。

		変更前	変更後			
名称		460V非常用 コントロールセンタ (CA-MCC-A1, A2, B1, B2)	460V非常用 コントロールセンタ (CA-MCC-A1, A2, B1, B2) *1			
電圧	V	460	変更なし			
電流	A	800*3				
主要 寸法	幅	mm			■■■■ *2*4*5	
		mm			■■■■ *2*4*6	
	奥行	mm			■■■■ *2*4	
高さ	mm	■■■■ *2				
個数	—	4				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—			—	
	設置床	—			A系	B系
					■■■■	■■■■
			T. M. S. L. 55.30m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■■■■	B系 ■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上			

注記 *1 : CA-MCC-A1, B1については所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-3図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(直立盤その3)の構造図」による。

*5 : CA-MCC-A1, B1を示す。

*6 : CA-MCC-A2, B2を示す。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用 コントロールセンタ (CB-MCC-A, B)		変更なし		
電圧	V	460				
電流	A	800*2				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*3			
	奥行	mm	■■■■ *1*3			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■■■■			■■■■
			T. M. S. L. 55.30m*2			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系	B系	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4	—			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.6-2図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気盤(直立盤その2)の構造図」による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用 コントロールセンタ (GA-MCC-A, B)		460V非常用 コントロールセンタ (GA-MCC-A, B) *1		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	800*3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*4			
	奥行	mm	■■■■ *2*4			
	高さ	mm	■■■■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			GA-W0203			GA-W0204
			T. M. S. L. 55. 80m*5			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*6		—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*6		—		

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.12-3図 非常用電源建屋の電気盤(直立盤その3)の構造図」による。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成12年11月15日付け六再事発第316号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.19-2図 非常用電源建屋の機器配置図(その2)」による。

*6：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		460V非常用 コントロールセンタ (KA-MCC-A1, A2, B1, B2)		460V非常用 コントロールセンタ (KA-MCC-A1, A2, B1, B2) *1		
電圧	V	460		変更なし		
電流	A	600*3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■*2*4			
	奥行	mm	■■■■*2*4			
	高さ	mm	■■■■*2			
個数		—	4			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	■■■■		
			B系	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■m*5			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■m以上		

注記 *1：所内低圧系統のうち重大事故等対処設備の所内低圧系統と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-2図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その2)の構造図」による。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。

1.1.1.6 ディーゼル発電機

- ・常設
- (1) 容器

名称		変更前	変更後	
燃料油貯蔵タンク (8111A/B-V40, V41)				
種類	-	横置き円筒形		
容量	m ³ /個	165 以上(165 ^{*1})		
最高使用圧力	MPa	静水頭		
最高使用温度	°C	40		
主要寸法	胴内径 ^{*2}	mm	4600 ^{*1}	変更なし
	胴板厚さ ^{*3}	mm	10.7(12 ^{*1})	
	鏡板厚さ ^{*4}	mm	10.3(14 ^{*1})	
	平板厚さ ^{*4}	mm	-	
	入口管台外径 ^{*4}	mm	140 ^{*1}	
	入口管台厚さ ^{*4}	mm	3.7(3.7 ^{*1})	
	出口管台外径 ^{*4}	mm	185 ^{*1}	
	出口管台厚さ ^{*4}	mm	16(16 ^{*1})	
	マンホール管台外径 ^{*4}	mm	460 ^{*1}	
	マンホール管台厚さ ^{*4}	mm	18(18 ^{*1})	
	マンホール平板厚さ ^{*4}	mm	65(65 ^{*1})	
	高さ ^{*6}	mm	7538 ^{*1}	
主要材料	胴板	-	SS400	
	鏡板	-	SS400	
	マンホール平板 ^{*4}	-	SS400	
個数		-	4	
取付箇所	系統名(ライン名)	-	第2 非常用ディーゼル 発電機用燃料油貯蔵系	
	設置床	-	非常用電源建屋 T. S. M. L. 47. 68m	
	溢水防護上の区画番号	-	-	
	溢水防護上の配慮が必要な 高さ	-	-	
	化学薬品防護上の区画番号	-	-	
	化学薬品防護上の配慮が必要 な高さ	-	-	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認においては「D」と記載

*3: 記載の適正化を行う。既設工認においては「t」と記載

*4: 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認においては「L」と記載。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認においては「H」と記載。

		変更前	変更後
名称		燃料油サービスタンク (8111A, B-V42)	
種類	-	たて置円筒形	
容量	m ³ / 個	3 以上 (3*1)	
最高使用圧力	MPa	静水頭*1	
最高使用温度	°C	50*1	
主要寸法	胴内径*3	mm	1650*1
	胴板厚さ*4	mm	5.4 (6*1)
	平板厚さ*2	mm	15.25 (16*1)
	屋根厚さ*2		5.4 (6*1)
	入口管台外径*2	mm	140*1
	入口管台厚さ*2	mm	16 (16*1)
	出口管台外径*2	mm	155*1
	出口管台厚さ*2	mm	16 (16*1)
	全長*5	mm	1657*1
主要材料	胴板	-	SS400
	平板	-	SS400
	屋根	-	SS400
	マンホール平板*4	-	SS400
個数		-	2
取付箇所	設置床	-	非常用電源 建屋 サービス タンク A 室 T. M. S. L. 59.30m
	溢水防護上の区画番号	-	非常用電源 建屋 サービス タンク B 室 T. M. S. L. 59.30m
	溢水防護上の配慮が必要 な高さ	-	-
	化学薬品防護上の区画 番号	-	-
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	-	-

変更なし

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認においては「D」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認においては「t」と記載。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認においては「H」と記載。

		変更前	変更後	
名称		空気だめ (8111A/B-V501, 502)	変更なし	
種類	-	スカート支持 たて置き円筒形		
容量	m ³ / 個	2.5 以上 (2.5 ^{*1})		
最高使用圧力	MPa	3.24 ^{*1}		
最高使用温度	℃	90 ^{*1}		
主要寸法	胴内径 ^{*2}	mm		1300 ^{*1}
	胴板厚さ ^{*3}	mm		22 (22 ^{*1})
	鏡板厚さ ^{*4}	mm		19.85 (22 ^{*1})
	鏡板長径 ^{*4}	mm		1300 ^{*1}
	入口管台外径 ^{*4}	mm		130 ^{*1}
	入口管台厚さ ^{*4}	mm		20 (20 ^{*1})
	出口管台外径 ^{*4}	mm		200 ^{*1}
	出口管台厚さ ^{*4}	mm		26 (26 ^{*1})
	マンホール管台外径 ^{*4}	mm		1200 ^{*1}
	マンホール管台厚さ ^{*4}	mm		36 ^{*1}
	マンホール平板厚さ ^{*4}	mm		36 ^{*1}
高さ ^{*5}	mm	2656 ^{*1}		
主要材料	胴板	-	SB450	
	鏡板	-	SB450	
	マンホール平板	-	SB450 ^{*3}	
個数	-	4		

		変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	-	第2 非常用ディーゼル 発電機
	設置床	-	非常用電源建屋 T. S. M. L. 53. 30m
	溢水防護上の 区画番号	-	-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	-
	化学薬品防護上の 区画番号	-	-
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	-

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認においては、「D」と記載。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認においては、「t」と記載。

*4: 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認においては、「H」と記載。

(2) ポンプ
a. ポンプ

		変更前		変更後		
名称		燃料油移送ポンプ A, B (8111A/B-P4011)				
ポンプ	種類	-	ギヤ式			
	核的制限値	-	-			
	容量	m ³ /h/ 個	6 以上 (6* ¹)			
	吐出圧力* ²	MPa	0.35 以上 (0.35* ¹)			
	最高使用圧力* ²	MPa	0.54* ²			
	最高使用温度* ²	°C	50* ²			
	主要寸法	吸込口径* ²	mm	68* ¹		
		吐出口径* ²	mm	68* ¹		
		ケーシング厚さ* ²	mm	-		
		たて* ²	mm	237* ¹		
		横* ²	mm	240* ¹		
	主要材料	高さ* ³	mm	476* ¹		
		ケーシング	-	SC480		
		個数	-	2		
取付箇所	系統名(ライン名)	-	第2 非常用 ディーゼル 発電機 A 系	第2 非常用 ディーゼル 発電機 B 系		
	設置床	-	非常用電源建屋 T. S. M. L. 50.00m			
	溢水防護上の区画番号	-	-		GA-1-01 GA-1-08	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-		非常用電源建屋 T. S. M. L. 50.23m 以上	
	化学薬品防護上の区画番号	-	-			
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-			
原動機	種類	-	誘導電動機			
	出力	kW/ 個	3.7			
	個数	-	2			
	取付箇所	-	ポンプと同じ			

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認においては「H」と記載。

(3) 安全弁及び逃がし弁

			変更前	変更後
名称				空気だめ安全弁*2 (8111A/B- W8801, W8802)
種類		-		非平衡型
最高使用圧力		MPa		-
最高使用温度		℃		-
主要寸法	呼び径	-		20A
	弁箱厚さ	mm		-
	弁ふた厚さ	mm		-
主要材料	弁箱	-		SCPH2
	弁ふた	-		
	弁体	-		SUS304
駆動方法		-	-	-
停止時間		s		-
個数		-		4
取付箇所	系統名(ライン名)	-		第2 非常用 ディーゼル発電機
	設置床	-		非常用電源建屋 T. S. M. L 53. 30m
	溢水防護上の区画番号	-		-
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		-
	化学薬品防護上の区画番号	-		-
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-		-

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

(4) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
電気設備 ディーゼル発電機	ディーゼル機関(8111A-X10)*2 ～ 弁(8111A-W5570, W5571, W5573, W5577)	0.69	60	60.5	3.9	STPG370	変更なし				
				216.3	7.0						
				165.2	7.1						
				139.8	6.6						
	弁(8111A-W5568, W5572, W5574, W5576)*2 ～ ディーゼル機関(8111A-X10)	0.69	60	60.5	3.9	STPG370					
				216.3	7.0						
				165.2	7.1						
				139.8	6.6						
	燃料油貯蔵タンク(8111A-V40, V41)*3 ～ 燃料油移送ポンプ(8111A-P4011)	0.99	50	89.1	5.5	STPG370					
				60.5	3.9						
		大気圧		76.3	5.2						
				48.6	5.1						
	燃料油移送ポンプ(8111A-P4011)*4 ～ 燃料油サービスタンク(8111A-V42)	0.99	50	76.3	5.2	STPG370					
		0.54		48.6	5.1						
		大気圧		48.6	5.1						
	燃料油サービスタンク(8111A-V42)*5 ～ ディーゼル機関(8111A-X10)	静水頭	50	60.5	3.9	STPG370					
		0.59		42.7	4.9						
				27.2	3.9						
48.6				5.1							
空気圧縮機(8111A-K50)*6 ～ 空気だめ(自動用, 手動用) (8111A-V501, V502)	3.24	90	48.6	5.1	SUS304TP						
			34.0	4.5							

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	材料
電気設備 ディーゼル発電機	空気だめ(自動用, 手動用)* ⁷ (8111A-V501, V502) ～ ディーゼル機関(8111A-X10)	3.24	90	76.3	7.0	SUS304TP	変更なし				
				89.1	7.6						
				60.5	5.5						
			89.1	7.6	50						
			60.5	5.5							
			48.6	5.1							
			21.7	3.7							
	17.3	3.2									
	ディーゼル機関(8111B-X10)* ⁸ ～ 弁(8111B-W5570, W5571, W5573, W5577)	0.69	60	60.5	3.9	STPG370					
				216.3	7.0						
				165.2	7.1						
				139.8	6.6						
	弁(8111B-W5568, W5572, W5574, W5576)* ⁸ ～ ディーゼル機関(8111B-X10)	0.69	60	60.5	3.9	STPG370					
				216.3	7.0						
				165.2	7.1						
				139.8	6.6						
	燃料油貯蔵タンク(8111B-V40, V41)* ⁹ ～ 燃料油移送ポンプ(8111B-P4011)	0.99	50	89.1	5.5	STPG370					
				60.5	3.9						
76.3				5.2							
大気圧	48.6	5.1									
燃料油移送ポンプ(8111B-P4011)* ¹⁰ ～ 燃料油サービスタンク(8111B-V42)	0.99	50	76.3	5.2	STPG370						
	0.54		48.6	5.1							
	大気圧		48.6	5.1							
燃料油サービスタンク(8111A-V42)* ¹¹ ～ ディーゼル機関(8111A-X10)	静水頭	50	60.5	3.9	STPG370						
	0.59		42.7	4.9							
			27.2	3.9							
			48.6	5.1							

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	材料
電気設備 ディーゼル発電機	空気圧縮機(8111B-K50)* ¹² ～ 空気だめ(自動用, 手動用) (8111B-V501, V502)	3.24	90	48.6	5.1	SUS304TP	変更なし				
	34.0			4.5							
	空気だめ(自動用, 手動用)* ¹³ (8111B-V501, V502) ～ ディーゼル機関(8111B-X10)	3.24	90	76.3	7.0	SUS304TP					
	89.1			7.6							
	60.5			5.5							
	ディーゼル機関(8111A-X10)まわり	3.24	90	48.6	5.1	SUS304TP					
				21.7	3.7						
				17.3	3.2						
				27.2	3.9						
	燃料油貯蔵タンク1(8111A-V40)まわり	0.20	50	89.1	5.5	STPG370					
		大気圧		48.6	5.1						
	燃料油貯蔵タンク2(8111A-V41)まわり	0.20	50	89.1	5.5	STPG370					
	燃料油移送ポンプ(8111A-P4011)まわり	0.54	50	48.6	5.1	STPG370					
	燃料油サービスタンク(8111A-V42)まわり	0.99	50	60.5	3.9	STPG370					
		0.54		48.6	5.1						
		静水頭									
燃料油第1フィルタ(8111A-F4210)まわり	静水頭	50	27.2	3.9	STPG370						
燃料油第2フィルタ(8111A-F4230)まわり	0.59	50	27.2	3.9	STPG370						
空気だめ(8111A-V501)まわり	3.24	90	48.6	5.1	SUS304TP						
			34.0	4.5	SUS304TP						
空気だめ(8111A-V502)まわり	3.24	90	21.7	3.7	SUS304TP						
			34.0	4.5	SUS304TP						
			21.7	3.7	SUS304TP						

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	材料
電気設備 ディーゼル発電機	ディーゼル機関(8111B-X10)まわり	3.24	90	48.6	5.1	SUS304TP	—				
				21.7	3.7						
				17.3	3.2						
				27.2	3.9						
	0.59	50	27.2	3.9	STPG370						
	燃料油貯蔵タンク1(8111B-V40)まわり	0.20	50	89.1	5.5	STPG370					
		大気圧		48.6	5.1						
	燃料油貯蔵タンク2(8111B-V41)まわり	0.20	50	89.1	5.5	STPG370					
	燃料油移送ポンプ(8111B-P4011)まわり	0.54	50	48.6	5.1	STPG370					
	燃料油サービスタンク(8111B-V42)まわり	0.99	50	60.5	3.9	STPG370					
		0.54		48.6	5.1						
		静水頭									
	燃料油第1フィルタ(8111B-F4210)まわり	静水頭	50	27.2	3.9	STPG370					
	燃料油第2フィルタ(8111B-F4230)まわり	0.59	50	27.2	3.9	STPG370					
空気だめ(8111B-V501)まわり	3.24	90	48.6	5.1	SUS304TP						
			34.0	4.5	SUS304TP						
空気だめ(8111B-V502)まわり	3.24	90	21.7	3.7	SUS304TP						
			34.0	4.5	SUS304TP						
			21.7	3.7	SUS304TP						

- 注記 * 1 : 公称値を示す。
- * 2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「ディーゼル機関A(8111A-X10)まわり」と記載。
- * 3 : 記載の適正化を行う。既設工認には「燃料油貯蔵タンク1A(8111A-V40)まわり」, 「燃料油貯蔵タンク2A(8111A-V41)まわり」, 「燃料油移送ポンプA(8111A-P4011)まわり」と記載。
- * 4 : 記載の適正化を行う。既設工認には「燃料油移送ポンプA(8111A-P4011)まわり」, 「燃料油サービスタンクA(8111A-V42)まわり」と記載。
- * 5 : 記載の適正化を行う。既設工認には「燃料油サービスタンクA(8111A-V42)まわり」, 「燃料油第1フィルタA(8111A-P4210)まわり」, 「燃料油第2フィルタA(8111A-P4230)まわり」, 「ディーゼル機関A(8111A-X10)まわり」と記載。
- * 6 : 記載の適正化を行う。既設工認には「空気だめA(8111A-V501)まわり」, 「空気だめA(8111A-V502)まわり」と記載。
- * 7 : 記載の適正化を行う。既設工認には「空気だめA(8111A-V501)まわり」, 「空気だめA(8111A-V502)まわり」, 「ディーゼル機関A(8111A-X10)まわり」と記載。
- * 8 : 記載の適正化を行う。既設工認には「ディーゼル機関B(8111B-X10)まわり」と記載。
- * 9 : 記載の適正化を行う。既設工認には「燃料油貯蔵タンク1B(8111B-V40)まわり」, 「燃料油貯蔵タンク2B(8111B-V41)まわり」, 「燃料油移送ポンプB(8111B-P4011)まわり」と記載。
- * 10 : 記載の適正化を行う。既設工認には「燃料油移送ポンプB(8111B-P4011)まわり」, 「燃料油サービスタンクB(8111B-V42)まわり」と記載。
- * 11 : 記載の適正化を行う。既設工認には「燃料油サービスタンクB(8111B-V42)まわり」, 「燃料油第1フィルタB(8111B-F4210)まわり」, 「燃料油第2フィルタB(8111B-F4230)まわり」, 「ディーゼル機関B(8111B-X10)まわり」と記載。
- * 12 : 記載の適正化を行う。既設工認には「空気だめB(8111B-V501)まわり」, 「空気だめB(8111B-V502)まわり」と記載。
- * 13 : 記載の適正化を行う。既設工認には「空気だめB(8111B-V501)まわり」, 「空気だめB(8111B-V502)まわり」, 「ディーゼル機関B(8111B-X10)まわり」と記載。

(5) 発電機

			変更前	変更後	
内燃機関	名称		ディーゼル機関 (8111A/B-X10)		
	エンジン	種類	—	4サイクルたて形18気筒 ディーゼル機関	
		出力	kW/ 台	7340	
		回転数	rpm	428	
		個数	—	2	
	燃料	種類	—	A重油* ²	
		使用量	L/h/ 個	1761.2* ² (定格出力時)	
	過給機	種類	—	排気タービン式	
		出口の 圧力	MPa	0.26 (最大連続回転時)	
		回転数	rpm	21600 (最大連続回転数)	
		個数	—	2	
	調速装置	種類	—	往復動	
		個数	—	2	
	非常調速 装置	種類	—	往復動	
		個数	—	2	
取付箇所		—	同期発電機に同じ		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後		
名称			同期発電機 (8111A/B-X11)		変更なし	
発電機	種類	—	横軸回転界磁 3 相同期発電機			
	容量	kVA/ 台	8900			
	主要寸法	たて	mm	4500* ¹		
		横	mm	3520* ¹		
		高さ	mm	3700* ¹		
	力率	—	0.8(遅れ)			
	電圧	V	6900			
	相	—	3			
	周波数	Hz	50			
	回転数	rpm	428			
	結線法	—	星形			
	冷却法	—	空気冷却			
個数	—	2				
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	第2 非常用ディーゼル発電機			
	設置床	—	GA-W0201, W0205 T. S. M. L. 50.00m			
	溢水防護上の区画 番号	—	—	GA-2-01	GA-2-05	
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ	—	—	T. S. M. L 53.69m 以上	T. S. M. L 53.72m 以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	変更なし		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—				

1.1.1.7 直流電源設備

・常設

(1) 電源盤

		変更前		変更後			
名称		110V非常用直流主分電盤 (AA-DCD-A, B)		110V非常用直流主分電盤 (AA-DCD-A, B) ^{*1}			
電圧	V	110		変更なし			
電流	A	600 ^{*3}					
主要 寸法	幅	mm	■ ^{*2*4}				
	奥行	mm	■ ^{*2*4}				
	高さ	mm	■ ^{*2}				
個数		—	2				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—				
	設置床	—	A系			B系	
			■			■	
			T. M. S. L. ■ ^{m*3}				
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ ^m 以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■	■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ ^m 以上			

注記 *1: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-8図 前処理建屋の電気盤(直立盤その8)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用直流主分電盤 (AB-DCD-A, B)		110V非常用直流主分電盤 (AB-DCD-A, B) * ¹		
電圧	V	110		変更なし		
電流	A	800* ³				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	奥行	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	高さ	mm	■■■■ * ²			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■■■■			■■■■
			T. M. S. L. ■■■■ m* ³			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.2-5図 分離建屋の電気盤(直立盤その5)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用直流主分電盤 (AC-DCD-A, B)		110V非常用直流主分電盤 (AC-DCD-A, B) * ¹		
電圧	V	110		変更なし		
電流	A	800* ³				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	奥行	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	高さ	mm	■■■■ * ²			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■■■■			■■■■
			T. M. S. L. ■■■■ m* ³			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-7図 精製建屋の電気盤(直立盤その7)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用直流主分電盤 (AG-DCD-A, B)		110V非常用直流主分電盤 (AG-DCD-A, B) *1		
電圧	V	110		変更なし		
電流	A	800*3				
主要 寸法	幅	mm	■ *2*4			
	奥行	mm	■ *2*4			
	高さ	mm	■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			AG-W0103			AG-W0107
			T. M. S. L. 40. 10m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *6			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *6				

注記 *1：直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-7図 制御建屋の電気盤(直立盤その7)の構造図」による。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用直流主分電盤 (CA-DCD-A, B)		110V非常用直流主分電盤 (CA-DCD-A, B) * ¹		
電圧	V	110		変更なし		
電流	A	800* ³				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	奥行	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	高さ	mm	■■■■ * ²			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■■■■			■■■■
			T. M. S. L. 47. 30m* ³			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■m以上		

注記 *1：直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-6図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(直立盤その6)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用直流主分電盤 (CB-DCD-A, B)		変更なし		
電圧	V	110				
電流	A	600*2				
主要 寸法	幅	mm	■*1*3			
	奥行	mm	■*1*3			
	高さ	mm	■*1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■			■
			T. M. S. L. 55.30m*2			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■	B系 ■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4	—			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.6-5図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気盤(直立盤その5)の構造図」による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用直流主分電盤 (GA-DCD-A, B)		110V非常用直流主分電盤 (GA-DCD-A, B) *1		
電圧	V	110		変更なし		
電流	A	400 *3				
主要 寸法	幅	mm	■ *2*4			
	奥行	mm	■ *2*4			
	高さ	mm	■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			GA-W0104	GA-W0106		
			T. M. S. L. 50.00m *3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *5		—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *5		—		

注記 *1：直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.12-6 図 非常用電源建屋の電気盤(直立盤その6)の構造図」による。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用直流主分電盤 (KA-DCD-A, B)		110V非常用直流主分電盤 (KA-DCD-A, B) * ¹		
電圧	V	110		変更なし		
電流	A	552 * ³				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	奥行	mm	■■■■ * ² * ⁴			
	高さ	mm	■■■■ * ²			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m * ⁵			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *¹: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*²: 公称値を示す。

*³: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*⁴: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-5図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その5)の構造図」による。

*⁵: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。

(2) 電力貯蔵装置

a. 蓄電池

			変更前		変更後	
名称			110V第2非常用蓄電池 (AA-BAT-A, B)		変更なし	
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	2200				
電圧	V	110				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
		mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			T. M. S. L. ■■■■ m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m 以上	T. M. S. L. ■■■■ m 以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m 以上	T. M. S. L. ■■■■ m 以上

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-9図 110V第2非常用蓄電池A, B(AA-BAT-A, B)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後		
名称		110V第2非常用蓄電池 (AB-BAT-A, B)		変更なし		
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	4000				
電圧	A	110				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
		mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
		mm	■■■■ *1*2			
高さ	mm	■■■■ *1				
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
		T. M. S. L. ■■■■ m*3				
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系	B系	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上		
化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■	■■■■		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.2-8図 110V第2非常用蓄電池A, B(AB-BAT-A, B)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後		
名称		110V第2非常用蓄電池 (AC-BAT-A, B)		変更なし		
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	2000				
電圧	V	110				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
		mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■■■■	B系 ■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m 以上	T. M. S. L. ■■■■ m 以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-13図 110V第2非常用蓄電池A, B(AC-BAT-A, B)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後		
名称		110V第2非常用蓄電池 (AG-BAT-A1, B1)		変更なし		
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	1200				
電圧	V	110				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
			■■■■ *1*2			
	奥行	mm	A系			B系
			■■■■ *1*2			■■■■ *1*2 ■■■■ *1*2
高さ	mm	■■■■ *1				
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			AG-W0102	AG-W0106		
			T. M. S. L. 40. 10m* ³			
	溢水防護上の 区画番号	—	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *4			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *4				
			A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■m以 上	T. M. S. L. ■■■■m以 上		
			—	—		
			—	—		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-13図 110V第2非常用蓄電池A1(AG-BAT-A1)の構造図」及び「第3.2.1.1.11-14図 110V第2非常用蓄電池B1(AG-BAT-B1)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		220V第2非常用蓄電池 (AG-BAT-A2, B2)		変更なし		
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	1400				
電圧	V	220				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
		mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			AG-W0102	AG-W0106		
			T. M. S. L. 40. 10m ^{*3}			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■■■■	B系 ■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *4	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *4	—			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-15図 220V第2非常用蓄電池A2, B2(AG-BAT-A2, B2)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		110V第2非常用蓄電池 (CA-BAT-A, B)		変更なし		
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	1800				
電圧	V	110				
主要 寸法	幅	mm	■ *1*2			
		mm	■ *1*2			
	奥行	mm	■ *1*2			
	高さ	mm	■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■	■		
			T. M. S. L. 47.30m ^{*3}			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■	B系 ■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m 以上	T. M. S. L. ■m 以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■	■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m以上		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-12図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の110V第2非常用蓄電池A, B(CA-BAT-A, B)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後		
名称		110V第2非常用蓄電池 (CB-BAT-A, B)				
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	A系	B系			
		210	170			
電圧	V	110				
主要 寸法	幅	mm	■ *1*2	■ *1*2		
	奥行	mm	■ *1*2			
	高さ	mm	■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■	■		
			T. M. S. L. 55.30m ^{*3}			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
					■	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m以上	
化学薬品防護上の 区画番号	—	— *4		—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *4		—		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.6-8図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の110V第2非常用蓄電池A(CB-BAT-A)の構造図」及び「第3.2.1.1.6-9図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の110V第2非常用蓄電池B(CB-BAT-B)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		110V第2非常用蓄電池 (GA-BAT-A, B)		変更なし		
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	500				
電圧	V	110				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			GA-W0103	GA-W0105		
			T. M. S. L. 50.00m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■■■■	B系 ■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m 以上	T. M. S. L. ■■■■m 以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4				

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.12-9図 110V第2非常用蓄電池A, B(GA-BAT-A, B)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		110V第2非常用蓄電池 (KA-BAT-A, B)		変更なし		
種類	—	シール形クラッド式 据置鉛蓄電池				
容量	Ah	1400				
電圧	V	110				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
			■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
			■■■■ *1*2			
高さ	mm	■■■■ *1				
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■■■■	B系 ■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m 以上	T. M. S. L. ■■■■ m 以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-11図 高レベル廃液ガラス固化建屋の110V第2非常用蓄電池A(KA-BAT-A)の構造図」及び「第3.2.1.1.7-12図 高レベル廃液ガラス固化建屋の110V第2非常用蓄電池B(KA-BAT-B)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。

b. 充電器盤

		変更前		変更後	
名称		110V非常用充電器盤 (AA-CHG-A, B) 110V非常用予備充電器盤 (AA-CHG-E)		110V非常用充電器盤 (AA-CHG-A, B) * ¹ 110V非常用予備充電器盤 (AA-CHG-E)	
種類		—		サイリスタ整流器	
交流 入力	相	—		3	
	周波数	Hz		50	
	電圧	V		440	
直流 出力	電圧	V		126.5	
	電流	A		350	
主要 寸法	幅	mm		■■■■ * ² * ³ * ⁵	
		mm		■■■■ * ² * ³ * ⁶	
	奥行	mm		■■■■ * ² * ³	
	高さ	mm		■■■■ * ²	
個数		—		3(予備1)	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—		—	
	設置床	—		A系, E系	B系
		—		■■■■	■■■■
		—		T. M. S. L. ■■■■ m * ⁴	
	溢水防護上の 区画番号	—		A系, E系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—		■■■■	■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	

注記 *1: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-5図 前処理建屋の電気盤(直立盤その5)の構造図」および「第3.2.1.1.1-6図 前処理建屋の電気盤(直立盤その6)の構造図」による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

による。

*5 : AA-CHG-A, Bを示す。

*6 : AA-CHG-Eを示す。

			変更前		変更後	
名称			110V非常用充電器盤 (AB-CHG-A, B) 110V非常用予備充電器盤 (AB-CHG-E)		110V非常用充電器盤 (AB-CHG-A, B)* ¹ 110V非常用予備充電器盤 (AB-CHG-E)	
種類		—	サイリスタ整流器			
交流 入力	相	—	3			
	周波数	Hz	50			
	電圧	V	440			
直流 出力	電圧	V	126.5			
	電流	A	500			
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3*5			
			■■■■ *2*3*6			
	奥行	mm	■■■■ *2*3*5			
			■■■■ *2*3*6			
高さ	mm	■■■■ *2				
個数		—	3(予備1)			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系, E系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m* ⁴			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系, E系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	

注記 *1: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.2-3図 分離建屋の電気盤(直立盤その3)の構造図」および「第3.2.1.1.2-4図 分離建屋の電気盤(直立盤その4)の構造図」による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：AB-CHG-A, Bを示す。

*6：AB-CHG-Eを示す。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用充電器盤 (AC-CHG-A, B) 110V非常用予備充電器盤 (AC-CHG-E)		110V非常用充電器盤 (AC-CHG-A, B) * ¹ 110V非常用予備充電器盤 (AC-CHG-E)		
種類		-		サイリスタ整流器		
交流 入力	相	-		3		
	周波数	Hz		50		
	電圧	V		440		
直流 出力	電圧	V		126.5		
	電流	A		250		
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3*5		変更なし	
			■■■■ *2*4*6			
	奥行	mm	■■■■ *2*3*5 (充電器盤)			
			■■■■ *2*3*5 (受電盤)			
			■■■■ *2*4*6			
高さ	mm	■■■■ *2				
個数		-		3(予備1)		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	-		-		
	設置床	-	A系	B系, E系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m* ³			
	溢水防護上の 区画番号	-	-		A系	B系, E系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	-		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	-	-		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	-		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

による。

- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-6図 精製建屋の電気盤(直立盤その6)の構造図」による。
- *5：AC-CHG-A, Bを示す。
- *6：AC-CHG-Eを示す。

		変更前		変更後		
名称		110V非常用充電器盤 (AG-CHG-A, B) 110V非常用予備充電器盤 (AG-CHG-E)		110V非常用充電器盤 (AG-CHG-A, B)* ¹ 110V非常用予備充電器盤 (AG-CHG-E)		
種類		—		サイリスタ整流器		
交流 入力	相	—		3		
	周波数	Hz		50		
	電圧	V		440		
直流 出力	電圧	V		126.5		
	電流	A		200		
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3*6		変更なし	
			■■■■ *2*4*7			
	奥行	mm	■■■■ *2*3*6 (充電器盤)			
			■■■■ *2*3*6 (受電盤)			
			■■■■ *2*4*7			
高さ	mm	■■■■ *2				
個数		—		3(予備1)		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—		—		
	設置床	—	A系, E系	B系		
			AG-W0103	AG-W0107		
			T. M. S. L. 40. 10m* ³			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系, E系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■m以上	
化学薬品防護上の 区画番号	—	— *5		—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *5		—		

注記 *1：直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

による。

- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-6図 制御建屋の電気盤(直立盤その6)の構造図」による。
- *5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *6：AG-CHG-A, Bを示す。
- *7：AG-CHG-Eを示す。

		変更前		変更後	
名称		110V非常用充電器盤 (CA-CHG-A, B) 110V非常用予備充電器盤 (CA-CHG-E)		110V非常用充電器盤 (CA-CHG-A, B)* ¹ 110V非常用予備充電器盤 (CA-CHG-E)	
種類		—		サイリスタ整流器	
交流 入力	相	—		3	
	周波数	Hz		50	
	電圧	V		440	
直流 出力	電圧	V		126.5	
	電流	A		250	
主要 寸法	幅	mm		■■■■ *2*3*5	
		mm		■■■■ *2*4*6	
	奥行	mm		■■■■ *2*3*5 (充電器盤)	
		mm		■■■■ *2*3*5 (受電盤)	
		mm		■■■■ *2*4*6	
高さ	mm		■■■■ *2		
個数		—		3(予備1)	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—		—	
	設置床	—		A系, E系	B系
		—		■■■■	■■■■
		—		T. M. S. L. 47. 30m* ³	
	溢水防護上の 区画番号	—		A系, E系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		T. M. S. L. ■■■■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—		T. M. S. L. ■■■■m以上		

注記 *1: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

- *3 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *4 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-5図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(直立盤その5)の構造図」による。
- *5 : CA-CHG-A, Bを示す。
- *6 : CA-CHG-Eを示す。

		変更前		変更後			
名称		110V非常用充電器盤 (CB-CHG-A, B) 110V非常用予備充電器盤 (CB-CHG-E)		変更なし			
種類		— サイリスタ整流器					
交流 入力	相	— 3					
	周波数	Hz 50					
	電圧	V 440					
直流 出力	電圧	V 126.5					
	電流	A 75					
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2*5				
		mm	■■■■ *1*2*6				
	奥行	mm	■■■■ *1*2				
	高さ	mm	■■■■ *1				
個数		— 3(予備1)					
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	— —					
	設置床	—	A系			B系, E系	
			■■■■	■■■■			
		T. M. S. L. 55. 30m ^{*3}					
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系, E系 ■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— ^{*4}		—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*4}		—			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.6-3図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気盤(直立盤その3)の構造図」および「第3.2.1.1.6-4図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気盤(直立盤その4)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*5：CB-CHG-A, Bを示す。

*6：CB-CHG-Eを示す。

		変更前		変更後	
名称		110V非常用充電器盤 (GA-CHG-A, B) 110V非常用予備充電器盤 (GA-CHG-E)		110V非常用充電器盤 (GA-CHG-A, B) *1 110V非常用予備充電器盤 (GA-CHG-E)	
種類		—	サイリスタ整流器		
交流 入力	相	—	3		
	周波数	Hz	50		
	電圧	V	440		
直流 出力	電圧	V	126.5		
	電流	A	100		
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3*6		
			■■■■ *2*3*7		
	奥行	mm	■■■■ *2*3		
	高さ	mm	■■■■ *2		
個数		—	3(予備1)		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	A系, E系	B系	
			GA-W0104	GA-W0106	
			T. M. S. L. 50.00m*4		
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系, E系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *5		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *5		

注記 *1：直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.12-4図 非常用電源建屋の電気盤(直立盤その4)の構造図」および「第3.2.1.1.12-5図 非常用電源建屋の電気盤(直立盤その5)の構造図」による。

- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *6：GA-CHG-A, Bを示す。
- *7：GA-CHG-Eを示す。

		変更前		変更後	
名称		110V非常用充電器盤 (KA-CHG-A, B) 110V非常用予備充電器盤 (KA-CHG-E)		110V非常用充電器盤 (KA-CHG-A, B) * ¹ 110V非常用予備充電器盤 (KA-CHG-E)	
種類		—	サイリスタ整流器		
交流 入力	相	—	3		
	周波数	Hz	50		
	電圧	V	440		
直流 出力	電圧	V	126.5		
	電流	A	200		
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3*5		
		mm	■■■■ *2*3*6		
	奥行	mm	■■■■ *2*3		
	高さ	mm	■■■■ *2		
個数		—	3(予備1)		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	A系, E系	B系	
			■■■■	■■■■	
			T. M. S. L. ■■■■ m * ⁴		
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系, E系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上

注記 *1: 直流電源設備のうち重大事故等対処設備の直流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-3図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その3)の構造図」および「第3.2.1.1.7-4図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その4)の構造図」による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年

3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。

*5 : KA-CHG-A, Bを示す。

*6 : KA-CHG-Eを示す。

1.1.1.8 計測制御用交流電源設備

・常設

(1) 電源盤

		変更前		変更後			
名称		105V非常用 計測交流主分電盤 (AC-ACD-A, B)		変更なし			
電圧	V	105					
電流	A	285*2					
主要 寸法	幅	mm	■*1*3				
	奥行	mm	■*1				
	高さ	mm	■*1*3				
個数		—	2				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—				
	設置床	—	A系			B系	
			■			■	
			T. M. S. L. ■m*2				
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■	B系 ■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■	■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m以上			

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-12図 精製建屋の電気盤(壁掛盤その2)の構造図」による。

		変更前		変更後	
名称		105V非常用 計測交流主分電盤 (AG-ACD-A, B)			
電圧	V	105			
電流	A	285*2			
主要 寸法	幅	mm	■*1*3		
	奥行	mm	■*1		
	高さ	mm	■*1*3		
個数		—	2		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	A系	B系	
			AG-W0113	AG-W0115	
			T. M. S. L. 40. 10m*2		
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4	—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4	—		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-12図 制御建屋の電気盤(壁掛盤その2)の構造図」による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 計測交流主分電盤 (CA-ACD-A, B)				
電圧	V	105				
電流	A	476*2				
主要 寸法	幅	mm	■*1*3			
	奥行	mm	■*1			
	高さ	mm	■*1*3			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■	■		
			T. M. S. L. 47.30m*2			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■	B系 ■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m以上	
化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■	■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m以上		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-11図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(壁掛盤その2)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 計測交流主分電盤 (KA-ACD-A, B)				
電圧	V	105				
電流	A	600*2				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*3			
	奥行	mm	■■■■ *1*3			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	■■■■		
			B系	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*4			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-9図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その9)の構造図」による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 計測交流電源盤 (AC-ACS-A, B)		変更なし		
容量	kVA	30				
電圧	V	交流440(入力)				
		交流105(出力)				
周波数	Hz	50				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-9図 精製建屋の電気盤(直立盤その9)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 計測交流電源盤 (AG-ACS-A, B)		変更なし		
容量	kVA	30				
電圧	V	交流440(入力)				
		交流105(出力)				
周波数	Hz	50				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			AG-W0113	AG-W0115		
			T. M. S. L. 40. 10m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4				

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-9図 制御建屋の電気盤(直立盤その9)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 計測交流電源盤 (CA-ACS-A, B)		変更なし		
容量	kVA	50				
電圧	V	交流440(入力)				
		交流105(出力)				
周波数	Hz	50				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. 47.30m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—				
				A系	B系	
				■■■■	■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■m以上		
				■■■■	■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■m以上		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-8図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(直立盤その8)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 計測交流電源盤 (KA-ACS-A, B)		変更なし		
容量	kVA	50				
電圧	V	交流440(入力)				
		交流105(出力)				
周波数	Hz	50				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *1*2			
	奥行	mm	■■■■ *1*2			
	高さ	mm	■■■■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-8図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その8)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 無停電交流主分電盤 (AA-UPD-A, B)		105V非常用 無停電交流主分電盤 (AA-UPD-A, B) *1		
電圧	V	105		変更なし		
電流	A	600*3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*4			
	奥行	mm	■■■■ *2*4			
	高さ	mm	■■■■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-8図 前処理建屋の電気盤(直立盤その8)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 無停電交流主分電盤 (AB-UPD-A1, A2, B1, B2)		105V非常用 無停電交流主分電盤 (AB-UPD-A1, A2, B1, B2) *1		
電圧	V	105		変更なし		
電流	A	250 *3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*4			
	奥行	mm	■■■■ *2			
	高さ	mm	■■■■ *2*4			
個数	—	4				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■■■■			■■■■
			T. M. S. L. ■■■■ m *3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—				

注記 *1: AB-UPD-A1, B1, B2については、計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.2-7図 分離建屋の電気盤(壁掛盤)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 無停電交流主分電盤 (AC-UPD-A, B)		105V非常用 無停電交流主分電盤 (AC-UPD-A, B) *1		
電圧	V	105		変更なし		
電流	A	200*3				
主要 寸法	幅	mm	■■■■*2*4			
	奥行	mm	■■■■*2			
	高さ	mm	■■■■*2*4			
個数	—	2				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系			B系
			■■■■			■■■■
			T. M. S. L. ■■■■m*3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—				
		A系		B系		
		■■■■		■■■■		
		T. M. S. L.		■■■■m以上		
		■■■■		■■■■		
		T. M. S. L.		■■■■m以上		

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-11図 精製建屋の電気盤(壁掛盤その1)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 無停電交流主分電盤 (AG-UPD-A, B)		105V非常用 無停電交流主分電盤 (AG-UPD-A, B) *1		
電圧	V	105		変更なし		
電流	A	400 *3				
主要 寸法	幅	mm	■ *2*4			
	奥行	mm	■ *2			
	高さ	mm	■ *2*4			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			AG-W0103	AG-W0107		
			T. M. S. L. 40. 10m *3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系 ■	B系 ■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■m以上		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *5	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *5	—			

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-11図 制御建屋の電気盤(壁掛盤その1)の構造図」による。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 無停電交流主分電盤 (CA-UPD-A, B)		105V非常用 無停電交流主分電盤 (CA-UPD-A, B) *1		
電圧	V	105		変更なし		
電流	A	225 *3				
主要 寸法	幅	mm	■ *2 *4			
	奥行	mm	■ *2			
	高さ	mm	■ *2 *4			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■	■		
			T. M. S. L. 47. 30m *3			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■	■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ m以上		

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-10図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(壁掛盤その1)の構造図」による。

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 無停電交流主分電盤 (KA-UPD-A, B)		105V非常用 無停電交流主分電盤 (KA-UPD-A, B) *1		
電圧	V	105		変更なし		
電流	A	548 *3				
主要 寸法	幅	mm	■ *2*4			
	奥行	mm	■ *2*4			
	高さ	mm	■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■	■		
			T. M. S. L. ■ m *5			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■	B系 ■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■	■
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ m以上		

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.7-7図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その7)の構造図」による。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。

(2) 無停電電源装置

		変更前		変更後		
名称		105V非常用 無停電電源装置 (AA-UPS-A, B)		105V非常用 無停電電源装置 (AA-UPS-A, B) *1		
種類		—	静止形定電圧定周波数 電源装置			
容量	インバータ盤	kVA /台	30			
予備変圧器容量		kVA	30			
電圧	入力	V	交流440			
	出力	V	直流110			
周波数		Hz	交流105			
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3			
	奥行	mm	■■■■ *2*3			
	高さ	mm	■■■■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■■■■	■■■■		
			T. M. S. L. ■■■■ m*4			
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
					■■■■	■■■■
溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		
化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

変更なし

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成9年5月27日付け9安(核規)第245号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.1-7図 前処理建屋の電気盤(直立盤その7)の構造図」による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変更前		変更後		
名称			105V非常用 無停電電源装置 (AB-UPS-A, B)		105V非常用 無停電電源装置 (AB-UPS-A, B) *1		
種類		—	静止形定電圧定周波数 電源装置			変更なし	
容量	インバータ盤	kVA /台	50				
予備変圧器容量		kVA	50				
電圧	入力	V	交流440				
			直流110				
	出力	V	交流105				
周波数		Hz	50				
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3				
	奥行	mm	■■■■ *2*3				
	高さ	mm	■■■■ *2				
個数		—	2				
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—				
	設置床	—	A系	■■■■			
			B系	■■■■			
				T. M. S. L. ■■■■ m*4			
	溢水防護上の 区画番号	—	—			A系 ■■■■	B系 ■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			T. M. S. L. ■■■■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—			■■■■	■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			T. M. S. L. ■■■■ m以上	

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.2-6 図 分離建屋の電気盤(直立盤その6)の構造図」による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

による。

		変更前		変更後	
名称		105V非常用 無停電電源装置 (AC-UPS-A, B)		105V非常用 無停電電源装置 (AC-UPS-A, B) *1	
種類		—	静止形定電圧定周波数 電源装置		
容量	インバータ盤	kVA /台	30		
予備変圧器容量		kVA	30		
電圧	入力	V	交流440 直流110		
	出力	V	交流105		
周波数		Hz	50		
主要 寸法	幅	mm	■ *2*3		
	奥行	mm	■ *2*3		
	高さ	mm	■ *2		
個数		—	2		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	A系	B系	
			■	■	
			T. M. S. L. ■ m*4		
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ m以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ m以上

変更なし

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.3-8図 精製建屋の電気盤(直立盤その8)の構造図」による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書

による。

		変更前		変更後	
名称		105V非常用 無停電電源装置 (AG-UPS-A, B)		105V非常用 無停電電源装置 (AG-UPS-A, B) *1	
種類		—	静止形定電圧定周波数 電源装置		
容量	インバータ盤	kVA /台	50		
予備変圧器容量		kVA	50		
電圧	入力	V	交流440 直流220		
	出力	V	交流105		
周波数		Hz	50		
主要 寸法	幅	mm	■ *2*3		
	奥行	mm	■ *2*3		
	高さ	mm	■ *2		
個数		—	2		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	A系	B系	
			AG-W0103	AG-W0107	
			T. M. S. L. 40. 10m*4		
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■ B系 ■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■ m以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *5		—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *5		—

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.11-8図 制御建屋の電気盤(直立盤その8)の構造図」による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

		変更前		変更後	
名称		105V非常用 無停電電源装置 (CA-UPS-A, B)		105V非常用 無停電電源装置 (CA-UPS-A, B) *1	
種類		—	静止形定電圧定周波数 電源装置		変更なし
容量	インバータ盤	kVA /台	30		
予備変圧器容量		kVA	30		
電圧	入力	V	交流440		
			直流110		
	出力	V	交流105		
周波数		Hz	50		
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3		
	奥行	mm	■■■■ *2*3		
	高さ	mm	■■■■ *2		
個数		—	2		
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—		
	設置床	—	A系	B系	
			■■■■	■■■■	
			T. M. S. L. 47. 30m *4		
	溢水防護上の 区画番号	—	—	A系	B系
				■■■■	■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上	
化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上		

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設備と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.1.1.5-7図 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の電気盤(直立盤その7)の構造図」による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変更前	変更後		
名称			105V非常用 無停電電源装置 (CB-UPS-A, B)			
種類		—	静止形定電圧定周波数 電源装置			
容量	インバータ盤	kVA/台	2			
予備変圧器容量		kVA	2			
電圧	入力	V	交流440			
	出力	V	直流110			
周波数		Hz	50			
主要 寸法	幅	mm	■ *1*2			
	奥行	mm	■ *1*2			
	高さ	mm	■ *1			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	B系		
			■	■		
	T. M. S. L. 55.30m*3					
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系 ■	B系 ■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4		—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4		—		

変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認申請書の添付図面「第3.2.1.1.6-6図 ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の電気盤(直立盤その6)の構造図」による。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前		変更後	
名称			105V非常用 無停電電源装置 (KA-UPS-A, B)		105V非常用 無停電電源装置 (KA-UPS-A, B) *1	
種類		—	静止形定電圧定周波数 電源装置		変更なし	
容量	インバータ盤	kVA /台	20			
予備変圧器容量		kVA	20			
電圧	入力	V	交流440			
			直流110			
	出力	V	交流105			
周波数		Hz	50			
主要 寸法	幅	mm	■■■■ *2*3			
	奥行	mm	■■■■ *2*3			
	高さ	mm	■■■■ *2			
個数		—	2			
取 付 箇 所	系統名(ライン名)	—	—			
	設置床	—	A系	■■■■		
			B系	■■■■		
				T. M. S. L. ■■■■ m *4		
	溢水防護上の 区画番号	—	—		A系	B系
					■■■■	■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上	
化学薬品防護上の 区画番号	—	—		■■■■	■■■■	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. ■■■■ m以上		

注記 *1：計測制御用交流電源設備のうち重大事故等対処設備の計測制御用交流電源設
と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年
7月5日付け11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.
1.1.7-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の電気盤(直立盤その6)の構
造図」による。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成14年3月11日付け平成14・01・28原第13号にて認可された設工認の添付図面「第2.2.12-6図 高レベル廃液ガラス固化建屋の機器配置図(その6)」による。

1.1.1.9 代替電源設備

・可搬

(1) 発電機

			変更前	変更後
名称				可搬型発電機 ()
発電機	種類		—	突極回転界磁形同期発電機
	容量		kVA/個	80
	主要寸法	幅	mm	1050* ¹
		奥行	mm	2730* ¹
		高さ	mm	1290* ¹
	力率		%	80(遅れ)
	電圧		V	200
	相		—	3
	周波数		Hz	50
	回転速度		min ⁻¹	1500
	結線法		—	星形
	冷却方法		—	空気冷却
	機関	種類		—
出力		kW/個	73.6	
回転速度		min ⁻¹	1500	
燃料		種類	—	軽油
		使用量	l/h/個	18
燃料タンク	種類		—	箱形
	容量		L/個	67以上(200* ¹)
	最高使用圧力		MPa	静水頭
	最高使用温度		℃	40
	主要材料		—	SECC
個数		—	4(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを3)* ²	

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	—		保管場所： ・前処理建屋近傍(東側) T. M. S. L. 約55.00m (1個) ・前処理建屋近傍(西側) T. M. S. L. 約55.00m (1個) ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(2個) (取付箇所：前処理建屋近傍(西側) T. M. S. L. 約55.00m(1個))

注記 *1：公称値を示す。

*2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。

			変更前	変更後
名称				可搬型発電機 ()
発電機	種類		—	突極回転界磁形同期発電機
	容量		kVA/個	80
	主要寸法	幅	mm	1050* ¹
		奥行	mm	2730* ¹
		高さ	mm	1290* ¹
	力率		%	80(遅れ)
	電圧		V	200
	相		—	3
	周波数		Hz	50
	回転速度		min ⁻¹	1500
	結線法		—	星形
	冷却方法		—	空気冷却
機関	種類		—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関
	出力		kW/個	73.6
	回転速度		min ⁻¹	1500
	燃料	種類	—	軽油
		使用量	l/h/個	18
燃料タンク	種類		—	箱形
	容量		L/個	63以上(200* ¹)
	最高使用圧力		MPa	静水頭
	最高使用温度		℃	40
	主要材料		—	SECC
個数		—	3(予備として故障時のバックアップを2)* ²	
取付箇所		—	保管場所： ・分離建屋近傍(東側) T. M. S. L. 約55.00m (2個) ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個) (取付箇所：分離建屋近傍(東側)) (T. M. S. L. 約55.00m(1個))	

注記 *1：公称値を示す。

*2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。

			変更前	変更後
名称				可搬型発電機 ()
発電機	種類		—	突極回転界磁形同期発電機
	容量		kVA/個	80
	主要寸法	幅	mm	1050* ¹
		奥行	mm	2730* ¹
		高さ	mm	1290* ¹
	力率		%	80(遅れ)
	電圧		V	200
	相		—	3
	周波数		Hz	50
	回転速度		min ⁻¹	1500
	結線法		—	星形
	冷却方法		—	空気冷却
機関	種類		—	4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関
	出力		kW/個	73.6
	回転速度		min ⁻¹	1500
	燃料	種類	—	軽油
		使用量	l/h/個	18
燃料タンク	種類		—	箱形
	容量		L/個	76以上(200* ¹)
	最高使用圧力		MPa	静水頭
	最高使用温度		℃	40
	主要材料		—	SECC
個数		—	3(予備として故障時のバックアップを2)* ²	
取付箇所		—	保管場所： ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍（東側） T. M. S. L. 約55.00m(1個) ・ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍（北側） T. M. S. L. 約55.00m(1個) ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個) （取付箇所：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋近傍(北側) T. M. S. L. 約55.00m(1個)）	

注記 *1：公称値を示す。

*2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。

			変更前	変更後
名称				可搬型発電機 ()
発電機	種類		—	突極回転界磁形同期発電機
	容量		kVA/個	80
	主要寸法	幅	mm	1050* ¹
		奥行	mm	2730* ¹
		高さ	mm	1290* ¹
	力率		%	80(遅れ)
	電圧		V	200
	相		—	3
	周波数		Hz	50
	回転速度		min ⁻¹	1500
	結線法		—	星形
	冷却方法		—	空気冷却
	機関	種類		—
出力		kW/個	73.6	
回転速度		min ⁻¹	1500	
燃料		種類	—	軽油
		使用量	l/h/個	18
燃料タンク	種類		—	箱形
	容量		L/個	78以上(200* ¹)
	最高使用圧力		MPa	静水頭
	最高使用温度		℃	40
	主要材料		—	SECC
個数		—	3(予備として故障時のバックアップを2)* ²	
取付箇所		—	保管場所： ・高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(北側) T. M. S. L. 約55.00m(1個) ・高レベル廃液ガラス固化建屋近傍(南側) T. M. S. L. 約55.00m(1個) ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個) (取付箇所：高レベル廃液ガラス固化建屋近傍 (北側) T. M. S. L. 約55.00m(1個))	

注記 *1：公称値を示す。

*2：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。

			変更前	変更後	
名称				可搬型発電機() *1*2 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)	
発電機	種類	—		突極回転界磁形同期発電機	
	容量	kVA/個		80	
	主要寸法	幅	mm		1050*3
		奥行	mm		2730*3
		高さ	mm		1290*3
	力率	%		三相 80(遅れ)/单相 100	
	電圧	V		三相 200/单相 100	
	相	—		3/1	
	周波数	Hz		50	
	回転速度	min ⁻¹		1500	
	結線法	—		星形	
	冷却方法	—		空気冷却	
	機関	種類	—		4サイクル直接噴射式6気筒ディーゼル機関
出力		kW/個		73.6	
回転速度		min ⁻¹		1500	
燃料		種類	—		軽油
		使用量	l/h/個		18
燃料タンク	種類	—		箱形	
	容量	L/個		63以上(200*3)	
	最高使用圧力	MPa		静水頭	
	最高使用温度	℃		40	
	主要材料	—		SECC	
個数	—			3(予備として故障時のバックアップを2)*4	
取付箇所	—			保管場所： <ul style="list-style-type: none"> ・制御建屋近傍(東側) T. M. S. L. 約55.00m (1個) ・制御建屋近傍(北側) T. M. S. L. 約55.00m (1個) ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個) (取付箇所：制御建屋近傍(東側) T. M. S. L. 約55.00m(1個))	

- 注記 *1：可搬型発電機は、MOX燃料加工施設と共用する。
- *2：可搬型発電機は、再処理施設にて設備登録を行っている。
- *3：公称値を示す。
- *4：機関および燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。

1.1.1.10 代替所内電気設備

・常設

(1) 電源盤

		変更前	変更後		
名称		—	重大事故対処用母線分電盤 (AA-XPД-S1, S2)		
電圧	V		200		
電流	A		250		
主要 寸法	幅		mm	■*1	
	奥行		mm	■*1	
	高さ		mm	■*1	
個数			—	2	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)		—	—	
	設置床		—	■	■
				T. M. S. L. ■m	
	溢水防護上の 区画番号	—	S1	S2	
			■	■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■m以上	T. M. S. L. ■m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	■	■	
		T. M. S. L. ■m以上	T. M. S. L. ■m以上		

注記 *1：公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	重大事故対処用母線常設分電盤 (AB-XPД-S1, S2)	
電圧	V		200	
電流	A		300	
主要 寸法	幅		mm	■ *1
	奥行		mm	■ *1
	高さ		mm	■ *1
個数			—	2
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)		—	—
	設置床		—	■ T. M. S. L. ■ m
	溢水防護上の 区画番号		—	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	T. M. S. L. ■ m以上
	化学薬品防護上の 区画番号		—	■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	T. M. S. L. ■ m以上

注記 *1：公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	重大事故対処用母線常設分電盤 (AC-XPД-S1, S2)	
電圧	V		200	
電流	A		250	
主要 寸法	幅		mm	■ *1
	奥行		mm	■ *1
	高さ		mm	■ *1
個数			—	2
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)		—	—
	設置床		—	■ T. M. S. L. ■ m
	溢水防護上の 区画番号		—	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	■	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■ m以上	

注記 *1 : 公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	重大事故対処用母線常設分電盤 (CA-XPД-S1, S2)	
電圧	V		200	
電流	A		250	
主要 寸法	幅		mm	■*1
	奥行		mm	■*1
	高さ		mm	■*1
個数			—	2
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)		—	—
	設置床		—	■ T. M. S. L. ■m
	溢水防護上の 区画番号		—	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	T. M. S. L. ■m以上
	化学薬品防護上の 区画番号		—	■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	T. M. S. L. ■m以上

注記 *1：公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	重大事故対処用母線分電盤 (KA-XPД-S1, S2)	
電圧	V		200	
電流	A		250	
主要 寸法	幅		mm	■ *1
	奥行		mm	■ *1
	高さ		mm	■ *1
個数			—	2
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)		—	—
	設置床		—	■ T. M. S. L. ■ m
	溢水防護上の 区画番号		—	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■ m以上	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	■	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	T. M. S. L. ■ m以上	

注記 *1 : 公称値を示す。

・可搬
 (1) 電源盤

			変更前	変更後
名称			—	可搬型分電盤 (■■■■■)
電圧		V		200
電流		A		16
主要 寸法	幅	mm		■■■■ *1
	奥行	mm		■■■■ *1
	高さ	mm		■■■■ *1
個数		—		2(予備として故障時バックアップを1)
取付箇所		—		保管場所： ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) (取付箇所： ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m(1個))

注記 *1：公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	可搬型分電盤 (■■■■)
電圧		V		200
電流		A		32
主要 寸法	幅	mm		■■■*1
	奥行	mm		■■■*1
	高さ	mm		■■■*1
個数		—		2(予備として故障時バックアップを1)
取付箇所		—		保管場所： ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) (取付箇所： ■■■■ T.M.S.L. 約■■■m(1個))

注記 *1：公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	可搬型分電盤 (■■■■)
電圧		V		200
電流		A		40
主要 寸法	幅	mm		■■■*1
	奥行	mm		■■■*1
	高さ	mm		■■■*1
個数		—		2(予備として故障時バックアップを1)
取付箇所		—		保管場所： ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) (取付箇所： ■■■■ T.M.S.L. 約■■■m(1個))

注記 *1：公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	可搬型分電盤 (■■■■■)
電圧		V		200
電流		A		40
主要 寸法	幅	mm		■■■■ *1
	奥行	mm		■■■■ *1
	高さ	mm		■■■■ *1
個数		—		2(予備として故障時バックアップを1)
取付箇所		—		保管場所 : ・■■■■ T. M. S. L. 約39.80m(1個) ・G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個) (取付箇所 : ■■■■ T. M. S. L. 約39.80m(1個))

注記 *1 : 公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	可搬型分電盤 (■■■■)
電圧		V		200
電流		A		40
主要 寸法	幅	mm		■■■*1
	奥行	mm		■■■*1
	高さ	mm		■■■*1
個数		—		2(予備として故障時バックアップを1)
取付箇所		—		保管場所： ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■m(1個) ・G14-W0112 T.M.S.L. 約48.65m(1個) (取付箇所： ■■■■ T.M.S.L. 約■■■m(1個))

注記 *1：公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	可搬型分電盤 (■■■■■)
電圧		V		200
電流		A		189
主要 寸法	幅	mm		■■■■ *1
	奥行	mm		■■■■ *1
	高さ	mm		■■■■ *1
個数		—		2(予備として故障時バックアップを1)
取付箇所		—		保管場所 : ・ AG-W0503 T. M. S. L. 約67.30m(1個) ・ G14-W0112 T. M. S. L. 約48.65m(1個) (取付箇所 : AG-W0503 T. M. S. L. 約67.30m(1個))

注記 *1 : 公称値を示す。

1.1.1.11 補機駆動用燃料補給設備

- ・常設
- (1) 容器

			変更前	変更後
名称			—	第1軽油貯槽(9915-V11, V12, V13, V14)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)
種類		—		横置円筒形
容量		m ³ /個		90以上(100*2)
最高使用圧力*5		MPa		静水頭
最高使用温度*5		℃		40
主要寸法	胴内径	mm		3200*2
	胴板厚さ	mm		11.2(12.0*2)
	鏡板厚さ	mm		10.0(12.0*2)
	全長	mm		14066*2
主要材料	胴板	—		SS400
	鏡板	—		SS400
個数		—		4
取付箇所	系統名(ライン名)	—		第1軽油貯槽(補機駆動用燃料補給設備)
	設置床	—		屋外 T.M.S.L.約49.45m 地下埋設
	溢水防護上の区画番号	—	—*3	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*4	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	

注記 *1: 第1軽油貯槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5: 重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称				第2軽油貯槽(9916-V11, V12, V13, V14) (再処理施設* ¹ , MOX燃料加工施設と共用)
種類		—		横置円筒形
容量		m ³ /個		90以上(100* ²)
最高使用圧力* ⁵		MPa		静水頭
最高使用温度* ⁵		℃		40
主要寸法	胴内径	mm	—	3200* ²
	胴板厚さ	mm		11.2(12.0* ²)
	鏡板厚さ	mm		10.0(12.0* ²)
	全長	mm		14066* ²
主要材料	胴板	—		SS400
	鏡板	—		SS400
個数		—		4
取付箇所	系統名(ライン名)	—		第2軽油貯槽(補機駆動用燃料補給設備)
	設置床	—		屋外 T. M. S. L. 約 42.95m 地下埋設
	溢水防護上の区画番号	—	—* ³	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ³	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ⁴	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁴	—

注記 *1: 第2軽油貯槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5: 重大事故等時における使用時の値を示す。

- ・可搬
(1) 容器

			変更前	変更後
名称				軽油用タンクローリ(再処理施設* ¹ , MOX 燃料加工施設と共用)
種類		—		横置楕円形
容量		kL/ 個		3.4 以上(4.0* ¹)
最高使用圧力* ³		kPa		24
最高使用温度* ³		℃		40
主要寸法	胴長径		mm	1,700* ²
	胴短径		mm	880* ²
	胴板厚さ		mm	2.8(3.2* ²)
	鏡板厚さ		mm	2.8(3.2* ²)
	鏡板の形状に係る寸法		mm	1700* ² (鏡板の内面における長径)
			mm	90* ² (鏡板の内面における短径の 2 分の 1)
	排出口管台外径		mm	137.9* ²
	排出口管台厚さ		mm	2.8(3.2* ²)
	マンホール管台外径		mm	406.4* ²
	マンホール管台厚さ		mm	2.8(3.2* ²)
	マンホールふた厚さ		mm	2.8(3.2* ²)
	全長		mm	3735* ²
	車両全長		mm	6700* ²
	車両全幅		mm	2200* ²
車両高さ		mm	2470* ²	
主要材料	胴板		—	SAPH400, SS400
	鏡板		—	SAPH400
個数		—		9(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを5)
取付箇所		—		保管場所： ・外部保管エリア 1 屋外 エリア T. M. S. L. 約 55.00m 及び T. M. S. L. 約

(つづき)

	変更前	変更後
		57.50m(4台) ・外部保管エリア2 屋外 エリア T.M.S.L. 約 48.50m(5台) 〔取付箇所：〕 ・屋外 第1軽油貯槽付近 T.M.S.L.約 55.10m 又は 屋外 第2軽油貯槽付近 T.M.S.L.約 48.60m(3台)〕

注記 *1：軽油用タンクローリは，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：重大事故等時における使用時の値を示す。

(2) 主配管

変更前								変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
—								補機駆動用燃料補給設備	燃料補給用10m可搬型ホース(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	1.0*2	40*2	64*3	—*4	ワイヤー補強ポリプロピレン	9(予備として故障時のバックアップを5)*5	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L. 約 55.00m 及び T.M.S.L. 約 57.50m(4本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m(5本) 取付箇所： ・屋外 第1軽油貯槽付近 T.M.S.L. 約 55.10m ~ 軽油用タンクローリ(第1軽油貯槽付近) T.M.S.L. 約 55.10m 又は屋外 第2軽油貯槽付近 T.M.S.L. 約 48.60m ~ 屋外 軽油用タンクローリ(第2軽油貯槽付近) T.M.S.L. 約 48.60m (3本)
—									燃料補給用49.5m可搬型ホース(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	1.0*2	40*2	37*3	—*4	補強層入り多層ゴム	9(予備として故障時のバックアップを5)*5	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L. 約 55.00m 及び T.M.S.L. 約 57.50m(4本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m(5本) 取付箇所： ・屋外 第1軽油貯槽付近 T.M.S.L. 約 55.10m ~ 軽油用タンクローリ(第1軽油貯槽付近) T.M.S.L. 約 55.10m 又は屋外 第2軽油貯槽付近 T.M.S.L. 約 48.60m ~ 屋外 軽油用タンクローリ(第2軽油貯槽付近) T.M.S.L. 約 48.60m (3本)

注記 *1：燃料補給用 10m 可搬型ホース及び燃料補給用 49.5m 可搬型ホースは、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

*3：メーカーにて規定する外径を示す。

*4：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*5：軽油用タンクローリ 1 台あたり 1 本を保管する。

1.1.2 圧縮空気設備
 1.1.2.1 安全圧縮空気系

・常設
 (1) 容器

			変更前	変更後	
名称			計測制御用空気貯槽 ()		
種類		—	横置円筒形		
臨界 管理	核的 制限値	プルトニウム 最大濃度	g・Pu/ℓ	—	
容量		m ³ /個		変更なし	
最高使用圧力		MPa			
最高使用温度		℃			
主要 寸法	胴内径				mm
	胴板厚さ				mm
	鏡板厚さ				mm
	入口管台外径				mm
	入口管台厚さ				mm
	出口管台外径				mm
	出口管台厚さ				mm
	マンホール管台外径				mm
	マンホール管台厚さ				mm
	マンホール平板厚さ				mm
高さ*3		mm			
主要 材料	胴板		—		
	鏡板		—		
	マンホール平板		—		
個数		—	1		
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	安全圧縮空気系	
	設置床		—	() T. S. M. L. ()m	
	溢水防護上の 区画番号		—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—	()
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. S. M. L. ()m

- 注記 * 1 : 公称値を示す。
- * 2 : 重大事故時等における使用時の値を示す。
- * 3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- * 4 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

				変更前	変更後
名称				水素掃気用空気貯槽 ()	
種類			—	たて置円筒型	
臨界 管理	核的 制限値	プルトニウム 最大濃度	g・ Pu/l	—	
容量			m ³ /個		変更なし
最高使用圧力			MPa		
最高使用温度			℃		
主要 寸法	胴内径		mm		
	胴板厚さ		mm		
	鏡板厚さ		mm		
	平板厚さ		mm		
	入口管台外径		mm		
	入口管台厚さ		mm		
	出口管台外径		mm		
	出口管台厚さ		mm		
	マンホール管台外径		mm		
	マンホール管台厚さ		mm		
	マンホール平板厚さ		mm		
高さ*3		mm			
主要 材料	胴板		—		
	鏡板		—		
	マンホール平板		—		
個数			—	1	
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	安全圧縮空気系	
	設置床		—	() T. S. M. L. ()m	
	溢水防護上の 区画番号		—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—	()

	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. S. M. L. ■■■■■ m
--	----------------------	---	---	---------------------

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故時等における使用時の値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(2) 圧縮機

			変更前	変更後		
名称		-	安全空気圧縮装置 ()			
圧縮機	種類	-	往復式			
	定格容量	m ³ /h/ 個	[Redacted]			
	吐出圧力	MPa				
	主要寸法	たて*3		mm		
		横*3		mm		
		高さ*4		mm		
	主要材料	フレーム	-			
	個数	-	3 (内1個予備)			
	取付箇所	系統名(ライン名)	-	安全圧縮空気系		
		設置床	-	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m		
溢水防護上の区画番号		-	-	[Redacted]	[Redacted]	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-	T. M. S. L. [Redacted] m 以上	T. M. S. L. [Redacted] m 以上	
化学薬品防護上の区画番号		-	-	[Redacted]	[Redacted]	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		-	-	T. M. S. L. [Redacted] m 以上	T. M. S. L. [Redacted] m 以上	
原動機	種類*3	-	三相誘導電動機			
	出力	kW/ 個	[Redacted]			
	個数	-	3 (内1個予備)			
	取付箇所	-	圧縮機と同じ			

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 重大事故時等における使用時の値を示す。

*3: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図

書による。

*4: 既設工認申請書においては、「全高」と記載。

(3) 安全弁及び逃がし弁

		変更前	変更後
名称			安全弁*2 ()
種類	-		非平衡型
吹出圧力	MPa		
吹出量	kg/h/個		
吹出場所	-		
主要寸法	呼び径	mm	
	のど部の径	mm	
	弁座口の径	mm	
	リフト	mm	
主要材料	弁箱	-	
駆動方法		-	
個数		-	
取付箇所	系統名(ライン名)	-	水素掃気用 安全圧縮空気系
	設置床	-	前処理建屋 T. S. M. L. m
	溢水防護上の区画番号	-	-
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-
	化学薬品防護上の区画番号	-	-
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

		変更前	変更後
名称			安全弁*2 ()
種類	-		非平衡型
吹出圧力	MPa		
吹出量	kg/h/個		
吹出場所	-		
主要寸法	呼び径	mm	
	のど部の径	mm	
	弁座口の径	mm	
	リフト	mm	
主要材料	弁箱	-	
駆動方法		-	
個数		-	
取付箇所	系統名(ライン名)	-	計測制御用 安全圧縮空気系
	設置床	-	前処理建屋 T. S. M. L. m
	溢水防護上の区画番号	-	-
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-
	化学薬品防護上の区画番号	-	-
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

(4) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	主要 材料
安全圧縮空気系	安全空気圧縮装置 ()										
	～										
	安全空気脱湿装置 ()										
	安全空気圧縮装置 () * ²										
	出口配管 () 分岐点										
	～										
	水素掃気用空気貯槽 ()										
	水素掃気用空気貯槽 () * ³										
～											
弁 ()											
水素掃気用空気貯槽 () * ⁴											
～											
弁 ()											
水素掃気用空気貯槽 () * ⁵											
出口配管 () 分岐点											
～											
弁 ()											
水素掃気用空気貯槽 () * ⁶											
～											
弁 ()											
安全空気脱湿装置 ()											
～											
計測制御用空気貯槽 ()											

変更なし

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
安全 圧縮 空気系	計測制御用空気貯槽 () *7 ～ 計測制御用空気貯槽 () 出口配管 () 分岐点										
	計測制御用空気貯槽 () *8 出口配管 () 分岐点 ～ 弁 ()										
	計測制御用空気貯槽 () *9 出口配管 () 分岐点 ～ 弁 ()										
	計測制御用空気貯槽 () *10 出口配管 () 分岐点 ～ 弁 ()										
						変更なし					

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
安全 圧縮 空気 系	安全冷却水冷却塔() *11	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	出口配管()分岐点										
	～										
	安全圧縮空気装置()										
	安全圧縮空気装置() *11										
	～										
安全圧縮空気装置()											
出口配管()合流点											
安全冷却水冷却塔() *11	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
出口配管()分岐点											
～											
安全圧縮空気装置()											
安全圧縮空気装置() *11											
～											
安全圧縮空気装置()											
出口配管()合流点											
						変更なし					

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
安全圧縮空気系	水素掃気用空気貯槽 ()										
	～ 2885及び1285安全圧縮空気系										
	安全空気圧縮装置 ()への 安全冷却水系										
	安全空気圧縮装置 ()										
	～ かくはん用空気貯槽 ()										
	安全空気脱湿装置 ()まわり										
計測制御用空気貯槽 ()まわり											
水素掃気用空気貯槽 ()まわり											

注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「安全空気圧縮装置出口配管～水素掃気用空気貯槽()」と記載。

* 3 : 記載の適正化を行う。既設工認には「水素掃気用空気貯槽()～ , 及び 安全圧縮空気系」, 「前処理建屋の安全圧縮空気系(水素掃気用空気)～精製建屋, ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の安全圧縮空気系」, 「洞道の安全圧縮空気系(水素掃気用空気)～プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備」と記載。

* 4 : 記載の適正化を行う。既設工認には「前処理建屋の安全圧縮空気系(水素掃気用空気)～精製建屋, ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の安全圧縮空気系」, 「洞道の安全圧縮空気系(水素掃気用空気)～溶液系」と記載。

* 5 : 記載の適正化を行う。既設工認には「水素掃気用空気貯槽()～ , 及び 安全圧縮空気系」, 「前処理建屋の安全圧縮空気系(水素掃気用空気)～高レベル濃縮廃液貯蔵系, 不溶解残渣廃液貯蔵系, 共用貯蔵系, 高レベル廃液ガラス固化設備」と記載。

* 6 : 記載の適正化を行う。既設工認には「水素掃気用空気貯槽()～ , 及び 安全圧縮空気系」, 「前処理建屋の安全圧縮空気系(水素掃気用空気)～分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留処理設備, 分離・分配系, 高レベル廃液濃縮系, 高レベル廃液濃縮系(長期予備)」と記載。

* 7 : 記載の適正化を行う。既設工認には「計測制御用空気貯槽()～ 及び 安全圧縮空気系」, 「前処理建屋の安全圧縮空気系(計測制御用空気)～精製建屋, ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の安全圧縮空気系」, 「洞道の安全圧縮空気系(計測制御用空気)～計測制御設備」と記載。

* 8 : 記載の適正化を行う。既設工認には「前処理建屋の安全圧縮空気系(計測制御用空気)～精製建屋, ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の安全圧縮空気系」, 「洞道の安全圧縮空気系(計測制御用空気)～計測制御設備」と記載。

* 9 : 記載の適正化を行う。既設工認には「計測制御用空気貯槽()～ 及び 安全圧縮空気系」, 「前処理建屋の安全圧縮空気系(計測制御用空気)～計測制御設備」()と記載。

* 10 : 記載の適正化を行う。既設工認には「計測制御用空気貯槽()～ 及び 安全圧縮空気系」, 「前処理建屋の安全圧縮空気系(計測制御用空気)～計測制御設備」()と記載。

* 11 : 記載の適正化を行う。既設工認には「安全空気圧縮装置()への安全冷却水系」と記載。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	水素掃気用空気貯槽出口配管分岐点～弁 () *3	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	水素掃気用空気貯槽出口配管分岐点～弁 () *6	変更なし				
	弁 ()～溶解設備及び清澄・計量設備供給配管分岐点*3					弁 ()～溶解設備及び清澄・計量設備供給配管分岐点*14	変更なし				
	溶解設備及び清澄・計量設備供給配管分岐点～溶解設備及び清澄・計量設備供給配管*3					溶解設備及び清澄・計量設備供給配管分岐点～溶解設備及び清澄・計量設備供給配管*4	変更なし				
	溶解設備及び清澄・計量設備供給配管 ()～溶解設備供給配管*3					溶解設備及び清澄・計量設備供給配管 ()～溶解設備供給配管*6	変更なし				
	溶解設備供給配管 ()～弁 () *5					変更なし					
	溶解設備供給配管 ()～弁 () *5					溶解設備供給配管 ()～弁 () *6	変更なし				

変更前						変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料			
安全圧縮空気系	水素掃気用空気貯槽 () ~ 溶解設備及び清澄・計量設備													
	計測制御用空気貯槽出口配管分岐点 ~ 計測制御用空気貯槽出口配管 () *16													
	計測制御用空気貯槽出口配管 () ~ 弁 () *21													
	計測制御用空気貯槽出口配管 () ~ 計測制御用空気貯槽出口配管 () *16													
	計測制御用空気貯槽出口配管 () ~ 計測制御用空気貯槽出口配管 () *16													

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全圧縮空気系	計測制御用空気貯槽出口配管 () ~ 計測制御設備 *22						計測制御用空気貯槽出口配管 () ~ 計測制御設備 *20	変更なし				
	計測制御用空気貯槽出口配管 ~ 計測制御設備						変更なし					

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
安全 圧縮 空気 系	清澄・計量設備供給配管 () ~ 代替安全圧縮 空気系供給配管分岐部 () *5	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	清澄・計量設備供給配管 () ~ 代替安全圧縮空 気系供給配管分岐部 () *4	変更なし				
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部 () ~ 代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部 () *5					変更なし					
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部 () *5					変更なし					
	清澄・計量設備供給配管 () ~ *5					変更なし					
	清澄・計量設備供給配管 () *5					変更なし					
	清澄・計量設備供給配管 () ~ 代替安全圧縮 空気系供給配管分岐部 () *5					変更なし					
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部 () ~ 代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部 () *5					変更なし					
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部 () *5					変更なし					
安全 圧縮 空気 系	清澄・計量設備供給配管 () ~ 代替安全圧縮 空気系供給配管分岐部 () *5	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	清澄・計量設備供給配管 () ~ 代替安全圧縮空 気系供給配管分岐部 () *4	変更なし				
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部 () ~ 代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部 () *5					変更なし					
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部 () *5					変更なし					
	清澄・計量設備供給配管 () ~ *5					変更なし					
	清澄・計量設備供給配管 () *5					変更なし					
	清澄・計量設備供給配管 () ~ 代替安全圧縮 空気系供給配管分岐部 () *5					変更なし					
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部 () ~ 代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部 () *5					変更なし					
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部 () *5					変更なし					

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
安全 圧 縮 空 気 系	清澄・計量設備供給配管())～代替安全圧縮 空気系供給配管分岐部()) *5	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	清澄・計量設備供給配管())～代替安全圧縮空 気系供給配管分岐部()) *4	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部()～代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部()) *5					[Redacted]					
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部() *5						代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部() *4	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
	清澄・計量設備供給配管())～代替安全圧縮 空気系供給配管分岐部()) *5					清澄・計量設備供給配管())～代替安全圧縮空 気系供給配管分岐部()) *4	[Redacted]				
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部()～代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部()) *5					代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部() *4		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部() *5					清澄・計量設備供給配管())-代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部()) *5	[Redacted]				
	清澄・計量設備供給配管())-代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部()) *5					清澄・計量設備供給配管())-代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部()) *4		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部()～代替安全 圧縮空気系供給配管分岐部()) *5					代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部() *4	[Redacted]				
代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部() *5	代替安全圧縮空気系供給配管分 岐部() *4	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし						

変更前						変更後								
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料			
安全 圧縮 空気 系	代替安全圧縮空気系供給配管分岐部 (██████████) *5	██████████	██████████	██████████	██████████	代替安全圧縮空気系供給配管分岐部 (██████████) *4	██████████	██████████	██████████	██████████	変更なし			
	清澄・計量設備供給配管 (██████████) - 代替安全圧縮空気系供給配管分岐部 (██████████) *5					清澄・計量設備供給配管 (██████████) - 代替安全圧縮空気系供給配管分岐部 (██████████) *4					変更なし			
	代替安全圧縮空気系供給配管分岐部 (██████████) ~ 代替安全圧縮空気系供給配管分岐部 (██████████) *5					変更なし								
	代替安全圧縮空気系供給配管分岐部 (██████████) *5					代替安全圧縮空気系供給配管分岐部 (██████████) *4					変更なし			

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認には「最高使用圧力(MPa)」に「██████████)」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「水素掃気用空気貯槽出口配管～溶解設備及び清澄・計量設備」と記載。

*4：その他再処理設備の附属施設のうち動力装置及び非常用動力装置のうち圧縮空気設備のうち代替安全圧縮空気系と兼用する。

*5：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「水素掃気用空気貯槽 (██████████)～溶解設備及び清澄・計量設備」と記載。

*6：その他再処理設備の附属施設のうち動力装置及び非常用動力装置のうち圧縮空気設備のうち臨界事故時水素掃気系と兼用する。

*7：本設備は設計基準対象施設及び重大事故等対処施設として使用しないため本申請により手続き対象外とする。

*12：再処理設備本体のうち溶解施設のうち溶解設備のうち代替可溶性中性子吸収材緊急供給系、放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち動力装置及び非常用動力装置のうち圧縮空気設備のうち臨界事故時水素掃気系と兼用する。

*14：その他再処理設備の附属施設のうち動力装置及び非常用動力装置のうち圧縮空気設備のうち代替安全圧縮空気系並びにその他再処理設備の附属施設のうち動力装置及び非常用動力装置のうち圧縮空気設備のうち臨界事故時水素掃気系と兼用する。

*16：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「計測制御用空気貯槽出口配管～計測制御設備」と記載。

*17：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備並びにその他再処理設備の附属施設のうち動力装置及び非常用動力装置のうち圧縮空気設備のうち臨界事故時水素掃気系と兼用する。

*18：再処理設備本体のうち溶解施設のうち溶解設備のうち代替可溶性中性子吸収材緊急供給系と兼用する。

*19：再処理設備本体のうち溶解施設のうち溶解設備のうち代替可溶性中性子吸収材緊急供給系及び放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。

*20：放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。

*21：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「計測制御用空気貯槽 (██████████)～計測制御設備」と記載。

*22：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「計測制御用空気貯槽出口配管～計測制御設備」及び「計測制御用空気貯槽()～計測制御設備」と記載。

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全圧縮空気系	弁()～分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留処理設備, 分離・分配系及び高レベル廃液濃縮系 ヘッド部 () () *3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全圧縮空気系	弁()～分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留処理設備, 分離・分配系及び高レベル廃液濃縮系 ヘッド部 () () *2	変更なし				
								変更なし				
								変更なし				
						安全圧縮空気系	弁()～分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留処理設備, 分離・分配系及び高レベル廃液濃縮系 ヘッド部 () () *2	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留 処理設備, 分離・分配系及び高レベル 廃液濃縮系ヘッド部分岐点 ~分配設備及び分離・分配系ヘッド部 () *3					変更なし					
	分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留 処理設備, 分離・分配系及び高レベル 廃液濃縮系ヘッド部分岐点 ~分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部 () *3					変更なし					
	分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留 処理設備, 分離・分配系及び高レベル 廃液濃縮系ヘッド部分岐点 ~高レベル廃液濃縮系ヘッド部 () *3					変更なし					
	分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留 処理設備, 分離・分配系及び高レベル 廃液濃縮系ヘッド部分岐点 ~分離設備及び分配設備ヘッド部 () *3					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全圧縮空気系						安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留 処理設備, 分離・分配系及び高レベル廃 液濃縮系ヘッド部分岐点～分離設備ヘ ッド部 () *3	変更なし				
							分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留 処理設備, 分離・分配系及び高レベル廃 液濃縮系ヘッド部分岐点～分離建屋一時貯 留処理設備ヘッド部 () *3					
						安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留 処理設備, 分離・分配系及び高レベル廃 液濃縮系ヘッド部分岐点～分離設備, 分 配設備及び分離建屋一時貯留処理設備 ヘッド部 () *3	変更なし				
							弁 () ~ 弁 () () *4					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	分離設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *5	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全圧縮空気系	分離設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *2	変更なし			
	分離設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *6						分離設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *2	変更なし			
	分離設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *7					変更なし					
	分離設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *8					変更なし					
	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時 貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *9					安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時 貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *2	変更なし			
	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時 貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *10						分離設備, 分配設備及び分離建屋一時 貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *2	変更なし			

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時 貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *11	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時 貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *2	変更なし			
	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時 貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *12						分離設備, 分配設備及び分離建屋一時 貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *2	変更なし			
	分離設備及び分配設備ヘッド部分岐 点～弁 () *13					変更なし					
	分離設備及び分配設備ヘッド部分岐 点～弁 () *14					変更なし					
	分離設備及び分配設備ヘッド部分岐 点～弁 () *15					変更なし					
	分離設備及び分配設備ヘッド部分岐 点～弁 () *16					変更なし					
	分配設備及び分離・分配系ヘッド部 分岐点～弁 () *17					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *18	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点～ 弁 () *2	変更なし				
	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点～ 弁 () *2						変更なし					
	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *20					変更なし						
	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *21					変更なし						
	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *22					変更なし						
	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点 ～弁 () *23					変更なし						

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全圧縮空気系	[Redacted]					安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点～弁 ([Redacted]) *24	変更なし				
							分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点～弁 ([Redacted]) *25	変更なし				
							分離設備, 分配設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点～弁 ([Redacted]) *26	変更なし				
						分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点～弁 ([Redacted]) *27	変更なし					
						分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点～弁 ([Redacted]) *28	変更なし					
						分離建屋一時貯留処理設備ヘッド部分岐点～弁 ([Redacted]) *29	変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	分配設備及び分離・分配系ヘッダ部分岐点～弁 () *30					変更なし					
	高レベル廃液濃縮系ヘッダ部分岐点～弁 () *31					変更なし					
	分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留処理設備, 分離・分配系及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部分岐点～弁 () *32					安全圧縮空気系	分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留処理設備, 分離・分配系及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部分岐点～弁 () *2				
							変更なし				
変更なし											

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 当該ラインは、代替安全圧縮空気系と兼用。

*3: 記載の適正化を行う。

*4: 記載の適正化を行う

*5: 記載の適正化を行う

*6: 記載の適正化を行う

*7: 記載の適正化を行う

*8: 記載の適正化を行う

*9: 記載の適正化を行う

*10: 記載の適正化を行う

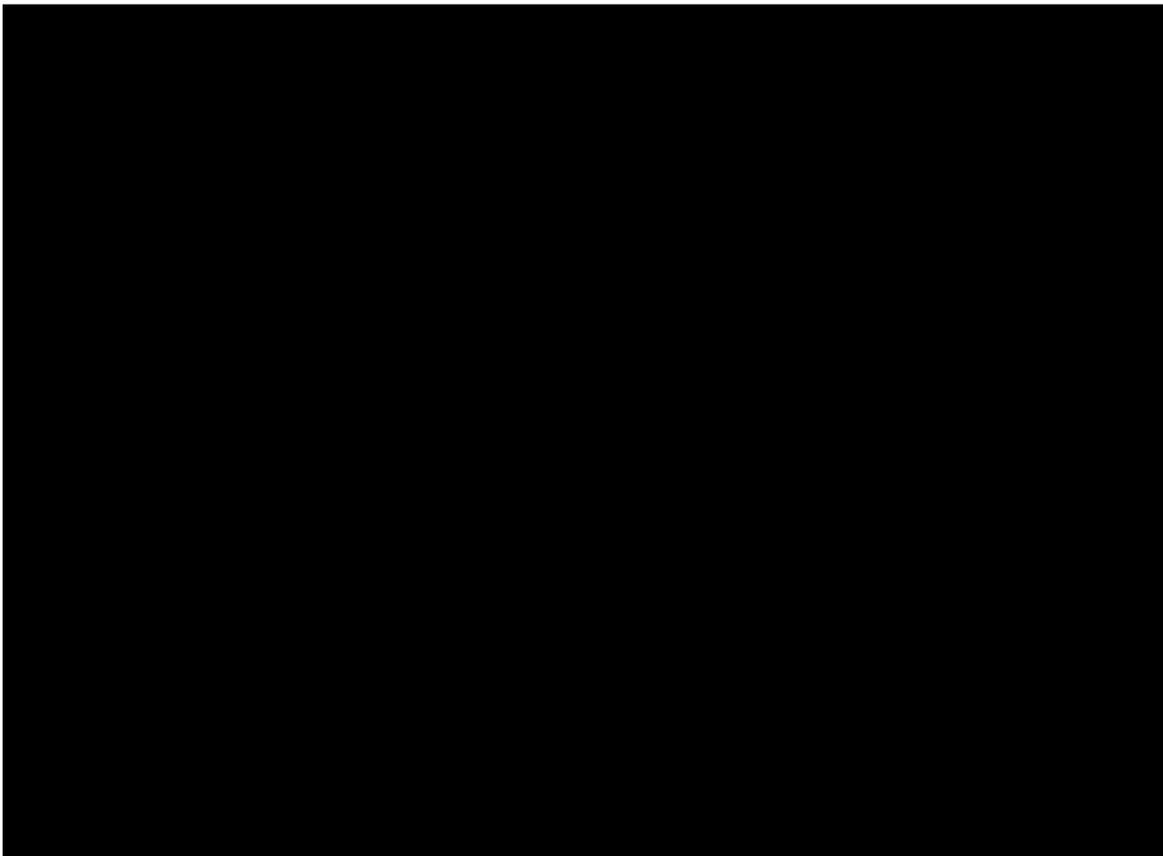
*11: 記載の適正化を行う

*12: 記載の適正化を行う

*13: 記載の適正化を行う

(つづき)

- *14：記載の適正化を行う
- *15：記載の適正化を行う
- *16：記載の適正化を行う
- *17：記載の適正化を行う
- *18：記載の適正化を行う
- *19：記載の適正化を行う
- *20：記載の適正化を行う
- *21：記載の適正化を行う
- *22：記載の適正化を行う
- *23：記載の適正化を行う
- *24：記載の適正化を行う
- *25：記載の適正化を行う
- *26：記載の適正化を行う
- *27：記載の適正化を行う
- *28：記載の適正化を行う
- *29：記載の適正化を行う
- *30：記載の適正化を行う
- *31：記載の適正化を行う
- *32：記載の適正化を行う



変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	洞道の安全圧縮空気系 (水素掃気用空気) ~ 迅速流体継手接続口 ■■■■ 入口配管合流点*6	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	洞道の安全圧縮空気系 (水素掃気用空気) ~ 迅速流体継手接続口 ■■■■ 入口配管合流点*3	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	変更なし
	迅速流体継手接続口 ■■■■ 入口配管合流点 ~ プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ*6					迅速流体継手接続口 ■■■■ 入口配管合流点 ~ プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ*2*3					変更なし
	プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点 ~ プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ*6					プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点 ~ プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ*2					変更なし
	プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点 ~ プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ*6										変更なし
	洞道の安全圧縮空気系 (計測制御用空気) ~ 計測制御設備										変更なし
	洞道の安全圧縮空気系 (計測制御用空気) ~ 計測制御設備					洞道の安全圧縮空気系 (計測制御用空気) ~ 計測制御設備*5					変更なし
安全圧縮空気系						安全圧縮空気系					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *7	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *7	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
	プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *8					プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *8					変更なし
	プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *9					プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *9					変更なし
	プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *10					プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *10					変更なし
	プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *11					プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *2					変更なし
	プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *12					プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *2					変更なし
	プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *13					プルトニウム精製設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *2					変更なし
	プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *14					プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 *2					変更なし
	プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 出口配管合流点*15					プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 出口配管合流点*2					変更なし
	迅速流体継手接続口 出口配管合流点～弁 *15					迅速流体継手接続口 出口配管合流点～弁 *2*4					変更なし *31
プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 出口配管合流点*16	プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 出口配管合流点*2	変更なし									

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点～弁 ■ *16					迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点～弁 ■ *2*4	変更なし ■ *31	変更なし ■ *31	変更なし		
	プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点 *17					変更なし					
	迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点～弁 ■ *17					変更なし ■ *31	変更なし ■ *31	変更なし			
	プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点 *18					変更なし					
	迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点～弁 ■ *18					変更なし ■ *31	変更なし ■ *31	変更なし			
	プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点 *19					変更なし					
	迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点～弁 ■ *19					変更なし ■ *31	変更なし ■ *31	変更なし			
	プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 ■ *20					変更なし					
プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点 *21	変更なし										
安全圧縮空気系						迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点～弁 ■ *2*4	変更なし ■ *31	変更なし ■ *31	変更なし		
						プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点 *2	■	■	■	■	■
						迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点～弁 ■ *2*4	変更なし ■ *31	変更なし ■ *31	変更なし		
						プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～弁 ■ *2*3	変更なし				
						プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ■ 出口配管合流点 *2	■	■	■	■	■

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	迅速流体継手接続口 出口配管合流点～弁 *21	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	迅速流体継手接続口 出口配管合流点～弁 *2*4	変更なし *31	変更なし *31	変更なし		
	プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 出口配管合流点*22					変更なし					
	迅速流体継手接続口 出口配管合流点～弁 *22					変更なし *31	変更なし *31	変更なし			
	プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 出口配管合流点*23					変更なし					
	迅速流体継手接続口 出口配管合流点～弁 *23					変更なし *31	変更なし *31	変更なし			
	プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 出口配管合流点*24					変更なし					
	迅速流体継手接続口 出口配管合流点～弁 *24					変更なし *31	変更なし *31	変更なし			
	プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 出口配管合流点*25					変更なし					
迅速流体継手接続口 出口配管合流点～弁 *25	変更なし *31	変更なし *31	変更なし								

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点~迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■ 出口配管合流点*26					プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点~迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■ 出口配管合流点*2	変更なし				
	迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■ 出口配管合流点~弁■■■■■■■■■■*26					変更なし ■■■■*31	変更なし ■*31	変更なし			
	プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点~迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■ 出口配管合流点*27					変更なし					
	迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■ 出口配管合流点~弁■■■■■■■■■■*27					変更なし ■■■■*31	変更なし ■*31	変更なし			
	プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点~迅速流体継手■■■■■■■■■■ 出口配管合流点*28					変更なし					
	迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■ 出口配管合流点~弁■■■■■■■■■■*28					変更なし ■■■■*31	変更なし ■*31	変更なし			
	プラチウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ分岐点~弁■■■■■■■■■■*29					変更なし					
安全圧縮空気系						迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■ 出口配管合流点~弁■■■■■■■■■■*4	変更なし ■■■■*31	変更なし ■*31	変更なし		
						5-■■■■■■■■■■*4	変更なし				

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：その他再処理施設の附属施設のうち、圧縮空気設備のうち代替安全圧縮空気系と兼用する。
 - *3：その他再処理施設の附属施設のうち、圧縮空気設備のうち臨界事故時水素掃気系と兼用する。
 - *4：その他再処理施設の附属施設のうち、冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。
 - *5：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄物の廃棄施設のうち廃ガス貯留設備と兼用する。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *21：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *22：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *23：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *24：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *25：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *26：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *27：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *28：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *29：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *30：記載の適正化を行う。既設工認申請書には
 - *31：重大事故等時における使用時の値。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*3	厚さ (mm)*3	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*3	厚さ (mm)*3	材料
安全圧縮空気系	溶液系入口配管分岐点～迅速流体継手 () 入口配管合流点*7	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	溶液系入口配管分岐点～迅速流体継手 () 入口配管合流点*1	変更なし				
	迅速流体継手 () 入口配管合流点～弁 () *7					変更なし	変更なし	変更なし			
	溶液系入口配管分岐点～迅速流体継手 () 入口配管合流点*6					変更なし					
	迅速流体継手 () 入口配管合流点～弁 () *6					変更なし	変更なし	変更なし			
	迅速流体継手 () 入口配管合流点～弁 () *6					変更なし	変更なし	変更なし			
	溶液系入口配管分岐点～迅速流体継手 () 入口配管合流点*5					変更なし					
	迅速流体継手 () 入口配管合流点～弁 () *5					変更なし	変更なし	変更なし			
	計測制御用空気貯槽 () 出口配管 () 分岐点～計測制御設備*10					変更なし					
	水素掃気用空気貯槽 () 出口配管 () 分岐点～圧縮空気ポンベ入口配管合流点*4					変更なし					
	圧縮空気ポンベ入口配管合流点～溶液系入口配管分岐点*4					変更なし*1					
安全圧縮空気系	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	溶液系入口配管分岐点～迅速流体継手 () 入口配管合流点*1	変更なし				
						迅速流体継手 () 入口配管合流点～弁 () *2	変更なし	変更なし	変更なし		
						溶液系入口配管分岐点～迅速流体継手 () 入口配管合流点*1	変更なし				
						迅速流体継手 () 入口配管合流点～弁 () *2	変更なし	変更なし	変更なし		
						迅速流体継手 () 入口配管合流点～弁 () *2	変更なし	変更なし	変更なし		
						溶液系入口配管分岐点～迅速流体継手 () 入口配管合流点*1	変更なし				
						迅速流体継手 () 入口配管合流点～弁 () *2	変更なし	変更なし	変更なし		
						変更なし					
						変更なし					
						変更なし*1					

- *1：脱硝施設のうち、代替安全冷却水系設備と兼用。
- *2：脱硝施設のうち、代替安全圧縮空気系、代替安全冷却水系設備と兼用。
- *3：公称値を示す。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「洞道の安全圧縮空気系(水素掃気用)～溶液系」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「硝酸プルトニウム貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「混合槽 A, B()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「一時貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「 」と記載。
- *9：重大事故時における使用時の値。
- *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「洞道の安全圧縮空気系(計測制御用空気)～計測制御設備」と記載。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	前処理建屋の安全圧縮空気系（水素掃気用空気）～迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点*4					変更なし					
	迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～水素掃気用空気配管ヘッド*4					迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～水素掃気用空気配管ヘッド*2 変更なし					
	前処理建屋の安全圧縮空気系（水素掃気用空気）出口配管分岐点～不溶解残渣廃液貯蔵系*4					変更なし					
	前処理建屋の安全圧縮空気系（計測制御用空気）～計測制御設備					変更なし					
	前処理建屋の安全圧縮空気系（水素掃気用空気）～高レベル濃縮廃液貯蔵系，不溶解残渣廃液貯蔵系，共用貯槽系，高レベル廃液ガラス固化設備					—*14					
	前処理建屋の安全圧縮空気系（水素掃気用空気）出口配管分岐点～高レベル廃液ガラス固化設備の流下停止系*5					変更なし					
						安全圧縮空気系					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～高レベル廃液混合槽()かくはん用空気配管分岐点*6	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～高レベル廃液混合槽()かくはん用空気配管分岐点*2	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
	高レベル廃液混合槽()かくはん用空気配管分岐点～迅速流体継手接続口()出口配管合流点*6					変更なし					
	迅速流体継手接続口()出口配管合流点～高レベル廃液混合槽()*6					迅速流体継手接続口()出口配管合流点～高レベル廃液混合槽()*2*3					変更なし
	水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～高レベル廃液混合槽()かくはん用空気配管分岐点*7					水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～高レベル廃液混合槽()かくはん用空気配管分岐点*2					変更なし
	高レベル廃液混合槽()かくはん用空気配管分岐点～迅速流体継手接続口()出口配管合流点*7					変更なし					
	迅速流体継手接続口()出口配管合流点～高レベル廃液混合槽()*7					迅速流体継手接続口()出口配管合流点～高レベル廃液混合槽()*2*3					変更なし
	水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～供給液槽()かくはん用空気配管分岐点*8					水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～供給液槽()かくはん用空気配管分岐点*2					変更なし
安全圧縮空気系						安全圧縮空気系					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全圧縮空気系	供給液槽 () かくはん用空気配管分岐点～迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点*8					安全圧縮空気系	変更なし					
	迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～供給液槽 () *8						迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～供給液槽 () *2*3					変更なし
	水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～供給液槽 () かくはん用空気配管分岐点*9						水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～供給液槽 () かくはん用空気配管分岐点*2					変更なし
	供給液槽 () かくはん用空気配管分岐点～迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点*9						変更なし					
	迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～供給液槽 () *9						迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～供給液槽 () *2*3					変更なし
	水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～供給液槽 () かくはん用空気配管分岐点*10						水素掃気用空気配管ヘッダ分岐点～供給液槽 () かくはん用空気配管分岐点*2					変更なし
	供給液槽 () かくはん用空気配管分岐点～迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点*10						変更なし					
	迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～供給液槽 () *10						迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～供給液槽 () *2*3					変更なし

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全圧縮空気系	水素掃気用空気配管ヘッダ 分岐点～供給槽 () かくはん用空気配管分岐点 *11	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	水素掃気用空気配管ヘッダ 分岐点～供給槽 () かくはん用空気配管分岐点 *2	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
	供給槽 ()かくはん 用空気配管分岐点～迅速流 体継手接続口 () 出口配管合流点*11					変更なし					
	迅速流体継手接続口 () ()出口配管合流点～供 給槽 ()*11					迅速流体継手接続口 () ()出口配管合流点～供 給槽 ()*2*3					変更なし

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：代替安全圧縮空気系と兼用する。
 - *3：安全冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。
 - *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「前処理建屋の安全圧縮空気系（水素掃気用空気）～高レベル濃縮廃液貯蔵系，不溶解残渣廃液貯蔵系，共用貯槽系，高レベル廃液ガラス固化設備」と記載。
 - *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液ガラス固化建屋の安全圧縮空気系(水素掃気用空気)～高レベル廃液ガラス固化設備，高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理設備，高レベル廃液ガラス固化建屋換気設備」と記載。
 - *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽A ()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液混合槽B ()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
 - *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給液槽A ()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
 - *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽A ()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
 - *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給液槽B ()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
 - *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「供給槽B ()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
 - *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 」と記載。記載内容は，SI単位のみを示す。
 - *13：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *14：当該ラインについては，主配管に該当しないため，記載の適正化を行う。

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
安全 圧縮 空気 系	[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*2					[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*3	変更なし				
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*2					変更なし					
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*2					[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*3*4	[Redacted]		変更なし		
	[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*6					[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*3	変更なし				
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*6					変更なし					
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*6					[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*3*4	[Redacted]		変更なし		
	[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*7					[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*3	変更なし				
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*7					変更なし					
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*7					[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*3*4	[Redacted]		変更なし		
安全 圧縮 空気 系	[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*2					[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*3	変更なし				
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*2					変更なし					
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*2					[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*3*4	[Redacted]		変更なし		
	[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*6					[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*3	変更なし				
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*6					変更なし					
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*6					[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*3*4	[Redacted]		変更なし		
	[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*7					[Redacted] 出口分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*3	変更なし				
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ [Redacted] 出口配管 分岐点*7					変更なし					
	[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*7					[Redacted] 出口配管 分岐点 ～ 弁 ([Redacted])*3*4	[Redacted]		変更なし		

(つづき)

変更前						変更後										
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料					
安全圧縮空気系	[Redacted]					名称	[Redacted]									
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
安全圧縮空気系	[Redacted]					名称	[Redacted]									
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				
						名称						変更なし				

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *3：その他再処理設備の附属施設の安全圧縮空気設備の代替安全圧縮空気系と兼用する。
- *4：その他再処理設備の附属施設の安全冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。
- *5：重大事故時における使用時の値を示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液一時貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2高レベル濃縮廃液一時貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1不溶解残渣廃液一時貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2不溶解残渣廃液一時貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1不溶解残渣廃液貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第2不溶解残渣廃液貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。
- *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「高レベル廃液共用貯槽()への水素掃気用安全圧縮空気」と記載。

(5) 機械装置

				変更前	変更後
名称				安全空気脱湿装置 (XXXXXXXXXX)	変更なし
種類		—		たて置円筒形	
臨界管理	核的制限値	プルトニウム最大濃度	$g \cdot Pu/l$	—	
容量			$m^3/h/個$ [normal]		
最高使用圧力			MPa		
最高使用温度			°C		
主要寸法	胴内径		mm		
	胴板厚さ		mm		
	鏡板厚さ		mm		
	鏡板長径		mm		
	鏡板短径		mm		
	入口管台外径		mm		
	入口管台厚さ		mm		
	出口管台外径		mm		
	出口管台厚さ		mm		
高さ		mm			
主要材料	胴板		—		
	鏡板		—		
	マンホール平板		—		
個数			—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	安全圧縮空気系	
	設置床		—	XXXXXXXXXX T. S. M. L. XXXX m	
	溢水防護上の区画番号		—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	
	化学薬品防護上の区画番号		—	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	

- 注記 * 1 : 公称値を示す。
- * 2 : 重大事故時等における使用時の値を示す。
- * 3 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

1.1.2.2 代替安全圧縮空気系

- ・常設
(1) 容器

			変更前	変更後
名称			—	圧縮空気自動供給貯槽 (XXXXXXXXXX)
種類		—		横置円筒形
容量		m ³ /個		
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	胴内径	mm		
	胴板厚さ	mm		
	鏡板厚さ	mm		
	長径	mm		
	短径の2分の1	mm		
	全長	mm		
	高さ	mm		
	入口管台外径	mm		
	入口管台厚さ	mm		
	出口管台外径	mm		
	出口管台厚さ	mm		
	連絡管台外径	mm		
	連絡管台厚さ	mm		
主要材料	鏡板	—		
	胴板	—		
個数		—	3	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	代替安全圧縮空気系
	設置床	—		<div style="background-color: black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> T. M. S. L. <div style="background-color: black; width: 40px; height: 15px; display: inline-block;"></div> m
	溢水防護上 区画番号	—	— *2	—
	溢水防護上の 配慮が 必要な高さ	—	— *2	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *3	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称				機器圧縮空気 自動供給ユニット ポンペ
種類		—		一般継目なし鋼製容器
容量		l/個		46.7以上(46.7* ¹)
最高使用圧力		MPa		14.7* ³
最高使用温度		℃		40.0* ³
主要寸法	外径	mm	—	232* ¹
	高さ	mm		1365* ¹
	胴部厚さ	mm		5.0(6.0* ¹)
	底部厚さ	mm		10.0(10.0以上* ¹)
主要材料		—		マンガン鋼
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	—* ²	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—* ²	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■m

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	圧縮空気 手動供給ユニット ポンベ
種類		—		一般継目なし鋼製容器
容量		1/個		46.7以上(46.7 ^{*1})
最高使用圧力		MPa		14.7 ^{*3}
最高使用温度		℃		40.0 ^{*3}
主要寸法	外径	mm		232 ^{*1}
	高さ	mm		1365 ^{*1}
	胴部厚さ	mm		5.0(6.0 ^{*1})
	底部厚さ	mm		10.0(10.0以上 ^{*1})
主要材料		—		マンガン鋼
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		— ^{*2}
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— ^{*2}	
	化学薬品防護上の区画番号	—	■■■■■	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■ m

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：重大事故等時における使用時の値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	圧縮空気自動供給貯槽 ()	
種類	—	—	たて置円筒形	
容量	m ³ /個	—	[REDACTED]	
最高使用圧力	MPa	—		
最高使用温度	℃	—		
主要寸法	胴内径	mm		—
	胴板厚さ	mm		—
	鏡板厚さ	mm		—
	鏡板中央部内半径	mm		—
	鏡板隅の丸み半径	mm		—
	空気出口管台外径 ^{*2*3}	mm		—
	空気出口管台厚さ ^{*2*3}	mm		—
	点検口管台外径 ^{*4*5}	mm		—
	点検口管台厚さ ^{*4*5}	mm		—
	点検口平板厚さ ^{*4*5}	mm		—
高さ	mm	—		
主要材料	鏡板	—	—	
	胴板	—	—	
	点検口平板	—	—	
個数		—	2	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	代替安全圧縮空気系
	設置床	—	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— *6	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *6	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-4図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*3：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-5図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*4：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-4図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*5：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-5図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*7：重大事故等時における使用時の値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	圧縮空気自動供給貯槽 ()	
種類	—	—	たて置円筒形	
容量	m ³ /個	—	[REDACTED]	
最高使用圧力	MPa	—		
最高使用温度	℃	—		
主要寸法	胴内径	mm		—
	胴板厚さ	mm		—
	鏡板厚さ	mm		—
	鏡板中央部内半径	mm		—
	鏡板隅の丸み半径	mm		—
	空気出口管台外径 *2*3*4	mm		—
	空気出口管台厚さ *2*3*4	mm		—
	点検口管台外径 *5*6*7	mm		—
	点検口管台厚さ *5*6*7	mm		—
	点検口平板厚さ *5*6*7	mm		—
高さ	mm	—		
主要材料	鏡板	—	—	
	胴板	—	—	
	点検口平板	—	—	
個数		—	3	

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	代替安全圧縮空気系
	設置床	—	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— *8	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *8	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-6図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*3：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-7図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*4：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-8図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P3」を示す。

*5：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-6図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*6：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-7図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*7：記載内容は、添付図面「第2.5.7.1.2.3-8図 圧縮空気自動供給貯槽 (■■■■■)の構造図 管台一覧表 P1」を示す。

*8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*9：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称				機器圧縮空気自動供給 ユニットボンベ () *3
種類		—		一般継目なし鋼製容器
容量		L/個		
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	外径	mm	—	
	高さ	mm		
	胴板厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
材料		—		
個数		—		10
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		T. M. S. L. m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：圧縮空気手動供給ユニットの構成品の一部である。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称				圧縮空気手動供給 ユニットポンベ () *3
種類		—		一般継目なし鋼製容器
容量		L/個		
最高使用圧力		MPa		
最高使用温度		℃		
主要寸法	外径	mm	—	
	高さ	mm		
	胴板厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		14
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		T. M. S. L. m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：圧縮空気手動供給ユニットの構成品の一部である。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称				圧縮空気手動供給 ユニットボンベ*3
種類		—		一般継目なし鋼製容器
容量		1/個		46.7(46.7*1)
最高使用圧力		MPa		14.7*4
最高使用温度		℃		40*4
主要寸法	胴外径	mm	—	232*1
	胴部厚さ	mm		5(6*1)
	底部厚さ	mm		10(10*1)
	高さ	mm		1365*1
主要材料		—		マンガン鋼
個数		—		7
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■ m

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：圧縮空気手動供給ユニットの構成品の一部である。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称				圧縮空気自動供給 ユニットボンベ*3
種類		—		一般継目なし鋼製容器
容量		1/個		46.7(46.7*1)
最高使用圧力		MPa		14.7*4
最高使用温度		℃		40*4
主要寸法	胴外径	mm	—	232*1
	胴部厚さ	mm		5(6*1)
	底部厚さ	mm		10(10*1)
	高さ	mm		1365*1
主要材料		—		マンガン鋼
個数		—		3
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称				機器圧縮空気自動供給 ユニットボンベ*3
種類		—		一般継目なし鋼製容器
容量		1/個		46.7(46.7*1)
最高使用圧力		MPa		14.7*4
最高使用温度		℃		40*4
主要寸法	胴外径	mm	—	232*1
	胴部厚さ	mm		5(6*1)
	底部厚さ	mm		10(10*1)
	高さ	mm		1365*1
主要材料		—		マンガン鋼
個数		—		6
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：機器圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

(2) 主要弁

			変更前	変更後	
名称			—	主要弁 (██████████)	
種類		—		止め弁	
最高使用圧力		MPa		██████████	
最高使用温度		℃			
主要寸法	呼び径	—			
	弁箱厚さ	mm			
	弁ふた厚さ	mm			
主要材料	本体	—			
	ふた	—			
駆動方法		—			
個数		—			2
取付箇所	系統名(ライン名)	—			代替安全圧縮空気系
	設置床	—		██████████ T. M. S. L. ████████ m	
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*2		
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3		
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	変更後 主要弁 (██████████)
種類		—		圧力調節弁
最高使用圧力		MPa		██████████
最高使用温度		℃		
主要寸法	呼び径	—		
	弁箱厚さ	mm		
	弁ふた厚さ	mm		
主要材料	弁箱	—		
	弁ふた	—		
	弁体	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	代替安全圧縮空気系	
	設置床	—	██████████ T. M. S. L. ████████ m	
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			—	主要弁 ()	
種類		—		圧力調節弁	
最高使用圧力		MPa		[Redacted]	
最高使用温度		℃			
主要寸法	呼び径	—			
	弁箱厚さ	mm			
	弁ふた厚さ	mm			
主要材料	弁箱	—			
	弁ふた	—			
	弁体	—			
個数		—			2
取付箇所	系統名(ライン名)	—			代替安全圧縮空気系
	設置床	—		T. M. S. L. [Redacted] m	
	溢水防護上の区画番号	—	— *2		
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *2		
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3		
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

		変更前	変更後
名称		-	主要弁 (XXXXXXXXXX)
種類	-	-	減圧弁
最高使用圧力	MPa	-	XXXXXXXXXX
最高使用温度	℃	-	
主要寸法	呼び径	-	
	弁箱厚さ	mm	
主要材料	弁箱	-	
個数		-	2
取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系
	設置床	-	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m
	溢水防護上の 区画番号	-	- *2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *2
	化学薬品防護上の 区画番号	-	- *3
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *3

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

		変更前	変更後
名称		-	主要弁 ()
種類	-	-	減圧弁
最高使用圧力	MPa	-	[Redacted]
最高使用温度	℃	-	
主要寸法	呼び径	-	
	弁箱厚さ	mm	
主要材料	弁箱	-	
個数		-	2
取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系
	設置床	-	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の 区画番号	-	- *2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *2
	化学薬品防護上の 区画番号	-	[Redacted]
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	T. M. S. L. [Redacted] m*5

注記 *1：公称値を示す

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3：重大事故等時における使用時の値を示す。

*4：接続配管の厚さを示す。

*5： [Redacted] を示す。

*6： [Redacted] を示す。

		変更前	変更後
名称		-	主要弁 (XXXXXXXXXX)
種類	-	-	減圧弁
最高使用圧力	MPa	-	XXXXXXXXXX
最高使用温度	℃	-	
主要寸法	呼び径	-	
	弁箱厚さ	mm	
主要材料	弁箱	-	
個数		-	2
取付箇所	系統名(ライン名)	-	代替安全圧縮空気系
	設置床	-	XXXXXXXXXX T. M. S. L. XXXXXX m
	溢水防護上の 区画番号	-	- *2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *2
	化学薬品防護上の 区画番号	-	- *3
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *3

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	変更後 主要弁 () *3
種類		—		止め弁
最高使用圧力		MPa		[Redacted]
最高使用温度		℃		
主要寸法	呼び径	—		
	弁箱厚さ	mm		
主要材料	弁箱	—		
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	—	— *1	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：圧縮空気手動供給ユニットの構成品の一部である。

			変更前	変更後
名称			-	変更後 主要弁 () *3
種類		-		止め弁
最高使用圧力		MPa		[Redacted]
最高使用温度		℃		
主要寸法	呼び径	-		
	弁箱厚さ	mm		
主要材料	弁箱	-		
個数		-		2
取付箇所	系統名(ライン名)	-		代替安全圧縮空気系
	設置床	-		T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	-	- *1	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *1	
	化学薬品防護上の 区画番号	-	- *2	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *2	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3：圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。

			変更前	変更後
名称			—	主要弁 () *3
種類		—		止め弁
最高使用圧力		MPa		[Redacted]
最高使用温度		℃		
主要寸法	呼び径	—		
	弁箱厚さ	mm		
主要材料	弁箱	—		
駆動方法		—		2
個数		—		
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	—	— *1	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。

			変更前	変更後
名称			-	主要弁 () *3
種類		-		止め弁
最高使用圧力		MPa		[Redacted]
最高使用温度		°C		
主要寸法	呼び径	-		
	弁箱厚さ	mm		
主要材料	弁箱	-		
個数		-		
取付箇所	系統名(ライン名)	-		代替安全圧縮空気系
	設置床	-		T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	-	- *1	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *1	
	化学薬品防護上の 区画番号	-	- *2	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	- *2	

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3: 機器圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。

			変更前	変更後
名称			—	主要弁 () *3
種類		—		止め弁
最高使用圧力		MPa		[Redacted]
最高使用温度		℃		
主要寸法	呼び径	—		
	弁箱厚さ	mm		
主要材料	弁箱	—		
駆動方法		—		2
個数		—		
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	—	— *1	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：機器圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。

(3) 安全弁及び逃がし弁

			変更前	変更後
名称			—	安全弁 [Redacted] *4
種類		—		全量式
最高使用圧力		MPa		[Redacted]
最高使用温度		℃		
吸出圧力		MPa		
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
	弁体	—		
個数		—		
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	—		— *2
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：自動減圧機能を有する。

*5：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	安全弁 [REDACTED] *4
種類		—		全量式
最高使用圧力		MPa		[REDACTED]
最高使用温度		℃		
吸出圧力		MPa		
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
	弁体	—		
個数		—		
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—		— *2
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—		— *2
	化学薬品防護上の区画番号	—		— *3
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：自動減圧機能を有する。

*5：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	安全弁 ()
種類		—		全量式
吹出圧力		MPa		[Redacted]
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—	T. M. S. L. [Redacted] m	
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

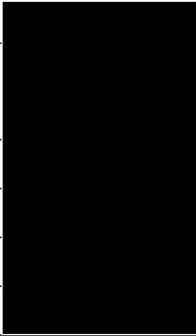
			変更前	変更後
名称			—	安全弁 ()
種類		—		全量式
吹出圧力		MPa		[Redacted]
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—	T. M. S. L. m	
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	安全弁 () *4
種類		—		全量式
吹出圧力		MPa		
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		 T. M. S. L.  m
	溢水防護上の区画番号	—		— *2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		— *2
	化学薬品防護上の 区画番号	—		— *3
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：圧縮空気手動供給ユニットの構成品の一部である。

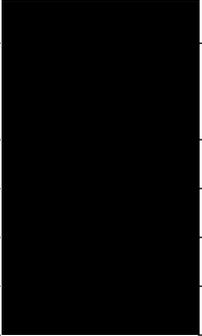
			変更前	変更後
名称			—	安全弁 () *4
種類		—		全量式
吹出圧力		MPa		[Redacted]
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	—		— *2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		— *2
	化学薬品防護上の 区画番号	—		— *3
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。

			変更前	変更後
名称			—	安全弁 ()*4
種類		—		全量式
吹出圧力		MPa		
主要寸法	呼び径	—		
	のど部の径	mm		
	弁座口の径	mm		
	リフト	mm		
主要材料	弁箱	—		
個数		—		2
取付箇所	系統名(ライン名)	—		代替安全圧縮空気系
	設置床	—		 T. M. S. L.  m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—*2
	化学薬品防護上の 区画番号	—		—*3
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：機器圧縮空気自動供給ユニットの構成品の一部である。

(4) 主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全圧縮空気系	-					代替安全圧縮空気系	迅速流体継手接続口 (■■■■)	■■■■				
							■■■■) ~ 水素掃気用空気貯槽出口配管 (■■■■)					

前処 A

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
代替 安全 圧縮 空気 系		—				■■■■■～中継槽(■■■■■)*3*4					
		—				■■■■■*3*4					
		—				■■■■■～中継槽(1131A, B-V10)*3*4					
		—				■■■■■*3*4					
		—				■■■■■～計量前中間貯槽(■■■■■)* 3*4					
		—				■■■■■*3*4					
		—				■■■■■～計量前中間貯槽(■■■■■)* 3*4					
		—				■■■■■*3*4					
	—				■■■■■～計量・調整槽(■■■■■)*3*4						
	—				■■■■■*3*4						
	—				■■■■■～計量補助槽(■■■■■)*3*4						

前処 A

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
代替 安全 圧縮 空気系		—				■■■■■ *3*4					■■■■■
		—				■■■■■ ~計量後中間貯槽 (■■■■■) * 3*4					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~中 継槽入口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~中 継槽入口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量 前中間貯槽出口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量 前中間貯槽入口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量 前中間貯槽入口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量 前中間貯槽入口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量・ 調整槽入口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量・ 調整槽入口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量 補助槽入口配管 (■■■■■)					
		—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量 補助槽入口配管 (■■■■■)					
	—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量 後中間貯槽入口配管 (■■■■■)						
	—				迅速流体継手接続口 (■■■■■) ~計量 後中間貯槽入口配管 (■■■■■)						

前処 A

(つづき)

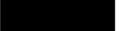
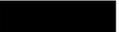
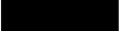
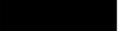
変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	配管番号	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
代替 安全 圧縮 空気系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 中継槽 () *4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量前中間貯槽 () *4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量前中間貯槽 () *3*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量前中間貯槽 () *4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量前中間貯槽 () *3*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量後中間貯槽 () *4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量後中間貯槽 () *3*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量・調整槽 () *4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量・調整槽 () *3*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量補助槽 () *4					
	—				迅速流体継手接続口 () ~ 計量補助槽 () *3*4						

注記 *1：公称値を示す。
 *2：重大事故等時における使用時の値。
 *3：その他再処理設備の附属施設のうち給水施設及び蒸気供給施設のうち冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。
 *4：本設備は既存の設備である。

前処 A

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				溶解液中間貯槽 入口配管合流点 ～溶解液中間貯槽 [REDACTED] *2*3*4					
		-				溶解液供給槽 入口配管合流点 ～溶解液供給槽 [REDACTED] *2*3*4					
		-				抽出廃液受槽 入口配管合流点 ～抽出廃液受槽 [REDACTED] *2*3*4					
		-				抽出廃液中間貯槽 入口配管合流点 ～抽出廃液中間貯槽 [REDACTED] *2*3*4					
		-				抽出廃液供給槽 入口配管合流点 ～抽出廃液供給槽 [REDACTED] *2*3*4					
		-				抽出廃液供給槽 入口配管合流点 ～抽出廃液供給槽 [REDACTED] *2*3*4					
		-				プルトニウム溶液 受槽入口配管合流点 ～プルトニウム溶液 受槽 [REDACTED] *4*5					
		-				プルトニウム溶液 中間貯槽入口配管 合流点 ～プルトニウム溶液 中間貯槽 ([REDACTED]) *4*5					
	-				第2一時貯留処理槽 入口配管合流点 ～第2一時貯留処理槽 [REDACTED] *4*6						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				第3一時貯留処理槽 入口配管合流点 ～第3一時貯留処理槽 ( *2*4*6)					
		-				第4一時貯留処理槽 入口配管合流点 ～第4一時貯留処理槽 ( *2*4*6)					
		-				迅速流体継手 () ～高レベル廃液濃縮 缶( *2*4*7)					
		-				三方弁 ～溶解液中間貯槽 ( *4*8)					
		-				三方弁 ～溶解液供給槽 ( *4*8)					
		-				三方弁 ～溶解液供給槽 ( *2*4*8)					
		-				三方弁 ～抽出廃液受槽 ( *4*8)					
		-				三方弁 ～抽出廃液中間貯槽 ( *4*8)					
		-				三方弁 ～抽出廃液供給槽 ( *4*8)					
	-				三方弁 ～抽出廃液供給槽 ( *4*8)						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				三方弁 ～プルトニウム溶液 受槽() *4*8	代替安全圧縮空気系				
		-				三方弁 ～プルトニウム溶液 中間貯槽() *4*8					
		-				三方弁 ～第2一時貯留処理槽 () *4*8					
		-				三方弁 ～第3一時貯留処理槽 () *4*8					
		-				三方弁 ～第4一時貯留処理槽 () *4*8					
		-				三方弁 ～高レベル廃液濃縮 缶() *4*8					
		-				迅速流体継手 () ～迅速流体継手 () ()					
		-				迅速流体継手 () ～迅速流体継手 () ()					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全圧縮空気系	-					代替安全圧縮空気系	迅速流体継手 (██████)					
	-						～迅速流体継手 (██████)					
	-						迅速流体継手 (██████)					
	-						～迅速流体継手 (██████)					
	-						圧縮空気自動供給貯 槽(██████)					
	-						～水素掃気用空気貯 槽出口配管合流点					
-					迅速流体継手 (██████)	～圧縮空気自動供給 貯槽出口配管合流点						
-					圧縮空気自動供給貯 槽(██████)	～圧縮空気自動供給 貯槽出口配管合流点						
-					圧縮空気自動供給貯 槽(██████)	～圧縮空気自動供給 貯槽出口配管合流点						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				迅速流体継手 () ～弁()	代替安全圧縮空気系				
		-				機器圧縮空気自動供給ユニット 出口配管分岐点 ～弁()					
		-				弁() ～弁() 出口配管					
		-				弁() ～弁()					
		-				弁() ～弁() 出口配管					
		-				機器圧縮空気自動供給ユニット 出口配管分岐点 ～弁()					
		-				弁() ～弁() 出口配管					
		-				弁() ～弁()					
		-				弁() ～弁() 出口配管合流点					
		-				迅速流体継手 () ～弁()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				圧縮空気手動供給 ユニット 出口配管分岐点 ～弁()					
		-				弁() ～弁() 出口配管					
		-				弁() ～迅速流体継手 ()					
		-				圧縮空気手動供給 ユニット 出口配管分岐点 ～弁()					
		-				弁() ～弁() 出口配管					
		-				弁() ～弁() 出口配管合流点					
		-				迅速流体継手 () ～溶解液中間貯槽 入口配管合流点*2					
		-				溶解液中間貯槽 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
	-				迅速流体継手 () ～溶解液中間貯槽 入口配管合流点						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				迅速流体継手 () ～溶解液供給槽 入口配管合流点*2					
		-				溶解液供給槽 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
		-				迅速流体継手 () ～溶解液供給槽 入口配管合流点					
		-				迅速流体継手 () ～抽出廃液受槽 入口配管合流点*2					
		-				抽出廃液受槽 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
		-				迅速流体継手 () ～抽出廃液受槽 入口配管合流点					
		-				迅速流体継手 () ～抽出廃液中間貯槽 入口配管合流点*2					
		-				抽出廃液中間貯槽 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				迅速流体継手 () ～抽出廃液中間貯槽 入口配管合流点					
		-				迅速流体継手 () ～抽出廃液供給槽 入口配管合流点*2					
		-				抽出廃液供給槽 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
		-				迅速流体継手 () ～抽出廃液供給槽 入口配管合流点					
		-				迅速流体継手 () ～抽出廃液供給槽 入口配管合流点*2					
		-				抽出廃液供給槽入口 配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
		-				迅速流体継手 () ～抽出廃液供給槽 入口配管合流点					
		-				迅速流体継手 () ～プルトニウム溶液 受槽入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				迅速流体継手 () ～プルトニウム溶液 中間貯槽入口配管 合流点					
		-				プルトニウム溶液受 槽入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
		-				迅速流体継手 () ～プルトニウム溶液 受槽入口配管合流点					
		-				代替安全圧縮空気系 プルトニウム溶液中 間貯槽入口配管 分岐点 ～迅速流体継手 ()					
		-				迅速流体継手 () ～プルトニウム溶液 中間貯槽入口配管 合流点					
		-				弁() 出口配管分岐点 ～プルトニウム溶液 受槽入口配管合流点					
		-				弁() 出口配管分岐点 ～プルトニウム溶液 中間貯槽入口配管 合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		-				迅速流体継手 () ～第2一時貯留処理槽 入口配管合流点					
		-				第2一時貯留処理槽 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
		-				迅速流体継手 () ～第2一時貯留処理槽 入口配管合流点					
		-				弁 () 出口配管分岐点 ～第2一時貯留処理槽 入口配管合流点					
		-				迅速流体継手 () ～第3一時貯留処理槽 入口配管合流点*2					
		-				迅速流体継手 () ～第4一時貯留処理槽 入口配管合流点*2					
		-				第3一時貯留処理槽 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
		-				迅速流体継手 () ～第3一時貯留処理槽 入口配管合流点*2					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全圧縮空気系	-					代替安全圧縮空気系	第4一時貯留処理槽 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
	-						迅速流体継手 () ～第4一時貯留処理槽 入口配管合流点*2					
	-						高レベル廃液濃縮缶 入口配管分岐点 ～迅速流体継手 ()					
	-						迅速流体継手 () ～高レベル廃液濃縮 缶入口配管合流点					
	-						水素掃気用空気貯槽 出口配管分岐点 ～弁 () ()					

注記 *1：主要寸法は，設工認申請書記載の公称値を示す。

*2：その他再処理設備の付属施設のうち，冷却水設備の重大事故等対処設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*3：再処理施設本体のうち，分離施設の分離設備と兼用する。

*4：本設備は既存の設備である。

*5：再処理施設本体のうち，分離施設の分配設備と兼用する。

*6：再処理施設本体のうち，分離施設の分離建屋一時貯留処理設備と兼用する。

*7：放射性廃棄物の廃棄施設のうち，液体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液処理設備の高レベル廃液濃縮設備の高レベル廃液濃縮系と兼用する。

*8：計測制御系統施設のうち，計測制御設備と兼用する。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全圧縮空気系						代替安全圧縮空気系	圧縮空気自動供給貯槽 () ~ プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッド合流点					
							迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッド合流点					
							圧縮空気自動供給貯槽出口配管分岐点 ~ 主要弁 ()					
							機器圧縮空気自動供給ユニット () ~ 主要弁 ()					
							主要弁 () ~ 主要弁 ()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				主要弁 () ～水素掃気系への流量計接続配管	代替安全圧縮空気系				
		—				主要弁 () 出口配管分岐点～安全弁 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～安全圧縮空気系 (かくはん用) 入口配管合流点					
		—				安全圧縮空気系 (かくはん用) 入口配管合流点～プルトニウム精製設備, 精製建屋一時貯留処理設備供給配管ヘッダ*5					
		—				圧縮空気手動供給ユニット () ～主要弁 ()					
		—									

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				主要弁 () ~ 迅速流体継手接続口 ()	代替安全圧縮空気系				
		—				主要弁 () 出口配管分岐点 ~ 安全弁 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点*5					
		—				迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点 ~ 第2一時貯留処理槽 () *2*5					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第2一時貯留処理槽入口配管合流点*2					
	—				第2一時貯留処理槽入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第2一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				第2一時貯留処理槽入口配管分岐点~迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第2一時貯留処理槽入口配管合流点*2					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点~迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点*5					
		—				迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点~第3一時貯留処理槽 () *2*5					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第3一時貯留処理槽入口配管合流点*2					
		—				第3一時貯留処理槽入口配管分岐点~迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第3一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				第3一時貯留処理槽入口配管分岐点~迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第3一時貯留処理槽入口配管合流点*2					
	—				迅速流体継手接続口 () ~ 重大事故時可溶性中性子吸収材供給槽(第7一時貯留処理槽用)出口配管合流点*5						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				第7一時貯留処理槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～第7一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				安全圧縮空気系入口分岐点～プルトニウム溶液供給槽 () *5					
		—				プルトニウム溶液供給槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～プルトニウム溶液供給槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム溶液供給槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～プルトニウム溶液供給槽入口配管合流点					
		—				安全圧縮空気系入口配管分岐部～迅速流体継手接続口 () () 出口配管合流点 *5					
		—				迅速流体継手接続口 () () 出口配管合流点～油水分離槽 () *2*5					
		—				迅速流体継手接続口 () ()～油水分離槽入口配管合流点 *2					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				油水分離槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()	代替安全圧縮空気系				
		—				迅速流体継手接続口 ()～油水分離槽入口配管合流点					
		—				油水分離槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～油水分離槽入口配管合流点*2					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 () 出口配管合流部*5					
		—				迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点～プルトニウム溶液受槽 () *2*5					
		—				迅速流体継手接続口 ()～プルトニウム溶液受槽入口配管合流点*2					
		—				プルトニウム溶液受槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～プルトニウム溶液受槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム溶液受槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
	—				迅速流体継手接続口 ()～プルトニウム溶液受槽入口配管合流点*2						
	—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 () 出口配管合流部*5						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				迅速流体継手接続口 ()) 出口配管合流点～プルトニウム濃縮缶供給槽 () *2*5	代替安全圧縮空気系				
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管合流点*2					
		—				プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管合流点*2					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮缶 ()) *5					
		—				プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管合流点					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ()) 出口配管合流部 *5					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				迅速流体継手接続口 ()) 出口配管合流点～プルトニウム濃縮液受槽 () *2* 5	代替安全圧縮空気系				
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮液受槽入口配管合流点 *2					
		—				プルトニウム濃縮液受槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮液受槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム濃縮液受槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮液受槽入口配管合流点 *2					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ()) 出口配管合流部 *5					
		—				迅速流体継手接続口 ()) 出口配管合流点～プルトニウム溶液一時貯槽 () *2*5					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム溶液一時貯槽入口配管合流点 *2					
		—				プルトニウム溶液一時貯槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
	—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム溶液一時貯槽入口配管合流点						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				プルトニウム溶液一時貯槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～プルトニウム溶液一時貯槽入口配管合流点*2					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ()出口配管合流部*5					
		—				迅速流体継手接続口 ()出口配管合流点～リサイクル槽 () *2*5					
		—				迅速流体継手接続口 ()～リサイクル槽入口配管合流点*2					
		—				リサイクル槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～リサイクル槽入口配管合流点					
		—				リサイクル槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～リサイクル槽入口配管合流点*2					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ()出口配管合流部*5					
		—				迅速流体継手接続口 ()出口配管合流点～希釈槽 () *2*5					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 希釈槽入口配管合流点*2	代替安全圧縮空気系				
		—				希釈槽入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 希釈槽入口配管合流点					
		—				希釈槽入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 希釈槽入口配管合流点*2					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 () 出口配管合流部*5					
		—				迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点 ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽 () *2*5					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管合流点*2					
		—				プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管合流点*2					
	—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 () 出口配管合流部*5						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				迅速流体継手接続口 ()) 出口配管合流点～プルトニウム濃縮液計量槽 () *2*5	代替安全圧縮空気系				
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮液計量槽入口配管合流点*2					
		—				プルトニウム濃縮液計量槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮液計量槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム濃縮液計量槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮液計量槽入口配管合流点*2					
		—				安全圧縮空気系ヘッダ分岐点～迅速流体継手接続口 ()) 出口配管合流部*5					
		—				迅速流体継手接続口 ()) 出口配管合流点～プルトニウム濃縮液中間貯槽 ()) *2*5					
		—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮液中間貯槽入口配管合流点*2					
		—				プルトニウム濃縮液中間貯槽入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
	—				迅速流体継手接続口 ()) ～プルトニウム濃縮液中間貯槽入口配管合流点						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				プルトニウム濃縮液中間貯槽 入口配管分岐点～迅速流体継 手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～プルトニウム濃縮液中間 貯槽入口配管合流点*2					
		—				三方弁～第2一時貯留処理槽 () *5					
		—				三方弁～第3一時貯留処理槽 () *5					
		—				三方弁～第7一時貯留処理槽 () *3*5					
		—				三方弁～プルトニウム溶液供 給槽 () *5					
		—				三方弁～プルトニウム溶液受 槽 () *5					
		—				三方弁～油水分離槽 () *5					
		—				三方弁～プルトニウム濃縮缶 供給槽 () *5					
		—				三方弁～プルトニウム溶液一 時貯槽 () *5					
		—				三方弁～プルトニウム濃縮缶 () *5					
		—				三方弁～プルトニウム濃縮液 受槽 () *5					
		—				三方弁～リサイクル槽 () *5					
		—				三方弁～希釈槽 () *5					
	—				三方弁～プルトニウム濃縮液 一時貯槽 () *5						
	—				三方弁～プルトニウム濃縮液 計量槽 () *5						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全圧縮空気系		—				代替安全圧縮空気系					
						三方弁～プルトニウム濃縮液 中間貯槽 () *5					

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：その他再処理施設の附属施設のうち、冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。
 - *3：その他再処理施設の附属施設のうち、圧縮空気設備のうち臨界事故時水素掃気系と兼用する。
 - *4：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *5：本設備は既存の設備である。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	材料
代替安全圧縮空気系	—	—				迅速流体継手()入口配管合流点～圧空調湿系(水素掃気用)入口配管合流点*3					
	—	—				圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点～迅速流体継手()入口配管合流点*5					
	—	—				圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点～迅速流体継手()入口配管合流点*5					
	—	—				圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点～迅速流体継手()入口配管合流点*5					
	—	—				圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点～迅速流体継手()入口配管合流点*5					
	—	—				圧縮空気自動供給ユニットボンベ～弁()～弁()～圧空調湿系(水素掃気用)入口配管合流点					
	—	—				迅速流体継手()～圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点					
	—	—				迅速流体継手()入口配管合流点～弁()*1*5					
	—	—				迅速流体継手()～迅速流体継手()入口配管合流点*1					
	—	—				迅速流体継手()～圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点					
	—	—				迅速流体継手()入口配管合流点～弁()*1*5					
	—	—				迅速流体継手()～迅速流体継手()入口配管合流点*1					
—	—				迅速流体継手()～圧空調湿系(かくはん用)入口配管合流点						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm) *2	厚さ (mm) *2	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm) *2	厚さ (mm) *2	材料
代替安全圧縮空気系	—					迅速流体継手() 入口配管合流点～弁() *1*5	[Redacted]				
	—					迅速流体継手()～迅速流体継手() 入口配管合流点 *1					
	—					迅速流体継手()～圧空調湿系(かくはん用) 入口配管合流点					
	—					迅速流体継手() 入口配管合流点～弁() *1*5					
	—					迅速流体継手()～迅速流体継手() 入口配管合流点 *1					
	—					迅速流体継手()～迅速流体継手() 入口配管合流点					
	—					迅速流体継手()～迅速流体継手()					
	—					迅速流体継手()～迅速流体継手()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm) *2	厚さ (mm) *2	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm) *2	厚さ (mm) *2	材料
代替安全圧縮空気系		—				迅速流体継手 () ~ 迅速流体継手 ()					
		—				迅速流体継手 () ~ 迅速流体継手 ()					
		—				弁 () ~ 迅速流体継手 ()					
		—				弁 (), 迅速流体継手 () ~ 圧空調湿系 (水素掃気用) 入口配管合流点					
		—				機器圧縮空気自動供給ユニットポンペ ~ 弁 () ~ 弁 ()					
		—				圧縮空気手動供給ユニットポンペ ~ 弁 () ~ 弁 ()					
		—				迅速流体継手 () ~ 迅速流体継手 () 入口配管合流点 *1					
		—				迅速流体継手 () ~ 迅速流体継手 () 入口配管合流点 *1					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*2	厚さ (mm)*2	材料
代替安全圧縮空気系		—				迅速流体継手 () ~ 迅速流体継手 () 入口配管合流点*1					
		—				迅速流体継手 () ~ 迅速流体継手 () 入口配管合流点*1					
		—				弁 () ~ 一時貯槽 () *1*5					
		—				弁 () ~ 混合槽 () *1*5					
		—				弁 () ~ 混合槽 () *1*5					
		—				弁 () ~ 硝酸プルトニウム貯槽 () *1*5					
		—				弁 () 出口ライン分岐点 ~ 弁 ()					
		—				弁 () 出口ライン分岐点 ~ 弁 ()					
		—				弁 () 出口ライン分岐点 ~ 弁 ()					
		—				弁 () 出口ライン分岐点 ~ 弁 ()					
		—				弁 () 出口ライン分岐点 ~ 弁 ()					
		—				弁 () 出口ライン分岐点 ~ 弁 ()					
	—				圧縮空気自動供給ユニット入口ライン分岐点 ~ 弁 ()						

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm) *2	厚さ (mm) *2	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm) *2	厚さ (mm) *2	材料	
代替安全圧縮空気系	—					代替安全圧縮空気系	迅速流体継手 () ～硝酸プルトニウム貯槽 ()	[Redacted]				
	—						迅速流体継手 () ～混合槽 ()					
	—						迅速流体継手 () ～混合槽 ()					
	—						迅速流体継手 () ～一時貯槽 ()					
	—						迅速流体継手 () ～硝酸プルトニウム貯槽 ()					
	—						迅速流体継手 () ～混合槽 ()					
	—						迅速流体継手 () ～混合槽 ()					
	—						迅速流体継手 () ～一時貯槽 ()					

*1：脱硝施設のうち、代替安全冷却水系設備と兼用。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「洞道の安全圧縮空気系(水素掃気用)～溶液系」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書に記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には配管番号のみ記載。

*6：重大事故時における使用時の値を示す。

- ・可搬
- (1) 圧縮機

前処 A

			変更前	変更後	
名称				可搬型空気圧縮機 (9902-K51)	
圧縮機	種類	—	—	スクリュ回転型 1 段圧縮油冷式	
	容量	m ³ /h/個		450 以上 (450* ¹)	
	吐出圧力	MPa		0.69* ¹	
	主要寸法	たて		mm	1,200* ¹
		横		mm	2,050* ¹
		高さ		mm	1,250* ¹
	個数	—		4(予備として故障時のバックアップを 3 個)	
	取付箇所	系統名(ライン名)		—	代替安全圧縮空気系
設置床		—	保管場所： ・前処理建屋近傍 (西側 1 個)(東側 1 個) T. M. S. L. 約 55.00m ・第 2 保管庫 W0112 (2 個) T. M. S. L. 約 48.65m (取付箇所： 前処理建屋近傍 T. M. S. L. 約 55.00m)		
原動機	種類	—	—	水冷 4 サイクル直接噴射式	
	出力	kW/個		61.2	
	個数	—		4	
	取付箇所	—		可搬型空気圧縮機と同じ	

注記 *1 : 公称値を示す。

				変更前	変更後
名称					可搬型空気圧縮機 (9903-K51)
圧縮機	種類		—	—	スクリュ回転型 1 段圧縮油冷式
	容量		m ³ /h/個		450 以上 (450 ^{*1})
	吐出圧力		MPa		0.69 ^{*1}
	主要寸法	たて	mm		1,200 ^{*1}
		横	mm		2,050 ^{*1}
		高さ	mm		1,250 ^{*1}
	個数		—		1
	取付箇所	系統名(ライン名)			—
設置床		—	保管場所： ・分離建屋近傍 (南側 1 個) T. M. S. L. 約 55.00m 取付箇所： 分離建屋近傍 T. M. S. L. 約 55.00m		
原動機	種類		—	—	水冷 4 サイクル直接噴射式
	出力		kW/個		61.2
	個数		—		1
	取付箇所		—		可搬型空気圧縮機と同じ

注記 *1：公称値を示す。

			変更前	変更後	
名称				可搬型空気圧縮機 (9904-K51)	
圧縮機	種類	—		スクリュ回転型1段圧縮油冷式	
	容量	m ³ /h/個		234	
	吐出圧力	MPa		0.69 ^{*1}	
	主要寸法	たて	mm		1570 ^{*1}
		横	mm		875 ^{*1}
		高さ	mm		1050 ^{*1}
	個数	—		4(予備として故障時のバックアップを3)	
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	代替安全圧縮空気系
設置床		—		保管場所： ・精製建屋近傍 (南側1個)(東側1個) T.M.S.L.約55.00m ・第2保管庫 W0112(2個) T.M.S.L.約48.65m (取付箇所： 精製建屋外 T.M.S.L.約55.00m)	
原動機	種類	—	—	水冷4サイクル直接噴射式	
	出力	kW/個	—	26.5	
	個数	—	—	4	
	取付箇所	—	—	可搬型空気圧縮機と同じ	

注記 *1: 公称値を示す

(2) 主配管

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替安全圧縮空気系 (前処理建屋)				—				代替安全圧縮空気系 (前処理建屋)						10*4 (予備 18)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内 (南側) T.M.S.L. 約 [] m ・前処理建屋内 (西側) T.M.S.L. 約 [] m 上記 2 箇所にそれぞれ 7 本ずつ保管する。 ・前処理建屋内 (南側) T.M.S.L. 約 [] m ・前処理建屋内 (西側) T.M.S.L. 約 [] m 上記 2 箇所にそれぞれ 3 本ずつ保管する。 ・第 2 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 48.50m 上記 に 8 本保管する。 (取付箇所： ・前処理建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m 水素掃気接続口 (7 本*)) (・前処理建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m 水素掃気接続口 (3 本*))

				<p>保管場所：</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内（南側） T. M. S. L. 約 [] m ・前処理建屋内（西側） T. M. S. L. 約 [] m <p>上記 2 箇所にそれぞれ 20 本ずつ保管する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前処理建屋内（南側） T. M. S. L. 約 [] m ・前処理建屋内（西側） T. M. S. L. 約 [] m <p>上記 2 箇所にそれぞれ 4 本ずつ保管する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前処理建屋内（南側） T. M. S. L. 約 [] m ・前処理建屋内（西側） T. M. S. L. 約 [] m <p>上記 2 箇所にそれぞれ 3 本ずつ保管する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前処理建屋内（南側） T. M. S. L. 約 [] m ・前処理建屋内（西側） T. M. S. L. 約 [] m <p>上記 2 箇所にそれぞれ 1 本ずつ保管する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 保管用コンテナエリア T. M. S. L. 約 55.00m 上記 に 4 本保管する。 ・第 2 保管用コンテナエリア T. M. S. L. 約 48.50m 上記 に 22 本保管する。 <p>取付箇所：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前処理建屋西側屋外取合い T. M. S. L. 約 55.00m ～ 建屋内 T. M. S. L. 約 [] m, [] m, [] m 水素掃気接続口設置部屋 (20 本^{*8})
--	--	--	--	--

									<ul style="list-style-type: none"> ・前処理建屋西側屋外取合い、T.M.S.L. 約 55.00m ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m, [] m, [] m 水素掃気接続口 (4 本^{*9}) ・前処理建屋西側屋外取合い、T.M.S.L. 約 55.00m ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m 水素掃気 接続口設置部屋 (3 本^{*10}) ・前処理建屋西側屋外取合い、T.M.S.L. 約 55.00m ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m 水素掃気接続口 (1 本^{*11}) 	
								代替安全圧縮空 気用 20m 可搬型 建屋外ホース	10 ^{*12} (予備 19)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内（南側） T.M.S.L. 約 [] m 上記に 10 本保管する。 ・前処理建屋内（西側） T.M.S.L. 約 [] m 上記に 10 本保管する。 ・第 2 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 48.50m 上記に 9 本保管する。 取付箇所： ・屋外 T.M.S.L. 約 55.39m 可搬型空気圧縮機 ～ 前処理建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m (10 本 ^{*13})

注記 *1：重大事故等時における使用時の値を示す。

*2：メーカーにて規定する呼び径を示す。

*3：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*4：必要本数 10 本（20m：13 本，5m：5 本）を示す。

- *5：最長ルートである「前処理建屋東側屋外取合い～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
- *6：最長ルートである「前処理建屋西側屋外取合い～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
- *7：必要本数 28 本（20m：45 本，5m：9 本）を示す。
- *8：最長ルートである「前処理建屋西側屋外取合い～水素掃気接続口設置部屋」に敷設した場合の本数を示す。
- *9：最長ルートである「前処理建屋西側屋外取合い～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
- *10：最長ルートである「前処理建屋西側屋外取合い～水素掃気接続口設置部屋」に敷設した場合の本数を示す。
- *11：最長ルートである「前処理建屋西側屋外取合い～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
- *12：必要本数 10 本（20m：19 本）を示す。
- *13：最長ルートである「屋外可搬型空気圧縮機～前処理建屋東側屋外取合い」に敷設した場合の本数を示す。

名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要 材料	個数	取付 箇所	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要 材料	個数	取付箇所
代替安全圧縮空気系 (分離建屋)				—				代替安全圧縮空気用 5m, 10m 可搬型建屋内ホース						36*4 (予備 76)	保管場所： ・可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・分離建屋内（北側） T. M. S. L. 約 [] m (38 本) ・分離建屋内（東側） T. M. S. L. 約 [] m (38 本) ・外部保管エリア 1 T. M. S. L. 約 55.00m (36 本) 取付箇所： ・ [] T. M. S. L. 約 [] m 建屋内空気中継配管接続口（東側ルート） ～水素掃気接続口（32 本*5） ・ [] T. M. S. L. 約 [] m 手動圧縮空気供給ユニット接続口～水素掃気接続口（4 本*6）
								代替安全圧縮空気用 20m 可搬型建屋外ホース						15*12 (予備 32)	保管場所： ・可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・分離建屋内（東側） T. M. S. L. 約 [] m (16 本) ・分離建屋内（北側） T. M. S. L. 約 [] m (4 本) ・分離建屋内（東側） T. M. S. L. 約 [] m (12 本) ・外部保管エリア 1 T. M. S. L. 約 55.00m (15 本) 取付箇所： ・分離建屋近傍（南側） T. M. S. L. 約 55.00m 可搬型空気圧縮機～建屋内空気中継配管接続口（東側ルート）（13 本*13）

注記 * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態におい

(つづき)

て強度が確保できるものを使用する。

- * 4 : 必要本数 36 本 (20m : 24 本, 5m : 12 本) を示す。
- * 5 : 最長ルートである「建屋内空空中継配管接続口(東側ルート)～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
- * 6 : 最長ルートである「手動圧縮空気供給ユニット接続口～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
- * 7 : 必要本数 15 本 (20m : 32 本) を示す。
- * 8 : 最長ルートである「屋外可搬型空気圧縮機～建屋内空空中継配管接続口(東側ルート)」に敷設した場合の本数を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替安全圧縮空気系 (精製建屋)				—				代替安全圧縮空気系 (精製建屋)						39*4 (予備 82)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・精製建屋内 (東側) T.M.S.L. 約 [] m ・精製建屋内 (西側) T.M.S.L. 約 [] m 上記 2 箇所にそれぞれ 6 本ずつ保管する。 ・精製建屋内 (東側) T.M.S.L. 約 [] m ・精製建屋内 (北側) T.M.S.L. 約 [] m 上記 2 箇所にそれぞれ 35 本ずつ保管する。 ・第 1 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 [] m 上記 に 39 本保管する。
															取付箇所： ・建屋内空気中継配管接続口 T.M.S.L. 約 [] m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m 水素掃気接続口 (1 本*5)
								代替安全圧縮空気系 (精製建屋)							取付箇所： ・建屋内空気中継配管接続口 T.M.S.L. 約 [] m, [] m, [] 0m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m, [] m, [] m 水素掃気接続口 (21 本*6)

(つづき)

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替安全圧縮空気系 (精製建屋)	-						圧縮空気供給用 10m, 5m 可搬型建屋 内ホース	代替安全圧縮空気系 (精製建屋)						39*4 (予備 82)	<p>取付箇所:</p> <ul style="list-style-type: none"> 建屋内空気中継配管接続口 T.M.S.L. 約 [] m, [] m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m, [] m 水素掃気接続口 (6本*) <p>取付箇所:</p> <ul style="list-style-type: none"> 建屋内空気中継配管接続口 T.M.S.L. 約 [] m, [] m, [] m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m, [] m, [] m 水素掃気接続口 (21本*) <p>取付箇所:</p> <ul style="list-style-type: none"> 建屋内手動圧縮空気供給ユニット接続口 T.M.S.L. 約 [] m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m 水素掃気接続口 (16本)
	-						圧縮空気供給用 20m 可搬型建屋 外ホース		10*9 (予備 22)	<p>保管場所:</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備保管場所 精製建屋内 (東側) T.M.S.L. 約 [] m 精製建屋内 (西側) T.M.S.L. 約 [] m <p>上記 2 箇所にそれぞれ 11 本ずつ保管する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 1 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 [] m 上記 に 10 本保管する。 					

(つづき)

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替安全圧縮空気系 (精製建屋)				—				代替安全圧縮空気系 (精製建屋)						10 ⁹⁹ (予備 22)	取付箇所： ・屋外 T. M. S. L. 約 [] m 可搬型空気圧縮機 ~ 建屋内 T. M. S. L. 約 [] m 建屋内空気中継配管接続口 (10 本*10)

- 注記 * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
 * 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
 * 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
 * 4 : 必要本数 39 本 (10m : 5 本, 5m : 34 本) を示す。
 * 5 : 最長ルートである「建屋内空気中継配管接続口～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
 * 6 : 最長ルートである「建屋内空気中継配管接続口～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
 * 7 : 最長ルートである「建屋内空気中継配管接続口～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
 * 8 : 最長ルートである「建屋内空気中継配管接続口～水素掃気接続口」に敷設した場合の本数を示す。
 * 9 : 必要本数 10 本を示す。
 * 10 : 最長ルートである「屋外可搬型空気圧縮機～建屋内空気中継配管接続口」に敷設した場合の本数を示す。

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(ウラン・代替安全圧縮空気系 ブルトニウム混合脱硝建屋)			—					(ウラン・代替安全圧縮空気系 ブルトニウム混合脱硝建屋)						18*4 (予備として故障時のバックアップを11本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (ウラン・ブルトニウム混合脱硝建屋内) T. M. S. L. ■■■ m (5本) T. M. S. L. ■■■ m (15本) (第1保管用コンテナエリア) T. M. S. L. 55.00m (9本) 取付箇所： ■■■ m ■■■ m 建屋内空気中継配管接続口～計装配管接続口 (東側ルート) (9本*5)

- 注記
- *1：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *2：メーカーにて規定する外径を示す。
 - *3：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
 - *4：可搬型建屋内ホースとして必要本数9本を2セットに故障時のバックアップ11本の数量、可搬型建屋外ホースとして必要本数15本を2セットに故障時のバックアップ17本の数量を示す。
 - *5：最長ルートである建屋内空気中継配管接続口～計装配管接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(ウラン・代替安全圧縮空気系 ルートニウム混合脱硝建屋)			—					(ウラン・代替安全圧縮空気系 ルートニウム混合脱硝建屋)						30*4 (予備として故障時のバックアップを17本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内) T. M. S. L. ■■■■■m (32本) (第1保管用コンテナエリア) T. M. S. L. 55.00m (15本) 取付箇所： 精製建屋近傍(東側) T. M. S. L. 約55.00m ■■■■■m 可搬型空気圧縮機～ 建屋内空気中継配管接続口(東側ルート) (15本*5)

- 注記
- *1：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *2：メーカーにて規定する外径を示す。
 - *3：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
 - *4：可搬型建屋内ホースとして必要本数9本を2セットに故障時のバックアップ11本の数量、可搬型建屋外ホースとして必要本数15本を2セットに故障時のバックアップ17本の数量を示す。
 - *5：最長ルートである可搬型空気圧縮機～建屋内空気中継配管接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全圧縮空気系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)				—				代替安全圧縮空気系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)						15 * ⁵ (予備 32)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (15本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (1本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (10本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (6本) (再発防止と兼用) 高レベル廃液ガラス固化建屋外 T.M.S.L. 約■■■■m (15本) (再発防止と兼用) (取付箇所：* ⁶ 高レベル廃液ガラス固化建屋外 15本 T.M.S.L. 約■■■■m)

* 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

* 4 : 再発防止用と兼用する。

* 5 : 必要本数 15 本を示す。

* 6 : 最長ルートとなる南ルート第 1、第 2 接続口 (共通) にて示す。

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全圧縮空気系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)								代替安全圧縮空気用 2m, 10m 可搬型建屋内ホース						2 *4 (予備 6)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (10m : 3本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (2m : 3本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (2m : 3本、10m : 3本) 高レベル廃液ガラス固化建屋外 T.M.S.L. 約■■■■m (10m : 2本、2m : 2本)
								代替安全圧縮空気系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)							
								代替安全圧縮空気用 2m, 10m 可搬型建屋内ホース						5 *6 (予備 12)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (10m : 8本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (2m : 6本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (2m : 6本、10m : 8本)
								代替安全圧縮空気用 2m, 10m 可搬型建屋内ホース						7 *6 (予備 16)	

										<p>高レベル廃液ガラス固化建屋外 T.M.S.L. 約 [] m (2m : 5 本、10m : 7 本)</p> <p>取付箇所 : *5 高レベル廃液ガラス固化建屋 2m : 5 本 [] T.M.S.L. 約 [] m (2 本) [] T.M.S.L. 約 [] m (1 本) [] T.M.S.L. 約 [] m (2 本)</p> <p>10m : 7 本 [] T.M.S.L. 約 [] m (3 本) [] T.M.S.L. 約 [] m (2 本) [] T.M.S.L. 約 [] m (2 本)</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

* 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

* 4 : 必要本数を示す。(2m : 2 本、10m : 2 本)

* 5 : 未然防止にて最長ルートとなる北ルート第 2 接続口にて示す。

* 6 : 必要本数を示す。(2m : 5 本、10m : 7 本)

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全圧縮空気系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)								代替安全圧縮空気用 2m, 10m 可搬型 建屋内ホース						12 *5 (予備 14) 29 *4 (予備 44)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (10m : 22 本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (2m : 7 本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (2m : 7 本、10m : 22 本) 高レベル廃液ガラス固化建屋外 T.M.S.L. 約■■■■m (2m : 7 本、10m : 22 本) 取付箇所：*6 高レベル廃液ガラス固化建屋 2m : 9 本 ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (2 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (1 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (1 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (2 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (1 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (1 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (1 本) 10m : 25 本 ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (1 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (3 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (2 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (12 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (3 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (2 本) ■■■■ T.M.S.L. 約■■■■n (2 本)

- * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
- * 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
- * 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- * 4 : 必要本数 29 本を示す。(必要本数 29 本のうち、7 本は未然防止と兼用)
- * 5 : 必要本数 12 本を示す。(必要本数 12 本のうち、5 本は未然防止と兼用)
- * 6 : 最長ルートとなる北ルート第 1 接続口にて示す。

1.1.2.3 臨界事故時水素掃気系

- ・常設
- (1) 容器

			変更前	変更後	
名称			空気第2貯槽*3*4 (8130-V60)	空気第2貯槽*3*4 (8130-V60) (廃棄物管理施設共用)	
種類		—	たて置円筒形	変更なし	
臨界管理	核的制限値	プルトニウム最大濃度	g・Pu/ℓ		
容量		m ³ /個	100		
最高使用圧力		MPa	0.97*2		
最高使用温度		℃	60*2		
主要寸法	胴内径		mm		4200*1
	胴板厚さ		mm		20(20*1)
	鏡板厚さ		mm		22(22*1)
	鏡板長径		mm		4200*1*3
	鏡板短径の2分の1		mm		1050*1*3
	入口管台外径		mm		267.4*1*3
	入口管台厚さ		mm		12.7*3(12.7*1*3)
	出口管台外径		mm		267.4*1*3
	出口管台厚さ		mm		12.7*3(12.7*1*3)
	マンホール管台外径		mm		508*1*3
	マンホール管台厚さ		mm		13*3(13*1*3)
	マンホール平板厚さ		mm		35*3(35*1*3)
高さ		mm	8772*1		
主要材料	胴板		—		SM490B
	鏡板		—		SM490B
	マンホール平板		—	SM490B	
個数		—	1		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	臨界事故水素掃気系	
	設置床		—	GC-W0206 T. S. M. L. 55. 30m	
	溢水防護上の区画番号		—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	
	化学薬品防護上の区画番号		—	—	

	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	
--	----------------------	---	---	--

- 注記 * 1 : 公称値を示す。
* 2 : 重大事故時等における使用時の値を示す。
* 3 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
* 4 : 一般圧縮空気系と兼用。

(2) 圧縮機

		変更前		変更後		
名称		-	常用空気圧縮機 (8130-K41, K42, K43) ^{*2*3}	常用空気圧縮機 (8130-K41, K42, K43) (廃棄物管理施設共 用) ^{*2*3}		
圧縮機	種類	-	遠心式	変更なし		
	容量	m ³ /h/ 個	882.0 以上 (882.0 ^{*1})			
	吐出圧力	MPa	0.88 以上 (0.88 ^{*1})			
	主要寸法	たて ^{*3}	mm			5150 ^{*1}
		横 ^{*3}	mm			2790 ^{*1}
		高さ	mm			3480 ^{*1}
	主要材料	フレーム	-			FC200
	個数		-			3
	取付箇所	系統名(ライン名)	-			臨界事故時水素掃気系
		設置床	-			ユーティリティ建屋 T. S. M. L. 55. 30m
		溢水防護上の 区画番号	-			GC-W0206
溢水防護上の 配慮が必要な高 さ		-	-			
化学薬品防護上 の区画番号		-	-			
化学薬品防護上 の配慮が必要な 高さ		-	-			
原動機	種類 ^{*3}	-	三相誘導電動機			
	出力	kW/個	980			
	個数	-	3			
	取付箇所	-	圧縮機と同じ			

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 設工認申請書には記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*3: 一般圧縮空気系と兼用。

			変更前	変更後	
名称			運転予備空気圧縮機 *2*3 (8130-K50)	運転予備空気圧縮機 *2*3 (8130-K50) (廃棄物管理施設共用)	
圧縮機	種類	—	遠心式	変更なし	
	容量	m ³ /h/ 個	6000 以上 (6000* ¹)		
	吐出圧力	MPa	0.88 以上 (0.88* ¹)		
	主要寸法	たて	mm		4631* ¹
		横	mm		2680* ¹
		高さ* ³	mm		3470* ¹
	主要材料	フレーム	—		FC200
	個数		—		1
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		臨界事故時水素掃気系
		設置床	—		ユーティリティ建屋 T. S. M. L. 55. 30m
		溢水防護上の区画番号	—		GC-W0206
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		—
		化学薬品防護上の区画番号	—		—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—		
原動機	種類	—	三相誘導電動機		
	出力	kW/ 個	780		
	個数	—	1		
	取付箇所	—	圧縮機と同じ		

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3 : 一般圧縮空気系と兼用。

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
一般圧縮空気系	常用空気圧縮機 (8130-K41, K42, K43) 運転予備空気圧縮機 (8130-V50) (廃棄物管理施設共用) ～ 空気第2貯槽 (8130-V60) (廃棄物管理施設共用)	0.97	60	267.4	7.8	STPG370	一般圧縮空気系	変更なし			
				216.3	7.0						
				165.2	7.1						
				114.3	6.0						
			SGP	STPG370							
	空気第2貯槽 (8130-V60) (廃棄物管理施設共用) ～ 空気第2貯槽 出口配管 (廃棄物管理施設共用)	0.97	60		267.4	7.8					
					216.3	7.0					
					165.2	7.1					
114.3				6.0							

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 一般圧縮空気系と兼用。

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	-					迅速流体継手接続口	-				
	-					入口 (SUS側)	-				
	-					異材接合部	-				
	-					出口 (Zr側)	-				
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	-					溶解槽	-				
	-					迅速流体継手接続口 エンドピース酸洗浄槽	-				
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	-					迅速流体継手接続口 ハル洗浄槽	-				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	-					迅速流体継手接続口					
	-					〜 ハル洗浄槽 入口配管合流点					
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	-					弁					
	-					〜 溶解槽 入口配管合流点, エンドピース酸洗浄槽, エンドピース酸洗浄槽 入口配管合流点, ハル洗浄槽 迅速流体継手接続口 (次頁へ続く)					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	—					(前頁からの続き)					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	-					迅速流体継手接続口	-	-	-	-	-
	-					溶解槽 入口 配管合流点					
	-					溶解槽 入口 配管合流点~					
	-					入口 (SUS側)					
	-					異材接合部					
-					出口 (Zr側)						
-					溶解槽	-					
-					入口 (SUS側)	-					
-					異材接合部	-					
-					出口 (Zr側)	-					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	-					臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	溶解槽	[Redacted]				
	-						迅速流体継手接続口 ~ エンドピース酸洗浄槽 入口配管合流点					
	-						エンドピース酸洗浄槽 入口配管合流点~ エンドピース酸洗浄槽					
	-						弁 [Redacted]					
						(次頁へ続く)						

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
臨界事故時水素掃気系	-					臨界事故時水素掃気系	(前頁からの続き)					
							入口 (SUS側)	[Redacted]				
出口 (Zr側)												

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	-					臨 界 事 故 時 水 素 掃 気 系	溶解槽	[Redacted]				
	-						計測制御用空気貯槽出口配管 ~ エンドピース酸洗浄槽	[Redacted]				

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：重大事故等時における使用時の値。
 - *3：本設備は既存の設備である。
 - *4：脱湿装置A, B [Redacted] を示す。
 - *5：計装空気貯槽 [Redacted] を示す。

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
臨界事故時水素掃気系	—					臨界事故時水素掃気系	洞道の一般圧縮空気系～迅速 流体継手接続口 █████ █████ *2	[Redacted]				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
臨界事故時水素掃気系		—				臨界事故時水素掃気系 洞道の一般圧縮空気系出口配管分岐点～計測制御設備*2					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
臨界事故時水素掃気系						臨界事故時水素掃気系	迅速流体継手接続口 [] [] ~ 重大事故時可溶性中性子吸収材供給槽 (第5一時貯留処理槽用) 出口配管合流点*2	[]				
							迅速流体継手接続口 [] [] ~ 第7一時貯留処理槽 [] [] *2					
							三方弁 ~ 第5一時貯留処理槽 [] *2					

- 注記
- *1: 公称値を示す。
 - *2: 本設備は既存の設備である。
 - *3: 重大事故時における使用時の値を示す。
 - *4: 脱湿装置 [] を示す。
 - *5: 脱湿塔の外径、厚さ、材料を示す。
 - *6: 計装空気バッファ槽 [] を示す。

・可搬
(1) 主配管

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
臨界事故時水素掃気系 (前処理建屋)								臨界事故時水素掃気系用 20m 可搬型建屋内ホース (溶解槽用, ハル洗浄槽用)						9*4 (予備として故障時のバックアップを2本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内 T. M. S. L. ■■■ m 上記に3本保管する。 ・前処理建屋内 T. M. S. L. ■■■ m 上記に3本保管する。 ・前処理建屋内 T. M. S. L. ■■■ m 上記に3本保管する。 ・第1 保管用コンテナエリア T. M. S. L. ■■■ m 上記に2本保管する。 (取付箇所： T. M. S. L. ■■■ m 圧縮空気供給接続口 ~ T. M. S. L. ■■■ 圧縮空気供給接続口 (3 本) T. M. S. L. ■■■ m 圧縮空気供給接続口 ~ T. M. S. L. ■■■ 圧縮空気供給接続口 (3 本) T. M. S. L. ■■■ m 圧縮空気供給接続口 ~ T. M. S. L. ■■■ 圧縮空気供給接続口 (3 本))

注記 * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

* 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

* 4 : 可搬型建屋内ホースとして必要本数 2 本を 3 セットに故障時バックアップ 5 本の数量を示す。

(つづき)

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
臨界事故時水素掃気系 (精製建屋)								臨界事故時水素掃気系 (精製建屋)						4*4 (予備として故障時のバックアップを12本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・精製建屋内 T.M.S.L. 約 [] m 上記に12本保管する。 ・第1保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 [] m 上記に4本保管する。 取付箇所： T.M.S.L. 約 [] m 圧縮空気供給接続口 ~ T.M.S.L. 約 [] m 圧縮空気供給接続口 (2本) T.M.S.L. 約 [] m 圧縮空気供給接続口 ~ T.M.S.L. 約 [] m 圧縮空気供給接続口 (2本) T.M.S.L. 約 [] m 圧縮空気供給接続口 ~ T.M.S.L. 約 [] m 圧縮空気供給接続口 (2本)

注記 *1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

- * 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
- * 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- * 4 : 可搬型建屋内ホースとして必要本数 4 本（第 5 一時貯留処理槽 : 2 本, 第 7 一時貯留処理槽 : 2 本）に故障時バックアップ 12 本の数量を示す。

1.2 給水施設及び蒸気供給施設

1.2.1 第1保管庫・貯水所

(1) 建物・構築物

a. 建物・洞道

			変更前	変更後	
名称			—	第1保管庫・貯水所 (再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	
種類		—		鉄筋コンクリート造	
主要寸法	たて×横			m	52.00*2×113.00*2
	高さ			m	地上15.85*2 地下10.35*2
	壁 厚 さ	東壁		m	2.00*2
		西壁		m	2.00*2
南壁		m		2.00*2	
北壁		m		2.00*2	
主要材料		—		鉄筋コンクリート*3	
個数		—		1	
基礎	種類			—	直接基礎 (鉄筋コンクリート造)
	主要寸法	たて×横		m	52.00*2×113.00*2
		高さ		m	3.00*2
	主要材料			—	鉄筋コンクリート
	底面の標高		—	T. M. S. L. 約44.65m	

注記 *1：第1保管庫・貯水所は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：設計図書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345, コンクリート：JASS5N の規定による普通コンクリート設計基準強度 30N/mm²」と記載。

1.2.2 第2保管庫・貯水所

(1) 建物・構築物

a. 建物・洞道

			変更前	変更後	
名称			—	第2保管庫・貯水所 (再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	
種類		—		鉄筋コンクリート造	
主要寸法	たて×横			m	52.00*2×113.00*2
	高さ			m	地上15.85*2 地下10.35*2
	壁 厚 さ	東壁		m	2.00*2
		西壁		m	2.00*2
		南壁		m	2.00*2
		北壁		m	2.00*2
	主要材料			—	鉄筋コンクリート*3
個数		—		1	
基礎	種類			—	直接基礎 (鉄筋コンクリート造)
	主要寸法	たて×横		m	52.00*2×113.00*2
		高さ		m	3.00*2
	主要材料			—	鉄筋コンクリート
	底面の標高			—	T. M. S. L. 約38.15m

注記 *1：第2保管庫・貯水所は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：設計図書には「鉄筋：JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345, コンクリート：JASS5Nの規定による普通コンクリート設計基準強度 30N/mm²」と記載。

b. 地下水排水設備

				変更前	変更後	
名称					地下水排水設備 (第2保管庫・貯水所建屋周り)	
種類	シャフト部 ^{*1}		—		鋼製造	
	ピット部 ^{*1}		—		鉄筋コンクリート造	
	ポンプ		—		うず巻形	
	水位計		—		電極式	
	発電機		—		三相同期発電機	
	内燃機関		—		立形直列水冷4サイクル ディーゼル機関	
	燃料油貯槽		—		たて置円筒形	
ポンプ	容量		m ³ /h/個		30.4以上 (30.4 ^{*2})	
	揚程		m		30.2以上 (30.2 ^{*2})	
	最高使用圧力		MPa		0.5	
	最高使用温度		℃		40	
	主要寸法	吸込口径		mm		80 ^{*2}
		吐出口径		mm		100 ^{*2}
		外径		mm		350 ^{*2}
		高さ		mm		791 ^{*2}
	主要材料	ケーシング		—		FCD450
		個数		—		4(予備2)
	原動機	種類		—		誘導電動機
出力		kW/個		5.5		
個数		—		4(予備2)		
水位計	計測範囲		—		+230～+1200 mm ^{*3}	
	警報動作範囲		—		—	
	個数		—		10	
排水配管	最高使用圧力		MPa		0.98	
	最高使用温度		℃		40	
	主要寸法	外径		mm		100 ^{*2}
		厚さ		mm		6.0 ^{*2}
主要材料		—		SUS304		
発電機	容量		kVA/台		34.0	
	主要寸法	たて		mm		693 ^{*2}
		横		mm		1688 ^{*2}
		高さ		mm		1200 ^{*2}
	力率		—		0.8	
	電圧		V		200	
	相		—		3	
	周波数		Hz		50	
	回転速度		min ⁻¹		3000	
	結線法		—		スター結線	
	冷却法		—		空気冷却式	
個数		—		2		
内燃機関	出力		kW/個		40.8	
	回転速度		min ⁻¹		3000	
	燃料	種類		—		軽油
		使用量		L/h/個		9.3
個数		—		2		
燃料油貯槽	容量		m ³ /個		0.81以上(0.9 ^{*2})	
	最高使用圧力		MPa		静水頭	
	最高使用温度		℃		40	

	主要寸法	洞内径	mm	960* ²	
		高さ	mm	1498* ²	
		厚さ	mm	4.8(6.0* ²)	
	主要材料		—	SS400	
	個数		—	2	
燃料油配管	最高使用圧力		MPa	静水頭	
	最高使用温度		°C	40	
	主要寸法	外径	mm	21.7* ²	
		厚さ	mm	3.7* ²	
	主要材料		—	STPG370	
個数		—			
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—	
	設置床	ピット* ⁴	—	G14 No.2 ピット (南東側) G14 No.4 ピット (北西側) T. M. S. L 37.600 m G16AB No.2 ピット (南東側) G16AB No.3 ピット (北西側) G16AB No.4 ピット (北東側) T. M. S. L 40.400 m G16CD No.1 ピット (北西側) T. M. S. L 40.400 m	
			ポンプ	—	G14 No.1 ピット内 (南西側)* ⁵ G14 No.3 ピット内 (北東側)* ⁶ T. M. S. L 36.380 m
			水位計	—	G14建屋 近傍 (西側)* ⁷ G14建屋 近傍 (北側)* ⁸ T. M. S. L. 約 48.500m
			発電機	—	
			内燃機関	—	
			燃料油貯槽	—	
	溢水防護上の区画番号		—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* ⁹	
	化学薬品防護上の区画番号		—		
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—* ¹⁰	

注記 *1: シャフト部及びピット部は、耐震性を有するポンプ、水位計を設置するピットと当該ピットに集水するための流路を形成するピット(流路確保ピット)を指す。

*2: 公称値を示す。

*3: 水位検出器の高さは、設置床からの高さを示す。

*4: ピットは、流路確保ピットを指す。

*5: 対象機器は、9914-P011, 9914-P012。対象計器は、9914-LE-01-1, 9914-LE-01-2, 9914-LE-01-3, 9914-LE-01-4, 9914-LE-01-5。

*6: 対象機器は、9914-P031, 9914-P032。対象計器は、9914-LE-03-1, 9914-LE-03-2, 9914-LE-03-3, 9914-LE-03-4, 9914-LE-03-5。

*7: 対象機器は、9914-X11, 9914-V11

*8: 対象機器は、9914-X12, 9914-V12

*9: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*10: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

1.2.3 冷却水設備
1.2.3.1 安全冷却水系

・常設
(1) 容器

			変更前	変更後	
名称			安全冷却水膨張槽 (██████████)		
種類		—	横置円筒形		
臨界 管理	核的 制限値	プルトニウム 最大濃度	g・Pu/ℓ	—	
容量		m ³ /個	██████████	変更なし	
最高使用圧力		MPa			
最高使用温度		℃			
主要 寸法	胴内径				mm
	胴板厚さ				mm
	鏡板厚さ				mm
	入口管台外径				mm
	入口管台厚さ				mm
	出口管台外径				mm
	出口管台厚さ				mm
	マンホール管台外径				mm
	マンホール管台厚さ				mm
	マンホール平板厚さ				mm
高さ*3		mm			
主要 材料	胴板		—		
	鏡板		—		
	マンホール平板		—		
個数		—	1		
取付 箇所	系統名(ライン名)		—	安全冷却水系	
	設置床		—	██████████ T. S. M. L. ██████m	
	溢水防護上の 区画番号		—	—	██████████
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. S. M. L. ██████m
	化学薬品防護上の 区画番号		—	—	██████████
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. S. M. L. ██████m

- 注記 * 1 : 公称値を示す。
- * 2 : 重大事故時等における使用時の値を示す。
- * 3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- * 4 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前	変更後	
名称		安全冷却水膨張槽 ■■■■■ ■■■■■*3	安全冷却水膨張槽 ■■■■■ ■■■■■*1	
種類	—	横置円筒形		
容量	m ³ /個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径*5			
	胴板厚さ*6			
	鏡板厚さ			mm
	鏡板中央部内半径			mm
	鏡板隅の丸み半径			mm
	入口管台外径*7			mm
	入口管台厚さ*7			m
	全長*8	mm		
主要材料*9	胴板	—		
	鏡板	—		
個数	—	3		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系*4	
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m*4	
	溢水防護上の区画番号	—	—*10	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*10	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■m以上

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち給水施設及び蒸気供給施設のうち冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

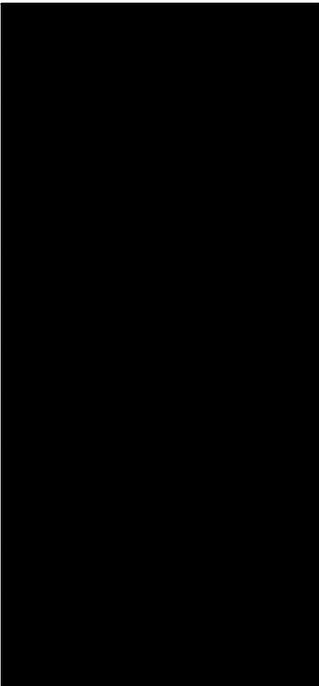
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1 A, 1 B 膨張槽」, 「安全冷却水 2 膨張槽」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 D」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 t」と記載。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書の「管台一覧表 P7」を示す。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法 L」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

		変更前	変更後	
名称		安全冷却水 膨張槽*3*4 ()	安全冷却水 膨張槽 () *1	
種類	—	横置円筒形	変更なし	
容量	m ³ / 個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径*5			mm
	胴板厚さ*6			mm
	中央部内半径			mm
	隅の丸み内半径			mm
	鏡板厚さ			mm
	出口管台外径*7			mm
	出口管台厚さ*7			mm
	高さ*8		mm	
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
個数	—	3		

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系	変更なし
	設置床	—	■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m ^{*9}	
	溢水防護上の 区画番号	—	— ^{*10}	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— ^{*10}	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■ m

- 注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。
 *2：公称値を示す。
 *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1 A, 1 B 膨張槽」と記載。
 *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 2 膨張槽」と記載。
 *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。
 *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。
 *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P5」を示す。
 *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
 *9：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		安全冷却水 膨張槽 ( ) *3	安全冷却水 膨張槽 ( ) *1	
種類	—	横置円筒形		
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	胴内径 *5			
	胴板厚さ *6			
	鏡板厚さ			mm
	鏡板中央部内半径			mm
	鏡板隅の丸み半径			mm
	出口管台外径 *7			mm
	出口管台厚さ *7			m
	全長 *8	mm		
主要材料 *9	胴板	—		
	鏡板	—		
個数		—	3	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	 T. M. S. L.  m *4	
	溢水防護上の区画番号	—	— *10	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *10	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L.  m

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち給水施設及び蒸気供給施設のうち冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1 A, 1 B 膨張槽()」, 「安全冷却水 2 膨張槽()」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P7」を示す。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「L」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *10：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			安全冷却水膨張槽 () *3	安全冷却水膨張槽 () *1
種類	—		たて置円筒形 *4	変更なし
容量	m ³ /個		[Redacted]	
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	胴内径 *6	mm		
	胴板厚さ *7	mm		
	鏡板厚さ *7	mm		
	鏡板中央部内半径	mm		
	鏡板隅の丸み半径	mm		
	高さ *8	mm		
	純水出口管台外径	mm		
	純水出口管台厚さ	mm		
主要材料	胴板	—		
	鏡板	—		
個数	—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系 *5	
	設置床	—	T. M. S. L. [Redacted] m *5	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *9	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *9	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *10	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *10	—

注記 *1: その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2: 公称値を示す。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水A, B膨張槽 ()」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「型式スカート支持たて置円筒形容器」と記載。

*5: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法D」と記載。

*7: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法t」と記載。

(つづき)

- *8 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「寸法H」と記載。
- *9 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *10 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			膨張槽 (8111A, B-V27)	変更なし
種類		—	たて置円筒形	
臨界 管理	核的 制限値	プルトニウム 最大濃度 g・Pu/ℓ	—	
容量		m ³ /個	0.48	
最高使用圧力		MPa	静水頭* ² (0.69)	
最高使用温度		℃	60* ²	
主要 寸法	胴内径		mm 600* ¹	
	胴板厚さ		mm 4.5(6* ¹)	
	鏡板厚さ		mm 4.5(6* ¹)	
	入口管台外径		mm 89.1* ¹ * ⁴	
	入口管台厚さ		mm 5.15* ⁴ (7* ¹ * ⁴)	
	出口管台外径		mm 76.7* ¹ * ⁴	
	出口管台厚さ		mm 7.6* ⁴ (7.8* ¹ * ⁴)	
高さ* ³		mm 2994* ¹		
主要 材料	胴板		— SUS304	
	鏡板		— SUS304	
個数		—	1	
取付 箇所	系統名(ライン名)		— 安全圧縮空気系	
	設置床		— GA-W0301, W0302 T. S. M. L. 59. 30m	
	溢水防護上の 区画番号		— —	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		— —	
	化学薬品防護上の 区画番号		— —	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		— —	

注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 重大事故時等における使用時の値を示す。

- * 3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- * 4 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前	変更後	
名称		第1, 第2 高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽 () *3	第1, 第2 高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽 () *1	
種類	—	たて置円筒形 *4		
容量	m ³ /個	変更なし		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	本体胴内径 *5			m
	本体胴板厚さ *6			mm
	本体胴下部鏡板厚さ			mm
	本体胴下部鏡板中央部内半径			mm
	本体胴下部鏡板隅の丸み半径			mm
	下部胴外径			mm
	下部胴板厚さ			mm
	下部胴下部平板厚さ			mm
	出口管台外径 *10			mm
	出口管台厚さ *10			mm
高さ *7	mm			
主要材料	本体胴板 *8	—		
	下部胴板	—		
	下部鏡板 *9	—		
個数	—	4		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	T. M. S. L. () m *11	
	溢水防護上の区画番号	—	— *12	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *12	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *13	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *13	—

注記 *1：代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1 高レベル濃縮廃液貯槽冷却水 A, B 膨張槽 ()」及び「第2 高レベル濃縮廃液貯槽冷却水 A, B 膨張槽 ()」と記載。

- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4 ラグ支持たて置円筒形容器」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「胴板」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鏡板」と記載。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *13：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *14：上部の管台を含めた高さを示す。

		変更前	変更後	
名称		安全冷却水膨張槽 () *3	安全冷却水膨張槽 () *1	
種類	—	たて置円筒形 *4	変更なし	
容量	m ³ /個	[Redacted]		
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	°C			
主要寸法	本体胴内径 *5			m
	本体胴板厚さ *6			m
	本体胴下部鏡板厚さ			mm
	本体胴下部鏡板中央部内半径			mm
	本体胴下部鏡板隅の丸み半径			mm
	下部胴外径			mm
	下部胴板厚さ			mm
	下部胴下部平板厚さ			mm
	出口管台外径 *10			mm
	出口管台厚さ *10			mm
高さ *7	mm			
主要材料	本体胴板 *8			—
	下部胴板			—
	下部鏡板 *9			—
個数	—			2
取付箇所	系統名 (ライン名)			—
	設置床	—	T. M. S. L. [Redacted] m *11	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *12	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *12	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *13	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *13	—

注記 *1 : 代替安全冷却水系と兼用する。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 A 系, B 系膨張槽 ([Redacted])」と記載。

*4 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4 ラグ支持たて置円筒形容器」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*6 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「胴板」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鏡板」と記載。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *13：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *14：上部の管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後
名称			高レベル廃液共用貯槽 冷却水膨張槽 () *3	高レベル廃液共用 貯槽冷却水膨張槽 () *1
種類	—		たて置円筒形 *4	変更なし
容量	m ³ /個			
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	本体胴内径 *5	mm		
	本体胴板厚さ *6	mm		
	本体胴下部鏡板 厚さ	mm		
	本体胴下部鏡板 中央部内半径	mm		
	本体胴下部鏡板 隅の丸み半径	mm		
	下部胴外径	mm		
	下部胴板厚さ	mm		
	下部胴下部平板 厚さ	mm		
	出口管台外径 *10	mm		
	出口管台厚さ *10	mm		
高さ *7	mm			
主要材料	本体胴板 *8	—		
	下部胴板	—		
	下部鏡板 *9	—		
個数	—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	T. M. S. L. m *11	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *12	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *12	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *13	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *13	

注記 *1：代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液共用貯槽冷却水 A, B 膨張槽 ()」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4 ラグ支持たて置円筒形容器」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「胴板」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鏡板」と記載。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *13：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *14：上部の管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後
名称			安全冷却水膨張槽 () *3	安全冷却水膨張槽 () *1
種類		—	たて置円筒形 *4	
容量	m ³ /個		変更なし	
最高使用圧力	MPa			
最高使用温度	℃			
主要寸法	本体胴内径 *5	m		
	本体胴板厚さ *6	mm		
	本体胴下部鏡板厚さ	mm		
	本体胴下部鏡板中央部内半径	mm		
	本体胴下部鏡板隅の丸み半径	mm		
	下部胴外径	mm		
	下部胴板厚さ	mm		
	下部胴下部平板厚さ	mm		
	出口管台外径 *10	mm		
	出口管台厚さ *10	mm		
高さ *7	mm			
主要材料	本体胴板 *8	—		
	下部胴板	—		
	下部鏡板 *9	—		
個数	—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> T. M. S. L. m *11 T. M. S. L. m *11 </div>	
	溢水防護上の区画番号	—	— *12	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *12	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *13	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *13	

注記 *1：代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水1A, 1B膨張槽() *1」と記載。

- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「4 ラグ支持たて置円筒形容器」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「胴板」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鏡板」と記載。
- *10：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。
- *11：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *12：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *13：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(2) 熱交換器

				変更前	変更後	
名称				安全冷却水冷却塔 () *3	左記に同じ	
種類				空冷式熱交換器	基礎：直接基礎 冷却塔：空冷式熱交換器	
冷却塔	容量	設計熱交換量	MW/個	[REDACTED]	左記に同じ	
		設計冷却空気流量	kg/s/個			
	最高使用圧力		MPa			
	最高使用温度		℃			
	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面)*2		m ² /個			
	主要寸法	全長				mm
		全幅				mm
		全高				mm
		伝熱管 (内管)	外径			mm
			厚さ			mm
	主要材料	伝熱管(内管)				-
		フィン				-
		ヘッダー				-
	耐火被覆	種類	-			-
厚さ		mm	-	3以上*7		

安ユ A

(つづき)

				変更前	変更後
冷却塔	遮熱板 *8*9	高さ (原動機側)	mm	-	
		高さ (減速機側)	mm		
		厚さ	mm		
		主要材料	-		
原動機	種類		-	誘導電動機	左記に同じ
	出力		kW/個	■	
	ファン台数		台	■	
個数			-	1	
基礎	種類		-	前処理建屋 屋上	
	主要寸法	たて×横	m	-	
		高さ	m		
	主要材料			-	鉄筋コンクリート
底面の標高			-	T. M. S. L. ■ m	T. M. S. L. ■ m
取付箇所	系統名 (ライン名)		-	安全冷却水系*4	左記に同じ
	設置床		-	屋外 前処理建屋屋上 T. M. S. L. ■ m*4	屋外 前処理建屋付近*4 T. M. S. L. 55.00m
	溢水防護上の 区画番号		-	-	屋外
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		-		T. M. S. L. ■ m 以上
	化学薬品防護上の 区画番号		-		屋外
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		-	T. M. S. L. ■ m 以上		

- 注記
- * 1 : 公称値を示す。
 - * 2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「伝熱面積（フィン外表面）」と記載。
 - * 3 : 記載の適正化を行う。既設工認には「安全冷却水A, B 冷却塔（ ）」と記載。
 - * 4 : 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。
 - * 5 : 建築基準法第二条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。
 - * 6 : 周辺施設を含め、航空機墜落火災の想定位置を考慮し、支持架構等の構造を維持する必要がある部材については、火炎直近となる部材は全てを塗装対象とし、それ以外の部材は、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。
 - * 7 : 主材厚さを示す。
 - * 8 : 原動機及び減速機を対象とする。
 - * 9 : 遮熱板の受熱面側には支持架構と同じ仕様の耐火被覆を施工する。

安全上重要な施設に対する離隔距離表

材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)
炭素鋼	36	1
	28	2
	22	4
	19	5
	15	7
	14	7
	13	8
	12	9
	11	9
	10	-
	9	11
	8	13
	6.5	15
	6.4	15
	6	15
	4.5	18
	3.91	19
	3.9	19
	3.2	21
	2.3	23
2.11	23	
1.2	25	
ステンレス鋼	20	/
	16	
	12	
	9	

			変更前	変更後	
名称			安全冷却水 中間熱交換器 ■■■■■■■■■■*3	安全冷却水 中間熱交換器 ■■■■■■■■■■*1	
種類		—	プレート式		
容量	設計熱交換量	kW/個			
最高使用圧力	1次側	MPa			
	2次側	MPa			
最高使用温度	1次側	℃			
	2次側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	伝熱板幅	mm			
	伝熱板高さ	mm			
	伝熱板厚さ	mm			
	側板間長さ	mm			
	側板厚さ	mm			
	全長	mm			
主要材料 *8	側板	—			
	伝熱板	—			
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系*4		
	設置床	—	■■■■■■■■■■ T. M. S. L. ■■■■■■m*4		
	溢水防護上の 区画番号	—	— *9		
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *9		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		
			■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	
			■■■■■■■■■■m 以上	■■■■■■■■■■m 以上	
			変更なし		

- 注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち給水施設及び蒸気供給施設のうち冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1 A, 1 B 中間熱交換器 [REDACTED]」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[REDACTED]」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[REDACTED]」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「[REDACTED]」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			安全冷却水中間熱交換器 [redacted] *3	安全冷却水中間熱交換器 [redacted] *1
種類		—	プレート式	
容量	設計熱交換量	kW/個	[redacted]	
最高使用圧力	1次側	MPa		
	2次側	MPa		
最高使用温度	1次側	℃		
	2次側	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	伝熱板幅	mm		
	伝熱板高さ	mm		
	伝熱板厚さ	mm		
	側板間長さ	mm		
	側板厚さ	mm		
主要材料 *8	側板	—		
	伝熱板	—		
個数		—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系 *4	
	設置床	—	[redacted] T. M. S. L. [redacted] m *4	
	溢水防護上の区画番号	—	— *9	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *9	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	
			[redacted]	T. M. S. L. [redacted] m以上

変更なし

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち給水施設及び蒸気供給施設のうち冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 2 中間熱交換器 [REDACTED] [REDACTED]」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 [REDACTED] 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 [REDACTED] 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 [REDACTED] 」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後	
名称			中間熱交換器*2 ()	変更なし	
種類		—	横置直管式		
容量	処理容量	m ³ /h/個			
	設計熱交換量	kW/個			
最高使用圧力	管側	MPa			
	胴側	MPa			
最高使用温度	管側	℃			
	胴側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		中央部内半径			mm
		隅の丸み内半径			mm
		鏡板厚さ			mm
		入口管台外径*3		mm	
		入口管台厚さ*3		mm	
		出口管台外径*4	mm		
		出口管台厚さ*4	mm		
		フランジ厚さ	mm		

(つづき)

				変更前	変更後	
主要寸法	胴側	胴内径	mm	[REDACTED]	変更なし	
		胴板厚さ	mm			
		入口管台外径*5	mm			
		入口管台厚さ*5	mm			
		出口管台外径*6	mm			
		出口管台厚さ*6	mm			
	管板厚さ	mm				
	伝熱管外径	mm				
	伝熱管厚さ	mm				
	全長	mm				
	高さ*7	mm				
主要材料	管側	胴板	—	[REDACTED]	変更なし	
		鏡板	—			
	胴側	胴板	—			
	管板	—				
	伝熱管	—				
	フランジ	—				
個数			—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	安全冷却水系		
	設置床	—	A	[REDACTED]	T. M. S. L. [REDACTED] m*8	
			B	[REDACTED]	T. M. S. L. [REDACTED] m*8	
	溢水防護上の 区画番号		—	—*9		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—*9		—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		A	[REDACTED]
			—		B	[REDACTED]
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		A	T. M. S. L. [REDACTED] m
—			B	T. M. S. L. [REDACTED] m		

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「中間熱交換器A，B」と記載。
 - *3：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成11年3月29日付け11安(核規)第163号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.2.2-2図 中間熱交換器A，Bの構造図 管台一覧表 P3」を示す。
 - *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成11年3月29日付け11安(核規)第163号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.2.2-2図 中間熱交換器A，Bの構造図 管台一覧表 P4」を示す。
 - *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成11年3月29日付け11安(核規)第163号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.2.2-2図 中間熱交換器A，Bの構造図 管台一覧表 P1」を示す。
 - *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成11年3月29日付け11安(核規)第163号にて認可された設工認の添付図「第3.2.2.2.2-2図 中間熱交換器A，Bの構造図 管台一覧表 P2」を示す。
 - *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
 - *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
 - *9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前		変更後			
名称			安全冷却水 中間熱交換器*3 (██████████)		安全冷却水 中間熱交換器 (██████████)*1			
種類		—	プレート式		変更なし			
容量	設計熱交換量	kW/個	██████████					
最高使用圧力	1次側	MPa						
	2次側	MPa						
最高使用温度	1次側	°C						
	2次側	°C						
伝熱面積		m ² /個						
主要寸法	全長	mm						
	全幅	mm						
	高さ*4	mm						
主要材料	側板	—						
	伝熱板	—						
個数		—					2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—					安全冷却水系	
	設置床	—			1A	██████████ T. M. S. L. ████████m*5		
			1B	██████████ T. M. S. L. ████████m*5				
	溢水防護上の 区画番号	—	—*6					
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*6					
	化学薬品防護上の 区画番号	—	1A	██████████				
			1B	██████████				
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	1A	T. M. S. L. ███████m				
1B			T. M. S. L. ███████m					

- 注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1 A， 1 B 中間熱交換器」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後	
名称			安全冷却水 中間熱交換器*3 ()	安全冷却水 中間熱交換器 () *1	
種類		—	プレート式	変更なし	
容量	設計熱交換量	kW/個	[Redacted]		
最高使用圧力	1次側	MPa			
	2次側	MPa			
最高使用温度	1次側	℃			
	2次側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	全長	mm			
	全幅	mm			
	高さ*4	mm			
主要材料	側板	—			
	伝熱板	—			
個数		—			1
取付箇所	系統名(ライン名)	—			安全冷却水系
	設置床	—		() T. M. S. L. () m *5	
	溢水防護上の区画番号	—	— *6		
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	— *6		
	化学薬品防護上の区画番号	—	—	()	
	化学薬品防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. () m	

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 2 中間熱交換器」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後				
名称			安全冷却水 中間熱交換器 () *3	安全冷却水 中間熱交換器 () *1				
種類		—	プレート式					
容量	設計熱交換量	kW/個	変更なし					
最高使用圧力	1次側	MPa						
	2次側	MPa						
最高使用温度	1次側	℃						
	2次側	℃				変更なし ■ *6		
伝熱面積		m ² /個				変更なし		
主要寸法	伝熱板幅 *4	mm						
	伝熱板高さ *4	mm						
	伝熱板厚さ *4	mm						
	側板間長さ *4	mm						
	側板厚さ *4	mm						
	全長	mm						
主要材料	側板	—						
	伝熱板	—						
個数		—	2					
取付箇所	系統名(ライン名)	—	冷却水設備 (安全冷却水系)					
	設置床	—	■ T. M. S. L. ■ m					
	溢水防護上の区画番号	—	— *5					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *5					
	化学薬品防護上の区画番号	—	—					
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—					
				■	■			
				T. M. S. L. ■ m	T. M. S. L. ■ m			

- 注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち，給水施設及び蒸気供給施設の冷却水設備代替安全冷却水系と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水中間熱交換器A，B()」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。
- *6：重大事故等時における使用時の値を示す。

				変更前	変更後
名称				安全冷却水 中間熱交換器 () *3	安全冷却水 中間熱交換器 () *1
種類			—	プレート式	変更なし
容量	設計熱交換量		kW/個		
最高使用圧力	1次側		MPa		
	2次側		MPa		
最高使用温度	1次側		℃		
	2次側		℃		
伝熱面積			m ² /個		変更なし ■ *6
主要寸法	伝熱板幅 *4		mm		
	伝熱板高さ *4		mm		
	伝熱板厚さ *4		mm		
	側板間長さ *4		mm		
	側板厚さ *4		mm		
	全長		mm		
主要材料	側板		—		
	伝熱板		—		
個数			—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	冷却水設備 (安全冷却水系)	
	設置床		—	■ T. M. S. L. ■ m	
	溢水防護上の区画番号		—	— *5	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	— *5	
	化学薬品防護上の区画番号		—	—	■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. ■ m

- 注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち，給水施設及び蒸気供給施設の冷却水設備代替安全冷却水系と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水中間熱交換器 A, B ()」と記載。
- *4：既設工認申請書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *5：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。
- *6：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後
名称			第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器() ^{*3}	第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器() ^{*1}
種類		—	プレート式	変更なし
容量	設計熱交換量	kW/個	[Redacted]	
最高使用圧力	1次側	MPa		
	2次側	MPa		
最高使用温度	1次側	℃		
	2次側	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	伝熱板幅	mm		
	伝熱板高さ	mm		
	伝熱板厚さ	mm		
	側板間長さ	mm		
	側板厚さ	mm		
	全長	mm		
	横 ^{*4}			
	高さ ^{*5}	mm		
主要材料	側板	—		
	伝熱板	—		
個数		—	4	

(つづき)

		変更前	変更後	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> T. M. S. L. ■■■■■ m*7 </div> <div style="width: 45%;"> T. M. S. L. ■■■■■ m*7 </div> </div>	変更なし
			<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> T. M. S. L. ■■■■■ m*7 </div> <div style="width: 45%;"> T. M. S. L. ■■■■■ m*7 </div> </div>	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *8	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■■ m 以上
T. M. S. L. ■■■■■ m 以上				

注記 *1 : 代替安全冷却水系と兼用する。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水 A, B 中間熱交換器(■■■■■)」及び「第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水 A, B 中間熱交換器(■■■■■)」と記載。

*4 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年1月29日付け10安(核規)第538号にて認可された設工認の「VI 設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-11 崩壊熱除去に関する説明書」による。

*7 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			安全冷却水 中間熱交換器 () *3	安全冷却水中間熱交換器 () *1	
種類		—	プレート式		
容量	設計熱交換量	kW/個	変更なし		
最高使用圧力	1次側	MPa			
	2次側	MPa			
最高使用温度	1次側	℃			
	2次側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	伝熱板幅	mm			
	伝熱板高さ	mm			
	伝熱板厚さ	mm			
	側板間長さ	mm			
	側板厚さ	mm			
	全長	mm			
	横*4				
	高さ*5	mm			
主要材料	側板	—			
	伝熱板	—			
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系		
	設置床	—	T. M. S. L. m *7	T. M. S. L. m *7	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *8		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m 以上	T. M. S. L. m 以上

注記 *1：代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 A 系, B 系中間熱交換器()」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の「VI 設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-11 崩壊熱除去に関する説明書」による。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			高レベル廃液 共用貯槽冷却水 中間熱交換器 () *3	高レベル廃液共用貯槽 冷却水中間熱交換器 () *1
種類		—	プレート式	
容量	設計熱交換量	kW/個	変更なし	
最高使用圧力	1次側	MPa		
	2次側	MPa		
最高使用温度	1次側	℃		
	2次側	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	伝熱板幅	mm		
	伝熱板高さ	mm		
	伝熱板厚さ	mm		
	側板間長さ	mm		
	側板厚さ	mm		
	全長	mm		
	横*4			
	高さ*5	mm		
主要材料	側板	—		
	伝熱板	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	T. M. S. L. m*7	T. M. S. L. m*7
	溢水防護上の 区画番号	—	— *8	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. m 以上

注記 *1 : 代替安全冷却水系と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液共用貯槽冷却水 A, B 中間熱交換器()」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安(核規)第 538 号にて認可された設工認の「VI 設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-11 崩壊熱除去に関する説明書」による。
- *7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			安全冷却水 中間熱交換器 () *3	安全冷却水 中間熱交換器 () *1
種類		—	プレート式	
容量	設計熱交換量	kW/個	変更なし	
最高使用圧力	1次側	MPa		
	2次側	MPa		
最高使用温度	1次側	℃		
	2次側	℃		
伝熱面積		m ² /個		
主要寸法	伝熱板幅	mm		
	伝熱板高さ	mm		
	伝熱板厚さ	mm		
	側板間長さ	mm		
	側板厚さ	mm		
	全長	mm		
	横*4			
	高さ*5	mm		
主要材料	側板	—		
	伝熱板	—		
個数		—	2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	() T. M. S. L. () m*7	() T. M. S. L. () m*7
	溢水防護上の 区画番号	—	— *8	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *8	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. () m 以上

注記 *1：代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1A, 1B 中間熱交換器 ()」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全幅」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 11 年 1 月 29 日付け 10 安（核規）第 538 号にて認可された設工認の「VI

設計及び工事の方法の技術基準への適合に関する説明書 添付-11 崩壊熱除去に関する説明書」による。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8：溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

			変更前	変更後
名称			安全冷水冷凍機 (XXXXXXXXXX)*2	変更なし
種類		—	圧縮式*3	
容量	設計熱交換量		kW/個	
最高使用圧力	スクリー圧縮機		MPa	
	油分離器		MPa	
	凝縮器	管側	MPa	
		胴側	MPa	
	油冷却器	管側	MPa	
		胴側	MPa	
最高使用温度	スクリー圧縮機		℃	
	油分離器		℃	
	凝縮器	管側	℃	
		胴側	℃	
	油冷却器	管側	℃	
		胴側	℃	
主要寸法	スクリー圧縮機	吸込口径*9		
		高さ*4	mm	
	油分離器	胴内径*5		
		胴板厚さ*6	mm	
		鏡板厚さ	mm	
		鏡板長径	mm	
		鏡板短径の2分の1	mm	
		高さ*4	mm	
	凝縮器	管側	胴内径*5	
			胴板厚さ*6	mm
			平板厚さ	mm
			入口管台外径*10	mm
			入口管台厚さ*10	mm
			出口管台外径*11	mm
			出口管台厚さ*11	mm
		胴側	胴内径*5	
			胴板厚さ*6	mm
			出口管台外径*12	mm
			出口管台厚さ*12	mm
			出口管台外径*13	mm
出口管台厚さ*13			mm	
管板厚さ			mm	
伝熱管外径		mm		
伝熱管厚さ		mm		
長さ*7		mm		
高さ*4		mm		

(つづき)

					変更前	変更後
主要 寸法	油冷却器	管側	胴外径*5	mm		
			胴板厚さ*6	m		
			平板厚さ	mm		
			入口管台外径*14	mm		
			入口管台厚さ*14	mm		
			出口管台外径*15	mm		
		出口管台厚さ*15	mm			
		胴側	胴外径*5	mm		
			胴板厚さ*6	m		
		管板厚さ	mm			
		伝熱管外径	mm			
		伝熱管厚さ	mm			
		長さ*7	mm			
		高さ*4				
		たて	mm			
横*7	mm					
高さ*4	mm					
主要 材料	スクリーユ圧縮機			—		
	油分離器	胴板		—		
		鏡板		—		
	凝縮器	胴板		—		
		平板*8		—		
		管板		—		
		伝熱管		—		
	油冷却器	胴板		—		
		平板*8		—		
		管板		—		
伝熱管			—			
個数				—	2	変更なし

(つづき)

		変更前	変更後	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	変更なし	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の配 慮が必要な高さ	—	—	—
	化学薬品防護上 の区画番号	—	—	
	化学薬品防護上 の配慮が必要な 高さ	—	—	—

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷水 A, B 冷凍機 ()」と記載。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「機械装置」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*7: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「L」と記載。

*8: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鏡板」と記載。

*9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 N1, N2」を示す。

*10: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 N5」を示す。

*11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 N6」を示す。

*12: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 N3」を示す。

*13: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 N4」を示す。

*14: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 N7」を示す。

*15: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 N8」を示す。

- *16：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計
図書による。
- *17：上部の管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後	
名称			安全冷水冷却器 (XXXXXXXXXX) *2	変更なし	
種類		—	横置多管式*12		
容量	設計熱交換量	kW/個			
最高使用圧力	管側	MPa			
	胴側	MPa			
最高使用温度	管側	℃			
	胴側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	胴内径*3			
		胴板厚さ*4			m
		平板厚さ			mm
		入口管台外径*8			mm
		入口管台厚さ*8			mm
		出口管台外径*9			mm
		出口管台厚さ*9			mm
	胴側	胴内径*3			
		胴板厚さ*4	m		
		入口管台外径*10	mm		
		入口管台厚さ*10	mm		
		出口管台外径*11	mm		
	出口管台厚さ*11	mm			
	管板厚さ		mm		
伝熱管外径		mm			
伝熱管厚さ		mm			
全長*5		mm			
高さ*6		mm			
主要材料	管側胴板		—		
	管側平板*7		—		
	胴側胴板		—		
	管板		—		
	伝熱管		—		
個数		—	2		

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全冷却水系	
	設置床	—	■	■
			T. M. S. L. ■ m ^{*12}	T. M. S. L. ■ m ^{*12}
	溢水防護上の 区画番号	—	— *13	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *13	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *14	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *14	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷水 A, B 冷却器 (■) (■)」と記載。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。

*5: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「L」と記載。

*6: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。

*7: 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「鏡板」と記載。

*8: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P1」を示す。

*9: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P2」を示す。

*10: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P3」を示す。

*11: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書の「管台一覧表 P4」を示す。

*12: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*13: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*14: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*15: 上部の管台を含めた高さを示す。

			変更前	変更後	
名称			安全冷却水第1 中間熱交換器 () *3	安全冷却水第1 中間熱交換器 () *1	
種類		—	横置多管式		
容量	設計熱交換量	kW/個	[Redacted]		
最高使用圧力	管側	MPa			
	胴側	MPa			
最高使用温度	管側	℃			
	胴側	℃			
伝熱面積		m ² /個			
主要寸法	管側	胴内径			mm
		胴板厚さ			mm
		鏡板厚さ			mm
		鏡板長径			mm
		鏡板短径の2分の1			mm
		平板厚さ			mm
		安全冷却水入口 管台外径 *5			mm
		安全冷却水入口 管台厚さ *5			mm
		安全冷却水出口 管台外径 *6			mm
	安全冷却水出口 管台厚さ *6	mm			
	胴側	胴内径	mm		
		胴板厚さ	mm		
		安全冷却水入口 管台外径 *7	mm		
		安全冷却水入口 管台厚さ *7	mm		
		安全冷却水出口 管台外径 *8	mm		
		安全冷却水出口 管台厚さ *8	mm		
	管板厚さ		mm		
	伝熱管外径		mm		
伝熱管厚さ		mm			
			変更なし		

(つづき)

			変更前	変更後	
主要寸法	全長	mm			
主要材料	管側	胴板	—	変更なし	
		鏡板	—		
		平板	—		
	胴側	胴板	—		
	管板		—		
	伝熱管		—		
個数		—	2		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	安全冷却水系*4	
	設置床		—	T. M. S. L. [] m*4	
	溢水防護上の区画番号		—	—*9	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*9	—
	化学薬品防護上の区画番号		—	—*10	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—*10	—

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水A, B第1中間熱交換器([])」と記載。

*4：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*5：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.2.2-1図 安全冷却水A, B第1中間熱交換器([])の構造図管台一覧表 P1」を示す。

*6：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.2.2-1図 安全冷却水A, B第1中間熱交換器([])の構造図管台一覧表 P2」を示す。

*7：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.2.2-1図 安全冷却水A, B第1中間熱交換器([])の構造図管台一覧表 P3」を示す。

*8：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成11年7月5日11安(核規)第135号にて認可された設工認の添付図面「第3.2.2.2.2-1図 安全冷却水A, B第1中間熱交換器([])の構造図管台一覧表 P4」を示す。

(つづき)

*9：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*10：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

				変更前	変更後	
名称				冷却塔 (8111A, B-C20) *3	変更なし	
種類			-	空冷式 熱交換器	基礎：直接基礎 冷却塔：空冷式 熱交換器	
冷却塔	容量	設計熱交換量		MW/ 個	4.45 以上 (4.45* ¹)	
		設計冷却空気流量		kg/h	1739* ¹	
	最高使用圧力		MPa	0.69	変更なし	
	最高使用温度		℃	60		
	伝熱面積 (伝熱管及びフィン外表面) *2		m ² /個	20700 以上 (20700* ¹)		
	主要寸法	全長		mm		24320* ¹
		全幅		mm		5900* ¹
		全高		mm		7650* ¹
		伝熱管 (内管)	外径	mm		25.4* ¹
	厚さ		mm	2.11* ¹		
	主要材料	伝熱管(内管)		-		ASME SA-334 GradeI (STBL380相当)
		フィン		-		アルミニウム* ⁴
		ヘッダー		-		ASME SA-662 GradeC (SLA325A相当)
	耐火被覆	種類		-		-
厚さ		mm	-	3以上* ⁷		

(つづき)

				変更前	変更後
冷却塔	遮熱板 * 8 * 9	高さ (原動機側)	mm	-	730* ¹ , 130* ¹
		高さ (減速機側)	mm		865* ¹
		厚さ	mm		5以上 (6* ¹)
		主要材料	-		SS400
原動機	種類		-	誘導電動機	
	出力		kW/個	11	
	ファン台数		台	16	
個数			-	2	
基礎	種類		-	直接基礎	
	主要寸法	たて×横	m	28×39* ¹	
		高さ	m	1.5* ¹	
	主要材料		-	鉄筋 コンクリート	
底面の標高		-	T. M. S. L 53. 80m		
取付箇所	系統名 (ライン名)		-	安全冷却水系* ⁴	
	設置床		-	屋外 非常用電源 建屋付近 T. M. S. L. 55. 0m* ⁴	
	溢水防護上の 区画番号		-	屋外	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		-	T. M. S. L. 58. 65m 以上	
	化学薬品防護上の 区画番号		-	屋外	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		-	T. M. S. L. 55. 58m 以上	

- 注記
- * 1 : 公称値を示す。
 - * 2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「伝熱面積（フィン外表面）」と記載。
 - * 3 : 記載の適正化を行う。既設工認には「冷却塔A, B (8111A, B-C20)」と記載。
 - * 4 : 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。
 - * 5 : 建築基準法第二条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。
 - * 6 : 周辺施設を含め、航空機墜落火災の想定位置を考慮し、支持架構等の構造を維持する必要がある部材については、火炎直近となる部材は全てを塗装対象とし、それ以外の部材は、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。
 - * 7 : 主材厚さを示す。
 - * 8 : 原動機及び減速機を対象とする。
 - * 9 : 遮熱板の受熱面側には支持架構と同じ仕様の耐火被覆を施工する。

安全上重要な施設に対する離隔距離表

材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)
炭素鋼	36	1
	28	2
	22	4
	19	5
	15	7
	14	7
	13	8
	12	9
	11	9
	10	-
	9	11
	8	13
	6.5	15
	6.4	15
	6	15
	4.5	18
	3.91	19
	3.9	19
	3.2	21
	2.3	23
2.11	23	
1.2	25	
ステンレス鋼	20	/
	16	
	12	
	9	

(3) ポンプ

			変更前	変更後		
名称		-	安全冷却水循環ポンプ [REDACTED] [REDACTED]			
ポンプ	種類	-	[REDACTED]	変更なし		
	容量	m ³ /h/ 個				
	揚程	m				
	最高使用圧力	MPa				
	最高使用温度	℃				
	主要 寸法	吸込口径 *3				mm
		吐出口径 *3				mm
		ケーシング グ厚さ*3				mm
		たて*3				mm
		横*3				mm
		高さ*3				mm
	主要 材料	ケーシン グ				-
	個数					-
取 付 箇 所	系統名(ラ イン名)	-	安全冷却水系			
	設置床	-	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]m			
	溢水防護 上の区画 番号	-	-	[REDACTED]		
	溢水防護 上の配慮 が必要な 高さ	-	-	T. M. S. L. [REDACTED]m 以上	T. M. S. L. [REDACTED]m 以上	

	化学薬品 防護上の 区画番号	-	-	■■■■■■■■■■	
	化学薬品 防護上の 配慮が必 要な高さ	-	-	T. M. S. L. ■■■■ m 以上	T. M. S. L. ■■■■ m 以上
原 動 機	種類	-	三相誘導電動機	変更なし	
	出力	kW/ 個	■■■		
	個数	-	4		
	取付箇所	-	ポンプと同じ		

- 注記 *1: 公称値を示す
 *2: 重大事故時等における使用時の値を示す。
 *3: 既設工認に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。
 *4: 核燃料物質を取扱わない設備のため、核的制限値は記載しない。

			変更前	変更後			
名称			安全冷却水ポンプ ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ *3	安全冷却水ポンプ ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ *1			
ポンプ	種類	—	うず巻形	変更なし			
	容量*4	m ³ /h /個	■■■■■■■■■■				
	揚程*6						
	最高使用圧力	MPa					
	最高使用温度	℃					
	主要寸法	吸込口径				mm	
		吐出口径				mm	
		たて				mm	
		横				mm	
		高さ*7				m	
	主要材料*8	ケーシング				—	
	個数	—				2(予備2) *9	
	取付箇所	系統名(ライン名)				—	安全冷却水系 *5
		設置床				—	■■■■■■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m *5
溢水防護上の区画番号		—	—	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■		
溢水防護上の配慮が必要な高		—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上	T. M. S. L. ■■■■ m以上		
化学薬品防護上の		—	—	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■		
化学薬品防護上の		—	—	T. M. S. L. ■■■■ m以上	T. M. S. L. ■■■■ m以上		
原動機	種類	—	誘導電動機 *5	変更なし			
	出力	kW/	■■ *5				
	個数	—	2(予備2) *5				
	取付箇所	—	ポンプと同じ *11				

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち給水施設及び蒸気供給施設のうち冷却水設

備のうち代替安全冷却水系と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1 A ポンプ A, B ■■■■■■■■■■」, 「安全冷却水 1 B ポンプ A, B ■■■■■■■■■■」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。

			変更前	変更後	
名称			安全冷却水ポンプ ■■■■■*3	安全冷却水ポンプ ■■■■■* 1	
ポンプ	種類	—	うず巻形	変更なし	
	容量*4	m ³ /h/ 個	■■■■■		
	揚程*6				
	最高使用圧力	MPa			
	最高使用温度	℃			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
	高さ*7	m			
	主要材料*8	ケーシング			—
	個数	—	1(予備1)*9		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		安全冷却水系*5
設置床		—	T. M. S. L. ■■■■m*5		
溢水防護上の区画番号		—	—	■■■■■	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上	
化学薬品防護上の区画番号		—	—	■■■■■	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. ■■■■m以上		
原動機	種類	—	誘導電動機*5	変更なし	
	出力	kW/ 個	■■■*5		
	個数	—	1(予備1)*5		
	取付箇所	—	ポンプと同じ*11		

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち給水施設及び蒸気供給施設のうち冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水2ポンプA, B [REDACTED] [REDACTED]」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。
- *5：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「材料」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。

			変更前	変更後	
名称			冷却水循環ポンプ*2 ()		
ポンプ	種類	—	うず巻形		
	容量*3	m ³ /h/個	[REDACTED]		
	揚程*4	m			
	最高使用圧力	MPa			
	最高使用温度	°C			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ*5			mm
主要材料	ケーシング	—			
個数		—	2(内2個予備)		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系		
	設置床	—	A, B	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m*6	
C, D			[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m*6		

変更なし

(つづき)

				変更前	変更後	
ポンプ	取付箇所	溢水防護上の 区画番号	—	—	A, B	■■■■■
					C, D	■■■■■
		溢水防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—	A, B	T. M. S. L. ■■■■■m
					C, D	T. M. S. L. ■■■■■m
		化学薬品 防護上の 区画番号	—	—	A, B	■■■■■
			C, D	■■■■■		
		化学薬品 防護上の 配慮が 必要な高さ	—		A, B	T. M. S. L. ■■■■■m
					C, D	T. M. S. L. ■■■■■m
原動機	種類		—	誘導電動機*6	変更なし	
	出力		kW/個	■■■■■*6		
	個数		—	4*6		
	取付箇所		—	ポンプと同じ*6		

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「冷却水循環ポンプA, B, C, D」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書では「定格容量」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書では「定格揚程」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*6：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前		変更後		
名称			安全冷却水ポンプ*3*4 ()		安全冷却水ポンプ *1		
ポンプ	種類	—	うず巻形		変更なし		
	容量*5	m ³ /h/ 個					
	揚程*6	m					
	最高使用圧力	MPa					
	最高使用温度	℃					
	主要寸法	吸込口径					mm
		吐出口径					mm
		たて					mm
		横	mm				
	高さ*7	mm					
	主要材料	ケーシング	—				
個数	—	4					
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系				
	設置床	—	1A	T. M. S. L. m*8			
			1B	T. M. S. L. m*8			

(つづき)

				変更前	変更後	
ポンプ	取付箇所	溢水防護上の 区画番号	—	—	1A	■■■■
			—	—	1B	■■■■
		溢水防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—	1A	T. M. S. L. ■■■■m
			—	—	1B	T. M. S. L. ■■■■m
		化学薬品 防護上の 区画番号	—	—	1A	■■■■
			—	—	1B	■■■■
		化学薬品 防護上の 配慮が 必要な高さ	—	—	1A	T. M. S. L. ■■■■m
			—	—	1B	T. M. S. L. ■■■■m
原動機	種類		—	誘導電動機*8	変更なし	
	出力		kW/個	■■■■*8		
	個数		—	4*8		
	取付箇所		—	ポンプと同じ*8		

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1 A ポンプ A, B」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1 B ポンプ A, B」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書では「定格容量」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書では「定格揚程」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前 安全冷却水 ポンプ*3 ()	変更後 安全冷却水 ポンプ *1	
名称					
ポンプ	種類	—	うず巻形	変更なし	
	容量*4	m ³ /h/個	[REDACTED]		
	揚程*5	m			
	最高使用圧力	MPa			
	最高使用温度	°C			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
		高さ*6			mm
	主要材料	ケーシング			—
	個数	—	2(内1個予備)		
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		安全冷却水系
		設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]m*7
		溢水防護上の 区画番号	—		—
溢水防護上の 配慮が 必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED]m	
化学薬品 防護上の 区画番号		—	—	[REDACTED]	
化学薬品 防護上の 配慮が 必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED]m	

(つづき)

			変更前	変更後
原動機	種類	—	誘導電動機*7	変更なし
	出力	kW/個	■*7	
	個数	—	2*7	
	取付箇所	—	ポンプと同じ*7	

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書では「安全冷却水2ポンプA、B」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書では「定格容量」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書では「定格揚程」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前	変更後		
ポンプ	名称	安全冷却水ポンプ () *3	安全冷却水ポンプ () *1		
	種類	—	うず巻形		
	容量*4	m ³ /h/個	[REDACTED]	変更なし	
	揚程*5	m			
	最高使用圧力*7	MPa			
	最高使用温度*7			変更なし [REDACTED]	
	主要寸法	吸込口径*7		mm	
		吐出口径*7	mm		
		たて*7			
		横*7	mm		
	高さ*6				
	主要材料	ケーシング	—		
	個数	—	4(内2個予備)	変更なし	
	取付箇所	系統名(ライン名)	—	冷却水設備 (安全冷却水系)	
		設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]m	
溢水防護上の区画番号		—	—	[REDACTED]	[REDACTED]
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED]m*8 [REDACTED]m*9	T. M. S. L. [REDACTED]m* 10
化学薬品防護上の区画番号		—	—	[REDACTED]	[REDACTED]
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED]m*8 [REDACTED]m*9	T. M. S. L. [REDACTED]m* 10

(つづき)

		変更前	変更後
原 動 機	種類*7	—	誘導電動機*7
	出力*7	kW/個	■
	個数*7	—	4(内2個予備)*7
	取付箇所*7	—	ポンプと同じ*7
			変更なし

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち，冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水AポンプA, B(■)」，「安全冷却水BポンプA, B(■)」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*8：安全冷却水AポンプA(■)を示す。

*9：安全冷却水AポンプB(■)を示す。

*10：安全冷却水BポンプA, B(■)を示す。

*11：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
ポンプ	名称		安全冷却水ポンプ [REDACTED] [REDACTED])*3	安全冷却水ポンプ [REDACTED] [REDACTED])*1	
	種類	—	うず巻形	変更なし	
	容量*4	m ³ /h/個	[REDACTED]		
	揚程*5	m			
	最高使用圧力*7	MPa			
	最高使用温度*7				変更なし [REDACTED]
	主要寸法	吸込口径*7		mm	[REDACTED]
		吐出口径*7	mm		
		たて*7	mm		
		横*7			
		高さ*6			
	主要材料	ケーシング	—		変更なし
	個数		—	2(内1個予備)	
	取付箇所	系統名(ライン名)		冷却水設備 (安全冷却水系)	
設置床		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]m			
溢水防護上の区画番号		—	[REDACTED]		
溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	T. M. S. L. [REDACTED]m*8 [REDACTED]m*9		
化学薬品防護上の区画番号		—	[REDACTED]		
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	T. M. S. L. [REDACTED]m		

(つづき)

		変更前	変更後
原 動 機	種類*7	—	誘導電動機*7
	出力*7	kW/個	■
	個数*7	—	2(内1個予備)*7
	取付箇所*7	—	ポンプと同じ*7
			変更なし

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち，冷却水設備の代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水CポンプA, B(■)」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*7：既設工認申請書記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*8：安全冷却水CポンプA(■)を示す。

*9：安全冷却水CポンプB(■)を示す。

*10：重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			第 1, 第 2 高レベル 濃縮廃液貯槽 冷却水ポンプ ()) *3	第 1, 第 2 高レベル 濃縮廃液貯槽 冷却水ポンプ ()) *1	
ポンプ	種類	—	うず巻形		
	容量*4	m ³ /h/個	[Redacted]		
	揚程*5	m			
	最高使用圧力	MPa			
	最高使用温度	℃			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
	高さ*6	mm			
主要材料	ケーシング	—	変更なし		
個数	—	8(予備 4) *7			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			安全冷却水系
	設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*8	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*8	
[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*8			[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m*8		

(つづき)

				変更前	変更後		
ポンプ	取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	—	[Redacted]		
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—		T. M. S. L. [Redacted] m 以上	T. M. S. L. [Redacted] m 以上
						T. M. S. L. [Redacted] m 以上	T. M. S. L. [Redacted] m 以上
		化学薬品防護上の区画番号	—	—		[Redacted]	
		化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—			T. M. S. L. [Redacted] m 以上
T. M. S. L. [Redacted] m 以上	T. M. S. L. [Redacted] m 以上						
種類	—	誘導電動機*8	変更なし				
出力	kW/個	[Redacted]					
個数	—	[Redacted]					
取付箇所	—	ポンプと同じ*8					

注記 *1：代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水 A ポンプ A, B ([Redacted])」, 「第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水 B ポンプ A, B ([Redacted])」, 「第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水 A ポンプ A, B ([Redacted])」及び「第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水 B ポンプ A, B ([Redacted])」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。

- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後	
名称			安全冷却水ポンプ ()*3	安全冷却水ポンプ ()*1	
ポンプ	種類	—	うず巻形		
	容量*4	m ³ /h/個	[Redacted]		
	揚程*5	m			
	最高使用圧力	MPa			
	最高使用温度	℃			
	主要寸法	吸込口径			mm
		吐出口径			mm
		たて			mm
		横			mm
	主要材料	高さ*6			m
		ケーシング			—
	個数	—	4(予備 2)*7		
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系	
		設置床	—	[Redacted]	[Redacted]
溢水防護上の 区画番号		—	[Redacted]	[Redacted]	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	[Redacted]	T. M. S. L. [Redacted] m 以上	T. M. S. L. [Redacted] m 以上
化学薬品防 護上の区画 番号		—	[Redacted]	[Redacted]	
化学薬品防 護上の配慮 が必要な高 さ		—	[Redacted]	T. M. S. L. [Redacted] m 以上	T. M. S. L. [Redacted] m 以上
種類		—	誘導電動機*8		
原動機	出力	kW/個	[Redacted]		
	個数	—			
	取付箇所	—	ポンプと同じ*8		

注記 *1：代替安全冷却水系と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 A 系ポンプ A, B ()」及び「安全冷却水 B 系ポンプ A, B ()」
と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内 1 個予備)」と記載。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後	
名称			高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () ^{*3}	高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () ^{*1}	
ポンプ	種類	—	うず巻形		
	容量 ^{*4}	m ³ /h/個			
	揚程 ^{*5}	m			
	最高使用圧力	MPa			
	最高使用温度	℃			
	主要寸法	吸込口径	mm		
		吐出口径	mm		
		たて	mm		
		横	mm		
		高さ ^{*6}	m		
	主要材料	ケーシング	—		
	個数		—	4(予備2) ^{*7}	
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系	
		設置床	—	 T. M. S. L. m ^{*8}	 T. M. S. L. m ^{*8}
溢水防護上の 区画番号		—	—		
溢水防護上の 配慮が必要な 高さ		—	—	T. M. S. L. m 以上	
化学薬品防護 上の区画番号		—	—		
化学薬品防護 上の配慮が必要 な高さ		—	—	T. M. S. L. m 以上	
化学薬品防護 上の配慮が必要 な高さ		—	—	T. M. S. L. m 以上	
原動機	種類	—	誘導電動機 ^{*8}		
	出力	kW/個			
	個数	—			
	取付箇所	—	ポンプと同じ ^{*8}		

- 注記 *1：代替安全冷却水系と兼用する。
- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「高レベル廃液共用貯槽冷却水 A ポンプ A, B ()」及び「高レベル廃液共用貯槽冷却水 B ポンプ A, B ()」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内 1 個予備)」と記載。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後			
名称			安全冷却水ポンプ () *3	安全冷却水ポンプ () *1			
ポンプ	種類	—	うず巻形				
	容量*4	m ³ /h/個	[Redacted]				
	揚程*5						
	最高使用圧力	MPa					
	最高使用温度	℃					
	主要寸法	吸込口径			mm		
		吐出口径			mm		
		たて			mm		
		横			mm		
	主要材料	高さ*6			m	変更なし	
		ケーシング			—		
	個数	—	4(予備2) *7				
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	安全冷却水系			
		設置床	—	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m *8	[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m *8		
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	—				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m 以上			
	化学薬品防護上の区画番号	—	—				
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. [Redacted] m 以上			
原動機	種類	—	誘導電動機 *8				
	出力	kW/個	[Redacted]				
	個数	—					
	取付箇所	—			ポンプと同じ *8		

注記 *1 : 代替安全冷却水系と兼用する。

- *2：公称値を示す。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「安全冷却水 1A ポンプ A, B ()」及び「安全冷却水 1B ポンプ A, B ()」
と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内 1 個予備)」と記載。
- *8：既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後	
名称			冷水移送ポンプ [REDACTED] [REDACTED])*3	冷水移送ポンプ [REDACTED] [REDACTED])*1	
ポンプ	種類	—	うず巻形	変更なし	
	容量*4	m ³ /h/個	[REDACTED]		
	揚程*6	m	[REDACTED]		
	最高使用圧力	MPa	[REDACTED]		
	最高使用温度	℃	[REDACTED]		
	主要寸法	吸込口径	mm		[REDACTED]
		吐出口径	mm		[REDACTED]
		たて	mm		[REDACTED]
		横	mm		[REDACTED]
		高さ*7	mm		[REDACTED]
	主要材料	ケーシング	—		[REDACTED]
	個数	—	4*8		
	取付箇所	系統名(ライン名)	—		安全冷却水系*5
		設置床	—		T. M. S. L. [REDACTED]m*5
溢水防護上の 区画番号		—	—	[REDACTED]	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED]m以上	
化学薬品防護上の 区画番号		—	—	[REDACTED]	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. [REDACTED]m以上	
原動機	種類	—	誘導電動機*5	変更なし	
	出力	kW/個	[REDACTED]*5		
	個数	—	4*5		
	取付箇所	—	ポンプと同じ*5		

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「冷水移送ポンプA,B([REDACTED])」, 「冷水移送ポンプC,D([REDACTED])」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格容量」と記載。

*5：既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(つづき)

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「定格揚程」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「2(内1個予備)」と記載。

		変更前	変更後	
	名称	-	冷却水循環ポンプ (8111A, B-P2010)	
ポンプ	種類	-	うず巻形	
	定格容量	m ³ /h/ 個	450 以上 (450* ¹)	
	定格揚程	m	38 以上 (38* ¹)	
	最高使用圧力	MPa	0.69* ¹	
	最高使用温度	°C	60* ¹	
	主要寸法	吸込口径* ²	mm	269.5* ¹
		吐出口径* ²	mm	218.0* ¹
		ケーシング厚さ* ²	mm	-
		たて* ²	mm	690* ¹
		横* ²	mm	2074* ¹
	主要材料	高さ* ²	mm	945* ¹
		ケーシング	-	SCPH1
	個数		-	2
	取付箇所	系統名(ライン名)	-	安全冷却水系
		設置床	-	GA-W0101, W0108 T. M. S. L. 50.20m
溢水防護上の区画番号		-	-	
溢水防護上の配慮が必要な高さ		-	-	
化学薬品防護上の区画番号		-	-	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		-	-	
原動機	種類	-	三相誘導電動機	
	出力	kW/ 個	75	
	個数	-	2	
	取付箇所	-	ポンプと同じ	

変更なし

注記 *1: 公称値を示す

*2: 既設工認に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*3: 核燃料物質を取扱わない設備のため、核的制限値は記載しない。

(4) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
*2 安全冷却水冷却塔 () ～ 安全冷却水冷却塔 () 出口配管 ()) 分岐点						変更なし	変更前に同じ				
*3 安全冷却水冷却塔 () 出口配管 ()) 分岐点 ～ 弁 ()							変更前に同じ				
*4 安全冷却水冷却塔 () 出口配管 ()) 分岐点 ～ 弁 ()						変更なし					
*5 安全冷却水冷却塔 () 出口配管 ()) 分岐点 ～ 弁 ()						変更なし					

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
*6 安全冷却水冷却塔()出口配管())分岐点 ~ 安全冷却水冷却塔()出口配管())分岐点						変更なし					
*7 安全冷却水冷却塔()出口配管())分岐点 ~ 弁()											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
*8 安全圧縮空気装置 () 出口 配管 () 合流点 ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											
*9 弁 () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											
*10 弁 () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											
*11 弁 () () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											
*12 弁 () () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											
						変更なし					

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
*13 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () () 合流点 ～ 安全冷却水循環ポンプ () ()						変更なし					
*14 安全冷却水循環ポンプ () () ～ 安全冷却水冷却塔 ()						変更なし	変更前に同じ				
							変更前に同じ				
*15 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点 ～ 安全冷却水膨張槽 ()						変更なし					
*16 安全冷却水膨張槽 () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点						変更なし					

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
*17 安全冷却水冷却塔 () ～ 安全冷却水冷却塔 () 供給ヘッダー合 流点											
*18 安全冷却水冷却塔 () 供給ヘッダー合 流点 ～ 安全冷却水冷却塔 () 出口配管 () () 分岐点											
*19 安全冷却水冷却塔 () 出口配管 () () 分岐点 ～ 弁 ()											
*2 安全冷却水冷却塔 () 出口配管 () () 分岐点 ～ 弁 () ()											
*20 安全冷却水冷却塔 () 出口配管 () () 分岐点 ～ 弁 () ()											
											変更なし

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
<small>*21</small> 安全冷却水冷却塔()出口配管())分岐点 ~ 安全冷却水冷却塔()出口配管())分岐点						変更なし					
<small>*22</small> 安全冷却水冷却塔()出口配管())分岐点 ~ 弁()											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
*23 安全圧縮空気装置 () 出口 配管 () 合流点 ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											
*24 弁 () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											
*25 弁 () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点						変更なし					
*26 弁 () () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											
*27 弁 () () ～ 安全冷却水循環ポンプ () () 入口配管 () 合流点											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
*28 安全冷却水循環ポンプ() ()入口配管() ()合流点 ～ 安全冷却水循環ポンプ() ()											
*29 安全冷却水循環ポンプ() () ～ 安全冷却水冷却塔()戻りヘッダー分 岐点											
*30 安全冷却水冷却塔()戻りヘッダー分 岐点 ～ 安全冷却水冷却塔()						変更なし					
*31 安全冷却水循環ポンプ() ()入口配管分岐点 ～ 安全冷却水膨張槽()											
*32 安全冷却水膨張槽() ～ 安全冷却水循環ポンプ() ()入口配管合流点											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷却水 A 冷却塔まわり ()					-					
	安全冷却水 B 冷却塔まわり ()										
	安全冷却水 A 循環ポンプ () ()まわり										
	安全冷却水 B 循環ポンプ () ()まわり										

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系	安全冷却水 A 補助冷却器()まわり	[Redacted]					-					
	安全冷却水 B 補助冷却器()まわり	[Redacted]										
	換気設備用冷凍機 A(2114-C31)まわり	1.37	60	318.5	8.4	STPG370						
				27.2	3.9							
	換気設備用冷凍機 B(2114-C31)まわり	1.37	60	318.5	8.4	STPG370						
				27.2	3.9							
	安全冷却水 A 膨張槽()まわり	[Redacted]										
	安全冷却水 B 膨張槽()まわり	[Redacted]										
安全圧縮空気系へ	1.37	60	27.2	3.9	STPG370							
前処理建屋/分離建屋/精製建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/制御建屋/非常用電源建屋/安全冷却水 B 冷却塔基礎/主排気筒管理建屋間洞道	[Redacted]											

注記 * 1 : 公称値を示す。

- * 2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 3 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 4 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 5 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 6 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 7 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 8 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 9 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 11 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 12 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 13 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 14 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 15 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 16 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 17 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 18 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 19 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 20 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 21 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 22 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 23 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 24 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 25 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 26 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 27 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 28 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 29 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 30 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 31 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。
- * 32 : 記載の適正化を行う。既設工認には「」, 「」と記載。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷却水中間熱交換器 ■■■■■～ 安全冷却水ポンプ■■■■■ ■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	安全冷却水中間熱交換器 ■■■■■～ 安全冷却水ポンプ■■■■■ ■■■■■*1	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	変更なし
	安全冷却水ポンプ■■■■■ ■■■■■～ 清澄・計量設備					安全冷却水ポンプ■■■■■ ■■■■■～ 清澄・計量設備*1					変更なし
	清澄・計量設備～ 安全冷却水中間熱交換器 ■■■■■					清澄・計量設備～ 安全冷却水中間熱交換器 ■■■■■*1					変更なし
	安全冷却水1B中間熱交換器 ■■■■■～ 安全冷却水ポンプ■■■■■ ■■■■■					安全冷却水中間熱交換器 ■■■■■～ 安全冷却水ポンプ■■■■■ ■■■■■*1					変更なし

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷却水ポンプ [] ~ 清澄・計量設備	[]	[]	[]	[]	安全冷却水ポンプ [] ~ 清澄・計量設備*1	[]	[]	[]	[]	変更なし
	清澄・計量設備~ 安全冷却水中間熱交換器 []					清澄・計量設備~ 安全冷却水中間熱交換器 []*1					変更なし
	安全冷却水中間熱交換器 [] ~ 安全冷却水ポンプ []					安全冷却水中間熱交換器 [] ~ 安全冷却水ポンプ []*1					変更なし
	安全冷却水ポンプ [] ~ 溶解設備, 清澄・計量設備 及びせん断処理・溶解廃ガス処理設備					安全冷却水ポンプ [] ~ 溶解設備, 清澄・計量設備 及びせん断処理・溶解廃ガス処理設備*1					変更なし

変更前						変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料			
安全冷却水系	溶解設備, 清澄・計量設備 及びせん断処理・溶解廃ガス 処理設備～ 安全冷却水中間熱交換器 ■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	溶解設備, 清澄・計量設備 及びせん断処理・溶解廃ガス 処理設備～ 安全冷却水中間熱交換器 ■■■■■*1	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	変更なし			
	安全冷却水膨張槽■■■■■ ■■■■■～ 安全冷却水中間熱交換器 出口配管■■■■■ ■■■■■*3					安全冷却水膨張槽■■■■■ ■■■■■～ 安全冷却水中間熱交換器 出口配管■■■■■ ■■■■■*1					変更なし			
	安全冷却水膨張槽 ■■■■■まわり					—*7								
	安全冷却水膨張槽■■■■■ ■■■■■～ 安全冷却水中間熱交換器 出口配管■■■■■ ■■■■■*4					安全冷却水膨張槽■■■■■ ■■■■■～ 安全冷却水中間熱交換器 出口配管■■■■■ ■■■■■*1					変更なし			
	安全冷却水膨張槽 ■■■■■まわり					—*7								

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷却水膨張槽 ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■~	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	安全冷却水膨張槽 ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■~	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
	安全冷却水中間熱交換器 出口配管 ■■■■■■■■■■*5										
	安全冷却水膨張槽 ■■■■■■■■■■まわり										—*7

注記 *1：その他再処理設備の附属施設のうち給水施設及び蒸気供給施設のうち冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「安全冷却水1A膨張槽■■■■■■■■■■まわり」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「安全冷却水1B膨張槽■■■■■■■■■■まわり」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「安全冷却水2膨張槽■■■■■■■■■■まわり」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認には「最高使用圧力(MPa)」に「■■■■■■■■■■kg/cm2)」と記載。

*7：本設備は設計基準対象施設及び重大事故等対処施設として使用しないため本申請により手続き対象外とする。

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	フラッシュドラム() ~ 冷却水循環ポンプ() *2					安全冷却水系	変更なし				
	フラッシュドラム出口配管分岐点 ~ 冷却水循環ポンプ() *3						変更なし				
	冷却水循環ポンプ() ~ 中間熱交換器() *4						変更なし				
	冷却水循環ポンプ() ~ 冷却水循環ポンプ出口配管合流点 *5						変更なし				
	中間熱交換器() ~ 弁() *6						変更なし				
	弁() ~ 中間熱交換器() *7						変更なし				
	中間熱交換器() ~ 弁() *8						中間熱交換器() ~ 弁() *9 変更なし				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系	フラッシュドラム () ~ 冷却水循環ポンプ () *10						変更なし					
	フラッシュドラム出口配管 分岐点 ~ 冷却水循環ポンプ () *11						変更なし					
	冷却水循環ポンプ () ~ 中間熱交換器 () *12						変更なし					
	冷却水循環ポンプ () ~ 冷却水循環ポンプ出口配管合 流点 *13						変更なし					
	中間熱交換器 () ~ 弁 () *14						変更なし					
	弁 () ~ 中間熱交換器 () *15						変更なし					
	中間熱交換器 () ~ 弁 () *16						中間熱交換器 () ~ 弁 () *9	変更なし				
	安全冷却水中間熱交換器 () () ~ 安全冷却水ポンプ () () *17						安全冷却水中間熱交換器 () ~ 安全冷却水ポン プ () *9	変更なし				
安全冷却水系												

(つづき)

変更前						変更後								
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料			
安全冷却水系	安全冷却水中間熱交換器出口配管分岐点～安全冷却水ポンプ () *17					安全冷却水中間熱交換器出口配管分岐点～安全冷却水ポンプ () *9					変更なし			
	安全冷却水ポンプ () ～分離建屋一時貯留処理設備及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部 *18					安全冷却水ポンプ () ～分離建屋一時貯留処理設備及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部 *9					変更なし			
	安全冷却水ポンプ () ～安全冷却水ポンプ出口配管合流点 *18					安全冷却水ポンプ () ～安全冷却水ポンプ出口配管合流点 *9					変更なし			
	分離建屋一時貯留処理設備及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部～安全冷却水中間熱交換器 () *19					分離建屋一時貯留処理設備及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部～安全冷却水中間熱交換器 () *9					変更なし			
	安全冷却水中間熱交換器 () ～弁 () *20					変更なし								
	弁 () ～安全冷却水中間熱交換器 () *21					変更なし								

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷却水中間熱交換器() ()～安全冷却水ポンプ() () *22					安全冷却水中間熱交換器() ()～安全冷却水ポンプ() () *9					
	安全冷却水中間熱交換器出口配 管分岐点～安全冷却水ポンプ () *22					安全冷却水中間熱交換器出口配 管分岐点～安全冷却水ポンプ () *9					
	安全冷却水ポンプ() ～分離建屋一時貯留処理設備及 び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部* 23					安全冷却水ポンプ() ～分離建屋一時貯留処理設備及 び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部 *9					
	安全冷却水ポンプ()～ 安全冷却水ポンプ出口配管合流点 *23					安全冷却水ポンプ()～ 安全冷却水ポンプ出口配管合流点 *9					
	分離建屋一時貯留処理設備及び高 レベル廃液濃縮系ヘッダ部～安全 冷却水中間熱交換器() *24					分離建屋一時貯留処理設備及び高 レベル廃液濃縮系ヘッダ部～安全 冷却水中間熱交換器() *9					
	安全冷却水中間熱交換器() ～弁() *25					変更なし					
	弁()～安全冷却水中間 熱交換器() *26					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系						安全冷却水中間熱交換器() ()～安全冷却水ポンプ() () *27	安全冷却水中間熱交換器() ()～安全冷却水ポンプ() () *9					変更なし
						安全冷却水中間熱交換器出口配管 分岐点～安全冷却水ポンプ() () *27	安全冷却水中間熱交換器出口配 管分岐点～安全冷却水ポンプ () *9					変更なし
						安全冷却水ポンプ()～ 分離設備及び分離建屋一時貯留処 理設備ヘッド部 *28	安全冷却水ポンプ() ～分離設備及び分離建屋一時貯 留処理設備ヘッド部 *9					変更なし
						安全冷却水ポンプ() ～安全冷却水ポンプ出口配管合 流点 *28	安全冷却水ポンプ() ～安全冷却水ポンプ出口配管合 流点 *9					変更なし
						分離設備及び分離建屋一時貯留処 理設備ヘッド部～安全冷却水中間 熱交換器() *29	分離設備及び分離建屋一時貯留 処理設備ヘッド部～安全冷却水 中間熱交換器() *9					変更なし

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系	安全冷却水中間熱交換器()～弁()*30	1.37	60	114.3	6.0	STPG370	変更なし					
	安全冷却水中間熱交換器出口配管分岐点～弁()*31	1.37	60	114.3	6.0	STPG370	変更なし					
	弁()～安全冷却水中間熱交換器()*32	1.37	60	114.3	6.0	STPG370	変更なし					
	弁()～弁()出口配管合流点*33	1.37	60	114.3	6.0	STPG370	変更なし					
	膨張槽()～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*34	静水頭	60	60.5	3.5	SUS304TP	膨張槽()～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*9	変更なし				
	膨張槽()～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*35	静水頭	60	60.5	3.5	SUS304TP	膨張槽()～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*9	変更なし				
	膨張槽()～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*36	静水頭	60	60.5	3.5	SUS304TP	膨張槽()～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*9	変更なし				

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う

*3：記載の適正化を行う

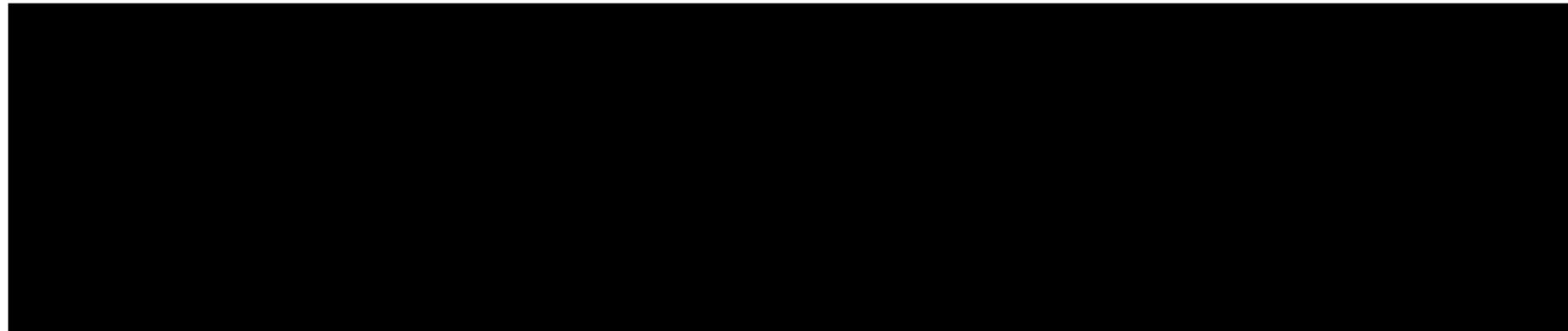
*4：記載の適正化を行う

*5：記載の適正化を行う

*6：記載の適正化を行う

*7：記載の適正化を行う

*8：記載の適正化を行う



(つづき)

*9：その他再処理設備の附属施設のうち冷却水設備重大事故等対処設備代替安全冷却水系と兼用する。

*10：記載の適正化を行う

*11：記載の適正化を行う

*12：記載の適正化を行う

*13：記載の適正化を行う

*14：記載の適正化を行う

*15：記載の適正化を行う

*16：記載の適正化を行う

*17：記載の適正化を行う

*18：記載の適正化を行う

*19：記載の適正化を行う

*20：記載の適正化を行う

*21：記載の適正化を行う

*22：記載の適正化を行う

*23：記載の適正化を行う

*24：記載の適正化を行う

*25：記載の適正化を行う

*26：記載の適正化を行う

*27：記載の適正化を行う

*28：記載の適正化を行う

*29：記載の適正化を行う

*30：記載の適正化を行う

*31：記載の適正化を行う

*32：記載の適正化を行う

*33：記載の適正化を行う

*34：記載の適正化を行う。

*35：記載の適正化を行う。

*36：記載の適正化を行う

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
安全冷却水系	洞道の安全冷却水系[]～安全冷却水中間熱交換器[]*3	[]*19	[REDACTED]			変更なし					
	安全冷却水中間熱交換器[]～安全冷却水ポンプ[]*4	[]*20				静水頭	安全冷却水中間熱交換器[]～安全冷却水ポンプ[]*2	変更なし []*21	変更なし []*21	変更なし	
	安全冷却水ポンプ[]～プルトニウム精製設備*5	[]*20					安全冷却水ポンプ[]～プルトニウム精製設備*2	変更なし	変更なし []*21	変更なし	
	プルトニウム精製設備～安全冷却水中間熱交換器[]*6	[]*20				プルトニウム精製設備～安全冷却水中間熱交換器[]*2	変更なし	変更なし []*21	変更なし		
	安全冷却水膨張槽[]～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*7	静水頭				安全冷却水膨張槽([])～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*2	変更なし []*21	変更なし []*21	変更なし		
	安全冷却中間熱交換器[]～洞道の安全冷却水系[]*8	[]*19				変更なし					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
安全冷却水系	洞道の安全冷却水系■■■■■■■■■■～安全冷却水中間熱交換器■■■■■■■■■■*9	■■■■*19				変更なし						
	安全冷却水中間熱交換器■■■■■■■■■■～安全冷却水ポンプ■■■■■■■■■■*10	■■■■*20				静水頭	安全冷却水中間熱交換器■■■■■■■■■■～安全冷却水ポンプ■■■■■■■■■■*2	変更なし ■■■■*21	変更なし ■■■■*21	変更なし		
	安全冷却水ポンプ■■■■■■■■■■～プルトニウム精製設備*11	■■■■*20					安全冷却水ポンプ■■■■■■■■■■～プルトニウム精製設備*2	変更なし	変更なし ■■■■*21	変更なし		
	プルトニウム精製設備～安全冷却水中間熱交換器■■■■■■■■■■*12	■■■■*20				プルトニウム精製設備～安全冷却水中間熱交換器■■■■■■■■■■*2	変更なし	変更なし ■■■■*21	変更なし			
	安全冷却中間熱交換器■■■■■■■■■■～洞道の安全冷却水系■■■■■■■■■■*13	■■■■*19				変更なし						
	安全冷却水膨張槽■■■■■■■■■■～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*14	静水頭				安全冷却水膨張槽■■■■■■■■■■～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*2	変更なし ■■■■*21	変更なし ■■■■*21	変更なし			

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
安全冷却水系	安全冷却水中間熱交換器■■■■～安全冷却水ポンプ■■■■ *15	■■■■*20	■■■■	■■■■	■■■■	安全冷却水中間熱交換器■■■■～安全冷却水ポンプ■■■■ *2	変更なし ■■■■*21	変更なし ■■■■*21	変更なし			
	静水頭											
	安全冷却水ポンプ■■■■～プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備*16	■■■■*20				安全冷却水ポンプ■■■■～プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備*2	変更なし	変更なし ■■■■*21	変更なし			
	プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備～安全冷却水中間熱交換器■■■■*17	■■■■*20				プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備～安全冷却水中間熱交換器■■■■*2	変更なし	変更なし ■■■■*21	変更なし			
安全冷却水膨張槽■■■■～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*18	静水頭				安全冷却水膨張槽■■■■～安全冷却水中間熱交換器出口配管合流点*2	変更なし ■■■■*21	変更なし ■■■■*21	変更なし				

注記 *1：公称値を示す。

*2：その他再処理施設の附属施設のうち、冷却水設備のうち代替安全冷却水系と兼用する。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*17：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*18：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*19：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*20：記載の適正化を行う。既設工認申請書には

*21：重大事故等時における使用時の値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	前処理建屋の安全冷却水系 () ~ 第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 (), 安全冷却水中間熱交換器 (), 高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () 及び安全冷却水中間熱交換器 () *3					安全冷却水系	変更なし				
	前処理建屋の安全冷却水系 () ~ 第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 (), 安全冷却水中間熱交換器 (), 高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () 及び安全冷却水中間熱交換器 () *5						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 (■■■■), 安全冷却水中間熱交換器 (■■■■), 高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 (■■■■) 及び安全冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 前処理建屋の安全冷却水系 (■■■■) *6					変更なし					
	第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 (■■■■), 安全冷却水系中間熱交換器 (■■■■), 高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 (■■■■) 及び安全冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 前処理建屋の安全冷却水系 (■■■■) *7										
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ (■■■■) *8					第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ (■■■■) *2	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系						第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ (■■■■) *10	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ (■■■■) *2	変更なし				
						第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ (■■■■) ~ 高レベル濃縮廃液貯蔵系 *11	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ (■■■■) ~ 高レベル濃縮廃液貯蔵系 *2	変更なし				
						第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA, B (■■■■) ~ 高レベル濃縮廃液貯蔵系	— *51					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系	高レベル濃縮廃液貯蔵系～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () *1 2						高レベル濃縮廃液貯蔵系～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () *2	変更なし				
	高レベル濃縮廃液貯蔵系～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A中間熱交換器 ()					— *51						
	第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () ■)～高レベル濃縮廃液貯蔵系 *13					変更なし						
	高レベル濃縮廃液貯蔵系～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () *1 4					変更なし						
安全冷却水系								変更なし				
						— *51						
						変更なし						
						変更なし						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () ～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () *15					第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () ～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () *2					変更なし
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () ～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () *16					第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () ～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () *2					変更なし
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () ～高レベル濃縮廃液貯蔵系 *17					第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () ～高レベル濃縮廃液貯蔵系 *2					変更なし
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA, B () ～高レベル濃縮廃液貯蔵系					— *51					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系	高レベル濃縮廃液貯蔵系～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () *1 8						高レベル濃縮廃液貯蔵系～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () *2	変更なし				
	高レベル濃縮廃液貯蔵系～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A中間熱交換器 ()					— *51						
	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () ■)～高レベル濃縮廃液貯蔵系 *19					変更なし						
	高レベル濃縮廃液貯蔵系～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () *2 0					変更なし						
安全冷却水系								変更なし				
						— *51						
						変更なし						
						変更なし						

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系	安全冷却水中間熱交換器 () ~ 安全冷却水ポンプ () *21					安全冷却水中間熱交換器 () ~ 安全冷却水ポンプ () *2						変更なし
	安全冷却水中間熱交換器 () ~ 安全冷却水ポンプ () *22					安全冷却水中間熱交換器 () ~ 安全冷却水ポンプ () *2						変更なし
	安全冷却水ポンプ () ~ 第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の冷却コイル *23					安全冷却水ポンプ () ~ 第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の冷却コイル *2						変更なし
	安全冷却水ポンプ () 出口配管分岐点 ~ 不溶解残渣廃液貯蔵系 *23					変更なし						
	安全冷却水A系ポンプA, B () ~ 高レベル濃縮廃液貯蔵系及び不溶解残渣廃液貯蔵系					_ *51						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の冷却コイル～安全冷却水中間熱交換器 () *24					第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の冷却コイル～安全冷却水中間熱交換器 () *2	変更なし				
	不溶解残渣廃液貯蔵系～安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管合流点 *24					変更なし					
	高レベル濃縮廃液貯蔵系及び不溶解残渣廃液貯蔵系～安全冷却水A系中間熱交換器 ()					— *51					
	安全冷却水ポンプ () ～第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の冷却コイル *25					安全冷却水ポンプ () ～第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の冷却コイル *2	変更なし				
	安全冷却水ポンプ () 出口配管分岐点～不溶解残渣廃液貯蔵系 *25					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の冷却コイル～安全冷却水中間熱交換器 () *26					第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () の冷却コイル～安全冷却水中間熱交換器 () *2	変更なし				
	第1, 第2不溶解残渣廃液貯槽 () ～迅速流体継手接続口 () 入口配管分岐点 *26					変更なし					
	第1, 第2不溶解残渣廃液一時貯槽 () ～安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管合流点 *26					変更なし					
	迅速流体継手接続口 () 入口配管分岐点～安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管合流点 *26					迅速流体継手接続口 () 入口配管分岐点～安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管合流点 *2	変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () ～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () *27					高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () ～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () *2	変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () ～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () *28					高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () ～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () *2	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () ~ 共用貯蔵系 *29					高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () ~ 共用貯蔵系 *2	変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () 出口配管分岐点 ~ 共用貯蔵系 *2 9					変更なし					
	共用貯蔵系 ~ 高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () *30					共用貯蔵系 ~ 高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () () *2	変更なし				
	共用貯蔵系 ~ 高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () 入口配管合流点 *30					変更なし					
安全冷却水系											

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ()～共用貯蔵系*31					高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ()～共用貯蔵系*2	変更なし				
	高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ()出口配管分岐点～共用貯蔵系*31					変更なし					
	共用貯蔵系～高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器()*32					変更なし					
	共用貯蔵系～高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器()入口配管合流点*32					変更なし					
安全冷却水系											

(つづき)

変更前						変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料		
安全冷却水系						安全冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 安全冷却水ポンプ (■■■■) *33						安全冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 安全冷却水ポンプ (■■■■) *2	変更なし
						安全冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 安全冷却水ポンプ (■■■■) *34						安全冷却水中間熱交換器 (■■■■) ~ 安全冷却水ポンプ (■■■■) *2	変更なし
						安全冷却水ポンプ (■■■■) ~ 高レベル廃液ガラス固化設備 *35						安全冷却水ポンプ (■■■■) ~ 高レベル廃液ガラス固化設備 *2	変更なし
						高レベル廃液ガラス固化設備 ~ 安全冷却水中間熱交換器 (■■■■) *36						高レベル廃液ガラス固化設備 ~ 安全冷却水中間熱交換器 (■■■■) *2	変更なし
安全冷却水系						安全冷却水系						安全冷却水系	

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	[REDACTED]					安全冷却水ポンプ ([REDACTED]) ~ 高レベル廃液ガラス固化設備*37	変更なし				
						高レベル廃液ガラス固化設備 ~ 安全冷却水中間熱交換器 ([REDACTED]) *38					
安全冷却水系	[REDACTED]					安全冷却水ポンプ ([REDACTED]) ~ 高レベル廃液ガラス固化設備*2	変更なし				
						高レベル廃液ガラス固化設備 ~ 安全冷却水中間熱交換器 ([REDACTED]) *2					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全冷却水系	安全冷水A冷凍機 () まわり											— *51
	安全冷却水中間熱交換器 () () 出口配管分岐点～安全冷水冷凍機 () *39									変更なし		
	安全冷水冷凍機 ()～ 安全冷水冷却器 () *39									変更なし		
	安全冷水冷凍機 ()～ 安全冷却水中間熱交換器 () () 入口配管合流点 *39									変更なし		
	安全冷水冷却器 () ～安全冷水冷凍機 () *39									変更なし		
安全冷却水系												

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷水B冷凍機 () 回り					安全冷却水系	— *51				
	安全冷却水中間熱交換器 () 出口配管分岐点～安全冷水冷凍機 () *40						変更なし				
	安全冷水冷凍機 () ～安全冷水冷却器 () *40						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷水冷凍機()～安全冷却水中間熱交換器()入口配管合流点*40					安全冷却水系	変更なし				
	安全冷水冷却器()～安全冷水冷凍機() *40						変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系						第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A膨張槽()まわり	— *51				
						第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ()入口配管合流点*41	変更なし				
						第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水B膨張槽()まわり	— *51				
						第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ()入口配管合流点*42	変更なし				
安全冷却水系						第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ()入口配管合流点*2	変更なし				
						— *51					
						変更なし					
						— *51					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A膨張槽()まわり	— *51				
						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ() 入口配管合流点*43	変更なし				
						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水B膨張槽()まわり	— *51				
						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ() 入口配管合流点*44	変更なし				
安全冷却水系						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ() 入口配管合流点*2	変更なし				
						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ() 入口配管合流点*2	変更なし				
						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()まわり	— *51				
						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水膨張槽()～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ() 入口配管合流点*2	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷却水A系膨張槽 ()まわり						— *51				
	安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()入口配管合流点*45					安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2	変更なし				
	安全冷却水B系膨張槽 ()まわり					— *51					
	安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()入口配管合流点*46					安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2	変更なし				
安全冷却水系							— *51				
						安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2	変更なし				
						— *51					
						安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系						高レベル廃液共用貯槽冷却水 A膨張槽 ()まわり	— *51				
						高レベル廃液共用貯槽冷却水 膨張槽 ()～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ ()入口配管合流点*47	変更なし				
						高レベル廃液共用貯槽冷却水 B膨張槽 ()まわり	— *51				
						高レベル廃液共用貯槽冷却水 膨張槽 ()～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ ()入口配管合流点*48	変更なし				
安全冷却水系						高レベル廃液共用貯槽冷却水 膨張槽 ()～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2	変更なし				
						高レベル廃液共用貯槽冷却水 膨張槽 ()～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2	変更なし				
						高レベル廃液共用貯槽冷却水 膨張槽 ()～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2	変更なし				
						高レベル廃液共用貯槽冷却水 膨張槽 ()～高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2	変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	安全冷却水1A膨張槽 ()まわり					安全冷却水系	— *51				
	安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()出口配管分岐点 *49						安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()出口配管分岐点*2 変更なし				
	安全冷却水1B膨張槽 ()まわり						— *51				
	安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()入口配管合流点 *50						安全冷却水膨張槽 ()～安全冷却水ポンプ ()入口配管合流点*2 変更なし				

注記：*1：公称値を示す。

*2：代替安全冷却水系と兼用する。

*3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「前処理建屋の安全冷却水系 ()～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A中間熱交器 (), 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A中間熱交器 (), 安全冷却水A系中間熱交器 (), 高レベル廃液共用貯槽冷却水A中間熱交器 ()及び安全冷却水1A中間熱交器 ()」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 ()」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

*5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「前処理建屋の安全冷却水系 ()～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水B中間熱交器 (), 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水B中間熱交器 (), 安全冷却水B系中間熱交器 (), 高レベル廃液共用貯槽冷却水B中間熱交器 ()及び安全冷却水1B中間熱交器 ()」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A中間熱交器 (), 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A中間熱交器 (), 安全冷却水A系中間熱交器 (), 高レベル廃液共用貯槽冷却水A中間熱交器 ()及び安全冷却水1A中間熱交器 ()～前処理建屋の安全冷却水系 ()」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水B中間熱交器 (), 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水B中間熱交器 (), 安全冷却水B系中間熱交器 (), 高レベル廃液共用貯槽冷却水B中間熱交器 ()及び安全冷却水1B中間熱交器 ()～前処理建屋の安全冷却水系 ()」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水A中間熱交器 ()～第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水AポンプA, B ()」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「 ()」と記載。記載内容は、SI単位のみを示す。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料	
安全冷却水系	安全冷却水第1中間熱交換器()～弁() ^{*12}					変更なし						
	安全冷却水第1中間熱交換器()～安全冷却水系配管()分岐部 ^{*4}					安全冷却水第1中間熱交換器()～安全冷却水系配管()分岐部 ^{*2}		変更なし				
	弁()～安全冷却水第1中間熱交換器() ^{*3}					変更なし						
	安全冷却水第1中間熱交換器()～弁() ^{*11}					変更なし						
	安全冷却水第1中間熱交換器()～安全冷却水系配管()分岐部 ^{*8}					安全冷却水第1中間熱交換器()～安全冷却水系配管()分岐部 ^{*2}		変更なし				
	弁()～安全冷却水第1中間熱交換器() ^{*7}					変更なし						
	安全冷却水系配管()合流部～冷水移送ポンプ() ^{*5}					安全冷却水系配管()合流部～冷水移送ポンプ() ^{*2}		変更なし				
	安全冷却水系配管()合流部～冷水移送ポンプ() ^{*9}					安全冷却水系配管()合流部～冷水移送ポンプ() ^{*2}		変更なし				
	冷水移送ポンプ()～安全冷却水第1中間熱交換器() ^{*6}					冷水移送ポンプ()～安全冷却水第1中間熱交換器() ^{*2}		変更なし				
	冷水移送ポンプ()～安全冷却水第1中間熱交換器() ^{*10}					冷水移送ポンプ()～安全冷却水第1中間熱交換器() ^{*2}		変更なし				
	冷水移送ポンプ入口配管分岐点～安全冷却水膨張槽() ^{*13}					冷水移送ポンプ入口配管分岐点～安全冷却水膨張槽() ^{*2}		変更なし	変更なし			
	冷水移送ポンプ入口配管分岐点～安全冷却水膨張槽() ^{*14}					冷水移送ポンプ入口配管分岐点～安全冷却水膨張槽() ^{*2}		変更なし	変更なし			

(つづき)

- *1：公称値を示す。
- *2：脱硝施設のうち，代替安全冷却水系設備と兼用。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「洞道の安全冷却水系()～換気設備用冷凍機 A ()，安全冷却水 A 第 2 中間熱交換器 ()」及び「安全冷却水 A 第 2 中間熱交換器 ()～安全冷却水 A 第 1 中間熱交換器 ()」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷却水 A 第 1 中間熱交換器 ()～溶液系」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「溶液系～冷水移送ポンプ A, B ()」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「冷水移送ポンプ A, B ()～安全冷却水 A 第 1 中間熱交換器 ()」と記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「洞道の安全冷却水系 ()～換気設備用冷凍機 B ()，安全冷却水 B 第 2 中間熱交換器 ()」及び「安全冷却水 B 第 2 中間熱交換器 ()～安全冷却水 B 第 1 中間熱交換器 ()」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷却水 B 第 1 中間熱交換器 ()～溶液系」と記載。
- *9：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「溶液系～冷水移送ポンプ C, D ()」と記載。
- *10：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「冷水移送ポンプ C, D ()～安全冷却水 B 第 1 中間熱交換器 ()」と記載。
- *11：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷却水 B 第 1 中間熱交換器 ()～洞道の安全冷却水系 ()」と記載。
- *12：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷却水 A 第 1 中間熱交換器 ()～洞道の安全冷却水系 ()」と記載。
- *13：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷却水 A 膨張槽 ()まわり」と記載。
- *14：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷却水 B 膨張槽 ()まわり」と記載。
- *15：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「 」と記載。
- *16：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「最高使用圧力(MPa)」に「 」と記載。
- *17：重大事故時における使用時の値。
- *18：安全冷却水 A 第 2 中間熱交換器 ()を示す。
- *19：安全冷却水 B 第 2 中間熱交換器 ()を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	主要材料
安全冷却水系	冷却塔(8111A-C20)* ² ～ 冷却塔循環ポンプ(8111A-P2010)	0.69	60	318.6	10.3	STPG370	変更なし				
				267.4	9.3						
				216.3	8.2						
				165.2	7.1						
				114.3	6.0						
				89.1	5.5						
				27.2	3.9						
	冷却塔(8111B-C20)* ³ ～ 冷却塔循環ポンプ(8111B-P2010)	0.69	60	318.6	10.3	STPG370					
				267.4	9.3						
				216.3	8.2						
				165.2	7.1						
				114.3	6.0						
				89.1	5.5						
				27.2	3.9						
	冷却塔循環ポンプ(8111A-P2010)* ⁴ ～ ディーゼル機関(8111A-X10)	0.69	60	318.5	8.4	STPG370					
				216.3	7.0						
				165.2	7.1						
				60.5	5.5						
	冷却塔循環ポンプ(8111B-P2010)* ⁵ ～ ディーゼル機関(8111B-X10)	0.69	60	318.5	8.4	STPG370					
				216.3	7.0						
				165.2	7.1						
				60.5	5.5						

変更前						変更後							
名称		最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称		最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全冷却水系	ディーゼル機関(8111A-X10)*6 ～ 冷却塔(8111A-C20)	0.69	60	318.5	8.4	STPG370	変更なし						
				216.3	7.0								
				165.2	7.1								
				60.5	5.5								
	ディーゼル機関(8111B-X10)*7 ～ 冷却塔(8111B-C20)	0.69	60	318.5	8.4	STPG370							
				216.3	7.0								
				165.2	7.1								
				60.5	5.5								

変更前						変更後							
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径*1		厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径*1		厚さ*1 (mm)	主要材料
			(mm)	(mm)						(mm)	(mm)		
安全冷却水系	冷却塔(8111A-C20)まわり	0.69	60	34.0	4.5	STPG370	-						
				27.2	3.9								
	冷却水循環ポンプ(8111A-P2010)まわり	0.69	60	318.5	8.4	STPG370							
				267.4	7.8								
				60.5	5.5								
	冷却水循環ポンプ(8111A-P2010)まわり	0.69	60	27.2	3.7	STPG370							
				21.7	3.7								
				27.2	3.9	SUS304TP							
					2.5								
	8111A-V27まわり	静水頭	60	27.2	3.9	STPG370							
				60.5	5.5								
		0.69		60.5	5.5								
				34.0	4.5								
	冷却塔(8111B-C20)まわり	0.69	60	34.0	4.5	STPG370							
				27.2	3.9								
	冷却水循環ポンプ(8111B-P2010)まわり	0.69	60	318.5	8.4	STPG370							
267.4				7.8									
60.5				5.5									
冷却水循環ポンプ(8111B-P2010)まわり	0.69	60	27.2	3.7	STPG370								
			21.7	3.7									
			27.2	3.9	SUS304TP								
				2.5									
8111B-V27まわり	静水頭	60	27.2	3.9	STPG370								
			60.5	5.5									
	0.69		60.5	5.5									
			34.0	4.5									

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「冷却塔Aまわり配管(8111A-C20)」、「冷却塔A(8111A-C20)～冷却塔循環ポンプA(8111A-P2010)」と記載。

*3 : 記載の適正化を行う。既設工認には「冷却塔Bまわり配管(8111B-C20)」、「冷却塔B(8111B-C20)～冷却塔循環ポンプB(8111B-P2010)」と記載。

*4 : 記載の適正化を行う。既設工認には「冷却塔循環ポンプA(8111A-P2010)～ディーゼル機関A(8111A-X10)」と記載。

*5 : 記載の適正化を行う。既設工認には「冷却塔循環ポンプB(8111B-P2010)～ディーゼル機関B(8111B-X10)」と記載。

*6 : 記載の適正化を行う。既設工認には「ディーゼル機関A(8111A-X10)～冷却塔A(8111A-C20)」、「冷却塔Aまわり配管(8111A-C20)」と記載。

*7 : 記載の適正化を行う。既設工認には「ディーゼル機関B(8111B-X10)～冷却塔B(8111B-C20)」、「冷却塔Bまわり配管(8111B-C20)」と記載。

1.2.3.2 代替安全冷却水系

- ・常設
- (1) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系						迅速流体継手接続口	[Redacted]				
						～					
						リサイクル槽					
代替安全冷却水系						[Redacted]	[Redacted]				
						計量補助槽, 計量後中間貯槽, 計量前中間貯槽					
						及び計量・調整槽					
代替安全冷却水系						[Redacted]	[Redacted]				
						[Redacted]					
						[Redacted]					

変更前						変更後										
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料					
代替安全冷却水系	-					入口 (SUS側) 異材接合部 出口 (Zr側)	[Redacted]									
												中間ポット				
												迅速流体継手接続口 凝縮器及び予備凝縮器				
	-					迅速流体継手接続口 凝縮器及び予備凝縮器入口配管						-				
						凝縮器及び予備凝縮器 迅速流体継手接続口										
	-					凝縮器及び予備凝縮器出口配管 迅速流体継手接続口						-				
						迅速流体継手接続口 中間ポット硝酸供給配管										

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系	-					中間ポット硝酸供給配管 ■■■■■ ~ ■■■■■	■■■■■				
	-					入口 (SUS側) ■■■■■					
	-					異材接合部					
	-					出口 (Zr側)					
	-					■■■■■ ~ 中間ポット ■■■■■					
-					迅速流体継手接続口 ■■■■■ ■■■■■ ~ ■■■■■						
-					入口 (SUS側) ■■■■■						
-					異材接合部						
-					出口 (Zr側)						
-					■■■■■ ~ 中間ポット ■■■■■						

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 ■■■■■ ■■■■■ ~ ■■■■■ 及び ■■■■■ ■■■■■ 出口配管合流点	代替安全冷却水系					■■■■■
		—				迅速流体継手接続口 ■■■■■ ■■■■■ ~ 中間ポット入口配管 ■■■■■ ■■■■■						
		—				中間ポット出口配管 ■■■■■ ■■■■■ ~ 迅速流体継手接続口 ■■■■■ ■■■■■						
		—				迅速流体継手接続口 ■■■■■ ■■■■■ ~ 安全冷却水ポンプ出口配管 ■■■■■						
		—				安全冷却水中間熱交換器 入口配管 ■■■■■ ■■■■■ ~ 迅速流体継手接続口 ■■■■■ ■■■■■						

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	迅速流体継手接続口 [redacted] ~	[redacted]				
	-						安全冷却水ポンプ出口配管 [redacted]					
	-						安全冷却水中間熱交換器入口配管 [redacted] ~					
	-						迅速流体継手接続口 [redacted]					
	-						迅速流体継手接続口 [redacted] ~					
	-						安全冷却水ポンプ出口配管 [redacted]					
-					安全冷却水中間熱交換器入口配管 [redacted] ~	[redacted]						
-					迅速流体継手接続口 [redacted]							
-					迅速流体継手接続口 [redacted] ~							
-					中間ポット [redacted]	[redacted]						
-					入口配管合流点							
-					中間ポット [redacted]	[redacted]						
-					入口配管合流点 ~							

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	入口 (SUS側)	[Redacted]				
	-						異材接合部					
	-						出口 (Zr側)					
-					代替安全冷却水系	中間ポット [Redacted]						
-					代替安全冷却水系	[Redacted] ~ 中継槽 [Redacted]						
-					代替安全冷却水系	[Redacted] *3						

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
代替 安全 冷却 水系	-					代替 安全 冷却 水系 [redacted] ~ 清澄機 [redacted] * 3	[redacted]				
	-					[redacted] ~ リサイクル槽 [redacted] [redacted] *3	[redacted]				
	-					[redacted] ~ 計量前中間貯槽 [redacted] *3	[redacted]				
	-					[redacted] ~ 計量前中間貯槽 [redacted] *3	[redacted]				
-					[redacted] ~ 計量・調整槽 [redacted] *3	[redacted]					

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
代替 安全 冷却 水系		—				計量補助槽■■■■■■■■■■入口配管合流点*3					
		—				■■■■■■■■■■ 出口配管合流点～計量補助槽 ■■■■■■■■■■ *3					
		—				計量後中間貯槽■■■■■■■■■■ *3					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～ 中継槽入口配管■■■■■■■■■■					
		—				中継槽出口配管■■■■■■■■■■～迅速流 体継手接続口■■■■■■■■■■					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～ 中継槽入口配管■■■■■■■■■■					
		—				中継槽出口配管■■■■■■■■■■～迅速流 体継手接続口■■■■■■■■■■					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～ 中継槽入口配管■■■■■■■■■■					
	—				中継槽出口配管■■■■■■■■■■～迅速流 体継手接続口■■■■■■■■■■						

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
代替 安全 冷却 水系		—				迅速流体継手接続口 [redacted] ~ 中継槽入口配管 [redacted]					
		—				中継槽出口配管 [redacted] ~ 迅速流 体継手接続口 [redacted]					
		—				迅速流体継手接続口 [redacted] ~ リサイクル槽入口配管 [redacted]					
		—				リサイクル槽出口配管 [redacted] ~ 迅速流体継手接続口 [redacted]					
		—				迅速流体継手接続口 [redacted] ~ リサイクル槽入口配管 [redacted]					
		—				リサイクル槽出口配管 [redacted] ~ 迅速流体継手接続口 [redacted]					
		—				代替 迅速流体継手接続口 [redacted] ~ リサイクル槽入口配管 [redacted]					
		—				安全 リサイクル槽出口配管 [redacted] ~ 迅速流体継手接続口 [redacted]					
		—				冷却 迅速流体継手接続口 [redacted] ~ リサイクル槽入口配管 [redacted]					
		—				水系 リサイクル槽出口配管 [redacted] ~ 迅速流体継手接続口 [redacted]					
		—				迅速流体継手接続口 [redacted] ~ 計量 前中間貯槽入口配管 [redacted]					
		—				計量前中間貯槽出口配管 [redacted] ~ 迅速流体継手接続口 [redacted]					
		—				迅速流体継手接続口 [redacted] ~ 計量 前中間貯槽入口配管 [redacted]					
		—				計量前中間貯槽出口配管 [redacted] ~ 迅速流体継手接続口 [redacted]					
	—				迅速流体継手接続口 [redacted] ~ 計量 前中間貯槽入口配管 [redacted]						
	—				計量前中間貯槽出口配管 [redacted] ~ 迅速流体継手接続口 [redacted]						

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
代替 安全 冷却 水系		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～計量 前中間貯槽入口配管■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
		—				計量前中間貯槽出口配管■■■■■■■■■■ ～迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～計 量・調整槽入口配管■■■■■■■■■■					
		—				計量・調整槽出口配管■■■■■■■■■■～ 迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～計 量・調整槽入口配管■■■■■■■■■■					
		—				計量・調整槽出口配管■■■■■■■■■■～ 迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～計量 補助槽入口配管■■■■■■■■■■					
		—				計量補助槽出口配管■■■■■■■■■■～迅 速流体継手接続口■■■■■■■■■■					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～計量 補助槽入口配管■■■■■■■■■■					
		—				計量補助槽出口配管■■■■■■■■■■～迅 速流体継手接続口■■■■■■■■■■					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～計量 後中間貯槽入口配管■■■■■■■■■■					
		—				計量後中間貯槽出口配管■■■■■■■■■■ ～迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■					
		—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■～計量 後中間貯槽入口配管■■■■■■■■■■					
		—				計量後中間貯槽出口配管■■■■■■■■■■ ～迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■					
	—				迅速流体継手接続口■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■～リサイクル槽■■■■■■■■■■*3						

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：重大事故等時における使用時の値。
 - *3：本設備は既存の設備である。
 - *4：[REDACTED] サンプリングエアリフト分離ポット [REDACTED] を示す。
 - *5：[REDACTED] サンプリングエアリフト分離ポット [REDACTED] 及び [REDACTED] サンプリングエアリフトA分離ポット [REDACTED] を示す。
 - *6：[REDACTED] サンプリングエアリフト分離ポット [REDACTED] を示す。
 - *7：中間ポットA, B堰付サイホンデミスタ [REDACTED] を示す。
 - *8：計量補助槽スチームジェットポンプ漏えい検知ポット [REDACTED] を示す。

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 安全冷却水ポンプ出口配管合流点					
		—				中間熱交換器入口配管分岐点~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 安全冷却水ポンプ出口配管合流点					
		—				中間熱交換器入口配管分岐点~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 安全冷却水ポンプ出口配管合流点					
		—				中間熱交換器入口配管分岐点~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 弁 () 出口配管合流点					
		—				弁 () 出口配管合流点~ 安全冷却水ポンプ出口配管合流点*2*3					
		—				中間熱交換器入口配管分岐点~ 弁 () 入口配管分岐点*2*3					
		—				弁 () 入口配管分岐点~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 弁 () 出口配管合流点					
		—				弁 () 出口配管合流点~ 安全冷却水ポンプ出口配管合流点*2*3					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				中間熱交換器入口配管分岐点～ 弁 () 入口配管分岐点*2*3					
		—				弁 () 入口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～ 弁 () 出口配管合流点					
		—				弁 () 出口配管合流点～ 安全冷却水ポンプ出口配管合流点*2*3					
		—				中間熱交換器入口配管分岐点～ 弁 () 入口配管分岐点*2*3					
		—				弁 () 入口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～中間熱交換器入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～蒸気発生器出口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 入口配管合流点					
		—				高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
	—				高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()						

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()	[REDACTED]				
	-						迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 入口配管合流点					
	-						迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 入口配管合流点					
	-						迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 入口配管合流点					
	-						高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						高レベル廃液濃縮缶冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						迅速流体継手接続口 () ～溶解液中間貯槽 () *3*4					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ～溶解液中間貯槽 () *3*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ～溶解液中間貯槽入口配管合流点					
		—				溶解液中間貯槽出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～溶解液中間貯槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				溶解液中間貯槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～溶解液供給槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				溶解液供給槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ～溶解液供給槽冷却コイル 入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系						代替安全冷却水系	溶解液供給槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
							迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液受槽 () *3*4					
							迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液受槽 () *3*4					
							迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液中間貯槽 () *3*4					
							迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液中間貯槽冷却コイル 入口配管合流点					
							迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液受槽冷却コイル 入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	抽出廃液受槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*4	[Redacted]				
	-						抽出廃液中間貯槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*4					
	-						抽出廃液受槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液受槽冷却コイル 入口配管合流点					
	-						抽出廃液中間貯槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液中間貯槽冷却コイル 入口配管合流点					
	-						迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液供給槽 () *3*4					
	-						迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液供給槽冷却コイル 入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液供給槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				抽出廃液供給槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*4					
		—				抽出廃液供給槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液供給槽 () *3*4					
		—				抽出廃液供給槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液供給槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～抽出廃液供給槽冷却コイル 入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				抽出廃液供給槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ～弁 () 出口配管合流点					
		—				弁 () 出口配管合流点 ～第7一時貯留処理槽 () *3*5					
		—				迅速流体継手接続口 () ～弁 () 出口配管合流点					
		—				弁 () 出口配管合流点 ～第1一時貯留処理槽 () *3*5					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第1一時貯留処理槽 入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～溶解液中間貯槽セル漏えい液 受皿3 スチームジェットポンプ シールポット () *3*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第7一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				第7一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第7一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	第7一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*5	[REDACTED]				
	-						第1一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*5					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第1一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第1一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
	-						第1一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						迅速流体継手接続口 () ～ウラン洗浄塔流量計測ポット () *3*6					
	-						ウラン洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ () ～第8一時貯留処理槽 入口配管合流点 *3*6					
	-						迅速流体継手接続口 () ～弁 () 出口配管合流点					
	-						弁 () 出口配管合流点 ～第8一時貯留処理槽 () *3*5					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	迅速流体継手接続口 () ～第8一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点	[REDACTED]				
	-						第8一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*5					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第8一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
	-						第8一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第4一時貯留処理槽 () *3*5					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第3一時貯留処理槽 () *3*5					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第7一時貯留処理槽エアリフト ポンプ分離ポット () *3*5					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第4一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	迅速流体継手接続口 () ～第3一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点	[Redacted]				
	-						第4一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*5					
	-						第3一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*5					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第3一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第3一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
	-						第3一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				第4一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第6一時貯留処理槽 () *3*5					
		—				第6一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第6一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第6一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第6一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第6一時貯留処理槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				第6一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	第6一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*5	[REDACTED]				
	-						第6一時貯留処理槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 () *3*5					
	-						ノズル ()～ 溶解液供給槽 () *3*7					
	-						迅速流体継手接続口 () ～TBP 洗浄塔流量計測ポット () *3*4					
	-						迅速流体継手接続口 () ～第2 洗浄塔流量計測ポット () *3*4					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	第2洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ() ～第1一時貯留処理槽 入口配管合流点*3*4	[Redacted]				
	-						ノズル()～ 第7一時貯留処理槽()*3*7					
	-						ノズル()～ 第4一時貯留処理槽()*3*7					
	-						迅速流体継手接続口() ～高レベル廃液供給槽供給液脈動 整定ポット()*3*11					
	-						迅速流体継手接続口() ～高レベル廃液供給槽供給液脈動 整定ポット()*3*11					
	-						迅速流体継手接続口() ～供給ポット()*3*11					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液供給槽 () *3*11					
		—				迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液供給槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				高レベル廃液供給槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液供給槽冷却コイル 入口配管合流点					
		—				高レベル廃液供給槽冷却コイル 出口配管分岐点～ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液供給槽 () *3*11					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	—					代替安全冷却水系	迅速流体継手接続口 () ～高レベル廃液濃縮缶凝縮器 () *3*11					
	—						高レベル廃液濃縮缶凝縮器 ()～ 迅速流体継手接続口 () *3*11					
	—						迅速流体継手接続口 ()～ 第1エジェクタ凝縮器 () *3*11					
	—						第1エジェクタ凝縮器 () ～迅速流体継手接続口 () *3*11					
	—						迅速流体継手接続口 () ～凝縮器 ()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ ~凝縮器入口配管合流点					
		—				凝縮器 () ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				凝縮器出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				三方弁 ~ 溶解液中間貯槽 () *3*13					
		—				三方弁 ~ 溶解液供給槽 () *3*13					
		—				三方弁 ~ 抽出廃液中間貯槽 () *3*13					
		—				三方弁 ~ 抽出廃液供給槽 () *3*13					
		—				三方弁 ~ 抽出廃液供給槽 () *3*13					
		—				三方弁 ~ 第1一時貯留処理槽 () *3*13					
		—				三方弁 ~ 第8一時貯留処理槽 () *3*13					
		—				三方弁 ~ 第6一時貯留処理槽 () *3*13					
		—				三方弁 ~ 高レベル廃液供給槽 () *3*13					

- 注記 *1: 主要寸法は、設工認申請書記載の公称値を示す。
 *2: その他再処理設備の付属施設のうち、冷却水設備の安全冷却水系と兼用する。
 *3: 本設備は既存の設備である。
 *4: 再処理施設本体のうち、分離施設の分離設備と兼用する。
 *5: 再処理施設本体のうち、分離施設の分離建屋一時貯留処理設備と兼用する。
 *6: 再処理施設本体のうち、分離施設の分配設備と兼用する。
 *7: その他再処理設備の付属施設のうち、分離建屋の分析設備と兼用する。
 *8: 溶解液供給槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット () を示す。
 *9: 第7一時貯留処理槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット () を示す。

(つづき)

*10：第4一時貯留処理槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。

*11：放射性廃棄物の廃棄施設のうち、液体廃棄物の廃棄施設の高レベル廃液処理設備の高レベル廃液濃縮設備の高レベル廃液濃縮系と兼用する。

*12：濃縮廃液拔出スチームジェットポンプ漏えい検知ポット()を示す。

*13：計測制御系統施設のうち、計測制御設備と兼用する。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 安全冷却水ポンプ () 出口配管合流点	代替安全冷却水系				
		—				安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 安全冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
		—				安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 安全冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
		—				安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 安全冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
		—				安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系						安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
						迅速流体継手接続口 () ～安全冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
						安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
						迅速流体継手接続口 () ～プルトニウム濃縮液計量槽 ()					
						迅速流体継手接続口 () ～プルトニウム濃縮液中間貯槽 ()					
代替安全冷却水系						迅速流体継手接続口 () ～リサイクル槽 ()					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系						代替安全冷却水系	迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液受槽 ()					
							迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽 ()					
							迅速流体継手接続口 () ~ 油水分離槽 ()					
							迅速流体継手接続口 () ~ 第 3 一時貯留処理槽 ()					
							迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮缶供給槽 ()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系						迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム溶液受槽 ()					
						迅速流体継手接続口 () ~ 希釈槽 ()					
						迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム溶液一時貯槽 ()					
						迅速流体継手接続口 () ~ 第 2 一時貯留処理槽 ()					
代替安全冷却水系						代替安全冷却水系					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第 1 一時貯留処理槽 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 予備凝縮器 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 予備凝縮器入口配管合流点					
		—				予備凝縮器 () ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				予備凝縮器出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 凝縮器 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 凝縮器入口配管合流点					
		—				凝縮器 () ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				凝縮器出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				第 1 一時貯留処理槽入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 () *2					
	—				迅速流体継手接続口 () 出口配管合流点 ~ 第 1 一時貯留処理槽 () *2						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第1一時貯留処理槽(1415-V10)*2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第1一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第1一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第1一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				第1一時貯留処理槽出口配管分岐点~迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第1一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				第2一時貯留処理槽出口配管分岐点~迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第2一時貯留処理槽 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第2一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第2一時貯留処理槽入口配管合流点					
	—				第2一時貯留処理槽出口配管分岐点~迅速流体継手接続口 ()						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				第3一時貯留処理槽出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第3一時貯留処理槽 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第3一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～第3一時貯留処理槽入口配管合流点					
		—				第3一時貯留処理槽出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				油水分離槽出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ～油水分離槽 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ～油水分離槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～油水分離槽入口配管合流点					
		—				油水分離槽出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				油水分離槽出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ～プルトニウム溶液受槽 () *2					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム溶液受槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム溶液受槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム溶液受槽出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				プルトニウム濃縮缶供給槽出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮缶供給槽 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮缶供給槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム濃縮缶供給槽出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液受槽 () *2					
	—				プルトニウム濃縮液受槽出口配管合流点 ~ 迅速流体継手接続口 () *2						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液受槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液受槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液受槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液受槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム溶液一時貯槽 () *2					
		—				プルトニウム溶液一時貯槽出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム溶液一時貯槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム溶液一時貯槽入口配管合流点					
		—				プルトニウム溶液一時貯槽出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ リサイクル槽 () *2					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				リサイクル槽出口配管合流点 ～迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ～リサイクル槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～リサイクル槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～リサイクル槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～リサイクル槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～希釈槽 () *2					
		—				希釈槽出口配管合流点～迅速 流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ～希釈槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～希釈槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ～希釈槽入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽 () *2					
		—				プルトニウム濃縮液一時貯槽出口配管合流点 ~ 迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液一時貯槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液計量槽 () *2					
		—				プルトニウム濃縮液計量槽出口配管合流点 ~ 迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液計量槽入口配管合流点					
	—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液計量槽入口配管合流点						

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液計量槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液計量槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液中間貯槽 () *2					
		—				プルトニウム濃縮液中間貯槽出口配管合流点 ~ 迅速流体継手接続口 () *2					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液中間貯槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液中間貯槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液中間貯槽入口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ プルトニウム濃縮液中間貯槽入口配管合流点					

- 注記
- *1：公称値を示す。
 - *2：本設備は既存の設備である。
 - *3：重大事故等時における使用時の値を示す。
 - *4：プルトニウム濃縮液計量槽サンプリングエアリフトポンプ2分離ポット()を示す。
 - *5：胴板/鏡板の主要材料を示す。
 - *6：プルトニウム濃縮液中間貯槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *7：リサイクル槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *8：プルトニウム濃縮液受槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *9：プルトニウム濃縮液一時貯槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *10：油水分離槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *11：第3一時貯留処理槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *12：プルトニウム濃縮液供給槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *13：プルトニウム溶液受槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *14：希釈槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *15：プルトニウム溶液一時貯槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *16：第2一時貯留処理槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。
 - *17：第1一時貯留処理槽サンプリングエアリフトポンプ分離ポット()を示す。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料
代替安全冷却水系	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () 入口配管～安全冷却水系配管 () 溶液系分岐点*2	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () 入口配管～安全冷却水系配管 () 合流点*4	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	安全冷却水系配管 () 溶液系合流点～迅速流体継手 () 出口配管*3	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	安全冷却水系配管 () 分岐点～迅速流体継手 () 出口配管*5	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () 出口配管～迅速流体継手 ()	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () 出口配管～迅速流体継手 ()	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () ～迅速流体継手 () 入口配管	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () ～迅速流体継手 () 入口配管	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () ～硝酸プルトリウム貯槽 () *7	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () ～溶液系配管 () 合流点	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	溶液系配管 () 分岐点～迅速流体継手 ()	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	迅速流体継手 () ～溶液系配管 () 合流点	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	溶液系配管 () 分岐点～迅速流体継手 ()	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	迅速流体継手 () ～混合槽 () *7	—	—	—	—	—	

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料
代替安全冷却水系	—					迅速流体継手 () ~ 混合槽 () *7					
	—					迅速流体継手 () ~ 溶液系配管 () 合流点					
	—					溶液系配管 () 分岐点 ~ 迅速流体継手 ()					
	—					迅速流体継手 () ~ 溶液系配管 () 合流点					
	—					溶液系配管 () 分岐点 ~ 迅速流体継手 ()					
	—					迅速流体継手 () ~ 溶液系配管 () 合流点					
	—					溶液系配管 () 分岐点 ~ 迅速流体継手 ()					
	—					迅速流体継手 () ~ 溶液系配管 () 合流点					
	—					迅速流体継手 () ~ 一時貯槽 () *7					
	—					迅速流体継手 () ~ 溶液系配管 () 合流点					
	—					溶液系配管 () 分岐点 ~ 迅速流体継手 ()					
	—					迅速流体継手 () ~ 溶液系配管 () 合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)*1	厚さ (mm)*1	主要材料
代替安全冷却水系	—					溶液系配管 ()分岐点～迅速流体継手 ()					
	—					迅速流体継手 ()～予備凝縮器 ()					
	—					迅速流体継手 ()～凝縮器 ()					
	—					凝縮器 ()～迅速流体継手 ()					
	—					予備凝縮器 ()～迅速流体継手 ()					
	—					迅速流体継手 ()～硝酸プルトニウム貯槽 ()					
	—					迅速流体継手 ()～混合槽 ()					
	—					迅速流体継手 ()～混合槽 ()					
—					迅速流体継手 ()～一時貯槽 ()						

- *1：公称値を示す。
- *2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷却水 A 第 1 中間熱交換器 ()まわり」と記載。
- *3：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「冷水移送ポンプ A, B ()まわり」と記載。
- *4：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「安全冷却水 B 第 1 中間熱交換器 ()まわり」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「名称」に「冷水移送ポンプ C, D ()まわり」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既設工認申請書に記載。
- *7：記載の適正化を行う。既設工認申請書には配管番号のみ記載。
- *8：重大事故時における使用時の値。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	第1代替安全冷却水入口配管 上流側接続口(フランジ)～ 第1代替安全冷却水入口配管 下流側接続口(フランジ)	[Redacted]				
	-						代替安全冷却水出口配管上 流側接続口(フランジ)～代 替安全冷却水出口配管下流 側接続口(フランジ)					
	-						第1代替安全冷却水入口中継 配管上流側接続口(フラン ジ)～第1代替安全冷却水入 口中継配管下流側接続口(フ ランジ)					
	-						代替安全冷却水出口中継配 管上流側接続口(フランジ) ～代替安全冷却水出口中継 配管下流側接続口(フラン ジ)					
	-						第2代替安全冷却水入口配管 上流側接続口(フランジ)～ 第2代替安全冷却水入口配管 下流側接続口(フランジ)					
	-						第2代替安全冷却水入口中継 配管上流側接続口(フラン ジ)～第2代替安全冷却水入 口中継配管下流側接続口(フ ランジ)					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () 出口配管合流点	代替安全冷却水系				
		—				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
		—				第1高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ バイパス系配管合流点					
		—				バイパス系配管合流点 ~ 第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () 出口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () ■ 入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()	[REDACTED]				
	-						迅速流体継手接続口 () ～第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
	-						第2高レベル濃縮廃液貯槽冷却水中間熱交換器 () ■ 入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
	-						迅速流体継手接続口 () ～バイパス系配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系						代替安全冷却水系	バイパス系配管合流点～安全冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
							安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点～バイパス系配管分岐点					
							バイパス系配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
							安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
							迅速流体継手接続口 () ～バイパス系配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	バイパス系配管合流点～安全冷却水ポンプ () 出口配管合流点	[REDACTED]				
	-						安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点～バイパス系配管分岐点					
	-						バイパス系配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
	-						安全冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () ~ 高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
		—				高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 () 入口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () 出口配管合流点					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ バイパス系配管合流点					
		—				バイパス系配管合流点 ~ 高レベル廃液共用貯槽冷却水ポンプ () 出口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	高レベル廃液共用貯槽冷却水中間熱交換器 (■)	■	-	-	-	-
	-						入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 (■)					
	-						迅速流体継手接続口 (■)～安全冷却水ポンプ (■)出口配管合流点					
	-						安全冷却水中間熱交換器 (■)入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 (■)					
	-						迅速流体継手接続口 (■)～安全冷却水ポンプ (■)出口配管合流点					
-					安全冷却水中間熱交換器 (■)入口配管分岐点～迅速流体継手接続口 (■)							

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系						代替安全冷却水系	迅速流体継手接続口 (■■■■) ~ ■■■■) ~ 高レベル廃液混合槽 (■■■■) 貯槽注水入口配管合流点					
							高レベル廃液混合槽 (■■■■) 貯槽注水入口配管合流点 ~ 高レベル廃液混合槽 (■■■■)					
							高レベル廃液混合槽 (■■■■) 貯槽注水入口配管分岐点 ~ 高レベル廃液混合槽 (■■■■)					
							迅速流体継手接続口 (■■■■) ~ ■■■■) ~ 供給液槽 (■■■■) 貯槽注水入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				供給液槽 () 貯槽注水入口配管合流点～供給液槽 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～供給槽 () 貯槽注水入口配管合流点					
		—				供給槽 () 貯槽注水入口配管合流点～供給槽 ()					
		—				迅速流体継手接続口 () ～貯槽注水配管ヘッダ					
		—				貯槽注水配管ヘッダ～貯槽注水配管ヘッダ分岐点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				凝縮器 () 冷却水入口配管接続口(フランジ)～凝縮器 ()					
		—				凝縮器 ()～凝縮器 () 冷却水出口配管接続口(フランジ)					
		—				予備凝縮器 () 冷却水入口中継配管上流側接続口(フランジ)～予備凝縮器 () 冷却水入口中継配管下流側接続口(フランジ)					
		—				予備凝縮器 ()～予備凝縮器 () 冷却水出口配管接続口(フランジ)					
		—				予備凝縮器 () 冷却水出口中継配管上流側接続口(フランジ)～予備凝縮器 () 冷却水出口中継配管下流側接続口(フランジ)					
		—				凝縮器 (), 予備凝縮器 () 冷却水入口配管上流側接続口(フランジ)～凝縮器 (), 予備凝縮器 () 冷却水入口配管下流側接続口(フランジ)					
		—				凝縮器 (), 予備凝縮器 () 冷却水出口配管上流側接続口(フランジ)～凝縮器 (), 予備凝縮器 () 冷却水出口配管下流側接続口(フランジ)					
		—				予備凝縮器 ()～予備凝縮器 () 冷却水出口配管接続口(フランジ)					

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
代替安全冷却水系	-					代替安全冷却水系	迅速流体継手接続口 ()) ~ 第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽 ()) 冷却水入口配管合流点					
	-						第1, 第2高レベル濃縮廃液貯槽 () 冷却水出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						迅速流体継手接続口 ()) ~ 第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () 冷却水入口配管合流点					
	-						第1, 第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () 冷却水出口配管分岐点 ~ 迅速流体継手接続口 ()					
	-						迅速流体継手接続口 ()) ~ 高レベル廃液共用貯槽 () 冷却水入口配管合流点					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
代替安全冷却水系		—				高レベル廃液共用貯槽 () 冷却水出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～高レベル廃液混合槽 () 冷却水入口配管合流点					
		—				高レベル廃液混合槽 () 冷却水出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～供給液槽 () 冷却水入口配管合流点					
		—				供給液槽 () 冷却水出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					
		—				迅速流体継手接続口 ()～供給液槽 () 冷却水入口配管合流点					
		—				供給液槽 () 冷却水出口配管分岐点～迅速流体継手接続口 ()					

注記 *1：公称値を示す。
 *2：重大事故等時における使用時の値を示す。
 *3：本設備は既存の設備である。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
代替安全冷却水系		—				迅速流体継手接続口 () 出口配管 合流点	代替安全冷却水系				
		—				出口配管 合流点 ~第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () *3					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 出口配管 合流点					
		—				出口配管 合流点 ~第1高レベル濃縮廃液一時貯槽 () *3					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 出口配管 合流点*4					
		—				迅速流体継手接続口 () ~ 出口配管 合流点					
		—				出口配管 合流点 ~第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () *3					
		—				迅速流体継手接続口 () 出口配管 合流点					
		—				出口配管 合流点 ~第2高レベル濃縮廃液一時貯槽 () *3					
	—				迅速流体継手接続口 () ~ 出口配管 合流点*4						

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
代替安全冷却水系	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4	代替安全冷却水系	-				
	-					出口配管 合流点 ～第1高レベル濃縮廃液貯槽 () *3*4		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4		-				
	-					出口配管 合流点 ～第1高レベル濃縮廃液貯槽 () *3*4		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～第1高レベル濃縮廃液貯槽 () *3		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点		-				
	-					出口配管 合流点 ～第1高レベル濃縮廃液貯槽 () *3		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4		-				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
代替安全冷却水系	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4	代替安全冷却水系	-				
	-					出口配管 合流点 ～第2高レベル濃縮廃液貯槽 () *3*4		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点		-				
	-					出口配管 合流点 ～第2高レベル濃縮廃液貯槽 () *3		-				
	-					出口配管 分岐点 ～第2高レベル濃縮廃液貯槽 () *3		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4		-				
	-					出口配管 合流点 ～第2高レベル濃縮廃液貯槽 () *3*4		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4		-				

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
代替安全冷却水系	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4	代替安全冷却水系	-				
	-					出口配管 合流点 ～高レベル廃液共用貯槽 () *3*4		-				
	-					出口配管 分岐点 ～高レベル廃液共用貯槽 () *3		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4		-				
	-					出口配管 合流点 ～高レベル廃液共用貯槽 () *3*4		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点		-				
	-					出口配管 合流点 ～高レベル廃液共用貯槽 () *3		-				
	-					迅速流体継手接続口 () ～ 出口配管 合流点*4		-				

- 注記 *1：公称値を示す。
 *2：単位は(MPa)。
 *3：本設備は既存の設備である。
 *4：その他再処理設備の附属施設のうち、圧縮空気設備の重大事故等対処設備の代替安全圧縮空気系と兼用する。

・可搬
(1) 容器

名称		変更前	変更後	
種類	—	—	可搬型排水受槽	
容量	m ³ /個		展開式水槽	
最高使用圧力* ²	MPa		200 以上(300* ¹)	
最高使用温度* ²	℃		静水頭	
主要寸法	外径		mm	60
	高さ		mm	19300* ¹
主要材料			—	1200* ¹
個数			—	ポリエステル
取付箇所			—	16 (予備として故障時のバックアップを 8)
				保管場所： ・外部保管エリア 1 屋外エリア T. M. S. L. 約 55.00m 及び T. M. S. L. 約 57.50m(8 基) ・外部保管エリア 2 屋外エリア T. M. S. L. 約 48.50m(8 基) (取付箇所： ・屋外 前処理建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m 又は屋外 分離建屋付 近 T. M. S. L. 約 55.00m(2 基) ・屋外 精製建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m 又は屋外 ウラン・プル トニウム混合脱硝建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m(3 基) ・屋外 高レベル廃液ガラス固化 建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m (3 基))

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

(2) ポンプ
a. ポンプ

			変更前	変更後	
名称				可搬型中型移送ポンプ	
ポンプ	種類	—		うず巻形	
	容量	m ³ /h/個		41 以上* ³ 86 以上* ⁴ 153 以上* ⁵ (240* ¹)	
	吐出圧力	MPa		0.63 以上* ³ 0.78 以上* ⁴ 0.80 以上* ⁵ (0.8* ¹)	
	最高使用圧力* ²	MPa		0.98	
	最高使用温度* ²	℃		60	
	主要寸法	吸込口径	mm		160* ¹
		吐出口径	mm		160* ¹
		たて	mm		467* ¹
		横	mm		213* ¹
		高さ	mm		195* ¹
		全長	mm		4750* ¹
		全幅	mm		2360* ¹
		全高	mm		2270* ¹
	主要材料	ケーシング	—		アルミ青銅合金
原動機	種類	—		ディーゼル機関	
	出力	kW/個		147	
燃料タンク	種類	—		角形	
	容量	L/個		100 以上(125* ¹)	
	最高使用圧力* ²	MPa		静水頭	
	最高使用温度* ²	℃		40	
	主要材料	—		ステンレス鋼	
個数		—		13 (予備として故障時及び待機除外時のバックアップを7)* ⁶	

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	—	—	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L. 約 55.00m 及び T.M.S.L. 約 57.50m(6 台) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m(7 台) 取付箇所： ・屋外 第1貯水槽付近 T.M.S.L. 約 55.00m(3 台) ・屋外 前処理建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m 又は屋外 分離建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1 台) ・屋外 精製建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m 又は屋外 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1 台) ・屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1 台)

注記 *1：公称値を示す。

*2：重大事故等時における使用時の値を示す。

*3：前処理建屋に送水する場合の値を示す。

*4：分離建屋，精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋に送水する場合の値を示す。

*5：高レベル廃液ガラス固化建屋に送水する場合の値を示す。

*6：燃料タンクの個数は可搬型中型移送ポンプ1台あたり1個。

(3) 主配管

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (前処理建屋)								代替安全冷却水用 2m, 20m 可搬型建屋内ホース						63 ^{*4} (予備 205)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内 (南側) T.M.S.L. 約 ■■■ m T.M.S.L. 約 ■■■ m 上記 2 箇所にそれぞれ 26 本ずつ保管する。 ・前処理建屋内 (西側) T.M.S.L. 約 ■■■ m T.M.S.L. 約 ■■■ m 上記 2 箇所にそれぞれ 20 本ずつ保管する。 ・前処理建屋内 (西側) T.M.S.L. 約 ■■■ m 上記に 34 本保管する。 ・第 1 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 55.00m 上記 に 41 本保管する。 ・第 2 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 48.50m 上記 に 101 本保管する。 (取付箇所： ・前処理建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m 又は 前処理建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■ m, ■■■ m 内部ループ通水 接続口 (26 本 ^{*6})) (前処理建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m 又は 前処理建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■ m, ■■■ m, ■■■ m, ■■■ m 機器注水接続口設置部屋 (20 本 ^{*7}))

								<p>23*5 (予備 45)</p>	<p>・前処理建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m 又は 前処理建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■■ m, ■■■■ m, ■■■■ m, ■■■■ m 冷却コイル通水接続口 (41 本^{*8})</p> <p>・前処理建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m 又は 前処理建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■■ m, ■■■■ m 凝縮器及び 予備凝縮器への通水接続口 (17 本^{*9})</p> <p>保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・前処理建屋内 (南側) T.M.S.L. 約 ■■■■ m ・前処理建屋内 (西側) T.M.S.L. 約 ■■■■ m 上記 2 箇所それぞれ 19 本ずつ保管する。</p> <p>・前処理建屋内 (南側) T.M.S.L. 約 ■■■■ m ・前処理建屋内 (西側) T.M.S.L. 約 ■■■■ m 上記 2 箇所それぞれ 4 本ずつ保管する。</p> <p>・第 2 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 48.50m 上記に 22 本保管する。</p> <p>取付箇所： ・建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■■ m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■■ m 機器注水接続口 (23 本)</p> <p>・建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■■ m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 ■■■■ m 機器注水接続口 (23 本)</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------------	--

										<ul style="list-style-type: none"> ・ 建屋内 T.M.S.L. 約 20m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 2m 機器注水接続口 (23 本) ・ 建屋内 T.M.S.L. 約 20m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 2m 機器注水接続口 (23 本) ・ 建屋内 T.M.S.L. 約 20m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 2m 機器注水接続口 (23 本) ・ 建屋内 T.M.S.L. 約 20m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 2m 機器注水接続口 (23 本) ・ 建屋内 T.M.S.L. 約 20m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 2m 機器注水接続口 (23 本) ・ 建屋内 T.M.S.L. 約 20m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 2m 機器注水接続口 (23 本) ・ 建屋内 T.M.S.L. 約 20m 機器注水接続口設置部屋 ～ 建屋内 T.M.S.L. 約 2m 機器注水接続口 (23 本)
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

注記 *1: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*2: メーカーにて規定する呼び径を示す。

*3: メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*4: 必要本数 63 本 (20m : 63 本) を示す。

*5: 必要本数 23 本 (2m : 23 本) を示す。

- *6：最長ルートである「前処理建屋西側屋外取合い～内部ループ通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。
- *7：最長ルートである「前処理建屋西側屋外取合い～機器注水接続口設置部屋」に敷設した場合の本数を示す。
- *8：最長ルートである「前処理建屋西側屋外取合い～冷却コイル通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。
- *9：最長ルートである「前処理建屋東側屋外取合い～凝縮器及び予備凝縮器への通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (分離建屋)				—				代替安全冷却水系 (分離建屋) 代替安全冷却水用 10m, 20m 可搬型建屋内ホース						229*4 (予備 283)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・分離建屋内 (北側) T.M.S.L. 約 55.00m (54 本) ・分離建屋内 (東側) T.M.S.L. 約 55.00m (54 本) ・外部保管エリア 1 T.M.S.L. 約 55.00m (229 本) ・外部保管エリア 2 T.M.S.L. 約 48.50m (177 本) 取付箇所： ・分離建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m 又は 分離建屋南側屋外取合い T.M.S.L. 約 55.00m 内部ループ 2 東ルート (38 本 ^{*5}) 貯槽等への注水東ルート (18 本 ^{*6}) 冷却コイル・ジャケットへの通水東ルート (31 本 ^{*7}) 凝縮器への注水東ルート (26 本 ^{*8})

注記 *1：重大事故等時における使用時の値を示す。

*2：メーカーにて規定する呼び径を示す。

*3：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*4：必要本数 229 本 (20m：177 本, 10m：52 本) を示す。

*5：最長ルートである「分離建屋東側屋外取合い～内部ループ通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。

*6：最長ルートである「分離建屋東側屋外取合い～機器注水接続口設置口」に敷設した場合の本数を示す。

*7：最長ルートである「分離建屋東側屋外取合い～冷却コイル通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。

*8：最長ルートである「分離建屋東側屋外取合い～凝縮器通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (精製建屋)				-				給水・排水用 20m 可搬型建 屋内ホース						149*4 (予備 275)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 ・精製建屋内（北側） T.M.S.L. 約 [] m 上記箇所に 12 本保管する。 ・精製建屋内（南側） T.M.S.L. 約 [] m T.M.S.L. 約 [] m 上記 2 箇所に合計 198 本保管する。 ・精製建屋内（西側） T.M.S.L. 約 [] m 上記箇所に 6 本保管する。 ・第 1 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 [] m 上記箇所に 156 本保管する。 ・第 2 保管用コンテナエリア T.M.S.L. 約 [] m 上記 に 52 本保管する。
															取付箇所： ・精製建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 [] m 又は 精製建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 [] m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m, [] m 内部ループ通水 接続口 (40 本*) 取付箇所： ・精製建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 [] m 又は 精製建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 [] m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m, [] m, [] m 機器注 水接続口 (13 本*)

(つづき)

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	主要材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (精製建屋)								代替安全冷却水系 (精製建屋)						149*4 (予備 275)	取付箇所： ・精製建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 [] m 又は 精製建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 [] m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m, [] m, [] m 冷却コ イル通水接続口 (100 本*) 取付箇所： ・精製建屋東側屋外取合い T.M.S.L. 約 [] m 又は 精製建屋西側屋外取合い T.M.S.L. 約 [] m ~ 建屋内 T.M.S.L. 約 [] m, [] m, [] m 凝縮器 及び予備凝縮器への通水接続口 (22 本*)

- 注記
- * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
 - * 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
 - * 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
 - * 4 : 必要本数 149 本 (呼称 65 : 14 本、呼称 40 : 135 本) を示す。
 - * 5 : 最長ルートである「精製建屋西側屋外取合い～内部ループ通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。
 - * 6 : 最長ルートである「精製建屋東側屋外取合い～機器注水接続口」に敷設した場合の本数を示す。
 - * 7 : 最長ルートである「精製建屋西側屋外取合い～冷却コイル通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。
 - * 8 : 最長ルートである「精製建屋西側屋外取合い～凝縮器及び予備凝縮器への通水接続口」に敷設した場合の本数を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)			—					代替安全冷却水系(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)						84*5 (予備として故障時のバックアップを44本)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋内) T. M. S. L. ■■■ m (30本) T. M. S. L. ■■■ m (52本) (第1保管用コンテナエリア) T. M. S. L. 55.00m (42本) (第4保管用コンテナエリア) T. M. S. L. 48.65m (4本) 取付箇所： 屋外ウラン・プルトニウム建屋付近(東側) T. M. S. L. 約55.00m ■■■ m ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～内部ループへの通水接続口(東側ルート) (14本*6)

(続き)

										<p>屋外ウラン・プルト ニウム建屋付近(西側) T. M. S. L. 約55.00m ■■■■■m ウラン・プルトニウム 混合脱硝建屋屋外取 合～貯槽等への注水接 続口(西側ルート)(10 本*7)</p> <p>屋外ウラン・プルト ニウム建屋付近(東側) T. M. S. L. 約55.00m ■■■■■m ウラン・プルトニウム 混合脱硝建屋屋外取 合～冷却ジャケットへ の通水接続口(東側ル ート)(18本*8)</p> <p>屋外ウラン・プルト ニウム建屋付近(東側) T. M. S. L. 約55.00m ■■■■■m ウラン・プルトニウム 混合脱硝建屋屋外取 合～セル導出設備の 凝縮器への通水接続 口(東側ルート)(14 本*9)</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

注記 *1: 重大事故等時(内部ループへの通水用及び冷却ジャケットへの通水用)における使用時の値を示す。
*2: 重大事故等時(貯槽等への注水用及びセル導出設備の凝縮器への通水用)における使用時の値を示す。
*3: メーカーにて規定する呼び径を示す。

(続き)

- *4: メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- *5: 内部ループへの通水用として必要本数14本を2セットに故障時のバックアップ16本の数量、冷却ジャケットへの通水用として必要本数4本を2セット、貯槽等への注水用として必要本数10本を2セットに故障時のバックアップ12本の数量、セルへの導出設備の凝縮器への通水用として必要本数14本を2セットに故障時のバックアップ16本の数量を示す。
- *6: 最長ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～内部ループ通水への通水接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。
- *7: 最長ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～貯槽等への注水接続口(西側ルート)に敷設した場合の本数を示す。
- *8: 最長ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～冷却ジャケットへの通水接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。
- *9: 最長ルートであるウラン・プルトニウム混合脱硝建屋屋外取合～セル導出設備の凝縮器への通水接続口(東側ルート)に敷設した場合の本数を示す。

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)								代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)							保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・地下2階東西第1廊下 () T.M.S.L. 約 m (10m : 26本) ・地下2階南北第1廊下 () T.M.S.L. 約 m (2m : 5本、5m : 5本、10m : 25本) ・地下1階東西第2廊下、 地下1階南北第2廊下 () T.M.S.L. 約 m (2m : 5本、5m : 3本、10m : 51本) ・除染液分配第1室 () T.M.S.L. 約 m (5m : 2本) 高レベル廃液ガラス固化建屋外 T.M.S.L. 約 m (2m : 4本、5m : 4本、10m : 50本) 取付箇所：*5 高レベル廃液ガラス固化建屋内 2m : 2本 () T.M.S.L. 約 m (1本×2) 5m : 4本 () T.M.S.L. 約 m (2本×2)

										<p>10m : 48本</p> <p>ダクト室-給排水口 T.M.S.L. 約 [] m (3本×2)</p> <p>北側-東側 T.M.S.L. 約 [] m (6本×2)</p> <p>ダクト室-給排水口 T.M.S.L. 約 [] m (10本×2)</p> <p>給排水口- T.M.S.L. 約 [] m (5本×2)</p>
代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)		代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)	代替安全冷却水用 10m, 20m 可搬型建屋内ホース						<p>保管場所:</p> <p>可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排風機第1室 () T.M.S.L. 約 [] m (10m : 7本、20m : 17本) ・地上2階東西第1廊下 () T.M.S.L. 約 [] m (10m : 7本、20m : 17本) <p>高レベル廃液ガラス固化建屋外</p> <p>T.M.S.L. 約 [] m (10m : 6本、20m : 16本)</p> <p>取付箇所 : *5 高レベル廃液ガラス固化建屋内</p> <p>10m : 4本 [] T.M.S.L. 約 [] m (1本×2)</p> <p>[] T.M.S.L. 約 [] m (1本×2)</p>	

10m : 6 *6
(予備 14)

20m : 16 *6
(予備 34)

											20m : 14本  T.M.S.L. 約  m (1本×2)  T.M.S.L. 約  m (2本×2)  T.M.S.L. 約  m (1本×2)  T.M.S.L. 約  m (2本×2)  T.M.S.L. 約  m (1本×2)
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

- * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
- * 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
- * 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- * 4 : 必要本数を示す。(2m : 4本、5m : 4本、10m : 50本)
- * 5 : 最長ルートである北ルート、第2接続口にて示す。
- * 6 : 必要本数を示す。(10m : 6本、20m : 16本)

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)				—				代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)							保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・地下2階東西第1廊下 () T.M.S.L. 約 m (10m : 10本) ・地下2階南北第1廊下 () T.M.S.L. 約 m (2m : 2本、5m : 3本、10m : 27本) ・地下1階南北第2廊下、 地下1階東西第2廊下 () T.M.S.L. 約 m (2m : 7本、5m : 3本、10m : 37本) ・地下1階東西第1廊下 () T.M.S.L. 約 m (2m : 5本) ・高レベル廃液ガラス固化建屋外 T.M.S.L. 約 m (2m : 6本、5m : 2本、10m : 36本) 取付箇所：*5 高レベル廃液ガラス固化建屋 2m : 本 T.M.S.L. 約 m (1本) T.M.S.L. 約 m (1本) 5m : 2本 —取口 T.M.S.L. 約 m (1本) 取口— T.M.S.L. 約 m (1本) (1本)

										<p>10m : 27 本</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (1 本)</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (6 本)</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (4 本)</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (2 本)</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (1 本)</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (5 本)</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (8 本)</p>
代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)		代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)	代替安全冷却水用 10m, 20m 可搬型建屋内ホース						<p>10m : 11 *⁶ (予備 24)</p> <p>20m : 53 *⁶ (予備 108)</p>	<p>保管場所 :</p> <p>可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地上 2 階東西第 1 廊下 (■■■■) T.M.S.L. 約■■■m (10m : 12 本、20m : 54 本) ・地下 1 階南北第 1 廊下、 地下 1 階東西第 2 廊下 (■■■■) T.M.S.L. 約■■■m (10m : 12 本、20m : 54 本) <p>高レベル廃液ガラス固化建屋外</p> <p>T.M.S.L. 約■■■m (10m : 11 本、20m : 53 本)</p> <p>取付箇所 : *⁵ 高レベル廃液ガラス固化建屋</p> <p>10m : 5 本</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (1 本)</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (2 本)</p> <p>■■■■ T.M.S.L. 約■■■m (2 本)</p>

											20m : 49 本 T.M.S.L. 約 (29 本) T.M.S.L. 約 (6 本) T.M.S.L. 約 (6 本) T.M.S.L. 約 (8 本)
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

- * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
- * 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
- * 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- * 4 : 必要本数を示す。(2m : 6 本、5m : 2 本、10m : 36 本)
- * 5 : 最長ルートである南ルート、第 4 接続口にて示す。
- * 6 : 必要本数を示す。(10m : 11 本、20m : 53 本)

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)								代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)							保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・地下2階東西第1廊下 () T.M.S.L. 約 m 10m : 26本 (内部ループ通水用と兼用) ・地下2階南北第1廊下 () T.M.S.L. 約 m 2m : 5本、5m : 5本、10m : 25本 (内部ループ通水用と兼用) 2m : 6 *4 (予備 6*6) 5m : 6 *4 (予備 6*6) 10m : 70 *5 (予備 70*7) ・地下1階東西第2廊下、 地下1階南北第2廊下 () T.M.S.L. 約 m 2m : 5本、5m : 3本、10m : 51本 (内部ループ通水用と兼用) ・除染液分配第1室 ()5) T.M.S.L. 約 m 5m : 2本 (内部ループ通水用と兼用) 高レベル廃液ガラス固化建屋外 T.M.S.L. 約 m 2m : 2本×2 5m : 2本×2 10m : 20本×2

									<p>取付箇所：^{*8} 高レベル廃液ガラス固化建屋 2m：6本 ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (2本×2) ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (1本×2)</p> <p>5m：6本 ■■■■-取口 T.M.S.L.約■■■■m (1本×2) 取口■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (1本×2) ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (1本×2)</p> <p>10m：70本 ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (6本×2) ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (11本×2) ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (15本×2) ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (3本×2)</p>
代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)	-	代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)	代替安全冷却水 用10m, 20m可搬 型建屋内ホース					<p>10m：8^{*9} (予備8)</p> <p>20m：40^{*9} (予備40)</p> <p>保管場所： 高レベル廃液ガラス固化建屋外 ・第1保管エリア T.M.S.L.約■■■■m (10m：8本、20m：40本)</p> <p>・第2保管庫 T.M.S.L.約■■■■m (10m：8本、20m：40本)</p> <p>取付箇所：^{*8} 高レベル廃液ガラス固化建屋 10m：8本 ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (1本×2) ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (1本×2) ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (1本×2) ■■■■ T.M.S.L.約■■■■m (1本×2)</p>	

												20m : 32本 T.M.S.L.約 [redacted] m (1本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (1本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (2本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (1本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (1本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (2本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (2本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (1本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (1本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (2本×2) T.M.S.L.約 [redacted] m (2本×2)
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
- * 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
- * 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- * 4 : 必要本数 6 本を示す。(必要本数 6 本のうち 4 本を内部ループ通水用ホースと兼用する。)
- * 5 : 必要本数 70 本を示す。(必要本数 70 本のうち 50 本を内部ループ通水用ホースと兼用する。)
- * 6 : 予備本数 6 本を示す。(予備本数 6 本のうち 4 本を内部ループ通水用ホースと兼用する。)
- * 7 : 予備本数 70 本を示す。(予備本数 70 本のうち 50 本を内部ループ通水用ホースと兼用する。)
- * 8 : 冷却コイル通水時の最長ルートとなる南ルート第 1 接続口にて示す。
- * 9 : 必要本数を示す。(10m : 8 本、20m : 40 本)

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)				—				代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋) 代替安全冷却水用 10m 可搬型建屋内ホース						22 *4 (予備 46)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (23 本) ・■■■■ T.M.S.L. 約■■■■m (23 本) 高レベル廃液ガラス固化建屋外 ・T.M.S.L. 約■■■■m (22 本) (取付箇所：*5 高レベル廃液ガラス固化建屋 20 本 ■■■■ 取合い部 T.M.S.L. 約■■■■m (1 本×2) ■■■■ 東側■■■■ 前 T.M.S.L. 約■■■■m (10 本×2))

- * 1 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
- * 2 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
- * 3 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- * 4 : 必要本数 22 本を示す。
- * 5 : 最長ルートとなる北側凝縮器第 1 接続口にて示す。

変更前							変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 *1 (mm)	厚さ *1 (mm)	材料	個数	取付箇所
代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)				-				代替安全冷却水系 (高レベル廃液ガラス固化建屋)						2 *3 (予備 4)	保管場所： 可搬型重大事故等対処設備保管場所 高レベル廃液ガラス固化建屋内 ・地下1階東西第1廊下 () T. M. S. L. 約 m (2本) ・排気フィルタ第4室 () T. M. S. L. 約 m (2本) 高レベル廃液ガラス固化建屋外 ・T. M. S. L. 約 m (2本) 取付箇所： 2本 高レベル廃液ガラス固化建屋 塔槽類廃ガス処理第2室 () T. M. S. L. 約 m 予備凝縮器 冷却水入口：1本 予備凝縮器 冷却水出口：1本

* 1 : 公称値を示す。

* 2 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

* 3 : 必要本数 2 本を示す。

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
—								代替安全冷却水用 3m, 5m, 20m可搬型 建屋外ホース	0.98*1	60*1	150A*2	—*3	ポリエステル, ポリウレタン	2866(予備として故障時のバックアップを1433)*4	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L.約 55.00m 及び T.M.S.L.約 57.50m(1433本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L.約 48.50m (1433本) 取付箇所： ・屋外 可搬型中型移送ポンプ(第1貯水槽付近)T.M.S.L.約 55.00m ~ 屋外 可搬型建屋内ホース(前処理建屋東側又は西側)T.M.S.L.約 55.00m 及び屋外 可搬型建屋内ホース(前処理建屋東側又は西側)T.M.S.L.約 55.00m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L.約 55.00m(323本*5) ・屋外 可搬型中型移送ポンプ(第1貯水槽付近)T.M.S.L.約 55.00m ~ 屋外 可搬型建屋内ホース(分離建屋東側又は南側)T.M.S.L.約 55.00m, 屋外 可搬型建屋内ホース(精製建屋東側又は西側)T.M.S.L.約 55.00m 及び屋外 可搬型建屋内ホース(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋北側又は西側)T.M.S.L.約 55.00m 並びに屋外 可搬型建屋内ホース(分離建屋東側又は南側)T.M.S.L.約 55.00m, 屋外 可搬型建屋内ホース(精製建屋東側又は西側)T.M.S.L.約 55.00m 及び屋外 可搬型建屋内ホース(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋北側又は西側)T.M.S.L.約 55.00m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L.約 55.00m(591本*6) ・屋外 可搬型中型移送ポンプ(第1貯水槽付近)T.M.S.L.約 55.00m ~ 屋外 可搬型建屋内ホース(高レベル廃液ガラス固化建屋北側又は南側)T.M.S.L.約 55.00m

(つづき)

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
															及び屋外 可搬型建屋内ホース(高レベル廃液ガラス固化建屋 北側又は南側)T. M. S. L. 約55. 00m ～ 第1貯水槽付近T. M. S. L. 約55. 00m(423本*7)

注記 *1: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*2: メーカーにて規定する呼称を示す。

*3: メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*4: 必要本数 1433 本(3m: 283 本, 5m: 237 本, 20m: 913 本)及びこれらと同数の予備の数量を示す。

*5: 最長の敷設ルートである「可搬型中型移送ポンプ(第1貯水槽付近) ～ 可搬型建屋内ホース(前処理建屋東側)及び可搬型建屋内ホース(前処理建屋東側) ～ 第1貯水槽付近」に敷設した場合(3m: 46 本, 5m: 56 本, 20m: 221 本)の数量を示す。

*6: 最長の敷設ルートである「可搬型中型移送ポンプ(第1貯水槽付近) ～ 可搬型建屋内ホース(分離建屋南側, 精製建屋西側及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋西側)並びに可搬型建屋内ホース(分離建屋南側, 精製建屋西側及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋西側) ～ 第1貯水槽付近」に敷設した場合(3m: 104 本, 5m: 93 本, 20m: 394 本)の数量を示す。

*7: 最長の敷設ルートである「可搬型中型移送ポンプ(第1貯水槽付近) ～ 可搬型建屋内ホース(高レベル廃液ガラス固化建屋南側)及び可搬型建屋内ホース(高レベル廃液ガラス固化建屋南側) ～ 第1貯水槽付近」に敷設した場合(3m: 69 本, 5m: 56 本, 20m: 298 本)の数量を示す。

1.2.2 蒸気供給設備
1.2.2.1 安全蒸気系

・常設
(1) 容器

				変更前	変更後
名称				ボイラ供給水槽 ■■■■■	変更なし
種類		—		横置円筒形	
臨界管理	核的制限値	プルトニウム最大濃度	g・Pu/l	—	
容量			m ³ /個	■■■■■	
最高使用圧力			MPa		
最高使用温度			℃		
主要寸法	胴内径* ³		mm		
	胴板厚さ* ⁴		mm		
	鏡板厚さ* ⁴		mm		
	入口管台外径		mm		
	入口管台厚さ		mm		
	出口管台外径		mm		
	出口管台厚さ		mm		
	マンホール管台外径		mm		
	マンホール管台厚さ		mm		
	マンホール平板厚さ		mm		
高さ* ⁵		mm			
主要材料	胴板		—		
	鏡板		—		
	マンホール平板		—		
個数			—	1	
取付箇所	系統名(ライン名)		—	安全蒸気系	
	設置床		—	■■■■■ T. S. M. L. ■■■■m	
	溢水防護上の区画番号		—	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	
	化学薬品防護上の区画番号		—	—	■■■■■
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. S. M. L. ■■■■m

- 注記
- * 1 : 公称値を示す。
 - * 2 : 重大事故時等における使用時の値を示す。
 - * 3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「D」と記載。
 - * 4 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「t」と記載。
 - * 5 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「H」と記載。
 - * 6 : 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称			LPGボンベユニット [REDACTED]	変更なし
種類		—		
臨界管理	核的制限値	使用済燃料 集合体平均 濃縮度の 最大値	wt% —	
		ラック格子の 中心間 最小距離	mm —	
容量		体/個	[REDACTED]	
主要寸法	格子の 中心間距離	mm	[REDACTED]	
	内のり	mm	[REDACTED]	
	たて	mm	[REDACTED]	
	よこ	mm	[REDACTED]	
	高さ	mm	[REDACTED]	
	厚さ	mm	[REDACTED]	
主要材料* ³		—	[REDACTED]	
個数		—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	安全蒸気系	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]	
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—	[REDACTED]
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 55. 44m

注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「全高」と記載。

* 3 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「本体材料」と記載。

* 4 : 設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(2) 熱交換器

			変更前	変更後	
名称			安全蒸気ボイラ [REDACTED]	変更なし	
種類		-	炉筒煙管式		
容量	蒸気発生量	t/h/ 個	[REDACTED]		
	最高使用圧力*2	MPa	[REDACTED]		
	最高使用温度*2	℃	[REDACTED]		
	伝熱面積*2	m ²	[REDACTED]		
主要寸法	胴内径*2	mm	[REDACTED]		
	胴板厚さ*2	mm	[REDACTED]		
	高さ*3	mm	[REDACTED]		
主要材料	胴板	-	[REDACTED]		
個数		-	2*4		
取付箇所	系統名(ライン名)	-	安全蒸気系		
	設置床	-	[REDACTED] T. S. M. L [REDACTED]		
	溢水防護上の区画番号	-	-	[REDACTED]	[REDACTED]
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T. S. M. L [REDACTED] 以上	T. S. M. L [REDACTED] 以上
	化学薬品防護上の区画番号	-	-	[REDACTED]	[REDACTED]
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T. S. M. L [REDACTED] 以上	T. S. M. L [REDACTED] 以上

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

*3: 記載の適正化を行う。既設工認においては「全高」と記載。

*4: 記載の適正化を行う。既設工認においては「2(内1個予備)」と記載。

(3) 安全弁及び逃し弁

			変更前	変更後
名称			-	安全弁*2 [Redacted]
種類	-	非平衡型		
吹出圧力	MPa	[Redacted]		
吹出量	kg/h/個			
吹出場所	-			
主要寸法	呼び径			mm
	のど部の径			mm
	弁座口の径			mm
	リフト			mm
主要材料	弁箱			-
駆動方法				-
個数				-
取付箇所	系統名(ライン名)	-		安全蒸気系
	設置床	-		前処理建屋 T. S. M. L [Redacted]
	溢水防護上の区画番号	-		-
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		-
	化学薬品防護上の区画番号	-		-
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	-	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既設工認申請書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

(4) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
安全蒸気ボイラ [redacted] *2 ～ 弁 [redacted] [redacted] [redacted]	[redacted]					変更なし					
ボイラ供給水槽 [redacted] ～ 安全蒸気ボイラ [redacted]						変更なし					
安全蒸気ボイラ [redacted] ～ [redacted] 及び [redacted] 安全蒸気系						—					
安全蒸気ボイラ出口配管 [redacted] ～ 溶解設備及び清澄・計量設備						—					
安全蒸気ボイラ [redacted] まわり						—					
ボイラ供給水槽 [redacted] まわり						—					
溶解設備及び清澄・計量設備へ						—					
安全蒸気系											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
安全蒸気系 前処理建屋の安全蒸気系 ～ 分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留 処理設備, 高レベル廃液濃縮系						—					

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「安全蒸気ボイラA, B [redacted] ～ [redacted] 及び [redacted] 安全蒸気系」, 「安全蒸気ボイラA, B出口配管～溶解設備及び清澄・計量設備」, 「溶解設備及び清澄・計量設備へ」, 「前処理建屋の安全蒸気系～分離設備, 分配設備, 分離建屋一時貯留処理設備, 高レベル廃液濃縮系」, 「安全蒸気ボイラA, B [redacted] まわり」と記載。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全蒸気系	安全蒸気ボイラ ～安全蒸気ボイラ 出口配管 , 及び 安全蒸気系	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全蒸気系	変更なし				
	安全蒸気ボイラ出口配管 ～安全蒸気ボイラ出口配管						変更なし				
	安全蒸気ボイラ出口配管 ～ 溶解設備及び清澄・計量設備*3						変更なし				
	溶解設備及び清澄・計量設備へ						—*4				

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認には「最高使用圧力(MPa)」に「[Redacted]」と記載。

*3：記載の適正化を行う。既設工認には「名称」に「溶解設備及び清澄・計量設備へ」と記載。

*4：本設備は設計基準対象施設及び重大事故等対処施設として使用しないため本申請により手続き対象外とする。

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
安全蒸気系	弁()～分離設備,分配設備,分離建屋一時貯留処理設備及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部() *2	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						変更なし	
	分離設備及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部分岐点～弁() *2										変更なし	
	弁()～迅速流体継手接続口() *2											変更なし
	分離設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッダ部分岐点～分離建屋一時貯留処理設備ヘッダ部() *2											変更なし
	分離建屋一時貯留処理設備ヘッダ部分岐点～弁() *2											変更なし
	弁()～迅速流体継手接続口() *2											変更なし
	分離設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッダ部分岐点～分離設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッダ部() *2											変更なし

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全蒸気系	分離設備及び分離建屋一時貯留処理設備ヘッダ部分岐点～弁	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし					
	弁～迅速流体継手接続口					変更なし					
	分離設備,分配設備,分離建屋一時貯留処理設備及び高レベル廃液濃縮系ヘッダ部分岐点～分離設備及び分配設備ヘッダ部					変更なし					
	分離設備及び分配設備ヘッダ部分岐点～弁					変更なし					
	弁～迅速流体継手接続口					変更なし					

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認申請書には「前処理建屋の安全蒸気系～分離設備,分配設備,分離建屋一時貯留処理設備,高レベル廃液濃縮系」と記載。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
安全蒸気系	[Redacted]					安全蒸気系	変更なし				
							—*2				

注記 *1：公称値を示す。

*2：当該ラインについては、主配管に該当しないため、記載の適正化を行う。

1.3 その他の主要な事項

1.3.1 分析設備

・常設

(1) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋の分析設備	抽出塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管分岐点 ～ サンプリングベンチ第2 入口配管 ■■■ セル内壁部*2										変更なし
	抽出塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ分離ポット (■■■■)										変更なし
	抽出塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管合流点*2										変更なし
	第1洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管分岐点 ～ サンプリングベンチ第2 入口配管 ■■■ セル内壁部*2										変更なし
第1洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ分離ポット (■■■■)											変更なし
第1洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管合流点*2											変更なし

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離 建屋 の 分析 設備	第2洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管分岐点 ～ サンプリングベンチ第2 入口配管 ■■■ セル内壁部*2	■■■	■■■	■■■	■■■	変更なし					
	第2洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ分離ポット (■■■) ～ 第2洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管合流点*2					変更なし					
	ウラン洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管分岐点 ～ サンプリングベンチ第2 入口配管 ■■■ セル内壁部*2					変更なし					
	ウラン洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ分離ポット (■■■) ～ ウラン洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管合流点*2					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋の分析設備	TBP 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管分岐点 ～ サンプリングベンチ第2 入口配管 █████ セル内壁部*2					変更なし					
	TBP 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ分離ポット (██████) ～ TBP 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブ 出口配管合流点*2					変更なし					
	TBP 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ入口配管 █████ セル内壁部 ～ TBP 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ (██████)*2					変更なし					
	第1 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ入口配管 █████ セル内壁部 ～ 第1 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ (██████)*2					変更なし					
	第1 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ (██████)*2					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋の 分析設備	抽出塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ入口配管 ■■■ セル内壁部 ～ 抽出塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ (■■■)*2					変更なし					
	ウラン洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ入口配管 ■■■ セル内壁部 ～ ウラン洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ (■■■)*2										
	第2 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ入口配管 ■■■ セル内壁部 ～ 第2 洗浄塔エアリフトポンプ バッファチューブサンプリング エアリフトポンプ (■■■)*2										
	■■■ 溶接キャップ ～ サンプリングベンチ第2 入口配管 ■■■ セル内壁部*2										
						変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋の 分析設備	予備抽出塔エアリフトポンプ 平滑管サンプリングエアリフト ポンプ分離ポット ■■■■ ~ ■■■■ 溶接キャップ*2	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	変更なし					
	予備第1洗浄塔エアリフト ポンプ平滑管サンプリング エアリフトポンプ分離ポット ■■■■ ~ ■■■■ 溶接キャップ*2					変更なし					
	■■■■ エンドピース ■■■■ ~ サンプリングベンチ第2 入口配管 ■■■■ セル内壁部*2					変更なし					
	予備 TBP 洗浄器エアリフト ポンプ平滑管サンプリング エアリフトポンプ分離ポット ■■■■ ~ ■■■■ エンドピース (■■■■)*2					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離 建屋 の 分 析 設 備	ウラン洗浄塔 [] ～ サンプリングベンチ第4 入口配管 [] セル内壁部*2	[]	[]	[]	[]	変更なし					
	ウラン洗浄塔サンプリング エアリフトポンプ分離ポット [] ～ ウラン洗浄塔 [] *2					変更なし					
	ウラン洗浄塔サンプリング エアリフトポンプ入口配管 [] セル内壁部 ～ ウラン洗浄塔サンプリング エアリフトポンプ [] *2					変更なし					
	プルトニウム分配塔 [] ～ サンプリングベンチ第4 入口配管 [] セル内壁部*2					変更なし					
	プルトニウム分配塔 サンプリングエアリフトポンプ 分離ポット([]) ～ プルトニウム分配塔 [] *2					変更なし					

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料
分離建屋の分析設備	プルトニウム分配塔 サンプリングエアリフトポンプ 入口配管 ■■■ セル内壁部 ～ プルトニウム分配塔 サンプリングエアリフト ポンプ ■■■ *2	■■■	■■■	■■■	■■■	変更なし					
	第1洗浄塔溶液採取ポット 出口配管分岐点 ～ サンプリングベンチ第4 入口配管 ■■■ セル内壁部 *2					変更なし					
	第1洗浄塔溶液採取ポット サンプリングエアリフトポンプ 分離ポット出口配管 ■■■ セル内壁部 ～ 第1洗浄塔溶液採取ポット 出口配管合流点 *2					変更なし					
	■■■ エンドピース ■■■ ～ サンプリングベンチ第4 入口配管 ■■■ セル内壁部 *2					変更なし					
	第1洗浄塔溶液採取ポット サンプリングエアリフトポンプ 入口配管 ■■■ セル内壁部 ～ 第1洗浄塔溶液採取ポット サンプリングエアリフト ポンプ ■■■ *2					変更なし					

(つづき)

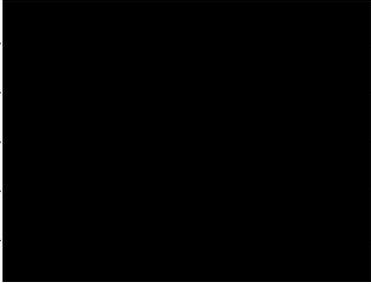
変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力(MPa)	最高使用 温度(°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	
分離 建屋 の 分析 設備	予備第1洗浄塔溶液採取ポット サンプリングエアリフトポンプ 入口配管 ■■■ セル内壁部 ～	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■	
	予備第1洗浄塔溶液採取ポット サンプリングエアリフト ポンプ ■■■ *2											変更なし
	予備第1洗浄塔溶液採取ポット サンプリングエアリフトポンプ 分離ポット出口配管 ■■■ セル内壁部 ～ ■■■ エンドピース ■■■											変更なし

注記 *1：公称値を示す。

*2：既設工認申請書の仕様表に記載がないため適正化を行う。記載内容は設計図書による。

1.3.2 火災防護設備

- ・常設
 - (1) 容器

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 
種類	—			一般継目なし容器
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa			5.2
最高使用温度	℃			40
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロゲン化物消火設備	
	設置床	—	T. M. S. L.  m	
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1 : 公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [Redacted]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[Redacted]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[Redacted]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [Redacted]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[Redacted]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[Redacted]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[Redacted] T. M. S. L. [Redacted] m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	[REDACTED]		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		[REDACTED]
	胴部厚さ	mm		[REDACTED]
	底部厚さ	mm		[REDACTED]
主要材料		—		[REDACTED]
個数		—		[REDACTED]
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロゲン化物消火設備	
	設置床	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m	
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED]m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	[REDACTED]			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備	
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m	
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		— *2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備	
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	[REDACTED]			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	[REDACTED]			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	[REDACTED]			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備	
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

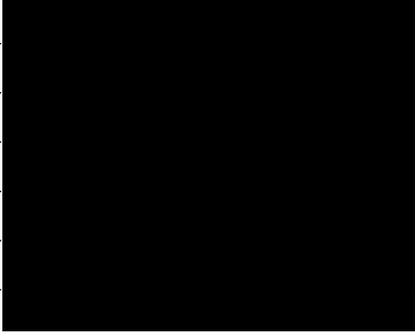
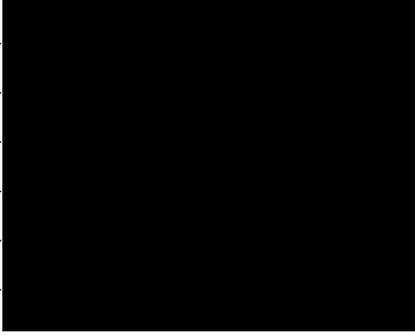
*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0102)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		AG-W0104 T. M. S. L. 40. 05m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0103, W0106, W0107, W0113, W0115, W0119, W0122, W0125)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃				
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			AG-W0117 T. M. S. L. 40. 05m
	溢水防護上の区画番号	—		— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0206)
種類		—		一般継目なし容器
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa			5.2
最高使用温度	℃			40
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		AG-W0212 T. M. S. L. 47.65m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0202, W0203)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量		L/個			
最高使用圧力		MPa		5.2	
最高使用温度		℃			
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料				—	
個数				—	
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	ハロゲン化物消火設備	
	設置床		—	AG-W0213 T. M. S. L. 47.65m	
	溢水防護上の区画番号		— * 2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		— * 2	—	
	化学薬品防護上の区画番号		— * 3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		— * 3	—	

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 (AP-G0101, G0102, W0107)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料	—			
個数	—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロゲン化物消火設備	
	設置床	—	AP-W0105 T. M. S. L. 55.30m	
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 (AP-W0108)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		AP-W0105 T. M. S. L. 55.30m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 (AZ-W0103, W0104, W0303, W0304, W0321, W0322, W0323, W0324) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹	
種類	—			一般継目なし容器	
容量	L/個			██████████	
最高使用圧力	MPa			5.2	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm		████	
	高さ	mm		████	
	胴部厚さ	mm		██████████	
	底部厚さ	mm		██████████	
主要材料	—			██████████	
個数	—			1	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			AZ-W0312 T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号	—		—* ³	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		—* ³	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ⁴	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁴	—	

注記 *1: ハロン1301貯蔵容器(AZ-W0103, W0104, W0303, W0304, W0321, W0322, W0323, W0324)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

(つづき)

*3：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

(つづき)

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 (AZ-W0147床下, W0151) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹	
種類	—			一般継目なし容器	
容量	L/個			██████████	
最高使用圧力	MPa			5.2	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm		███	
	高さ	mm		████	
	胴部厚さ	mm		██████	
	底部厚さ	mm		██████	
主要材料	—			██████████	
個数	—			█	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			AZ-W0329 T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号	—		—* ³	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ³	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ⁴	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ⁴	—	

注記 *1: ハロン1301貯蔵容器(AZ-W0147床下, W0151)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(つづき)

			変更前	変更後
名称			—	ハロン1301貯蔵容器 (AZ-W0150) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		■
最高使用圧力		MPa		5.2
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		■
	胴部厚さ	mm		■
	底部厚さ	mm		■
主要材料		—		■
個数		—		1
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	ハロゲン化物消火設備
	設置床		—	AZ-W0330 T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号		—*3	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—*3	—
	化学薬品防護上の区画番号		—*4	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—*4	—

注記 *1 : ハロン1301貯蔵容器(AZ-W0150)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (BA-W0231, G0232, Y0101, Y0102)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■■■■■■			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			BA-W0522 T. M. S. L. 68. 90m
	溢水防護上の区画番号	—		— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■■■■■■ T. M. S. L. 39.80m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■■■■■■ T. M. S. L. 47. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■■■■■■ T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		[REDACTED]
	胴部厚さ	mm		[REDACTED]
	底部厚さ	mm		[REDACTED]
主要材料		—		[REDACTED]
個数		—	[REDACTED]	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	ハロゲン化物消火設備
	設置床	—	—	[REDACTED] T. M. S. L. 62. 80m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■■■■■■ T. M. S. L. 39. 80m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料	—			
個数	—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. 47. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [Redacted]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[Redacted]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[Redacted]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[Redacted] T. M. S. L. 62. 80m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■■■■■■
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		■■■■■■■■■■ T. M. S. L. 38. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [Redacted]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[Redacted]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[Redacted]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		[Redacted] T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (GA-W0103, W0104, W0105, W0106, W0203, W0204)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■■■■■■			
最高使用圧力	MPa	5.2			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備
	設置床	—			GA-W0212 T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		T. M. S. L.
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	—			一般継目なし容器
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa			5.2
最高使用温度	℃			40
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		T. M. S. L.
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		T. M. S. L.
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	—			一般継目なし容器
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa			5.2
最高使用温度	℃			40
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		T. M. S. L
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器-1, 2
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		T. M. S. L. [] T. M. S. L. []
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備
	設置床	—		T. M. S. L.
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器	
種類	—			一般継目なし容器	
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa			5.2	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備	
	設置床	—		T. M. S. L.	
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (一般排水ピットポンプ ██████████)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	██████████		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		████████████████████ ████████████████████ ████████████████████ ████████████████████
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロゲン化物消火設備(局所)	
	設置床	—	██████████ T. M. S. L. ██████ m	
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (インアクティブ廃液ポンプ A, B [REDACTED])
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		[REDACTED]
最高使用圧力		MPa		5.2
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料				—
個数				—
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	ハロゲン化物消火設備(局所)
	設置床		—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号		— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号		— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		— * 3	—	

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (廃液中和槽ポンプ A, B [REDACTED])
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備(局所)
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防 護上の区画 番号	—	—*3	—
	化学薬品防 護上の配慮 が必要な高 さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (常用冷水 2 ポンプ A, B [REDACTED])
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備(局所)
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防 護上の区画 番号	—	—*3	—
	化学薬品防 護上の配慮 が必要な高 さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [redacted] 廃ガス洗浄塔ポンプ A, B [redacted], 廃ガス洗浄塔ポン プ A, B [redacted]
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	[redacted]		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[redacted]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備/ハロゲン化物消 火設備 (局所)
	設置床	—		[redacted] T. M. S. L. [redacted]
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 [redacted] 排風機 A, B [redacted] [redacted] 排風機 A, B [redacted]
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		[redacted]
最高使用圧力		MPa		5.2
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm		[redacted]
	高さ	mm		[redacted]
	胴部厚さ	mm		[redacted]
	底部厚さ	mm		[redacted]
主要材料				—
個数				—
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	ハロゲン化物消火設備／ハロゲン化物消火設備 (局所)
	設置床		—	[redacted] T. M. S. L. [redacted]
	溢水防護上の 区画番号		— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ		— * 2	—
化学薬品防護 上の区画番号		— * 3	—	
化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ		— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0302 PCPS 安全系 A ピット)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備(床下)
	設置床	—		AG-W0404 T. M. S. L. 58. 20m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする

			変更前	変更後
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0302 PCPS 安全系 B ピット)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	5.2		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ハロゲン化物消火設備(床下)
	設置床	—		AG-W0501 T. M. S. L. 67.25m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0302 北側生産系 N エリア, 南側生産系 N エリア, W0305 中央安全監視室床下 フリーアクセスフロア)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa			5.2	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			ハロゲン化物消火設備(床下)
	設置床	—			AG-W0510 T. M. S. L. 67. 25m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	—	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *3	—	—	

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		二酸化炭素貯蔵容器 [Redacted]	変更なし	
種類	—	一般継目なし容器*5		
容量	L/個	[Redacted]		
最高使用圧力	MPa	10.8*5		
最高使用温度	℃	40*5		
主要寸法	外径	mm		[Redacted]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		二酸化炭素消火設備
	設置床	—		C02 ボンベ庫 T. M. S. L [Redacted] n*5
	溢水防護上の区画番号	—		—*2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：記載の適正化を行う。既設工認には「二酸化炭素消火設備」と記載。

(つづき)

*5：既設工認の仕様表に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

		変更前	変更後	
名称		二酸化炭素貯蔵容器 [Redacted]	変更なし	
種類	—	一般継目なし容器*5		
容量	L/個	[Redacted]		
最高使用圧力	MPa	10.8*5		
最高使用温度	℃	40*5		
主要寸法	外径	mm		[Redacted]
	高さ	mm		[Redacted]
	胴部厚さ	mm		[Redacted]
	底部厚さ	mm		[Redacted]
主要材料	—	[Redacted]		
個数	—	[Redacted]		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		二酸化炭素消火設備
	設置床	—		精製建屋ボンベ庫 二酸化炭素消火設備気化器室 T. M. S. L. [Redacted] m*5
	溢水防護上の 区画番号	—		—*2
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—		—*2
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：記載の適正化を行う。既設工認には「二酸化炭素消火設備」と記載。

*5：既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図

書による。

		変更前	変更後	
名称		二酸化炭素貯蔵容器 [REDACTED] [REDACTED]*4	変更なし	
種類	—	一般継目なし容器*5		
容量	L/個	[REDACTED]		
最高使用圧力	MPa	10.8*5		
最高使用温度	℃	40*5		
主要寸法	外径	mm		[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		二酸化炭素消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. 55. 30m*5
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：記載の適正化を行う。既設工認には「二酸化炭素消火設備」と記載。

*5：既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

			変更前	変更後
名称			—	二酸化炭素貯蔵容器 (GA-W0101, W0108, W0201, W0205, W0301, W0302) * 4
種類	—	一般継目なし容器* 5		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	10.8* 5		
最高使用温度	℃	40* 5		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		二酸化炭素消火設備
	設置床	—		GA-W0211 T. M. S. L. 55. 30m* 5
	溢水防護上の区画番号	—		—* 2
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：記載の適正化を行う。既設工認には「二酸化炭素消火設備」と記載。

(つづき)

*5：既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (前処理建屋ケーブルトレイ)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量		L/個		■■■■■	
最高使用圧力		MPa		4.6	
最高使用温度		℃		40	
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料				—	
個数				—	
取付箇所	系統名 (ライン名)			—	ケーブルトレイ消火設備
	設置床				■■■■■
				T. M. S. L. ■■■■■ * 4	
				■■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■■ * 5	
				■■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■■ * 6	
				T. M. S. L. ■■■■■ * 7	
				■■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■■ * 8	
				■■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■■ * 9	
				T. M. S. L. ■■■■■ * 10	
		■■■■■			
		T. M. S. L. ■■■■■ * 11			
		■■■■■			
		T. M. S. L. ■■■■■ * 12			
		■■■■■			
		T. M. S. L. ■■■■■ * 13			

(つづき)

			変更前	変更後			
取付箇所	設置床	—	—	T. M. S. L. [REDACTED] * 1 4			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 1 5			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 1 6			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 1 7			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 1 8			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 1 9			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 0			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 1			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 2			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 3			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 4			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 5			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 6			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 7			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 8			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 2 9			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 3 0			
				[REDACTED]			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 3 1			
				T. M. S. L. [REDACTED] * 3 2			
				溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
				溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—

(つづき)

			変更前	変更後
取付箇所	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：前処理建屋ケーブルトレイ (BCD01-1/BCD02-1/BCD04-1/BCD05-1, BHD01-1/BHD02-1/BHD03-1/BHD04-1, BLD01-1/BLD02-1/BLD04-1, BSD01-1/BS02-1/BS04-1/BS05-1, NCD08-2/NCD10-1/NCD14-1/NCD16-1/NCD17-1, NLD08-2/NLD16-1/NLD23-1, NSD08-2/NSD10-1/NSD14-1/NSD17-1) 消火用

*5：前処理建屋ケーブルトレイ (BCD02-2/BLD02-2/BS02-2) 消火用

*6：前処理建屋ケーブルトレイ (NCD03-2/NCD04A-1/NCD04B-1, NCD12-1/NSD12-1, NLD03-2/NLD04A-1/NLD04B-1, NLD28-1, NSD03-2/NSD04A-1/NSD04B-1/NSD05-1) 消火用

*7：前処理建屋ケーブルトレイ (ACD01-1, AHD01-1/NCD23-1/NSD23-1, ALD01-1, ASD01-1, NCD01A-1/NCD01B-1/NCD07-1, NCD01B-2/NCD01C-1/NCD02A-1/NCD02B-1, NCD02B-2/NCD02C-1/NCD03-1, NCD08-1/NLD08-1/NSD08-1, NCD09A-1/NLD09-1/NSD09-1, NCD11-1/NLD11-1/NSD11-1, NCD15-1/NLD15-1/NSD15-1, NCD18-1/NLD22-1/NSD18-1, NCD19-1/NSD19-1, NCD21-1/NLD21-1/NSD21-1, NCD24-1/NSD24-1, NLD01A-1/NLD07-1, NLD01A-2/NLD01B-1, NLD01B-2/NLD02A-1/NLD02B-1/NLD03-1, NLD10-1, NSD01A-1/NSD01B-1/NSD07-1, NSD01B-2/NSD01C-1/NSD02A-1, NSD02A-2/NSD02B-1/NSD02C-1/NSD03-1, NSD13-1) 消火用

*8：前処理建屋ケーブルトレイ (ACC03-1/ASC02-1, AHC01-1/ALC03-1/NLC34B-1, BC02-1/BSC02-1, BHC01-1/BLC02-1, NCC12-1/NCC34A-1/NCC34B-1/NCC51C-1, NCC27-1/NLC35-1/NSC11-1, NCC30-1/NSC30-1, NCC49-1/NCC57D-1/NCC57E-1/NLC49E-1/NLC57C-1/NLC57D-1/NSC50A-1/NSC50B-1, NHC01-1/NKC-1, NLC34A-1/NLC34B-2/NLC50-1/NLC51E-1, NLC76-1/NLC77A-1/NLC77B-1, NLC92-1/NLC94-1, NSC12-1/NSC29-1/NSC34A-1/NSC34B-1/NSC34C-2) 消火用

*9：前処理建屋ケーブルトレイ (ACC01-1/ALC01-1, AHC02-1/ASC01-1, BCC01-2/BLC01-2/BSC01-1, NCC01B-2, NCC01B-3/NCC01C-1/NCC02A-1, NCC02A-2/NCC02B-1,

NCC03A-1/NCC03B-1/NCC03D-1, NCC03C-1/NCC03D-2/NCC04A-1/NCC04B-2/NCC59A-1, NCC04B-1/NCC05A-1/NCC05B-1/NCC05D-1, NCC07A-1/NCC07B-1/NCC66-1, NCC09-1/NCC10A-1/NCC10B-1/NLC21-1/NLC22-1, NCC11-1/NLC11-1/NSC53A-1, NCC14-1/NCC15A-1/NCC15B-1/NSC14-1/NSC17A-1/NSC17B-1, NCC18-1/NCC19A-1/NCC19B-1/NSC18-1/NSC19A-1/NSC19B-1, NCC24-1/NLC24A-1/NSC24-1, NCC26-1/NLC26-1, NCC31-1/NCC70-1, NCC41A-1/NLC41A-1/NSC41A-1, NCC65-1/NLC86-1/NSC15-1, NLC01B-2, NLC01B-3/NLC01BK-1/NLC12A-1, NLC02A-2/NLC02B-1/NLC03A-1/NLC03B-1, NLC03B-2/NLC03C-1/NLC04A-1/NLC04B-1/NLC04C-1/NLC04D-2/NLC46A-1/NLC59A-1, NLC04D-1/NLC05A-1/NLC05B-1, NLC07-1/NLC08A-2/NLC08B-1, NLC09-1/NLC10A-1/NLC10B-1/NLC87-1/NLC88-1, NLC18-1/NLC19A-1/NLC19B-1, NLC23-1/NSC09-1/NSC10A-1/NSC10B-1, NLC27-1/NLC28-1, NLC29-1/NLC30-1, NLC31-1, NSC01B-2, NSC01B-3/NSC01C-1, NSC03-2/NSC04-1/NSC05A-1, NSC07A-2/NSC07B-1/NSC07C-1, NSC61-1, NSC61-2) 消火用

*10 : 前処理建屋ケーブルトレイ (ACC02-1/ALC02-1/NCC02AK-1, NCC01A-1/NCC01B-1/NCC07A-2, NCC16-1/NLC18-2/NSC16-1, NCC20-1/NLC20-1/NSC20-1, NCC21-1/NCC57A-1/NCC69A-1, NLC01A-1/NLC01B-1/NLC08A-1, NLC01C-1/NLC01D-1/NLC01E-1/NLC01F-1/NLC01G-1/NLC02A-1, NLC57A-1/NLC58A-1, NSC01A-1/NSC01B-1/NSC07A-1, NSC01C-2/NSC02A-1/NSC02B-1/NSC03-1) 消火用

*11 : 前処理建屋ケーブルトレイ (BCC01-1/BLC01-1, NCC20-2/NLC20-2/NSC20-2) 消火用

*12 : 前処理建屋ケーブルトレイ (ACA17-1, AHA01-1, ALA17-1, ASA08-1, BCA17-1/BCA18-1/BCA19-1, BHA01-1/BHA02-1/BHA04B-1/BHA05-1, BHA03-1/BLA28-1/NLA28A-1/NLA28B-1/NLA29-1, BSA10-1/BSA13-1, NCA26A-1/NCA26B-1/NCA27-1/NSA26A-1/NSA26B-1/NSA27-1) 消火用

*13 : 前処理建屋ケーブルトレイ (ACA01-1/ACA02-1/ACA03-1, ALA01-1/ALA02-1/ALA03-1, ASA01-1, BCA01-1/BCA02-1/BCA03-1/BLA01-1/BLA02-1/BLA03-1, BCA04-1/BCA05-1, BCA04-2, BCA07-1/NLA26-1/NSA11-1/NSA21A-1, BCA08-1/BLA07-1/BSA08-1/NLA11-1, BLA05-1/BLA10-1/BSA05-1, BSA01-1/BSA02-1/BSA03-1/NSA17-1/NSA18A-1/NSA18B-1, NCA01-1/NCA02A-2, NCA02A-1/NCA02B-1/NCA03A-1, NCA07A-1/NCA07B-1/NCA08-1, NCA09-1/NCA10A-1/NCA10B-1/NCA25-1, NCA11-1/NCA21A-1/NCA21B-1, NCA17-1/NCA18A-1/NCA18B-1/NLA17-1/NLA18A-1/NLA18B-1, NCA28-1/NLA19-1/NSA28-1, NLA01A-1/NLA01B-1/NLA01C-1/NLA01D-1/NLA02A-2, NLA02A-1/NLA02B-1/NLA03A-1/NLA03B-1, NLA07A-1/NLA07B-1/NLA08-1, NLA22-1/NLA23-1/NLA24-1/NSA10A-1/NSA10B-1, NLA25-1/NSA25-1, NSA01-1/NSA02-1/NSA03A-1, NSA07A-1/NSA07B-1/NSA07C-1) 消火用

*14 : 前処理建屋ケーブルトレイ (ACA04-1/ACA05-1/ACA06-1/AHA03-1, ALA04-1/ALA

- 05-1/ALA06-1/ASA02-1/ASA03-1/ASA04-1/ASA05-1, NLA09-1/NLA10A-1/NLA10B-1) 消火用
- * 15 : 前処理建屋ケーブルトレイ (NC148A-1/NC148B-1/NC149-1/NS110-1/NS111A-1/NS111B-1, NL130A-1/NL130B-1/NL131-1) 消火用
- * 16 : 前処理建屋ケーブルトレイ (AC102-1/AC103-1/BC101-1/BC102-1/BC103-1, AC103-3, AC104-1, AL102-1/AL103-1/BL101-1/BL102-1/BL103-1, AL103-3, AL104-1, AL105-1/AL106-1/AL107-1/AL108-1/NC151-1/NL128-1, AS101-1/AS102-1/AS103-1/BS101-1/BS102-1/BS103-1, AS103-3, AS104-1, BC104-1/BC105-1/BC106-1/BS104-1, BL104-1/BL105-1/BL106-1, NC101A-1/NC106C-2, NC102A-2/NC102B-1/NC102C-1, NC102BK1-1/NC102BK2-1/NC102BK3-1, NC102CK-1/NS103K-1, NC106A-1/NC106B-1/NC106C-1/NC106CK-1/NC106CK-2, NC114A-1/NC114B-1, NC128A-1/NL123-1/NS128A-1, NC154-1/NL140-1/NS130-1, NL101A-1/NL106B-2, NL102A-2/NL102B-1/NL102C-1/NL114-1, NL106A-1/NL106B-1, NL113-1/NS114A-1/NS114B-1, NS101-1/NS107B-2, NS102-2/NS103-1, NS107A-2/NS107B-1) 消火用
- * 17 : 前処理建屋ケーブルトレイ (NC123-1/NC150A-1/NC150B-1/NS123-1, NL124-1, NL125-1/NL126-1/NL127-1) 消火用
- * 18 : 前処理建屋ケーブルトレイ (AC103-2, AC105-1/AC106-1/AC107-1/AC108-1/AS105-1/AS106-1/AS107-1, AL103-2, AS103-2, NC101A-2/NC101B-1/NC102A-1, NC106A-2/NL106A-2/NS107A-1, NC120-1/NC121A-1/NC121B-1/NL120-1/NL121A-1/NL121B-1, NL101A-2/NL101B-1/NL101C-1/NL101D-1/NL102A-1, NS101-2/NS102-1, NS120-1/NS121A-1/NS121B-1) 消火用
- * 19 : 前処理建屋ケーブルトレイ (AC104-2/AL104-2/AS104-2, NC103A-1/NL103A-1/NL136A-1/NL136B-1/NS104-1, NC103E-1/NC130A-1/NL129B-1) 消火用
- * 20 : 前処理建屋ケーブルトレイ (AC104-3, AL104-3/NC103B-1/NC129-1/NC131-1, AS104-3/NC115A-1/NC115B-1) 消火用
- * 21 : 前処理建屋ケーブルトレイ (NC103A-2/NL103A-2/NL115-1/NS104-2, NC103C-1/NC103D-1/NC104-1/NC147A-1, NC116-1/NC117A-1/NC117B-1, NL103B-1/NL116-1/NL117A-1/NL117B-1/NL137A-1, NS105-1/NS115A-1/NS115B-1/NS116-1) 消火用
- * 22 : 前処理建屋ケーブルトレイ (NC215A-1/NC215B-1/NS215A-1/NS215B-1, NL215A-1/NL215B-1) 消火用
- * 23 : 前処理建屋ケーブルトレイ (BC206-2, BL206-2, NC213-1/NC214-1/NC220-1, NL213-1/NL214A-1/NL214B-1/NL218-1, NS213-1/NS214-1/NS220-1) 消火用
- * 24 : 前処理建屋ケーブルトレイ (AC202-1/AC203-1/AC204-1/AL202-1/AL203-1/AL204-1, AS201-1/NL224-1/NL225A-1/NL225B-1, AS202-1/AS203-1/AS204-1, BC202-3, BL202-3, BS202-3, NC201A-1/NC207B-1/NC207C-1, NC202A-1/NC202B-1,

NC202BK-1/NL228-1, NC202B-2/NC202C-1/NC203-1, NC213-2/NL213-2/NS213-2, NC224-1/NC225A-1/NC225B-1/NS224-1/NS225A-1/NS225B-1, NC229A-1/NL229A-1/NS229A-1, NC231-1/NS231-1, NC238A-1/NC238B-1/NC239-1, NL201A-1, NL202A-1/NL202B-1/NL202C-1/NL203-1, NL210-1, NS201A-1/NS207A-1/NS207B-1, NS202A-1/NS202B-1/NS203-1) 消火用

* 25 : 前処理建屋ケーブルトレイ (BC202-2, BL202-2, BS202-2, NC228-1/NL226-1) 消火用

* 26 : 前処理建屋ケーブルトレイ (BC201-1/BC202-1, BL201-1/BL202-1, BS201-1/BS202-1, NC201A-2/NC201B-1/NC201C-1/NC201D-1, NC207D-1, NC227-1/NS227-1/NS228-1, NC230-1/NL227-1/NL227K-1/NS230-1, NL201A-2/NL201C-1/NL201D-1, NS201A-2/NS201B-1/NS201C-1/NS201D-1) 消火用

* 27 : 前処理建屋ケーブルトレイ (BC202-4/BC203-1/BC204-1/BC205-1/BC206-1, BL202-4/BL203-1/BL204-1/BL205-1/BL206-1, BS202-4/BS203-1/BS204-1/BS205-1, NC203-2/NC204A-1, NC204B-1/NC204C-1/NC206-1, NC208A-1/NC208B-1, NC210-1/NS210-1, NC216A-1/NC216B-1/NC217A-1/NC217B-1, NC219-1, NL203-2/NL204A-1/NL206-1, NL204BK-1, NL208-1, NL216-1/NL217A-1/NL217B-1, NS203-2/NS204A-1/NS204B-1, NS216-1/NS217A-1/NS217B-1) 消火用

* 28 : 前処理建屋ケーブルトレイ (NC205A-1/NC205B-1, NC206-2/NL207-1, NL204B-1/NL205-1, NS205-1/NS219-1) 消火用

* 29 : 前処理建屋ケーブルトレイ (AC301-1/AC302-1/AC303-1/AC304-1, AL301-1/AL302-1, AL303-1/AL304-1, AS302-1/AS302-2, BC301-1, BL301-1, BS301-1, NC302A-1/NC302B-1/NC303-2, NC304A-1, NC311-1/NL302K-1/NS311-1, NC317-1/NS317-1, NC324-1/NS324-1, NC333-1, NC334-1/NC335B-1/NL311-1, NL301B-2/NL301C-1/NL301D-1/NL301E-1/NL301F-2, NL303-1, NL303K1-1/NL303K2-1/NL303K3-1, NL317-1, NL324-1/NL325-1, NS301B-2/NS301C-1/NS301D-1/NS302-2, NS304-1) 消火用

* 30 : 前処理建屋ケーブルトレイ (AS301-1, NC301A-1/NC301B-1/NC307-1, NC301B-2/NC301C-1/NC301D-1, NC303-1/NC304A-2/NC304B-1/NC304C-1, NC321-1/NC321-2, NC322-1/NC323-1/NC323-2, NL301A-1/NL301B-1/NL309-1, NL301F-1/NL302-1/NL303-2, NL321-1/NL321-2, NL322-1, NL323-1/NL323-2, NS301A-1/NS301B-1/NS307-1, NS302-1/NS303-1/NS304-2, NS321-1/NS321-2, NS322-1, NS323-1/NS323-2) 消火用

* 31 : 前処理建屋ケーブルトレイ (AL403-1, AS401-1, NC402-1/NC403A-1, NL402-1/NL403A-1) 消火用

* 32 : 前処理建屋ケーブルトレイ (BL401-1, BS401-1, NC403A-2/NC403B-1/NC404-1, NL403A-2/NL403B-1/NL404-1) 消火用

			変更前	変更後
名称			-	FK-5-1-12 貯蔵容器 (分離建屋ケーブルトレイ)
種類		一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料				
個数				
取付箇所	系統名 (ライン名)			ケーブルトレイ消火設備
	設置床			
				T. M. S. L. [redacted] *4
				T. M. S. L [redacted] *5
				T. M. S. L [redacted] *6
				T. M. S. L [redacted] *7
				T. M. S. L [redacted] *8
				T. M. S. L [redacted] *9
				T. M. S. L. [redacted] *10
				T. M. S. L [redacted] *11

(つづき)

			変更前	変更後
取 付 箇 所	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：分離建屋ケーブルトレイ (ALB01-1/ASB01-1/ACB01-1) 消火用

*5：分離建屋ケーブルトレイ (NC165-1/NS165-1) 消火用

*6：分離建屋ケーブルトレイ (BC201-1/BS201-1, BL201-1, NC248-1/NC256-1/
NC243-1, NS232-1/NS256-1) 消火用

*7：分離建屋ケーブルトレイ (NC209-1, NS209-1/NS258-1/NS259-1/NS258-2) 消火用

*8：分離建屋ケーブルトレイ (BC301-1/BS301-1, BL301-1) 消火用

*9：分離建屋ケーブルトレイ (NC347-1/NC348-1/NC349-1/NS347-1/NS348-1/NS349-1,
NC348-2/NS348-2) 消火用

*10：分離建屋ケーブルトレイ (BC401-1, BL401-1, NC401-1, NL401-1, NS401-1) 消
火用

*11：分離建屋ケーブルトレイ (BL401-2/BC401-2) 消火用

			変更前	変更後	
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 (精製建屋ケーブルトレイ)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量		L/個		■	
最高使用圧力		MPa		4.6	
最高使用温度		℃		40	
主要寸法	外径	mm	—	■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備	
	設置床	—		■ T. M. S. L. ■*4 T. M. S. L. ■*5 T. M. S. L ■*6	
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：精製建屋ケーブルトレイ (NLA02-1/NLA04-1, NLA02-2/NLA27-1, NLA05-1/NSA05-1, NLA06-1/NLA11-1, NLA09-1/NCA22-1, NLA23-1/NCA35-1/NSA21-1, NCA02-1/NCA04-1, NCA02-2/NCA40-1, NCA05-1, NCA16-1/NCA21-1, NCA46-1/NCA48-1, NCA48-2, NSA02-1/NSA04-1, NSA02-2/NSA23-1, NSA08-1) 消火用

*5 : 精製建屋ケーブルトレイ (AHA01-1, ALA01-1/ALA02-1, ALA02-2, ALA02-3/
ACA04-1/ASA04-1, ALA03-1/ACA03-1/ASA03-1, ACA01-1/ACA02-1, ACA02-2/
ACA04-2/ACA05-1, ASA01-1/ASA02-1, ASA02-2/ASA04-2/ASA05-1, BHA01-1,
BLA01-1/BCA01-1/BSA01-1, BLA02-1/BLA03-1, BLA02-2/BCA04-1/BSA05-1,
BLA03-2/BCA03-1, BCA02-1/BCA03-2/BCA04-2/BCA05-1, BSA02-1/BSA03-1/
BSA04-1/BSA05-2, BSA03-2, NHA01-1/NHA02-1, NHA03-1/NCA46-2/NSA24-1,
NLA01-1/NCA47-1/NSA01-1, NLA04-2/NLA06-2, NLA07-1, NLA11-2/NLA12-1/
NSA08-2/NSA12-1, NLA13-1/NCA27-1/NSA13-1, NLA14-1/NLA15-1, NLA14-2/
NLA17-1, NLA15-2/NCA29-1/NSA15-1, NLA16-1/NLA18-1, NLA18-2, NLA18-3/
NLA20-1, NLA19-1/NCA33-1/NSA19-1, NLA21-1/NLA22-1, NLA21-2/NLA27-2,
NLA24-1/NCA42-1, NLA26-1/NCA41-1, NCA01-1, NCA08-1/NSA07-1, NCA11-1/
NCA12-1/NCA16-2, NCA13-1/NSA09-1, NCA14-1/NCA15-1, NCA21-2/NCA26-1,
NCA28-1/NCA29-2, NCA28-2/NCA31-1, NCA30-1/NCA32-1, NCA32-2, NCA32-3/
NCA34-1/NCA39-1, NCA36-1/NCA37-1, NCA36-2/NCA40-2, NSA06-1/NSA08-3,
NSA10-1/NSA11-1, NSA14-1/NSA15-2, NSA14-2/NSA17-1, NSA16-1/NSA18-1,
NSA18-2, NSA18-3/NSA20-1, NSA22-1/NSA23-2, NSA22-2/NSA23-3) 消火用

*6 : 精製建屋ケーブルトレイ (NLA04-3/NSA04-2/NSA06-2, NLA24-2, NCA04-2/
NCA11-2) 消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (制御建屋ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ケーブルトレイ消火設備	
	設置床	—	AG-W0117 T. M. S. L. 40. 10m ■■■■ *4 T. M. S. L. 40. 13m ■■■■ *5 T. M. S. L. 40. 15m ■■■■ *6 T. M. S. L. 43. 05m ■■■■ *7 T. M. S. L. 43. 15m ■■■■ *8	
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *3		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：制御建屋ケーブルトレイ (ALB02-1/ACB07-1/ASB02-1, BLB02-1/BCB12-1/

BSB03-1, NHB11-1/NHB25-1, NHB17-1/NLB12-1/NLB13-1/NLB47-1/NLB48-1/
NCB13-1/NCB15-1/NSB15-1/NSB17-1, NLB29-1/NLB31-1/NLB62-1/NLB64-1/
NCB21-1/NCB23-1/NSB23-1/NSB25-1) 消火用

*5 : 制御建屋ケーブルトレイ (BLB02-2/BCB02-1/BCB07-1/BSB04-1, NHB10-1/
NHB27-1, NHB10-2/NHB27-2/NLB83-1, NLB83-2) 消火用

*6 : 制御建屋ケーブルトレイ (ALB05-1/ACB01-1/ACB04-1/ASB05-1, BLB01-1/
BCB01-1/BSB01-1, NLB03-1/NCB02-1/NSB03-1, NLB05-1/NLB38-1/NCB05-1/
NSB05-1) 消火用

*7 : 制御建屋ケーブルトレイ (BCB02-2, BCB07-2, BCB12-2, BSB02-1) 消火用

*8 : 制御建屋ケーブルトレイ (NLB33-1/NLB67-1, NLB82-1/NCB20-1, NSB22-1) 消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. 47. 30m (■■■■■) *4
			T. M. S. L. 47. 40m (■■■■■) *5	
			T. M. S. L. 47. 60m (■■■■■) *6	
			T. M. S. L. 47. 75m (■■■■■) *7	
			T. M. S. L. 47. 90m (■■■■■) *8	
			■■■■■ T. M. S. L. 55. 30m (■■■■■) *9	
	T. M. S. L. 55. 40m (■■■■■) *10			
	T. M. S. L. 55. 55m (■■■■■) *11			
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	—
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	—	
化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	—	

(つづき)

取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—
------	------------------	---	-----	---

- 注記 *1：公称値を示す。
- *2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。
- *4：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ケーブルトレイ (BHA01-1/BCA11-1/BSA01-1, NLA24-1/NLA25-1, NLA26-1/NLA27-1, NCA30-1, NCA32-1/NCA33-1, NCA78-1, NSA25-1/NSA26-1, NSA27-1/NSA28-1) 消火用
- *5：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ケーブルトレイ (ALA02-1/ACA10-1/ASA02-1, BHA01-2, BCA11-2, BSA01-2, NLA21-1, NLA22-1, NLA22-2/NSA23-1, NLA35-1, NCA28-1, NCA28-2, NCA28-3, NCA28-4, NCA30-2/NCA31-1, NCA41-1/NSA36-1, NSA23-2, NSA23-3) 消火用
- *6：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ケーブルトレイ (AHA01-1, ALA01-1, ACA01-1, ASA01-1) 消火用
- *7：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ケーブルトレイ (BHA01-3/BCA11-3/BSA01-3, NHA04-1/NCA26-1/NSA21-1, NCA28-5, NSA23-4) 消火用
- *8：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ケーブルトレイ (BLA05-1, BCA02-1/BSA05-1) 消火用
- *9：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ケーブルトレイ (AH101-1, AL107-1, AC107-1, AS103-1, NL101-1/NC105-1, NL105-1, NL109-1, NLM01-1, NC101-1/NS101-1, NC107-1, NC111-1, NS105-1, NS109-1) 消火用
- *10：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ケーブルトレイ (AH101-2, AH101-3, AL107-2, AL107-3, AC107-2, AC107-3, AS103-2, AS103-3, BL102-1/BC104-1/BS102-1, NL106-1/NL107-1/NL108-1, NL108-2/NL109-2, NC108-1/NC109-1/NC110-1, NC110-2/NC111-2, NCM01-1, NS106-1/NS107-1/NS108-1, NS108-2/NS109-2, NS120-1, NSM01-1) 消火用
- *11：ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ケーブルトレイ (NL109-3/NL110-1, NC111-3/NC112-1, NS109-3/NS110-1) 消火用

			変更前	変更後
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器(高レベル廃液ガラス 固化建屋ケーブルトレイ)
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		■■■■■
最高使用圧力		MPa		4.6
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料			—	
個数			—	
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	ケーブルトレイ消火設備
	設置床			■■■■■
				T. M. S. L ■■■■■ * 4
				■■■■■
				T. M. S. L ■■■■■ * 5
				■■■■■
				T. M. S. L ■■■■■ * 6
				■■■■■
				T. M. S. L ■■■■■ * 7
				■■■■■
				T. M. S. L ■■■■■ * 8
		■■■■■		
		T. M. S. L ■■■■■ * 9		
		■■■■■		
		T. M. S. L ■■■■■ * 10		
		■■■■■		
		T. M. S. L ■■■■■ * 11		

(つづき)

			変更前	変更後
取 付 箇 所	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：高レベル廃液ガラス固化建屋ケーブルトレイ (ALD01-1/ACD01-1/ASD01-1, NLD15-1/NLD23-1/NCD17-1/NSD15-1) 消火用

*5：高レベル廃液ガラス固化建屋ケーブルトレイ (NLD13-1/NCD15-1/NSD13-1, ALD07-1/ACD07-1/ASD09-1, BLD05-1/BCD05-1/BSD05-1) 消火用

*6：高レベル廃液ガラス固化建屋ケーブルトレイ (NLB12-1, NCB12-1/NSB12-1, AHB02-1/ACB03-1, ALB03-1/ASB03-1) 消火用

*7：高レベル廃液ガラス固化建屋ケーブルトレイ (AHB02-2/ACB04-1/ASB04-1) 消火用

*8：高レベル廃液ガラス固化建屋ケーブルトレイ (NCA34-1/NSA38-1, NLA34-1/NCA31-1/NSA35-1, NLA36-1/NLA33-1/NLA42-1/NLA43-1/NLA32-1, NCA35-1/NCA33-1/NCA30-1/NCA37-1/NCA38-1/NCA29-1, NSA39-1/NSA37-1/NSA41-1/NSA42-1/NSA34-1, NHA02-1/NHA04-1, NLA44-1, NCA39-1, NSA43-1, BLA04-1, BCA02-1, BSA02-1, ACA02-1, ASA02-1, NCA40-1/NCA41-1/NCA42-1/NSA44-1/NSA45-1/NSA46-1, NLA45-1/NLA46-1/NLA47-1/BSA02-2, NLA44-2/NLA48-1, NCA39-2/NCA43-1, NSA43-2/NSA47-1, BCA01-1, BCA02-2/BCA03-1, BSA01-1/BSA03-1, BLA01-1/BLA02-1, BHA03-1) 消火用

*9：高レベル廃液ガラス固化建屋ケーブルトレイ (NLA48-2, NCA43-2, NSA47-2, BLA02-2, BCA03-2, BSA03-2, NLA49-1, NCA44-1/NCA45-1, NSA48-1/NSA49-1, NCA46-1/NSA50-1, BHA02-1, BLA03-1, BCA04-1/BCA05-1/BCA07-1/BCA08-1, BSA04-1/BSA05-1/BSA07-1/BSA08-1, BSA06-1, BCA06-1, BLA03-2,

NSA27-1/NSA24-1/NSA23-1/NSA25-1, NCA21-1/NCA18-1/NCA19-1,
NLA23-1/NLA20-1/NLA21-1, NLA26-1/NLA23-2/NLA24-1,
NCA24-1/NCA21-2/NCA22-1, NSA30-1/NSA27-2/NSA28-1,
NLA20-2/NLA19-1/NLA17-1/NLA15-1/NLA13-1,
NCA18-2/NCA17-1/NCA15-1/NCA13-1, NSA22-1/NSA17-1/NSA12-1, BCA07-2,
BSA07-2, NSA23-2/NSA18-1/NSA13-1, NLA16-1/NLA18-1,
NCA16-1/NSA19-1/NSA20-1/NSA21-1, NSA14-1/NSA15-1/NSA16-1,
NLA14-1/NCA14-1, NLA13-2/NLA06-1/NLA07-1/NLA09-1,
NCA13-2/NCA06-1/NCA07-1/NCA09-1, NSA05-1/NSA08-1/NSA06-1, BOX04-1,
BLA05-1, NLA05-1/NCA05-1, NSA04-1, NSA01-1/NSA02-1/NSA03-1, BOX02-1,
NCA01-1/NCA02-1/NCA03-1, NCA04-1/NCA50-1, BOX01-1,
NLA01-1/NLA02-1/NLA03-1, NLA04-1, BOX03-1) 消火用, 及び予備用2本

*10 : 高レベル廃液ガラス固化建屋ケーブルトレイ (NC161-1) 消火用

*11 : 高レベル廃液ガラス固化建屋ケーブルトレイ (BOX05-1, NS101-1,
NS102-1/NS160-1, NL101-1/NL102-1/NL103-1, NL104-1/NL105-1/NL106-1,
BOX07-1, BOX07-2, NC101-1, NC102-1/NC103-1/NC104-1, BOX06-1,
NS103-1/NS104-1, BOX08-1, NS105-1, NC107-1/NC108-1/NC109-1, NC105-1,
NC106-1, NS106-1, BOX09-1, BOX09-2, NL107-1/NL109-1/NL130-1/NL134-1,
NL108-1/NL110-1/NL131-1, BL109-1, NC134-1, NC137-1, NS122-1,
NL132-1/NL135-1, NC134-2/NC140-1/NC135-1, NC137-2/NC141-1/NC138-1,
NS122-2/NS125-1/NS123-1, NS126-1, BOX10-1, BOX10-2, BOX11-1,
NL139-1/NC146-1, NS128-1, NC147-1/NC148-1, NS129-1/NS130-1, BL108-1,
BC103-1, BS103-1, NL140-1/NL141-1, NC154-1, NC155-1,
BL109-2/BL107-1/BL106-1/BL105-1, NL147-1, NS125-2/NS136-1,
NC157-1/NC158-1, NL147-2/NL149-1, NS136-2/NS138-1, BOX12-1, BL105-2,
BC103-2, BS103-2, NL148-1/NC159-1/NS137-1,
BL101-1/BL102-1/BC101-1/BC102-1, BS101-1/BS102-1, BOX13-1, BL104-1,
BH101-1, BOX14-1, NC160-1, NL149-2, NS138-2) 消火用, 及び予備用2本

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TX40S ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TX40S T. M. S. L. 39.75m ■*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ (BC121-1, BC121-2, BC121-3, BL122-6, BL122-7, BL122-8, BL122-9) 消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TX51 ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TX51 T. M. S. L. 40.85m ■■■■ *4,6 T. M. S. L. 41.25m ■■■■ *5
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(つづき)

- *4 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ (AC114-1/AC115-2, AC115-1, AH206-1/AH207-2, AH207-1, AS104-1/AS107-2, AS107-1, BC114-1, BC114-2, BH302-1, BH302-2, BS108-1, BS108-2, NC139-1, NC139-2, NK117-1/NK118-2, NK118-1, NL115-1/NL116-2, NL116-1, NS122-2/NS123-2, NS123-1) 消火用
- *5 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ (NC138-1) 消火用
- *6 : 洞道(TX・TY)TX51-KAケーブルトレイ (AHB03-1/ACB05-1, ASB05-1, BHA01-1, BSA09-1, BCA09-1, NSA52-1, NCA47-1, NSA51&NCA48-1) 消火用

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道 (TX・TY) TX51-AB ケーブルトレイ)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■			
最高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備	
	設置床	—		TX51-AB T. M. S. L. 42. 65m ■ * 4 T. M. S. L. 50. 29m ■ * 5	
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(つづき)

*4: 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC116-1, AH208-1, AS108-1, NC140-1, NH134-2,
NK119-1, NL118-1, NS124-1)消火用

*5: 洞道(TX・TY)TX51-ABケーブルトレイ(ACA02-1, AHA02-1, ASA02-1, NCA40-1,
NHA11-1, NLA18-1, NSA39-1)消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TX60 ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TX60 T. M. S. L. 37.85m ■ *4 T. M. S. L. 39.35m ■ *5 T. M. S. L. 44.65m ■ *6
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(つづき)

- *4 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ (AC112-5, AC113-6, AC113-7, AC113-8, AC113-9, AC113-10, AH220-4, AH221-6/AH231-1, AH231-2, AH231-3, AH231-4, AS106-4, AS111-4/AS114-1, AS114-2, AS114-3, AS114-4, BC111-4, BC111-5, BC111-6, BC111-7, BC111-8, BC112-4, BH320-3, BH331-2, BH331-3, BH331-4, BH331-5, BS107-3, BS114-2, BS114-3, BS114-4, BS114-5, NC137-5/NC145-1, NC143-6/NC144-1, NC144-2, NC144-3, NC144-4, NC144-5, NC145-2, NC145-3, NC145-4, NC145-5, NH133-4/NH142-1, NH142-2, NH142-3, NH142-4, NK116-4/NK122-1, NK122-2, NK122-3, NK122-4, NL114-3/NL124-1, NL124-2, NL124-3, NS119-3/NS131-1, NS131-2, NS131-3, NS131-4) 消火用
- *5 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ (AC112-6, AC112-7, AC112-8/AC121-3, AC121-2, AH221-2, AH221-3, AH221-4, AH221-5, AL111-2, AL111-3, AS111-1/AS112-3, AS111-2, AS111-3, AS112-2, BC112-5, BC112-6, BC112-7/BC122-2, BC122-1, BH321-1, BH321-2, BH321-3, BH321-4, BL111-1, BL111-2, BS111-1/BS112-2, BS111-2, BS111-3, BS112-1, NC161-1/NC162-2, NC161-2, NC162-1, NC163-2, NC163-3, NC165-3, NC166-4, NH141-2, NH141-3, NH141-4, NH141-5, NK121-2, NK121-3, NK121-4, NK121-5, NL121-1/NL122-2, NL121-2, NL122-1/NL123-3, NL123-2, NL125-3, NL126-4, NS132-1/NS133-2, NS132-2, NS133-1/NS134-3, NS134-2, NS134-4, NS135-3, NS136-4) 消火用
- *6 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ (BH321-5/BH331-1, BS111-4/BS114-1) 消火用

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TX60-AAa ケーブルトレイ)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備	
	設置床	—		TX60-AAa T. M. S. L. 39. 35m ■■■■ * 4 T. M. S. L. 44. 75m ■■■■ * 5	
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(NK121-1)消火用

(つづき)

*5: 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC121-1, AH221-1, AL111-1, AS112-1, NC163-1,
NH141-1, NK121-6, NL123-1, NS134-1)消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道 (TX・TY) TX60-AR ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TX60-AR T. M. S. L. 45. 40m ■*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道 (TX・TY) ケーブルトレイ (NC165-1, NC165-2, NL125-1, NL125-2, NS135-1, NS135-2) 消火用

			変更前	変更後	
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY10E ケーブルトレイ)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量		L/個		■■■■■■■■■■	
最高使用圧力		MPa		4.6	
最高使用温度		℃		40	
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料			—		
個数			—		
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	ケーブルトレイ消火設備	
	設置床		—		TY10E T. M. S. L. 37. 85m) * 4 T. M. S. L. 38. 25m) * 5 T. M. S. L. 39. 35m) * 6 T. M. S. L. 39. 75m) * 7 T. M. S. L. 43. 25m) * 8 T. M. S. L. 41. 80m) * 9 T. M. S. L. 42. 20m () * 10
		溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
		化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—

(つづき)

取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—
------	------------------	---	-----	---

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC113-11, AC113-12, AC113-13, AC131-1, AH231-5, AH231-6, AH231-7/AH232-1, AS114-5, AS114-6, AS114-7/AS115-1, NC145-6/NC175-1, NC175-3/NC176-1, NC176-2, NC184-1, NC184-3, NH142-5/NH153-1, NH153-3/NH154-1, NK122-5/NK133-1, NK133-3/NK134-1, NL124-4/NL134-1, NL134-3/NL135-1, NS131-5/NS145-1, NS145-3/NS146-1)消火用

*5：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC111-10, BC111-11, BC131-1, BH331-7, BH331-8/BH332-1, BS114-7, BS114-8/BS115-1, NC144-6/NC188-1, NC174-1, NC175-2, NC184-2, NH152-1, NH153-2, NK132-1, NK133-2, NL133-1, NL134-2, NS144-1, NS145-2)消火用

*6：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(NC176-3, NH154-2, NK134-2, NL135-2, NS146-2)消火用

*7：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC131-2, AH232-2, AS115-2, BC131-2, BH332-2, BS115-2)消火用

*8：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC111-9, BH331-6, BS114-6)消火用

*9：洞道(TX・TY) TY10Eケーブルトレイ(AHB01-1/ACB02-1/ASB02-1, NHB01-1/NLB28-1/NCB31-1/NCB30-1/NSB28-1)消火用

*10：洞道(TX・TY) TY10Eケーブルトレイ(BHB01-1/BCB02-1/BSB02-1)消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY10E-ACa ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TY10E-ACa T. M. S. L. 40. 45m ■■■■ * 4
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC132-1, AC132-2, AH233-1, AH233-2, AS116-1, AS116-2, NC179-1, NC179-2, NH157-1, NH157-2, NL138-1, NL138-2, NS150-1,

(つづき)

NS150-2) 消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY10E-ACb ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TY10E-ACb T. M. S. L. 40. 55m(■)*4
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC132-1, BC132-2, BH333-1, BS116-1, BS116-2)
消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY10E-CAb ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		—
個数		—		—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—	—	TY10E-CAb T. M. S. L. 40. 50m(■■■■ * 4 T. M. S. L. 40. 90m ■■■■ * 5 T. M. S. L. 41. 50m ■■■■ * 6 T. M. S. L. 42. 20m ■■■■ * 7 T. M. S. L. 46. 15m(■■■■ * 8
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	

(つづき)

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC131-4, AC131-5, AH232-4, AS115-4, BC131-4, BH332-4, BS115-4, NC176-5, NC176-6, NC176-7, NH154-4, NH154-5, NK134-4, NK134-5, NL135-4, NS146-4, NS146-5)消火用

*5 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC131-5, BH332-5, BS115-5)消火用

*6 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC131-6, AH232-5, AS115-5, NL135-5)消火用

*7 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC131-6, BH332-6, BS115-6)消火用

*8 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC131-3, AH232-3, AS115-3, BC131-3, BH332-3, BS115-3, NC176-4, NH154-3, NK134-3, NL135-3, NS146-3)消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY20 ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ケーブルトレイ消火設備	
	設置床	—	TY20 T. M. S. L. 39.35m ■■■■ *4 T. M. S. L. 39.75m ■■■■ *5 T. M. S. L. 40.85m ■■■■ *6 T. M. S. L. 44.60m ■■■■ *7 T. M. S. L. 42.20m ■■■■ *8 T. M. S. L. 42.30 ■■■■ *9 T. M. S. L. 42.35m ■■■■ *10	
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	—

(つづき)

取付箇所	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—
------	------------------	---	-----	---

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC101-2, AC102-1, AC102-2, AC103-1/AC105-1/AC114-2, AC111-1/AC112-1, AC112-2, AC112-3, AC112-4, AC113-1, AC113-2, AC113-3, AC113-4, AC113-5, AH201-2, AH201-3, AH201-4, AH202-1/AH203-1, AH206-2/AH220-1, AH220-2, AH220-3, AS102-1, AS102-2, AS103-1/AS105-1, AS104-2/AS106-1, AS106-2, AS106-3, NC121-1, NC121-2, NC121-3/NC122-1, NC122-2, NC122-3, NC122-4, NC122-5/NC135-1/NC136-1, NC128-2, NC136-2, NC136-3, NC136-4/NC137-1, NC137-2, NC137-3, NC137-4, NC143-2, NC143-3, NC143-4, NC143-5, NH102-1, NH102-2, NH102-3, NH102-4, NH103-1, NH103-2, NH103-3, NH103-4, NH104-1, NH105-1, NH108-1, NH133-1, NH133-2, NH133-3, NK111-1, NK111-2, NK111-3, NK111-4, NK114-1/NK115-1, NK116-1, NK116-2, NK116-3, NK117-2, NL111-1, NL111-2, NL111-3, NL111-4/NL112-1/NL113-1, NL113-2, NL113-3/NL114-1, NL114-2, NS108-1, NS113-1, NS113-2, NS113-3/NS117-1, NS117-2/NS118-1, NS118-2/NS119-1, NS119-2)消火用

*5：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC101-2, BC102-1/BC121-5, BC102-2, BC102-3, BC103-1, BC103-2/BC106-1, BC106-2, BC109-1/BC112-1, BC111-1, BC111-2, BC111-3, BC112-2, BC112-3, BC121-4, BH301-2, BH301-3, BH301-4, BH314-1/BH315-1, BH315-2/BH320-1, BH320-2, BL121-1/BL122-1, BL122-2, BL122-3, BL122-4, BL122-5, BS102-1, BS102-2, BS102-3, BS103-1/BS106-1, BS106-2/BS107-1, BS107-2)消火用

*6：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(NH134-1, NL115-2, NS122-1)消火用

*7：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC102-4/BC114-3, BH302-3, BS102-4/BS108-3)消火用

*8：洞道(TX・TY) TY20ケーブルトレイ(NHB01-1/NHB02-1, NHB13-1/NHB15-1, NLB07-1/NLB40-1, NCB25-1/NCA23-1, NCB26-1/NCB27-1/NCB28-1/NCB29-1, NCB30-1/NCA26-1, NCB32-1, NCB35-1, NSB07-1/NSB09-1, NSB08-1/NSB27-1, NKB03-1/NKA13-1)消火用

*9：洞道(TX・TY) TY20ケーブルトレイ(NCB31-1/NCA30-1, NCB34-1/NCA34-1, NSB27-2/NSA21-1, NKB02-1/NKA06-1)消火用

(つづき)

*10 : 洞道(TX・TY) TY20 ケーブルトレイ (AHB01-1/ACB02-1/ACB10-1, ACB05-1/
ASB07-1)消火用

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道 (TX・TY) TY20-AB ケーブルトレイ)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■			
■高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備	
	設置床	—		TY20-AB T. M. S. L. 44. 65m ■* T. M. S. L. 50. 29m ■*5	
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道 (TX・TY) ケーブルトレイ (BC113-1, BH319-1, BS109-1) 消火用

(つづき)

*5 : 洞道(TX・TY)TY20-ABケーブルトレイ(BCA01-1, BHA01-1, BSA01-1)消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY20-AGb ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		
	設置床	—		TY20-AGb T. M. S. L. 43. 55m ■ * 4
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ (AC107-1/AC108-1, NC123-1, NC134-1, NC143-1, NH124-1/NH131-1, NL120-1, NS116-1)消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY20-AGc ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TY20-AGc T. M. S. L. 42. 90m ■ * 4
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC105-1, BC107-1, BH316-1, BS105-1)消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY20-AK ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TY20-AK T. M. S. L. 43. 55m ■ * 4
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	—

注記 *1 : 公称値を示す。

*2 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ (NC151-1, NCB05-1/NC151-2, NL119-1, NLB05-1/
NL119-2, NS125-1, NSB05-1/NS125-2) 消火用

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY20-GAb ケーブルトレイ)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備	
	設置床	—		TY20-GAb T. M. S. L. 46. 85m ■■■■*4 T. M. S. L. 50. 00m ■■■■*5	
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(つづき)

*4 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AH201-1, AS101-1, BC101-1, BH301-1, BS101-1,
NC128-1, NH104-2, NH105-2, NH121-1)消火用

*5 : 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC101-1, NS121-1)消火用

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY25 ケーブルトレイ)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備	
	設置床	—		TY25 T. M. S. L. 45. 05m (■■■■■) * 4 T. M. S. L. 45. 45m (■■■■■) * 5	
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(つづき)

- *4: 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(AC123-1, AC123-2, AC123-3, AL112-1, AL112-2, AL112-3, AS113-1, AS113-2, AS113-3, NC166-1, NC166-2, NC166-3, NL126-1, NL126-2, NL126-3, NS136-1, NS136-2, NS136-3)消火用
- *5: 洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(BC123-1, BC123-2, BC123-3, BL112-1, BL112-2, BL112-3, BS113-1, BS113-2, BS113-3)消火用

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (洞道(TX・TY)TY25-AP ケーブルトレイ)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		ケーブルトレイ消火設備
	設置床	—		TY25-AP T. M. S. L. 51. 20m ■■■■ * 4
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：洞道(TX・TY)ケーブルトレイ(ASA01-1/ACA01-1/ALA01-1, BSA01-1/BCA01-1/BLA01-1, NSA01-1/NCA01-1/NLA01-1)消火用

			変更前	変更後
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M002)
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		■■■■■
最高使用圧力		MPa		4.6
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm	—	■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M005)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M006)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M004)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M007)
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		■■■■■
最高使用圧力		MPa		4.6
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm	—	■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPД-C1123)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPД-C1211)
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		■■■■■
最高使用圧力		MPa		4.6
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm	—	■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-LPD-X123)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPД-C1221)
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		■■■■■
最高使用圧力		MPa		4.6
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm	—	■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-X-S121)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-I-J977)
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		■■■■■
最高使用圧力		MPa		4.6
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm	—	■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-I-K985)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPD-D11221)
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		■■■■■
最高使用圧力		MPa		4.6
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm	—	■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPД-X122)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	■■■■■		
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		■■■■■
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■m
	溢水防護上の区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称				FK-5-1-12 貯蔵容器 [REDACTED]
種類		—		一般継目なし容器
容量		L/個		[REDACTED]
最高使用圧力		MPa		4.6
最高使用温度		℃		40
主要寸法	外径	mm	—	[REDACTED]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m
	溢水防護上の区画番号	—	— *2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	— *2	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	— *3	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	— *3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AC-LTR-D13)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—			■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AC-LTR-D15)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—			■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AC-LTR-D11)	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個	■■■■■			
最高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm		■■■■■	
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—			■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AC-LPD-X33)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量		L/個		■■■■■	■■■■■
最高使用圧力		MPa		4.6	4.6
最高使用温度		℃		40	40
主要寸法	外径	mm		■■■■■	■■■■■
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備	
	設置床	—		■■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の区画番号	—		—*2	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (CA-LPD-X3)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量		L/個			
最高使用圧力		MPa		4.6	4.6
最高使用温度		℃		40	40
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	電源盤・制御盤消火設備		
	設置床	—	T. M. S. L. 47.30m		
	溢水防護上の区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		T. M. S. L. [redacted] m
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器	
種類				—	
容量				L/個	
最高使用圧力				MPa	
最高使用温度				℃	
主要寸法	外径	mm		—	
	高さ	mm		—	
	胴部厚さ	mm		—	
	底部厚さ	mm		—	
主要材料				—	
個数			—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—		
	設置床	—	—		
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—	
				電源盤・制御盤消火設備	
			T. M. S. L. [redacted] m		

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-X071)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		T. M. S. L. ■■■■■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K071)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		[Redacted]
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		T. M. S. L. [Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-XPB-D21)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa			4.6	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備	
	設置床	—		T. M. S. L. [redacted] m	
	溢水防護上の 区画番号	—	— * 2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	— * 2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	— * 3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	— * 3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K325)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量		L/個			
最高使用圧力		MPa		4.6	
最高使用温度		℃		40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—	
				T. M. S. L. [redacted] m	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K085)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa			4.6	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備	
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—	
				T. M. S. L	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-XPB-D25)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa			4.6	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備	
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—	
				T.M.S.L. [REDACTED]	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-X276)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa			4.6	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備	
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—	
				T. M. S. L. [REDACTED]	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K275)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa			4.6	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備	
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—	
				T. M. S. L. [redacted] m	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K270)
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個			
最高使用圧力	MPa	4.6		
最高使用温度	℃	40		
主要寸法	外径	mm		
	高さ	mm		
	胴部厚さ	mm		
	底部厚さ	mm		
主要材料		—		
個数		—		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—		T. M. S. L [REDACTED]
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-X271)	
種類		—		一般継目なし容器	
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa			4.6	
最高使用温度	℃			40	
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		電源盤・制御盤消火設備	
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—	
				T. M. S. L. [redacted] n	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	FK-5-1-12 貯蔵容器	
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/個				
最高使用圧力	MPa	4.6			
最高使用温度	℃	40			
主要寸法	外径	mm			
	高さ	mm			
	胴部厚さ	mm			
	底部厚さ	mm			
主要材料		—			
個数		—			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			電源盤・制御盤消火設備
	設置床	—			T. M. S. L. [REDACTED]
	溢水防護上の 区画番号	—	—*2	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な 高さ	—	—*2	—	
	化学薬品防護 上の区画番号	—	—*3	—	
	化学薬品防護 上の配慮が必 要な高さ	—	—*3	—	

注記 *1：公称値を示す。

*2：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			ろ過水貯槽 (8141-V50)	ろ過水貯槽 (8141-V50) (廃棄物管理施設及び MOX 燃料加工施設共用)* ¹	
種類* ³		-	たて置き円筒形	変更なし	
臨界 管理	核的 制限 値	プルト ニウム 最大 濃度	-		
容量* ³		m ³ /個	2500 以上 (2500* ²)		
最高使用圧力		-	清水頭		
最高使用温度		℃	45		
主要 寸法	胴内径* ³		mm		14000* ²
	胴板厚さ* ³		mm		5.4(6.0* ²)
					5.75(6.0* ²)
					6.75(7.0* ²)
					8.75(9.0* ²)
					9.75(10.0* ²)
					11.75(12.0* ²)
					12.75(13.0* ²)
	屋根板厚さ* ³		mm		6.35(7* ²)
	底板厚さ* ³		mm		6.35(7* ²) 15.75(16* ²)
	入口管台外径* ³		mm		165.2* ²
	入口管台厚さ* ³		mm		9.63(11.0* ²)
出口管台外径* ³		mm	318.5* ²		
出口管台厚さ* ³		mm	15.23(17.4* ²)		
マンホール管台 外径* ³		mm	636* ²		
マンホール管台 厚さ* ³		mm	12.75(13* ²)		
マンホールふた 厚さ* ³		mm	16.35(17* ²) 18.35(19* ²)		
全高* ³		mm	17400* ²		
主要 材料	胴板* ³		-	SS400, SPV490	
	屋根板* ³		-	SS400	
	底板* ³		-	SS400, SPV490	
	マンホールふた* ³		-	SS400	
個数* ³		-	1		

(づづき)

取付箇所	系統名(ライン名)	-	消火水供給系	変更なし
	設置床	-	GC 建屋近傍 T. M. S. L. 約 55.00m	
	溢水防護上の 区画番号	-	-	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	-	
	化学薬品防護上の 区画番号	-	-	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	-	

- 注記 * 1 : その他再処理設備の附属施設の火災防護設備のうち消火水供給設備と兼用する。
- * 2 : 公称値を示す。
- * 3 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

		変更前	変更後	
名称	-	消火用水貯槽* ² (8520-V10)	消火用水貯槽 (8520-V10) (廃棄物管理施設及び MOX 燃料加工施設共用)	
種類* ³	-	樹脂ライニング形	変更なし	
容量* ³	L/個	900 以上 (900* ¹)		
最高使用圧力	-	-		
最高使用温度	°C	45		
主要寸法	たて* ³	mm		16050* ¹
	横* ³	mm		27800* ¹
	深さ* ³	mm		5300* ¹
	ライニング板厚さ* ³	mm		-
主要材料(ライニング)* ³	-	鉄筋コンクリート (樹脂防水)		
個数* ³	-	1		
取付箇所	系統名(ライン名)	-		消火用水供給系
	設置床	-		GC-W0207 T. S. M. L. 55. 30m
	溢水防護上の 区画番号	-		-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		-
	化学薬品防護上の 区画番号	-	-	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	-	-	

注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「消火水供給設備」と記載。

* 3 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

			変更前	変更後
名称			—	消火水槽（緊急時対策建屋用） （再処理施設，MOX 燃料加工施設と共用）*1
種類		—		鉄筋コンクリート造
容量		m ³ /個		42.1 以上 (42.1*2)
主要 寸法	たて	mm		4300*2
	横	mm		7100*2
	深さ	mm		2250*2
主要材料（ライニング）		—		無機系樹脂塗膜防水
個数		—		1
取付 箇所	系統名（ライン名）	—		火災防護設備
	設置床	—		緊急時対策建屋地下ピット T. M. S. L. 44. 00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*3	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4	

注記 *1：消火水槽（緊急時対策建屋用）は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：溢水防護機能を要求されない設備のため「—」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備のため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	防火水槽（緊急時対策建屋用） （再処理施設，MOX 燃料加工施設と共用）*1
種類		—		鉄筋コンクリート造
容量		m ³ /個		40 以上 (40*2)
主要 寸法	たて	mm		3000*2
	横	mm		6915*2
	深さ	mm		2000*2
主要材料（ライニング）		—		エポキシ樹脂
個数		—		1
取付 箇所	系統名(ライン名)	—		火災防護設備
	設置床	—		緊急時対策建屋近傍 T. M. S. L. 55. 00m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*3	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*4	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*4	

注記 *1：防火水槽（緊急時対策建屋用）は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：溢水防護機能を要求されない設備のため「—」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備のため「—」とする。

(2) ポンプ
a. ポンプ

防災 A

			変更前	変更後	
名称				電動駆動消火ポンプ (緊急時対策建屋用) (2146-P401, P402) (再処理施設, MOX燃料 加工施設と共用)* ¹	
ポン プ	種類	—	—	うず巻形	
	容量	m ³ /h/個		■■■■■■■■■■	
	揚程	m		■■■■■■■■■■	
	最高使用圧力	MPa		0.98	
	最高使用温度	℃		40	
	主要寸法	吸込口径		mm	65* ²
		吐出口径		mm	40* ²
		たて		mm	580* ²
		横		mm	1464* ²
		高さ		mm	675* ²
	主要材料	ケーシング		—	FCD450
	個数	—		2(予備1)	
	取付箇所	系統名(ライン名)		—	火災防護設備
		設置床		—	AZ-W0123 T. M. S. L. 46. 80m
溢水防護上の 区画番号		—	—* ³		
溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—* ³		
化学薬品防護上の 区画番号		—	—* ⁴		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* ⁴		
原 動 機	種類	—	誘導電動機		
	出力	kW/個	11* ²		
	個数	—	2(予備1)		
	取付箇所	—	ポンプと同じ		

(つづき)

注記 *1: 電動駆動消火ポンプ(緊急時対策建屋用)(2146-P401, P402)は, 再処理施設にて
設備登録を行っている

*2: 公称値を示す。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

		変更前	変更後	
名称	-	電動機駆動消火ポンプ (8520-P1011) (廃棄物管理施設及び MOX 燃料加工施設共用)* ¹		
ポンプ	種類* ²	-	うず巻型	
	容量* ²	m ³ /h/ 個		
	揚程* ²	m		
	最高使用圧力* ²	MPa	1.96* ³	
	最高使用温度* ²	℃	45	
	主要寸法	吸込口径* ²	mm	300.0* ³
		吐出口径* ²	mm	150.0* ³
		たて* ²	mm	2100* ³
		横* ²	mm	1330* ³
		高さ* ²	mm	2750* ³
	主要材料	ケーシング* ²	-	FCD400
		個数* ²	-	1
	取付箇所	系統名 (ライン名)* ²	-	消火用水供給系
		設置床* ²	-	GC-W0207 T. M. S. L. 55. 30m
		溢水防護上の 区画番号* ²	-	-
		溢水防護上の 配慮が必要な 高さ* ²	-	-
化学薬品防護上 の区画番号* ²		-	-	
化学薬品防護上 の配慮が必要な 高さ* ²		-	-	

変更なし

(つづき)

原 動 機	種類* ²	-	三相誘導電動機
	出力* ²	kW/個	250
	個数* ²	-	1
	取付箇所* ²	-	ポンプと同じ

注記 * 1 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「消火水供給設備」と記載。

* 2 : 既設工認申請書に記載がないため, 記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

* 3 : 公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称	-	ディーゼル駆動消火ポンプ (8520-P1012) (廃棄物管理施設及び MOX燃料加工施設共用)* ¹		
ポンプ	種類* ²	-	うず巻形	
	容量* ²	m ³ /h/ 個		
	揚程* ²	m		
	最高使用圧力* ²	MPa	1.96* ³	
	最高使用温度* ²	℃	45	
	主要寸法	吸込口径* ²	mm	300.0* ³
		吐出口径* ²	mm	150.0* ³
		たて* ²	mm	3350* ³
		横* ²	mm	1400* ³
		高さ* ²	mm	2390* ³
	主要材料	ケーシング* ²	-	FCD400
	個数* ²	-	1	
	取付箇所	系統名 (ライン名)* ²	-	消火用水供給系
		設置床* ²	-	GC-W0207 T. M. S. L. 55.30m
		溢水防護上の 区画番号* ²	-	-
溢水防護上の 配慮が必要な 高さ* ²		-	-	
化学薬品防護上 の区画番号* ²		-	-	
化学薬品防護上 の配慮が必要な 高さ* ²		-	-	
原動機	種類* ²	-	ディーゼル機関	
	出力* ²	kW/個	228	
	個数* ²	-	1	
	取付箇所* ²	-	ポンプと同じ	

変更なし

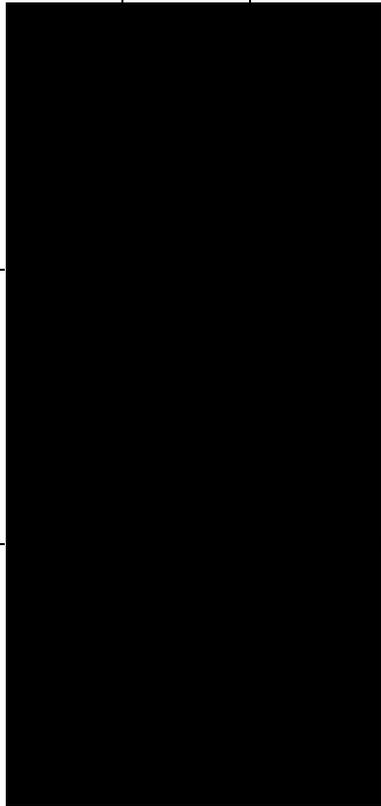
- 注記 * 1 : 記載の適正化を行う。既設工認申請書には「消火水供給設備」と記載。
* 2 : 既設工認申請書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。
* 3 : 公称値を示す。

(3) 主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	—	—	—	—	—	ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40	—	—	—
						～ 選択弁ユニット (X2011) 選択弁-1 ～選択弁ユニット (X2011) 選択弁-2 ～選択弁ユニット (X2012) 選択弁-1 ～選択弁ユニット (X2012) 選択弁-2 ～選択弁ユニット (X2013) 選択弁-1 ～選択弁ユニット (X2013) 選択弁-2 ～選択弁ユニット (X2014) 選択弁-1 ～選択弁ユニット (X2015) 選択弁-1 ～選択弁ユニット (X2016) 選択弁-1 ～選択弁ユニット (X2016) 選択弁-2					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット(X2011)選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—						選択弁ユニット(X2011)選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2012)選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2012)選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2013)選択弁-1 ～ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物 消火設備	—					ハロゲン化物 消火設備	選択弁ユニット(X2013)選択弁-2 ～ ■■■■	5.2	40	■■■■		
	—						選択弁ユニット(X2014)選択弁-1 ～ ■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2015)選択弁-1 ～ ■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2016)選択弁-1 ～ ■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2016)選択弁-2 ～ ■■■■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器  ~ 選択弁ユニット(X4011)選択弁-1, 選択弁ユニット(X4011)選択弁-2 ~ 選択弁ユニット(X4012)選択弁-1 ~ 選択弁ユニット(X4012)選択弁-2 ~ 選択弁ユニット(X4013)選択弁-1 ~ 選択弁ユニット(X4013)選択弁-2	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物 消火設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	選択弁ユニット(X4011)選択弁- 1, 選択弁ユニット(X4011)選択弁 -2 ～ ■	5.2	40	■		
	—						選択弁ユニット(X4012)選択弁-1 ～ ■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X4012)選択弁-2 ～ ■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X4013)選択弁-1 ～ ■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物 消火設備	—					選択弁ユニット(X4013)選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—					ハロン 1301 貯蔵容器■■■■■ ■■■■■ ～ 選択弁ユニット(X6011)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X6011)選択弁-2	5.2	40			
	—					選択弁ユニット(X6011)選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—					選択弁ユニット(X6011)選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	—					ハロン1301貯蔵容器 [REDACTED] [REDACTED] ～ 選択弁ユニット(X8011)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X8011)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X8012)選択弁-1, 選択弁ユニット(X8012)選択弁-2	5.2	40	[REDACTED]		
						選択弁ユニット(X8011)選択弁-1 ～ [REDACTED]	5.2	40			
						選択弁ユニット(X8011)選択弁-2 ～ [REDACTED]	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	—					選択弁ユニット(X8012)選択弁-1, 選択弁ユニット(X8012)選択弁-2 ～ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
	—					ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED] ～ 選択弁ユニット(X8013)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X8013)選択弁-2	5.2	40			
	—					選択弁ユニット(X8013)選択弁-1 ～ [REDACTED]	5.2	40			
	—					選択弁ユニット(X8013)選択弁-2 ～ [REDACTED]	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン 化物消火設備	—					ハロゲン 化物消火設備	ハロン1301貯蔵容器 [REDACTED] ～ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
	—						ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED] ～ [REDACTED]	5.2	40			
	—						ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED] [REDACTED] ～ 選択弁ユニット(X1411)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X1412)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X1413)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X1413)選択弁-2	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物 消火設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	選択弁ユニット(X1411)選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—						選択弁ユニット(X1412)選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X1413)選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X1413)選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物消火設備	—					ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40	[Redacted]		
						～					
						選択弁ユニット(X1611)選択弁-1					
						～					
—					選択弁ユニット(X1611)選択弁-2	5.2	40	[Redacted]			
					～						
					選択弁ユニット(X1612)選択弁-1						
					～						
—					選択弁ユニット(X1611)選択弁-1	5.2	40	[Redacted]			
					～						
					選択弁ユニット(X1611)選択弁-2						
					～						
—					選択弁ユニット(X1612)選択弁-1	5.2	40	[Redacted]			
					～						
					～						
					～						

注記 * : 公称値を示す。

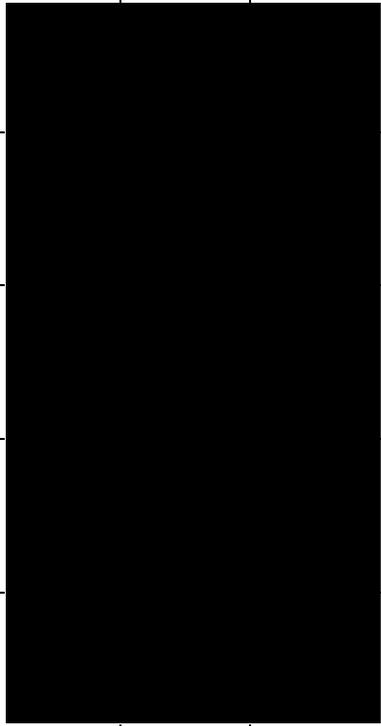
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン1301貯蔵容器 (██████████ ██████████ ~ 選択弁ユニット (X10)選択弁-1 ~ 選択弁ユニット (X10)選択弁-2 ~ 選択弁ユニット (X11)選択弁-1 ~ 選択弁ユニット (X11)選択弁-2 ~ 選択弁ユニット (X11)選択弁-3	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット (X10) 選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—						選択弁ユニット (X10) 選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X11) 選択弁-1, 2 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X11) 選択弁-3 ～ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物 消火 設備			—			ハロン1301貯蔵容器 () ~ 選択弁ユニット (X12)選択弁-1 ~ 選択弁ユニット (X12)選択弁-2 ~ 選択弁ユニット (X12)選択弁-3 ~ 選択弁ユニット (X13)選択弁-1 ~ 選択弁ユニット (X13)選択弁-2	5.2	40			

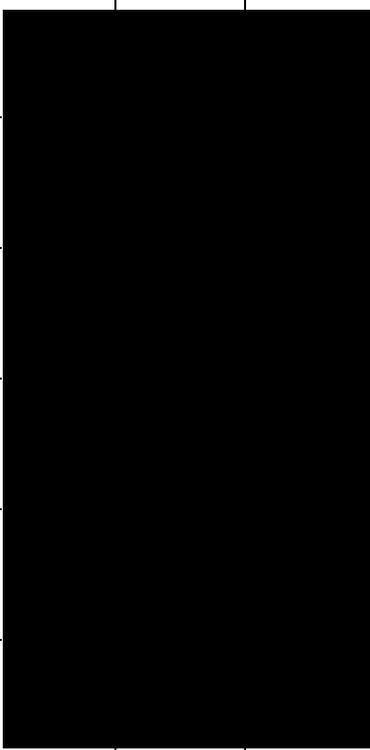
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット (X12)選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—						選択弁ユニット (X12)選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X12)選択弁-3 ～ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物 消火設備	—					ハロゲン 化物 消火 設備	選択弁ユニット (X13)選択弁-1 ~ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—						選択弁ユニット (X13)選択弁-2 ~ ■■■■■	5.2	40			

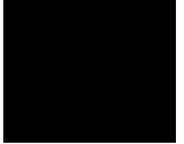
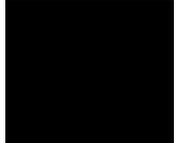
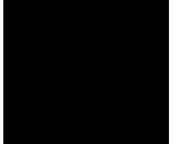
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物 消火 設備			—			ハロン1301貯蔵容器 () () ～	5.2	40			
						ハロゲン 化物 消火 設備 ～ 選択弁ユニット (X14)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X14)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X15)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X15)選択弁-2					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット (X14) 選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—						選択弁ユニット (X14) 選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X15) 選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X15) 選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物 消火設備	—					ハロゲン化物 消火設備	ハロン1301貯蔵容器 〔 ~	5.2	40	[REDACTED]		
							ハロン1301貯蔵容器 〔 ~					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物 消火設備	—					ハロゲン化物 消火設備	ハロン1301貯蔵容器 () ~ 	5.2	40			
	—						ハロン1301貯蔵容器 () ~ 	5.2	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	-					ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
											
						ハロン 1301 貯蔵容器					
											
ハロゲン化物消火設備						ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
											
ハロゲン化物消火設備						ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			-			ハロン 1301 貯蔵容器 [Redacted]	5.2	40			
						～ 選択弁ユニット [Redacted] 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット [Redacted] 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット [Redacted] 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット [Redacted] 選択弁-2					
						選択弁ユニット [Redacted] 選択弁-1 ～ [Redacted]	5.2	40			

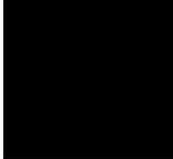
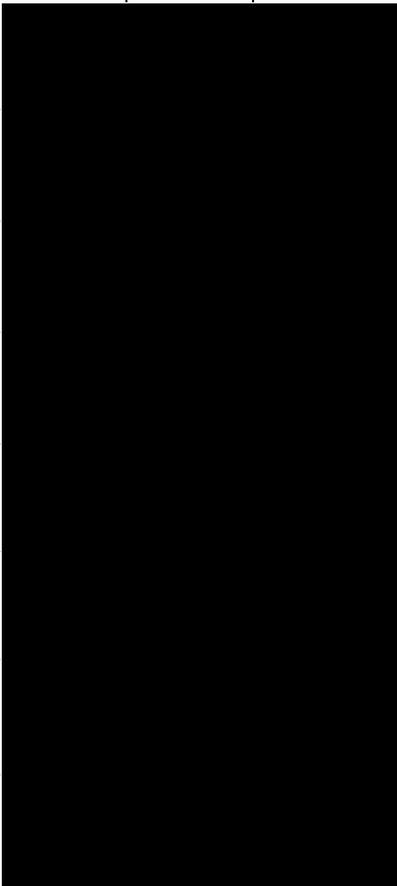
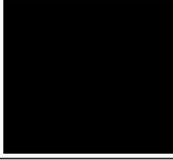
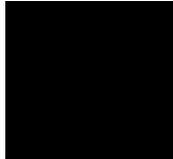
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物 消火 設備	-	-	-	-	-	選択弁ユニット [REDACTED] 選択弁-2 ~ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
						選択弁ユニット [REDACTED] 選択弁-1 ~ [REDACTED]	5.2	40			
						選択弁ユニット [REDACTED] 選択弁-2 ~ [REDACTED]	5.2	40			
						ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物 消火 設備	—					ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
						～ 選択弁ユニット ■■■■■ 選択弁-1					
						～ 選択弁ユニット ■■■■■ 選択弁-2					
					ハロゲン 化物 消火 設備	5.2	40	■■■■■			
					選択弁ユニット ■■■■■ 選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■			
					選択弁ユニット ■■■■■ 選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■			

変更前						変更後								
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料			
ハロゲン化物消火設備	-					ハロゲン化物消火設備	ハロン 1301 貯蔵容器 ■■■■■	5.2	40	■■■■■				
							～ 選択弁ユニット ■■■■■ 選択弁-1							
						～ 選択弁ユニット ■■■■■ 選択弁-2								
						選択弁ユニット ■■■■■ 選択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40						

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン 化物消火設備	—					ハロゲン 化物消火設備	選択弁ユニット [REDACTED] 選択弁-2 ～ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
							ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED] ～ 選択弁ユニット [REDACTED] 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット [REDACTED] 選択弁-2	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	-	-	-	-	-	選択弁ユニット [REDACTED] 選択弁-1 ~ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
						選択弁ユニット [REDACTED] 選択弁-2 ~ [REDACTED]	5.2	40			
						ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物消火設備	—					ハロン 1301 貯蔵容器 	5.2	40			
						ハロン 1301 貯蔵容器 	5.2	40			
						ハロン 1301 貯蔵容器 	5.2	40			
						ハロン 1301 貯蔵容器 	5.2	40			
ハロゲン 化物消火設備											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	-	-	-	-	-	ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40	-	-	-
						ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
						ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ハロゲン 化物消火 設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0102) ～ AG-W0102	5.2	40	[Redacted]		
	—						ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0103, W0113, W0125) ～ 選択弁ユニット(X4011) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X4011) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X4012) 選択弁-1	5.2	40			

安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ハロゲン 化物消火 設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	選択弁ユニット(X4011) 選択弁-2 ～ AG-W0103	5.2	40	[REDACTED]		
	—						選択弁ユニット(X4011) 選択弁-1 ～ AG-W0113	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X4012) 選択弁-1 ～ AG-W0125	5.2	40			

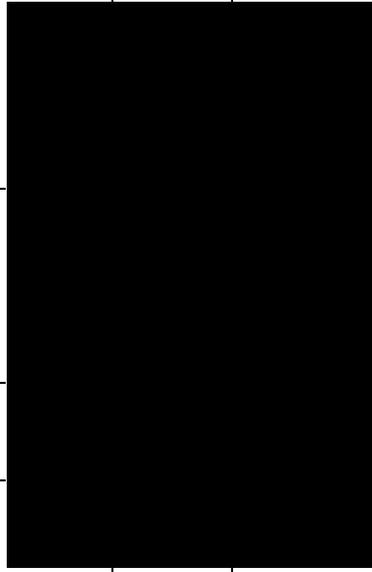
安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ハロゲン 化物 消火 設備	—					ハロゲン 化物 消火 設備	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0106, W0107, W0115) ～ 選択弁ユニット(X8011) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X8011) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X8012) 選択弁-1	5.2	40	[Redacted]		
							選択弁ユニット(X8011) 選択弁-1 ～ AG-W0107	5.2	40			

安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ハロゲン 化物消火 設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	選択弁ユニット(X8011) 選択弁-2 ～ AG-W0106	5.2	40	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	—						選択弁ユニット(X8012) 選択弁-1 ～ AG-W0115	5.2	40			
	—						ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0119, W0122) ～ 選択弁ユニット(X2011) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X2011) 選択弁-2	5.2	40			

安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ハロゲン 化物消火 設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	選択弁ユニット(X2011) 選択弁-1 ～ AG-W0119	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2011) 選択弁-2 ～ AG-W0122	5.2	40			
	—						ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0206) ～ AG-W0206	5.2	40			

安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ハロゲン 化物消火 設備	—					ハロ ゲン 化 物 消 火 設 備	ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0202, W0203) ～ 選択弁ユニット(X1211) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X1211) 選択弁-2	5.2	40	[Redacted]		
	—						選択弁ユニット(X1211) 選択弁-1 ～ AG-W0203	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X1211) 選択弁-2 ～ AG-W0202	5.2	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	ハロン1301貯蔵容器 (AP-G0101, G0102, W0107) ～ 選択弁ユニット (X0001)選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X0001)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X0001)選択弁-3	5.2	40	[Redacted]	
	—						選択弁ユニット (X0001)選択弁-1 ～ AP-G0101	5.2	40		

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン 化物 消火 設備	—					ハロゲン 化物 消火 設備	選択弁ユニット (X0001) 選択弁-2 ～ AP-G0102	5.2	40	[REDACTED]		
	—						選択弁ユニット (X0001) 選択弁-3 ～ AP-W0107	5.2	40			
	—						ハロン1301貯蔵容器 (AP-W0108) ～ AP-W0108	5.2	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
火災防護設備	-	-	-	-	-	ハロン1301貯蔵容器(AZ-W0103, W0104, W0303, W0304, W0321, W0322, W0323, W0324) ～ 選択弁ユニット(X8101)選択弁-1～ 選択弁ユニット(X8101)選択弁-2～ 選択弁ユニット(X8102)選択弁-1～ 選択弁ユニット(X8102)選択弁-2～ 選択弁ユニット(X8103)選択弁-1～ 選択弁ユニット(X8103)選択弁-2 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	5.2	40	■	■	■
						選択弁ユニット(X8101)選択弁-1～ AZ-W0303 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	5.2	40	■	■	■
						選択弁ユニット(X8101)選択弁-2～ AZ-W0104 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	5.2	40	■	■	■
						選択弁ユニット(X8102)選択弁-1～ AZ-W0304 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	5.2	40	■	■	■
火災防護設備											

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
火災防護設備	-	-	-	-	-	選択弁ユニット(X8102)選択弁-2 ～ AZ-W0103 (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1	5.2	40	■	■	■
						選択弁ユニット(X8103)選択弁-1 ～ AZ-W0321, W0322 (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1	5.2	40	■	■	■
						選択弁ユニット(X8103)選択弁-2 ～ AZ-W0323, W0324 (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1	5.2	40	■	■	■
						ハロン1301貯蔵容器(AZ-W0147床 下, W0151) ～ 選択弁ユニット(X8111)選択弁-1～ 選択弁ユニット(X8111)選択弁-2 (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1	5.2	40	■	■	■
									■	■	■
									■	■	■
						選択弁ユニット(X8111)選択弁-1 ～ AZ-W0151 (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1	5.2	40	■	■	■

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
火 災 防 護 設 備						選択弁ユニット(X8111)選択弁-2 ～ AZ-W0147床下 (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1	5.2	40	■	■	■
						ハロン1301貯蔵容器(AZ-W0150) ～ AZ-W0150 (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1	5.2	40	■	■	■
						■			■	■	

注記 *1: 主配管は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物 消火 設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器 (BA-Y0101, Y0102, Y0231, Y0232) ～ 選択弁ユニット (X2011) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X2011) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X2012) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X2012) 選択弁-2	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン 化物 消火 設備	—					ハロゲン 化物 消火 設備	選択弁ユニット(X2011)選 択弁-1 ～ BA-W0231	5.2	40	[Redacted]		
	—						選択弁ユニット(X2011)選 択弁-2 ～ BA-G0232	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2012)選 択弁-1 ～ BA-Y0102	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2012)選 択弁-2 ～ BA-Y0101	5.2	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器 ～ 選択弁ユニット(X1411)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X1411)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X1412)選 択弁-1	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット(X1411)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X1411)選択弁-2 ~ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
							選択弁ユニット(X1412)選 択弁-1 ~ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	—					ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40	—	—	—
						～ 選択弁ユニット(X1011)選 択弁-1					
						～ 選択弁ユニット(X1011)選 択弁-2					
—					選択弁ユニット(X1011)選 択弁-1	5.2	40	—	—	—	
					～ [Redacted]						
—					選択弁ユニット(X1011)選 択弁-2	5.2	40	—	—	—	
					～ [Redacted]						

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器 ～ 選択弁ユニット(X8011)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X8011)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X8012)選 択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X8012)選 択弁-2	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物 消火設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	選択弁ユニット(X8011)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X8011)選択弁-2 ~ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
							選択弁ユニット(X8012)選 択弁-1 ~ ■■■■■	5.2	40			
							選択弁ユニット(X8012)選 択弁-2 ~ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
	—						～ 選択弁ユニット(X1211)選 択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X1211)選 択弁-2					
	—						選択弁ユニット(X1211)選 択弁-1 ～ [REDACTED]					
—					選択弁ユニット(X1211)選 択弁-2 ～ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]				

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED] ～ 選択弁ユニット(X6011)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X6011)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X6012)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X6012)選択弁-2	5.2	40	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット(X6011)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X6011)選択弁-2 ~ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
						ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット(X6012)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X6012)選択弁-2 ~ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
						～ 選択弁ユニット(X4011)選 択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X4012)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X4012)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X4013)選 択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X4013)選 択弁-2					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン 化物 消火 設備	—					ハロゲン 化物 消火 設備	選択弁ユニット(X4011)選 択弁-1 ~ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—						選択弁ユニット(X4012)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X4012)選択弁-2 ~ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット(X4013)選 択弁-1 ～ ■	5.2	40	■		
	—						選択弁ユニット(X4013)選 択弁-2 ～ ■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
						～ 選択弁ユニット(X2011)選 択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X2012)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X2012)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X2013)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X2013)選択弁-2					
					ハロゲン 化物 消火 設備						

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット(X2011)選択弁-1 ～ ■	5.2	40	■		
	—						選択弁ユニット(X2012)選択弁-1, 選択弁ユニット(X2012)選択弁-2 ～ ■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物消火 設備			—			ハロゲン 化物消火 設備 選択弁ユニット(X2013)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X2013)選択弁-2 ~ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
						～ 選択弁ユニット(X2011)選 択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X2011)選 択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X2012)選 択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X2012)選 択弁-2					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット(X2011)選 択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
	—						選択弁ユニット(X2011)選 択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2012)選 択弁-1 ～ ■■■■■	5.2	40			
	—						選択弁ユニット(X2012)選 択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロゲン化物消火設備 ハロン 1301 貯蔵容器 ～ 選択弁ユニット(X4011)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X4011)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X4012)選 択弁-1	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット(X4011)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X4011)選択弁-2 ~ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
							選択弁ユニット(X4012)選 択弁-1 ~ ■■■■■	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備	—					ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED] [REDACTED] ～ 選択弁ユニット(X4013)選 択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X4013)選 択弁-2	5.2	40	[REDACTED]		
						選択弁ユニット(X4013)選 択弁-1 ～ [REDACTED]	5.2	40			
						選択弁ユニット(X4013)選 択弁-2 ～ [REDACTED]	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器 ～ 選択弁ユニット(X6011)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X6011)選択弁-2 ～ 選択弁ユニット(X6012)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X6012)選択弁-2	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン 化物消火 設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	選択弁ユニット(X6011)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X6011)選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40	■■■■■		
							選択弁ユニット(X6012)選 択弁-1, 選択弁ユニット (X6012)選択弁-2 ～ ■■■■■	5.2	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	安全ユニット A 外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	ハロン 1301 貯蔵容器 (GA-W0103, W0104, W0105, W0106, W0203, W0204) ～ 選択弁ユニット (X4011) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X4011) 選択弁-2	5.2	40		
	—						選択弁ユニット (X4011) 選択弁-1 ～ GA-W0103, W0104, W0203	5.2	40		

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ハロゲン 化物消火 設備			—			ハロゲン 化物消火 設備 選択弁ユニット(X4011) 選択弁-2 ～ GA-W0105, W0106, W0204	5.2	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物消火 設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
						~					

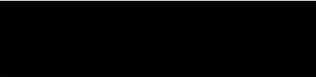
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
						～ 選択弁ユニット (X7011) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X7011) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X7011) 選択弁-3					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット (X7011) 選択弁-1 ～ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
	—						選択弁ユニット (X7011) 選択弁-2 ～ [REDACTED]	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X7011) 選択弁-3 ～ [REDACTED]	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物消火設備			—			ハロゲン 化物消火設備	5.2	40			
						ハロン 1301 貯蔵容器 ~					

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン 化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
						～ 選択弁ユニット (X7016) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X7016) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X7016) 選択弁-3					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物 消火設備	—					ハロゲン 化物消火 設備	選択弁ユニット (X7016)選択弁-1 ～ [Redacted]	5.2	40	[Redacted]		
	—						選択弁ユニット (X7016)選択弁-2 ～ [Redacted]	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X7016)選択弁-3 ～ [Redacted]	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ハロゲン 化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器 -1, 2	5.2	40			
						 ～ 選択弁ユニット (X7017) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X7017) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X7017) 選択弁-3 ～ 選択弁ユニット (X7018) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X7018) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X7018) 選択弁-3					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備	選択弁ユニット (X7017) 選択弁-1, 2 ～ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
	—						選択弁ユニット (X7017) 選択弁-3 ～ [REDACTED]	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X7018) 選択弁-1 ～ [REDACTED]	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X7018) 選択弁-2 ～ [REDACTED]	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X7018) 選択弁-3 ～ [REDACTED]	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン 化物消火 設備			—			ハロゲン 化物消火 設備	5.2	40				
												ハロン 1301 貯蔵容器
												~

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロン 1301 貯蔵容器	5.2	40			
						～					

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備(局所)	—					ハロン 1301 貯蔵容器(一般排水ピットポンプ [REDACTED]) ～ 一般排水ピットポンプ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
						ハロン 1301 貯蔵容器(インアクティブ廃液ポンプ A, E [REDACTED]) ～ インアクティブ廃液ポンプ A, E [REDACTED]	5.2	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備(局所)			-			ハロン 1301 貯蔵容器 (廃液中和槽ポンプ A, B ■■■■■)	5.2	40			
						～ 廃液中和槽ポンプ A, B ■■■■■					
						ハロン 1301 貯蔵容器 (常用冷水 2 ポンプ A, B ■■■■■)	5.2	40			
						～ 常用冷水 2 ポンプ A, B ■■■■■					

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロゲン化物消火設備／ハロゲン化物消火設備（局所） ハロン 1301 貯蔵容器 ██████████ 廃ガス洗 浄塔ポンプ A, B ██████████ ██████████, 廃ガ ス洗浄塔ポンプ A, B ██████████ ～ 選択弁ユニット (X7012) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X7012) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X7013) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X7013) 選択弁-2	5.2	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備／ハロゲン化物消火設備（局所）	選択弁ユニット (X7012) 選択弁-1, 2 ～ [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
	—						選択弁ユニット (X7013) 選択弁-1, 2 ～ 廃ガス洗浄塔ポンプ A, B [REDACTED], 廃ガス洗浄塔 ポンプ A, B [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料
ハロゲン化物消火設備			—			ハロゲン化物消火設備／ハロゲン化物消火設備（局所） ハロン 1301 貯蔵容器 [REDACTED] 排風機 A, B [REDACTED] 排 風機 A, B [REDACTED] [REDACTED] ～ 選択弁ユニット (X7014) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X7014) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X7015) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X7015) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X7015) 選択弁-3	5.2	40	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要材料	
ハロゲン化物消火設備	—					ハロゲン化物消火設備／ハロゲン化物消火設備（局所）	選択弁ユニット (X7014) 選択弁-1, 2 ～ 排風機 A, B [REDACTED]	5.2	40	[REDACTED]		
	—						選択弁ユニット (X7015) 選択弁-1, 2 ～ 排風機 A, B [REDACTED]	5.2	40			
	—						選択弁ユニット (X7015) 選択弁-3 ～ [REDACTED]	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ハロゲン化物消火設備(床下)			—			ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0302 PCPS 安全系 A ピット) ～ AG-W0302 PCPS 安全系 A ピット	5.2	40			
						ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0302 PCPS 安全系 B ピット) ～ AG-W0302 PCPS 安全系 B ピット	5.2	40			

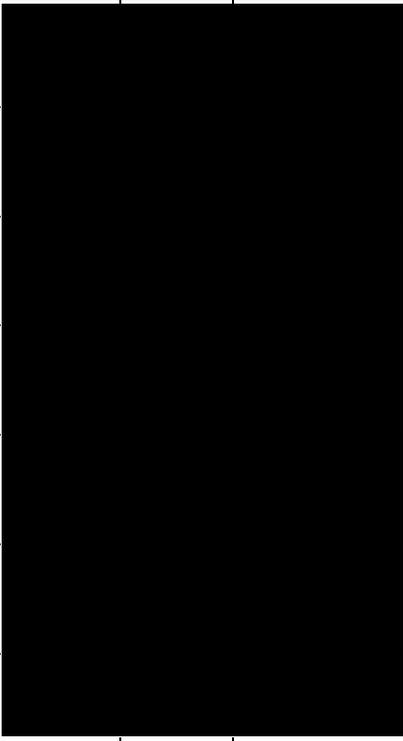
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ハロゲン化物消火設備(床下)			—			ハロン 1301 貯蔵容器 (AG-W0302 北側生産系 N エリア, 南側生産系 N エリア, W0305 中央安 全監視室床下フリーアク セスフロア) ～ 選択弁ユニット (X0001) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (X0001) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (X0001) 選択弁-3	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ハロゲン化物消火設備(床下)	-	-	-	-	-	選択弁ユニット (X0001)選択弁-1 ～ AG-W0302 北側生産系 N エリア	5.2	40	-	-	-
						選択弁ユニット (X0001)選択弁-2 ～ AG-W0302 南側生産系 N エリア	5.2	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ハロゲン化物消火設備(床下)			—			ハロゲン化物消火設備(床下) 選択弁ユニット (X0001) 選択弁-3 ～ AG-W0305 中央安全監視 室床下フリーアクセスフ ロア	5.2	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素貯蔵容器 [Redacted] [Redacted]	10.8*3	40*3	[Redacted]			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	10.8*3	90*3									
二酸化炭素消火設備 ～ 選択弁ユニット (SVU-1A) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (SVU-1A) 選択弁-2 ～ 選択弁ユニット (SVU-1A) 選択弁-3 ～			[Redacted]								変更なし

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素 消火設備	選択弁ユニット (SVU-1A) 選択弁-4 ～ 選択弁ユニット (SVU-1B) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (SVU-1B) 選択弁-2 ～	0.98*3	90*3			変更なし					
	選択弁ユニット (SVU-1B) 選択弁-3 ～ 選択弁ユニット (SVU-1B) 選択弁-4 ～	0.98*3	40*3								

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素 消火設備	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-1 ～	0.98*3	40*3				変更なし				
	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-2 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-3 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-4 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-1 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-2 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-3*2										

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素 消火設備	選択弁ユニット (SVU-1A) 選択弁-1 ~ [REDACTED]	0.98*3	40*3	[REDACTED]		変更なし					
	選択弁ユニット (SVU-1A) 選択弁-2 ~ [REDACTED]	0.98*3	40*3	[REDACTED]							

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備	選択弁ユニット (SVU-1B) 選択弁-2 ~ [REDACTED]	0.98*3	40*3	[REDACTED]		変更なし					
	選択弁ユニット (SVU-1B) 選択弁-3 ~ [REDACTED]	0.98*3	40*3	[REDACTED]							

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料	
二酸化炭素 消火設備	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-1 ～ ■	0.98*3	40*3	■	■	■	■	■	■	■	■	
	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-2 ～ ■	0.98*3	40*3									変更なし
	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-3 ～ ■	0.98*3	40*3									

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素 消火設備	選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-1 ～ [REDACTED]	0.98*3	40*3	[REDACTED]		変更なし					
	選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-2 ～ [REDACTED]	0.98*3	40*3								
	選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-3 ～ [REDACTED]	0.98*3	40*3								

注記 *1：公称値を示す。
*2：記載の適正化を行う。既設工認には「二酸化炭素消火設備」と記載。
*3：既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素貯蔵容器 ~ 二酸化炭素消火設備	10.8*3	40*3	[Redacted]			変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
		90*3									

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料	
二酸化炭素消火設備	選択弁ユニット (SVU-1B) 選択弁-3 ～						変更なし					
	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-1 ～											
	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-2 ～	90*3										
	選択弁ユニット (SVU-1C) 選択弁-3 ～	0.97*3										
選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-1 ～												
選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-2 ～		50*3										

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備	選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-3 ～					変更なし					
	選択弁ユニット (SVU-1D) 選択弁-4 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1E) 選択弁-1 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1E) 選択弁-2 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1E) 選択弁-3 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1E) 選択弁-4 ～										

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備	選択弁ユニット (SVU-1F) 選択弁-1 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1F) 選択弁-2 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1F) 選択弁-3 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1G) 選択弁-1 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1G) 選択弁-2 ～										
	選択弁ユニット (SVU-1G) 選択弁-3 ～										

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備											
選択弁ユニット (SVU-1H) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (SVU-1H) 選択弁-2											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備	選択弁ユニット (SVU-1B)選択弁-3 ~ [REDACTED]	0.97*3	50*3	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし					
	選択弁ユニット (SVU-1F)選択弁-3 ~ [REDACTED]	0.97*3	50*3	[REDACTED]	[REDACTED]						
	選択弁ユニット (SVU-1G)選択弁-2 ~ [REDACTED]	0.97*3	50*3	[REDACTED]	[REDACTED]						

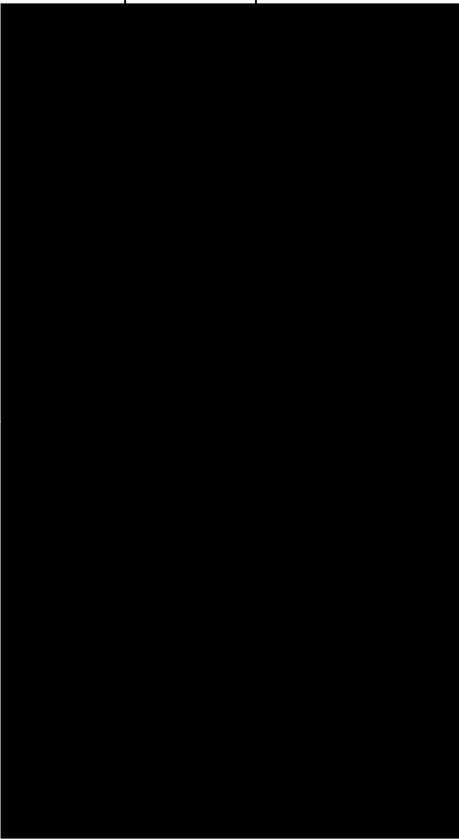
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備	選択弁ユニット (SVU-1G) 選択弁-3 ~ [Redacted]	0.97*3	50*3	[Redacted]		変更なし					
	選択弁ユニット (SVU-1H) 選択弁-1 ~ [Redacted]	0.97*3	50*3	[Redacted]							

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素 消火設備	選択弁ユニット (SVU-1F) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット (SVU-1H) 選択弁-2	0.97*3	50*3	[Redacted]		変更なし					
		0.97*3	50*3								
	選択弁ユニット (SVU-1H) 選択弁-2 ～ [Redacted]	0.98*3	40*3								

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認には「二酸化炭素消火設備」と記載。

*3：既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素貯蔵容器  ~ 選択弁ユニット(SVU-2A) 選択弁-1 ~ 選択弁ユニット(SVU-2A) 選択弁-2 ~ 選択弁ユニット(SVU-2B) 選択弁-1 ~	10.8*3	40*3				二酸化炭素消火設備 <u>二酸化炭素消火設備</u>	変更なし				

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備						二酸化炭素消火設備					
選択弁ユニット (SVU-2B)											
選択弁-2											
～											
選択弁ユニット (SVU-2B)											
選択弁-3											
～											
選択弁ユニット (SVU-2C)											
選択弁-1											
～											
選択弁ユニット (SVU-2C)											
選択弁-2											
～											
選択弁ユニット (SVU-2C)											
選択弁-3											

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素 消火設備	選択弁ユニット(SVU-2A) 選択弁-1 ～ ██████	10.8*3	40*3	████████████████████ ████████████████████ ████████████████████ ████████████████████	████████████████████ ████████████████████ ████████████████████ ████████████████████	二酸化炭素 消火設備	変更なし				
	選択弁ユニット(SVU-2A) 選択弁-2 ～ ██████	10.8*3	40*3								
	選択弁ユニット(SVU-2B) 選択弁-1 ～ ██████	10.8*3	40*3								
	選択弁ユニット(SVU-2C) 選択弁-1 ～ ██████	10.8*3	40*3								

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備 選択弁ユニット(SVU-2C) 選択弁-2 ~ [REDACTED]	10.8*3	40*3	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	二酸化炭素消火設備	変更なし				

注記 *1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既設工認には「二酸化炭素消火設備」と記載。

*3：既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力* ³ (MPa)	最高 使用 温度* ³ (°C)	外径* ¹ * ³ (mm)	厚さ* ¹ * ³ (mm)	主要 材料* ³	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備	二酸化炭素貯蔵容器 (GA-W0101, W0108, W0201, W0205, W0301, W0302) ～ 選択弁ユニット(X2011) 選択弁-1 ～ 選択弁ユニット(X2011) 選択弁-2* ²	10.8	40	[Redacted]	[Redacted]	二酸化炭素消火設備	変更なし				
	選択弁ユニット(X2011) 選択弁-1 ～ GA-W0101, W0201, W0301* ²	10.8	40				変更なし				

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力* ³ (MPa)	最高 使用 温度* ³ (°C)	外径* ¹ * ³ (mm)	厚さ* ¹ * ³ (mm)	主要 材料* ³	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* ¹ (mm)	厚さ* ¹ (mm)	主要 材料
二酸化炭素消火設備	選択弁ユニット(X2011) 選択弁-2 ～ GA-W0108, W0205, W0302* ²	10.8	40			二酸化炭素消火設備	変更なし				

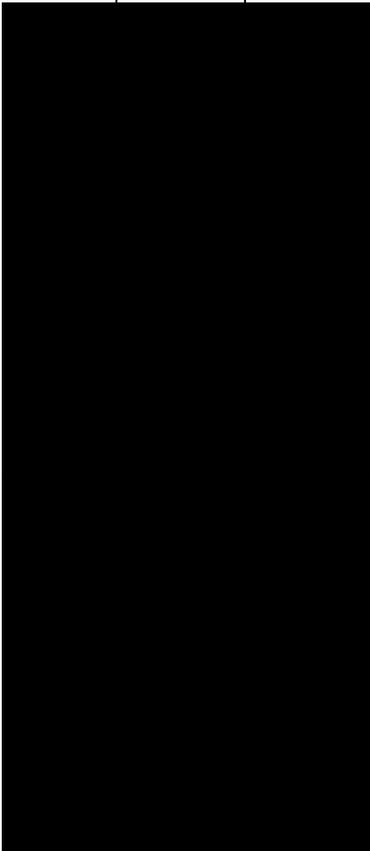
注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 記載の適正化を行う。既設工認には「二酸化炭素消火設備」と記載。

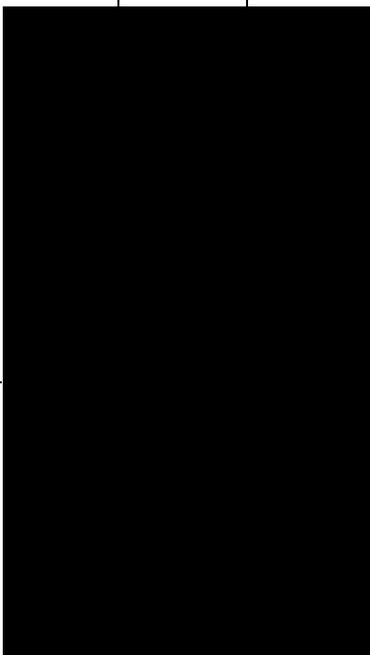
* 3 : 既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

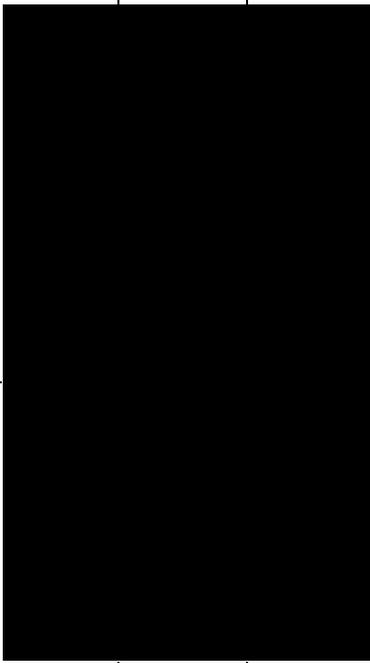
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCD01-1/BCD02- 1/BCD04-1/BCD05-1)) ～ ケーブルトレイ (BCD01-1/BCD02- 1/BCD04-1/BCD05-1))	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHD01-1/BHD02- 1/BHD03-1/BHD04-1)) ～ ケーブルトレイ (BHD01-1/BHD02- 1/BHD03-1/BHD04-1))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLD01-1/BLD02- 1/BLD04-1)) ～ ケーブルトレイ (BLD01-1/BLD02- 1/BLD04-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSD01-1/BSD02- 1/BSD04-1/BSD05-1)) ～ ケーブルトレイ (BSD01-1/BSD02- 1/BSD04-1/BSD05-1)	4.6	40			

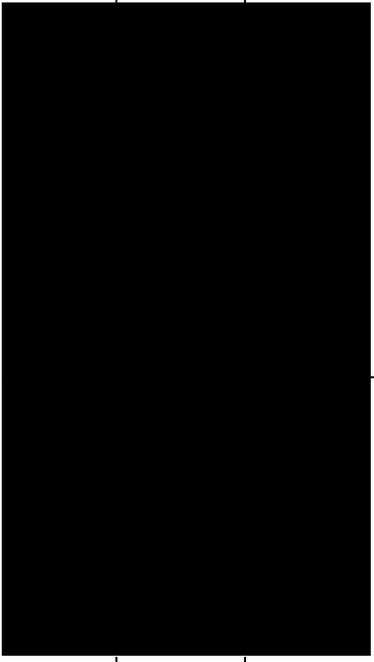
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD08-2/NCD10- 1/NCD14-1/NCD16- 1/NCD17-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD08-2/NCD10- 1/NCD14-1/NCD16- 1/NCD17-1)	4.6	40			
						ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD08-2/NLD16- 1/NLD23-1)) ～ ケーブルトレイ (NLD08-2/NLD16- 1/NLD23-1)	4.6	40			

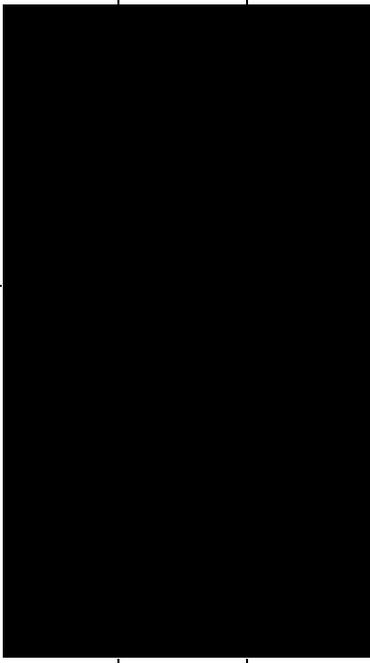
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSD08-2/NSD10- 1/NSD14-1/NSD17-1)) ～ ケーブルトレイ (NSD08-2/NSD10- 1/NSD14-1/NSD17-1))	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCD02-2/BLD02- 2/BSD02-2)) ～ ケーブルトレイ (BCD02-2/BLD02- 2/BSD02-2))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD03-2/NCD04A- 1/NCD04B-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD03-2/NCD04A- 1/NCD04B-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD12-1/NSD12-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD12-1/NSD12-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD03-2/NLD04A- 1/NLD04B-1)) ～ ケーブルトレイ (NLD03-2/NLD04A- 1/NLD04B-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD28-1)) ～ ケーブルトレイ (NLD28-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSD03-2/NSD04A- 1/NSD04B-1/NSD05- 1)) ～ ケーブルトレイ (NSD03-2/NSD04A- 1/NSD04B-1/NSD05-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACD01-1)) ～ ケーブルトレイ (ACD01-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHD01-1/NCD23- 1/NSD23-1)) ～ ケーブルトレイ (AHD01-1/NCD23- 1/NSD23-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALD01-1)) ～ ケーブルトレイ (ALD01-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASD01-1)) ～ ケーブルトレイ (ASD01-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD01A-1/NCD01B- 1/NCD07-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD01A-1/NCD01B- 1/NCD07-1)	4.6	40			

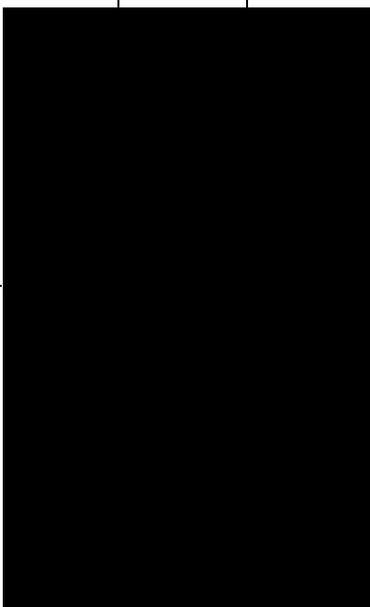
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD01B-2/NCD01C- 1/NCD02A-1/NCD02B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NCD01B-2/NCD01C- 1/NCD02A-1/NCD02B- 1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD02B-2/NCD02C- 1/NCD03-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD02B-2/NCD02C- 1/NCD03-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD08-1/NLD08- 1/NSD08-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD08-1/NLD08- 1/NSD08-1)	4.6	40	[REDACTED]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD09A-1/NLD09- 1/NSD09-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD09A-1/NLD09- 1/NSD09-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD11-1/NLD11- 1/NSD11-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD11-1/NLD11- 1/NSD11-1)	4.6	40	[REDACTED]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD15-1/NLD15- 1/NSD15-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD15-1/NLD15- 1/NSD15-1)	4.6	40			

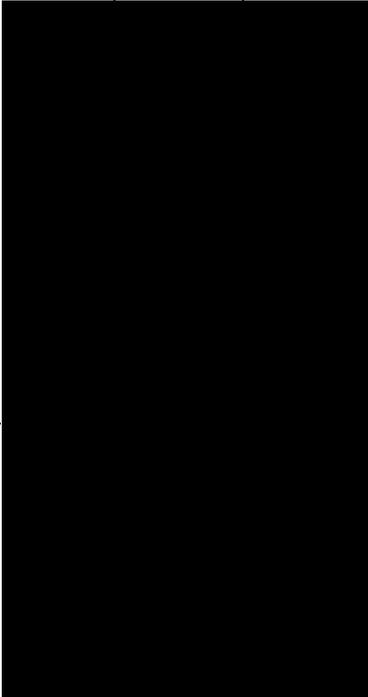
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD18-1/NLD22- 1/NSD18-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD18-1/NLD22- 1/NSD18-1)	4.6	40	[REDACTED]		
						ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD19-1/NSD19-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD19-1/NSD19-1)	4.6	40			

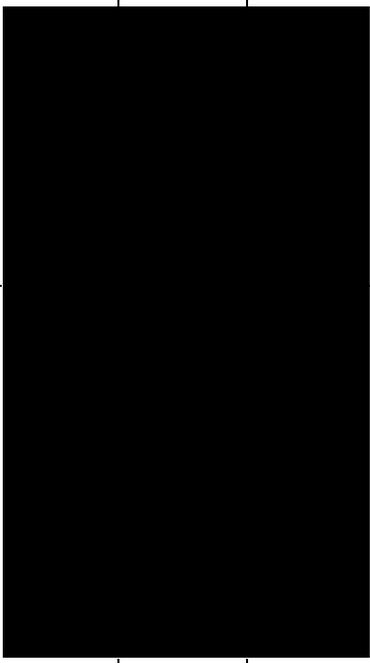
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD21-1/NLD21- 1/NSD21-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD21-1/NLD21- 1/NSD21-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCD24-1/NSD24-1)) ～ ケーブルトレイ (NCD24-1/NSD24-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD01A-1/NLD07-1)) ～ ケーブルトレイ (NLD01A-1/NLD07-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD01A-2/NLD01B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NLD01A-2/NLD01B-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD01B-2/NLD02A- 1/NLD02B-1/NLD03- 1)) ～ ケーブルトレイ (NLD01B-2/NLD02A- 1/NLD02B-1/NLD03-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD10-1)) ～ ケーブルトレイ (NLD10-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSD01A-1/NSD01B- 1/NSD07-1)) ～ ケーブルトレイ (NSD01A-1/NSD01B- 1/NSD07-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSD01B-2/NSD01C- 1/NSD02A-1)) ～ ケーブルトレイ (NSD01B-2/NSD01C- 1/NSD02A-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSD02A-2/NSD02B- 1/NSD02C-1/NSD03- 1)) ～ ケーブルトレイ (NSD02A-2/NSD02B- 1/NSD02C-1/NSD03-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSD13-1)) ～ ケーブルトレイ (NSD13-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACC03-1/ASC02-1)) ～ ケーブルトレイ (ACC03-1/ASC02-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHC01-1/ALC03- 1/NLC34B-1)) ～ ケーブルトレイ (AHC01-1/ALC03- 1/NLC34B-1)	4.6	40			

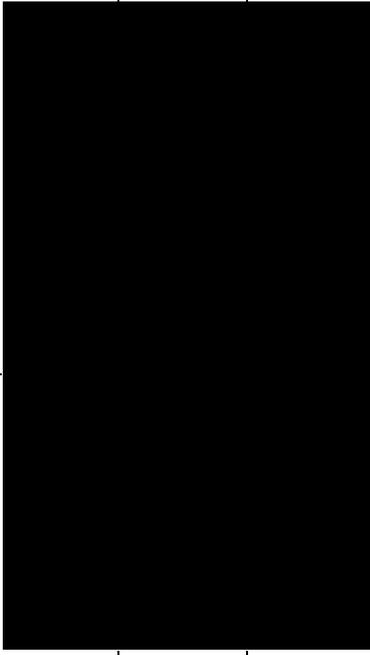
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCC02-1/BSC02-1)) ～ ケーブルトレイ (BCC02-1/BSC02-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHC01-1/BLC02-1)) ～ ケーブルトレイ (BHC01-1/BLC02-1)	4.6	40			

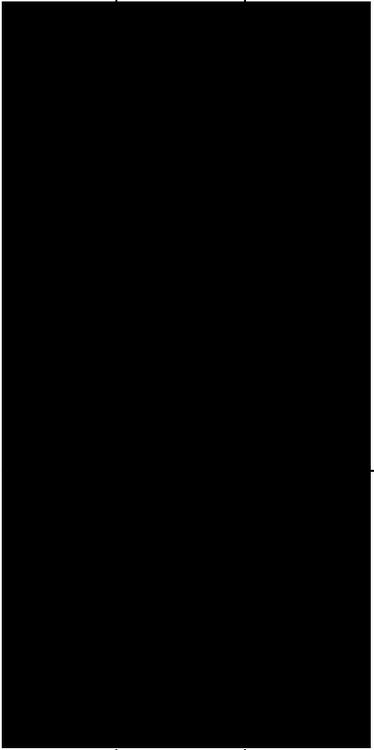
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC12-1/NCC34A- 1/NCC34B-1/NCC51C- 1)) ～ ケーブルトレイ (NCC12-1/NCC34A- 1/NCC34B-1/NCC51C- 1)	4.6	40	[REDACTED]		
						ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC27-1/NLC35- 1/NSC11-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC27-1/NLC35- 1/NSC11-1)	4.6	40			

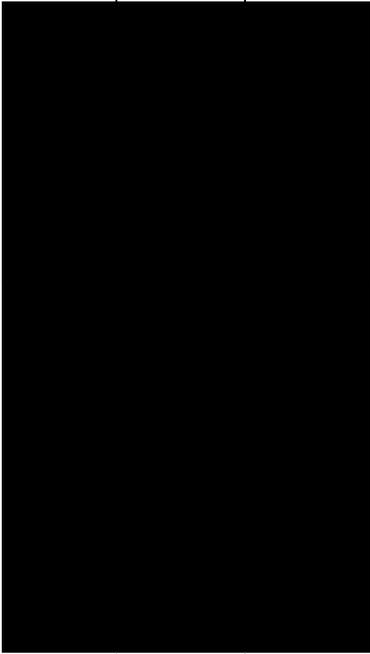
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブル トレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC30-1/NSC30-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC30-1/NSC30-1)	4.6	40			

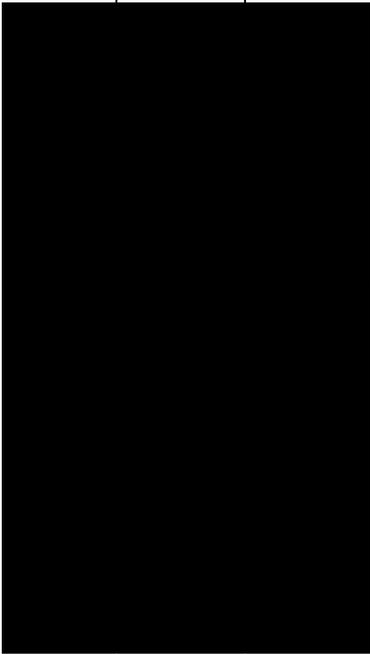
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC49-1/NCC57D- 1/NCC57E-1/NLC49E- 1/NLC57C-1/NLC57D- 1/NSC50A-1/NSC50B- 1)) ~ ケーブルトレイ (NCC49-1/NCC57D- 1/NCC57E-1/NLC49E- 1/NLC57C-1/NLC57D- 1/NSC50A-1/NSC50B- 1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHC01-1/NKC-1)) ～ ケーブルトレイ (NHC01-1/NKC-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC34A-1/NLC34B- 2/NLC50-1/NLC51E- 1)) ～ ケーブルトレイ (NLC34A-1/NLC34B- 2/NLC50-1/NLC51E-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC76-1/NLC77A- 1/NLC77B-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC76-1/NLC77A- 1/NLC77B-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC92-1/NLC94-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC92-1/NLC94-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC12-1/NSC29- 1/NSC34A-1/NSC34B- 1/NSC34C-2)) ～ ケーブルトレイ (NSC12-1/NSC29- 1/NSC34A-1/NSC34B- 1/NSC34C-2))	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACC01-1/ALC01-1)) ～ ケーブルトレイ (ACC01-1/ALC01-1))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHC02-1/ASC01-1)) ～ ケーブルトレイ (AHC02-1/ASC01-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCC01-2/BLC01- 2/BSC01-1)) ～ ケーブルトレイ (BCC01-2/BLC01- 2/BSC01-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC01B-2)) ～ ケーブルトレイ (NCC01B-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC01B-3/NCC01C- 1/NCC02A-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC01B-3/NCC01C- 1/NCC02A-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC02A-2/NCC02B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NCC02A-2/NCC02B-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC03A-1/NCC03B- 1/NCC03D-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC03A-1/NCC03B- 1/NCC03D-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC03C-1/NCC03D- 2/NCC04A-1/NCC04B- 2/NCC59A-1)) ~ ケーブルトレイ (NCC03C-1/NCC03D- 2/NCC04A-1/NCC04B- 2/NCC59A-1)	4.6	40			

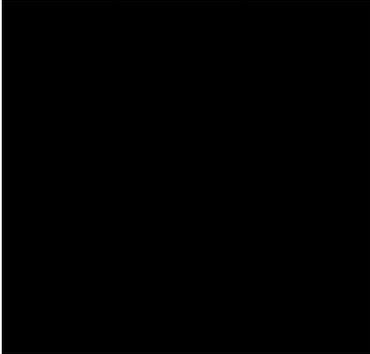
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC04B-1/NCC05A- 1/NCC05B-1/NCC05D- 1)) ~ ケーブルトレイ (NCC04B-1/NCC05A- 1/NCC05B-1/NCC05D- 1)	4.6	40			

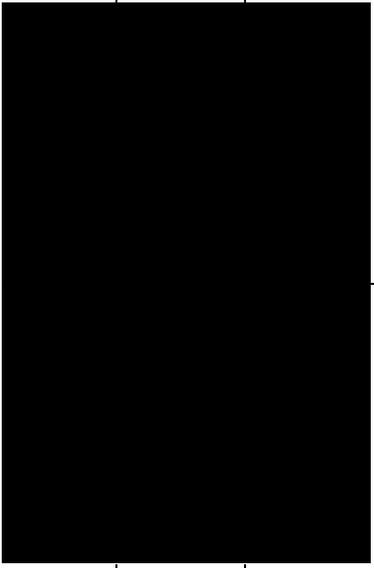
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC07A-1/NCC07B- 1/NCC66-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC07A-1/NCC07B- 1/NCC66-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC09-1/NCC10A- 1/NCC10B-1/NLC21- 1/NLC22-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC09-1/NCC10A- 1/NCC10B-1/NLC21- 1/NLC22-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC11-1/NLC11- 1/NSC53A-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC11-1/NLC11- 1/NSC53A-1)	4.6	40			

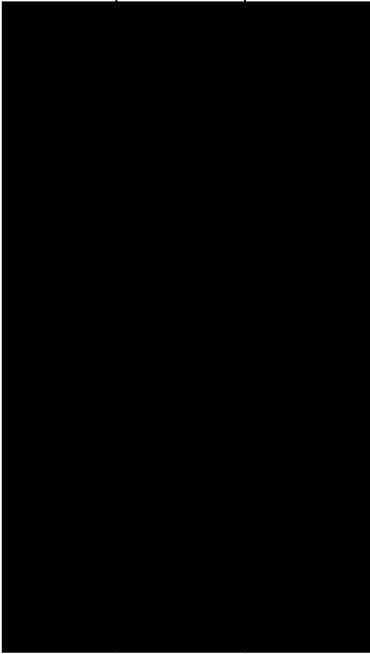
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC14-1/NCC15A- 1/NCC15B-1/NSC14- 1/NSC17A-1/NSC17B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NCC14-1/NCC15A- 1/NCC15B-1/NSC14- 1/NSC17A-1/NSC17B- 1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC18-1/NCC19A- 1/NCC19B-1/NSC18- 1/NSC19A-1/NSC19B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NCC18-1/NCC19A- 1/NCC19B-1/NSC18- 1/NSC19A-1/NSC19B- 1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC24-1/NLC24A- 1/NSC24-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC24-1/NLC24A- 1/NSC24-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC26-1/NLC26-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC26-1/NLC26-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC31-1/NCC70-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC31-1/NCC70-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC41A-1/NLC41A- 1/NSC41A-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC41A-1/NLC41A- 1/NSC41A-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC65-1/NLC86- 1/NSC15-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC65-1/NLC86- 1/NSC15-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC01B-2)) ～ ケーブルトレイ (NLC01B-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC01B-3/NLC01BK- 1/NLC12A-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC01B-3/NLC01BK- 1/NLC12A-1)	4.6	40			

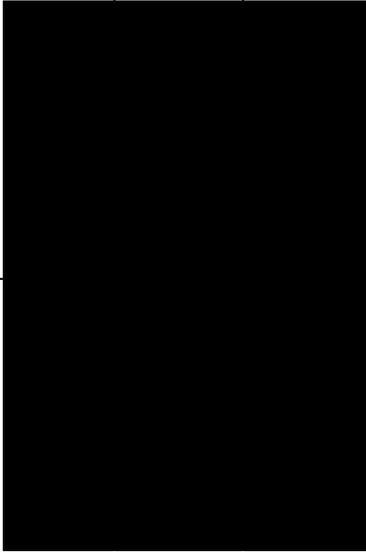
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC02A-2/NLC02B- 1/NLC03A-1/NLC03B- 1)) ~ ケーブルトレイ (NLC02A-2/NLC02B- 1/NLC03A-1/NLC03B- 1)	4.6	40			

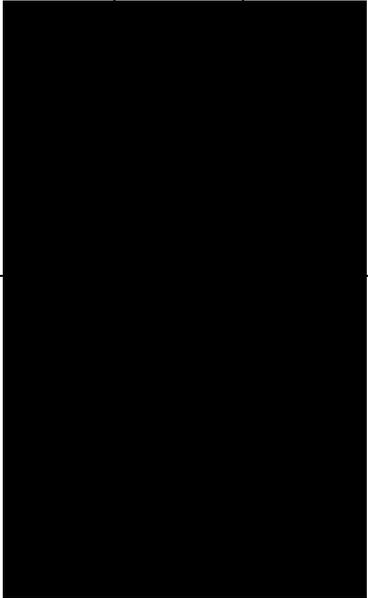
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC03B-2/NLC03C- 1/NLC04A-1/NLC04B- 1/NLC04C-1/NLC04D- 2/NLC46A-1/NLC59A- 1)) ~ ケーブルトレイ (NLC03B-2/NLC03C- 1/NLC04A-1/NLC04B- 1/NLC04C-1/NLC04D- 2/NLC46A-1/NLC59A- 1)	4.6	40			

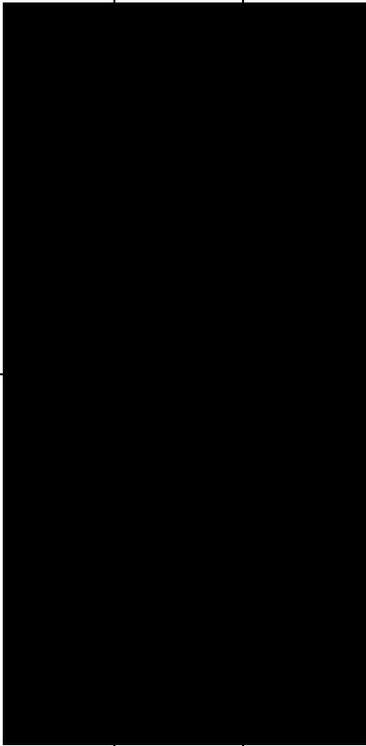
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC04D-1/NLC05A- 1/NLC05B-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC04D-1/NLC05A- 1/NLC05B-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC07-1/NLC08A- 2/NLC08B-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC07-1/NLC08A- 2/NLC08B-1)	4.6	40			

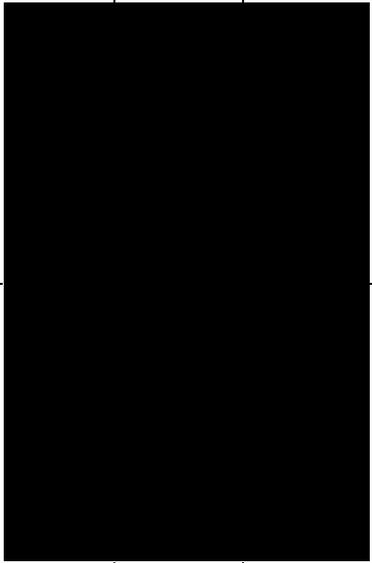
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC09-1/NLC10A- 1/NLC10B-1/NLC87- 1/NLC88-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC09-1/NLC10A- 1/NLC10B-1/NLC87- 1/NLC88-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC18-1/NLC19A- 1/NLC19B-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC18-1/NLC19A- 1/NLC19B-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC23-1/NSC09- 1/NSC10A-1/NSC10B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NLC23-1/NSC09- 1/NSC10A-1/NSC10B- 1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC27-1/NLC28-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC27-1/NLC28-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC29-1/NLC30-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC29-1/NLC30-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC31-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC31-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC01B-2)) ～ ケーブルトレイ (NSC01B-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC01B-3/NSC01C- 1)) ～ ケーブルトレイ (NSC01B-3/NSC01C-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC03-2/NSC04- 1/NSC05A-1)) ～ ケーブルトレイ (NSC03-2/NSC04- 1/NSC05A-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC07A-2/NSC07B- 1/NSC07C-1)) ～ ケーブルトレイ (NSC07A-2/NSC07B- 1/NSC07C-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC61-1)) ～ ケーブルトレイ (NSC61-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC61-2)) ～ ケーブルトレイ (NSC61-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACC02-1/ALC02- 1/NCC02AK-1)) ～ ケーブルトレイ (ACC02-1/ALC02- 1/NCC02AK-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC01A-1/NCC01B- 1/NCC07A-2)) ～ ケーブルトレイ (NCC01A-1/NCC01B- 1/NCC07A-2)	4.6	40			

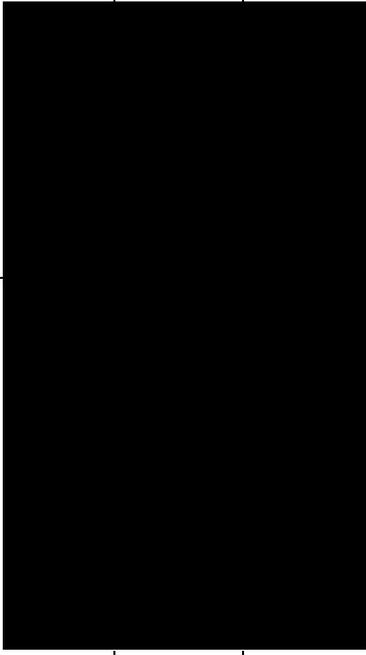
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC16-1/NLC18- 2/NSC16-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC16-1/NLC18- 2/NSC16-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC20-1/NLC20- 1/NSC20-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC20-1/NLC20- 1/NSC20-1)	4.6	40			

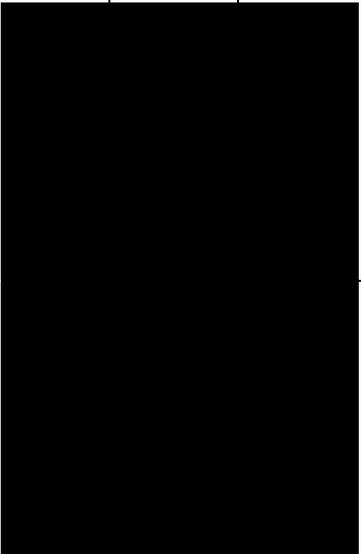
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC21-1/NCC57A- 1/NCC69A-1)) ～ ケーブルトレイ (NCC21-1/NCC57A- 1/NCC69A-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC01A-1/NLC01B- 1/NLC08A-1)) ～ ケーブルトレイ (NLC01A-1/NLC01B- 1/NLC08A-1)	4.6	40			

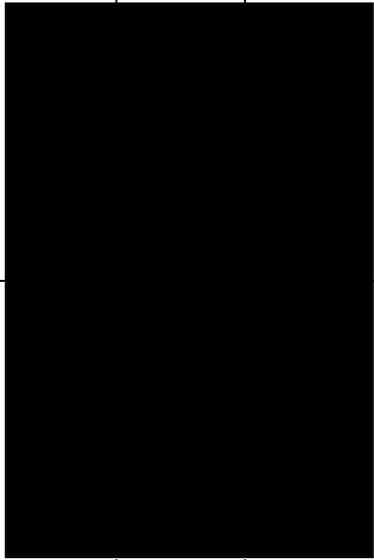
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC01C-1/NLC01D- 1/NLC01E-1/NLC01F- 1/NLC01G-1/NLC02A- 1)) ～ ケーブルトレイ (NLC01C-1/NLC01D- 1/NLC01E-1/NLC01F- 1/NLC01G-1/NLC02A- 1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブル トレイ 消火 設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLC57A-1/NLC58A- 1)) ～ ケーブルトレイ (NLC57A-1/NLC58A-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC01A-1/NSC01B- 1/NSC07A-1)) ～ ケーブルトレイ (NSC01A-1/NSC01B- 1/NSC07A-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSC01C-2/NSC02A- 1/NSC02B-1/NSC03- 1)) ～ ケーブルトレイ (NSC01C-2/NSC02A- 1/NSC02B-1/NSC03-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCC01-1/BLC01-1)) ～ ケーブルトレイ (BCC01-1/BLC01-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCC20-2/NLC20- 2/NSC20-2)) ～ ケーブルトレイ (NCC20-2/NLC20- 2/NSC20-2)	4.6	40			

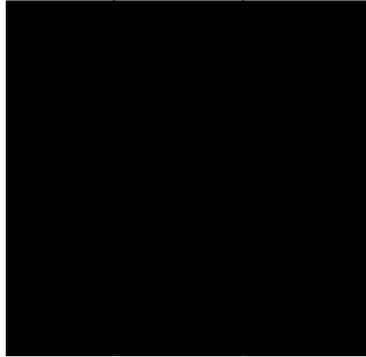
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACA17-1)) ～ ケーブルトレイ (ACA17-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHA01-1)) ～ ケーブルトレイ (AHA01-1)	4.6	40			

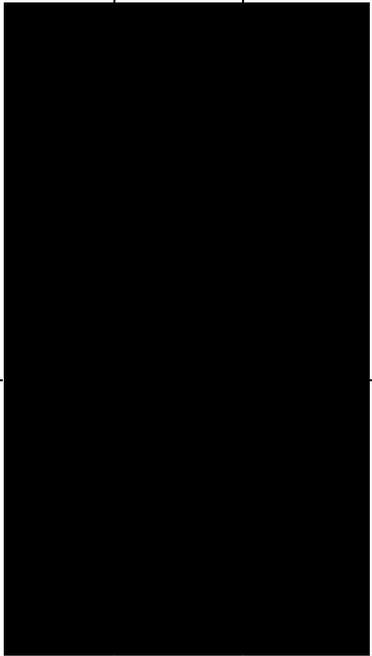
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA17-1)) ～ ケーブルトレイ (ALA17-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASA08-1)) ～ ケーブルトレイ (ASA08-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA17-1/BCA18- 1/BCA19-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA17-1/BCA18- 1/BCA19-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA01-1/BHA02- 1/BHA04B-1/BHA05- 1)) ～ ケーブルトレイ (BHA01-1/BHA02- 1/BHA04B-1/BHA05-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA03-1/BLA28- 1/NLA28A-1/NLA28B- 1/NLA29-1)) ～ ケーブルトレイ (BHA03-1/BLA28- 1/NLA28A-1/NLA28B- 1/NLA29-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA10-1/BSA13-1)) ～ ケーブルトレイ (BSA10-1/BSA13-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA26A-1/NCA26B- 1/NCA27-1/NSA26A- 1/NSA26B-1/NSA27- 1)) ~ ケーブルトレイ (NCA26A-1/NCA26B- 1/NCA27-1/NSA26A- 1/NSA26B-1/NSA27-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACA01-1/ACA02- 1/ACA03-1)) ～ ケーブルトレイ (ACA01-1/ACA02- 1/ACA03-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA01-1/ALA02- 1/ALA03-1)) ～ ケーブルトレイ (ALA01-1/ALA02- 1/ALA03-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASA01-1)) ～ ケーブルトレイ (ASA01-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA01-1/BCA02- 1/BCA03-1/BLA01- 1/BLA02-1/BLA03-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA01-1/BCA02- 1/BCA03-1/BLA01- 1/BLA02-1/BLA03-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA04-1/BCA05-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA04-1/BCA05-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA04-2)) ～ ケーブルトレイ (BCA04-2)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA07-1/NLA26- 1/NSA11-1/NSA21A- 1)) ～ ケーブルトレイ (BCA07-1/NLA26- 1/NSA11-1/NSA21A-1)	4.6	40			

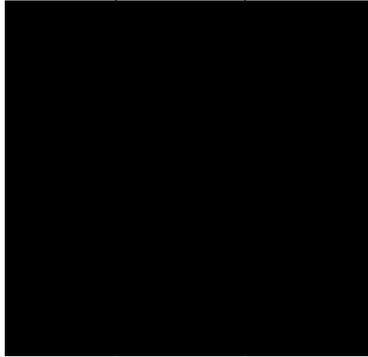
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA08-1/BLA07- 1/BSA08-1/NLA11-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA08-1/BLA07- 1/BSA08-1/NLA11-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA05-1/BLA10- 1/BSA05-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA05-1/BLA10- 1/BSA05-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA01-1/BSA02- 1/BSA03-1/NSA17- 1/NSA18A-1/NSA18B- 1)) ～ ケーブルトレイ (BSA01-1/BSA02- 1/BSA03-1/NSA17- 1/NSA18A-1/NSA18B- 1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA01-1/NCA02A-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA01-1/NCA02A-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA02A-1/NCA02B- 1/NCA03A-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA02A-1/NCA02B- 1/NCA03A-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA07A-1/NCA07B- 1/NCA08-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA07A-1/NCA07B- 1/NCA08-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA09-1/NCA10A- 1/NCA10B-1/NCA25- 1)) ～ ケーブルトレイ (NCA09-1/NCA10A- 1/NCA10B-1/NCA25-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA11-1/NCA21A- 1/NCA21B-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA11-1/NCA21A- 1/NCA21B-1)	4.6	40			

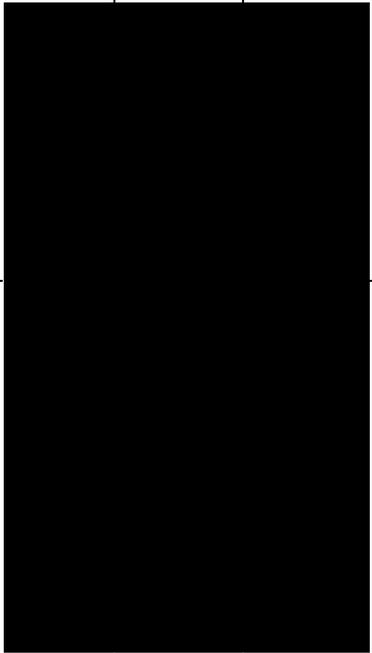
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA17-1/NCA18A- 1/NCA18B-1/NLA17- 1/NLA18A-1/NLA18B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NCA17-1/NCA18A- 1/NCA18B-1/NLA17- 1/NLA18A-1/NLA18B- 1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA28-1/NLA19- 1/NSA28-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA28-1/NLA19- 1/NSA28-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA01A-1/NLA01B- 1/NLA01C-1/NLA01D- 1/NLA02A-2)) ~ ケーブルトレイ (NLA01A-1/NLA01B- 1/NLA01C-1/NLA01D- 1/NLA02A-2))	4.6	40			

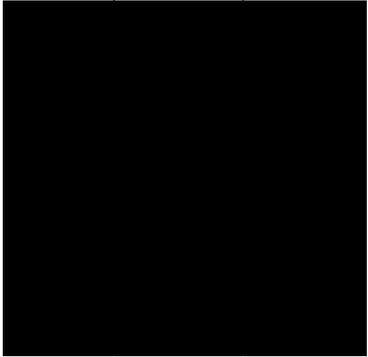
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA02A-1/NLA02B- 1/NLA03A-1/NLA03B- 1)) ~ ケーブルトレイ (NLA02A-1/NLA02B- 1/NLA03A-1/NLA03B- 1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA07A-1/NLA07B- 1/NLA08-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA07A-1/NLA07B- 1/NLA08-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA22-1/NLA23- 1/NLA24-1/NSA10A- 1/NSA10B-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA22-1/NLA23- 1/NLA24-1/NSA10A- 1/NSA10B-1)	4.6	40			

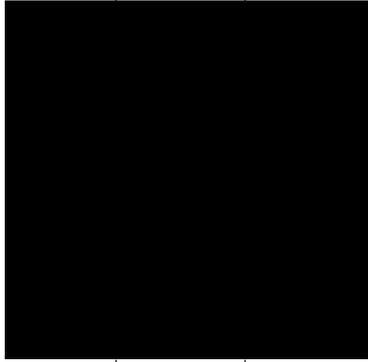
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA25-1/NSA25-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA25-1/NSA25-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA01-1/NSA02- 1/NSA03A-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA01-1/NSA02- 1/NSA03A-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA07A-1/NSA07B- 1/NSA07C-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA07A-1/NSA07B- 1/NSA07C-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACA04-1/ACA05- 1/ACA06-1/AHA03-1)) ～ ケーブルトレイ (ACA04-1/ACA05- 1/ACA06-1/AHA03-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA04-1/ALA05- 1/ALA06-1/ASA02- 1/ASA03-1/ASA04- 1/ASA05-1)) ～ ケーブルトレイ (ALA04-1/ALA05- 1/ALA06-1/ASA02- 1/ASA03-1/ASA04- 1/ASA05-1)	4.6	40			

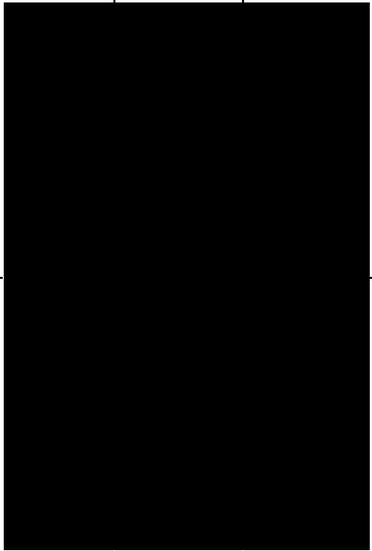
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA09-1/NLA10A- 1/NLA10B-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA09-1/NLA10A- 1/NLA10B-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC148A-1/NC148B- 1/NC149-1/NS110- 1/NS111A-1/NS111B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC148A-1/NC148B- 1/NC149-1/NS110- 1/NS111A-1/NS111B- 1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL130A-1/NL130B- 1/NL131-1)) ～ ケーブルトレイ (NL130A-1/NL130B- 1/NL131-1)	4.6	40			

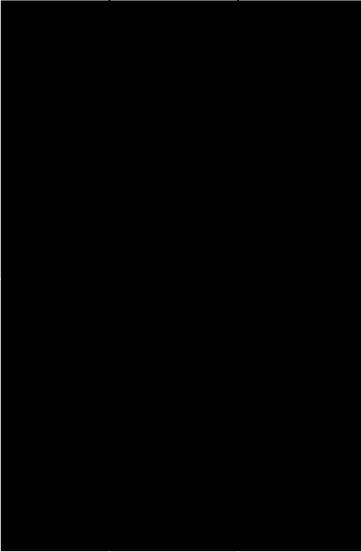
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC102-1/AC103- 1/BC101-1/BC102- 1/BC103-1)) ～ ケーブルトレイ (AC102-1/AC103- 1/BC101-1/BC102- 1/BC103-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC103-3)) ～ ケーブルトレイ (AC103-3)	4.6	40			

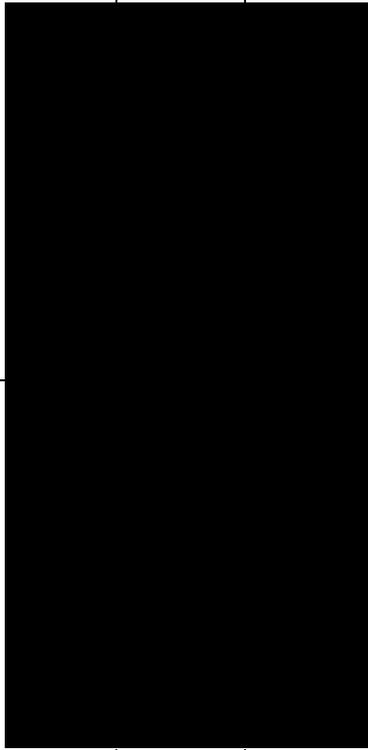
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC104-1)) ～ ケーブルトレイ (AC104-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL102-1/AL103- 1/BL101-1/BL102- 1/BL103-1)) ～ ケーブルトレイ (AL102-1/AL103- 1/BL101-1/BL102- 1/BL103-1)	4.6	40			

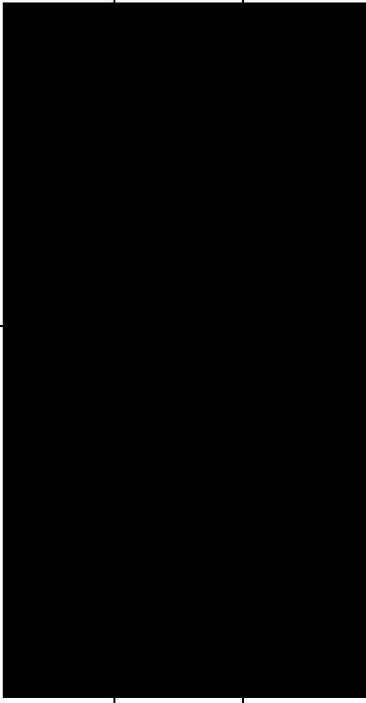
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL103-3)) ～ ケーブルトレイ (AL103-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL104-1)) ～ ケーブルトレイ (AL104-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL105-1/AL106- 1/AL107-1/AL108- 1/NC151-1/NL128-1)) ～ ケーブルトレイ (AL105-1/AL106- 1/AL107-1/AL108- 1/NC151-1/NL128-1))	4.6	40	[Redacted]		

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS101-1/AS102- 1/AS103-1/BS101- 1/BS102-1/BS103-1)) ~ ケーブルトレイ (AS101-1/AS102- 1/AS103-1/BS101- 1/BS102-1/BS103-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS103-3)) ～ ケーブルトレイ (AS103-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS104-1)) ～ ケーブルトレイ (AS104-1)	4.6	40			

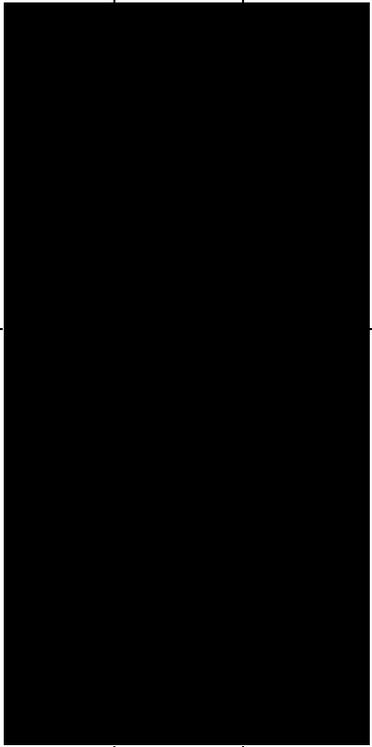
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC104-1/BC105- 1/BC106-1/BS104-1)) ～ ケーブルトレイ (BC104-1/BC105- 1/BC106-1/BS104-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL104-1/BL105- 1/BL106-1)) ～ ケーブルトレイ (BL104-1/BL105- 1/BL106-1)	4.6	40			

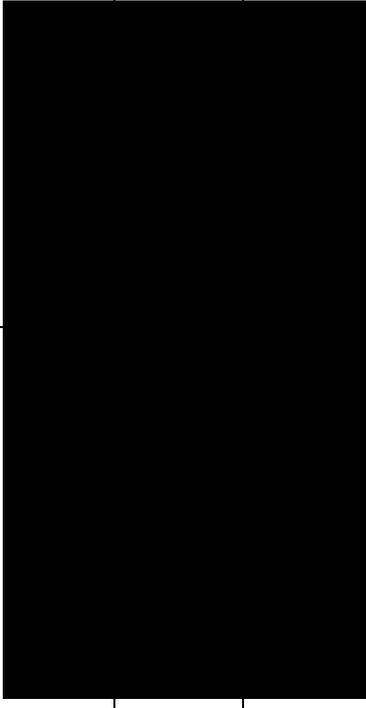
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC101A-1/NC106C- 2)) ～ ケーブルトレイ (NC101A-1/NC106C-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC102A-2/NC102B- 1/NC102C-1)) ～ ケーブルトレイ (NC102A-2/NC102B- 1/NC102C-1)	4.6	40			

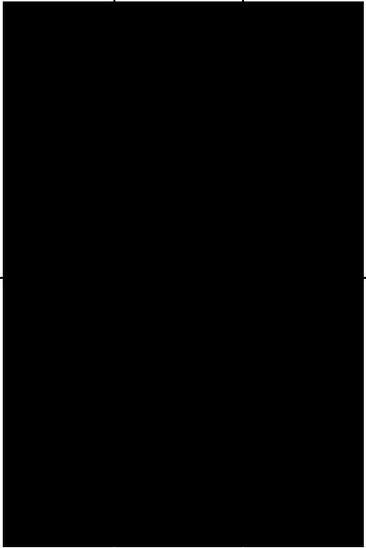
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC102BK1- 1/NC102BK2- 1/NC102BK3-1)) ～ ケーブルトレイ (NC102BK1- 1/NC102BK2- 1/NC102BK3-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC102CK-1/NS103K- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC102CK-1/NS103K- 1)	4.6	40			

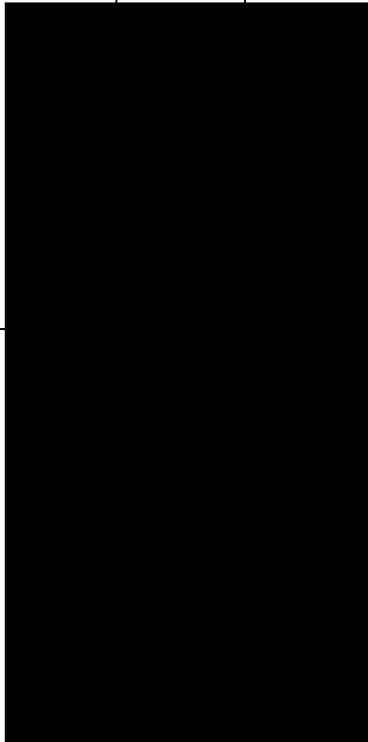
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC106A-1/NC106B- 1/NC106C-1/NC106CK- 1/NC106CK-2)) ～ ケーブルトレイ (NC106A-1/NC106B- 1/NC106C-1/NC106CK- 1/NC106CK-2)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC114A-1/NC114B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC114A-1/NC114B-1)	4.6	40			

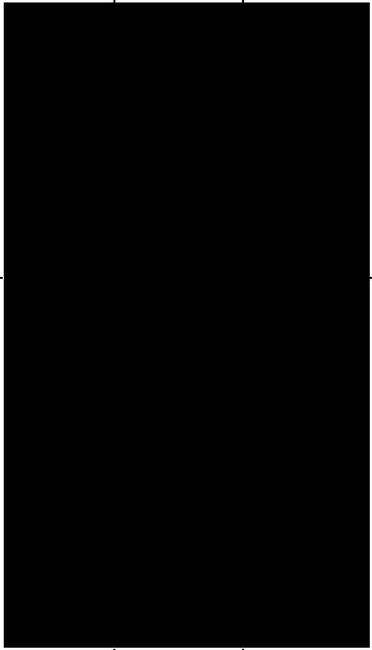
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC128A-1/NL123- 1/NS128A-1)) ～ ケーブルトレイ (NC128A-1/NL123- 1/NS128A-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC154-1/NL140- 1/NS130-1)) ～ ケーブルトレイ (NC154-1/NL140- 1/NS130-1)	4.6	40			

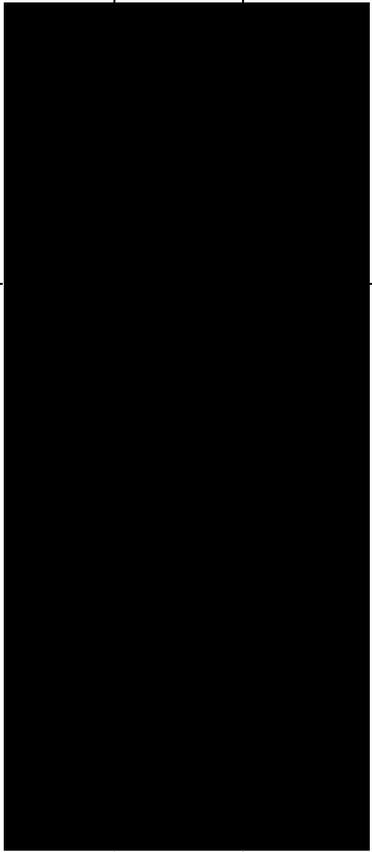
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL101A-1/NL106B- 2)) ～ ケーブルトレイ (NL101A-1/NL106B-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL102A-2/NL102B- 1/NL102C-1/NL114- 1)) ～ ケーブルトレイ (NL102A-2/NL102B- 1/NL102C-1/NL114-1)	4.6	40			

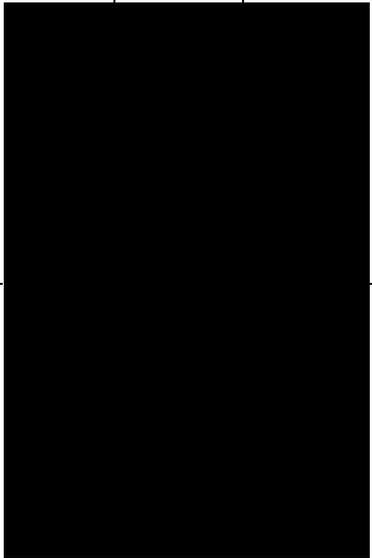
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL106A-1/NL106B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NL106A-1/NL106B-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL113-1/NS114A- 1/NS114B-1)) ～ ケーブルトレイ (NL113-1/NS114A- 1/NS114B-1)	4.6	40			

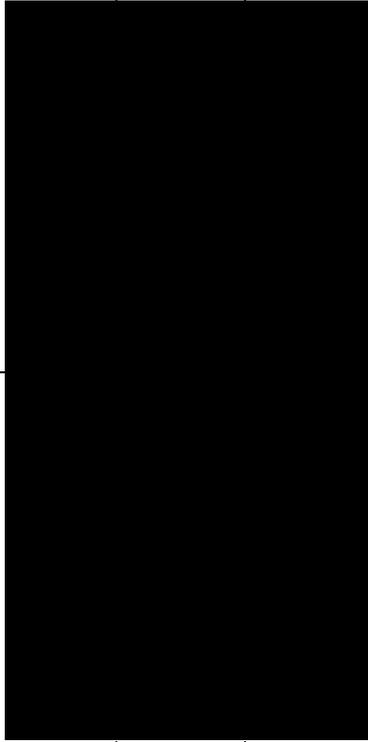
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS101-1/NS107B-2)) ～ ケーブルトレイ (NS101-1/NS107B-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS102-2/NS103-1)) ～ ケーブルトレイ (NS102-2/NS103-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS107A-2/NS107B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NS107A-2/NS107B-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC123-1/NC150A- 1/NC150B-1/NS123- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC123-1/NC150A- 1/NC150B-1/NS123-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL124-1)) ～ ケーブルトレイ (NL124-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL125-1/NL126- 1/NL127-1)) ～ ケーブルトレイ (NL125-1/NL126- 1/NL127-1)	4.6	40			

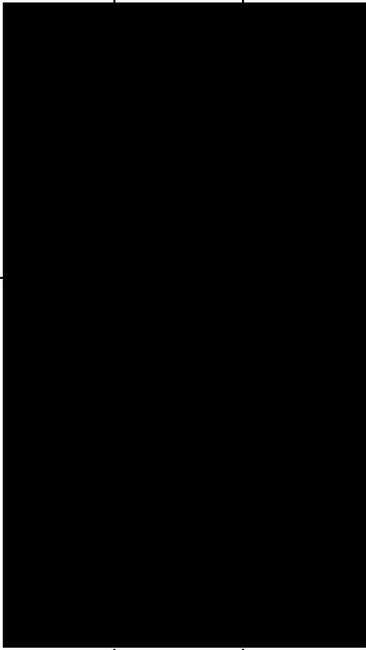
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC103-2)) ～ ケーブルトレイ (AC103-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC105-1/AC106- 1/AC107-1/AC108- 1/AS105-1/AS106- 1/AS107-1)) ～ ケーブルトレイ (AC105-1/AC106- 1/AC107-1/AC108- 1/AS105-1/AS106- 1/AS107-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL103-2)) ～ ケーブルトレイ (AL103-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS103-2)) ～ ケーブルトレイ (AS103-2)	4.6	40			

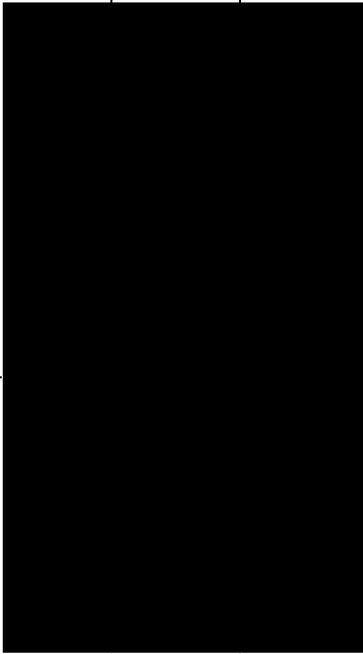
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC101A-2/NC101B- 1/NC102A-1)) ～ ケーブルトレイ (NC101A-2/NC101B- 1/NC102A-1)	4.6	40			
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC106A-2/NL106A- 2/NS107A-1)) ～ ケーブルトレイ (NC106A-2/NL106A- 2/NS107A-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC120-1/NC121A- 1/NC121B-1/NL120- 1/NL121A-1/NL121B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC120-1/NC121A- 1/NC121B-1/NL120- 1/NL121A-1/NL121B- 1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL101A-2/NL101B- 1/NL101C-1/NL101D- 1/NL102A-1)) ~ ケーブルトレイ (NL101A-2/NL101B- 1/NL101C-1/NL101D- 1/NL102A-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS101-2/NS102-1)) ～ ケーブルトレイ (NS101-2/NS102-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS120-1/NS121A- 1/NS121B-1)) ～ ケーブルトレイ (NS120-1/NS121A- 1/NS121B-1)	4.6	40			

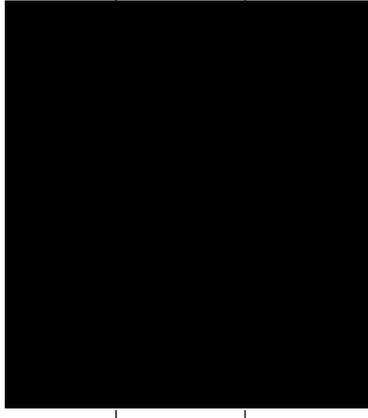
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC104-2/AL104- 2/AS104-2)) ～ ケーブルトレイ (AC104-2/AL104- 2/AS104-2)	4.6	40	[REDACTED]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC103A-1/NL103A- 1/NL136A-1/NL136B- 1/NS104-1)) ～ ケーブルトレイ (NC103A-1/NL103A- 1/NL136A-1/NL136B- 1/NS104-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC103E-1/NC130A- 1/NL129B-1)) ～ ケーブルトレイ (NC103E-1/NC130A- 1/NL129B-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC104-3)) ～ ケーブルトレイ (AC104-3)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL104-3/NC103B- 1/NC129-1/NC131-1)) ～ ケーブルトレイ (AL104-3/NC103B- 1/NC129-1/NC131-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS104-3/NC115A- 1/NC115B-1)) ～ ケーブルトレイ (AS104-3/NC115A- 1/NC115B-1)	4.6	40			

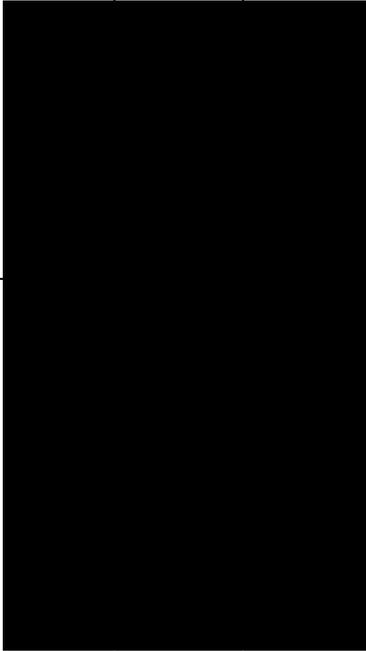
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC103A-2/NL103A- 2/NL115-1/NS104-2)) ～ ケーブルトレイ (NC103A-2/NL103A- 2/NL115-1/NS104-2)	4.6	40	[REDACTED]	
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC103C-1/NC103D- 1/NC104-1/NC147A- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC103C-1/NC103D- 1/NC104-1/NC147A-1)	4.6	40		

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC116-1/NC117A- 1/NC117B-1)) ～ ケーブルトレイ (NC116-1/NC117A- 1/NC117B-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL103B-1/NL116- 1/NL117A-1/NL117B- 1/NL137A-1)) ～ ケーブルトレイ (NL103B-1/NL116- 1/NL117A-1/NL117B- 1/NL137A-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS105-1/NS115A- 1/NS115B-1/NS116- 1)) ～ ケーブルトレイ (NS105-1/NS115A- 1/NS115B-1/NS116-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC215A-1/NC215B- 1/NS215A-1/NS215B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC215A-1/NC215B- 1/NS215A-1/NS215B- 1)	4.6	40			

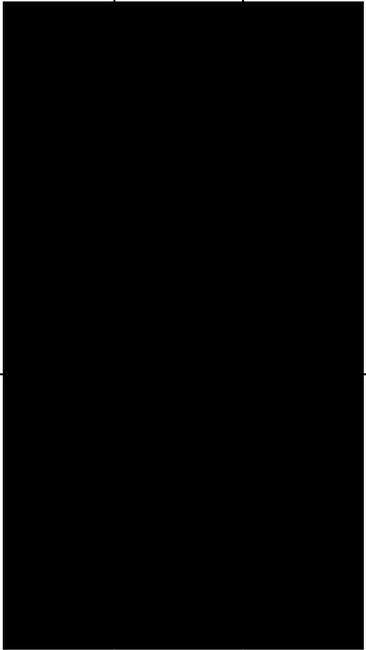
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL215A-1/NL215B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NL215A-1/NL215B-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC206-2)) ～ ケーブルトレイ (BC206-2)	4.6	40			

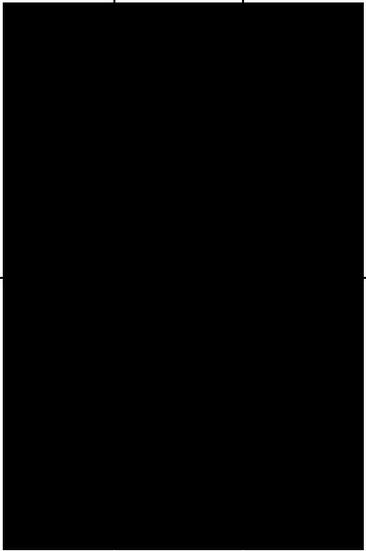
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL206-2)) ～ ケーブルトレイ (BL206-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC213-1/NC214- 1/NC220-1)) ～ ケーブルトレイ (NC213-1/NC214- 1/NC220-1)	4.6	40			

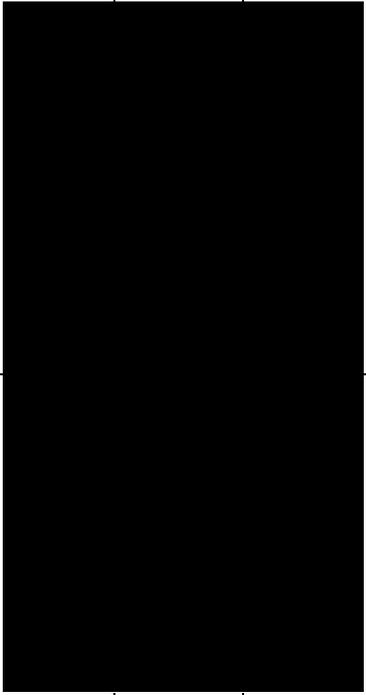
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL213-1/NL214A- 1/NL214B-1/NL218- 1)) ～ ケーブルトレイ (NL213-1/NL214A- 1/NL214B-1/NL218-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS213-1/NS214- 1/NS220-1)) ～ ケーブルトレイ (NS213-1/NS214- 1/NS220-1)	4.6	40			

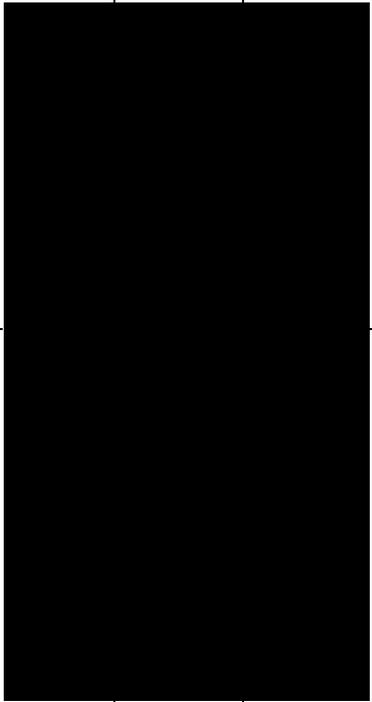
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC202-1/AC203- 1/AC204-1/AL202- 1/AL203-1/AL204-1)) ～ ケーブルトレイ (AC202-1/AC203- 1/AC204-1/AL202- 1/AL203-1/AL204-1))	4.6	40	[Redacted]		

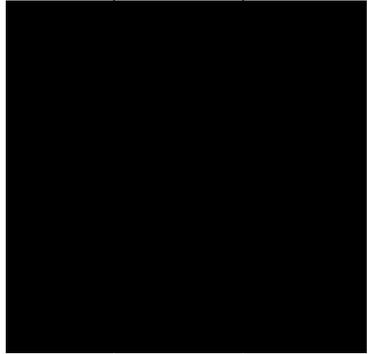
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS201-1/NL224- 1/NL225A-1/NL225B- 1)) ~ ケーブルトレイ (AS201-1/NL224- 1/NL225A-1/NL225B- 1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS202-1/AS203- 1/AS204-1)) ～ ケーブルトレイ (AS202-1/AS203- 1/AS204-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC202-3)) ～ ケーブルトレイ (BC202-3)	4.6	40			

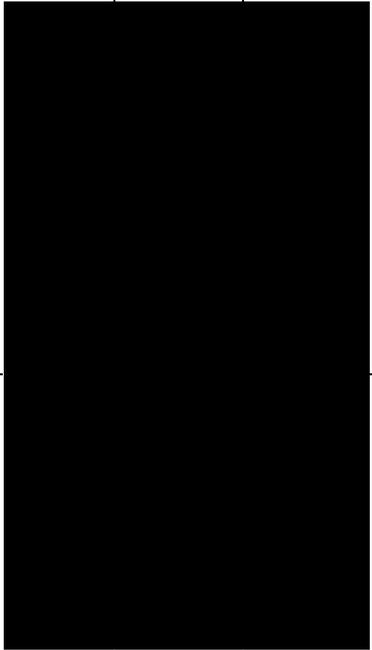
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL202-3)) ～ ケーブルトレイ (BL202-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS202-3)) ～ ケーブルトレイ (BS202-3)	4.6	40			

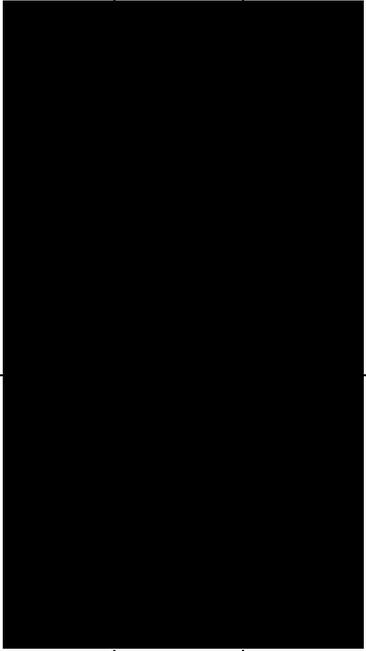
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC201A-1/NC207B- 1/NC207C-1)) ～ ケーブルトレイ (NC201A-1/NC207B- 1/NC207C-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC202A-1/NC202B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC202A-1/NC202B-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC202BK-1/NL228- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC202BK-1/NL228-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC202B-2/NC202C- 1/NC203-1)) ～ ケーブルトレイ (NC202B-2/NC202C- 1/NC203-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC213-2/NL213- 2/NS213-2)) ～ ケーブルトレイ (NC213-2/NL213- 2/NS213-2)	4.6	40			

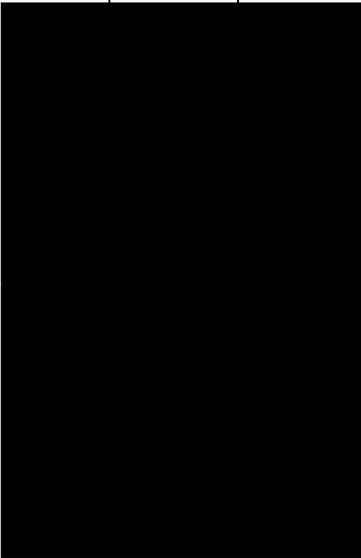
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC224-1/NC225A- 1/NC225B-1/NS224- 1/NS225A-1/NS225B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC224-1/NC225A- 1/NC225B-1/NS224- 1/NS225A-1/NS225B- 1)	4.6	40			

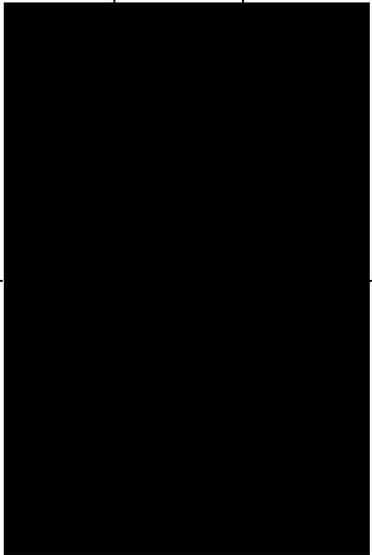
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC229A-1/NL229A- 1/NS229A-1)) ～ ケーブルトレイ (NC229A-1/NL229A- 1/NS229A-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC231-1/NS231-1)) ～ ケーブルトレイ (NC231-1/NS231-1)	4.6	40			

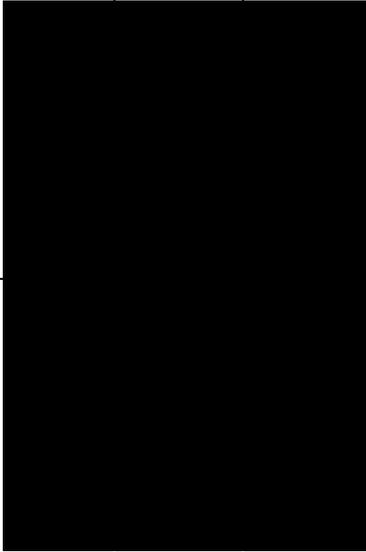
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC238A-1/NC238B- 1/NC239-1)) ～ ケーブルトレイ (NC238A-1/NC238B- 1/NC239-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL201A-1)) ～ ケーブルトレイ (NL201A-1)	4.6	40			

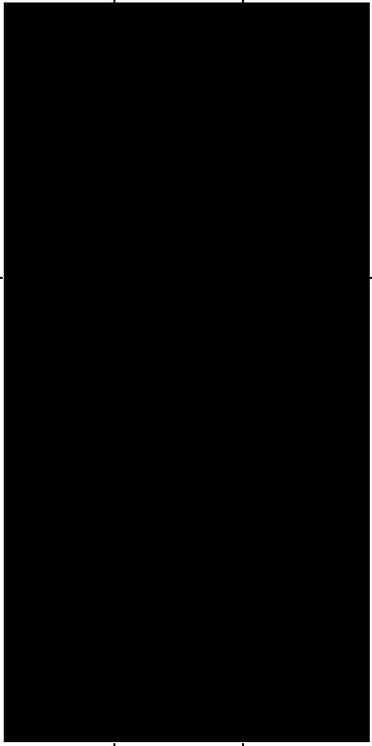
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL202A-1/NL202B- 1/NL202C-1/NL203- 1)) ～ ケーブルトレイ (NL202A-1/NL202B- 1/NL202C-1/NL203-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL210-1)) ～ ケーブルトレイ (NL210-1)	4.6	40			

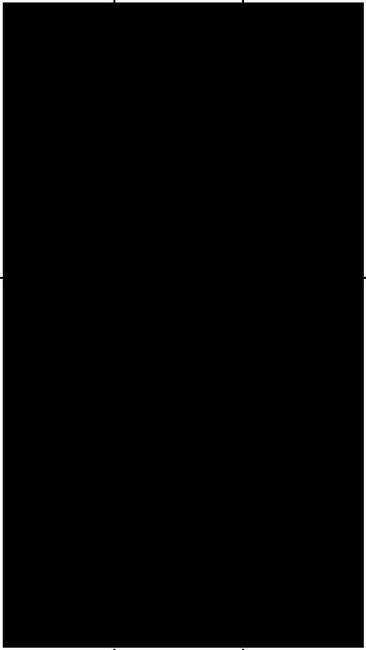
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS201A-1/NS207A- 1/NS207B-1)) ～ ケーブルトレイ (NS201A-1/NS207A- 1/NS207B-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS202A-1/NS202B- 1/NS203-1)) ～ ケーブルトレイ (NS202A-1/NS202B- 1/NS203-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC202-2)) ～ ケーブルトレイ (BC202-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL202-2)) ～ ケーブルトレイ (BL202-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS202-2)) ～ ケーブルトレイ (BS202-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC228-1/NL226-1)) ～ ケーブルトレイ (NC228-1/NL226-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC201-1/BC202-1)) ～ ケーブルトレイ (BC201-1/BC202-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL201-1/BL202-1)) ～ ケーブルトレイ (BL201-1/BL202-1)	4.6	40			

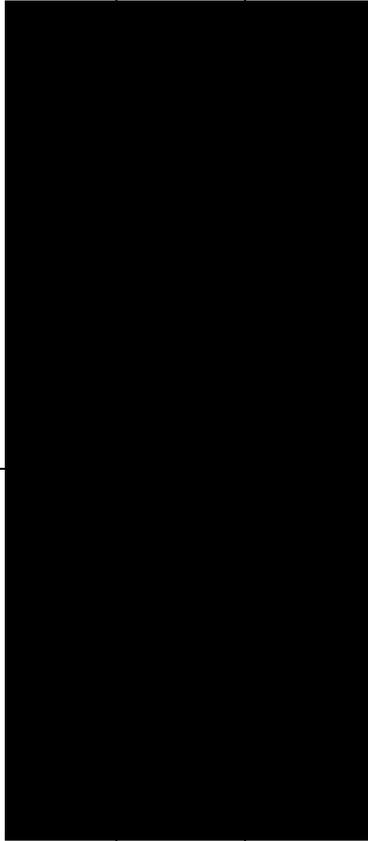
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS201-1/BS202-1)) ～ ケーブルトレイ (BS201-1/BS202-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC201A-2/NC201B- 1/NC201C-1/NC201D- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC201A-2/NC201B- 1/NC201C-1/NC201D- 1)	4.6	40			

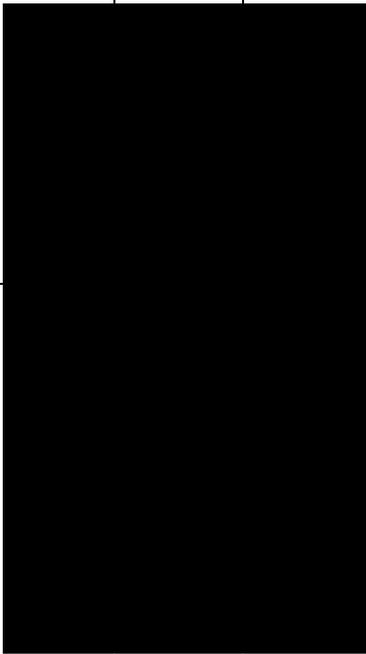
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC207D-1)) ～ ケーブルトレイ (NC207D-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC227-1/NS227- 1/NS228-1)) ～ ケーブルトレイ (NC227-1/NS227- 1/NS228-1)	4.6	40			

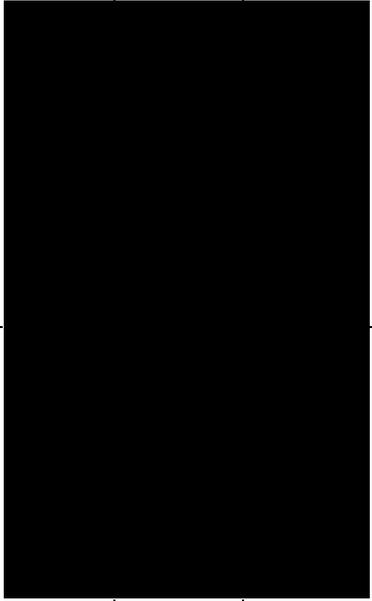
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC230-1/NL227- 1/NL227K-1/NS230- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC230-1/NL227- 1/NL227K-1/NS230-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL201A-2/NL201C- 1/NL201D-1)) ～ ケーブルトレイ (NL201A-2/NL201C- 1/NL201D-1)	4.6	40			

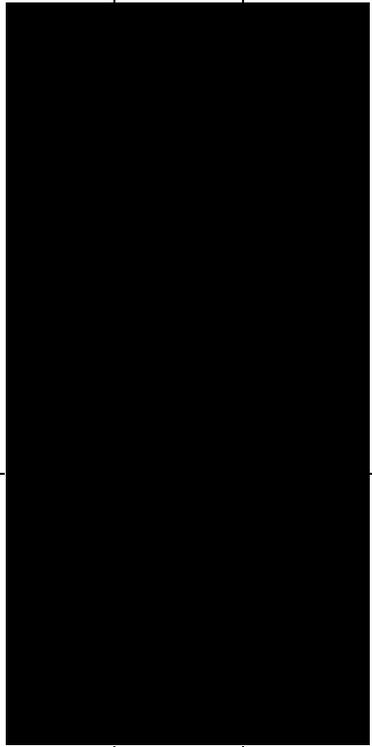
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS201A-2/NS201B- 1/NS201C-1/NS201D- 1)) ~ ケーブルトレイ (NS201A-2/NS201B- 1/NS201C-1/NS201D- 1)	4.6	40			

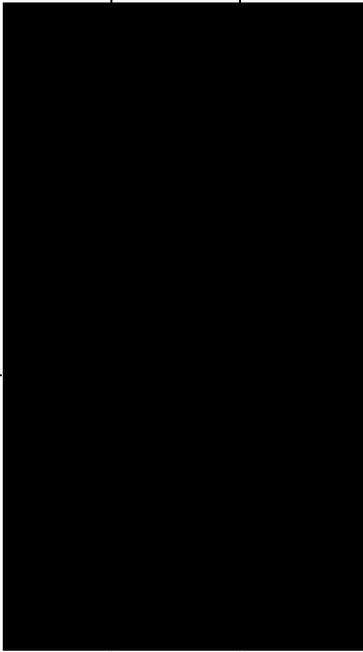
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC202-4/BC203- 1/BC204-1/BC205- 1/BC206-1)) ~ ケーブルトレイ (BC202-4/BC203- 1/BC204-1/BC205- 1/BC206-1)	4.6	40			

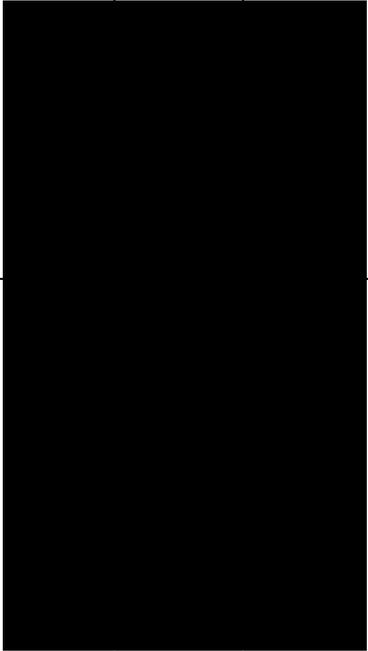
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL202-4/BL203- 1/BL204-1/BL205- 1/BL206-1)) ～ ケーブルトレイ (BL202-4/BL203- 1/BL204-1/BL205- 1/BL206-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS202-4/BS203- 1/BS204-1/BS205-1)) ～ ケーブルトレイ (BS202-4/BS203- 1/BS204-1/BS205-1)	4.6	40			

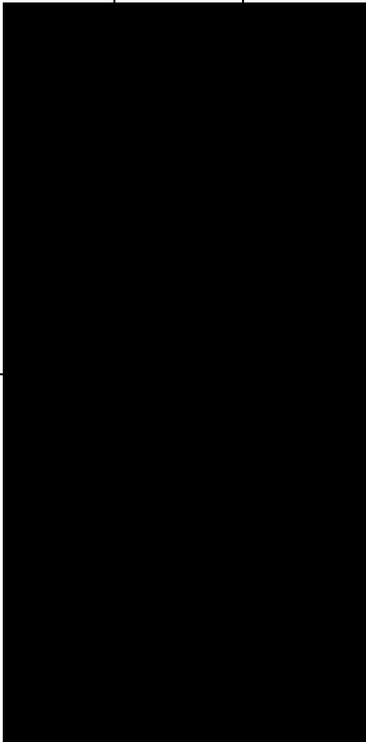
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC203-2/NC204A-1)) ～ ケーブルトレイ (NC203-2/NC204A-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC204B-1/NC204C- 1/NC206-1)) ～ ケーブルトレイ (NC204B-1/NC204C- 1/NC206-1)	4.6	40			

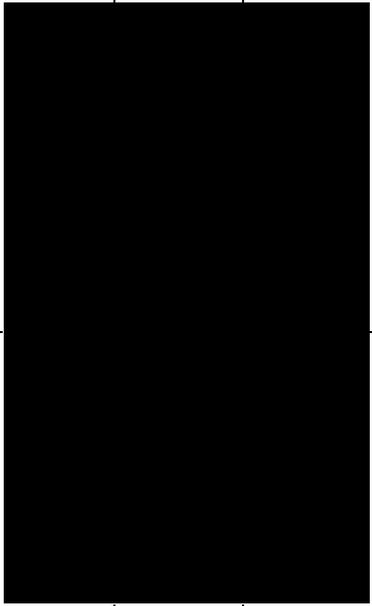
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC208A-1/NC208B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC208A-1/NC208B-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC210-1/NS210-1)) ～ ケーブルトレイ (NC210-1/NS210-1)	4.6	40			

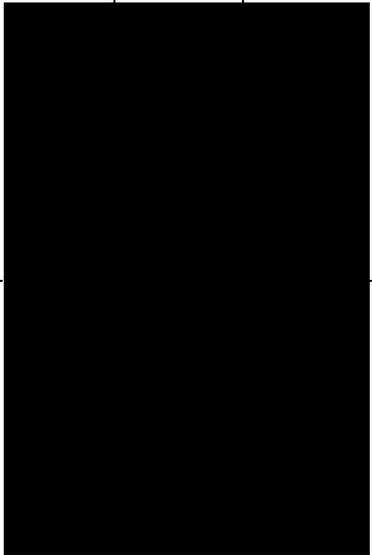
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC216A-1/NC216B- 1/NC217A-1/NC217B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC216A-1/NC216B- 1/NC217A-1/NC217B- 1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC219-1)) ～ ケーブルトレイ (NC219-1)	4.6	40			

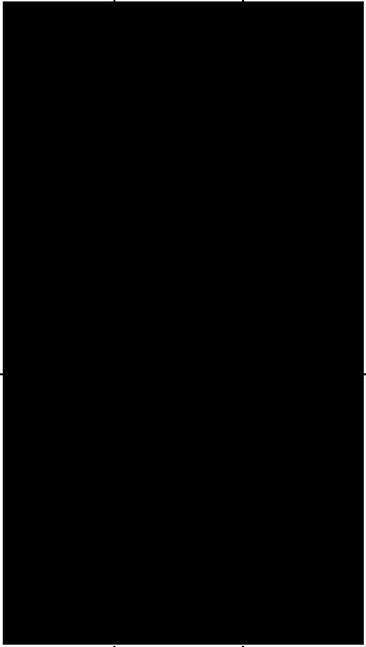
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL203-2/NL204A- 1/NL206-1)) ～ ケーブルトレイ (NL203-2/NL204A- 1/NL206-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL204BK-1)) ～ ケーブルトレイ (NL204BK-1)	4.6	40			

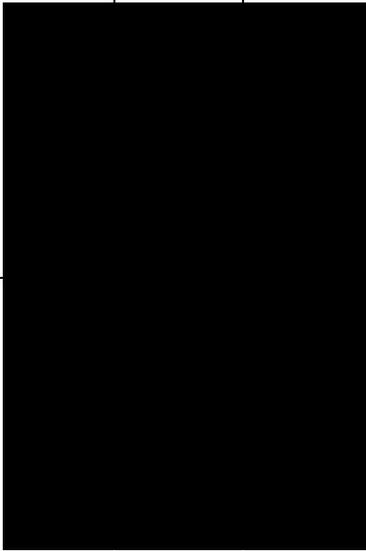
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL208-1)) ～ ケーブルトレイ (NL208-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL216-1/NL217A- 1/NL217B-1)) ～ ケーブルトレイ (NL216-1/NL217A- 1/NL217B-1)	4.6	40			

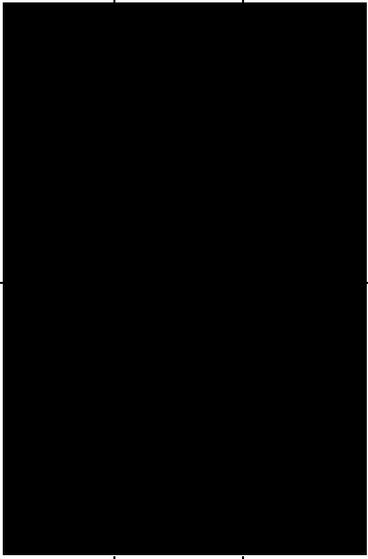
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS203-2/NS204A- 1/NS204B-1)) ～ ケーブルトレイ (NS203-2/NS204A- 1/NS204B-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS216-1/NS217A- 1/NS217B-1)) ～ ケーブルトレイ (NS216-1/NS217A- 1/NS217B-1)	4.6	40			

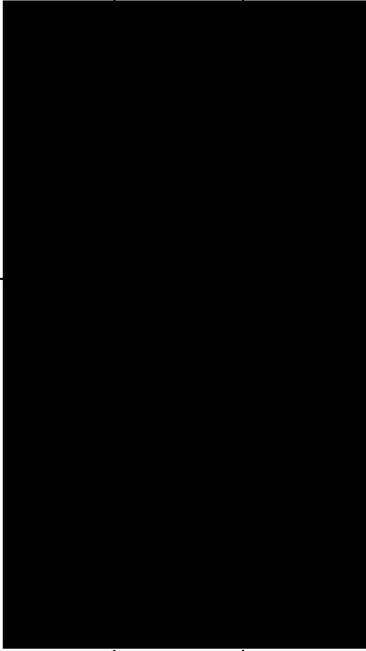
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC205A-1/NC205B- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC205A-1/NC205B-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC206-2/NL207-1)) ～ ケーブルトレイ (NC206-2/NL207-1)	4.6	40			

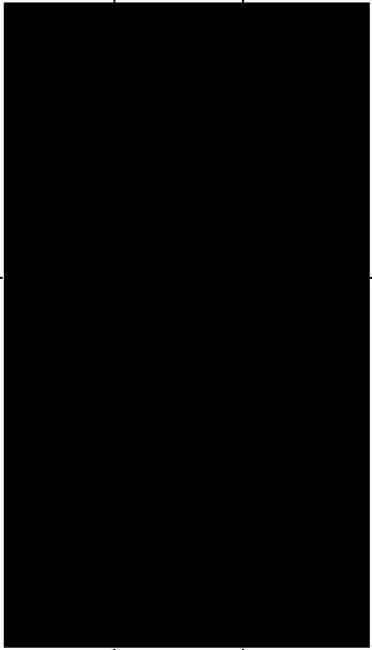
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL204B-1/NL205-1)) ～ ケーブルトレイ (NL204B-1/NL205-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS205-1/NS219-1)) ～ ケーブルトレイ (NS205-1/NS219-1)	4.6	40			

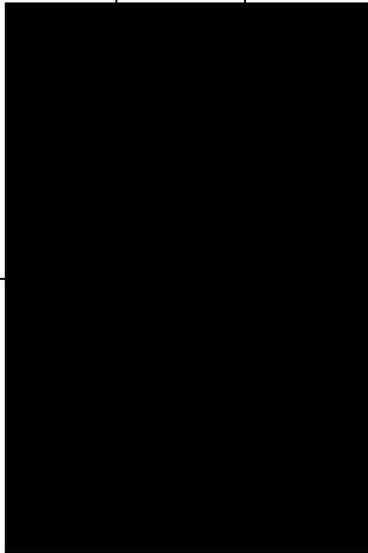
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC301-1/AC302- 1/AC303-1/AC304-1)) ～ ケーブルトレイ (AC301-1/AC302- 1/AC303-1/AC304-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL301-1/AL302-1)) ～ ケーブルトレイ (AL301-1/AL302-1)	4.6	40			

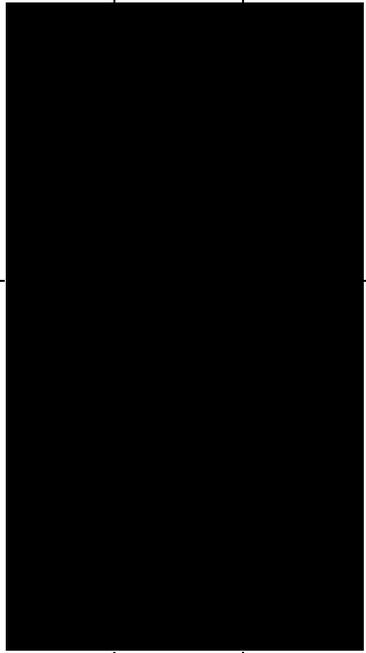
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL303-1/AL304-1)) ～ ケーブルトレイ (AL303-1/AL304-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS302-1/AS302-2)) ～ ケーブルトレイ (AS302-1/AS302-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC301-1)) ～ ケーブルトレイ (BC301-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL301-1)) ～ ケーブルトレイ (BL301-1)	4.6	40			

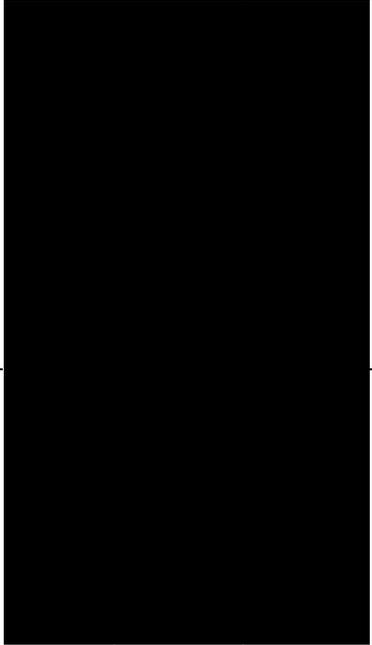
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS301-1)) ～ ケーブルトレイ (BS301-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC302A-1/NC302B- 1/NC303-2)) ～ ケーブルトレイ (NC302A-1/NC302B- 1/NC303-2)	4.6	40			

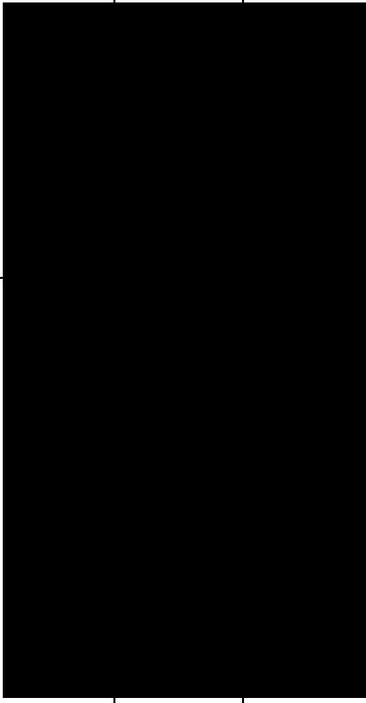
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC304A-1)) ～ ケーブルトレイ (NC304A-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC311-1/NL302K- 1/NS311-1)) ～ ケーブルトレイ (NC311-1/NL302K- 1/NS311-1)	4.6	40			

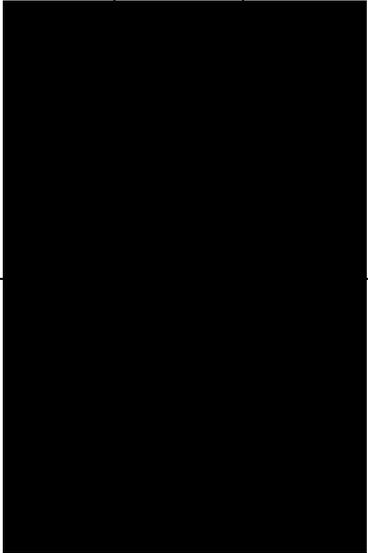
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC317-1/NS317-1)) ～ ケーブルトレイ (NC317-1/NS317-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC324-1/NS324-1)) ～ ケーブルトレイ (NC324-1/NS324-1)	4.6	40			

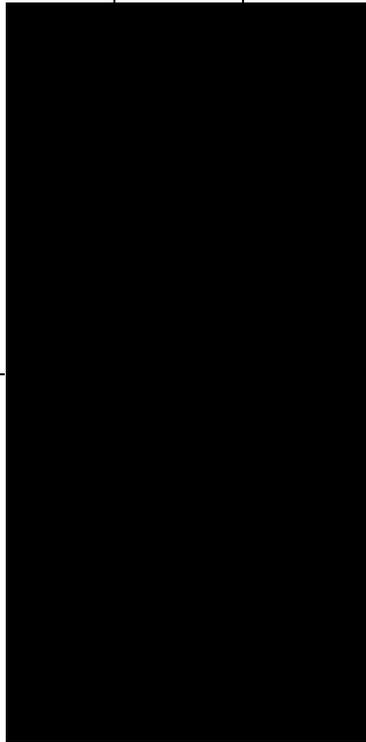
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC333-1)) ～ ケーブルトレイ (NC333-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC334-1/NC335B- 1/NL311-1)) ～ ケーブルトレイ (NC334-1/NC335B- 1/NL311-1)	4.6	40			

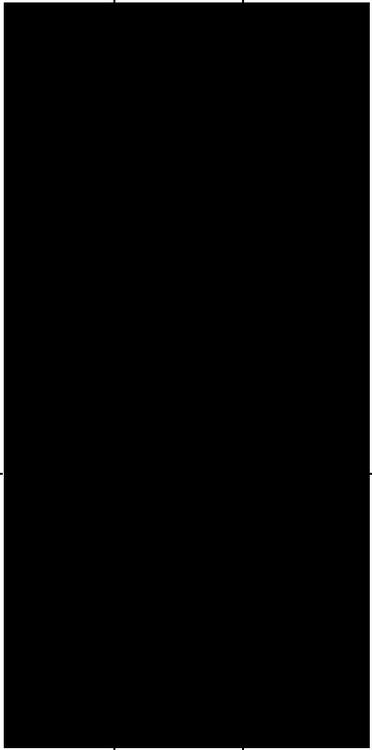
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL301B-2/NL301C- 1/NL301D-1/NL301E- 1/NL301F-2)) ～ ケーブルトレイ (NL301B-2/NL301C- 1/NL301D-1/NL301E- 1/NL301F-2)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL303-1)) ～ ケーブルトレイ (NL303-1)	4.6	40			

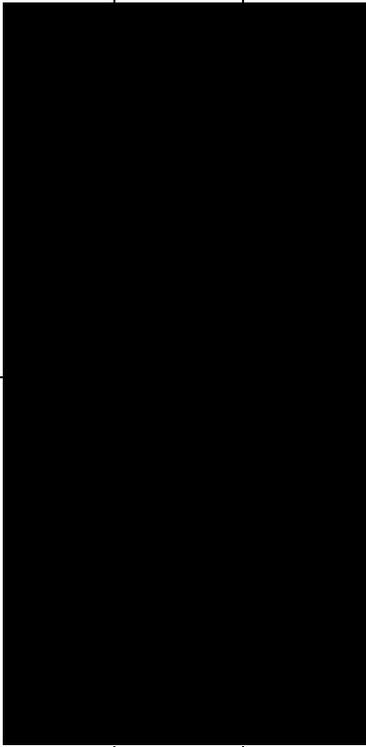
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL303K1-1/NL303K2- 1/NL303K3-1)) ～ ケーブルトレイ (NL303K1-1/NL303K2- 1/NL303K3-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL317-1)) ～ ケーブルトレイ (NL317-1)	4.6	40			

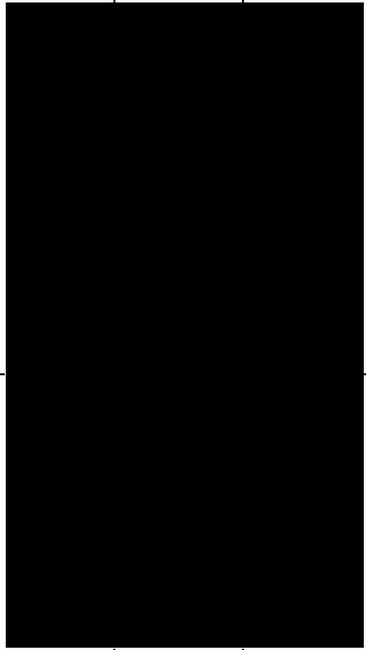
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL324-1/NL325-1)) ～ ケーブルトレイ (NL324-1/NL325-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS301B-2/NS301C- 1/NS301D-1/NS302- 2)) ～ ケーブルトレイ (NS301B-2/NS301C- 1/NS301D-1/NS302-2)	4.6	40			

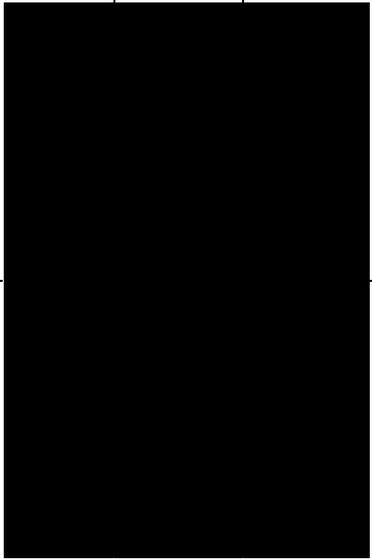
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS304-1)) ～ ケーブルトレイ (NS304-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS301-1)) ～ ケーブルトレイ (AS301-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC301A-1/NC301B- 1/NC307-1)) ～ ケーブルトレイ (NC301A-1/NC301B- 1/NC307-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC301B-2/NC301C- 1/NC301D-1)) ～ ケーブルトレイ (NC301B-2/NC301C- 1/NC301D-1)	4.6	40			

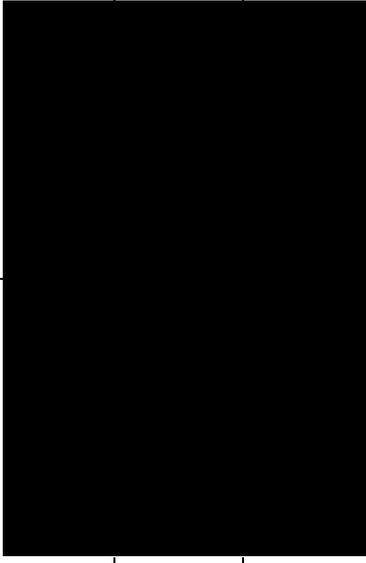
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC303-1/NC304A- 2/NC304B-1/NC304C- 1)) ～ ケーブルトレイ (NC303-1/NC304A- 2/NC304B-1/NC304C- 1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC321-1/NC321-2)) ～ ケーブルトレイ (NC321-1/NC321-2)	4.6	40			

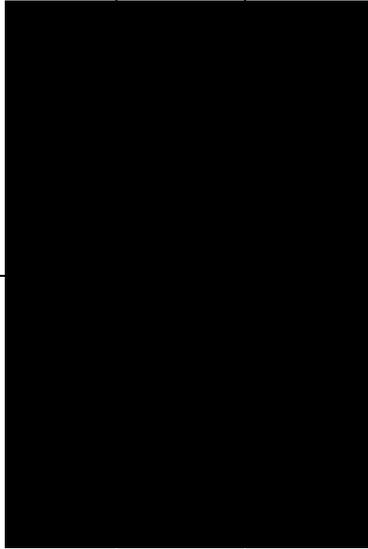
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC322-1/NC323- 1/NC323-2)) ～ ケーブルトレイ (NC322-1/NC323- 1/NC323-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL301A-1/NL301B- 1/NL309-1)) ～ ケーブルトレイ (NL301A-1/NL301B- 1/NL309-1)	4.6	40			

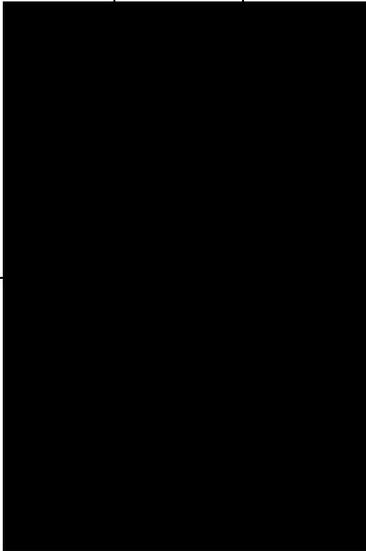
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL301F-1/NL302- 1/NL303-2)) ～ ケーブルトレイ (NL301F-1/NL302- 1/NL303-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL321-1/NL321-2)) ～ ケーブルトレイ (NL321-1/NL321-2)	4.6	40			

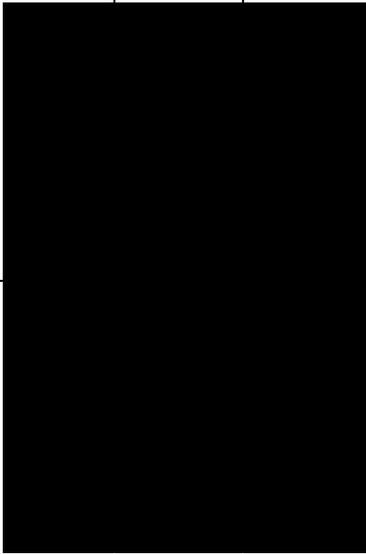
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL322-1)) ～ ケーブルトレイ (NL322-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL323-1/NL323-2)) ～ ケーブルトレイ (NL323-1/NL323-2)	4.6	40			

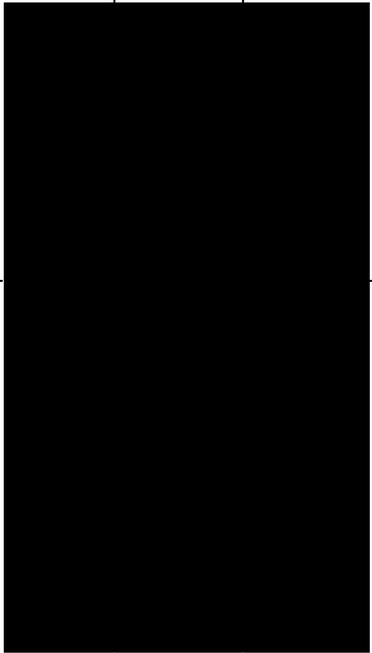
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS301A-1/NS301B- 1/NS307-1)) ～ ケーブルトレイ (NS301A-1/NS301B- 1/NS307-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS302-1/NS303- 1/NS304-2)) ～ ケーブルトレイ (NS302-1/NS303- 1/NS304-2)	4.6	40			

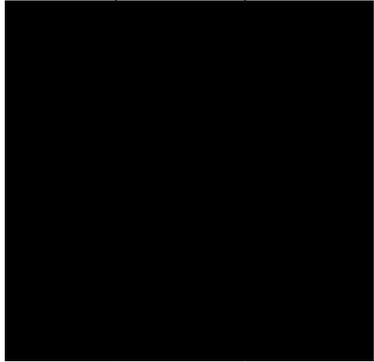
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS321-1/NS321-2)) ～ ケーブルトレイ (NS321-1/NS321-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS322-1)) ～ ケーブルトレイ (NS322-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS323-1/NS323-2)) ～ ケーブルトレイ (NS323-1/NS323-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL403-1)) ～ ケーブルトレイ (AL403-1)	4.6	40			

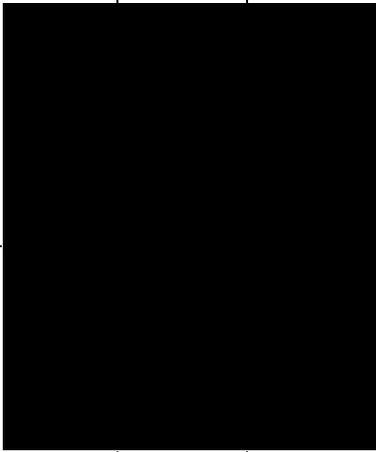
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS401-1)) ～ ケーブルトレイ (AS401-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC402-1/NC403A-1)) ～ ケーブルトレイ (NC402-1/NC403A-1)	4.6	40			

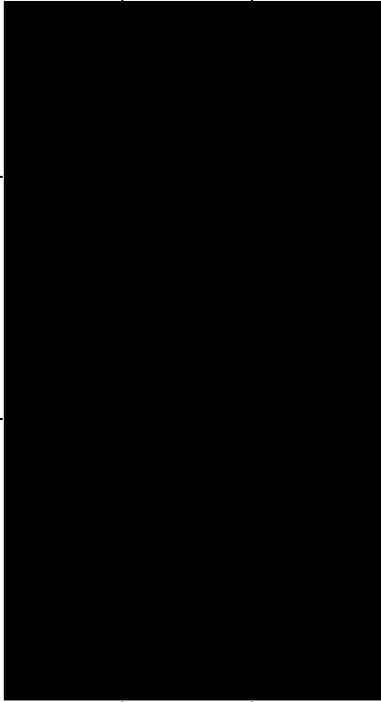
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL402-1/NL403A-1)) ～ ケーブルトレイ (NL402-1/NL403A-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL401-1)) ～ ケーブルトレイ (BL401-1)	4.6	40			

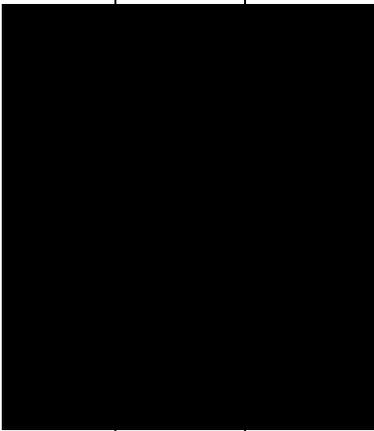
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS401-1)) ～ ケーブルトレイ (BS401-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC403A-2/NC403B- 1/NC404-1)) ～ ケーブルトレイ (NC403A-2/NC403B- 1/NC404-1)	4.6	40			

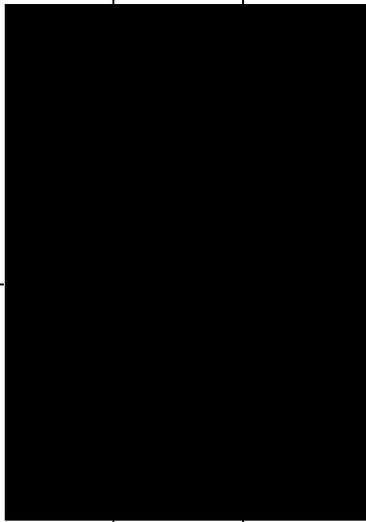
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL403A-2/NL403B- 1/NL404-1)) ～ ケーブルトレイ (NL403A-2/NL403B- 1/NL404-1)	4.6	40			

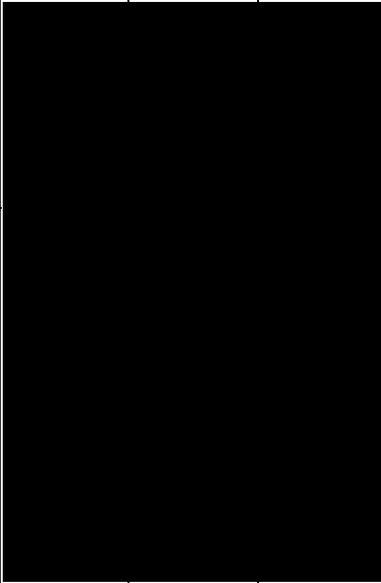
注記 * : 公称値を示す。

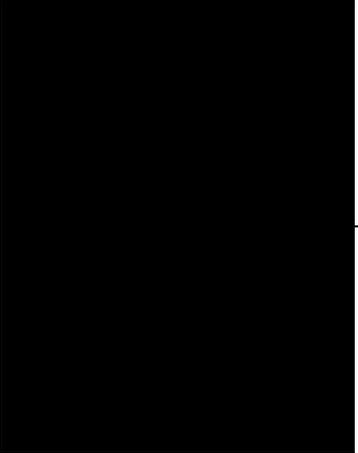
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALB01-1/ASB01-1/ ACB01-1)) ～ ケーブルトレイ (ALB01-1/ASB01-1/ ACB01-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC165-1/NS165-1)) ～ ケーブルトレイ (NC165-1/NS165-1)	4.6	40			

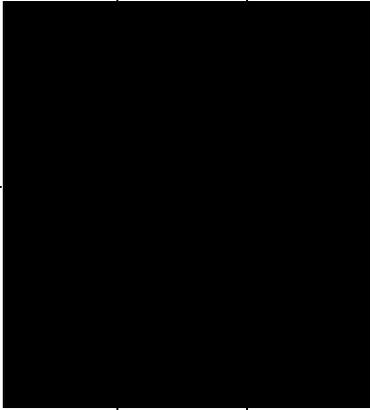
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC201-1/BS201-1)) ～ ケーブルトレイ (BC201-1/BS201-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL201-1)) ～ ケーブルトレイ (BL201-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC248-1/NC256-1/ NC243-1)) ～ ケーブルトレイ (NC248-1/NC256-1/ NC243-1)	4.6	40			

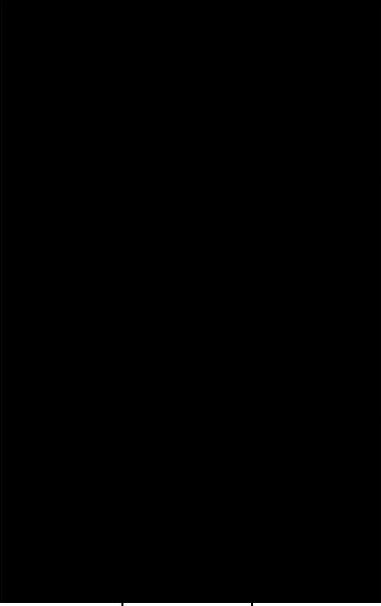
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS232-1/NS256-1)) ～ ケーブルトレイ (NS232-1/NS256-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC209-1)) ～ ケーブルトレイ (NC209-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS209-1/NS258-1/ NS259-1/NS258-2)) ～ ケーブルトレイ (NS209-1/NS258-1/ NS259-1/NS258-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC301-1/BS301-1)) ～ ケーブルトレイ (BC301-1/BS301-1)	4.6	40			

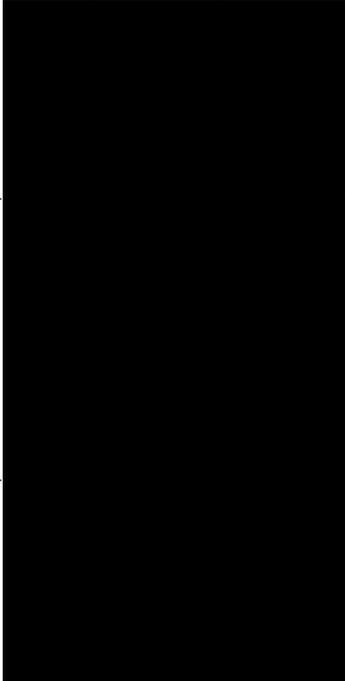
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL301-1)) ～ ケーブルトレイ (BL301-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC347-1/NC348-1/ NC349-1/NS347-1/ NS348-1/NS349-1)) ～ ケーブルトレイ (NC347-1/NC348-1/ NC349-1/NS347-1/ NS348-1/NS349-1)	4.6	40			

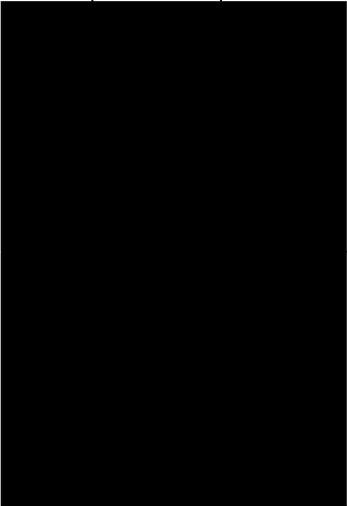
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC348-2/NS348-2)) ～ ケーブルトレイ (NC348-2/NS348-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC401-1)) ～ ケーブルトレイ (BC401-1)	4.6	40			

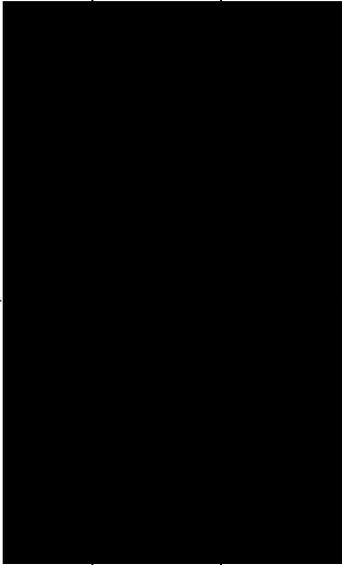
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL401-1)) ～ ケーブルトレイ (BL401-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC401-1)) ～ ケーブルトレイ (NC401-1)	4.6	40			

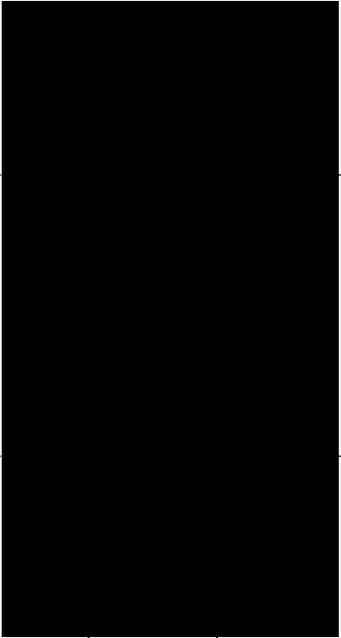
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL401-1)) ～ ケーブルトレイ (NL401-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS401-1)) ～ ケーブルトレイ (NS401-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL401-2/BC401-2)) ～ ケーブルトレイ (BL401-2/BC401-2)	4.6	40			

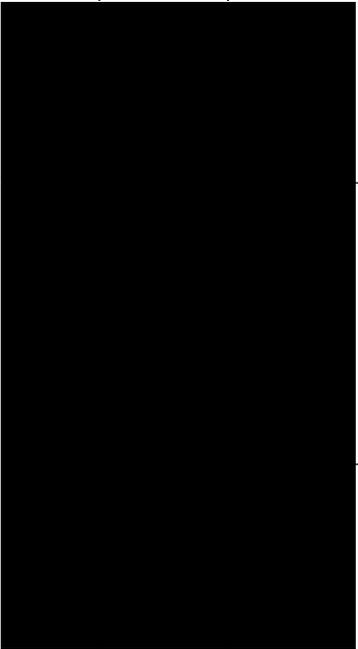
注記 * : 公称値を示す。

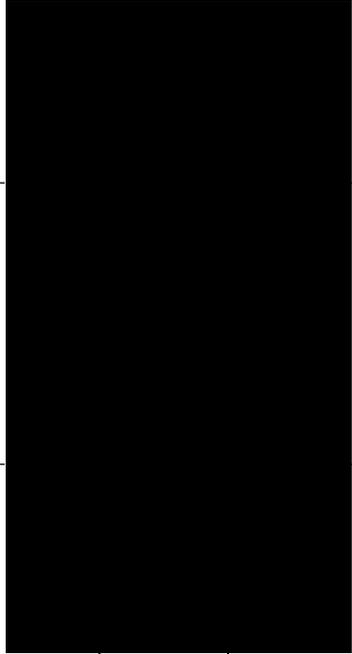
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA02-1/NLA04-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA02-1/NLA04-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA02-2/NLA27-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA02-2/NLA27-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA05-1/NSA05-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA05-1/NSA05-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA06-1/NLA11-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA06-1/NLA11-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA09-1/NCA22-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA09-1/NCA22-1)	4.6	40			

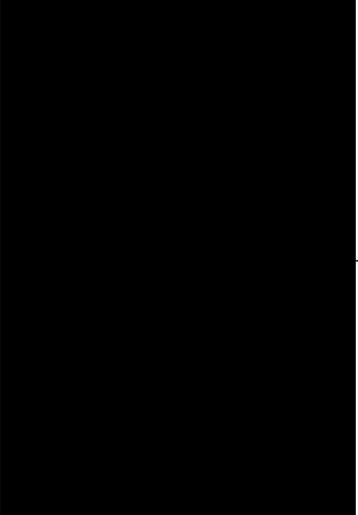
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA23-1/NCA35-1/ NSA21-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA23-1/NCA35-1/ NSA21-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA02-1/NCA04-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA02-1/NCA04-1)	4.6	40			

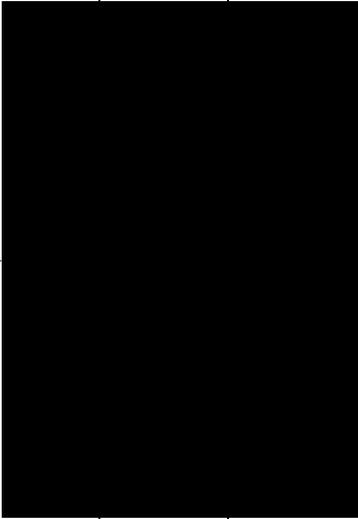
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA02-2/NCA40-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA02-2/NCA40-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA05-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA05-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA16-1/NCA21-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA16-1/NCA21-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA46-1/NCA48-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA46-1/NCA48-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA48-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA48-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA02-1/NSA04-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA02-1/NSA04-1)	4.6	40			

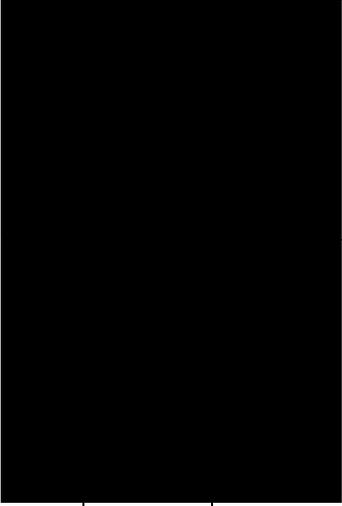
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA02-2/NSA23-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA02-2/NSA23-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA08-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA08-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHA01-1)) ～ ケーブルトレイ (AHA01-1)	4.6	40			

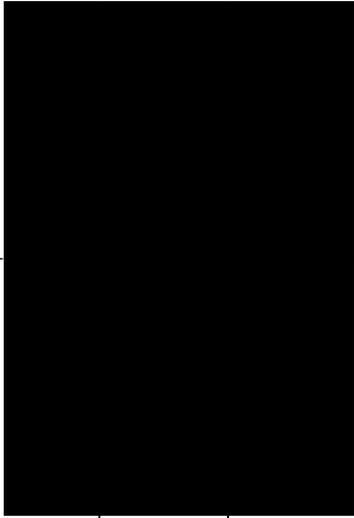
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA01-1/ALA02-1)) ～ ケーブルトレイ (ALA01-1/ALA02-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA02-2)) ～ ケーブルトレイ (ALA02-2)	4.6	40			

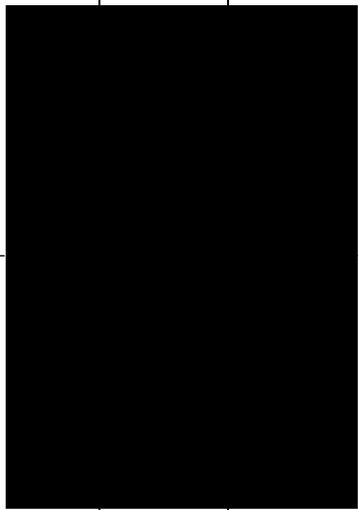
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA02-3/ACA04-1/ ASA04-1)) ～ ケーブルトレイ (ALA02-3/ACA04-1/ ASA04-1)	4.6	40			
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA03-1/ACA03-1/ ASA03-1)) ～ ケーブルトレイ (ALA03-1/ACA03-1/ ASA03-1)	4.6	40			

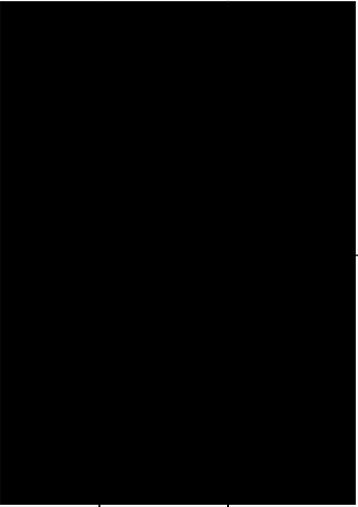
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACA01-1/ACA02-1)) ～ ケーブルトレイ (ACA01-1/ACA02-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACA02-2/ACA04-2/ ACA05-1)) ～ ケーブルトレイ (ACA02-2/ACA04-2/ ACA05-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASA01-1/ASA02-1)) ～ ケーブルトレイ (ASA01-1/ASA02-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASA02-2/ASA04-2/ ASA05-1)) ～ ケーブルトレイ (ASA02-2/ASA04-2/ ASA05-1)	4.6	40			

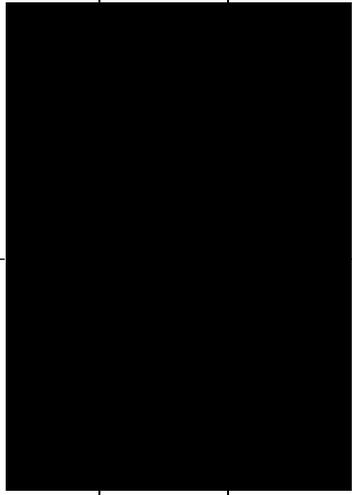
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BHA01-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA01-1/BCA01-1/ BSA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA01-1/BCA01-1/ BSA01-1)	4.6	40			

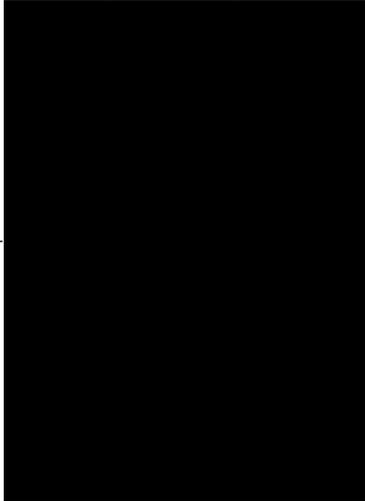
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA02-1/BLA03-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA02-1/BLA03-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA02-2/BCA04-1/ BSA05-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA02-2/BCA04-1/ BSA05-1)	4.6	40			

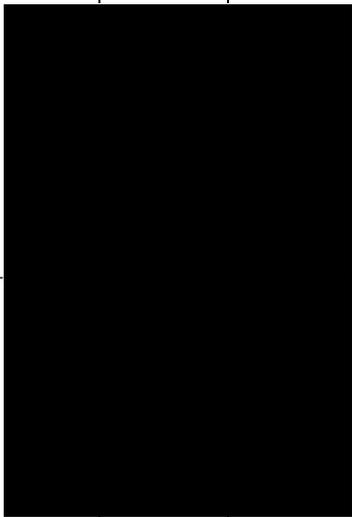
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA03-2/BCA03-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA03-2/BCA03-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA02-1/BCA03-2/ BCA04-2/BCA05-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA02-1/BCA03-2/ BCA04-2/BCA05-1)	4.6	40			

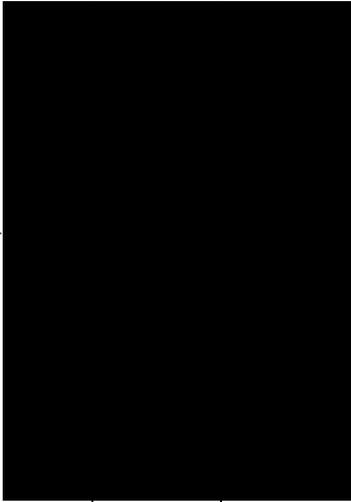
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA02-1/BSA03-1/ BSA04-1/BSA05-2)) ～ ケーブルトレイ (BSA02-1/BSA03-1/ BSA04-1/BSA05-2)	4.6	40			
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA03-2)) ～ ケーブルトレイ (BSA03-2)	4.6	40			

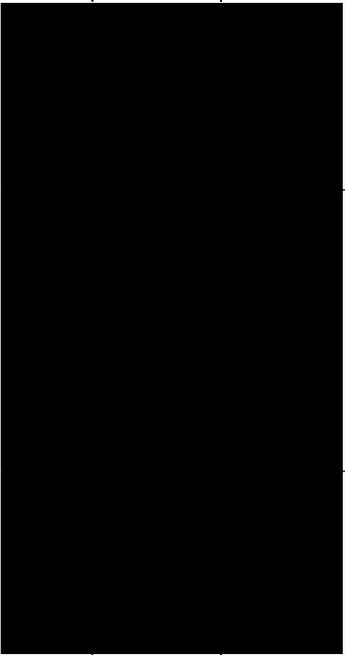
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHA01-1/NHA02-1)) ～ ケーブルトレイ (NHA01-1/NHA02-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHA03-1/NCA46-2/ NSA24-1)) ～ ケーブルトレイ (NHA03-1/NCA46-2/ NSA24-1)	4.6	40			

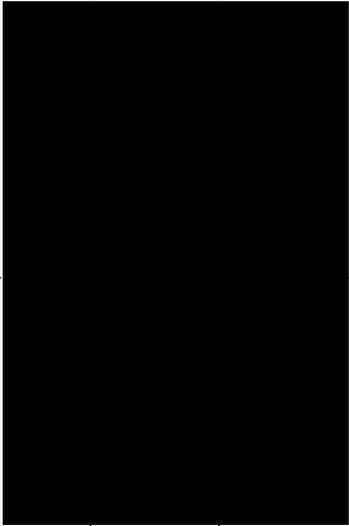
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA01-1/NCA47-1/ NSA01-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA01-1/NCA47-1/ NSA01-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA04-2/NLA06-2)) ～ ケーブルトレイ (NLA04-2/NLA06-2)	4.6	40			

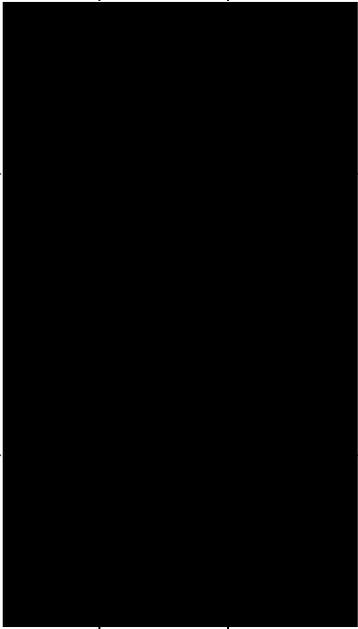
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA07-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA07-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA11-2/NLA12-1/ NSA08-2/NSA12-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA11-2/NLA12-1/ NSA08-2/NSA12-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA13-1/NCA27-1/ NSA13-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA13-1/NCA27-1/ NSA13-1)	4.6	40			
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA14-1/NLA15-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA14-1/NLA15-1)	4.6	40			

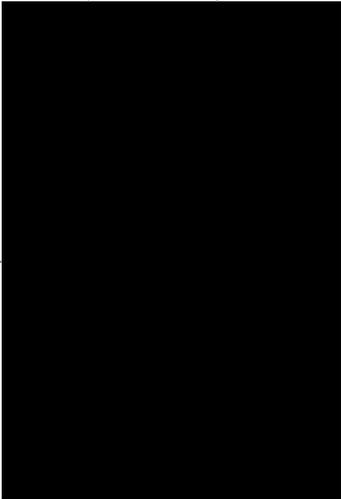
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA14-2/NLA17-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA14-2/NLA17-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA15-2/NCA29-1/ NSA15-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA15-2/NCA29-1/ NSA15-1)	4.6	40			

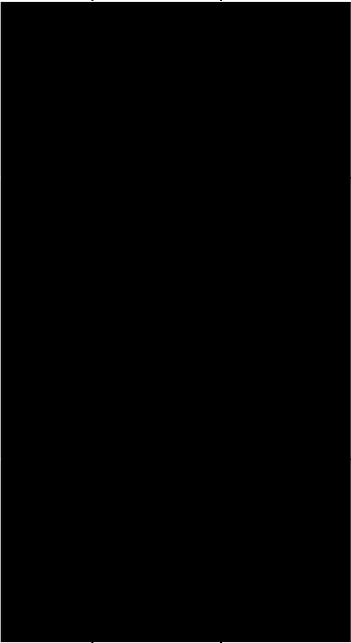
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA16-1/NLA18-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA16-1/NLA18-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA18-2)) ～ ケーブルトレイ (NLA18-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA18-3/NLA20-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA18-3/NLA20-1)	4.6	40			

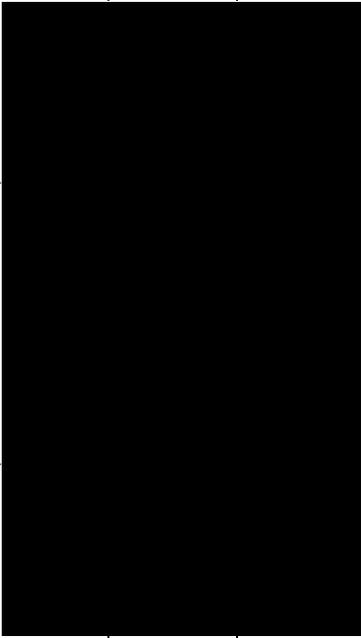
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA19-1/NCA33-1/ NSA19-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA19-1/NCA33-1/ NSA19-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA21-1/NLA22-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA21-1/NLA22-1)	4.6	40			

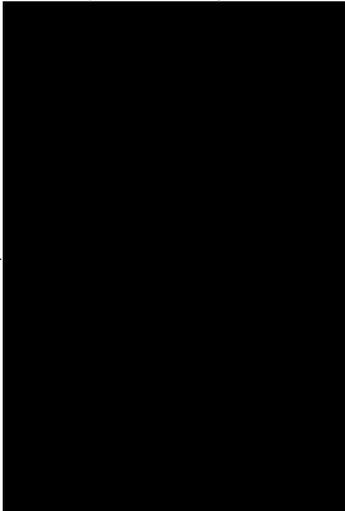
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA21-2/NLA27-2)) ～ ケーブルトレイ (NLA21-2/NLA27-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA24-1/NCA42-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA24-1/NCA42-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA26-1/NCA41-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA26-1/NCA41-1)	4.6	40			

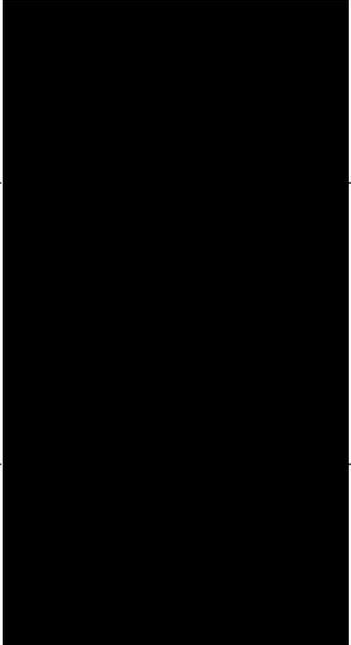
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA01-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA01-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA08-1/NSA07-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA08-1/NSA07-1)	4.6	40			

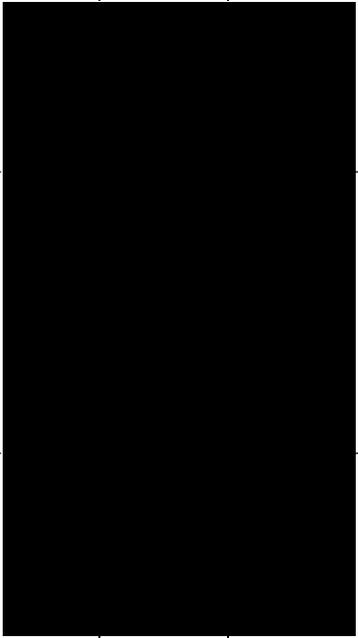
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA11-1/NCA12-1/ NCA16-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA11-1/NCA12-1/ NCA16-2)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA13-1/NSA09-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA13-1/NSA09-1)	4.6	40			

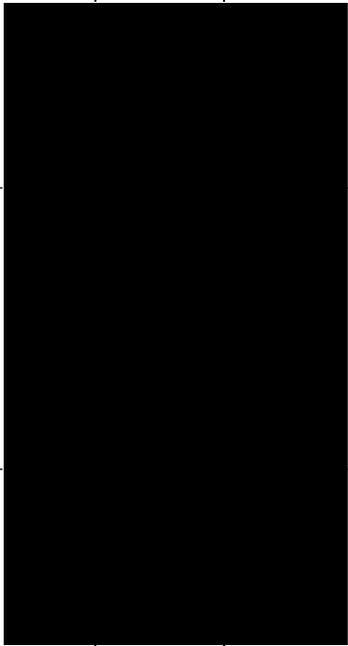
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA14-1/NCA15-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA14-1/NCA15-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA21-2/NCA26-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA21-2/NCA26-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA28-1/NCA29-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA28-1/NCA29-2)	4.6	40			

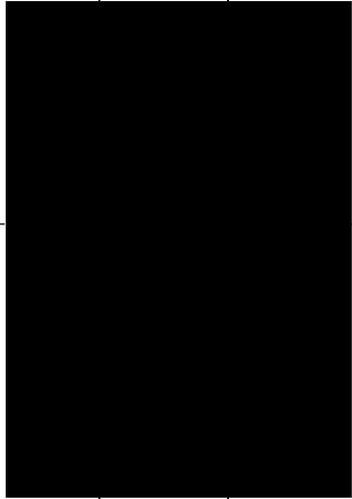
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA28-2/NCA31-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA28-2/NCA31-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA30-1/NCA32-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA30-1/NCA32-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA32-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA32-2)	4.6	40			

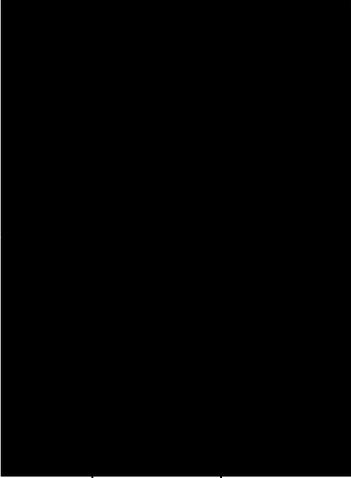
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA32-3/NCA34-1/ NCA39-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA32-3/NCA34-1/ NCA39-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA36-1/NCA37-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA36-1/NCA37-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA36-2/NCA40-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA36-2/NCA40-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA06-1/NSA08-3)) ～ ケーブルトレイ (NSA06-1/NSA08-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA10-1/NSA11-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA10-1/NSA11-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA14-1/NSA15-2)) ～ ケーブルトレイ (NSA14-1/NSA15-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA14-2/NSA17-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA14-2/NSA17-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA16-1/NSA18-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA16-1/NSA18-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA18-2)) ～ ケーブルトレイ (NSA18-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA18-3/NSA20-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA18-3/NSA20-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA22-1/NSA23-2)) ～ ケーブルトレイ (NSA22-1/NSA23-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA22-2/NSA23-3)) ～ ケーブルトレイ (NSA22-2/NSA23-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA04-3/NSA04-2/ NSA06-2)) ～ ケーブルトレイ (NLA04-3/NSA04-2/ NSA06-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA24-2)) ～ ケーブルトレイ (NLA24-2)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA04-2/NCA11-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA04-2/NCA11-2)	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALB02-1/ACB07-1/ ASB02-1)) ～ ケーブルトレイ (ALB02-1/ACB07-1/ ASB02-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLB02-1/BCB12-1/ BSB03-1)) ～ ケーブルトレイ (BLB02-1/BCB12-1/ BSB03-1)	4.6	40			

安ユ A

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備	-					FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHB11-1/NHB25-1)) ～ ケーブルトレイ (NHB11-1/NHB25-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-					FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHB17-1/NLB12-1/ NLB13-1/NLB47-1/ NLB48-1/NCB13-1/ NCB15-1/NSB15-1/ NSB17-1)) ～ ケーブルトレイ (NHB17-1/NLB12-1/ NLB13-1/NLB47-1/ NLB48-1/NCB13-1/ NCB15-1/NSB15-1/ NSB17-1)	4.6	40			

安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB29-1/NLB31-1/ NLB62-1/NLB64-1/ NCB21-1/NCB23-1/ NSB23-1/NSB25-1)) ～ ケーブルトレイ (NLB29-1/NLB31-1/ NLB62-1/NLB64-1/ NCB21-1/NCB23-1/ NSB23-1/NSB25-1))	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLB02-2/BCB02-1/ BCB07-1/BSB04-1)) ～ ケーブルトレイ (BLB02-2/BCB02-1/ BCB07-1/BSB04-1))	4.6	40			

安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHB10-1/NHB27-1)) ～ ケーブルトレイ (NHB10-1/NHB27-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHB10-2/NHB27-2/ NLB83-1)) ～ ケーブルトレイ (NHB10-2/NHB27-2/ NLB83-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB83-2)) ～ ケーブルトレイ (NLB83-2)	4.6	40			

安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALB05-1/ACB01-1/ ACB04-1/ASB05-1)) ～ ケーブルトレイ (ALB05-1/ACB01-1/ ACB04-1/ASB05-1))	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLB01-1/BCB01-1/ BSB01-1)) ～ ケーブルトレイ (BLB01-1/BCB01-1/ BSB01-1))	4.6	40			

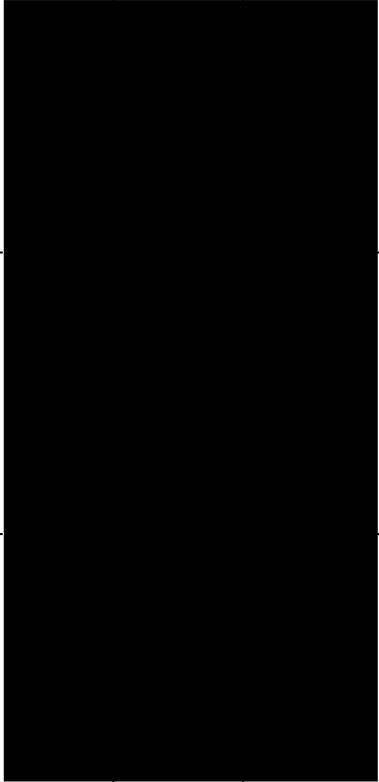
安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB03-1/NCB02-1/ NSB03-1)) ～ ケーブルトレイ (NLB03-1/NCB02-1/ NSB03-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB05-1/NLB38-1/ NCB05-1/NSB05-1)) ～ ケーブルトレイ (NLB05-1/NLB38-1/ NCB05-1/NSB05-1)	4.6	40			

安ユ A

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCB02-2)) ～ ケーブルトレイ (BCB02-2)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCB07-2)) ～ ケーブルトレイ (BCB07-2)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCB12-2)) ～ ケーブルトレイ (BCB12-2)	4.6	40			

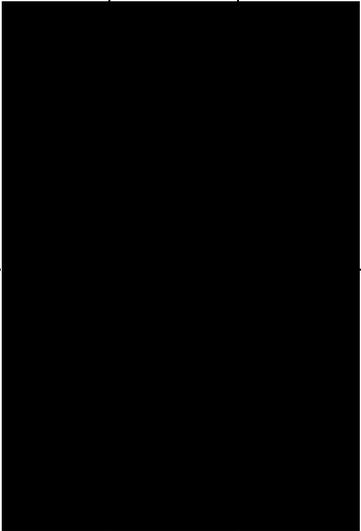
安ユ A

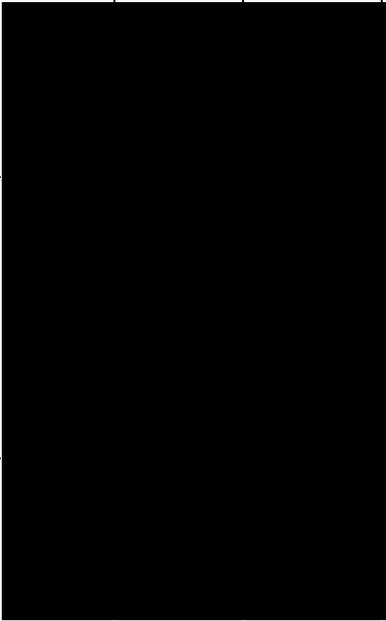
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSB02-1)) ～ ケーブルトレイ (BSB02-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB33-1/NLB67-1)) ～ ケーブルトレイ (NLB33-1/NLB67-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB82-1/NCB20-1)) ～ ケーブルトレイ (NLB82-1/NCB20-1)	4.6	40			

安ユ A

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブル トレイ 消火 設備			—			ケーブル トレイ 消火 設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSB22-1)) ～ ケーブルトレイ (NSB22-1)	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

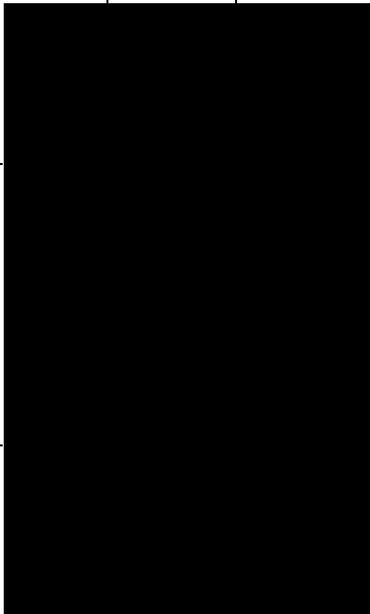
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA01-1/BCA11-1/ BSA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BHA01-1/BCA11-1/ BSA01-1)	4.6	40			
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA24-1/NLA25-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA24-1/NLA25-1)	4.6	40			

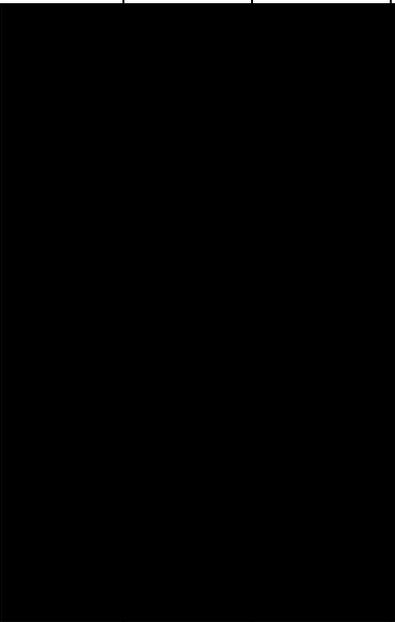
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA26-1/NLA27-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA26-1/NLA27-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA30-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA30-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA32-1/NCA33-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA32-1/NCA33-1)	4.6	40			

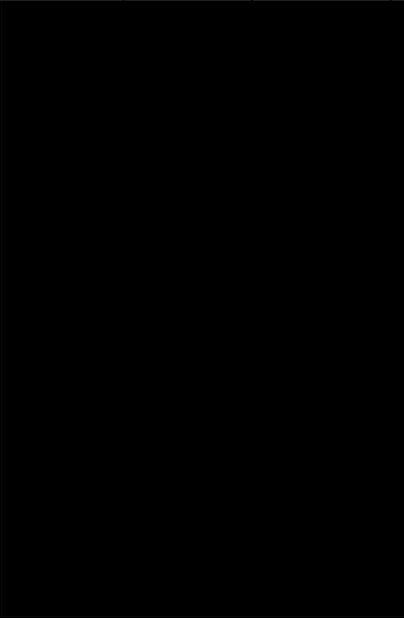
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA78-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA78-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA25-1/NSA26-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA25-1/NSA26-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA27-1/NSA28-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA27-1/NSA28-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA02-1/ACA10-1/ ASA02-1)) ～ ケーブルトレイ (ALA02-1/ACA10-1/ ASA02-1)	4.6	40	[Redacted]		
						ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA01-2)) ～ ケーブルトレイ (BHA01-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA11-2)) ～ ケーブルトレイ (BCA11-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA01-2)) ～ ケーブルトレイ (BSA01-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA21-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA21-1)	4.6	40			

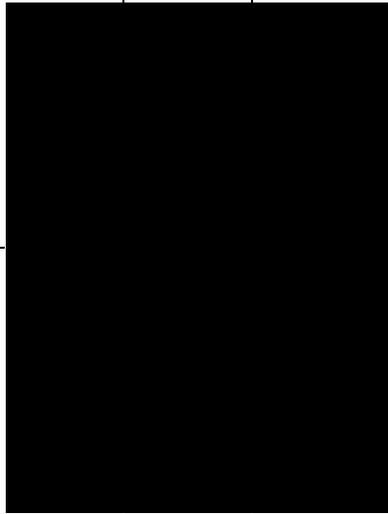
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA22-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA22-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA22-2/NSA23-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA22-2/NSA23-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA35-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA35-1)	4.6	40			

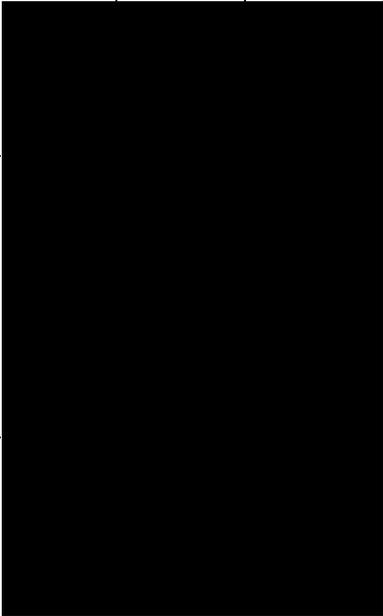
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA28-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA28-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA28-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA28-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA28-3)) ～ ケーブルトレイ (NCA28-3)	4.6	40			

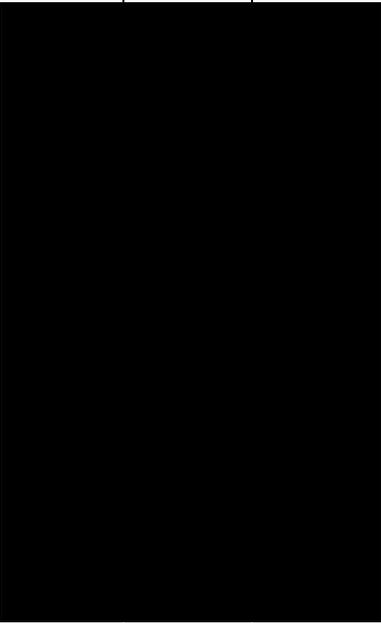
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA28-4)) ～ ケーブルトレイ (NCA28-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA30-2/NCA31-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA30-2/NCA31-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA41-1/NSA36-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA41-1/NSA36-1)	4.6	40			

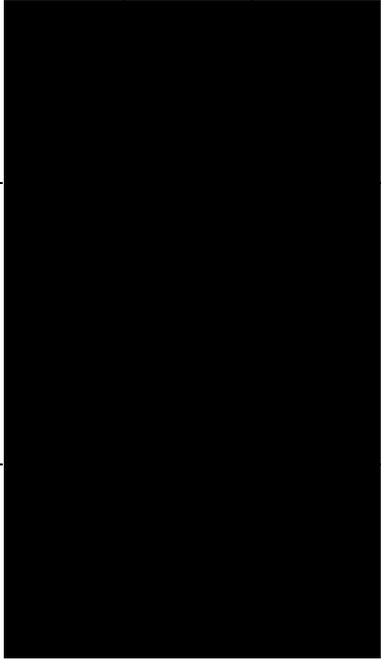
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA23-2)) ～ ケーブルトレイ (NSA23-2)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA23-3)) ～ ケーブルトレイ (NSA23-3)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHA01-1)) ～ ケーブルトレイ (AHA01-1)	4.6	40			

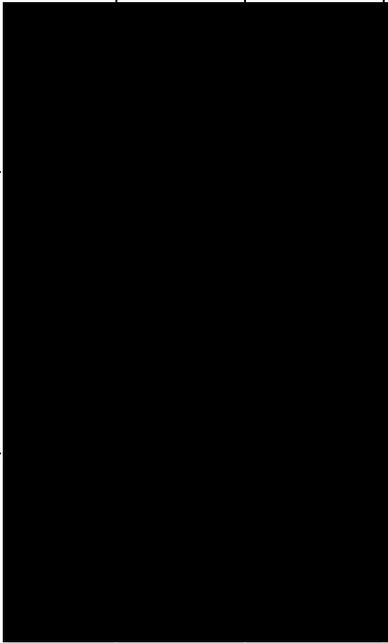
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALA01-1)) ～ ケーブルトレイ (ALA01-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACA01-1)) ～ ケーブルトレイ (ACA01-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASA01-1)) ～ ケーブルトレイ (ASA01-1)	4.6	40			

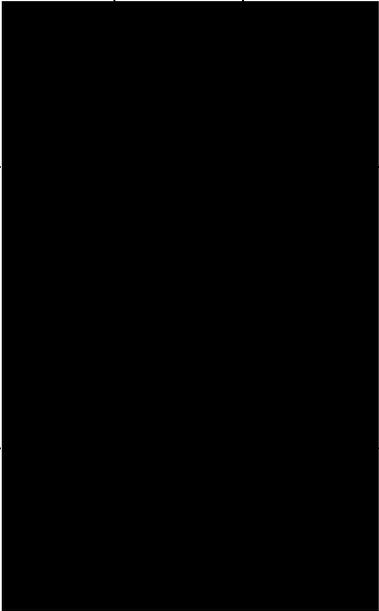
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA01-3/BCA11-3/ BSA01-3)) ～ ケーブルトレイ (BHA01-3/BCA11-3/ BSA01-3)	4.6	40			
						ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHA04-1/NCA26-1/ NSA21-1)) ～ ケーブルトレイ (NHA04-1/NCA26-1/ NSA21-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA28-5)) ～ ケーブルトレイ (NCA28-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA23-4)) ～ ケーブルトレイ (NSA23-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA05-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA05-1)	4.6	40			

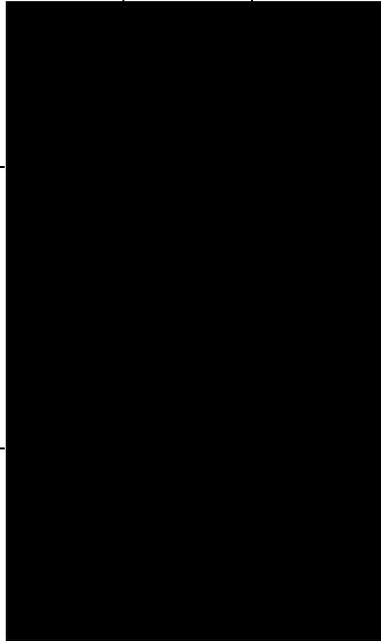
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA02-1/BSA05-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA02-1/BSA05-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH101-1)) ～ ケーブルトレイ (AH101-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL107-1)) ～ ケーブルトレイ (AL107-1)	4.6	40			

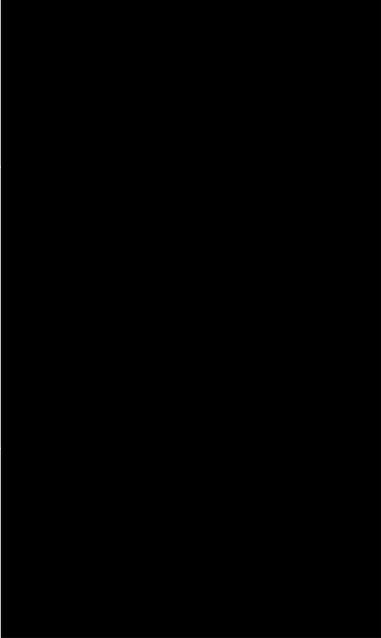
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC107-1)) ～ ケーブルトレイ (AC107-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS103-1)) ～ ケーブルトレイ (AS103-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL101-1/NC105-1)) ～ ケーブルトレイ (NL101-1/NC105-1)	4.6	40			

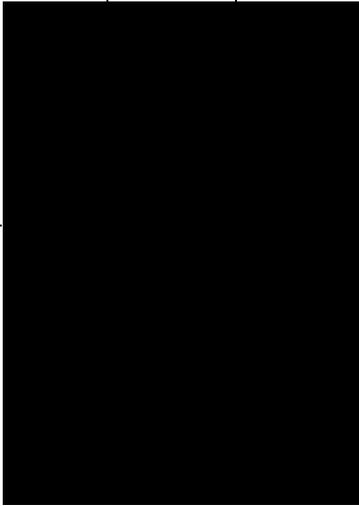
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL105-1)) ～ ケーブルトレイ (NL105-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL109-1)) ～ ケーブルトレイ (NL109-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLM01-1)) ～ ケーブルトレイ (NLM01-1)	4.6	40			

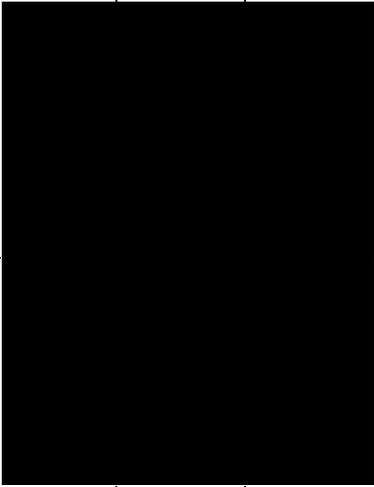
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC101-1/NS101-1)) ～ ケーブルトレイ (NC101-1/NS101-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC107-1)) ～ ケーブルトレイ (NC107-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC111-1)) ～ ケーブルトレイ (NC111-1)	4.6	40			

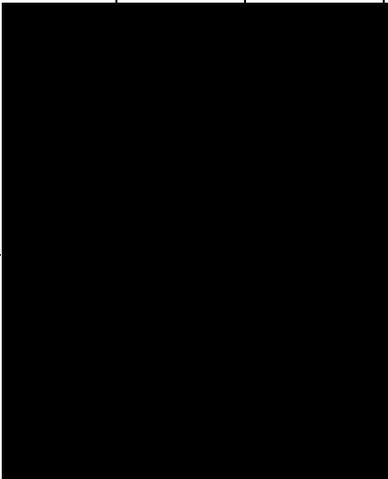
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS105-1)) ～ ケーブルトレイ (NS105-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS109-1)) ～ ケーブルトレイ (NS109-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH101-2)) ～ ケーブルトレイ (AH101-2)	4.6	40			

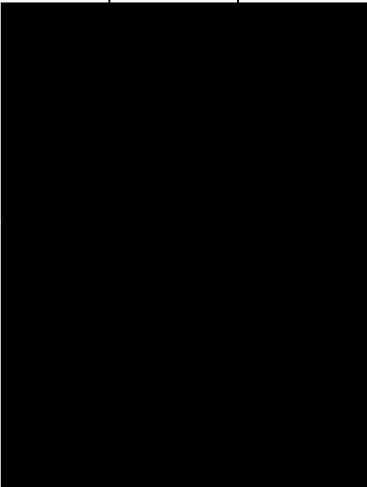
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH101-3)) ～ ケーブルトレイ (AH101-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL107-2)) ～ ケーブルトレイ (AL107-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL107-3)) ～ ケーブルトレイ (AL107-3)	4.6	40			

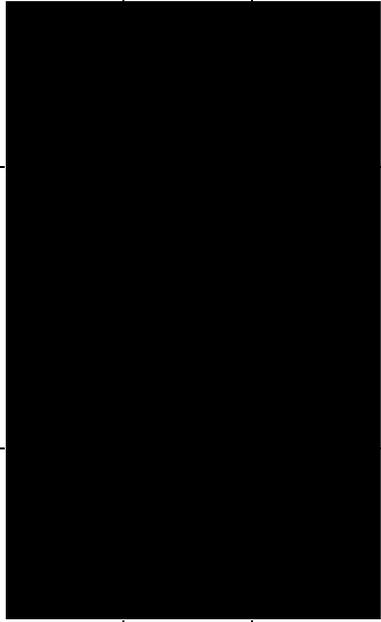
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC107-2)) ～ ケーブルトレイ (AC107-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC107-3)) ～ ケーブルトレイ (AC107-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS103-2)) ～ ケーブルトレイ (AS103-2)	4.6	40			

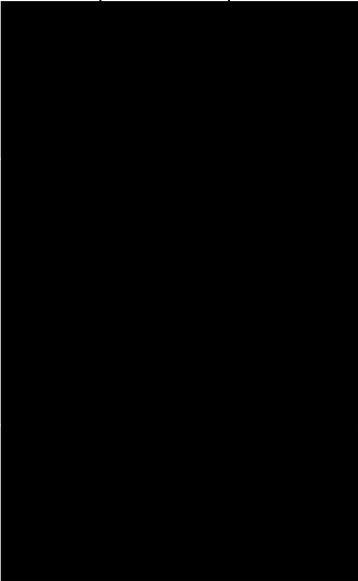
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS103-3)) ～ ケーブルトレイ (AS103-3)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL102-1/BC104-1/ BS102-1)) ～ ケーブルトレイ (BL102-1/BC104-1/ BS102-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL106-1/NL107-1/ NL108-1)) ～ ケーブルトレイ (NL106-1/NL107-1/ NL108-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL108-2/NL109-2)) ～ ケーブルトレイ (NL108-2/NL109-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC108-1/NC109-1/ NC110-1)) ～ ケーブルトレイ (NC108-1/NC109-1/ NC110-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC110-2/NC111-2)) ～ ケーブルトレイ (NC110-2/NC111-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCM01-1)) ～ ケーブルトレイ (NCM01-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS106-1/NS107-1/ NS108-1)) ～ ケーブルトレイ (NS106-1/NS107-1/ NS108-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS108-2/NS109-2)) ～ ケーブルトレイ (NS108-2/NS109-2)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS120-1)) ～ ケーブルトレイ (NS120-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSM01-1)) ～ ケーブルトレイ (NSM01-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL109-3/NL110-1)) ～ ケーブルトレイ (NL109-3/NL110-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC111-3/NC112-1)) ～ ケーブルトレイ (NC111-3/NC112-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS109-3/NS110-1)) ～ ケーブルトレイ (NS109-3/NS110-1)	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALD01-1/ACD01-1 /ASD01-1)) ～ ケーブルトレイ (ALD01-1/ACD01-1 /ASD01-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD15-1/NLD23-1 /NCD17-1/NSD15-1)) ～ ケーブルトレイ (NLD15-1/NLD23-1 /NCD17-1/NSD15-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLD13-1/NCD15-1 /NSD13-1)) ～ ケーブルトレイ (NLD13-1/NCD15-1 /NSD13-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALD07-1/ACD07-1 /ASD09-1)) ～ ケーブルトレイ (ALD07-1/ACD07-1 /ASD09-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLD05-1/BCD05-1 /BSD05-1)) ～ ケーブルトレイ (BLD05-1/BCD05-1 /BSD05-1)	4.6	40	[REDACTED]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB12-1)) ～ ケーブルトレイ (NLB12-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB12-1/NSB12-1)) ～ ケーブルトレイ (NCB12-1/NSB12-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHB02-1/ACB03-1)) ～ ケーブルトレイ (AHB02-1/ACB03-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ALB03-1/ASB03-1)) ～ ケーブルトレイ (ALB03-1/ASB03-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHB02-2/ACB04-1 /ASB04-1)) ～ ケーブルトレイ (AHB02-2/ACB04-1 /ASB04-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA34-1/NSA38-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA34-1/NSA38-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA34-1/NCA31-1 /NSA35-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA34-1/NCA31-1 /NSA35-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA36-1/NLA33-1 /NLA42-1/NLA43-1 /NLA32-1)) ~ ケーブルトレイ (NLA36-1/NLA33-1 /NLA42-1/NLA43-1 /NLA32-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA35-1/NCA33-1 /NCA30-1/NCA37-1 /NCA38-1/NCA29-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA35-1/NCA33-1 /NCA30-1/NCA37-1 /NCA38-1/NCA29-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA39-1/NSA37-1 /NSA41-1/NSA42-1 /NSA34-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA39-1/NSA37-1 /NSA41-1/NSA42-1 /NSA34-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHA02-1/NHA04-1)) ～ ケーブルトレイ (NHA02-1/NHA04-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA44-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA44-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA39-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA39-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA43-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA43-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA04-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA04-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA02-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA02-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA02-1)) ～ ケーブルトレイ (BSA02-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACA02-1)) ～ ケーブルトレイ (ACA02-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASA02-1)) ～ ケーブルトレイ (ASA02-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA40-1/NCA41-1 /NCA42-1/NSA44-1 /NSA45-1/NSA46-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA40-1/NCA41-1 /NCA42-1/NSA44-1 /NSA45-1/NSA46-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA45-1/NLA46-1 /NLA47-1/BSA02-2)) ～ ケーブルトレイ (NLA45-1/NLA46-1 /NLA47-1/BSA02-2))	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA44-2/NLA48-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA44-2/NLA48-1))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA39-2/NCA43-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA39-2/NCA43-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA43-2/NSA47-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA43-2/NSA47-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA01-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA02-2/BCA03-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA02-2/BCA03-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA01-1/BSA03-1)) ～ ケーブルトレイ (BSA01-1/BSA03-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA01-1/BLA02-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA01-1/BLA02-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA03-1)) ～ ケーブルトレイ (BHA03-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA48-2)) ～ ケーブルトレイ (NLA48-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA43-2)) ～ ケーブルトレイ (NCA43-2)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA47-2)) ～ ケーブルトレイ (NSA47-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA02-2)) ～ ケーブルトレイ (BLA02-2)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA03-2)) ～ ケーブルトレイ (BCA03-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA03-2)) ～ ケーブルトレイ (BSA03-2)	4.6	40	[REDACTED]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA49-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA49-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA44-1/NCA45-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA44-1/NCA45-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA48-1/NSA49-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA48-1/NSA49-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA46-1/NSA50-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA46-1/NSA50-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA02-1)) ～ ケーブルトレイ (BHA02-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA03-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA03-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA04-1/BCA05-1 /BCA07-1/BCA08-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA04-1/BCA05-1 /BCA07-1/BCA08-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA04-1/BSA05-1 /BSA07-1/BSA08-1)) ～ ケーブルトレイ (BSA04-1/BSA05-1 /BSA07-1/BSA08-1))	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA06-1)) ～ ケーブルトレイ (BSA06-1))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA06-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA06-1)	4.6	40	[REDACTED]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA03-2)) ～ ケーブルトレイ (BLA03-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA27-1/NSA24-1 /NSA23-1/NSA25-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA27-1/NSA24-1 /NSA23-1/NSA25-1))	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA21-1/NCA18-1 /NCA19-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA21-1/NCA18-1 /NCA19-1))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA23-1/NLA20-1 /NLA21-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA23-1/NLA20-1 /NLA21-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA26-1/NLA23-2 /NLA24-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA26-1/NLA23-2 /NLA24-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA24-1/NCA21-2 /NCA22-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA24-1/NCA21-2 /NCA22-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA30-1/NSA27-2 /NSA28-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA30-1/NSA27-2 /NSA28-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備			—			ケーブルトレイ 消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA20-2/NLA19-1 /NLA17-1/NLA15-1 /NLA13-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA20-2/NLA19-1 /NLA17-1/NLA15-1 /NLA13-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA18-2/NCA17-1 /NCA15-1/NCA13-1)) ~ ケーブルトレイ (NCA18-2/NCA17-1 /NCA15-1/NCA13-1))	4.6	40	[REDACTED]	
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA22-1/NSA17-1 /NSA12-1)) ~ ケーブルトレイ (NSA22-1/NSA17-1 /NSA12-1))	4.6	40		

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA07-2)) ～ ケーブルトレイ (BCA07-2)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA07-2)) ～ ケーブルトレイ (BSA07-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA23-2/NSA18-1 /NSA13-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA23-2/NSA18-1 /NSA13-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA16-1/NLA18-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA16-1/NLA18-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA16-1/NSA19-1 /NSA20-1/NSA21-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA16-1/NSA19-1 /NSA20-1/NSA21-1))	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA14-1/NSA15-1 /NSA16-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA14-1/NSA15-1 /NSA16-1))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA14-1/NCA14-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA14-1/NCA14-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA13-2/NLA06-1 /NLA07-1/NLA09-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA13-2/NLA06-1 /NLA07-1/NLA09-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA13-2/NCA06-1 /NCA07-1/NCA09-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA13-2/NCA06-1 /NCA07-1/NCA09-1))	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA05-1/NSA08-1 /NSA06-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA05-1/NSA08-1 /NSA06-1))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX04-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX04-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BLA05-1)) ～ ケーブルトレイ (BLA05-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA05-1/NCA05-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA05-1/NCA05-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA04-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA04-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA01-1/NSA02-1 /NSA03-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA01-1/NSA02-1 /NSA03-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX02-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX02-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA01-1/NCA02-1 /NCA03-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA01-1/NCA02-1 /NCA03-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA04-1/NCA50-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA04-1/NCA50-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX01-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX01-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA01-1/NLA02-1 /NLA03-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA01-1/NLA02-1 /NLA03-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA04-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA04-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX03-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX03-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC161-1)) ～ ケーブルトレイ (NC161-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX05-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX05-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS101-1)) ～ ケーブルトレイ (NS101-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS102-1/NS160-1)) ～ ケーブルトレイ (NS102-1/NS160-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL101-1/NL102-1 /NL103-1)) ～ ケーブルトレイ (NL101-1/NL102-1 /NL103-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL104-1/NL105-1 /NL106-1)) ～ ケーブルトレイ (NL104-1/NL105-1 /NL106-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX07-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX07-1)	4.6	40	[REDACTED]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX07-2)) ～ ケーブルトレイ (BOX07-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC101-1)) ～ ケーブルトレイ (NC101-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC102-1/NC103-1 /NC104-1)) ～ ケーブルトレイ (NC102-1/NC103-1 /NC104-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX06-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX06-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS103-1/NS104-1)) ～ ケーブルトレイ (NS103-1/NS104-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX08-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX08-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS105-1)) ～ ケーブルトレイ (NS105-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC107-1/NC108-1 /NC109-1)) ～ ケーブルトレイ (NC107-1/NC108-1 /NC109-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC105-1)) ～ ケーブルトレイ (NC105-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC106-1)) ～ ケーブルトレイ (NC106-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS106-1)) ～ ケーブルトレイ (NS106-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX09-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX09-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX09-2)) ～ ケーブルトレイ (BOX09-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL107-1/NL109-1 /NL130-1/NL134-1)) ～ ケーブルトレイ (NL107-1/NL109-1 /NL130-1/NL134-1))	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL108-1/NL110-1 /NL131-1)) ～ ケーブルトレイ (NL108-1/NL110-1 /NL131-1))	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL109-1)) ～ ケーブルトレイ (BL109-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC134-1)) ～ ケーブルトレイ (NC134-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC137-1)) ～ ケーブルトレイ (NC137-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS122-1)) ～ ケーブルトレイ (NS122-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL132-1/NL135-1)) ～ ケーブルトレイ (NL132-1/NL135-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC134-2/NC140-1 /NC135-1)) ～ ケーブルトレイ (NC134-2/NC140-1 /NC135-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC137-2/NC141-1 /NC138-1)) ～ ケーブルトレイ (NC137-2/NC141-1 /NC138-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS122-2/NS125-1 /NS123-1)) ～ ケーブルトレイ (NS122-2/NS125-1 /NS123-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS126-1)) ～ ケーブルトレイ (NS126-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX10-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX10-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX10-2)) ～ ケーブルトレイ (BOX10-2)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX11-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX11-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL139-1/NC146-1)) ～ ケーブルトレイ (NL139-1/NC146-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS128-1)) ～ ケーブルトレイ (NS128-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC147-1/NC148-1)) ～ ケーブルトレイ (NC147-1/NC148-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS129-1/NS130-1)) ～ ケーブルトレイ (NS129-1/NS130-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL108-1)) ～ ケーブルトレイ (BL108-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC103-1)) ～ ケーブルトレイ (BC103-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS103-1)) ～ ケーブルトレイ (BS103-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL140-1/NL141-1)) ～ ケーブルトレイ (NL140-1/NL141-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC154-1)) ～ ケーブルトレイ (NC154-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC155-1)) ～ ケーブルトレイ (NC155-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL109-2/BL107-1 /BL106-1/BL105-1)) ～ ケーブルトレイ (BL109-2/BL107-1 /BL106-1/BL105-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL147-1)) ～ ケーブルトレイ (NL147-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS125-2/NS136-1)) ～ ケーブルトレイ (NS125-2/NS136-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC157-1/NC158-1)) ～ ケーブルトレイ (NC157-1/NC158-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL147-2/NL149-1)) ～ ケーブルトレイ (NL147-2/NL149-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS136-2/NS138-1)) ～ ケーブルトレイ (NS136-2/NS138-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX12-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX12-1)	4.6	40	[REDACTED]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL105-2)) ～ ケーブルトレイ (BL105-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC103-2)) ～ ケーブルトレイ (BC103-2)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS103-2)) ～ ケーブルトレイ (BS103-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL148-1/NC159-1 /NS137-1)) ～ ケーブルトレイ (NL148-1/NC159-1 /NS137-1)	4.6	40	[Redacted]		
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL101-1/BL102-1 /BC101-1/BC102-1)) ～ ケーブルトレイ (BL101-1/BL102-1 /BC101-1/BC102-1)	4.6	40			

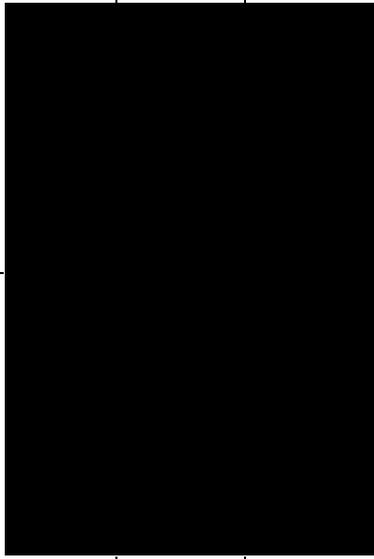
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS101-1/BS102-1)) ～ ケーブルトレイ (BS101-1/BS102-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX13-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX13-1)	4.6	40			

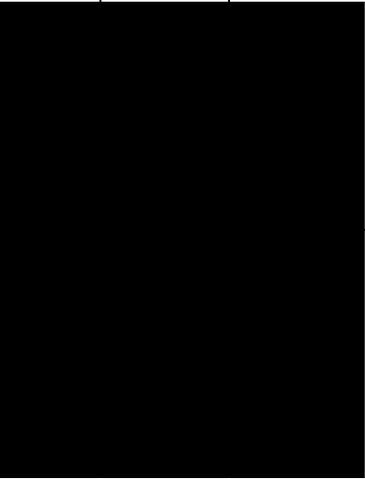
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL104-1)) ～ ケーブルトレイ (BL104-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH101-1)) ～ ケーブルトレイ (BH101-1)	4.6	40			

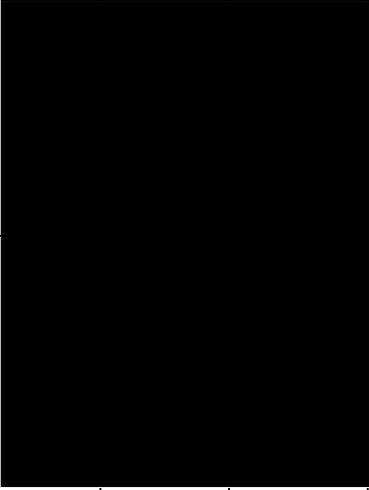
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BOX14-1)) ～ ケーブルトレイ (BOX14-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC160-1)) ～ ケーブルトレイ (NC160-1)	4.6	40			

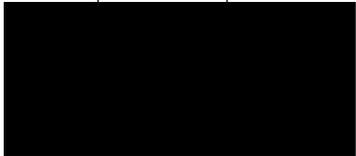
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL149-2)) ～ ケーブルトレイ (NL149-2)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS138-2)) ～ ケーブルトレイ (NS138-2)	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

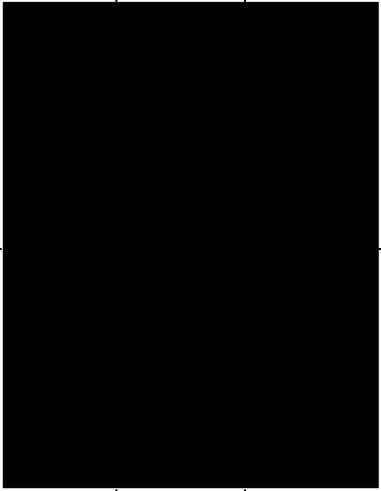
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC121-1)) ～ ケーブルトレイ (BC121-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC121-2)) ～ ケーブルトレイ (BC121-2)	4.6	40			

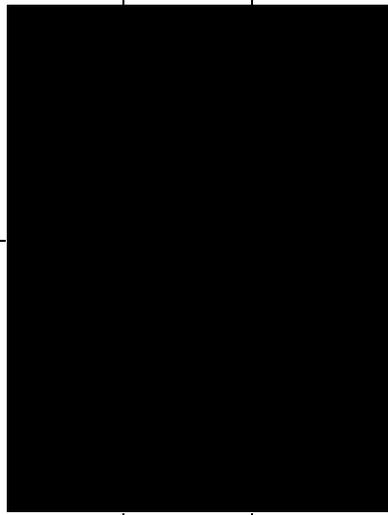
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC121-3)) ～ ケーブルトレイ (BC121-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL122-6)) ～ ケーブルトレイ (BL122-6)	4.6	40			

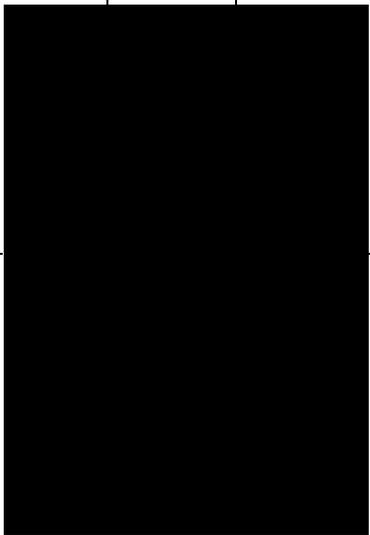
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL122-7)) ～ ケーブルトレイ (BL122-7)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL122-8)) ～ ケーブルトレイ (BL122-8)	4.6	40			

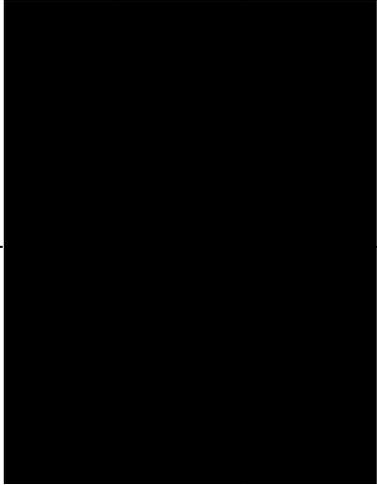
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL122-9)) ～ ケーブルトレイ (BL122-9)	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

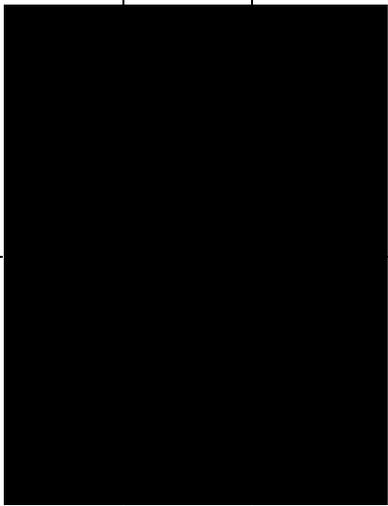
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC114-1/AC115-2)) ～ ケーブルトレイ (AC114-1/AC115-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC115-1)) ～ ケーブルトレイ (AC115-1)	4.6	40			

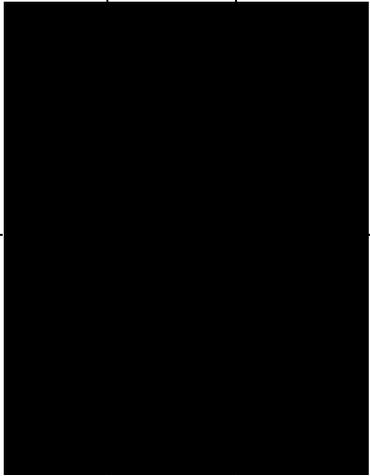
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH206-1/AH207-2)) ～ ケーブルトレイ (AH206-1/AH207-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH207-1)) ～ ケーブルトレイ (AH207-1)	4.6	40			

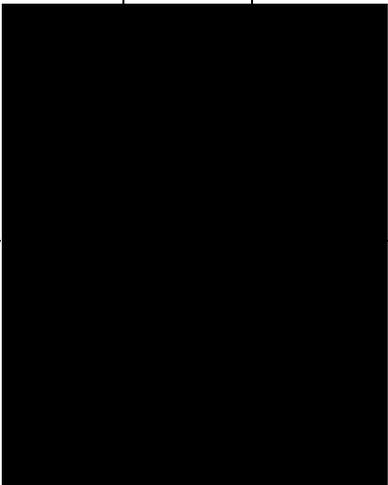
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS104-1/AS107-2)) ～ ケーブルトレイ (AS104-1/AS107-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS107-1)) ～ ケーブルトレイ (AS107-1)	4.6	40			

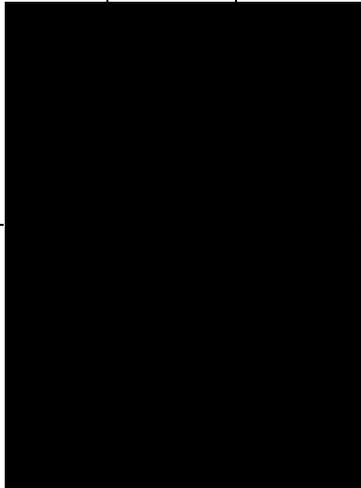
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC114-1)) ～ ケーブルトレイ (BC114-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC114-2)) ～ ケーブルトレイ (BC114-2)	4.6	40			

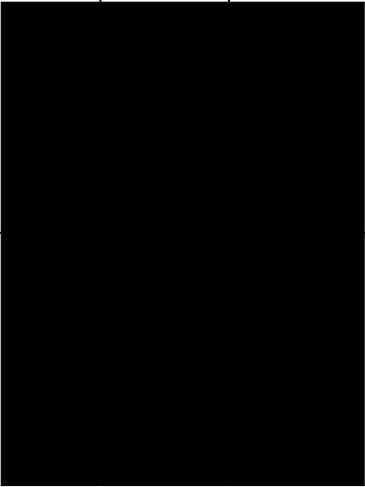
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH302-1)) ～ ケーブルトレイ (BH302-1)	4.6	40	10	1	C1220T
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH302-2)) ～ ケーブルトレイ (BH302-2)	4.6	40	10	1	C1220T

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS108-1)) ～ ケーブルトレイ (BS108-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS108-2)) ～ ケーブルトレイ (BS108-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC139-1)) ～ ケーブルトレイ (NC139-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC139-2)) ～ ケーブルトレイ (NC139-2)	4.6	40			

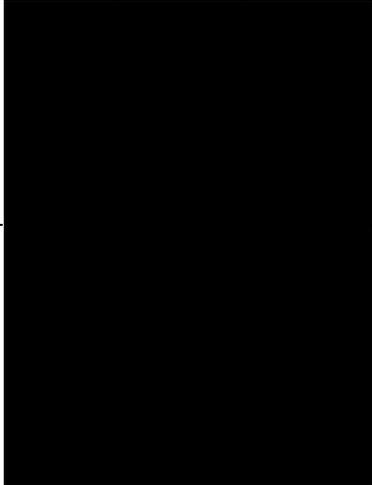
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK117-1/NK118-2)) ～ ケーブルトレイ (NK117-1/NK118-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK118-1)) ～ ケーブルトレイ (NK118-1)	4.6	40			

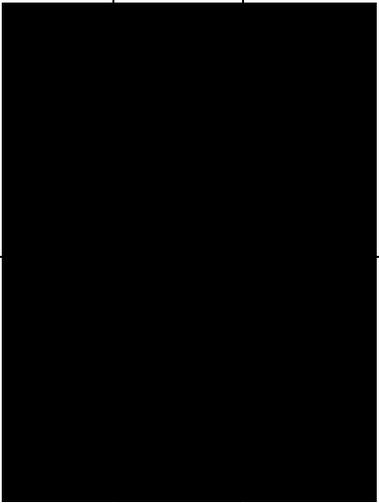
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL115-1/NL116-2)) ～ ケーブルトレイ (NL115-1/NL116-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL116-1)) ～ ケーブルトレイ (NL116-1)	4.6	40			

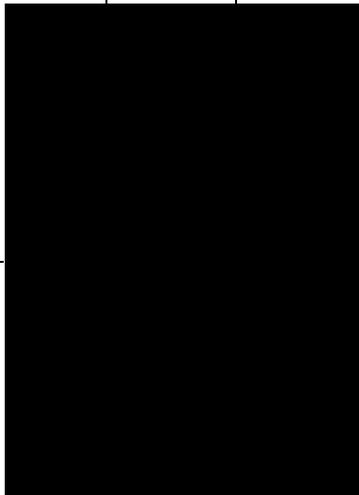
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS122-2/NS123-2)) ～ ケーブルトレイ (NS122-2/NS123-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS123-1)) ～ ケーブルトレイ (NS123-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備	—				ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC138-1)) ～ ケーブルトレイ (NC138-1)	4.6	40			

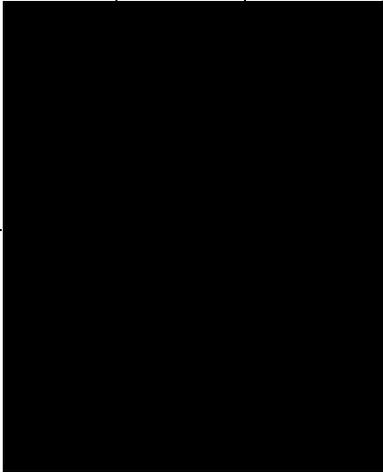
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHB03-1/ACB05-1)) ～ ケーブルトレイ (AHB03-1/ACB05-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASB05-1)) ～ ケーブルトレイ (ASB05-1)	4.6	40			

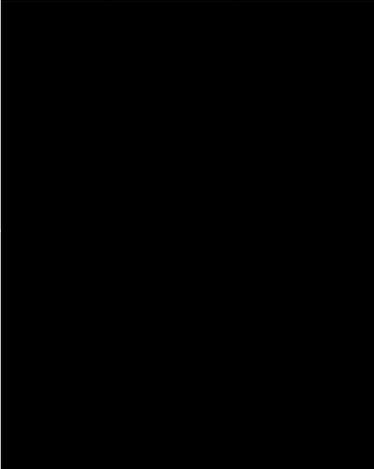
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BHA01-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA09-1)) ～ ケーブルトレイ (BSA09-1)	4.6	40			

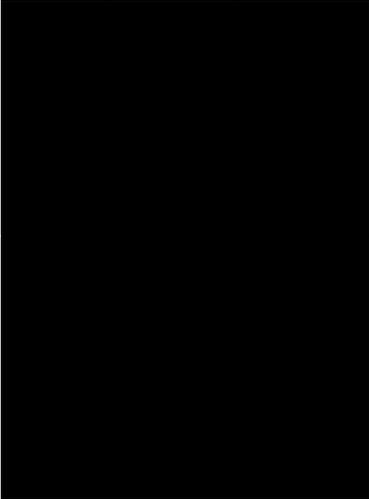
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA09-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA09-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA52-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA52-1)	4.6	40			

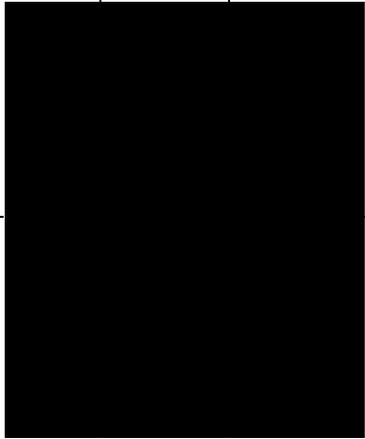
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA47-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA47-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA51&NCA48-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA51&NCA48-1)	4.6	40			

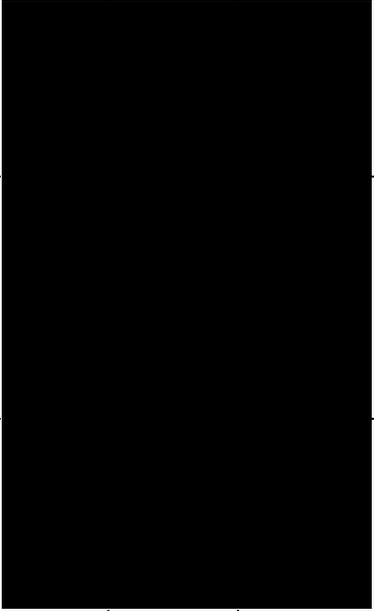
注記 * : 公称値を示す。

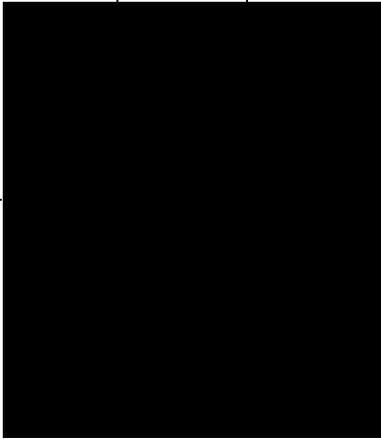
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC116-1)) ～ ケーブルトレイ (AC116-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH208-1)) ～ ケーブルトレイ (AH208-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS108-1)) ～ ケーブルトレイ (AS108-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC140-1)) ～ ケーブルトレイ (NC140-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH134-2)) ～ ケーブルトレイ (NH134-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK119-1)) ～ ケーブルトレイ (NK119-1)	4.6	40			

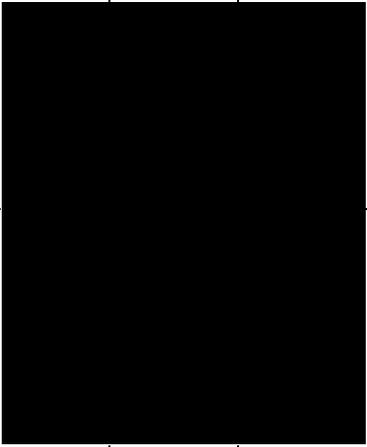
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL118-1)) ～ ケーブルトレイ (NL118-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS124-1)) ～ ケーブルトレイ (NS124-1)	4.6	40			

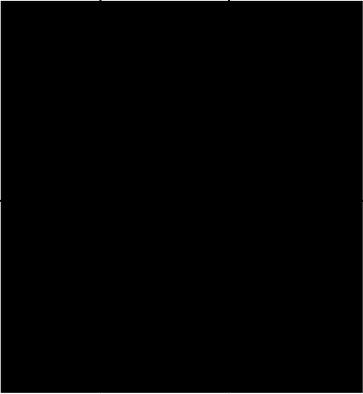
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACA02-1)) ～ ケーブルトレイ (ACA02-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHA02-1)) ～ ケーブルトレイ (AHA02-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASA02-1)) ～ ケーブルトレイ (ASA02-1)	4.6	40			

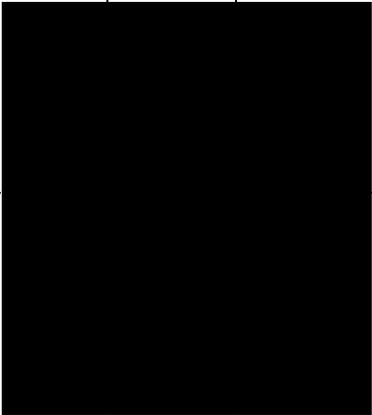
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCA40-1)) ～ ケーブルトレイ (NCA40-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHA11-1)) ～ ケーブルトレイ (NHA11-1)	4.6	40			

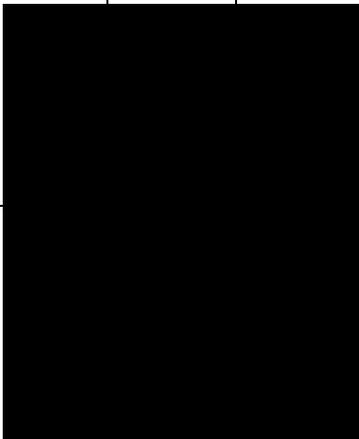
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLA18-1)) ～ ケーブルトレイ (NLA18-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA39-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA39-1)	4.6	40			

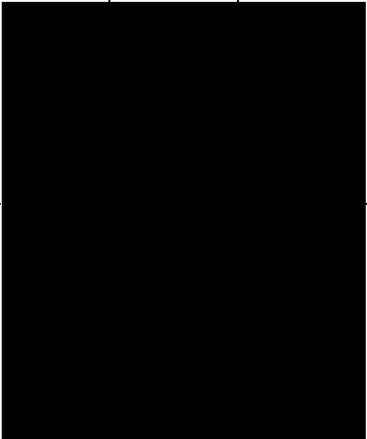
注記 * : 公称値を示す。

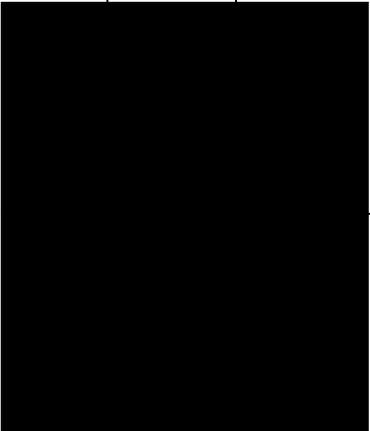
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC112-5)) ～ ケーブルトレイ (AC112-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-6)) ～ ケーブルトレイ (AC113-6)	4.6	40			

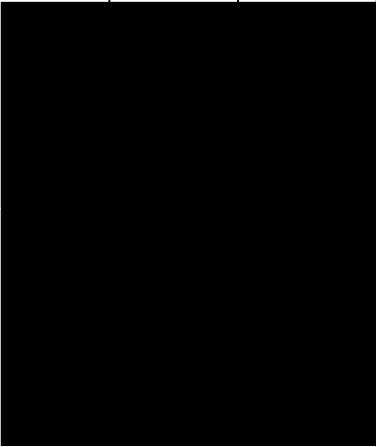
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-7)) ～ ケーブルトレイ (AC113-7)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-8)) ～ ケーブルトレイ (AC113-8)	4.6	40			

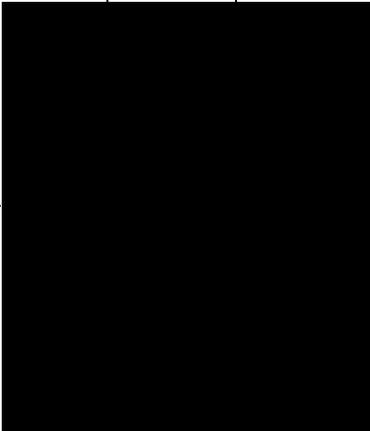
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-9)) ～ ケーブルトレイ (AC113-9)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-10)) ～ ケーブルトレイ (AC113-10)	4.6	40			

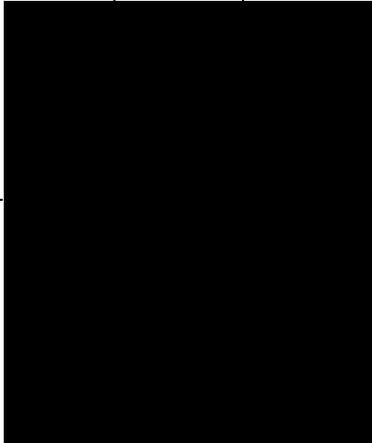
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH220-4)) ～ ケーブルトレイ (AH220-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH221-6/AH231-1)) ～ ケーブルトレイ (AH221-6/AH231-1)	4.6	40			

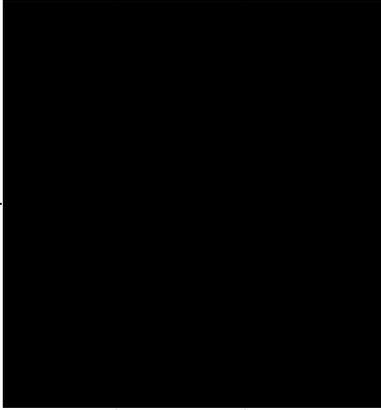
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH231-2)) ～ ケーブルトレイ (AH231-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH231-3)) ～ ケーブルトレイ (AH231-3)	4.6	40			

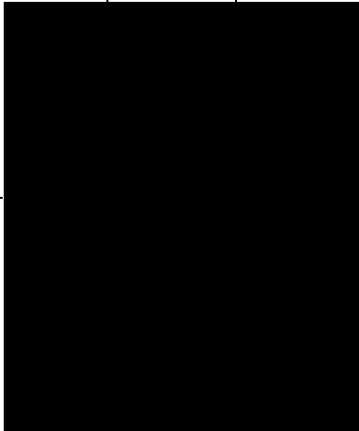
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH231-4)) ～ ケーブルトレイ (AH231-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS106-4)) ～ ケーブルトレイ (AS106-4)	4.6	40			

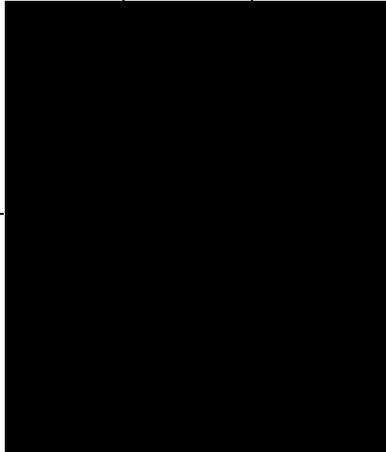
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS111-4/AS114-1)) ～ ケーブルトレイ (AS111-4/AS114-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS114-2)) ～ ケーブルトレイ (AS114-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS114-3)) ～ ケーブルトレイ (AS114-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS114-4)) ～ ケーブルトレイ (AS114-4)	4.6	40			

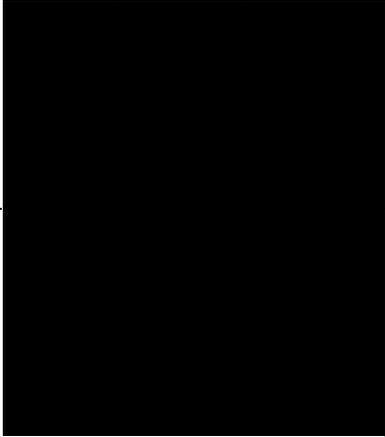
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-4)) ～ ケーブルトレイ (BC111-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-5)) ～ ケーブルトレイ (BC111-5)	4.6	40			

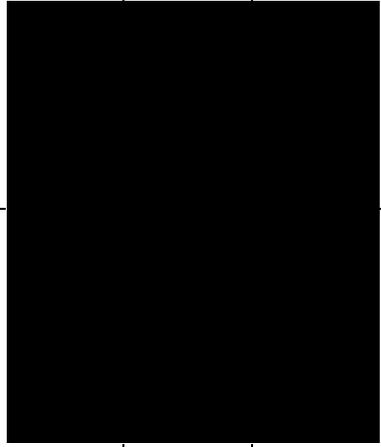
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-6)) ～ ケーブルトレイ (BC111-6)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-7)) ～ ケーブルトレイ (BC111-7)	4.6	40			

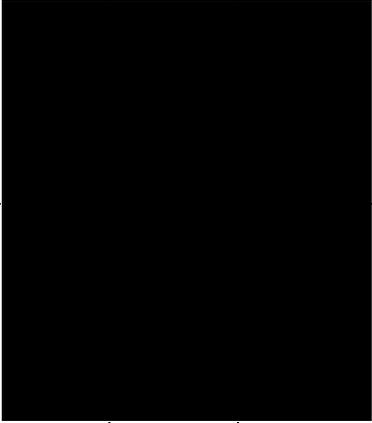
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-8)) ～ ケーブルトレイ (BC111-8)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC112-4)) ～ ケーブルトレイ (BC112-4)	4.6	40			

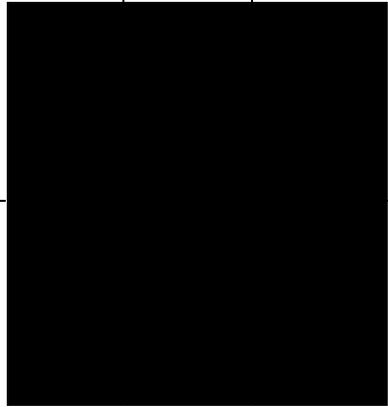
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH320-3)) ～ ケーブルトレイ (BH320-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH331-2)) ～ ケーブルトレイ (BH331-2)	4.6	40			

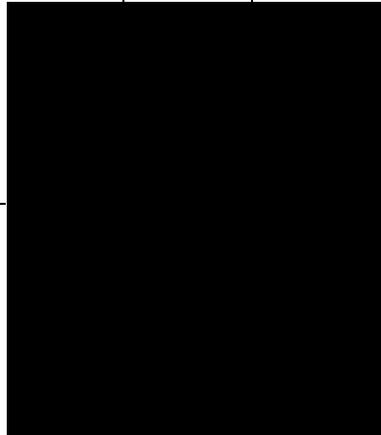
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH331-3)) ～ ケーブルトレイ (BH331-3)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH331-4)) ～ ケーブルトレイ (BH331-4)	4.6	40			

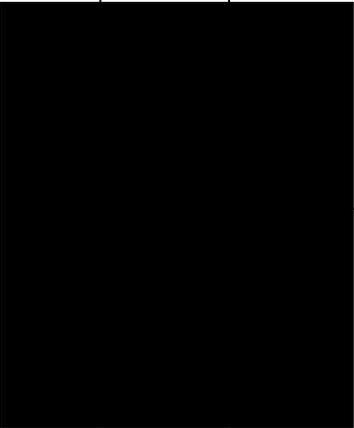
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH331-5)) ～ ケーブルトレイ (BH331-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS107-3)) ～ ケーブルトレイ (BS107-3)	4.6	40			

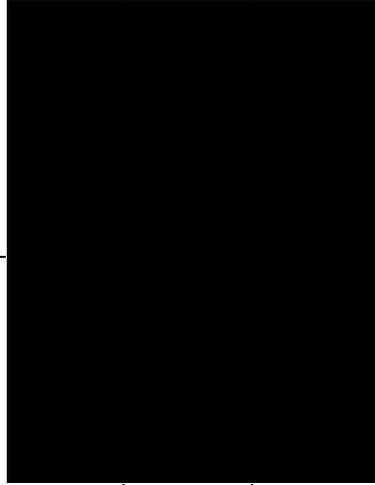
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS114-2)) ～ ケーブルトレイ (BS114-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS114-3)) ～ ケーブルトレイ (BS114-3)	4.6	40			

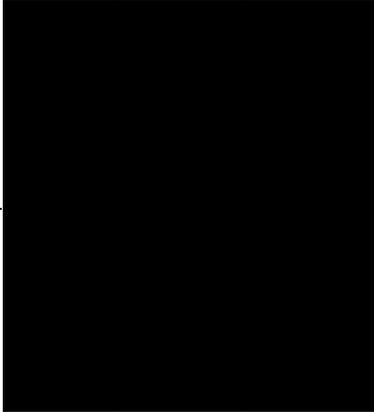
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS114-4)) ～ ケーブルトレイ (BS114-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS114-5)) ～ ケーブルトレイ (BS114-5)	4.6	40			

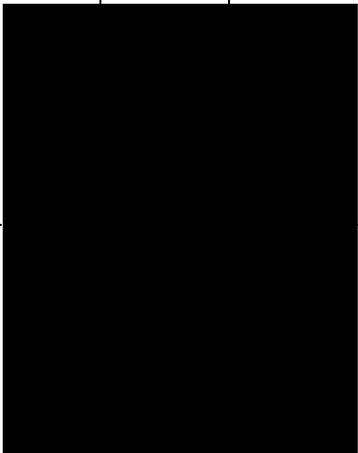
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC137-5/NC145-1)) ～ ケーブルトレイ (NC137-5/NC145-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC143-6/NC144-1)) ～ ケーブルトレイ (NC143-6/NC144-1)	4.6	40			

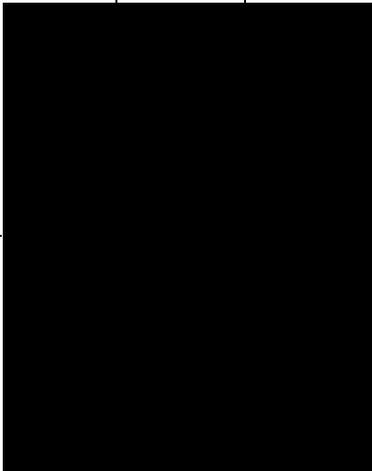
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC144-2)) ～ ケーブルトレイ (NC144-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC144-3)) ～ ケーブルトレイ (NC144-3)	4.6	40			

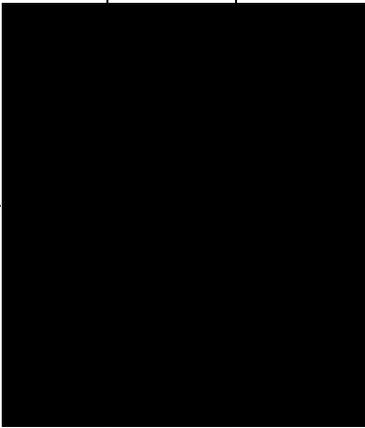
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC144-4)) ～ ケーブルトレイ (NC144-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC144-5)) ～ ケーブルトレイ (NC144-5)	4.6	40			

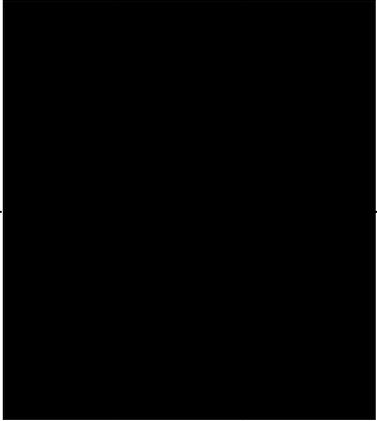
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC145-2)) ～ ケーブルトレイ (NC145-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC145-3)) ～ ケーブルトレイ (NC145-3)	4.6	40			

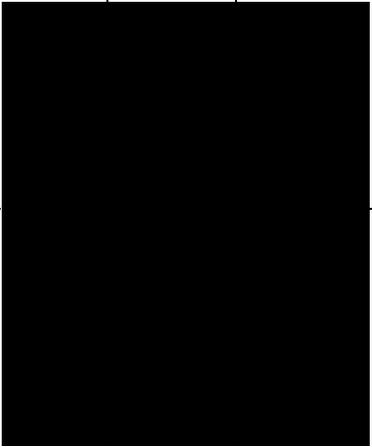
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC145-4)) ～ ケーブルトレイ (NC145-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC145-5)) ～ ケーブルトレイ (NC145-5)	4.6	40			

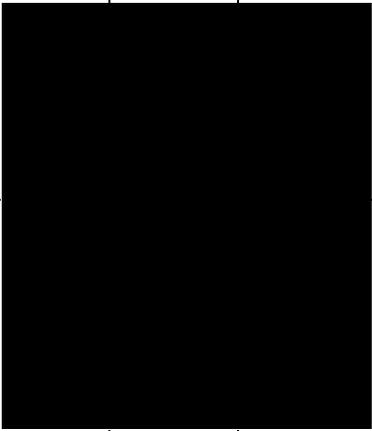
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH133-4/NH142-1)) ～ ケーブルトレイ (NH133-4/NH142-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH142-2)) ～ ケーブルトレイ (NH142-2)	4.6	40			

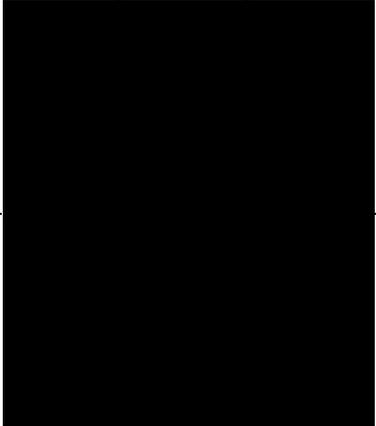
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH142-3)) ～ ケーブルトレイ (NH142-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH142-4)) ～ ケーブルトレイ (NH142-4)	4.6	40			

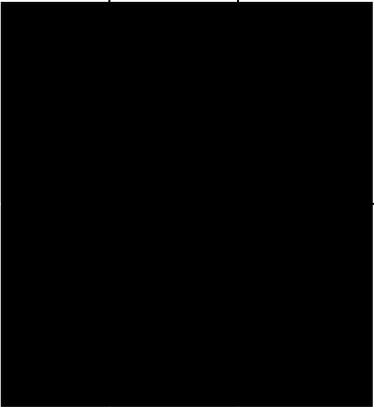
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK116-4/NK122-1)) ～ ケーブルトレイ (NK116-4/NK122-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK122-2)) ～ ケーブルトレイ (NK122-2)	4.6	40			

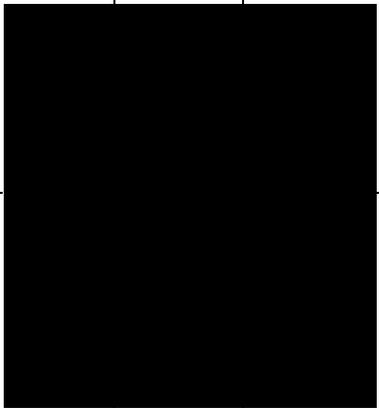
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK122-3)) ～ ケーブルトレイ (NK122-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK122-4)) ～ ケーブルトレイ (NK122-4)	4.6	40			

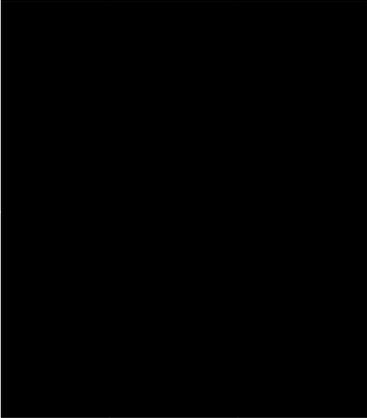
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL114-3/NL124-1)) ～ ケーブルトレイ (NL114-3/NL124-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL124-2)) ～ ケーブルトレイ (NL124-2)	4.6	40			

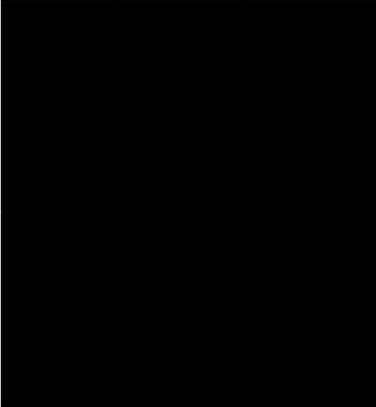
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL124-3)) ～ ケーブルトレイ (NL124-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS119-3/NS131-1)) ～ ケーブルトレイ (NS119-3/NS131-1)	4.6	40			

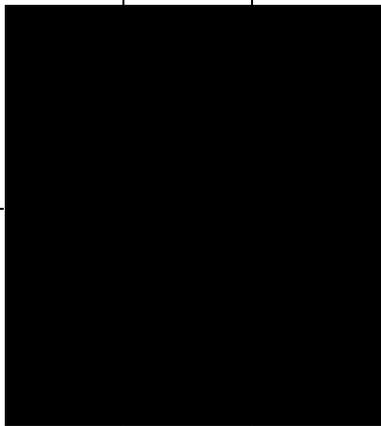
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS131-2)) ～ ケーブルトレイ (NS131-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS131-3)) ～ ケーブルトレイ (NS131-3)	4.6	40			

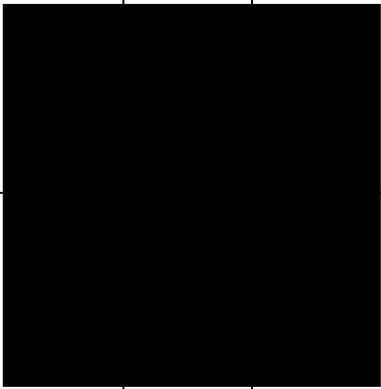
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS131-4)) ～ ケーブルトレイ (NS131-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC112-6)) ～ ケーブルトレイ (AC112-6)	4.6	40			

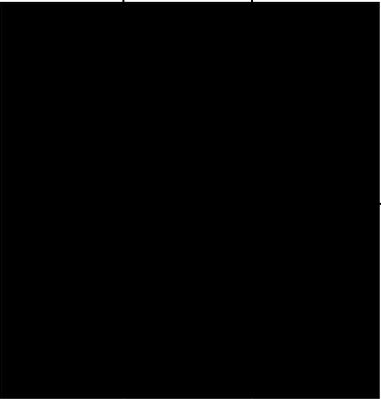
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC112-7)) ～ ケーブルトレイ (AC112-7)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC112-8/AC121-3)) ～ ケーブルトレイ (AC112-8/AC121-3)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC121-2)) ～ ケーブルトレイ (AC121-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH221-2)) ～ ケーブルトレイ (AH221-2)	4.6	40			

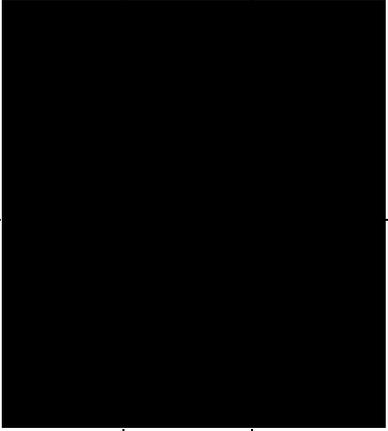
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH221-3)) ～ ケーブルトレイ (AH221-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH221-4)) ～ ケーブルトレイ (AH221-4)	4.6	40			

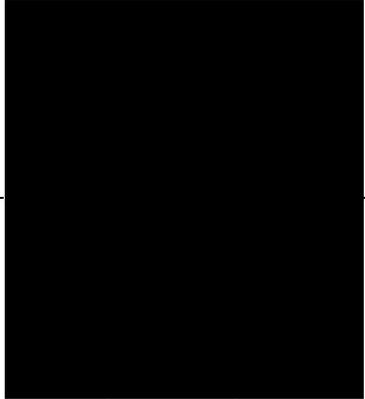
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH221-5)) ～ ケーブルトレイ (AH221-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL111-2)) ～ ケーブルトレイ (AL111-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL111-3)) ～ ケーブルトレイ (AL111-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS111-1/AS112-3)) ～ ケーブルトレイ (AS111-1/AS112-3)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS111-2)) ～ ケーブルトレイ (AS111-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS111-3)) ～ ケーブルトレイ (AS111-3)	4.6	40			

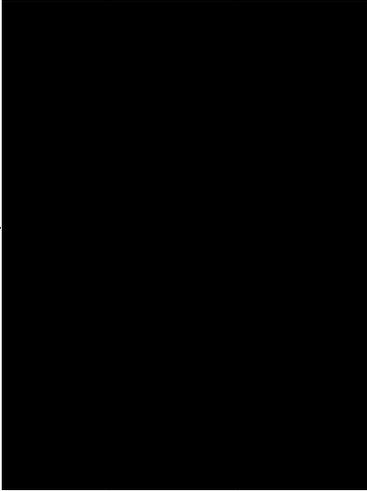
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS112-2)) ～ ケーブルトレイ (AS112-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC112-5)) ～ ケーブルトレイ (BC112-5)	4.6	40			

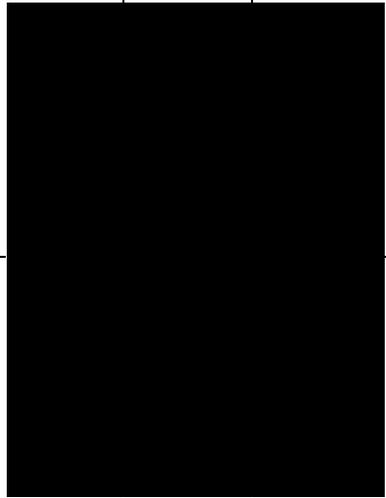
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC112-6)) ～ ケーブルトレイ (BC112-6)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC112-7/BC122-2)) ～ ケーブルトレイ (BC112-7/BC122-2)	4.6	40			

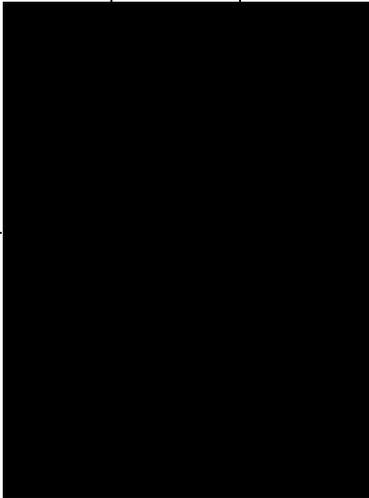
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC122-1)) ～ ケーブルトレイ (BC122-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH321-1)) ～ ケーブルトレイ (BH321-1)	4.6	40			

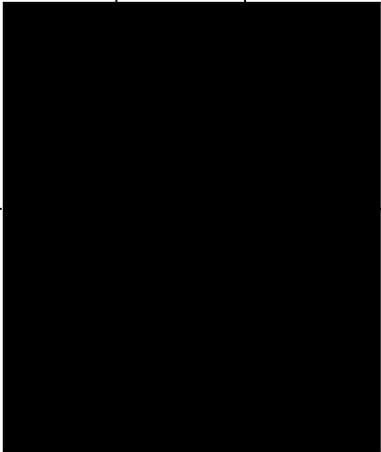
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH321-2)) ～ ケーブルトレイ (BH321-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH321-3)) ～ ケーブルトレイ (BH321-3)	4.6	40			

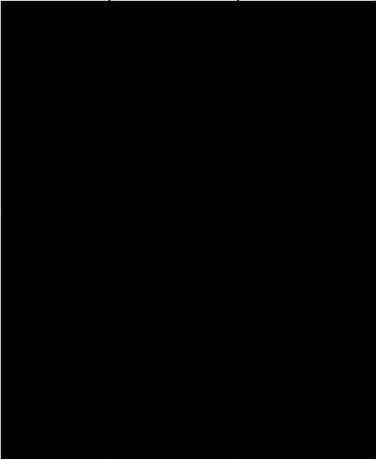
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH321-4)) ～ ケーブルトレイ (BH321-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL111-1)) ～ ケーブルトレイ (BL111-1)	4.6	40			

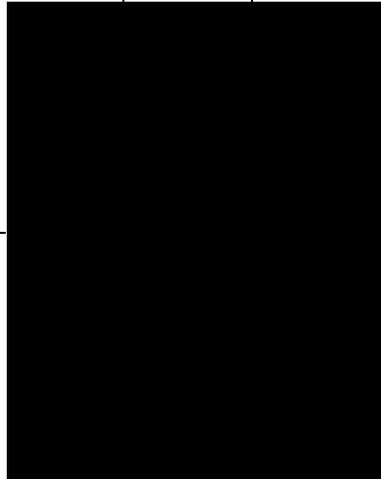
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL111-2)) ～ ケーブルトレイ (BL111-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS111-1/BS112-2)) ～ ケーブルトレイ (BS111-1/BS112-2)	4.6	40			

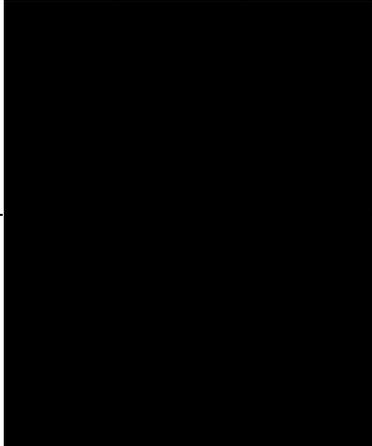
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS111-2)) ～ ケーブルトレイ (BS111-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS111-3)) ～ ケーブルトレイ (BS111-3)	4.6	40			

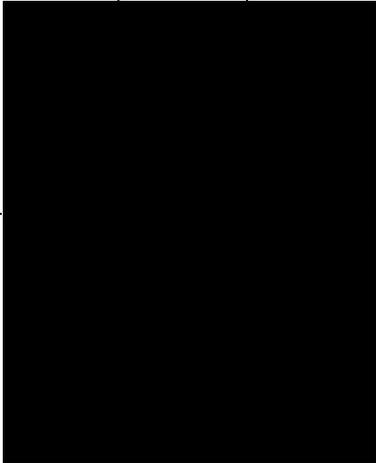
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS112-1)) ～ ケーブルトレイ (BS112-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC161-1/NC162-2)) ～ ケーブルトレイ (NC161-1/NC162-2)	4.6	40			

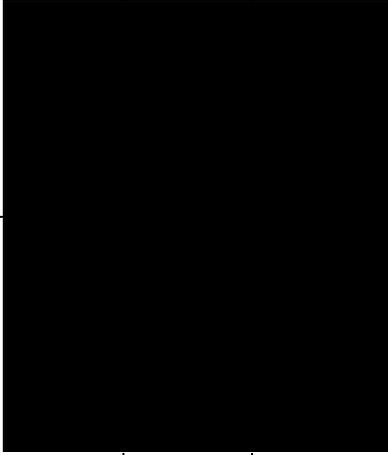
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC161-2)) ～ ケーブルトレイ (NC161-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC162-1)) ～ ケーブルトレイ (NC162-1)	4.6	40			

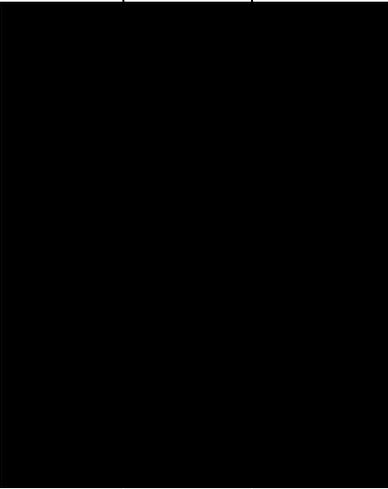
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC163-2)) ～ ケーブルトレイ (NC163-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC163-3)) ～ ケーブルトレイ (NC163-3)	4.6	40			

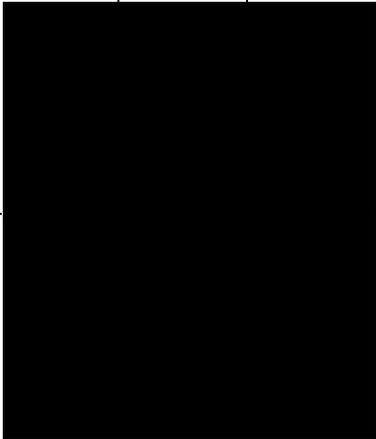
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC165-3)) ～ ケーブルトレイ (NC165-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC166-4)) ～ ケーブルトレイ (NC166-4)	4.6	40			

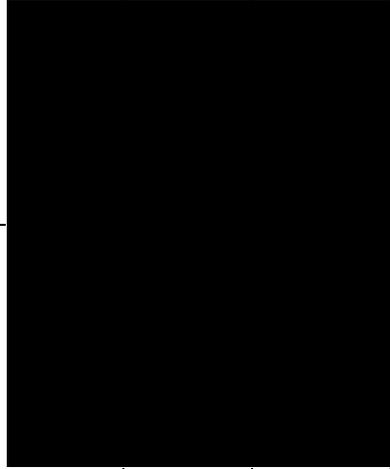
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH141-2)) ～ ケーブルトレイ (NH141-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH141-3)) ～ ケーブルトレイ (NH141-3)	4.6	40			

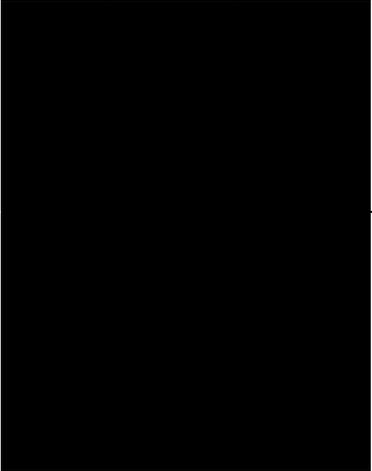
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH141-4)) ～ ケーブルトレイ (NH141-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH141-5)) ～ ケーブルトレイ (NH141-5)	4.6	40			

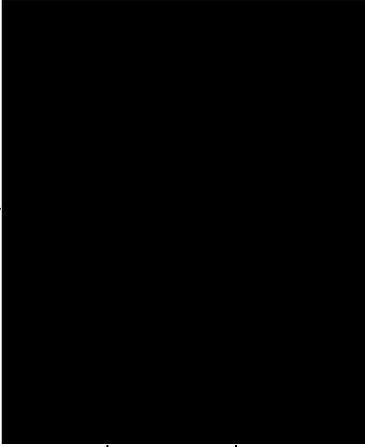
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK121-2)) ～ ケーブルトレイ (NK121-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK121-3)) ～ ケーブルトレイ (NK121-3)	4.6	40			

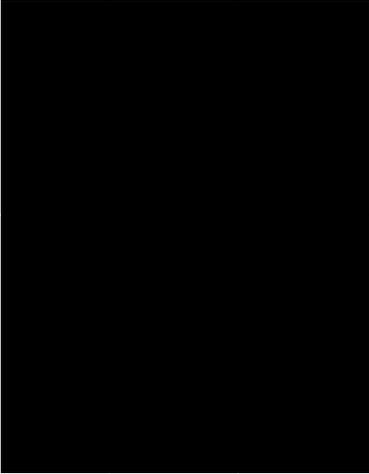
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK121-4)) ～ ケーブルトレイ (NK121-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK121-5)) ～ ケーブルトレイ (NK121-5)	4.6	40			

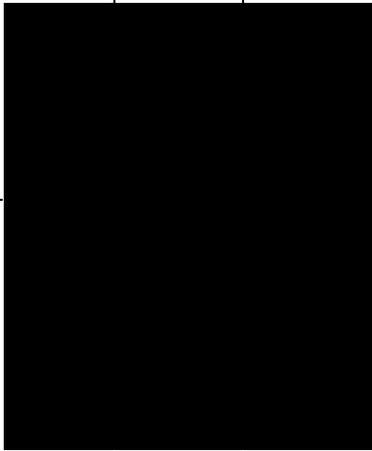
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL121-1/NL122-2)) ～ ケーブルトレイ (NL121-1/NL122-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL121-2)) ～ ケーブルトレイ (NL121-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL122-1/NL123-3)) ～ ケーブルトレイ (NL122-1/NL123-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL123-2)) ～ ケーブルトレイ (NL123-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL125-3)) ～ ケーブルトレイ (NL125-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL126-4)) ～ ケーブルトレイ (NL126-4)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS132-1/NS133-2)) ～ ケーブルトレイ (NS132-1/NS133-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS132-2)) ～ ケーブルトレイ (NS132-2)	4.6	40			

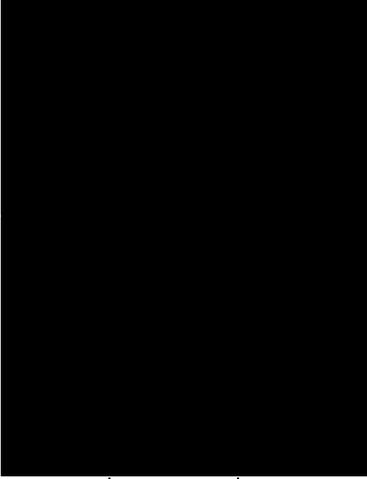
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS133-1/NS134-3)) ～ ケーブルトレイ (NS133-1/NS134-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS134-2)) ～ ケーブルトレイ (NS134-2)	4.6	40			

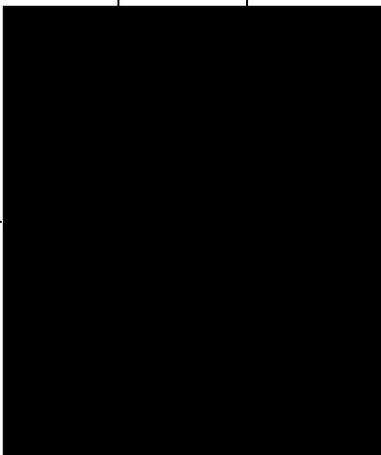
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS134-4)) ～ ケーブルトレイ (NS134-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS135-3)) ～ ケーブルトレイ (NS135-3)	4.6	40			

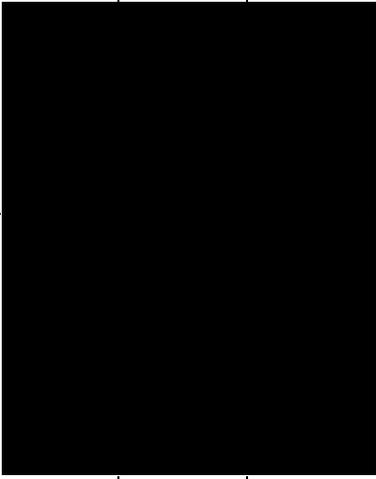
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS136-4)) ～ ケーブルトレイ (NS136-4)	4.6	40	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH321-5/BH331-1)) ～ ケーブルトレイ (BH321-5/BH331-1)	4.6	40			

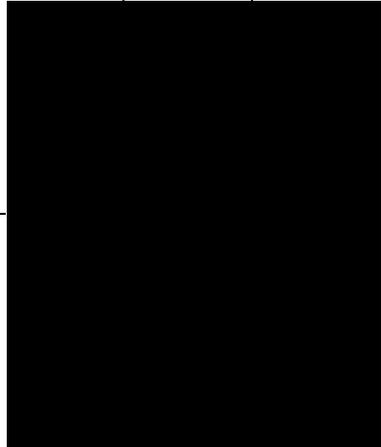
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS111-4/BS114-1)) ～ ケーブルトレイ (BS111-4/BS114-1)	4.6	40			

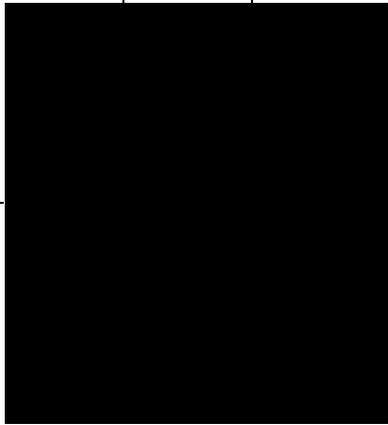
注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK121-1)) ～ ケーブルトレイ (NK121-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC121-1)) ～ ケーブルトレイ (AC121-1)	4.6	40			

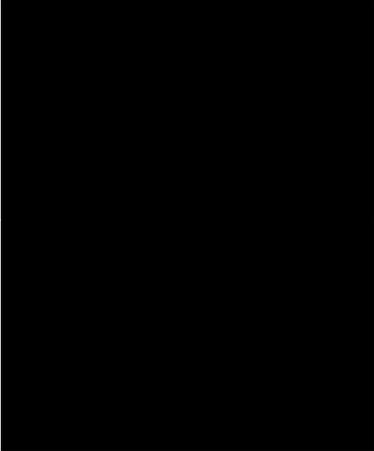
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH221-1)) ～ ケーブルトレイ (AH221-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL111-1)) ～ ケーブルトレイ (AL111-1)	4.6	40			

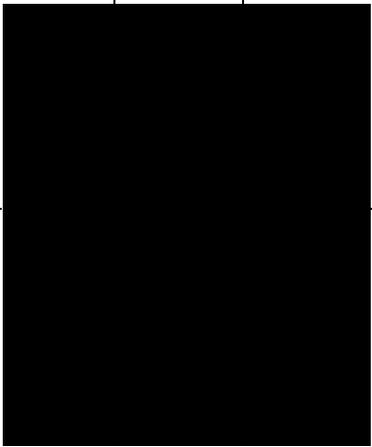
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS112-1)) ～ ケーブルトレイ (AS112-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC163-1)) ～ ケーブルトレイ (NC163-1)	4.6	40			

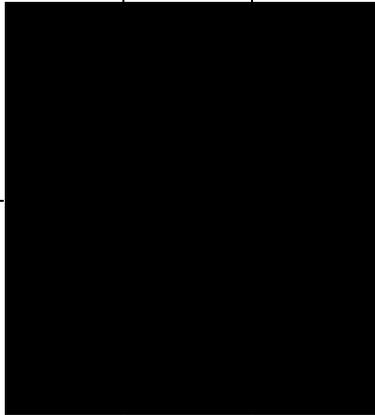
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH141-1)) ～ ケーブルトレイ (NH141-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK121-6)) ～ ケーブルトレイ (NK121-6)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL123-1)) ～ ケーブルトレイ (NL123-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS134-1)) ～ ケーブルトレイ (NS134-1)	4.6	40			

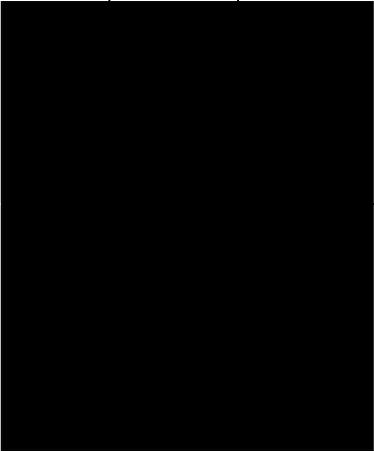
注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC165-1)) ～ ケーブルトレイ (NC165-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC165-2)) ～ ケーブルトレイ (NC165-2)	4.6	40			

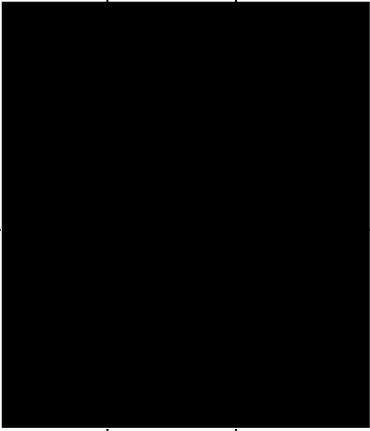
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL125-1)) ～ ケーブルトレイ (NL125-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL125-2)) ～ ケーブルトレイ (NL125-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS135-1)) ～ ケーブルトレイ (NS135-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS135-2)) ～ ケーブルトレイ (NS135-2)	4.6	40			

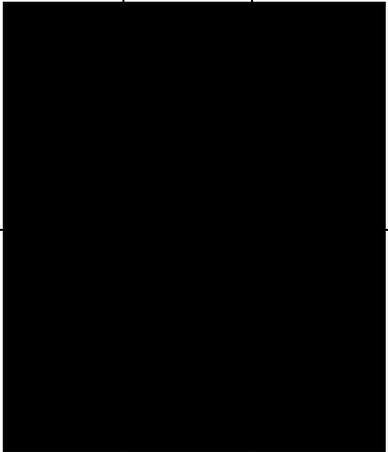
注記 * : 公称値を示す。

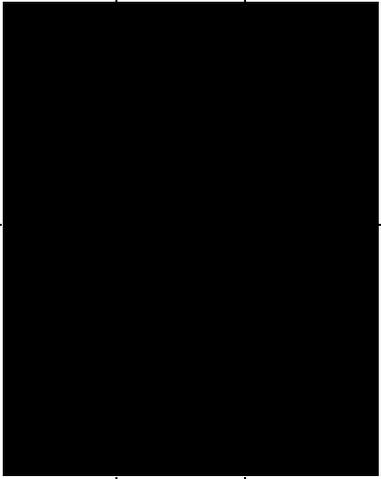
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-11)) ～ ケーブルトレイ (AC113-11)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-12)) ～ ケーブルトレイ (AC113-12)	4.6	40			

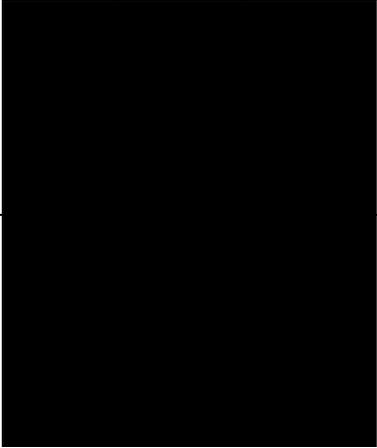
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-13)) ～ ケーブルトレイ (AC113-13)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC131-1)) ～ ケーブルトレイ (AC131-1)	4.6	40			

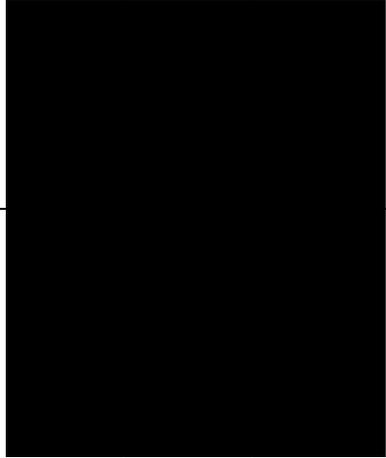
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH231-5)) ～ ケーブルトレイ (AH231-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH231-6)) ～ ケーブルトレイ (AH231-6)	4.6	40			

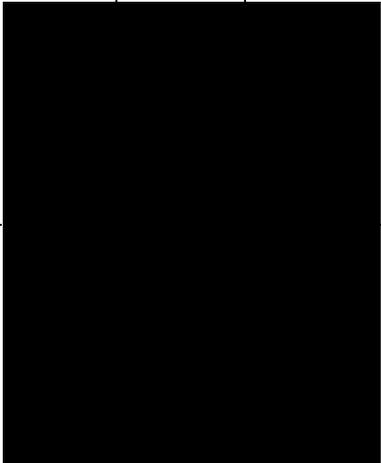
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH231-7/AH232-1)) ～ ケーブルトレイ (AH231-7/AH232-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS114-5)) ～ ケーブルトレイ (AS114-5)	4.6	40			

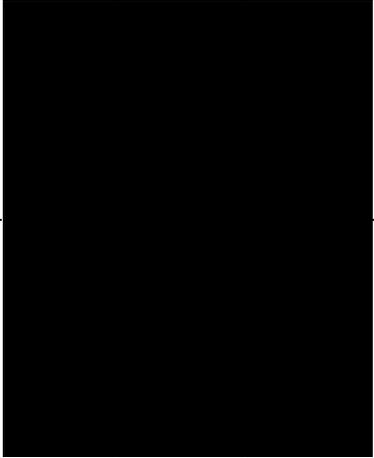
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS114-6)) ～ ケーブルトレイ (AS114-6)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS114-7/AS115-1)) ～ ケーブルトレイ (AS114-7/AS115-1)	4.6	40			

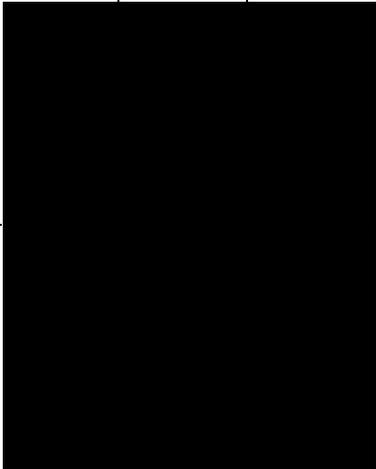
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC145-6/NC175-1)) ～ ケーブルトレイ (NC145-6/NC175-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC175-3/NC176-1)) ～ ケーブルトレイ (NC175-3/NC176-1)	4.6	40			

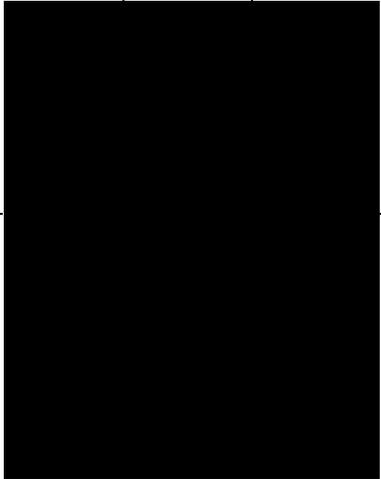
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC176-2)) ～ ケーブルトレイ (NC176-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC184-1)) ～ ケーブルトレイ (NC184-1)	4.6	40			

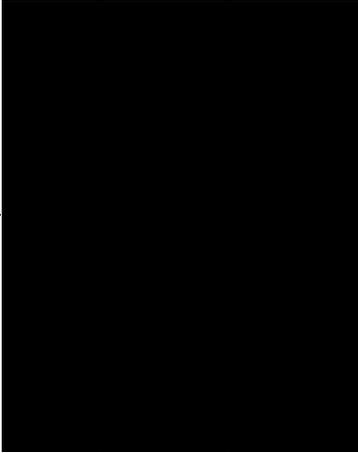
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC184-3)) ～ ケーブルトレイ (NC184-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH142-5/NH153-1)) ～ ケーブルトレイ (NH142-5/NH153-1)	4.6	40			

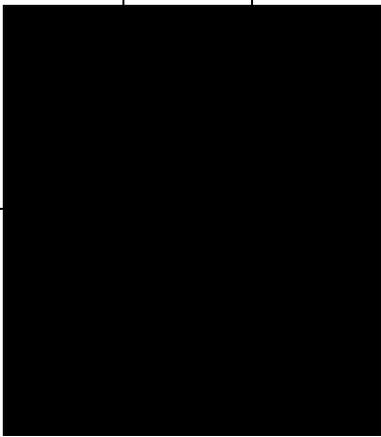
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH153-3/NH154-1)) ～ ケーブルトレイ (NH153-3/NH154-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK122-5/NK133-1)) ～ ケーブルトレイ (NK122-5/NK133-1)	4.6	40			

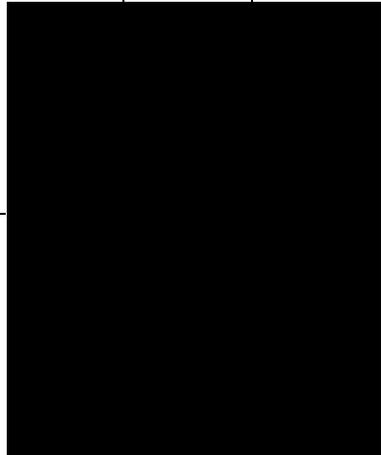
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK133-3/NK134-1)) ～ ケーブルトレイ (NK133-3/NK134-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL124-4/NL134-1)) ～ ケーブルトレイ (NL124-4/NL134-1)	4.6	40			

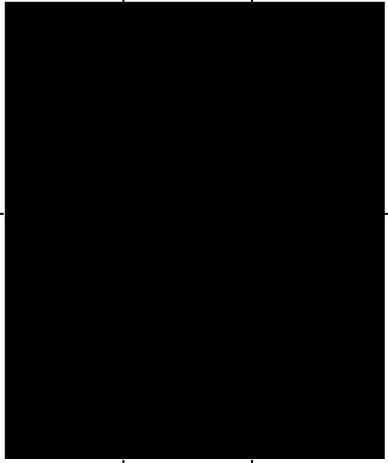
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL134-3/NL135-1)) ～ ケーブルトレイ (NL134-3/NL135-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS131-5/NS145-1)) ～ ケーブルトレイ (NS131-5/NS145-1)	4.6	40			

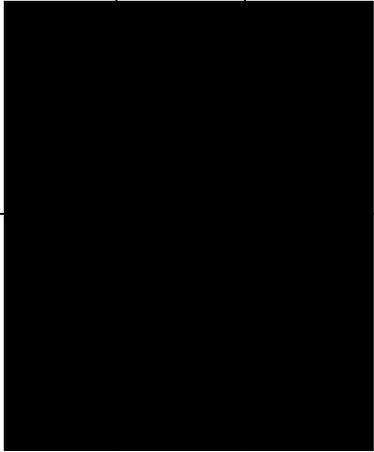
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS145-3/NS146-1)) ～ ケーブルトレイ (NS145-3/NS146-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-10)) ～ ケーブルトレイ (BC111-10)	4.6	40			

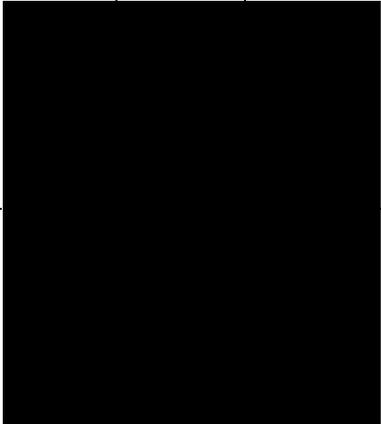
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-11)) ～ ケーブルトレイ (BC111-11)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC131-1)) ～ ケーブルトレイ (BC131-1)	4.6	40			

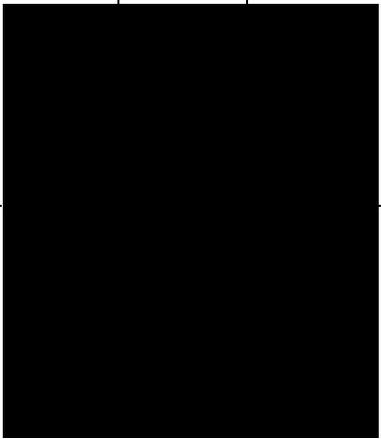
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH331-7)) ～ ケーブルトレイ (BH331-7)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH331-8/BH332-1)) ～ ケーブルトレイ (BH331-8/BH332-1)	4.6	40			

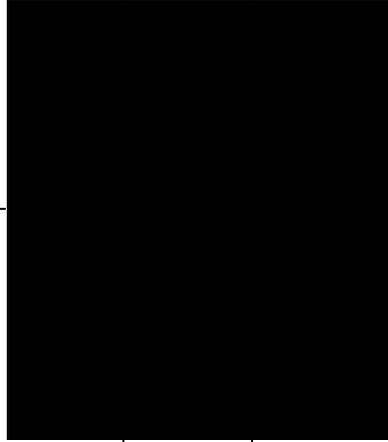
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS114-7)) ～ ケーブルトレイ (BS114-7)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS114-8/BS115-1)) ～ ケーブルトレイ (BS114-8/BS115-1)	4.6	40			

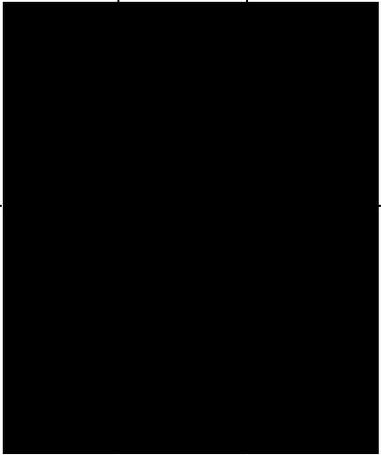
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC144-6/NC188-1)) ～ ケーブルトレイ (NC144-6/NC188-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC174-1)) ～ ケーブルトレイ (NC174-1)	4.6	40			

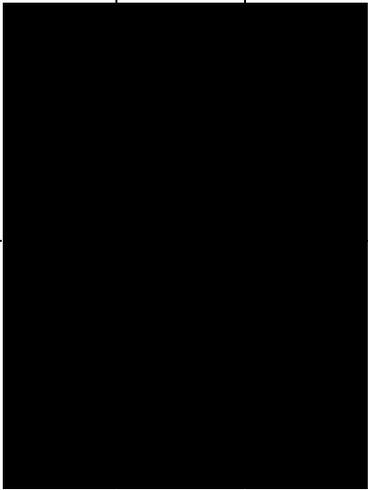
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC175-2)) ～ ケーブルトレイ (NC175-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC184-2)) ～ ケーブルトレイ (NC184-2)	4.6	40			

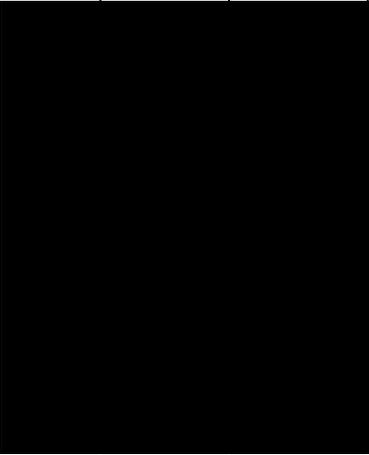
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH152-1)) ～ ケーブルトレイ (NH152-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH153-2)) ～ ケーブルトレイ (NH153-2)	4.6	40			

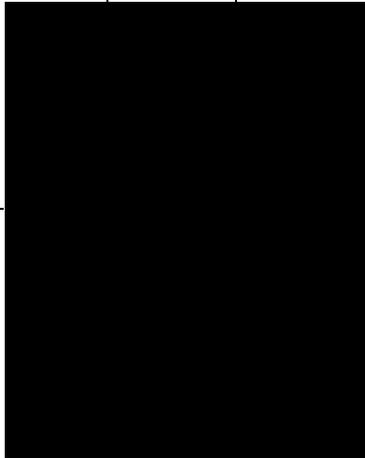
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK132-1)) ～ ケーブルトレイ (NK132-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK133-2)) ～ ケーブルトレイ (NK133-2)	4.6	40			

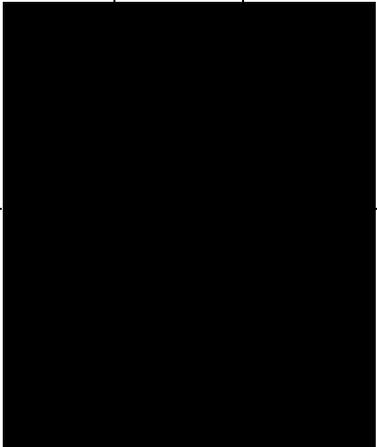
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL133-1)) ～ ケーブルトレイ (NL133-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL134-2)) ～ ケーブルトレイ (NL134-2)	4.6	40			

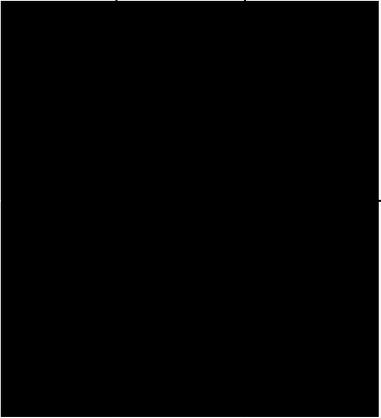
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS144-1)) ～ ケーブルトレイ (NS144-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS145-2)) ～ ケーブルトレイ (NS145-2)	4.6	40			

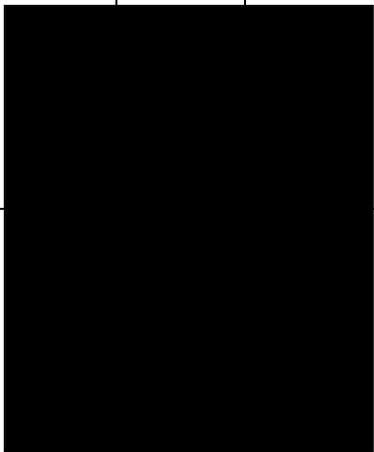
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC176-3)) ～ ケーブルトレイ (NC176-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH154-2)) ～ ケーブルトレイ (NH154-2)	4.6	40			

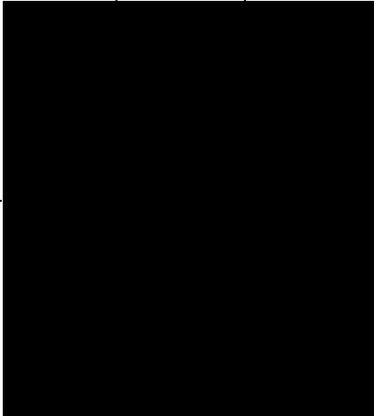
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK134-2)) ～ ケーブルトレイ (NK134-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL135-2)) ～ ケーブルトレイ (NL135-2)	4.6	40			

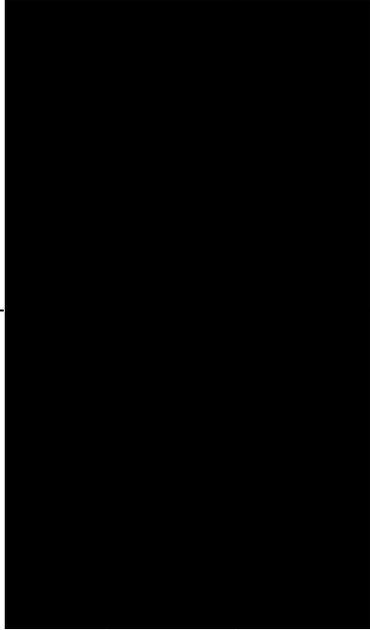
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS146-2)) ～ ケーブルトレイ (NS146-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC131-2)) ～ ケーブルトレイ (AC131-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH232-2)) ～ ケーブルトレイ (AH232-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS115-2)) ～ ケーブルトレイ (AS115-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC131-2)) ～ ケーブルトレイ (BC131-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH332-2)) ～ ケーブルトレイ (BH332-2)	4.6	40			

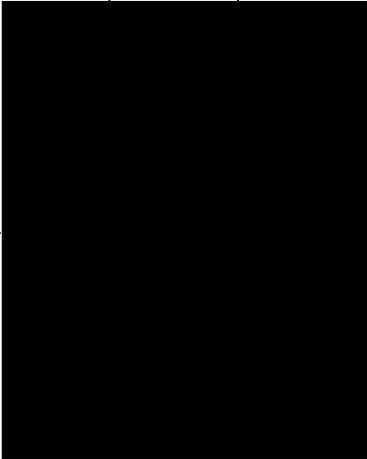
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS115-2)) ～ ケーブルトレイ (BS115-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-9)) ～ ケーブルトレイ (BC111-9)	4.6	40			

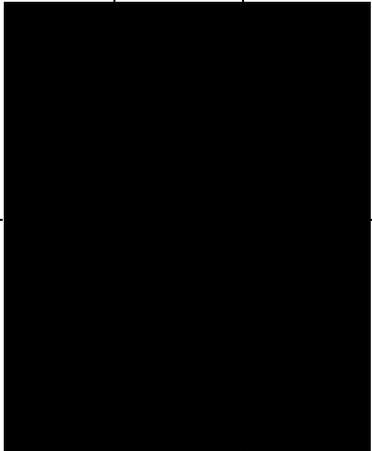
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH331-6)) ～ ケーブルトレイ (BH331-6)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS114-6)) ～ ケーブルトレイ (BS114-6)	4.6	40			

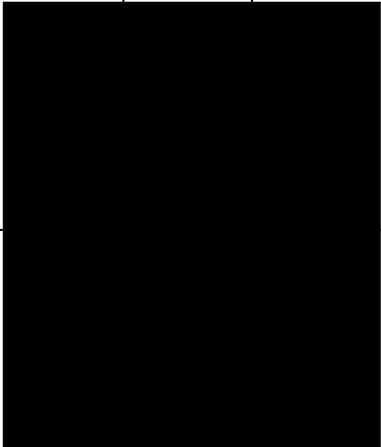
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHB01-1/BCB02-1/ BSB02-1)) ~ ケーブルトレイ (BHB01-1/BCB02-1/ BSB02-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHB01-1/ACB02-1/ ASB02-1)) ~ ケーブルトレイ (AHB01-1/ACB02-1/ ASB02-1)	4.6	40			

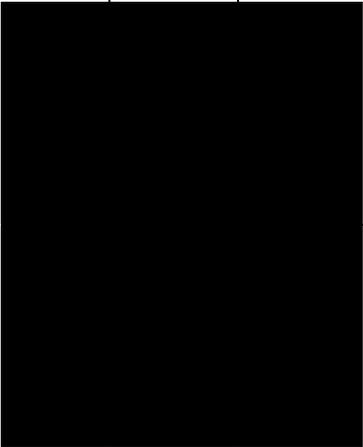
変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブルトレイ消火設備			—			ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHB01-1/NLB28-1/ NCB31-1/NCB30-1/ NSB28-1)) ~ ケーブルトレイ (NHB01-1/NLB28-1/ NCB31-1/NCB30-1/ NSB28-1)	4.6	40			

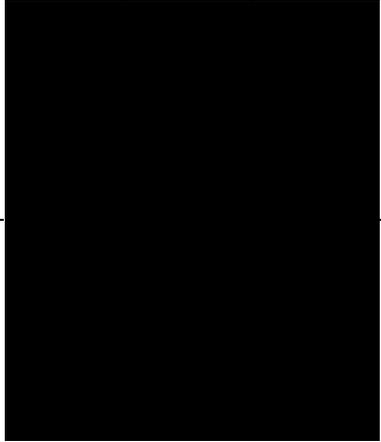
注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC132-1)) ～ ケーブルトレイ (AC132-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC132-2)) ～ ケーブルトレイ (AC132-2)	4.6	40			

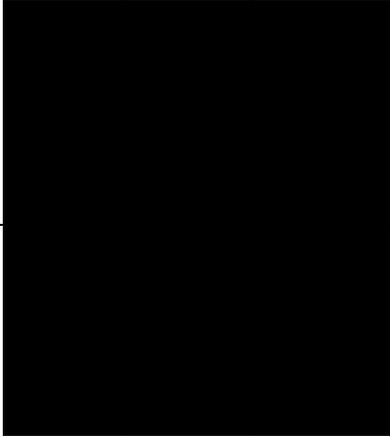
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH233-1)) ～ ケーブルトレイ (AH233-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH233-2)) ～ ケーブルトレイ (AH233-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS116-1)) ～ ケーブルトレイ (AS116-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS116-2)) ～ ケーブルトレイ (AS116-2)	4.6	40			

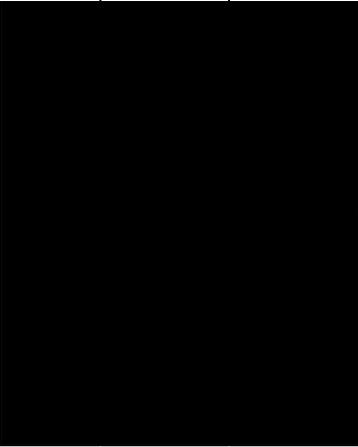
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC179-1)) ～ ケーブルトレイ (NC179-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC179-2)) ～ ケーブルトレイ (NC179-2)	4.6	40			

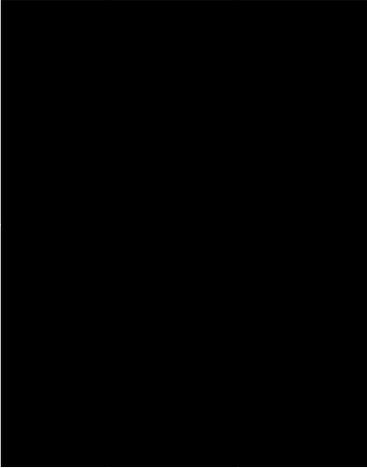
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH157-1)) ～ ケーブルトレイ (NH157-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH157-2)) ～ ケーブルトレイ (NH157-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL138-1)) ～ ケーブルトレイ (NL138-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL138-2)) ～ ケーブルトレイ (NL138-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS150-1)) ～ ケーブルトレイ (NS150-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS150-2)) ～ ケーブルトレイ (NS150-2)	4.6	40			

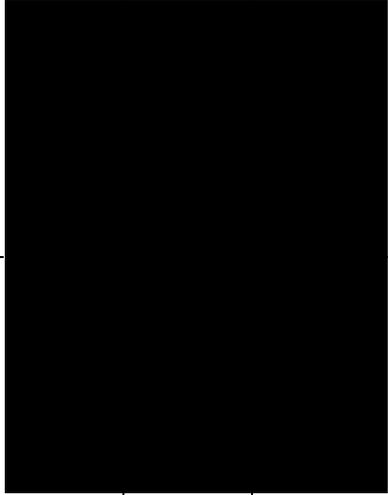
注記 * : 公称値を示す。

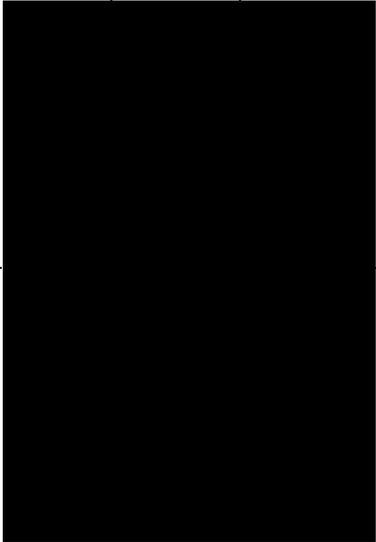
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC132-1)) ～ ケーブルトレイ (BC132-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC132-2)) ～ ケーブルトレイ (BC132-2)	4.6	40			

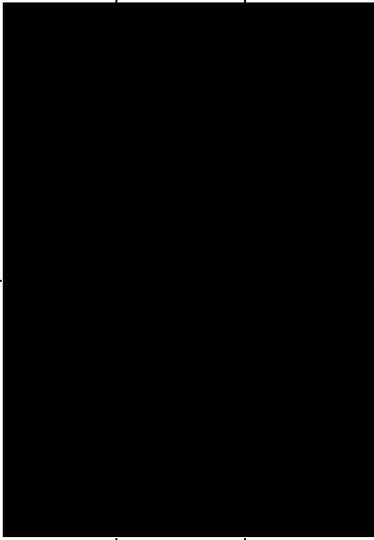
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH333-1)) ～ ケーブルトレイ (BH333-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS116-1)) ～ ケーブルトレイ (BS116-1)	4.6	40			

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS116-2)) ～ ケーブルトレイ (BS116-2)	4.6	40			

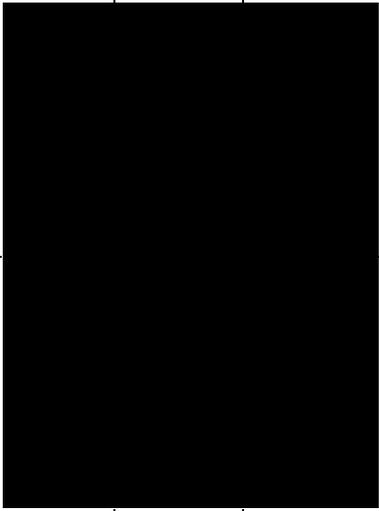
注記 * : 公称値を示す。

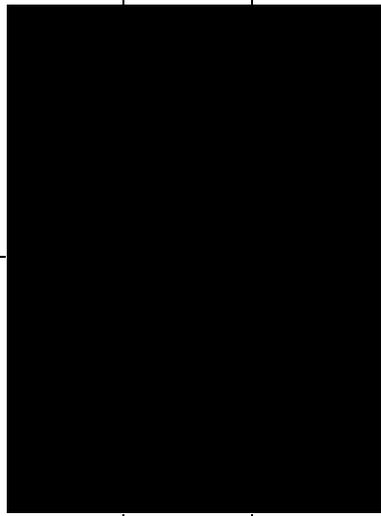
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC131-4)) ～ ケーブルトレイ (AC131-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC131-5)) ～ ケーブルトレイ (AC131-5)	4.6	40			

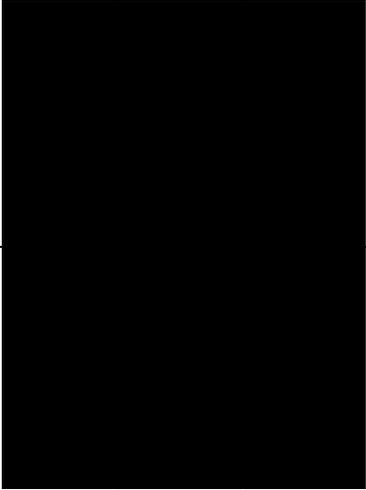
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH232-4)) ～ ケーブルトレイ (AH232-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS115-4)) ～ ケーブルトレイ (AS115-4)	4.6	40			

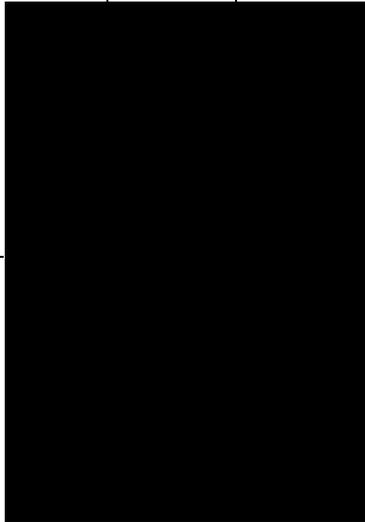
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC131-4)) ～ ケーブルトレイ (BC131-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH332-4)) ～ ケーブルトレイ (BH332-4)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS115-4)) ～ ケーブルトレイ (BS115-4)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC176-5)) ～ ケーブルトレイ (NC176-5)	4.6	40			

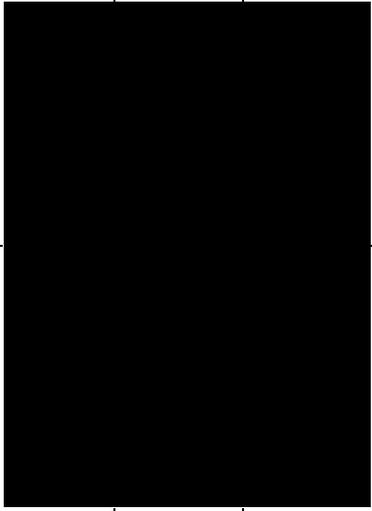
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC176-6)) ～ ケーブルトレイ (NC176-6)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC176-7)) ～ ケーブルトレイ (NC176-7)	4.6	40			

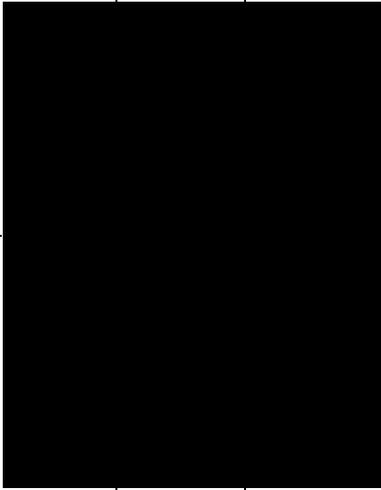
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH154-4)) ～ ケーブルトレイ (NH154-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH154-5)) ～ ケーブルトレイ (NH154-5)	4.6	40			

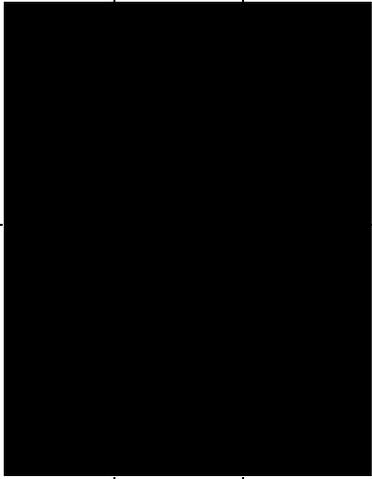
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK134-4)) ～ ケーブルトレイ (NK134-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK134-5)) ～ ケーブルトレイ (NK134-5)	4.6	40			

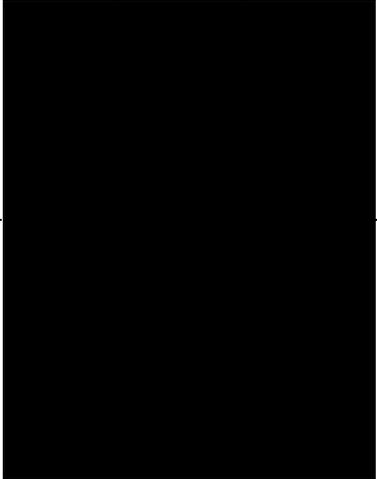
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL135-4)) ～ ケーブルトレイ (NL135-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS146-4)) ～ ケーブルトレイ (NS146-4)	4.6	40			

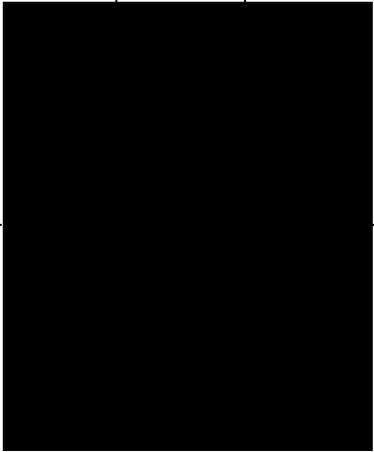
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS146-5)) ～ ケーブルトレイ (NS146-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC131-5)) ～ ケーブルトレイ (BC131-5)	4.6	40			

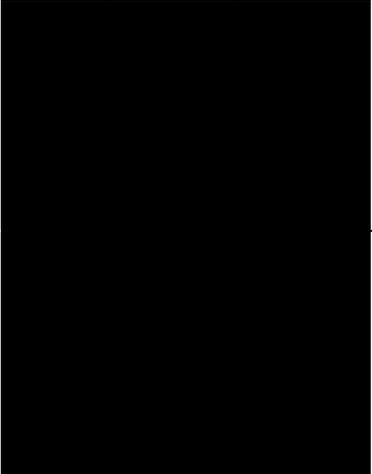
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH332-5)) ～ ケーブルトレイ (BH332-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS115-5)) ～ ケーブルトレイ (BS115-5)	4.6	40			

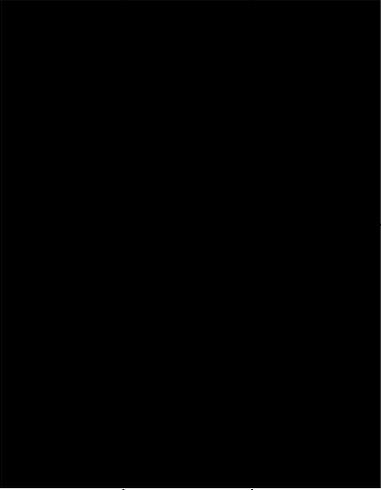
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC131-6)) ～ ケーブルトレイ (AC131-6)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH232-5)) ～ ケーブルトレイ (AH232-5)	4.6	40			

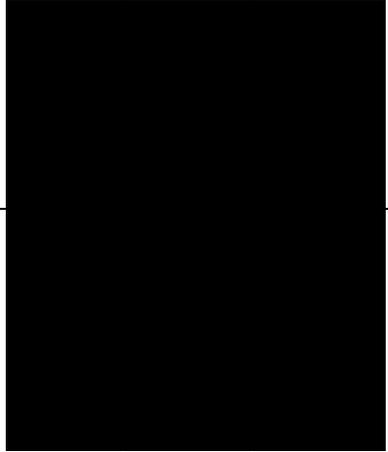
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS115-5)) ～ ケーブルトレイ (AS115-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL135-5)) ～ ケーブルトレイ (NL135-5)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC131-6)) ～ ケーブルトレイ (BC131-6)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH332-6)) ～ ケーブルトレイ (BH332-6)	4.6	40			

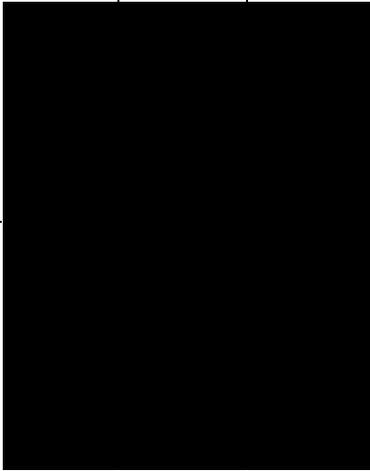
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS115-6)) ～ ケーブルトレイ (BS115-6)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC131-3)) ～ ケーブルトレイ (AC131-3)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH232-3)) ～ ケーブルトレイ (AH232-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS115-3)) ～ ケーブルトレイ (AS115-3)	4.6	40			

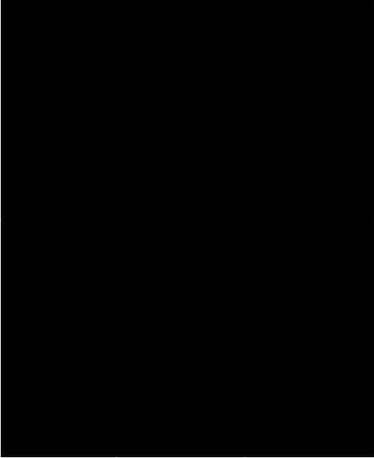
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC131-3)) ～ ケーブルトレイ (BC131-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH332-3)) ～ ケーブルトレイ (BH332-3)	4.6	40			

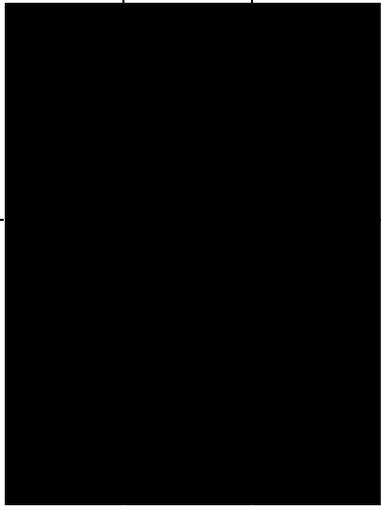
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS115-3)) ～ ケーブルトレイ (BS115-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC176-4)) ～ ケーブルトレイ (NC176-4)	4.6	40			

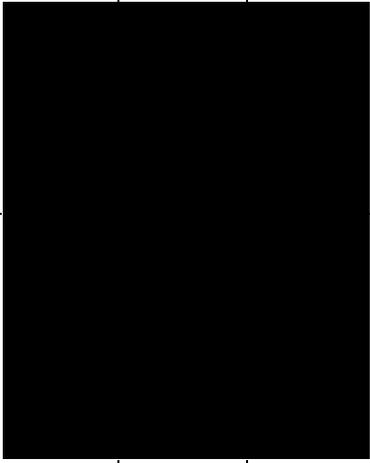
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH154-3)) ～ ケーブルトレイ (NH154-3)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK134-3)) ～ ケーブルトレイ (NK134-3)	4.6	40			

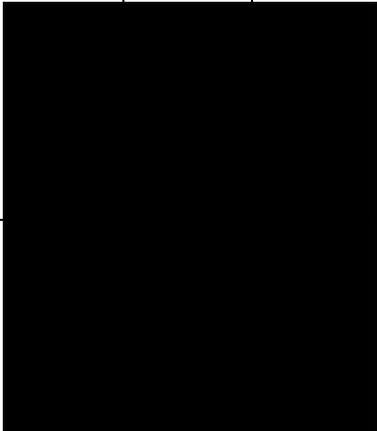
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL135-3)) ～ ケーブルトレイ (NL135-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS146-3)) ～ ケーブルトレイ (NS146-3)	4.6	40			

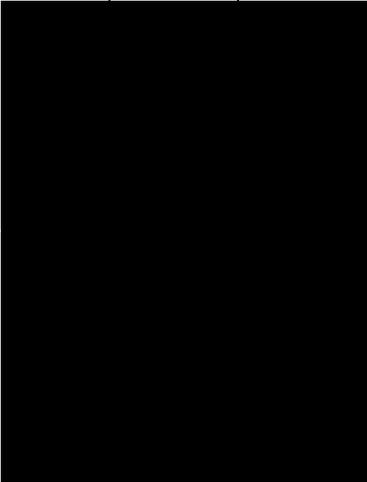
注記 * : 公称値を示す。

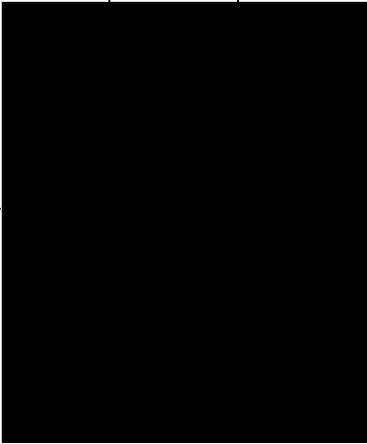
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC101-2)) ～ ケーブルトレイ (AC101-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC102-1)) ～ ケーブルトレイ (AC102-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC102-2)) ～ ケーブルトレイ (AC102-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC103-1/AC105- 1/AC114-2)) ～ ケーブルトレイ (AC103-1/AC105- 1/AC114-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC111-1/AC112-1)) ～ ケーブルトレイ (AC111-1/AC112-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC112-2)) ～ ケーブルトレイ (AC112-2)	4.6	40			

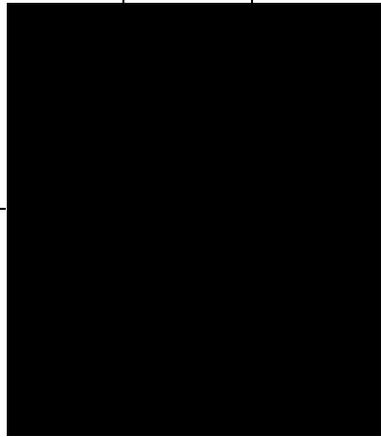
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC112-3)) ～ ケーブルトレイ (AC112-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC112-4)) ～ ケーブルトレイ (AC112-4)	4.6	40			

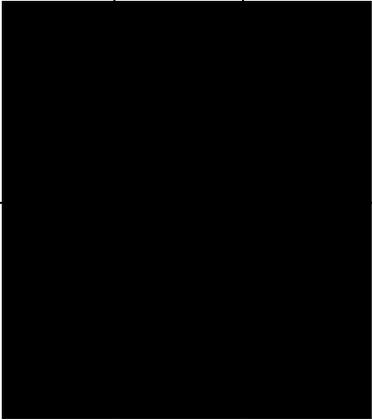
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-1)) ～ ケーブルトレイ (AC113-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-2)) ～ ケーブルトレイ (AC113-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-3)) ～ ケーブルトレイ (AC113-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-4)) ～ ケーブルトレイ (AC113-4)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC113-5)) ～ ケーブルトレイ (AC113-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH201-2)) ～ ケーブルトレイ (AH201-2)	4.6	40			

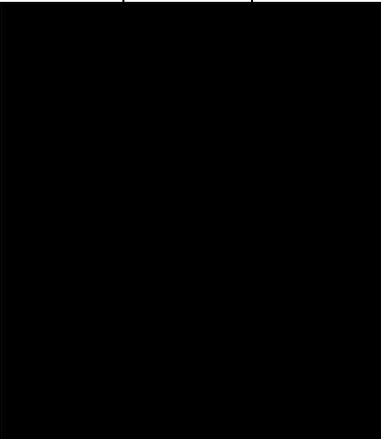
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH201-3)) ～ ケーブルトレイ (AH201-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH201-4)) ～ ケーブルトレイ (AH201-4)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH202-1/AH203-1)) ～ ケーブルトレイ (AH202-1/AH203-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH206-2/AH220-1)) ～ ケーブルトレイ (AH206-2/AH220-1)	4.6	40			

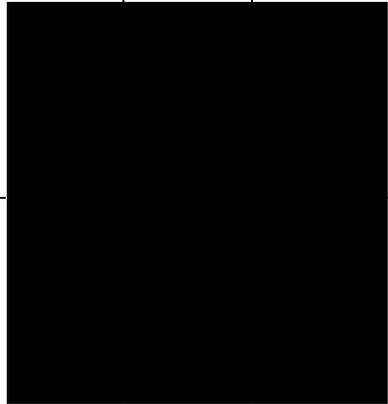
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH220-2)) ～ ケーブルトレイ (AH220-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH220-3)) ～ ケーブルトレイ (AH220-3)	4.6	40			

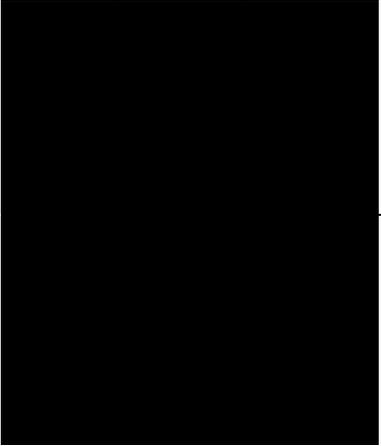
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS102-1)) ～ ケーブルトレイ (AS102-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS102-2)) ～ ケーブルトレイ (AS102-2)	4.6	40			

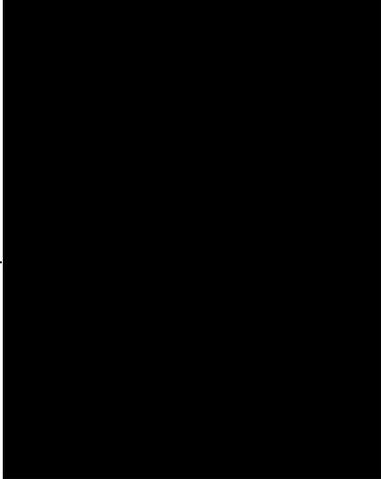
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS103-1/AS105-1)) ～ ケーブルトレイ (AS103-1/AS105-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS104-2/AS106-1)) ～ ケーブルトレイ (AS104-2/AS106-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS106-2)) ～ ケーブルトレイ (AS106-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS106-3)) ～ ケーブルトレイ (AS106-3)	4.6	40			

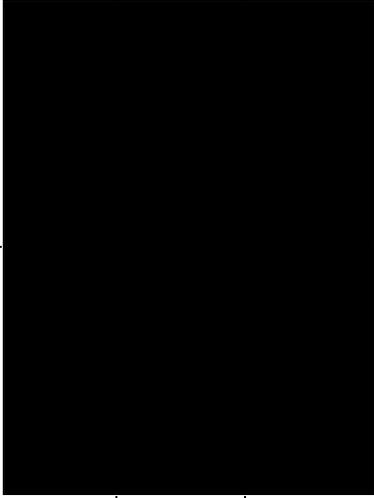
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC121-1)) ～ ケーブルトレイ (NC121-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC121-2)) ～ ケーブルトレイ (NC121-2)	4.6	40			

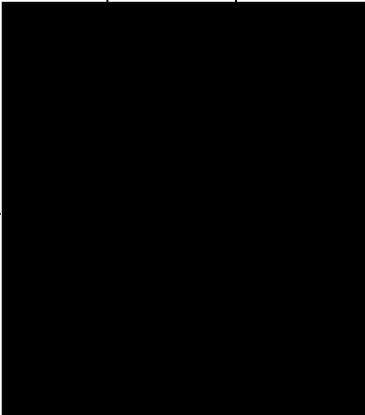
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC121-3/NC122-1)) ～ ケーブルトレイ (NC121-3/NC122-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC122-2)) ～ ケーブルトレイ (NC122-2)	4.6	40			

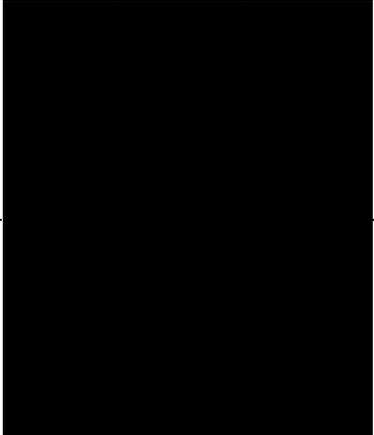
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC122-3)) ～ ケーブルトレイ (NC122-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC122-4)) ～ ケーブルトレイ (NC122-4)	4.6	40			

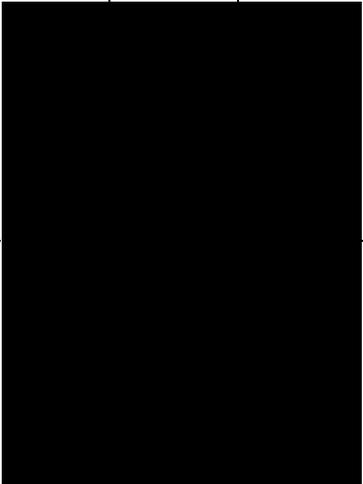
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC122-5/NC135- 1/NC136-1)) ～ ケーブルトレイ (NC122-5/NC135- 1/NC136-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC128-2)) ～ ケーブルトレイ (NC128-2)	4.6	40			

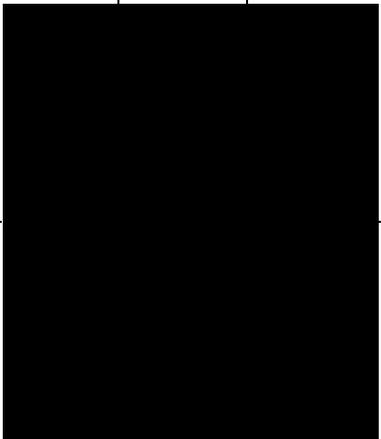
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC136-2)) ～ ケーブルトレイ (NC136-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC136-3)) ～ ケーブルトレイ (NC136-3)	4.6	40			

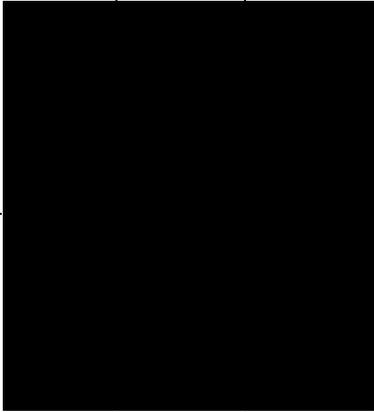
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC136-4/NC137-1)) ～ ケーブルトレイ (NC136-4/NC137-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC137-2)) ～ ケーブルトレイ (NC137-2)	4.6	40			

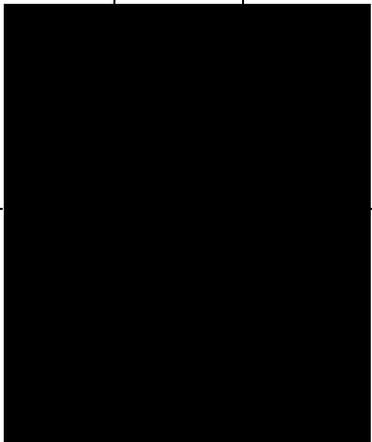
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC137-3)) ～ ケーブルトレイ (NC137-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC137-4)) ～ ケーブルトレイ (NC137-4)	4.6	40			

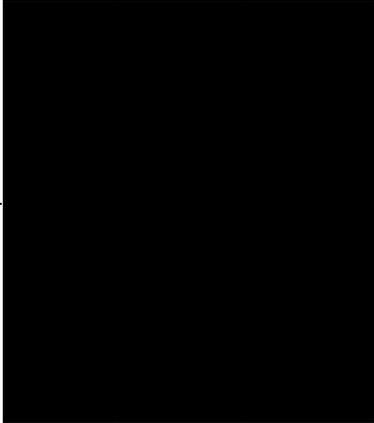
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC143-2)) ～ ケーブルトレイ (NC143-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC143-3)) ～ ケーブルトレイ (NC143-3)	4.6	40			

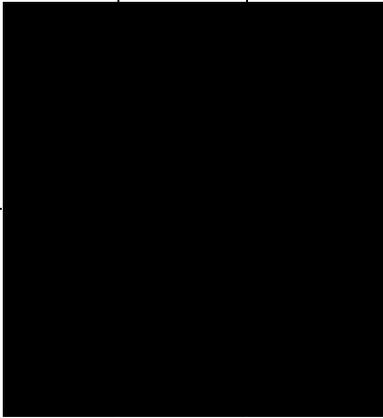
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC143-4)) ～ ケーブルトレイ (NC143-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC143-5)) ～ ケーブルトレイ (NC143-5)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH102-1)) ～ ケーブルトレイ (NH102-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH102-2)) ～ ケーブルトレイ (NH102-2)	4.6	40			

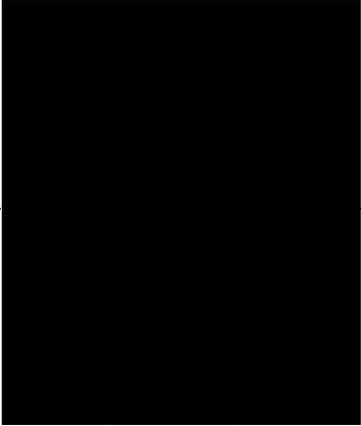
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH102-3)) ～ ケーブルトレイ (NH102-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH102-4)) ～ ケーブルトレイ (NH102-4)	4.6	40			

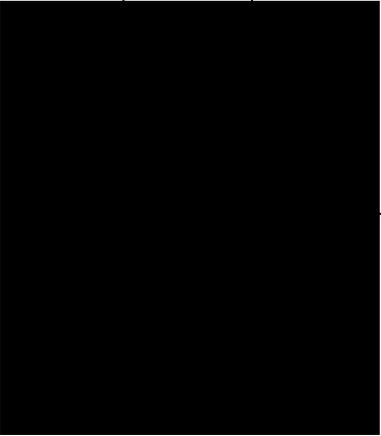
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH103-1)) ～ ケーブルトレイ (NH103-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH103-2)) ～ ケーブルトレイ (NH103-2)	4.6	40			

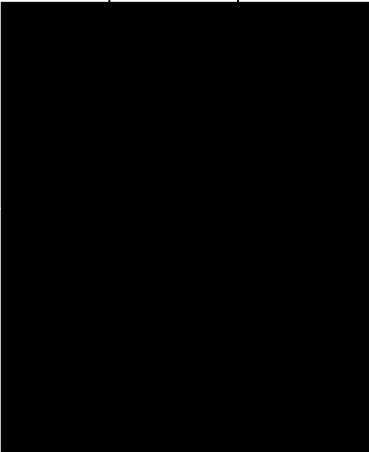
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH103-3)) ～ ケーブルトレイ (NH103-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH103-4)) ～ ケーブルトレイ (NH103-4)	4.6	40			

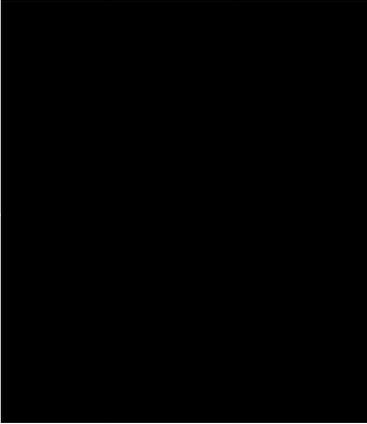
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH104-1)) ～ ケーブルトレイ (NH104-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH105-1)) ～ ケーブルトレイ (NH105-1)	4.6	40			

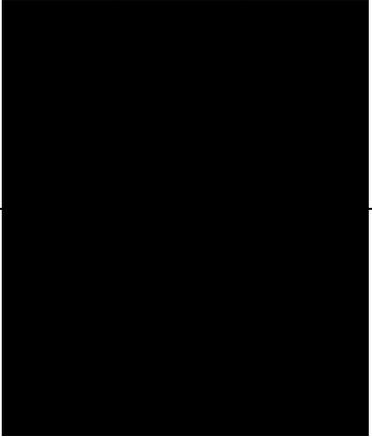
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH108-1)) ～ ケーブルトレイ (NH108-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH133-1)) ～ ケーブルトレイ (NH133-1)	4.6	40			

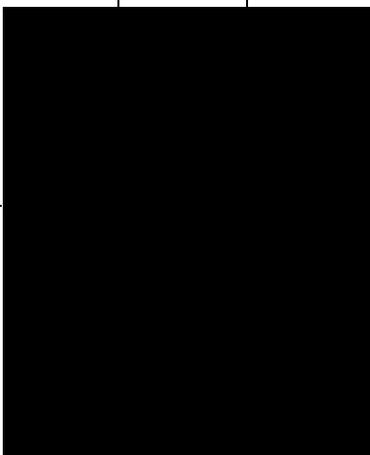
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH133-2)) ～ ケーブルトレイ (NH133-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH133-3)) ～ ケーブルトレイ (NH133-3)	4.6	40			

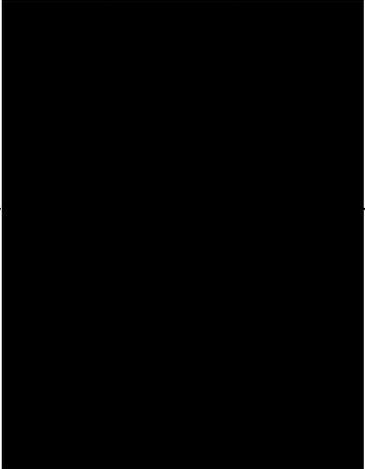
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK111-1)) ～ ケーブルトレイ (NK111-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK111-2)) ～ ケーブルトレイ (NK111-2)	4.6	40			

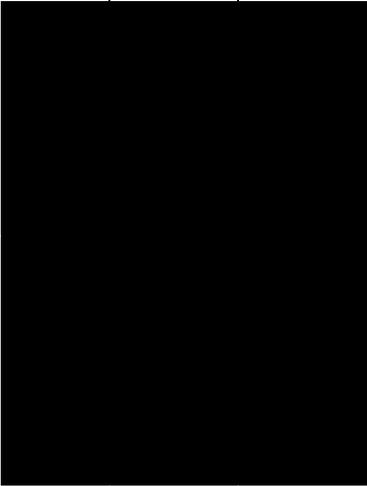
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK111-3)) ～ ケーブルトレイ (NK111-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK111-4)) ～ ケーブルトレイ (NK111-4)	4.6	40			

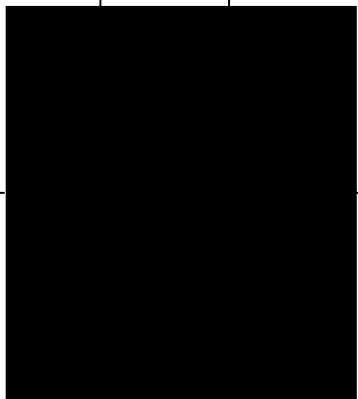
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK114-1/NK115-1)) ～ ケーブルトレイ (NK114-1/NK115-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK116-1)) ～ ケーブルトレイ (NK116-1)	4.6	40			

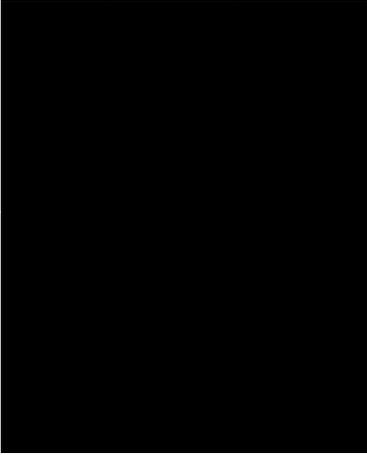
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK116-2)) ～ ケーブルトレイ (NK116-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK116-3)) ～ ケーブルトレイ (NK116-3)	4.6	40			

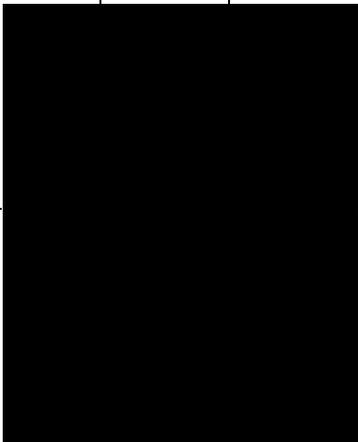
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NK117-2)) ～ ケーブルトレイ (NK117-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL111-1)) ～ ケーブルトレイ (NL111-1)	4.6	40			

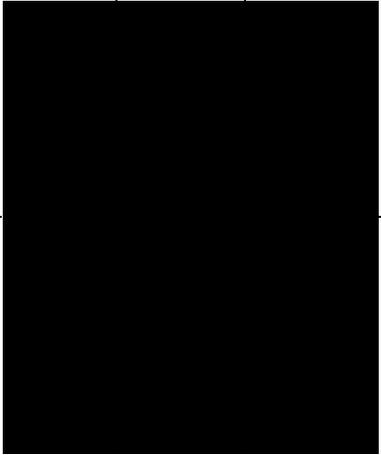
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL111-2)) ～ ケーブルトレイ (NL111-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL111-3)) ～ ケーブルトレイ (NL111-3)	4.6	40			

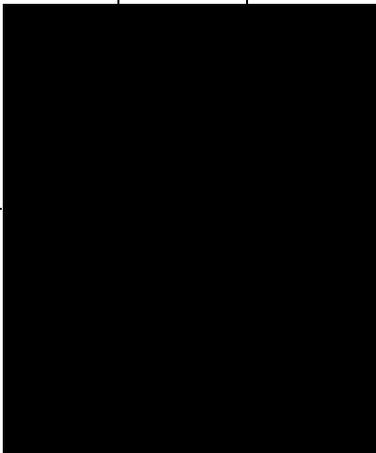
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL111-4/NL112- 1/NL113-1)) ～ ケーブルトレイ (NL111-4/NL112- 1/NL113-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL113-2)) ～ ケーブルトレイ (NL113-2)	4.6	40			

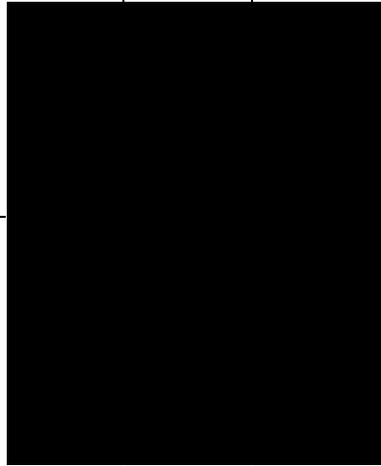
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL113-3/NL114-1)) ～ ケーブルトレイ (NL113-3/NL114-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL114-2)) ～ ケーブルトレイ (NL114-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS108-1)) ～ ケーブルトレイ (NS108-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS113-1)) ～ ケーブルトレイ (NS113-1)	4.6	40			

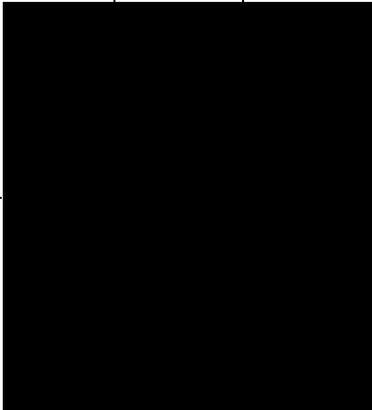
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS113-2)) ～ ケーブルトレイ (NS113-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS113-3/NS117-1)) ～ ケーブルトレイ (NS113-3/NS117-1)	4.6	40			

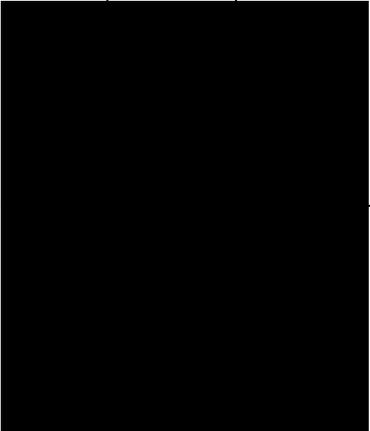
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS117-2/NS118-1)) ～ ケーブルトレイ (NS117-2/NS118-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS118-2/NS119-1)) ～ ケーブルトレイ (NS118-2/NS119-1)	4.6	40			

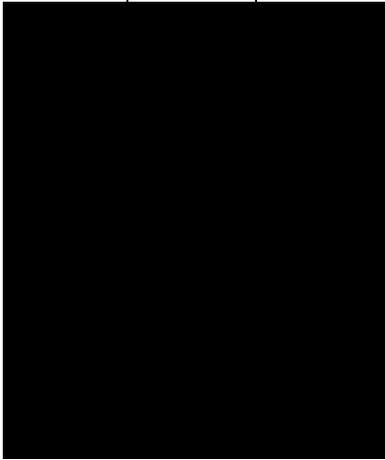
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS119-2)) ～ ケーブルトレイ (NS119-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC101-2)) ～ ケーブルトレイ (BC101-2)	4.6	40			

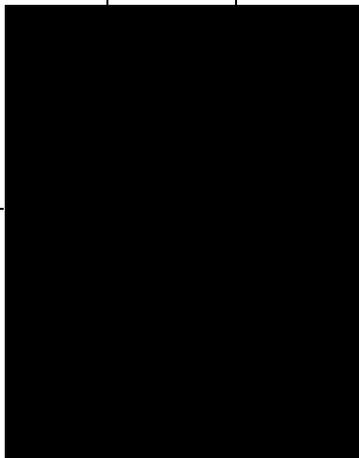
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC102-1/BC121-5)) ～ ケーブルトレイ (BC102-1/BC121-5)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC102-2)) ～ ケーブルトレイ (BC102-2)	4.6	40			

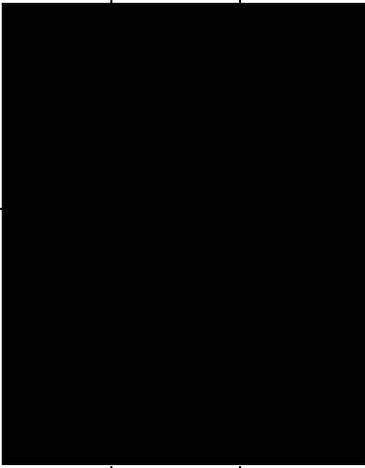
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC102-3)) ～ ケーブルトレイ (BC102-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC103-1)) ～ ケーブルトレイ (BC103-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC103-2/BC106-1)) ～ ケーブルトレイ (BC103-2/BC106-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC106-2)) ～ ケーブルトレイ (BC106-2)	4.6	40			

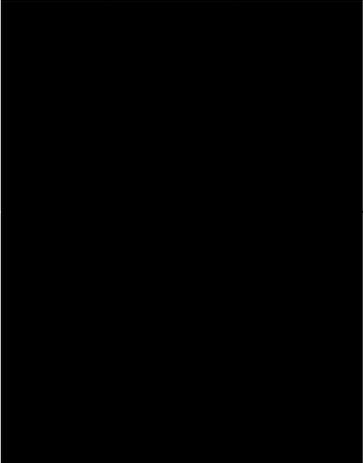
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC109-1/BC112-1)) ～ ケーブルトレイ (BC109-1/BC112-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-1)) ～ ケーブルトレイ (BC111-1)	4.6	40			

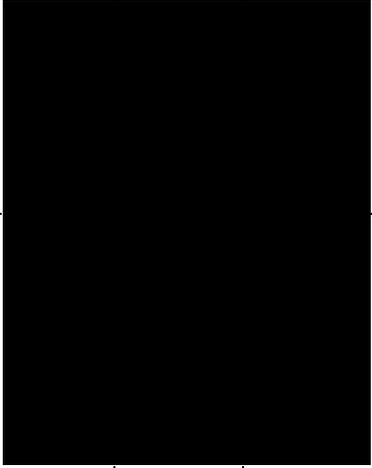
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-2)) ～ ケーブルトレイ (BC111-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC111-3)) ～ ケーブルトレイ (BC111-3)	4.6	40			

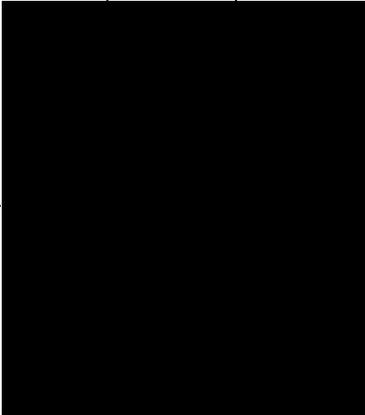
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC112-2)) ～ ケーブルトレイ (BC112-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC112-3)) ～ ケーブルトレイ (BC112-3)	4.6	40			

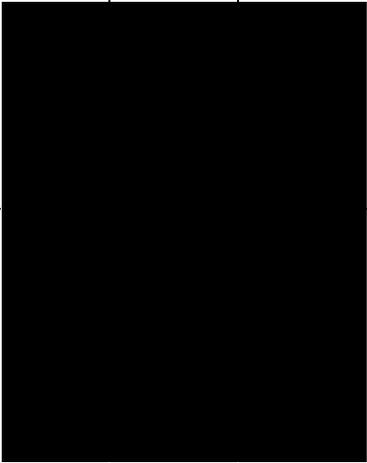
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC121-4)) ～ ケーブルトレイ (BC121-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH301-2)) ～ ケーブルトレイ (BH301-2)	4.6	40			

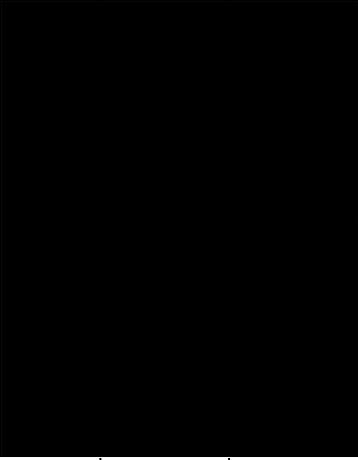
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH301-3)) ～ ケーブルトレイ (BH301-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH301-4)) ～ ケーブルトレイ (BH301-4)	4.6	40			

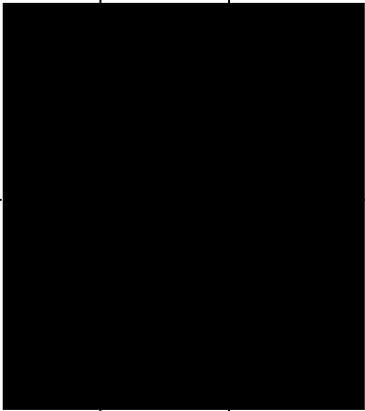
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH314-1/BH315-1)) ～ ケーブルトレイ (BH314-1/BH315-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH315-2/BH320-1)) ～ ケーブルトレイ (BH315-2/BH320-1)	4.6	40			

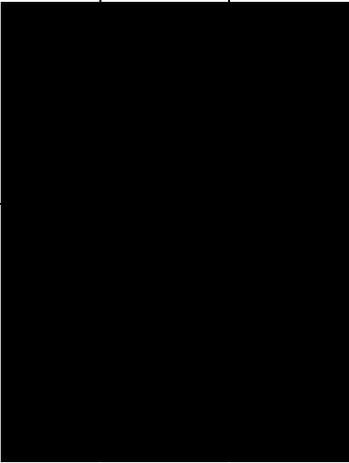
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH320-2)) ～ ケーブルトレイ (BH320-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL121-1/BL122-1)) ～ ケーブルトレイ (BL121-1/BL122-1)	4.6	40			

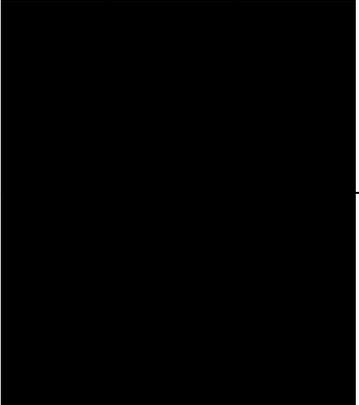
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL122-2)) ～ ケーブルトレイ (BL122-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL122-3)) ～ ケーブルトレイ (BL122-3)	4.6	40			

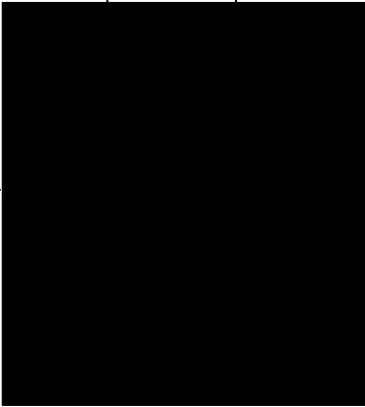
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL122-4)) ～ ケーブルトレイ (BL122-4)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL122-5)) ～ ケーブルトレイ (BL122-5)	4.6	40			

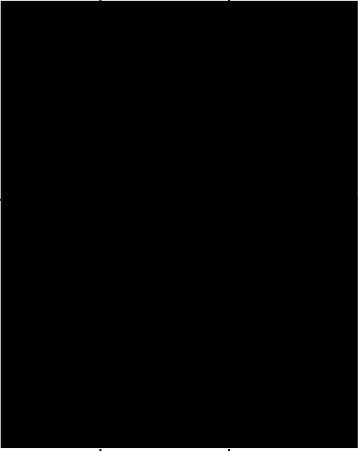
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS102-1)) ～ ケーブルトレイ (BS102-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS102-2)) ～ ケーブルトレイ (BS102-2)	4.6	40			

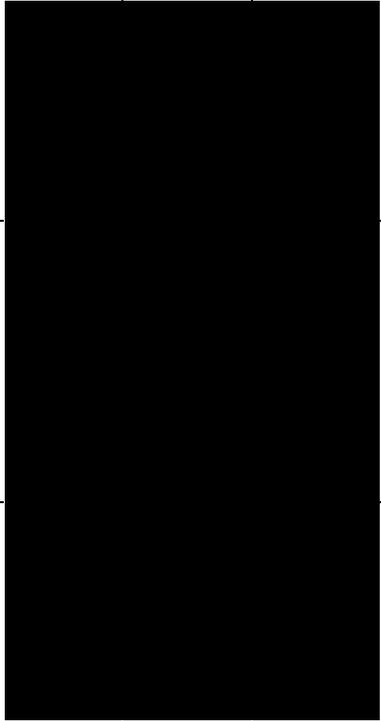
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS102-3)) ～ ケーブルトレイ (BS102-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS103-1/BS106-1)) ～ ケーブルトレイ (BS103-1/BS106-1)	4.6	40			

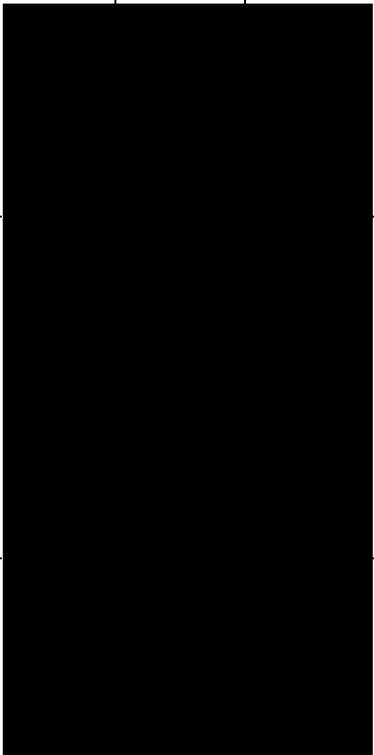
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS106-2/BS107-1)) ～ ケーブルトレイ (BS106-2/BS107-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS107-2)) ～ ケーブルトレイ (BS107-2)	4.6	40			

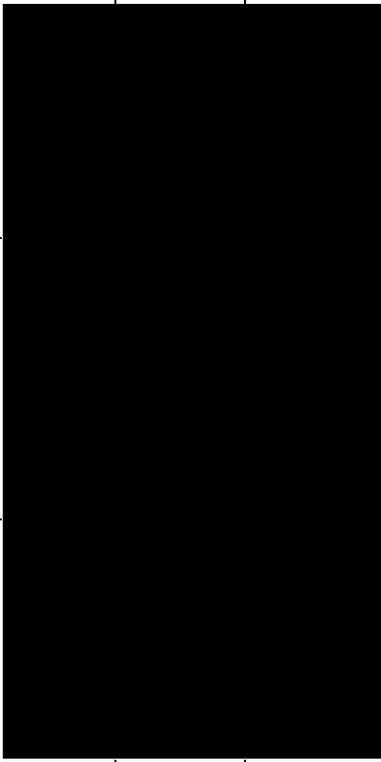
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH134-1)) ～ ケーブルトレイ (NH134-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL115-2)) ～ ケーブルトレイ (NL115-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS122-1)) ～ ケーブルトレイ (NS122-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC102-4/BC114-3)) ～ ケーブルトレイ (BC102-4/BC114-3)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH302-3)) ～ ケーブルトレイ (BH302-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS102-4/BS108-3)) ～ ケーブルトレイ (BS102-4/BS108-3)	4.6	40			

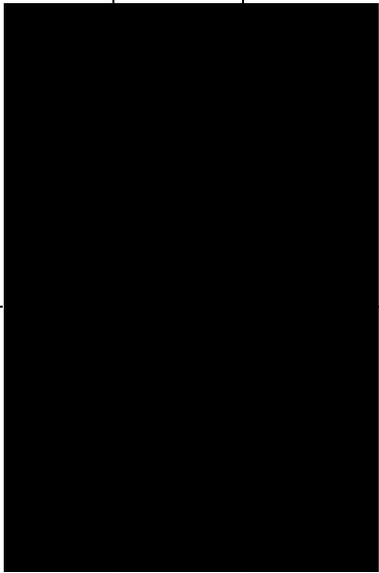
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	-					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHB01-1/NHB02-1)) ～ ケーブルトレイ (NHB01-1/NHB02-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NHB13-1/NHB15-1)) ～ ケーブルトレイ (NHB13-1/NHB15-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB07-1/NLB40-1)) ～ ケーブルトレイ (NLB07-1/NLB40-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB25-1/NCA23-1)) ～ ケーブルトレイ (NCB25-1/NCA23-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB26-1/NCB27-1/ NCB28-1/NCB29-1)) ～ ケーブルトレイ (NCB26-1/NCB27-1/ NCB28-1/NCB29-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB30-1/NCA26-1)) ～ ケーブルトレイ (NCB30-1/NCA26-1)	4.6	40			

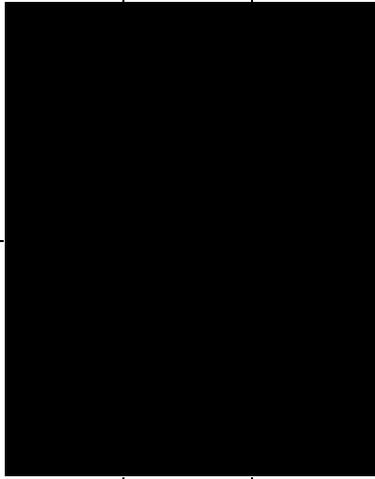
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB32-1)) ～ ケーブルトレイ (NCB32-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB35-1)) ～ ケーブルトレイ (NCB35-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSB07-1/NSB09-1)) ～ ケーブルトレイ (NSB07-1/NSB09-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSB08-1/NSB27-1)) ～ ケーブルトレイ (NSB08-1/NSB27-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NKB03-1/NKA13-1)) ～ ケーブルトレイ (NKB03-1/NKA13-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB31-1/NCA30-1)) ～ ケーブルトレイ (NCB31-1/NCA30-1)	4.6	40			

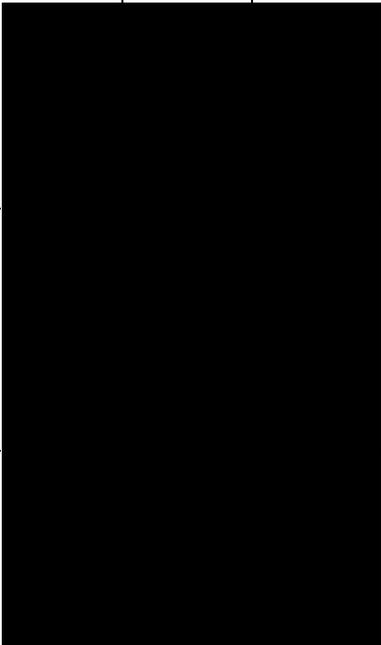
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	-					ケーブルトレイ消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB34-1/NCA34-1)) ～ ケーブルトレイ (NCB34-1/NCA34-1)	4.6	40	[Redacted]		
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSB27-2/NSA21-1)) ～ ケーブルトレイ (NSB27-2/NSA21-1)	4.6	40			
	-						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NKB02-1/NKA06-1)) ～ ケーブルトレイ (NKB02-1/NKA06-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AHB01-1/ACB02-1/ ACB10-1)) ～ ケーブルトレイ (AHB01-1/ACB02-1/ ACB10-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ACB05-1/ASB07-1)) ～ ケーブルトレイ (ACB05-1/ASB07-1)	4.6	40			

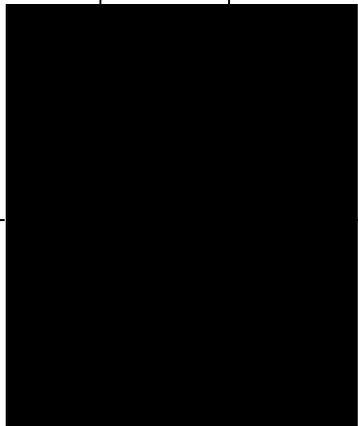
注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC113-1)) ～ ケーブルトレイ (BC113-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH319-1)) ～ ケーブルトレイ (BH319-1)	4.6	40			

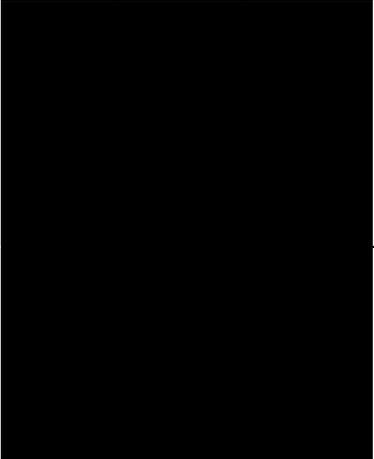
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ消火設備	—					ケーブルトレイ消火設備 FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS109-1)) ～ ケーブルトレイ (BS109-1)	4.6	40				

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BCA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BCA01-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BHA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BHA01-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BSA01-1)	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

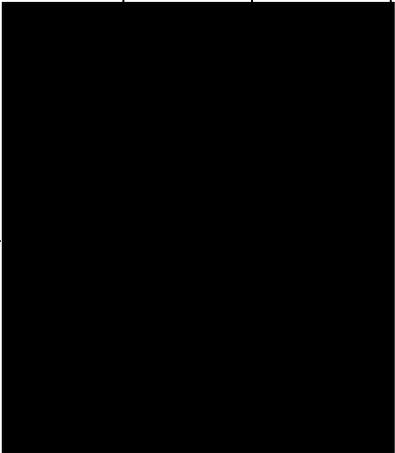
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC107-1/AC108-1)) ～ ケーブルトレイ (AC107-1/AC108-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC123-1)) ～ ケーブルトレイ (NC123-1)	4.6	40			

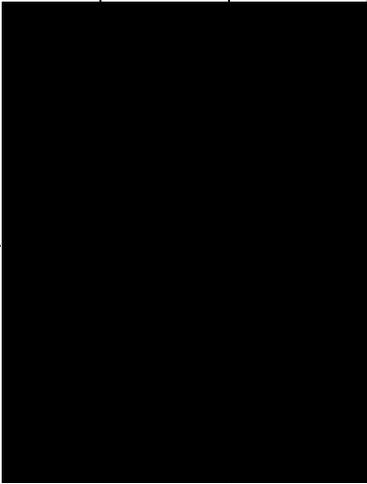
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC134-1)) ～ ケーブルトレイ (NC134-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC143-1)) ～ ケーブルトレイ (NC143-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH124-1/NH131-1)) ～ ケーブルトレイ (NH124-1/NH131-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL120-1)) ～ ケーブルトレイ (NL120-1)	4.6	40			

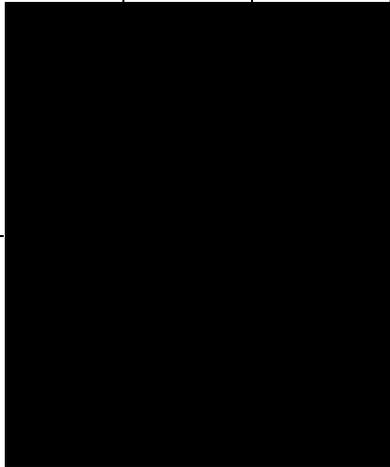
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS116-1)) ～ ケーブルトレイ (NS116-1)	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

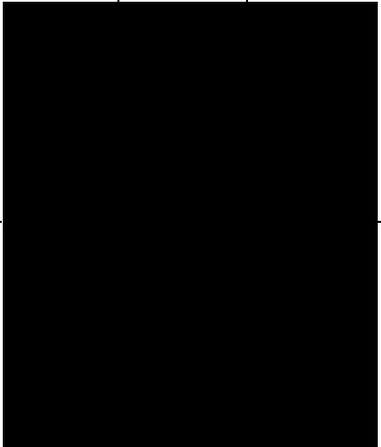
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC105-1)) ～ ケーブルトレイ (BC105-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC107-1)) ～ ケーブルトレイ (BC107-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH316-1)) ～ ケーブルトレイ (BH316-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS105-1)) ～ ケーブルトレイ (BS105-1)	4.6	40			

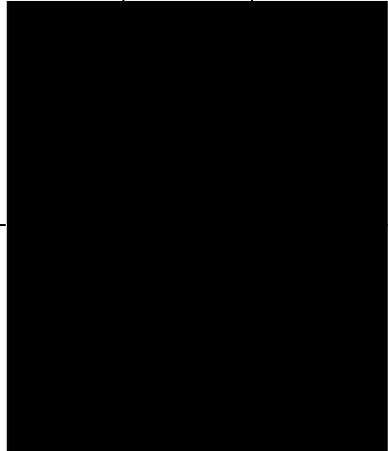
注記 * : 公称値を示す。

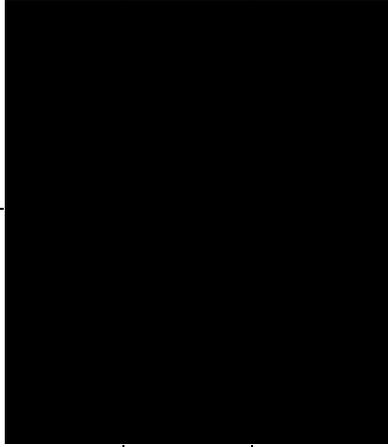
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC151-1)) ～ ケーブルトレイ (NC151-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NCB05-1/NC151-2)) ～ ケーブルトレイ (NCB05-1/NC151-2)	4.6	40			

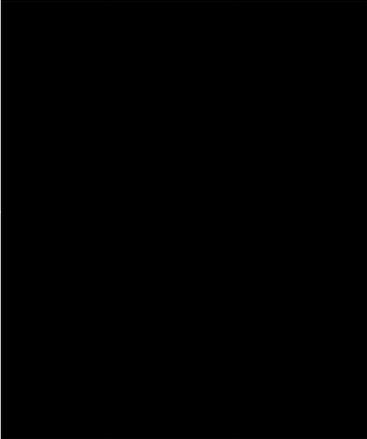
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL119-1)) ～ ケーブルトレイ (NL119-1)	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NLB05-1/NL119-2)) ～ ケーブルトレイ (NLB05-1/NL119-2)	4.6	40			

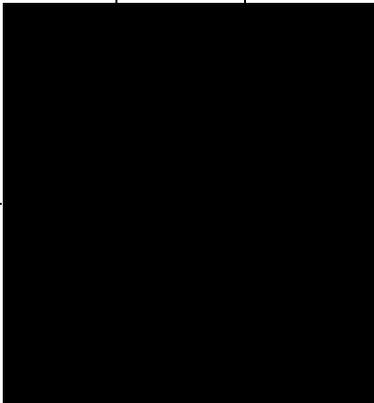
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS125-1)) ～ ケーブルトレイ (NS125-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSB05-1/NS125-2)) ～ ケーブルトレイ (NSB05-1/NS125-2)	4.6	40			

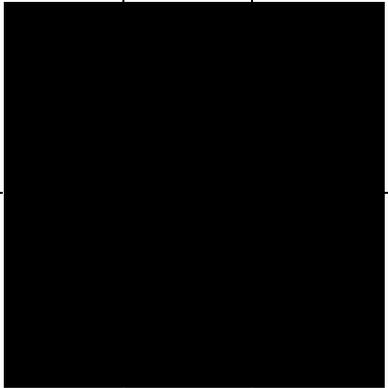
注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AH201-1)) ～ ケーブルトレイ (AH201-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS101-1)) ～ ケーブルトレイ (AS101-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC101-1)) ～ ケーブルトレイ (BC101-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BH301-1)) ～ ケーブルトレイ (BH301-1)	4.6	40			

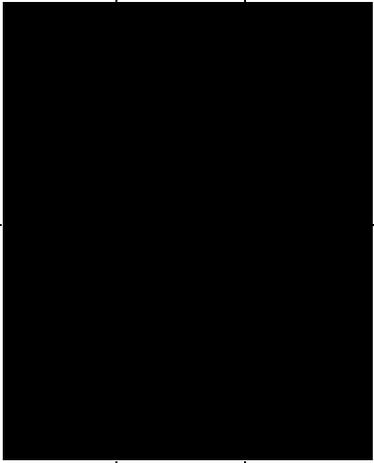
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS101-1)) ～ ケーブルトレイ (BS101-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC128-1)) ～ ケーブルトレイ (NC128-1)	4.6	40			

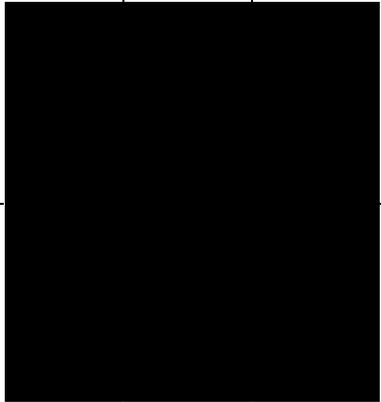
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH104-2)) ～ ケーブルトレイ (NH104-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH105-2)) ～ ケーブルトレイ (NH105-2)	4.6	40			

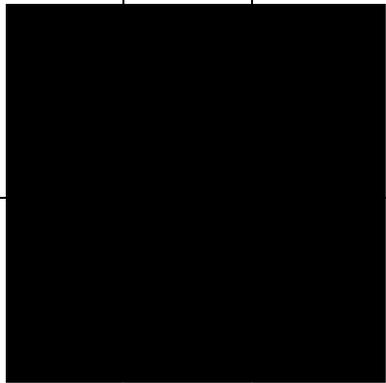
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NH121-1)) ～ ケーブルトレイ (NH121-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC101-1)) ～ ケーブルトレイ (AC101-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS121-1)) ～ ケーブルトレイ (NS121-1)	4.6	40			

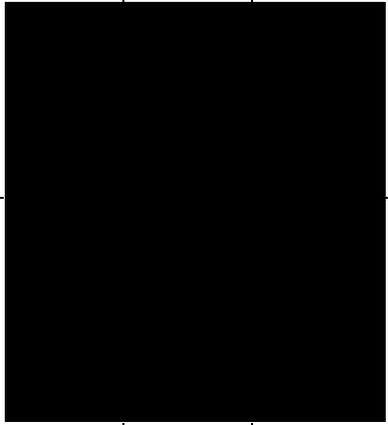
注記 * : 公称値を示す。

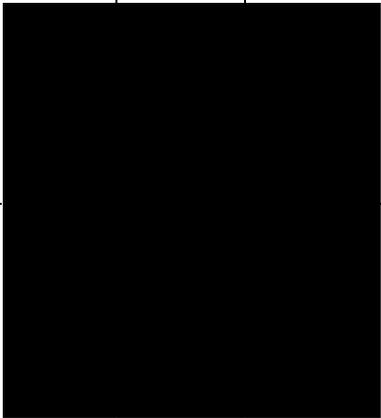
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC123-1)) ～ ケーブルトレイ (AC123-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC123-2)) ～ ケーブルトレイ (AC123-2)	4.6	40			

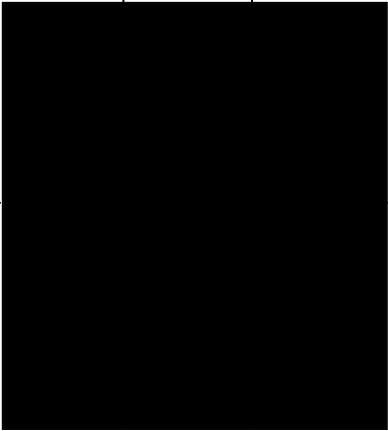
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AC123-3)) ～ ケーブルトレイ (AC123-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL112-1)) ～ ケーブルトレイ (AL112-1)	4.6	40			

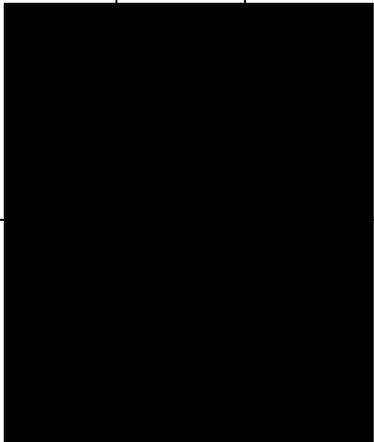
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL112-2)) ～ ケーブルトレイ (AL112-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AL112-3)) ～ ケーブルトレイ (AL112-3)	4.6	40			

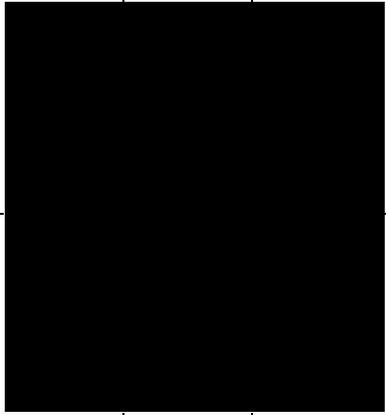
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS113-1)) ～ ケーブルトレイ (AS113-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS113-2)) ～ ケーブルトレイ (AS113-2)	4.6	40			

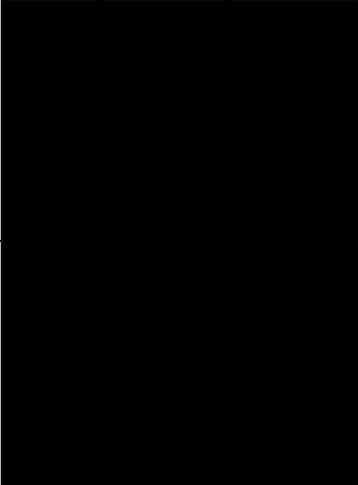
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (AS113-3)) ～ ケーブルトレイ (AS113-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC166-1)) ～ ケーブルトレイ (NC166-1)	4.6	40			

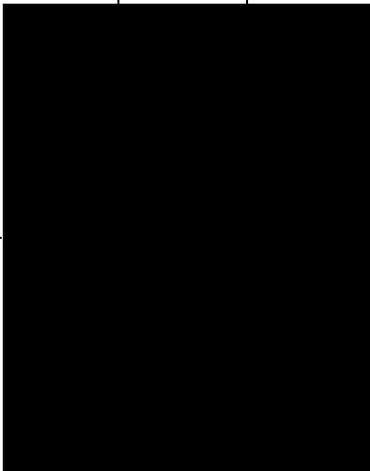
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC166-2)) ～ ケーブルトレイ (NC166-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NC166-3)) ～ ケーブルトレイ (NC166-3)	4.6	40			

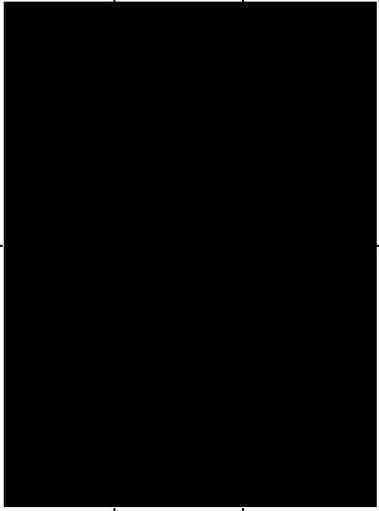
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL126-1)) ～ ケーブルトレイ (NL126-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL126-2)) ～ ケーブルトレイ (NL126-2)	4.6	40			

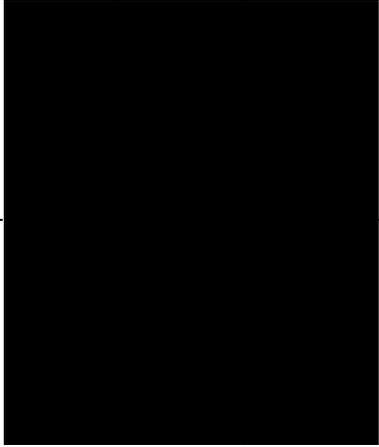
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NL126-3)) ～ ケーブルトレイ (NL126-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS136-1)) ～ ケーブルトレイ (NS136-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS136-2)) ～ ケーブルトレイ (NS136-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NS136-3)) ～ ケーブルトレイ (NS136-3)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC123-1)) ～ ケーブルトレイ (BC123-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC123-2)) ～ ケーブルトレイ (BC123-2)	4.6	40			

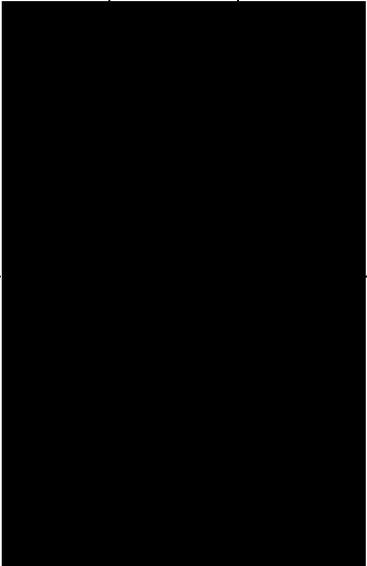
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BC123-3)) ～ ケーブルトレイ (BC123-3)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL112-1)) ～ ケーブルトレイ (BL112-1)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL112-2)) ～ ケーブルトレイ (BL112-2)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BL112-3)) ～ ケーブルトレイ (BL112-3)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブルトレイ 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS113-1)) ～ ケーブルトレイ (BS113-1)	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS113-2)) ～ ケーブルトレイ (BS113-2)	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BS113-3)) ～ ケーブルトレイ (BS113-3)	4.6	40	[REDACTED]		

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブルトレイ 消火設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (ASA01-1/ACA01- 1/ALA01-1)) ～ ケーブルトレイ (ASA01-1/ACA01- 1/ALA01-1)	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (BSA01-1/BCA01- 1/BLA01-1)) ～ ケーブルトレイ (BSA01-1/BCA01- 1/BLA01-1)	4.6	40			

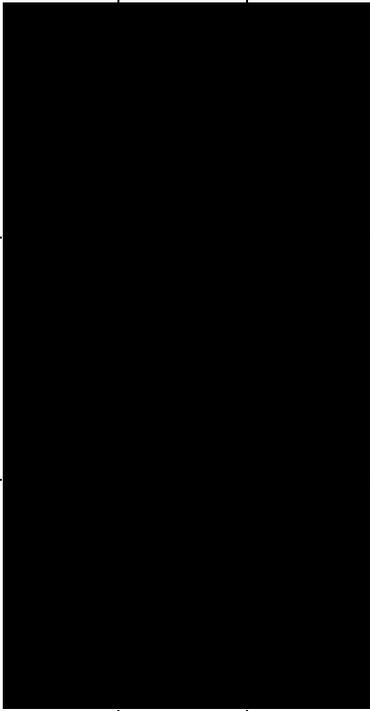
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
ケーブル トレイ 消火 設備	—					ケーブル トレイ 消火 設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (ケーブルトレイ (NSA01-1/NCA01- 1/NLA01-1)) ～ ケーブルトレイ (NSA01-1/NCA01- 1/NLA01-1)	4.6	40			

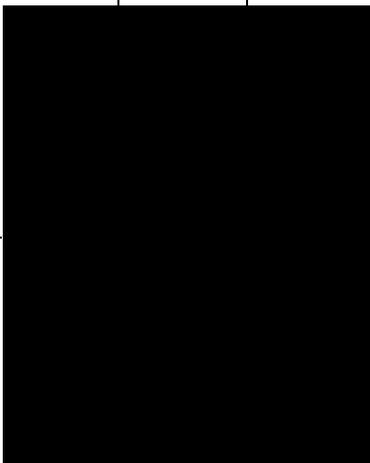
注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M002) ～ AA-V-M002	4.6	40	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M005) ～ AA-V-M005	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M006) ～ AA-V-M006	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M004) ～ AA-V-M004	4.6	40	[REDACTED]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-V-M007) ～ AA-V-M007	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPD-C1123) ～ AA-XPD-C1123	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPD-C1211) ～ AA-XPD-C1211	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-LPD-X123) ～ AA-LPD-X123	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPD-C1221) ～ AA-XPD-C1221	4.6	40			

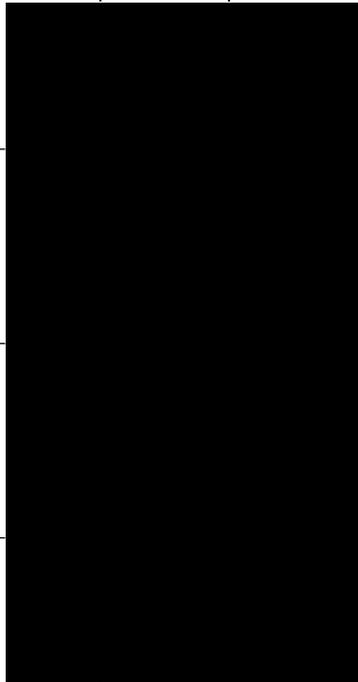
変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-X-S121) ～ AA-X-S121	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-I-J977) ～ AA-I-J977	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-I-K985) ～ AA-I-K985	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPД-D11221) ～ AA-XPД-D11221	4.6	40			
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (AA-XPД-X122) ～ AA-XPД-X122	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
電源盤・ 制御盤消火設備			—			電源盤・ 制御盤消火設備 FK-5-1-12貯蔵容器 (AB-LTR-D7) ～ AB-LTR-D7	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤 消火設備	—					電源盤・ 制御盤 消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (AC-LTR-D13) ～ AC-LTR-D13	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AC-LTR-D15) ～ AC-LTR-D15	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AC-LTR-D11) ～ AC-LTR-D11	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (AC-LPD-X33) ～ AC-LPD-X33	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (CA-LPD-X3) ～ CA-LPD-X3	4.6	40			

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後					
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料
電源盤・ 制御盤 消火設備	—					FK-5-1-12 貯蔵容器 ~	4.6	40	[Redacted]		
						FK-5-1-12 貯蔵容器 ~					
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-X071) ~ KA-I-X071	4.6	40			
						FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K071) ~ KA-I-K071					

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-XPД-D21) ～ KA-XPД-D21	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K325) ～ KA-I-K325	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K085) ～ KA-I-K085	4.6	40			

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-XPД-D25) ～ KA-XPД-D25	4.6	40	[Redacted]		
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-X276) ～ KA-I-X276	4.6	40			
	—						FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K275) ～ KA-I-K275	4.6	40			

変更前						変更後								
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径* (mm)	厚さ* (mm)	主要 材料			
電源盤・ 制御盤消火設備	—					電源盤・ 制御盤消火設備	FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-K270) ～ KA-I-K270	4.6	40	[Redacted]				
							FK-5-1-12 貯蔵容器 (KA-I-X271) ～ KA-I-X271						4.6	40
							FK-5-1-12 貯蔵容器 [Redacted] ～ [Redacted]							

注記 * : 公称値を示す。

変更前						変更後						
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
火災 防 護 設 備	ろ過水貯槽(8141-V50) ～ ろ過水貯槽出口配管分岐部 (廃棄物管理施設, MOX 燃料加工施設共用)	0.19	45			変更なし						
	-					ろ過水貯槽出口配管分岐部 ～ 消火用水貯槽(8520-V10)出口配管合流点 (廃棄物管理施設, MOX 燃料加工施設共用)						
	消火用水貯槽(8520-V10) ～ 電動機駆動消火ポンプ(8520-P1011), ディーゼル駆動消火ポンプ(8520-P1012) (廃棄物管理施設, MOX 燃料加工施設共用)	0.34	45			変更なし						
	電動機駆動消火ポンプ(8520-P1011), ディーゼル駆動消火ポンプ(8520-P1012) ～ 消火水供給配管ヘッダー*2 (廃棄物管理施設, MOX 燃料加工施設共用)	1.37	45			変更なし						
					火災 防 護 設 備							

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 火災区域又は火災区域を有する建屋の建屋第一弁及びMOX燃料加工施設との境界弁を含む。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
火災防護設備	-	-	-	-	-	火災防護設備	消火水槽 (2146-V40)	0.98	40	■	■	■
							～ 電動駆動消火ポンプ (緊急時対策建屋用) (2146-P401, P402) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1			■	■	■
							電動駆動消火ポンプ (緊急時対策建屋用) (2146-P401, P402)			■	■	■
							～ W0129分岐点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1			■	■	■
							送水口			■	■	■
							～ W0131分岐点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1			■	■	■
										■	■	■
										■	■	■
										■	■	■
										■	■	■

注記 *1: 主配管は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。

(4) 建物・構築物

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物(前処理建屋)

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
安全冷却水 2 中間熱交換器室	火災区域		壁	—	—	安全冷却水 2 中間熱交換器室	火災区域		壁	鉄筋コンクリート	
安全冷却水 1B 中間熱交換器室	火災区域		壁	—	—	安全冷却水 1B 中間熱交換器室	火災区域				
安全冷却水 1A 中間熱交換器室	火災区域		壁	—	—	安全冷却水 1A 中間熱交換器室	火災区域				
安全掃気用空気貯槽室	火災区域		壁	—	—	安全掃気用空気貯槽室	火災区域				
安全圧縮空気第 1 室	火災区域		壁	—	—	安全圧縮空気第 1 室	火災区域				
安全圧縮空気第 2 室	火災区域		壁	—	—	安全圧縮空気第 2 室	火災区域				
安全圧縮空気第 3 室	火災区域		壁	—	—	安全圧縮空気第 3 室	火災区域				
安全冷却水 B 循環ポンプ室	火災区域		壁	—	—	安全冷却水 B 循環ポンプ室	火災区域				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
安全冷却水 A 循環ポンプ室	火災区域		壁	—	—	安全冷却水 A 循環ポンプ室	火災区域		壁		鉄筋コンクリート
計測制御用空気貯槽室	火災区域		壁	—	—	計測制御用空気貯槽室	火災区域				
建屋排風機室	火災区域		壁	—	—	建屋排風機室	火災区域				
—						第4サブチェンジングルーム	火災区域				
せん断処理・溶解廃ガス処理第1排風機室	火災区域		壁	—	—	せん断処理・溶解廃ガス処理第1排風機室	火災区域				
せん断処理・溶解廃ガス処理第2排風機室	火災区域		壁	—	—	せん断処理・溶解廃ガス処理第2排風機室	火災区域				
せん断処理・溶解廃ガス処理第3排風機室	火災区域		壁	—	—	せん断処理・溶解廃ガス処理第3排風機室	火災区域				
—						常用モータコントロールセンタ室空調機室	火災区域				
安全系制御盤第1室	火災区域		壁	—	—	安全系制御盤第1室	火災区域				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
安全系 A 制御盤第 1 室	火災区域		壁	—	—	安全系 A 制御盤第 1 室	火災区域		壁	鉄筋コンクリート	
安全系 B 制御盤第 1 室	火災区域		壁	—	—	安全系 B 制御盤第 1 室	火災区域				
非常用 A 計装電源電気盤室	火災区域		壁	—	—	非常用 A 計装電源電気盤室	火災区域				
非常用 A 蓄電池室	火災区域		壁	—	—	非常用 A 蓄電池室	火災区域				
非常用 B 計装電源電気盤室	火災区域		壁	—	—	非常用 B 計装電源電気盤室	火災区域				
非常用 B 蓄電池室	火災区域		壁	—	—	非常用 B 蓄電池室	火災区域				
非常用 B 主電源設備室	火災区域		壁	—	—	非常用 B 主電源設備室	火災区域				
非常用 A 主電源設備室	火災区域		壁	—	—	非常用 A 主電源設備室	火災区域				
計装ラック第 1 室	火災区域		壁	—	—	計装ラック第 1 室	火災区域				
—						計装ラック第 2 室	火災区域				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
安全蒸気 B 室	火災区域		壁	—	—	安全蒸気 B 室	火災区域		壁		鉄筋コンクリート
安全蒸気 A 室	火災区域		壁	—	—	安全蒸気 A 室	火災区域				
安全蒸気ボイラ燃料ポンベ B 室	火災区域		壁	—	—	安全蒸気ボイラ燃料ポンベ B 室	火災区域				
安全蒸気ボイラ燃料ポンベ A 室	火災区域		壁	—	—	安全蒸気ボイラ燃料ポンベ A 室	火災区域				
—						南第 5 階段室	火災区域				
—						サンプリングベンチ第 2 保守室	火災区域				
排風機 A 室	火災区域		壁	—	—	排風機 A 室	火災区域				
排風機 B 室	火災区域		壁	—	—	排風機 B 室	火災区域				
—						アクティブ試薬槽室	火災区域				
計装ラック第 5 室	火災区域		壁	—	—	計装ラック第 5 室	火災区域				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
溶解槽セル排風機室	火災区域	■	壁	—	—	溶解槽セル排風機室	火災区域	■	壁	■	鉄筋コンクリート
—						燃料供給セル A・B 廃棄物搬送室	火災区域	■			
安全系 A 制御盤第 2 室	火災区域	■	壁	—	—	安全系 A 制御盤第 2 室	火災区域	■			
安全系 B 制御盤第 2 室	火災区域	■	壁	—	—	安全系 B 制御盤第 2 室	火災区域	■			
—						冷水 1B 中間熱交換器室	火災区画	■			
						冷水 1A・2 中間熱交換器室	火災区画	■			
						南第 2 エレベータ	火災区画	■			
						南第 3 階段室	火災区画	■			
						南第 4 エレベータ	火災区画	■			
						北第 2 階段室	火災区画	■			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	■	鉄筋コンクリート	地下4階南北第2廊下	火災区画	■	■	鉄筋コンクリート	
						安全冷却水B補助冷却器室	火災区画				
						安全冷却水A補助冷却器室	火災区画				
						南第2階段室	火災区画				
						南第3エレベータ用予備室	火災区画				
						北第2エレベータ	火災区画				
						地下4階東西第1廊下	火災区画				
						地下4階南北第1廊下	火災区画				
						極低レベル含塩廃液サンプル槽室	火災区画				
						ハル・エンドピース用空ドラム貯蔵室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	保守用搬送器材保管室	火災区画	[REDACTED]	[REDACTED]	鉄筋コンクリート		
					地下4階南北第3廊下	火災区画					
					制御盤第1室	火災区画					
					蒸気供給元弁室	火災区画					
					純水受槽室	火災区画					
					ハル・エンドピースドラム計測器材保守室	火災区画					
					回収槽セル	火災区画					
					温水中間熱交換器室	火災区画					
					NOx吸収塔第2セル	火災区画					
					計量・調整槽セル	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	放射性配管分岐第 4 セル	火災区画	[REDACTED]	壁	鉄筋コンクリート		
					計量後中間貯槽セル	火災区画					
					洗浄廃液受槽セル	火災区画					
					蒸気発生室	火災区画					
					凝縮水受槽室	火災区画					
					高圧除染水ポンプ室	火災区画					
					放射性配管分岐第 1 セル	火災区画					
					ハル・エンドピース ドラム計測器 材格納 B セル	火災区画					
					ハル・エンドピース ドラム計測器 材格納 A セル	火災区画					
					NOx 吸収塔第 1 セル	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	清澄機 A セル	火災区画	[Redacted]	[Redacted]	鉄筋コンクリート		
					放射性配管分岐第 2 セル	火災区画					
					清澄機 B セル	火災区画					
					第 1 回収酸貯槽室	火災区画					
					極低レベル廃液受槽室	火災区画					
					第 1 サブチェンジングルーム	火災区画					
					第 1 回収酸ポンプ室	火災区画					
					地下 4 階第 1 予備室	火災区画					
					北第 1 階段室	火災区画					
					北第 1 エレベータ	火災区画					
					極低レベル含塩廃液ポンプ室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	地下4階第2予備室	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	—	地下4階第3予備室	火災区画	—	—	鉄筋コンクリート	
	南第1階段室	火災区画				南第1配管室	火災区画				
	将来用トンネル	火災区画				放射性配管分岐第5セル	火災区画				
	放射性配管分岐第6セル	火災区画				排煙設備排気ダクト室	火災区画				
	排煙設備給気ダクト室	火災区画				南第3階段室地下4階附室	火災区画				
	北第2階段室地下4階附室	火災区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	南第2階段室地下4階附室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					北第1階段室地下4階附室	火災区画					
					南第1階段室地下4階附室	火災区画					
					地下3階南北第2廊下	火災区画					
					常用モータコントロールセンタ室	火災区画					
					現場制御盤第1室	火災区画					
					常用計装電源電気盤室	火災区画					
					常用蓄電池室	火災区画					
					ドラム搬送設備B第1保守室	火災区画					
					地下3階東西第1廊下	火災区画					
					ドラム搬送設備B第2保守室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					地下3階南北第1廊下	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					ドラム搬送設備A第2保守室	火災区画					
					地下3階第1予備室	火災区画					
					ハル・エンドピース用空ドラム保管室	火災区画					
					ドラムエアロックB室	火災区画					
					しゃへいロックB室	火災区画					
					ドラミングBセル	火災区画					
					ハル・エンドピースドラム計測Bセル	火災区画					
					ハル・エンドピース充填ドラム貯蔵セル	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	ハル・エンドピースドラム蓋保管室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					計量・調整槽セルスチームジェットポンプ保守室	火災区画					
					蒸気第1分配室	火災区画					
					第2サブチェンジングルーム	火災区画					
					地下3階第2予備室	火災区画					
					予備セル	火災区画					
					地下3階第4予備室	火災区画					
					フラッシュドラム室	火災区画					
					計量後中間貯槽セルポンプ保守室	火災区画					
					サンプリング配管セル	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	DOG ダンパセル	火災 区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					放射性配管分岐第3セル	火災 区画					
					機器エアロック第1室	火災 区画					
					中継槽 A セル	火災 区画					
					中継槽 B セル	火災 区画					
					ドラムエアロック A 室	火災 区画					
					しゃへいロック A 室	火災 区画					
					ドラミング A セル	火災 区画					
					ハル・エンドピース ドラム計測 A セル	火災 区画					
					清澄機保守室	火災 区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	清澄機セル A ポンプ保守室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					第3サブチェンジングルーム	火災区画					
					清澄機セル B ポンプ保守室	火災区画					
					DOG 冷却器室	火災区画					
					地下3階第3予備室	火災区画					
					放管用ブロワ室	火災区画					
					ドラム取扱インセルクレーン収納室	火災区画					
					ドラム取扱しゃへい扉収納室	火災区画					
					制御盤第2室	火災区画					
					パルセーション弁 A セル	火災区画					
					パルセーション弁 B セル	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	排気モニタ室	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	■	■	■	■	■	鉄筋コンクリート	
	ドラム除染台車 A 保守室	火災区画									
	回収酸受槽セル	火災区画									
	ドラム除染台車 B 保守室	火災区画									
	ドラムエレベータセル	火災区画									
	南第 3 階段室地下 3 階附室	火災区画									
	北第 2 階段室地下 3 階附室	火災区画									
	南第 2 階段室地下 3 階附室	火災区画									
	北第 1 階段室地下 3 階附室	火災区画									
	南第 1 階段室地下 3 階附室	火災区画									
	現場制御盤第 2 室	火災区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—									壁	■	鉄筋コンクリート

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	地下1階南北第2廊下	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	地下1階南北第2廊下	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
	除染装置第1倉庫	火災区画			除染装置第1倉庫	火災区画					
	地下1階東西第1廊下	火災区画			地下1階東西第1廊下	火災区画					
	地下1階南北第1廊下	火災区画			地下1階南北第1廊下	火災区画					
	地下1階第1予備室	火災区画			地下1階第1予備室	火災区画					
	ドラム搬送設備保守機材搬送室	火災区画			ドラム搬送設備保守機材搬送室	火災区画					
	地下1階第2予備室	火災区画			地下1階第2予備室	火災区画					
	圧縮空気第1分配室	火災区画			圧縮空気第1分配室	火災区画					
	制御盤第3室	火災区画			制御盤第3室	火災区画					
	せん断処理・溶解廃ガス処理設備エリア空調機器室	火災区画			せん断処理・溶解廃ガス処理設備エリア空調機器室	火災区画					

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						計量・調整槽セル	火災	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
						ポンプ保守室	区画				
						サンプリングベンチ第1保守室	火災				
						区画					
						DOG ダンパ保守室	火災				
						区画					
						DOG フィルタ第1搬送室	火災				
区画											
計装設備 B 系列現場制御盤室	火災										
地下1階第6予備室	火災										
地下1階第3予備室	火災										
現場制御盤第4室	火災	[REDACTED]	壁	—	—	現場制御盤第4室	火災				
—						溶解槽セル第3保守室	火災				
						せん断処理・溶解廃ガス処理第1セル	火災				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	せん断処理・溶解廃ガス処理第2セル	火災区画	[Redacted]	[Redacted]	鉄筋コンクリート		
					せん断処理・溶解廃ガス処理第3セル	火災区画					
					冷却水配管室	火災区画					
					NOx 吸収塔第1セル ポンプ保守室	火災区画					
					地下1階第4予備室	火災区画					
					硝酸調整槽 Bセル	火災区画					
					硝酸調整槽 Aセル	火災区画					
					南第1配管室	火災区画					
					地下1階第5予備室	火災区画					
					計装設備 A 系列現場制御盤室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					溶解槽セル第4保 守室	火災 区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンク リート	
					圧縮空気第2分配 室	火災 区画					
					南第3階段室地下1 階附室	火災 区画					
					北第2階段室地下1 階附室	火災 区画					
					南第2階段室地下1 階附室	火災 区画					
					北第1階段室地下1 階附室	火災 区画					
					南第1階段室地下1 階附室	火災 区画					
					地上1階南北第4 廊下	火災 区画					
					常用主電源設備室	火災 区画					
					搬出入室	火災 区画					
					地上1階南北第5 廊下	火災 区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	地上1階南北第2廊下	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					地上1階南北第1廊下	火災区画					
					マスタースレーブ マニピュレータ保 守室	火災区画					
					制御盤第4室	火災区画					
					溶解槽セル第5保 守室	火災区画					
					冷却配管第1室	火災区画					
					冷却配管第2室	火災区画					
					第5サブチェンジ ングルーム	火災区画					
					蒸気第2分配室	火災区画					
					アクティブ試薬第1 分配室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	試薬第 1 分配室	火災 区画	壁	鉄筋コンク リート	■	■	■	■	鉄筋コンク リート		
	試薬第 2 分配室	火災 区画									
	DOG エアロック室	火災 区画									
	DOG 第 1 保守室	火災 区画									
	DOG インセルクレ ン収納第 1 セル	火災 区画									
	DOG インセルクレ ン収納第 2 セル	火災 区画									
	DOG インセルクレ ン収納第 3 セル	火災 区画									
	燃料供給 B セル	火災 区画									
	燃料供給設備 B 第 1 保守室	火災 区画									
	溶解設備 B 保守室	火災 区画									
	現場制御盤第 5 室	火災 区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	燃料供給 A セル	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					圧縮空気分配室	火災区画					
					洗浄水ポット室	火災区画					
					硝酸調整槽攪拌機保守室	火災区画					
					DOG 第 2 保守室	火災区画					
					DOG 配管室	火災区画					
					燃料供給設備 A 第 1 保守室	火災区画					
					非常用出口第 1 室	火災区画					
					溶解設備 A 保守室	火災区画					
					冷却配管第 3 室	火災区画					
					機械・電気設備保守室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁			サンプリングベンチ制御盤第1室	火災区画		鉄筋コンクリート		
				北第3階段室	火災区画						
				非常用出口第2室	火災区画						
				ハル・エンドピースドラムキャスクエアロック室	火災区画						
				地上1階南北第3廊下	火災区画						
				第6サブチェンジングルーム	火災区画						
				南第3階段室地上1階附室	火災区画						
				第7サブチェンジングルーム	火災区画						
				北第2階段室地上1階附室	火災区画						
				南第2階段室地上1階附室	火災区画						

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンク リート	北第1階段室地上1階附室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンク リート	
					南第1階段室地上1階附室	火災区画					
					制御盤第5室	火災区画					
					機器エアロック第2室	火災区画					
					地上2階南北第5廊下	火災区画					
					地上2階南北第3廊下	火災区画					
					建屋送風機室	火災区画					
					建屋給気室	火災区画					
					給気冷却・再熱コイル室	火災区画					
					地上階給気室	火災区画					
		地下階給気室	火災区画								

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	地上2階南北第2廊下	火災区画	[REDACTED]	壁	鉄筋コンクリート		
					地上2階南北第1廊下	火災区画					
					地上2階南北第4廊下	火災区画					
					燃料供給設備B第2保守室	火災区画					
					せん断設備B保守室	火災区画					
					ハル・エンドピースドラム搬送室	火災区画					
					せん断機・溶解槽Bインセルクレーン収納セルしゃへい扉収納室	火災区画					
					補修用機器保管室	火災区画					
		試薬第3分配室	火災区画								

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	試薬第4分配室	火災区画		壁	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート	
					DOG 保守機器保管室	火災区画					
					DOG 保守機器搬送室	火災区画					
					第8サブチェンジングルーム	火災区画					
					せん断Bセル	火災区画					
					せん断機・溶解槽B保守セル	火災区画					
					キャスク除染Bセル	火災区画					
					キャスクエアロックB室	火災区画					
					メルクウエスト搬出設備Bセル	火災区画					
					放射能測定機器室	火災区画					
					計測器・防護具配備室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	DOG セル排気前置フイルタセル	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					燃料供給設備 A・B 保守室	火災区画					
					せん断設備 A・B 保守室	火災区画					
					計装配管セル	火災区画					
					せん断機・溶解槽 A インセルクレーン 収納セルしゃへい 扉収納室	火災区画					
					圧縮空気第 3 分配室	火災区画					
					せん断 A セル	火災区画					
					せん断機・溶解槽 A 保守セル	火災区画					
					メルクウエスト搬出設備 A セル	火災区画					
					キャスク除染 A セル	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	キャスクエアロック A 室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					塔槽類廃ガス処理室	火災区画					
					塔槽類廃ガス処理セル	火災区画					
					第9サブチェンジングルーム	火災区画					
					DOG サンプルング室	火災区画					
					塔槽類廃ガスよう素フィルタセル	火災区画					
					計装ラック第3室	火災区画					
					燃料供給設備 A 第2保守室	火災区画					
					地上2階第1予備室	火災区画					
					せん断機・溶解槽 A 保守セル保守室	火災区画					
					南第4階段室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	サンプリングベンチ制御盤第2室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					硝酸供給弁室	火災区画					
					高性能粒子フィルタ加熱器セル	火災区画					
					南第3階段室地上2階附室	火災区画					
					常用主電源設備室 用換気設備室	火災区画					
					空調設備室	火災区画					
					北第2階段室地上2階附室	火災区画					
					南第2階段室地上2階附室	火災区画					
					北第1階段室地上2階附室	火災区画					
					南第1階段室地上2階附室	火災区画					
					膨張槽第1室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	地上3階南北第2廊下	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	■	地上3階南北第2廊下	火災区画	■	鉄筋コンクリート		
	地上3階南北第3廊下	火災区画				地上3階南北第3廊下	火災区画				
	地上3階東西第1廊下	火災区画				地上3階東西第1廊下	火災区画				
	燃料横転クレーンB保守セル保守室	火災区画				燃料横転クレーンB保守セル保守室	火災区画				
	せん断機油圧装置B室	火災区画				せん断機油圧装置B室	火災区画				
	制御盤第6室	火災区画				制御盤第6室	火災区画				
	可溶性中性子吸収材緊急供給槽室	火災区画				可溶性中性子吸収材緊急供給槽室	火災区画				
	圧縮空気槽室	火災区画				圧縮空気槽室	火災区画				
	現場制御盤第6室	火災区画				現場制御盤第6室	火災区画				
	試薬第5分配室	火災区画				試薬第5分配室	火災区画				
	地上3階東西第2廊下	火災区画				地上3階東西第2廊下	火災区画				

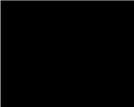
変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						蒸気第3分配室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
						制御盤第7室	火災区画				
						地上3階南北第4廊下	火災区画				
						計装ラック第4室	火災区画				
						放管用制御盤室	火災区画				
						燃料横転クレーンB保守セル	火災区画				
						せん断機・溶解槽B保守インセルクレーン収納セル	火災区画				
						燃料横転クレーンA・B保守セル保守室	火災区画				
						真空フィルタセル	火災区画				
						せん断機油圧装置A室	火災区画				

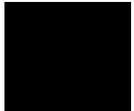
変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	現場制御盤第7室	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	■	■	■	■	鉄筋コンクリート		
	真空フィルタ保守室	火災区画									
	DOGセル排気フィルタ保守室	火災区画									
	燃料横転クレーンA保守セル	火災区画									
	せん断機・溶解槽A保守インセルクレーン収納セル	火災区画									
	真空配管第1室	火災区画									
	真空槽室	火災区画									
	現場制御盤第8室	火災区画									
	DOG水圧機械室	火災区画									
	地上3階第1予備室	火災区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	■	鉄筋コンクリート	制御盤第 8 室	火災区画	■	壁	■	鉄筋コンクリート
						アクティブ試薬第 2 分配室	火災区画				
						燃料横転クレーン A 保守セル保守室	火災区画				
						地上 3 階第 2 予備室	火災区画				
						地上 3 階南北第 1 廊下	火災区画				
						現場制御盤第 9 室	火災区画				
						機器エアロック第 3 室	火災区画				
						第 10 サブチェンジングルーム	火災区画				
						南第 2 エレベータ機械室	火災区画				
						地上 3 階南北第 5 廊下	火災区画				
						建屋給気フィルタ室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						建屋給気加熱コイル室	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート
						外気取入室	火災 区画				
						真空配管第2室	火災 区画				
						真空ポンプ室	火災 区画				
						地上3階南北第7 廊下	火災 区画				
						南第3階段室地上3 階附室	火災 区画				
						北第2階段室地上3 階附室	火災 区画				
						南第2階段室地上3 階附室	火災 区画				
						北第1階段室地上3 階附室	火災 区画				
						南第1階段室地上3 階附室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンク リート	南第4エレベータ 機械室寄り付き階 段室	火災 区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンク リート	
					南第3エレベータ 機械室用予備室	火災 区画					
					地上4階南北第2 廊下	火災 区画					
					地上4階東西第1 廊下	火災 区画					
					機器エアロック第4 室	火災 区画					
					膨張槽第2室	火災 区画					
					燃料横転クレーンB 保守インセルクレー ン収納セルしゃ へい扉収納室	火災 区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						せん断機・溶解槽 A・B 保守インセル クレーン保守エア ロック	火災 区画		壁		鉄筋コンク リート
						燃料横転クレーン B 保守インセルクレーン 収納セル	火災 区画				
						溶解槽セル B 排気 前置フィルタ第 1 セル	火災 区画				
						溶解槽セル B 排気 前置フィルタ第 2 セル	火災 区画				
						溶解槽セル B 排気 前置フィルタ第 3 セル	火災 区画				
						溶解槽セル B 排気 系ダクトセル	火災 区画				
						溶解槽セル排気フ ィルタユニット室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						燃料横転クレーン A 保守インセルクレーン収納セル	火災 区画		壁		鉄筋コンクリート
						溶解槽セル A 排気 前置フィルタ第 1 セル	火災 区画				
						溶解槽セル A 排気 前置フィルタ第 2 セル	火災 区画				
						溶解槽セル A 排気 前置フィルタ第 3 セル	火災 区画				
						溶解槽セル A 排気 系ダクトセル	火災 区画				
						せん断セルコンフ アイメント設備室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	燃料横転クレーン A 保守インセルクレーン 収納セルしゃへい扉 収納室	火災 区画	[Redacted]	鉄筋コンクリート	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
					南第 4 エレベータ 機械室	火災 区画					
					南第 3 階段室地上 4 階附室	火災 区画					
					地上 4 階南北第 3 廊下	火災 区画					
					地上 4 階南北第 1 廊下	火災 区画					
					北第 2 階段室地上 4 階附室	火災 区画					
					北第 1 階段室地上 4 階附室	火災 区画					
					膨張槽第 4 室	火災 区画					
					地上 5 階南北第 2 廊下	火災 区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	地上 5 階南北第 1 廊下	火災 区画	壁	鉄筋コンク リート	地上 5 階南北第 1 廊下	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート	
	DOG フィルタ装てん 室	火災 区画			DOG フィルタ装てん 室	火災 区画					
	燃料横転クレーン 保守エアロック室	火災 区画			燃料横転クレーン 保守エアロック室	火災 区画					
	溶解槽 B セル排気 前置フィルタセル ダクト室	火災 区画			溶解槽 B セル排気 前置フィルタセル ダクト室	火災 区画					
	溶解槽 A セル排気 前置フィルタセル ダクト室	火災 区画			溶解槽 A セル排気 前置フィルタセル ダクト室	火災 区画					
	南第 1 エレベータ 機械室	火災 区画			南第 1 エレベータ 機械室	火災 区画					
	膨張槽第 3 室	火災 区画			膨張槽第 3 室	火災 区画					
	北第 3 エレベータ 機械室	火災 区画			北第 3 エレベータ 機械室	火災 区画					
	北第 2 階段室屋上 出口室	火災 区画			北第 2 階段室屋上 出口室	火災 区画					
	地上 5 階南北第 3 廊下	火災 区画			地上 5 階南北第 3 廊下	火災 区画					

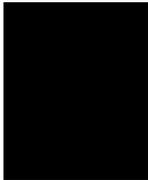
変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	■	鉄筋コンクリート	南第3階段室地上5階附室	火災区画	■	壁	■	鉄筋コンクリート
						北第2エレベータ機械室	火災区画				
						南第3階段室屋上階附室	火災区画				
						屋上階南北第1廊下	火災区画				
						排煙機室	火災区画				
						通信設備機器室	火災区画				
						北第2階段室地上5階附室	火災区画				
						北第1階段室地上5階附室	火災区画				

注記 *1：本設備は既存の設備である。
*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域及び火災区画構造物（分離建屋）

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
高レベル廃液濃縮 缶加熱・冷却設備 中間熱交 A 室	火災 区域		壁	—	—	高レベル廃液濃縮 缶加熱・冷却設備 中間熱交 A 室	火災 区域		壁		鉄筋コンク リート
高レベル廃液濃縮 缶加熱・冷却設備 中間熱交 B 室	火災 区域		壁	—	—	高レベル廃液濃縮 缶加熱・冷却設備 中間熱交 B 室	火災 区域				
安全冷却水 1A 中間 熱交換器室	火災 区域		壁	—	—	安全冷却水 1A 中間 熱交換器室	火災 区域				
安全冷却水 1B 中間 熱交換器室	火災 区域		壁	—	—	安全冷却水 1B 中間 熱交換器室	火災 区域				
安全冷却水 2 中間 熱交換器室	火災 区域		壁	—	—	安全冷却水 2 中間 熱交換器室	火災 区域				
安全系 A 計測制御 電源設備室 非常用発電機盤・ 蓄電池 A 室	火災 区域		壁	—	—	安全系 A 電源設備 室エリア	火災 区域				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
安全系 B 計測制御 電源設備室 非常用発電機盤・ 蓄電池 B 室	火災 区域		壁	—	—	安全系 B 電源設備 室エリア	火災 区域		壁		鉄筋コンク リート
ミキサ・セトラ攪 拌機保守室	火災 区域		壁	—	—	ミキサ・セトラ攪 拌機保守室	火災 区域				
計装ラック第 1 室	火災 区域		壁	—	—	計装ラック第 1 室	火災 区域				
安全系 B 電気品室	火災 区域		壁	—	—	安全系 B 電気品室	火災 区域				
安全系 A 電気品室	火災 区域		壁	—	—	安全系 A 電気品室	火災 区域				
計装ラック第 3 室	火災 区域		壁	—	—	計装ラック第 3 室	火災 区域				
塔槽類廃ガス第 2 処理室	火災 区域		壁	—	—	塔槽類廃ガス第 2 処理室	火災 区域				
安全系 A 制御盤室	火災 区域		壁	—	—	安全系 A 制御盤室	火災 区域				
安全系 B 制御盤室	火災 区域		壁	—	—	安全系 B 制御盤室	火災 区域				

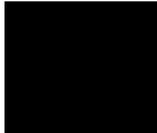
変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
計装ラック第5室	火災区域		壁	—	—	計装ラック第5室	火災区域		壁		鉄筋コンクリート
地上4階南北第1廊下	火災区域		壁	—	—	地上4階南北第1廊下	火災区域				
排風機室	火災区域		壁	—	—	排風機室	火災区域				
—						北第1エレベータ	火災区画				
						地下3階東西第1廊下, 東西第2廊下, 東西第3廊下, 東西第4廊下, 南北第1廊下, 南北第2廊下, 南北第3廊下, 南北第4廊下, 南北第5廊下	火災区画				
						南第7ダクト室	火災区画				
						第11予備室	火災区画				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						ケーブルトレイ第1室	火災 区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンク リート
						ローカルセンター ボックス第1室	火災 区画				
						南第1階段室	火災 区画				
						南第1エレベータ	火災 区画				
						第7予備室	火災 区画				
						北第1階段室	火災 区画				
抽出塔セル	火災 区域	[REDACTED]	壁	—	—	抽出塔セル	火災 区画				
分配塔セル	火災 区域	[REDACTED]	壁	—	—	分配塔セル	火災 区画				
—						抽出塔予備セル	火災 区画				
分離建屋一時貯留 処理槽第1セル	火災 区域	[REDACTED]	壁	—	—	分離建屋一時貯留 処理槽第1セル	火災 区画				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
			壁	-	-	分離建屋一時貯留 処理槽第 2 セル	火災 区画	[Redacted]	[Redacted]	鉄筋コンク リート	
						ウラン濃縮缶凝縮 液受槽セル	火災 区画				
						ウラン濃縮缶供給 槽セル	火災 区画				
						ウラン濃縮液受槽 セル	火災 区画				
						アルカリ廃液受槽 セル	火災 区画				
						極低レベル含塩廃 液受槽室	火災 区画				
						放管用ブロワ第 1 室	火災 区画				
						プルトニウム溶液 中間貯槽セル	火災 区画				
						抽出廃液受槽セル	火災 区画				
						抽出廃液供給槽セ ル	火災 区画				
分離建屋一時貯留 処理槽第 4 セル	火災 区域	[Redacted]	壁	-	-	分離建屋一時貯留 処理槽第 4 セル	火災 区画	[Redacted]	[Redacted]		

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						再生溶媒受槽セル	火災 区画		壁		鉄筋コンク リート
分離建屋一時貯留 処理槽第3セル	火災 区域		壁	-	-	分離建屋一時貯留 処理槽第3セル	火災 区画				
-						廃液受槽セル	火災 区画				
						極低レベル無塩廃 液受槽室	火災 区画				
						除染機器保管室	火災 区画				
						第1酸回収供給槽 セル	火災 区画				
						第1酸回収精留塔 予備セル	火災 区画				
						第1酸回収精留塔 セル	火災 区画				
						第1酸回収回収硝 酸貯槽セル	火災 区画				
						第2サブチェンジ ングルーム	火災 区画				
-						極低レベル廃液サ ンプ槽室	火災 区画				

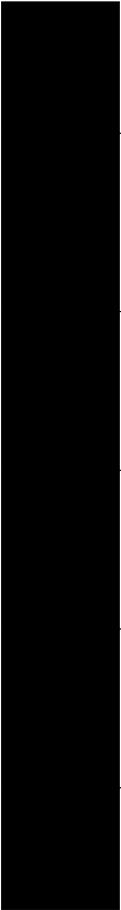
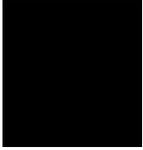
変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	南第3エレベータ	火災区画	-	-	-	鉄筋コンクリート
						南第2階段室	火災区画				
						南第2エレベータ	火災区画				
						冷水設備室	火災区画				
						ウラン濃縮缶蒸気発生器室	火災区画				
						第1酸回収加熱設備凝縮水ポンプ室	火災区画				
						回収水受槽 (1243-V20)	火災区画				
						第8予備室	火災区画				
						第9予備室	火災区画				
						高レベル廃液系配管通過第1セル	火災区画				
						ユーティリティ配管第1室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						純水受槽室	火災 区画		壁		鉄筋コンク リート
						凝縮水ポンプ室	火災 区画				
						電気・機械第1保 守室	火災 区画				
						高レベル廃液濃縮 缶加熱・冷却設備 蒸気発生器室	火災 区画				
						北第1階段室地下3 階附室	火災 区画				
						南第2階段室地下3 階附室	火災 区画				
						第1サブチェンジ ングルーム	火災 区画				
						南第1階段室地下3 階附室	火災 区画				
						南第9ダクト室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	地下2階東西第1廊下, 東西第2廊下, 東西第3廊下, 東西第4廊下, 南北第1廊下, 南北第2廊下, 南北第3廊下, 南北第4廊下, 南北第5廊下, 南北第6廊下				火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート		
	第3サブチェンジングルーム				火災区画						
	ウラン濃縮缶冷却器室				火災区画						
	ウラン濃縮缶予備セル				火災区画						
	ウラン濃縮缶セル				火災区画						
	分配設備ポンプ保守室				火災区画						
	アルカリ廃液濃縮缶セル				火災区画						

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						アルカリ廃液濃縮 缶予備セル	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート
放射性配管分岐第1 セル	火災 区域	R0209	壁	-	-	放射性配管分岐第1 セル	火災 区画				
-						第4サブチェンジ ングルーム	火災 区画				
						溶解液中間貯槽セ ル	火災 区画				
						液体廃棄物設備ポ ンプ室	火災 区画				
						第2予備室	火災 区画				
						第1酸回収加熱設 備蒸気発生器室	火災 区画				
						放射性配管分岐第2 セル	火災 区画				
						高レベル廃液供給 槽セル	火災 区画				
						地下2階機器搬出 入室	火災 区画				
-						圧縮空気脱湿設備 室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	試薬廃液中和槽室	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
					アルカリ廃液濃縮 缶蒸気発生器室	火災 区画					
					酸回収ポンプ室	火災 区画					
					第5サブチェンジ ングルーム	火災 区画					
					常用冷却水中間熱 交換器室	火災 区画					
					冷却水配管弁室	火災 区画					
					第1予備室	火災 区画					
					試薬廃液受槽室	火災 区画					
					北第1階段室地下2 階附室	火災 区画					
					南第2階段室地下2 階附室	火災 区画					
					南第1階段室地下2 階附室	火災 区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						高レベル廃液濃縮 缶加熱・冷却設備 フラッシュドラム A 室	火災 区画		壁		鉄筋コンク リート
						高レベル廃液濃縮 缶加熱・冷却設備 フラッシュドラム B 室	火災 区画				
						南第 3 階段室	火災 区画				
						ケーブルトレイ第 2 室	火災 区画				
						配管弁第 1 室	火災 区画				
						配管弁第 4 室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	地下1階東西第1廊下, 東西第2廊下, 東西第3廊下, 東西第4廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下, 南北第4廊下, 南北第5廊下		壁	鉄筋コンクリート	火災区画	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	鉄筋コンクリート
	ドレン配管室				火災区画						
	圧縮空気分配第1室				火災区画						
	塔槽類廃ガス洗浄塔セル前室				火災区画						
	塔槽類廃ガス洗浄塔セル				火災区画						
	第6サブチェンジングルーム				火災区画						
	ウラン濃縮缶凝縮器室				火災区画						
	ウラン濃縮缶セル前室				火災区画						

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						モータコントロールセンタ第1室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
プルトニウム洗浄器セル	火災区域	R0311	壁	-	-	プルトニウム洗浄器セル	火災区画				
溶媒洗浄器セル	火災区域	R0312	壁	-	-	溶媒洗浄器セル	火災区画				
-						溶媒フィルタセル	火災区画				
						溶媒再生系ポンプ保守室	火災区画				
						放射線現場盤第1室	火災区画				
						サンプリングベンチ第1保守室	火災区画				
						アルカリ廃液供給槽セル	火災区画				
						電気・機械第2保守室	火災区画				
						第1酸回収ガンマモニタ予備室	火災区画				
-						第1酸回収蒸発缶予備セル	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	第1酸回収蒸発缶セル	火災区画	[REDACTED]	壁	鉄筋コンクリート		
					第1酸回収ガンマモニタ第1室	火災区画					
					第4予備室	火災区画					
					高レベル濃縮廃液分配器セル	火災区画					
					サンプリングベンチ第6セル	火災区画					
					サンプリングベンチ第6保守室	火災区画					
					高レベル廃液系配管・バルブ室	火災区画					
					温水設備室	火災区画					
					地下1階機器搬出入室	火災区画					
					制御盤第1室	火災区画					
					トロリー保管室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						高レベル廃液ガラス固化建屋連絡用放射性配管セル	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						溶解液供給槽セル	火災区画				
						サービス空気貯槽室	火災区画				
						地下1階南北第2廊下	火災区画				
						第7サブチェンジングルーム	火災区画				
						高レベル廃液濃縮缶連絡用放射性配管セル	火災区画				
						北第1階段室地下1階附室	火災区画				
						南第2階段室地下1階附室	火災区画				
						南第1階段室地下1階附室	火災区画				
						ケーブルトレイ第3室	火災区画				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						配管弁第2室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
						地上1階東西第1廊下, 東西第2廊下, 東西第3廊下, 南北第1廊下, 南北第2廊下, 南北第3廊下	火災区画				
分離設備ガンマモニタセル	火災区域	[REDACTED]	壁	-	-	分離設備ガンマモニタセル	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
分離設備ウラン・プルトニウムモニタセル	火災区域	[REDACTED]	壁	-	-	分離設備ウラン・プルトニウムモニタセル	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
分配設備アルファモニタ第2セル	火災区域	[REDACTED]	壁	-	-	分配設備アルファモニタ第2セル	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
-						分離設備ガンマモニタ予備セル	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
						分離設備ウラン・プルトニウムモニタ予備セル	火災区画	[REDACTED]			
						蒸気分配第1室	火災区画	[REDACTED]			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁		鉄筋コンクリート	サンプリングベンチ第3セル	火災区画				
						サンプリングベンチ第3保守室	火災区画				
						極低レベル廃ガス洗浄塔ポンプ室前室	火災区画				
						極低レベル廃ガス洗浄塔ポンプ室	火災区画				
						よう素フィルタ室	火災区画				
						圧縮空気分配第2室	火災区画				
						アルカリ廃液調整槽セル	火災区画				
						アルカリ廃液濃縮系弁保守室	火災区画				
						放管用ブロワ第2室	火災区画				
						換気設備搬出入室	火災区画				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
分配設備アルファ モニタ第3セル	火災 区域	■	壁	—	—	分配設備アルファ モニタ第3セル	火災 区画	■	壁	■	鉄筋コンク リート
分配設備アルファ モニタ第1セル	火災 区域	■	壁	—	—	分配設備アルファ モニタ第1セル	火災 区画	■			
—						分配設備ウラン・ プルトニウムモニ タセル	火災 区画	■			
						第1予備セル	火災 区画	■			
						第10サブチェンジ ングルーム	火災 区画	■			
						蒸気分配第2室	火災 区画	■			
						アルカリ廃液濃縮 缶凝縮器セル	火災 区画	■			
						モータコントロー ルセンタ第2室	火災 区画	■			
						放射線現場盤室第2 予備室	火災 区画	■			
第1酸回収弁キャ ビネット室	火災 区画	■									

変更前					変更後*1																					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料															
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号																		
-	第 12 サブチェンジ ングルーム	火災 区画	壁	鉄筋コンク リート	-	計装ラック第 2 室	火災 区画	-	-	-																
	圧縮空気分配第 3 室	火災 区画				-	-																			
	第 11 サブチェンジ ングルーム	火災 区画									-	-														
	高レベル濃縮廃液 分配器保守室	火災 区画											-	-												
	高レベル廃液濃縮 缶第 1 セル	火災 区画													-	-										
	高レベル廃液濃縮 缶第 2 セル	火災 区画															-	-								
	地上 1 階機器搬出 入第 2 室	火災 区画																	-	-						
	地上 1 階機器搬出 入第 1 室	火災 区画																			-	-				
	放射線現場盤第 3 室	火災 区画																					-	-		
	生産系電気品室	火災 区画																							-	-

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	アルカリ廃液濃縮系還流水流量調整室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					北第2階段室	火災区画					
					第8サブチェンジングルーム	火災区画					
					北第1階段室地上1階附室	火災区画					
					南第2階段室地上1階附室	火災区画					
					南第1階段室地上1階附室	火災区画					
					蒸気・圧縮空気分配室	火災区画					
					ケーブルトレイ第4室	火災区画					
					配管弁第3室	火災区画					

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
地上2階東西第1廊下, 東西第2廊下, 東西第4廊下, 南北第1廊下, 南北第2廊下, 南北第3廊下	火災区域		壁	—	—	地上2階東西第1廊下, 東西第2廊下, 東西第4廊下, 南北第1廊下, 南北第2廊下, 南北第3廊下	火災区画		壁		鉄筋コンクリート
パルセータグローブボックス室	火災区域		壁	—	—	パルセータグローブボックス室	火災区画				
—						第13サブチェンジングルーム	火災区画				
						塔槽類廃ガス高性能粒子フィルタ加熱器セル	火災区画				
						塔槽類廃ガス処理セル	火災区画				
						塔槽類廃ガス第1処理室	火災区画				
						塔槽類廃ガス第3処理室	火災区画				
—						制御盤第2室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	通信機器室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					現場放射線管理機器室	火災区画					
					放射線現場盤第2室	火災区画					
					サンプリングベンチ第4セル	火災区画					
					サンプリングベンチ第4保守室	火災区画					
					蒸気分配第3室	火災区画					
					除染分配室	火災区画					
					計装ラック第4室	火災区画					
					アクティブ試薬設備第1室	火災区画					
					インアクティブ試薬設備第1室	火災区画					
					第1酸回収弁第2保守室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	鉄筋コンクリート	第1酸回収弁第1保守室	火災区画	-	-	-	
						第6予備室	火災区画				
						減衰器セル	火災区画				
						高レベル廃液系配管通過第2セル	火災区画				
						高レベル廃液濃縮缶凝縮器第1セル	火災区画				
						高レベル廃液濃縮缶凝縮器第2セル	火災区画				
						地上2階機器搬出入室	火災区画				
						放管資材倉庫	火災区画				
						ユーティリティ室	火災区画				
						第14サブチェンジングルーム	火災区画				
						第15サブチェンジングルーム	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンクリート	サンプリングベンチ第5保守室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
					除染・圧縮空気分配室	火災区画					
					地上2階東西第3廊下	火災区画					
					生産系計測制御電源設備室	火災区画					
					常用発電機盤・蓄電池室	火災区画					
					よう素フィルタ加熱器室	火災区画					
					空調機械室	火災区画					
					北第1階段室地上2階附室	火災区画					
					南第2階段室地上2階附室	火災区画					
					南第1階段室地上2階附室	火災区画					
		南第4階段室	火災区画								

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						サンプリングベンチ第5セル	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート
						北第3階段室	火災区画				
						サンプリングベンチ第5前室	火災区画				
						アクティブ試薬設備第5室	火災区画				
						ケーブルトレイ第5室	火災区画				
						ローカルセンターボックス第2室	火災区画				
地上3階東西第1廊下, 東西第2廊下, 東西第3廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下, 南北第4廊下	火災区域	[REDACTED]	壁	-	-	地上3階東西第1廊下, 東西第2廊下, 東西第3廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下, 南北第4廊下	火災区画				
-						地上3階南北第5廊下	火災区画				
						地上3階南北第6廊下	火災区画				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						建屋外気取入室	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート
						建屋加熱コイル室	火災 区画				
						建屋給気プレフィ ルタ室	火災 区画				
						送風機室	火災 区画				
						給気第 6 室	火災 区画				
						建屋再熱・冷水コ イル室	火災 区画				
						給気第 4 室	火災 区画				
						給気第 3 室	火災 区画				
パルセータ圧空バ ッファ槽室	火災 区域	[Redacted]	壁	-	-	パルセータ圧空バ ッファ槽室	火災 区画	[Redacted]			
-						モータコントロー ルセンタ第 3 室	火災 区画	[Redacted]			
圧縮空気分配第 4 室	火災 区域	[Redacted]	壁	-	-	圧縮空気分配第 4 室	火災 区画	[Redacted]			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	エアジェットバルブ第1室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					ユーティリティ配管第2室	火災区画					
					第16サブチェンジングルーム	火災区画					
					エアジェットバルブ第2室	火災区画					
					制御盤第3室	火災区画					
					蒸気分配第5室	火災区画					
					アクティブ試薬設備第2室	火災区画					
					インアクティブ試薬設備第2室	火災区画					
					モータコントロールセンタ第4室	火災区画					
					ユーティリティ配管第3室	火災区画					
					ユーティリティ配管第4室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	酸回収分配器保守室	火災区画	[REDACTED]	[REDACTED]	鉄筋コンクリート		
					バルブ保守室	火災区画					
					制御盤第5室	火災区画					
					蒸気分配第6室	火災区画					
					高レベル廃液濃縮缶A遠隔保守室	火災区画					
					第17サブチェンジングルーム	火災区画					
					地上3階南北第2廊下	火災区画					
					放管用ブロワ第3室	火災区画					
					除染・試薬分配室	火災区画					
					第1酸回収還流分配器保守室	火災区画					
					制御盤第6室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	高レベル廃液濃縮缶 B 遠隔保守室	火災区画	[Redacted]	[Redacted]	鉄筋コンクリート		
					第 10 予備室	火災区画					
					エアジェット第 1 セル	火災区画					
					エアジェット第 2 セル	火災区画					
					エアジェット第 3 セル	火災区画					
					エアジェット第 4 セル	火災区画					
					蒸気分配第 4 室	火災区画					
					南第 1 エレベータ機械室	火災区画					
					北第 1 階段室地上 3 階附室	火災区画					
					南第 2 階段室地上 3 階附室	火災区画					
					アクティブ試薬設備第 3 室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	鉄筋コンク リート	インアクティブ試 薬設備第3室	火災 区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンク リート	
					給気第5室	火災 区画					
					アクティブ試薬設 備第6室	火災 区画					
					建屋給気粒子フィ ルタ室	火災 区画					
					南第4階段室地上3 階附室	火災 区画					
					南第4階段室地上4 階附室	火災 区画					
					制御盤第6室用空 調機室	火災 区画					
					北第1エレベータ 機械室	火災 区画					
					南第8ダクト室	火災 区画					
					空調用弁室	火災 区画					
					北第1ダクト室	火災 区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	排気フィルタユニット室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					第18サブチェンジングルーム	火災区画					
					アクティブ試薬設備第4室	火災区画					
					インアクティブ試薬設備第4室	火災区画					
					計装ラック第6室	火災区画					
					第19サブチェンジングルーム	火災区画					
					排気第2室	火災区画					
					排気モニタ室	火災区画					
					膨張槽室	火災区画					
					排気第1室	火災区画					
					地上4階南北第2廊下	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
			—			北第1階段室地上4階附室	火災区画		壁		鉄筋コンクリート
						南第2階段室地上4階附室	火災区画				
						地上4階東西第1廊下	火災区画				
						南第4階段室地上5階附室	火災区画				
						屋上階廊下	火災区画				
						南第2エレベータ機械室	火災区画				
						純水供給ポット室	火災区画				
						南第2階段室屋上階附室	火災区画				
						南第3エレベータ機械室	火災区画				

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

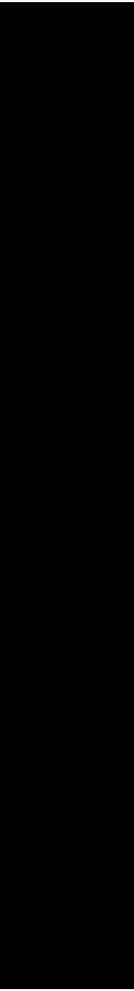
・火災区域構造物及び火災区画構造物（精製建屋）

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
プルトニウム濃縮液 ポンプ B 用グローブ ボックス室	火災 区域		壁	—	—	プルトニウム濃縮液 ポンプ B 用グローブ ボックス室	火災 区域		壁		鉄筋コンク リート
安全冷却水 C ポンプ 室	火災 区域		壁	—	—	安全冷却水 C ポンプ 室	火災 区域				
安全冷却水 B ポンプ 室	火災 区域		壁	—	—	安全冷却水 B ポンプ 室	火災 区域				
安全冷却水 A ポンプ 室	火災 区域		壁	—	—	安全冷却水 A ポンプ 室	火災 区域				
計装ラック第 1 室	火災 区域		壁	—	—	計装ラック第 1 室	火災 区域				
非常用 B 電気品室	火災 区域		壁	—	—	非常用 B 電気品室	火災 区域				
アルファモニタ保守 室	火災 区域		壁	—	—	アルファモニタ保守 室	火災 区域				
非常用 A 電気品室	火災 区域		壁	—	—	非常用 A 電気品室	火災 区域				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
非常用 B 計装電源室	火災区域		壁	—	—	非常用 B 計装電源室	火災区域		壁		鉄筋コンクリート
計装ラック第 3 室	火災区域		壁	—	—	計装ラック第 3 室	火災区域				
非常用 B モータコントロールセンタ室	火災区域		壁	—	—	非常用 B モータコントロールセンタ室	火災区域				
非常用 A 蓄電池室	火災区域		壁	—	—	非常用 A 蓄電池室	火災区域				
非常用 A 計装電源室	火災区域		壁	—	—	非常用 A 計装電源室	火災区域				
非常用 B 蓄電池室	火災区域		壁	—	—	非常用 B 蓄電池室	火災区域				
非常用 A モータコントロールセンタ室	火災区域		壁	—	—	非常用 A モータコントロールセンタ室	火災区域				
計装ラック第 6 室	火災区域		壁	—	—	計装ラック第 6 室	火災区域				
排風機室	火災区域		壁	—	—	排風機室	火災区域				
安全系 B 制御盤室	火災区域		壁	—	—	安全系 B 制御盤室	火災区域				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
安全系 A 制御盤室	火災区域		壁	—	—	安全系 A 制御盤室	火災区域		壁	鉄筋コンクリート	
プルトニウム系塔槽 類廃ガス処理室	火災区域		壁	—	—	プルトニウム系塔槽 類廃ガス処理室	火災区域				
—						地下3階東西第1廊下, 東西第2廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下	火災区画				
						北第2階段室	火災区画				
						北第2エレベータ	火災区画				
						放管用ブロワ第1室	火災区画				
						南第2エレベータ	火災区画				
						南第2階段室	火災区画				
						第2酸回収精留塔セル	火災区画				
第2酸回収蒸発缶セル	火災区画										

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	第5 予備室	火災区画	壁	-	鉄筋コンクリート	
-						精製建屋一時貯留処理槽第2セル	火災区画				
-						第3 予備セル	火災区画				
-						抽出廃液中間貯槽セル	火災区画				
精製建屋一時貯留処理槽第1セル	火災区域	■	壁	-	-	精製建屋一時貯留処理槽第1セル	火災区画	壁	■	鉄筋コンクリート	
-			壁	-	-	プルトニウム濃縮液一時貯槽セル	火災区画				
-						第4 予備セル	火災区画				
-						プルトニウム濃縮液計量槽セル	火災区画				
-						第2 酸回収供給槽セル	火災区画				
-						第2 酸回収濃縮液受槽セル	火災区画				
プルトニウム精製塔セル	火災区域	■	壁	-	-	プルトニウム精製塔セル	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						第1 保守室	火災区画		壁		鉄筋コンクリート
						プルトニウム溶液供給槽セル	火災区画				
						プルトニウム濃縮缶供給槽セル	火災区画				
						プルトニウム濃縮液受槽セル	火災区画				
						第1 予備セル	火災区画				
						第1 サブチェンジングループ	火災区画				
						第2 酸回収回収硝酸受槽セル	火災区画				
						第5 予備セル	火災区画				
						ウラン濃縮液第1 中間貯槽室	火災区画				
						ウラン濃縮缶供給槽セル	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	回収溶媒受槽室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
					南第3階段室	火災区画					
					南第3ダクト室	火災区画					
					溶媒受槽セル	火災区画					
					ウラン廃液受槽セル	火災区画					
					極低レベル無塩廃液受槽室	火災区画					
					第2酸回収精留塔予備セル	火災区画					
					第2酸回収蒸発缶予備セル	火災区画					
					第2酸回収回収硝酸貯槽セル	火災区画					
					ウラン溶液供給槽セル	火災区画					
					精製建屋一時貯留処理槽第3セル	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						廃液受槽セル	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						回収溶媒第3貯槽セル	火災区画				
						回収溶媒第3貯槽PAACポンプセル	火災区画				
						回収希釈剤第1貯槽室	火災区画				
						極低レベル含塩廃液受槽室	火災区画				
						第6予備セル	火災区画				
						回収溶媒第1貯槽室	火災区画				
						北第1階段室	火災区画				
						北第1エレベータ	火災区画				
						放管用ブロワ第2室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	南第1エレベータ	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
					南第1階段室	火災区画					
					溶媒供給槽セル	火災区画					
					テクニカルギャラリー第1室	火災区画					
					テクニカルギャラリー第2室	火災区画					
					電気品・プロセス機器補修室	火災区画					
					機械補修第1室	火災区画					
					極低レベル廃液第2受槽室	火災区画					
					極低レベル廃液第1受槽室	火災区画					
					第2サブチェンジングループ	火災区画					
					第3サブチェンジングループ	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	北第2階段室地下3階附室	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	■	北第2階段室地下3階附室	火災区画	■	鉄筋コンクリート		
	南第2階段室地下3階附室	火災区画				南第2階段室地下3階附室	火災区画				
	南第3階段室地下3階附室	火災区画				南第3階段室地下3階附室	火災区画				
	北第1階段室地下3階附室	火災区画				北第1階段室地下3階附室	火災区画				
	南第1階段室地下3階附室	火災区画				南第1階段室地下3階附室	火災区画				
	蒸気発生器第1室	火災区画				蒸気発生器第1室	火災区画				
	セル排気サンプリング設備第1室	火災区画				セル排気サンプリング設備第1室	火災区画				
	南第2ダクト室	火災区画				南第2ダクト室	火災区画				
	南第1ダクト室	火災区画				南第1ダクト室	火災区画				
	地下3階南北第2廊下	火災区画				地下3階南北第2廊下	火災区画				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						地下2階東西第1廊下, 東西第2廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						除染機器保管室	火災区画				
						通信設備室	火災区画				
						南第4エレベータ	火災区画				
						第6予備室	火災区画				
						ユーティリティ弁第1室	火災区画				
						第4サブチェンジングループ	火災区画				
プルトニウム濃縮液ポンプD用グローブボックス室	火災区域	[Redacted]	壁	—	—	プルトニウム濃縮液ポンプD用グローブボックス室	火災区画	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
—						第7予備室	火災区画	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
放射性配管分岐第1セル	火災区域	■	壁	—	—	放射性配管分岐第1セル	火災区画	■	壁	■	鉄筋コンクリート
—						プルトニウム系塔槽類廃ガス洗浄塔セル	火災区画	■			
—						プルトニウム系サンプリングベンチ第1保守室	火災区画				
—						放射性配管分岐第2セル	火災区画				
—						第2保守室	火災区画				
放射性配管分岐第1セル	火災区域	■	壁	—	—	放射性配管分岐第1セル	火災区画	■			
—						第3保守室	火災区画				
—						第4保守室	火災区画				
—						プルトニウム溶液一時貯槽セル	火災区画				
—						油水分離槽セル	火災区画				
油水分離槽セル	火災区域	■	壁	—	—	油水分離槽セル	火災区画	■			

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	第5 保守室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
-						プルトニウム濃縮缶セル	火災区画				
-						プルトニウム濃縮缶予備セル	火災区画				
-						凝縮液受槽セル	火災区画				
-						第5 サブチェンジングループ	火災区画				
プルトニウム濃縮液ポンプA用グローブボックス室	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	プルトニウム濃縮液ポンプA用グローブボックス室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
-			壁	-	-	蒸気発生器第2室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
-						ウラン系サンプリングベンチ第2セル	火災区画				
凝縮液ポンプ室	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	凝縮液ポンプ室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
回収溶媒受槽ポンプ室	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	回収溶媒受槽ポンプ室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	回収溶媒中間貯槽室	火災 区画	壁	-	鉄筋コンク リート	
-						第6 保守室	火災 区画				
-						ウラン濃縮液第2中 間貯槽室	火災 区画				
-						ウランドレン溶液ポ ンプ室	火災 区画				
放射性配管分岐第1 セル	火災 区域	-	壁	-	-	放射性配管分岐第1 セル	火災 区画				
-			壁	-	-	回収硝酸ポンプ室	火災 区画				
-						第6 サブチェンジン グループ	火災 区画				
-						第7 保守室	火災 区画				
-						ウラナス溶液中間貯 槽室	火災 区画				
-						再生溶媒受槽セル	火災 区画				
-						第8 保守室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	溶媒貯槽第1セル	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
					リサイクル槽セル	火災区画					
					第7サブチェンジングループ	火災区画					
					回収溶媒第1貯槽ポンプ室	火災区画					
					常用電気品第1室	火災区画					
					南第3エレベータ	火災区画					
					トロリ第1保管室	火災区画					
					北第2階段室地下2階附室	火災区画					
					南第2階段室地下2階附室	火災区画					
					南第3階段室地下2階附室	火災区画					
					北第1階段室地下2階附室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	南第1階段室地下2階附室	火災区画	壁	-	鉄筋コンクリート	
-						第20保守室	火災区画				
地下2階南北第2廊下	火災区域		壁	-	-	地下2階南北第2廊下	火災区画				
-			壁	-	-	南第1配管室	火災区画				
-						南第7ダクト室	火災区画				
地下1階東西第1廊下, 東西第2廊下, 南北第1廊下, 南北第4廊下	火災区域		壁	-	-	地下1階東西第1廊下, 東西第2廊下, 南北第1廊下, 南北第4廊下	火災区画				
-			壁	-	-	放射線現場盤第1予備室	火災区画				
-						溶媒貯槽第2セル	火災区画				
-						第7予備セル	火災区画				
-						第9保守室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
プルトニウム洗浄器セル	火災区域		壁	—	—	プルトニウム洗浄器セル	火災区画		壁	鉄筋コンクリート	
						ウラン逆抽出器セル	火災区画				
						溶媒洗浄器第1セル	火災区画				
						溶媒洗浄器第2セル	火災区画				
						第10サブチェンジングルーム	火災区画				
						圧縮空気分配第1室	火災区画				
						第11サブチェンジングルーム	火災区画				
						蒸気分配第1室	火災区画				
						蒸気分配第2室	火災区画				
						第10保守室	火災区画				
						第11保守室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						プルトニウム系サンプリングベンチ第3セル	火災区画				
濃縮液弁用グローブボックス室	火災区域		壁	-	-	濃縮液弁用グローブボックス室	火災区画				
-						圧縮空気分配第2室	火災区画				鉄筋コンクリート
						セル排気サンプリング設備第2室	火災区画				
						第12 保守室	火災区画				
						ウラン濃縮缶予備セル	火災区画				
						ウラン濃縮缶セル	火災区画				
						第8 予備セル	火災区画				
						ウラン系サンプリングベンチ第2 保守室	火災区画				
						蒸気分配第3室	火災区画				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	第 13 保守室	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート
-						ウラン系塔槽類廃ガ ス洗浄塔セル	火災 区画				
-						硝酸ウラニルサンプ リング用フード室	火災 区画				
-						計装ラック第 2 室	火災 区画				
溶媒洗浄器第 3 セル	火災 区域	[Redacted]	壁	-	-	溶媒洗浄器第 3 セル	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート
-			壁	-	-	ウラン精製器セル	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート
-						ウラナス溶液ポンプ 室	火災 区画				
-						第 12 サブチェンジ ングルーム	火災 区画				
再生溶媒ポンプ室	火災 区域	[Redacted]	壁	-	-	再生溶媒ポンプ室	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート
-			壁	-	-	ウラン濃縮液第 3 中 間貯槽室	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート
-						放射線現場盤室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						ウラン系サンプリン	火災	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						グベンチ第1保守室	区画				
						凝縮水受槽室	火災				
						区画					
						ウラン系サンプリン	火災				
						グベンチ第1セル	区画				
						常用電気品第2室	火災				
						区画					
						安全冷却水系ポンプ	火災				
						弁第1室	区画				
						安全冷却水系ポンプ	火災				
						弁第2室	区画				
放管用プロワ第3室	火災										
区画											
北第2階段室地下1	火災										
階附室	区画										
南第2階段室地下1	火災										
階附室	区画										
南第3階段室地下1	火災										
階附室	区画										
北第1階段室地下1	火災										
階附室	区画										

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	南第1階段室地下1階附室	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	-	放射線現場盤第2予備室	火災区画	-	-	-	
	地下1階南北第3廊下	火災区画				地下1階南北第2廊下	火災区画				
	南第8ダクト室	火災区画				地上1階東西第1廊下, 東西第2廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下	火災区画				
	臨界警報装置現場盤室	火災区画				制御盤第1室	火災区画				
	第14保守室	火災区画				蒸気分配第4室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					第 13 サブチェン ジ ングルーム	火災 区画	■	壁	■	鉄筋コンク リート	
					試薬分配第 1 室	火災 区画					
					試薬分配第 2 室	火災 区画					
					圧縮空気分配第 6 室	火災 区画					
					非常用出口第 1 室	火災 区画					
					プルトニウム系高性 能粒子フィルタ加熱 器室	火災 区画					
凝縮液還流弁用グロ ープボックス室	火災 区域	■	壁	—	—	凝縮液還流弁用グロ ープボックス室	火災 区画				
第 15 保守室	火災 区域	■	壁	—	—	第 15 保守室	火災 区画				
—					第 2 酸回収弁セル	火災 区画					
圧縮空気槽 A 室	火災 区域	■	壁	—	—	圧縮空気槽 A 室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
カラムパルセーション用圧縮空気弁用グローブボックス A 室	火災区域		壁	—	—	カラムパルセーション用圧縮空気弁用グローブボックス A 室	火災区画		壁		鉄筋コンクリート
—					第 9 予備セル	火災区画					
アルファモニタ I セル	火災区域		壁	—	—	アルファモニタ I セル	火災区画				
アルファモニタ B セル	火災区域		壁	—	—	アルファモニタ B セル	火災区画				
アルファモニタ C セル	火災区域		壁	—	—	アルファモニタ C セル	火災区画				
—					常用電気品第 3 室	火災区画					
					エアロック第 1 室	火災区画					
					搬出入室	火災区画					
					第 2 酸回収弁予備セル	火災区画					
					ウラン濃縮缶用スチームジェット凝縮器室	火災区画					

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						蒸気発生器第3室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						第16保守室	火災区画				
						溶媒蒸発缶セル	火災区画				
						第17保守室	火災区画				
						ウラン系高性能粒子フィルタ加熱器室	火災区画				
蒸気分配第5室	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	蒸気分配第5室	火災区画				
-						第14サブチェンジングルーム	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						常用電気品第4室	火災区画				
						溶媒洗浄器保守室	火災区画				
						ウラン精製器保守室	火災区画				
						ウランモニタセル	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	第15サブチェンジングルーム	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						ウラン系サンプリングベンチ第3保守室	火災区画				
						非常用出口第2室	火災区画				
						サービス空気バッファ槽室	火災区画				
ユーティリティ室	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	ユーティリティ室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
-			壁	-	-	南第4階段室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						第1ケーブル室	火災区画				
						第2ケーブル室	火災区画				
						プルトニウム系サンプリングベンチ第4セル	火災区画				
						固体廃棄物保管室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	二酸化炭素消火設備室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
-						北第2階段室地上1階附室	火災区画				
-						南第2階段室地上1階附室	火災区画				
-						南第3階段室地上1階附室	火災区画				
-						北第1階段室地上1階附室	火災区画				
-						南第1階段室地上1階附室	火災区画				
-						南第4ダクト室	火災区画				
地上1階南北第2廊下	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	地上1階南北第2廊下	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	
-						南第9ダクト室	火災区画	[Redacted]			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	地上2階東西第1廊下, 東西第3廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
-						制御盤第2室	火災区画				
-						制御盤第3室	火災区画				
-						放管設備倉庫	火災区画				
-						トロリ第2保管室	火災区画				
-						プルトニウム系サンプリングベンチ第4保守室	火災区画				
試薬設備第1室	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	試薬設備第1室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
地上2階東西第2廊下, 南北第2廊下	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	地上2階東西第2廊下, 南北第2廊下	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
-						試薬分配第3室	火災区画	[Redacted]			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					北第3階段室	火災区画	Y0516	壁	-	鉄筋コンクリート	
試薬分配第4室	火災区域		壁	-	試薬分配第4室	火災区画					
試薬設備第2室	火災区域		壁	-	試薬設備第2室	火災区画					
-					排気フィルタユニット室	火災区画					
-					常用計装電源室	火災区画					
ユーティリティ弁第2室	火災区域		壁	-	ユーティリティ弁第2室	火災区画					
-					試薬分配第5室	火災区画					
-					試薬分配第6室	火災区画					
-					溶媒蒸留塔室	火災区画					
-					蒸気分配第6室	火災区画					
-					エアロック第2室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					常用蓄電池室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
					第16サブチェンジングルーム	火災区画					
					計装ラック第4室	火災区画					
					ウラン系サンプリングベンチ第4保守室	火災区画					
					試薬分配第7室	火災区画					
					排気モニタ室	火災区画					
					制御盤第4室	火災区画					
					制御盤第5室	火災区画					
					放射能測定機器室	火災区画					
試薬設備第3室	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	試薬設備第3室	火災区画	[Redacted]			
-					ウラン系サンプリングベンチ第4セル	火災区画	[Redacted]				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
注水槽室	火災区域	■	壁	—	—	注水槽室	火災区画	■	壁	■	鉄筋コンクリート
—						北第2階段室地上2階附室	火災区画	■			
						南第2階段室地上2階附室	火災区画				
						南第3階段室地上2階附室	火災区画				
						北第1階段室地上2階附室	火災区画				
						南第1階段室地上2階附室	火災区画				
						南第5ダクト室	火災区画				
						圧縮空気分配第3室	火災区画				
						制御盤第6室	火災区画				
						南第5階段室	火災区画				
						放管用ブロワ第4室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					北第1配管室	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート	
					試薬設備第1室前室	火災 区画					
					南第10ダクト室	火災 区画					
					地上3階東西第1廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下	火災 区画					
					計装ラック第5室	火災 区画					
					圧縮空気分配第4室	火災 区画					
					蒸気分配第7室	火災 区画					
					蒸気分配第8室	火災 区画					
地上3階東西第2廊下, 南北第2廊下	火災 区域	[Redacted]	壁	-	-	地上3階東西第2廊下, 南北第2廊下	火災 区画	[Redacted]			
試薬分配第8室	火災 区域	[Redacted]	壁	-	-	試薬分配第8室	火災 区画	[Redacted]			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
試薬設備第4室	火災区域		壁	—	—	試薬設備第4室	火災区画		壁		鉄筋コンクリート
第2回収酸0.02N調整槽室	火災区域		壁	—	—	第2回収酸0.02N調整槽室	火災区画				
試薬設備第5室	火災区域		壁	—	—	試薬設備第5室	火災区画				
計装ラック第7室	火災区域		壁	—	—	計装ラック第7室	火災区画				
試薬設備第6室	火災区域		壁	—	—	試薬設備第6室	火災区画				
—						計装ラック第8室	火災区画				
						圧縮空気分配第5室	火災区画				
						ウラン溶液受槽室	火災区画				
						プルトニウム系エアジェット第1セル	火災区画				
						北第2階段室地上3階附室	火災区画				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	南第3階段室地上3階附室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
-						北第1階段室地上3階附室	火災区画				
第2回収酸10N貯槽室	火災区域	Y0626	壁	-	-	第2回収酸10N貯槽室	火災区画				
-			壁	-	-	第1予備室	火災区画				
セル排気サンプリ ング設備第3室	火災区域	[Redacted]				セル排気サンプリ ング設備第3室	火災区画				
ウラン濃縮缶凝縮器室	火災区域	[Redacted]				ウラン濃縮缶凝縮器室	火災区画				
地上4階東西第1廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下	火災区域	[Redacted]	壁	-	-	地上4階東西第1廊下, 南北第1廊下, 南北第3廊下	火災区画				
-			壁	-	-	サンプリ ングベンチ 制御盤室	火災区画				
-						回収水凝縮器A室	火災区画				
-						除染分配第1室	火災区画				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
試薬設備第7室	火災区域	■	壁	—	—	試薬設備第7室	火災区画	■	壁	■	鉄筋コンクリート
—						冷却コイル室	火災区画	■			
						エアロック第3室	火災区画				
						給気室	火災区画				
						地上4階東西第4廊下	火災区画				
地上4階東西第2廊下, 南北第2廊下	火災区域	■	壁	—	—	地上4階東西第2廊下, 南北第2廊下	火災区画	■			
—						圧縮空気分配第7室	火災区画				
						プルトニウム系エアジェット第2セル	火災区画				
						プルトニウム系エアジェット第3セル	火災区画				
						プルトニウム系エアジェット第4セル	火災区画				

変更前						変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号				
-						プルトニウム系塔槽 類廃ガスフィルタ保 守室	火災 区画	■	壁	■	鉄筋コンク リート	
						プルトニウム系塔槽 類廃ガス処理第1セ ル	火災 区画					
						プルトニウム系塔槽 類廃ガス処理第2セ ル	火災 区画					
						制御盤第7室	火災 区画					
第1エジェクタA凝 縮器室	火災 区域	■	壁	-	-	第1エジェクタA凝 縮器室	火災 区画	■	壁	■	鉄筋コンク リート	
試薬分配第9室	火災 区域		壁	-	-	試薬分配第9室	火災 区画					
						ウラナス製造器室	火災 区画					
回収 TBP80%調整槽 室	火災 区域		壁	-	-	回収 TBP80%調整槽室	火災 区画					
試薬設備第8室	火災 区域		壁	-	-	試薬設備第8室	火災 区画					

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
第2回収酸1N調整槽1室	火災区域	■	壁	—	—	第2回収酸1N調整槽1室	火災区画	■	壁	■	鉄筋コンクリート
—						送風機室	火災区画				
						制御盤第8室	火災区画				
						第8予備室	火災区画				
						試薬設備第9室前室	火災区画				
						第9予備室	火災区画				
第2予備室	火災区域	■	壁	—	—	第2予備室	火災区画				
—						回収水凝縮器B室	火災区画				
						圧縮空気分配第8室	火災区画				
						ウラン系エアジェット第1セル	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	ウラン系エアジェット第2セル	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	鉄筋コンクリート	
	ウラン系塔槽類廃ガスフィルタ保守室	火災区画									
	ウラン系塔槽類廃ガス処理セル	火災区画									
	外気処理設備第1室	火災区画									
	外気取入室	火災区画									
	第17サブチェンジングルーム	火災区画									
	除染分配第2室	火災区画									
	制御盤第9室	火災区画									
	地上4階東西第3廊下	火災区画									
	空調補機室	火災区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	常用モータコントロールセンタ室	火災 区画	壁	鉄筋コンク リート	-	制御盤第10室	火災 区画	-	-	-	
	試薬設備第9室	火災 区画									
	第13予備室	火災 区画									
	北第2階段室地上4階附室	火災 区画									
	南第2階段室地上4階附室	火災 区画									
	南第3階段室地上4階附室	火災 区画									
	北第1階段室地上4階附室	火災 区画									
	南第1階段室地上4階附室	火災 区画									
	機械補修第2室	火災 区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	第 18 サブチェンジ ングルーム	火災 区画	壁	鉄筋コンク リート	-	-	-	-	-	-	
	プルトニウム系塔槽 類廃ガスよう素フィ ルタ保守室	火災 区画									
	プルトニウム系塔槽 類廃ガス加熱器室	火災 区画									
	第 10 予備室	火災 区画									
	第 19 サブチェンジ ングルーム	火災 区画									
	第 11 予備室	火災 区画									
	外気処理設備第 2 室	火災 区画									
	第 3 予備室	火災 区画									
	混合槽室	火災 区画									
	プルトニウム系塔槽 類廃ガスよう素フィ ルタ室	火災 区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						第 14 予備室	火災 区画	■	壁	■	鉄筋コンク リート
地上 4 階東西第 6 廊 下	火災 区域	■	壁	-	-	地上 4 階東西第 6 廊 下	火災 区画				
-						地上 4 階東西第 5 廊 下	火災 区画				
-						南第 11 ダクト室	火災 区画				
-						第 18 保守室	火災 区画				
-						南第 6 ダクト室	火災 区画				
-						計装ラック第 9 室	火災 区画				
-						溶媒処理系廃ガス処 理室	火災 区画				
-						地上 5 階廊下	火災 区画				
-						南第 3 階段室地上 5 階附室	火災 区画				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	-	-	第 19 保守室	火災 区画	-	壁	-	鉄筋コンク リート
-						エレベータ機械第 1 室	火災 区画				
TBP 貯槽室	火災 区域	-	壁	-	-	TBP 貯槽室	火災 区画				
硝酸 13.6N 貯槽室	火災 区域	-	壁	-	-	硝酸 13.6N 貯槽室	火災 区画				
-			壁	-	-	第 20 サブチェンジ ングルーム	火災 区画				
-						よう素フィルタ後置 フィルタ第 1 室	火災 区画				
-						試薬分配第 10 室	火災 区画				
-						計装ラック第 10 室	火災 区画				
-						第 4 予備室	火災 区画				
-						ウラン系塔槽類廃ガ ス処理室	火災 区画				
-						酸除染液調整槽室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	エレベータ機械第2室	火災区画	壁	鉄筋コンクリート	[Redacted]	エレベータ機械第2室	火災区画	[Redacted]	鉄筋コンクリート		
	北第1階段室地上5階附室	火災区画				北第1階段室地上5階附室	火災区画				
	北第2階段室地上5階附室	火災区画				北第2階段室地上5階附室	火災区画				
	第19保守室前室	火災区画				第19保守室前室	火災区画				
	第18保守室前室	火災区画				第18保守室前室	火災区画				
	エレベータ機械第3室	火災区画				エレベータ機械第3室	火災区画				
	エレベータ機械第4室	火災区画				エレベータ機械第4室	火災区画				
	第12予備室	火災区画				第12予備室	火災区画				
	南第2階段室地上5階附室	火災区画				南第2階段室地上5階附室	火災区画				
	南第1階段室地上5階附室	火災区画				南第1階段室地上5階附室	火災区画				
	常用冷水1膨張槽室	火災区画				常用冷水1膨張槽室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					南第3階段室地上6 階附室	火災 区画	■	壁	■	鉄筋コンク リート	

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物（ウラン脱硝建屋）

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
製品充てん第1室	火災区域	Y0101	壁	—	—	製品充てん室エリア	火災区域	BA-1	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コン クリート
製品充てん第2室	火災区域	Y0102	壁	—	—						
貯蔵容器払出室前 室	—	Y0151	壁	—	—						
電気盤室	火災区域	W0231	壁	—	—	電気盤室	火災区域	BA-2			
制御盤室	火災区域	G0232	壁	—	—	制御盤室	火災区域	BA-3			
脱硝第1室	火災区域	Y0301	壁	—	—	脱硝第1室エリア	火災区域	BA-4			
脱硝第3室	火災区域	Y0401	壁	—	—						
脱硝第5室	火災区域	Y0501	壁	—	—						
脱硝第2室	火災区域	Y0302	壁	—	—	脱硝第2室エリア	火災区域	BA-5			
脱硝第4室	火災区域	Y0402	壁	—	—						
脱硝第6室	火災区域	Y0502	壁	—	—						
—						貯蔵容器払出室	火災区画	G0103			
						再溶解室	火災区画	Y0105			
						硝酸ウラニル貯蔵第 1室	火災区画	Y0106			

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コン クリート	硝酸ウラニル貯蔵第 2 室	火災区画	Y0107			
						硝酸ウラニルポンプ 室	火災区画	Y0108			
						廃液貯蔵室	火災区画	Y0109			
						回収酸中間貯蔵室	火災区画	Y0110			
						ウラン脱硝建屋ーウ ラン酸化物貯蔵建屋 間搬送通路	火災区画	G0111			
						ユーティリティ設備 室	火災区画	W0121			
						管理区域ユーティリ ティ室	火災区画	G0122			
						分析室	火災区画	Y0141			
						北第 2 階段室	火災区画	W0171			
						北第 1 階段室	火災区画	Y0172			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コン クリート	南第1階段室	火災区画	G0173			
						地下1階東西第3廊下	火災区画	G0174			
						地下1階東西第2廊下	火災区画	G0175			
						ウラン脱硝建屋-ウ ラン酸化物貯蔵建屋 間連絡通路	火災区画	G0176			
						地下1階東西第1廊下	火災区画	Y0177			
						地下1階南第1エレ ベータホール	火災区画	G0178			
						北第1エレベータ	火災区画	Y0179			
						南第1エレベータ	火災区画	G0180			
						地下1階北第1ダク ト・配管室	火災区画	W0181			
						地下1階北第1配管 室	火災区画	Y0182			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						粉末取扱第1室	火災区画	Y0201	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コン クリート
						粉末取扱第2室	火災区画	Y0202			
						硝酸ウラニル供給室	火災区画	Y0203			
						廃ガス処理第1室	火災区画	Y0204			
						溶解用U03 抽出室	火災区画	Y0205			
						空調機械室	火災区画	W0221			
						地上1階前室	火災区画	Y0251			
						地上1階東西第1廊 下	火災区画	Y0274			
						地上1階南第1エレ ベータホール	火災区画	G0275			
						地上1階北第1ダク ト・配管室	火災区画	W0281			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コン クリート	地上 1 階北第 1 配管 室	火災区画	Y0282			
						地上 1 階南第 1 ダク ト・配管室	火災区画	Y0283			
						搬出入室	火災区画	W0284			
						濃縮液供給室	火災区画	Y0303			
						廃ガス処理第 2 室	火災区画	Y0304			
						排気フィルタ室	火災区画	Y0321			
						廃棄物保管室	火災区画	Y0341			
						搬出入エアロック室 前室	火災区画	Y0351			
						搬出入エアロック室	火災区画	Y0352			
						第 1 倉庫	火災区画	G0353			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コン クリート	試薬設備室	火災区画	Y0354			
						サブチェンジングル ーム	火災区画	Y0355			
						身体除染室	火災区画	Y0356			
						現場放射線管理室	火災区画	G0357			
						放射能測定機器室	火災区画	G0358			
						地上 2 階南北第 1 廊 下	火災区画	G0374			
						地上 2 階廊下	火災区画	Y0375			
						地上 2 階東西第 1 廊 下	火災区画	Y0376			
						地上 2 階東西第 2 廊 下	火災区画	Y0378			
						地上 2 階北第 1 ダク ト・配管室	火災区画	W0381			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						地上 2 階北第 1 配管室	火災区画	Y0382	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コン クリート
						地上 2 階南第 1 ダクト・配管室	火災区画	Y0383			
						飲水所前室	火災区画	G0451			
						地上 3 階南北第 1 廊下	火災区画	G0474			
						地上 3 階東西第 1 廊下	火災区画	Y0476			
						飲水所	火災区画	W0491			
						濃縮室	火災区画	Y0503			
						廃ガス処理第 3 室	火災区画	Y0504			
						プロセス廃気室	火災区画	Y0505			
						外気取入室	火災区画	W0521			

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コン クリート	給気室	火災区画	W0522			
						排風機室	火災区画	G0523			
						ユーティリティ室	火災区画	W0524			
						南第 1 エレベータ機 械室	火災区画	G0525			
						除染室	火災区画	Y0541			
						地上 4 階前室	火災区画	Y0551			
						外気取入エアロック 室	火災区画	W0552			
						放管用ブロワ室	火災区画	Y0553			
						地上 4 階南北第 1 廊 下	火災区画	W0574			
						地上 4 階東西第 1 廊 下	火災区画	Y0575			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					地上4階北第1ダクト・配管室	火災区画	W0581	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コン クリート	
					地上4階北第1配管室	火災区画	Y0582				
					地上4階南第1ダクト・配管室	火災区画	Y0583				
					北第1エレベータ機械室	火災区画	Y0621				
					計装ラック室	火災区画	Y0631				
					北第1エレベータ機械室前室	火災区画	Y0651				

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
排風機第1室	火災区域	[Redacted]	壁	—	—	排風機第1室	火災区域	[Redacted]	壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
粉碎第1室	火災区域		壁	—	—	粉碎第1室	火災区域				
粉碎第2室	火災区域		壁	—	—	粉碎第2室	火災区域				
粉末充てん第1室	火災区域		壁	—	—	粉末充てん室エリア	火災区域				
粉末充てん第2室	火災区域		壁	—	—						
現場制御室前室	—		壁	—	—						
塔槽類廃ガスフィルタ室	火災区域		壁	—	—	塔槽類廃ガスフィルタ室	火災区域				
第1セル前室	火災区域		壁	—	—	第1セル前室	火災区域				
ユーティリティ第2室	火災区域		壁	—	—	ユーティリティ第2室	火災区域				

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
非常用 A 計装電源室	火災区域		壁	—	—	非常用 A 計装電源室	火災区域		壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
非常用 A 蓄電池室	火災区域		壁	—	—	非常用 A 蓄電池室	火災区域				
非常用 B 蓄電池室	火災区域		壁	—	—	非常用 B 蓄電池室	火災区域				
焙焼還元第 1 室	火災区域		壁	—	—	焙焼還元第 1 室	火災区域				
焙焼還元第 2 室	火災区域		壁	—	—	焙焼還元第 2 室	火災区域				
焙焼還元第 3 室	火災区域		壁	—	—	焙焼還元第 3 室	火災区域				
焙焼還元第 4 室	火災区域		壁	—	—	焙焼還元第 4 室	火災区域				
非常用 B 計装電源室	火災区域		壁	—	—	非常用 B 計装電源室	火災区域				
焙焼還元第 5 室	火災区域		壁	—	—	焙焼還元第 5 室	火災区域				
焙焼還元第 6 室	火災区域		壁	—	—	焙焼還元第 6 室	火災区域				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
混合設備第1室	火災区域		壁	—	—	混合設備第1室	火災区域		壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
硝酸プルトニウム受入室	火災区域		壁	—	—	硝酸プルトニウム受入室	火災区域				
プロセス冷水設備室	火災区域		壁	—	—	プロセス冷水設備室	火災区域				
液移送室	火災区域		壁	—	—	液移送室	火災区域				
非常用A電気品室	火災区域		壁	—	—	非常用A電気品室	火災区域				
脱硝室	火災区域		壁	—	—	脱硝室	火災区域				
非常用B電気品室	火災区域		壁	—	—	非常用B電気品室	火災区域				
塔槽類廃ガス処理室	火災区域		壁	—	—	塔槽類廃ガス処理室	火災区域				
計装ラック室	火災区域		壁	—	—	計装ラック室	火災区域				
制御盤室	火災区域		壁	—	—	制御盤室	火災区域				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						地下2階第1廊下	火災区画	■	壁	150以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
廃液処理室	火災区域	■	壁	—	—	廃液処理室	火災区画				
—						洗浄廃液受槽室	火災区画				
						建屋廃液移送ポンプ室	火災区画				
						北第1階段室	火災区画				
						排気モニタ機器室	火災区画				
						凝縮廃液貯槽セル	火災区画				
						建屋廃液貯槽室	火災区画				
						北第1エレベータ	火災区画				
凝縮廃液受槽Aセル	火災区画										

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						建屋廃液サンプ室	火災区画	[REDACTED]	壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
						北第2階段室	火災区画				
						凝縮廃液受槽Bセル	火災区画				
						機器調整室	火災区画				
						分析データ管理室	火災区画				
						分析機器室	火災区画				
						ユーティリティ第1室	火災区画				
						南第1エレベータ	火災区画				
						南第2ダクト室	火災区画				
						南第1階段室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート	現場制御室	火災区画				
						空調ユーティリティ機械第1室	火災区画				
						空調ユーティリティ機械第2室	火災区画				
						台車移動室	火災区画				
						よう素フィルタ室	火災区画				
						北第1階段室地下2階附室	火災区画				
						北第2階段室地下2階附室	火災区画				
						第1前室	火災区画				
						南第1階段室地下2階附室	火災区画				
						地下1階第1廊下	火災区画				

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						北第3階段室	火災区画		壁	150以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
硝酸プルトニウム受入室前室	火災区域	■	壁	—	—	硝酸プルトニウム受入室前室	火災区画				
—						一時貯槽セル	火災区画				
						硝酸プルトニウム貯槽セル	火災区画				
						第2予備室	火災区画				
						硝酸ウラニル貯槽室	火災区画				
						混合槽Aセル	火災区画				
						混合槽Bセル	火災区画				
						第2セル前室	火災区画				
—						地下1階東西第1廊下	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート	南第3ダクト室	火災区画	[REDACTED]			
						混合設備第2室	火災区画				
						常用計装電源室	火災区画				
						常用電気品室	火災区画				
						ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋ーウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋間連絡通路	火災区画				
						北第1階段室地下1階附室	火災区画				
						北第2階段室地下1階附室	火災区画				
						空調機械室	火災区画				
		第2前室	火災区画								

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						南第1階段室地下1階附室	火災区画	■	壁	150以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
						圧縮空気設備室	火災区画				
						ユーティリティ第3室	火災区画				
						地上1階第1廊下	火災区画				
						分析移送設備室	火災区画				
						ユーティリティ第4室	火災区画				
						脱硝現場盤室	火災区画				
						臨界警報装置現場盤室	火災区画				
粉末移送室	火災区域	■	壁	—	—	粉末移送室	火災区画				
—						南第4ダクト室	火災区画	■	壁	150以上 (250*2)	鉄筋コンクリート

変更前					変更後*1							
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号				
—	搬出入第2室	火災区画	壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート	[REDACTED]	搬出入第2室	火災区画	[REDACTED]	壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
	二酸化炭素消火設備室	火災区画					二酸化炭素消火設備室	火災区画				
	第1倉庫	火災区画					第1倉庫	火災区画				
	北第1階段室地上1階附室	火災区画					北第1階段室地上1階附室	火災区画				
	北第2階段室地上1階附室	火災区画					北第2階段室地上1階附室	火災区画				
	第3前室	火災区画					第3前室	火災区画				
	南第1階段室地上1階附室	火災区画					南第1階段室地上1階附室	火災区画				
	グローブボックス排気フィルタ室	火災区画					グローブボックス排気フィルタ室	火災区画				
	地上2階第1廊下	火災区画					地上2階第1廊下	火災区画				
	身体除染室	火災区画					身体除染室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						放射能測定機器室	火災区画	[REDACTED]	壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
						真空ポンプ室	火災区画				
						試薬調整設備室	火災区画				
						北第4階段室	火災区画				
						ハッチ第1室	火災区画				
						ハッチ第2室	火災区画				
						検査機器第1室	火災区画				
						固体廃棄物一時保管室	火災区画				
						検査機器第2室	火災区画				
						第2倉庫	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンク リート	送風機室	火災 区画	[REDACTED]			
						排風機第2室	火災 区画				
						地上2階第2廊下	火災 区画				
						北第1エレベータ 機械室	火災 区画				
						南第1エレベータ 機械室	火災 区画				
						管理区域給気ユニ ット室前室	火災 区画				
						南第5ダクト室	火災 区画				
						北第2階段室地上2 階附室	火災 区画				
						南第1階段室地上2 階附室	火災 区画				
						非管理区域給気ユ ニット室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					非管理区域給気ユニット室前室	火災区画		壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート	
					管理区域給気ユニット室	火災区画					

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物（ウラン酸化物貯蔵建屋）

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						第1貯蔵室	火災区画	[Redacted]	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンクリート
						第2貯蔵室	火災区画				
						第3貯蔵室	火災区画				
						貯蔵容器取扱室	火災区画				
						第1搬送室	火災区画				
						昇降リフト室	火災区画				
						電気室	火災区画				
						制御盤室	火災区画				
						北第1階段室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	地下2階廊下	火災 区画	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート	[Redacted]	南第1階段室	火災 区画	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	第1トラバーサ移動エリア	火災 区画					現場操作盤室	火災 区画			
	地下1階南北第1廊下	火災 区画					測定器室	火災 区画			
	地下1階南北第2廊下	火災 区画					地下1階ダクト・配管室	火災 区画			
	第4貯蔵室	火災 区画					第5貯蔵室	火災 区画			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						第6貯蔵室	火災 区画	[REDACTED]	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						第2搬送室	火災 区画				
						トラックヤード	火災 区画				
						運搬容器取扱室	火災 区画				
						地上1階南北第1 廊下	火災 区画				
						地上1階ダクト・ 配管室	火災 区画				
						第2トラバーサ移 動エリア	火災 区画				
						空調機械室	火災 区画				
						昇降リフト機械室	火災 区画				

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物（ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋）

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
排風機第1室	火災区域		壁	—	—	排風機第1室	火災区域		壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート
排風機第2室	火災区域		壁	—	—	排風機第2室	火災区域				
安全系制御盤第1室	火災区域		壁	—	—	安全系制御盤第1室	火災区域				
安全系制御盤第2室	火災区域		壁	—	—	安全系制御盤第2室	火災区域				
非常用電気盤第1室	火災区域		壁	—	—	非常用電気盤第1室	火災区域				
非常用電気盤第2室	火災区域		壁	—	—	非常用電気盤第2室	火災区域				
—						地下4階第1貯蔵室	火災区画				
						地下4階第2貯蔵室	火災区画				
						台車移動第1室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	貯蔵容器取扱室	火災 区画	壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンク リート	-	-	-	-	-	
	北第 1 階段室	火災 区画									
	南第 1 階段室	火災 区画									
	北第 2 階段室	火災 区画									
	南第 2 階段室	火災 区画									
	地下 4 階点検通路	火災 区画									
	北第 2 階段室地下 4 階附室	火災 区画									
	北第 1 階段室地下 4 階附室	火災 区画									
	南第 1 階段室地下 4 階附室	火災 区画									
	南第 2 階段室地下 4 階附室	火災 区画									

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンク リート	エレベータ	火災 区画				
						地下4階第1搬出入 室	火災 区画				
						地下4階第2搬出入 室	火災 区画				
						地下4階ダクト室	火災 区画				
						地下3階第1貯蔵室	火災 区画				
						地下3階第2貯蔵室	火災 区画				
						放管用ブロワ室	火災 区画				
						排気モニタ室	火災 区画				
						地下3階第1点検通 路	火災 区画				
						地下3階第2点検通 路	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	北第1階段室地下3階附室	火災区画	壁	150以上 (250*2)	鉄筋コンクリート	-	-	-	-	-	
	南第1階段室地下3階附室	火災区画									
	南第2階段室地下3階附室	火災区画									
	地下2階第1貯蔵室	火災区画									
	地下2階第2貯蔵室	火災区画									
	台車移動第2室	火災区画									
	運搬容器保管室	火災区画									
	エアロック室	火災区画									
	エアロック室前室	火災区画									
	地下2階点検通路	火災区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主 要 寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主 要 寸 法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンク リート	北第2階段室地下2階附室	火災 区画	[REDACTED]			
						北第1階段室地下2階附室	火災 区画				
						南第1階段室地下2階附室	火災 区画				
						南第2階段室地下2階附室	火災 区画				
						地下2階第1搬出入室	火災 区画				
						地下2階第2搬出入室	火災 区画				
						地下2階ダクト室	火災 区画				
						地下1階第1貯蔵室	火災 区画				
						地下1階第2貯蔵室	火災 区画				
						地下1階第1点検通路	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンク リート	地下1階第2点検通路	火災 区画	[REDACTED]			
						北第1階段室地下1階附室	火災 区画				
						南第1階段室地下1階附室	火災 区画				
						南第2階段室地下1階附室	火災 区画				
						ローディングドック	火災 区画				
						外気取入第1室	火災 区画				
						外気取入第2室	火災 区画				
						給気室	火災 区画				
						空調機械室	火災 区画				
						南第2階段室地上1階附室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					エレベータ機械室	火災区画	[REDACTED]	壁	150 以上 (250*2)	鉄筋コンクリート	
					現場操作室	火災区画					
					電気盤室	火災区画					
					北第1階段室地上1階附室	火災区画					
					地上1階第1搬出入室	火災区画					
					地上1階第2搬出入室	火災区画					
					倉庫	火災区画					
					配管室	火災区画					

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物（制御建屋）

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
非常用 A 蓄電池室	火災区域	W0102	壁	—	—	非常用 A 蓄電池室	火災区域	AG-1	壁	150 以上 (300* ²)	鉄筋コンクリート
非常用 A 計装電源室	火災区域	W0103	壁	—	—	非常用 A 計装電源室	火災区域	AG-2			
非常用 B 蓄電池室	火災区域	W0106	壁	—	—	非常用 B 蓄電池室	火災区域	AG-3			
非常用 B 計装電源室	火災区域	W0107	壁	—	—	非常用 B 計装電源室	火災区域	AG-4			
非常用 A 電気品室	火災区域	W0113	壁	—	—	非常用 A 電気品室	火災区域	AG-5			
非常用 B 電気品室	火災区域	W0115	壁	—	—	非常用 B 電気品室	火災区域	AG-6			
換気設備室	火災区域	W0201	壁	—	—	換気設備室	火災区域	AG-7			

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
制御盤室	火災区域	W0206	壁	—	—	制御盤室	火災区域	AG-8	壁	200 以上 (200*2)	
中央制御室 中央安全監視室	火災区域	W0302 W0305	壁	—	—	中央制御室エリア	火災区域	AG-9		150 以上 (300*2)	鉄筋コンクリート
排風機室	火災区域	W0506	壁	—	—	排風機室	火災区域	AG-10			
—						常用電気品第1室	火災区画	W0104			
						南第1階段室	火災区画	W0108			
						エレベータ	火災区画	W0109			
						北第1階段室	火災区画	W0111			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						常用電気品第2室	火災 区画	W0114	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						北第2階段室	火災 区画	W0116			
						地下2階廊下	火災 区画	W0117			
						換気設備用冷凍機B 室	火災 区画	W0119			
						非常用B蓄電池室空 調機械室	火災 区画	W0120			
						通信設備室	火災 区画	W0121			
						換気設備用冷凍機室	火災 区画	W0122			
						ハッチ第1室	火災 区画	W0124			
						換気設備用冷凍機A 室	火災 区画	W0125			
						常用蓄電池室	火災 区画	W0202			
						常用計装電源第1室	火災 区画	W0203			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						第2倉庫	火災 区画	W0204	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						北第1ダクト室	火災 区画	W0205			
						施設工程管理用計算 機室	火災 区画	W0207			
						保守コンソール・プ リント室	火災 区画	W0208			
						放射線管理用計算機 室	火災 区画	W0209			
						計算管理データ処理 室	火災 区画	W0210			
						分析管理計算機室	火災 区画	W0215			
						テープ保管室	火災 区画	W0211			
						地下1階廊下	火災 区画	W0212			
						常用計装電源第2室	火災 区画	W0213			
						ハッチ第2室	火災 区画	W0214			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						南第1ダクト室	火災 区画	W0301	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						南第1配管室	火災 区画	W0303			
						第1便所	火災 区画	W0304			
						北第2ダクト室	火災 区画	W0306			
						北第3ダクト室	火災 区画	W0307			
						地上1階南北第2廊 下	火災 区画	W0308			
						地上1階東西第2廊 下	火災 区画	W0309			
						地上1階東西第1廊 下	火災 区画	W0310			
						地上1階南北第1廊 下	火災 区画	W0311			
						地上1階南北第4廊 下	火災 区画	W0312			
						搬出入室	火災 区画	W0313			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						地上1階南北第3廊下	火災区画	W0314	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンクリート
						南第2ダクト室	火災区画	W0401			
						南第3ダクト室	火災区画	W0402			
						見学者ギャラリー	火災区画	W0404			
						第2便所	火災区画	W0407			
						北第4ダクト室	火災区画	W0408			
						北第5ダクト室	火災区画	W0409			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						地上2階廊下	火災 区画	W0410	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						休憩室		W0411			
						第1会議室		W0412			
						第2会議室		W0413			
						第3会議室		W0414			
						第4会議室		W0415			
						湯沸室		W0416			
						仮眠室		W0417			
						南第5ダクト室		W0419			
						女子休養室		W0420			
						第5倉庫		W0421			
						ハッチ第3室	火災 区画	W0418			
						南第4ダクト室	火災 区画	W0501			
						エレベータ機械室	火災 区画	W0502			
						給気処理室前室	火災 区画	W0503			
						給気処理室	火災 区画	W0504			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					排煙機械室	火災 区画	W0505	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート	
					第3倉庫	火災 区画	W0507				
					北第6ダクト室	火災 区画	W0508				
					地上3階廊下	火災 区画	W0509				
					第4倉庫	火災 区画	W0510				
					ハッチ第4室	火災 区画	W0511				

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物(高レベル廃液ガラス固化建屋)

変更前						変更後*1					
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
固化セル	火災区域		壁	—	—	固化セルエリア	火災区域	壁	鉄筋コン クリート		
固化セルクレーン 保守室	—		壁	—	—						
廃ガス処理第2室	火災区域		壁	—	—	廃ガス処理第2室	火災区域				
廃ガス処理第1室	火災区域		壁	—	—	廃ガス処理第1室	火災区域				
固化セル保守第2 室	火災区域		壁	—	—	固化セル保守第2 室	火災区域				
解体場保守室	火災区域		壁	—	—	解体場保守室	火災区域				
ユーティリティ分 配室	火災区域		壁	—	—	ユーティリティ分 配室	火災区域				
ガラス原料搬送設 備室	火災区域		壁	—	—	ガラス原料搬送設 備室エリア	火災区域				
ガラス原料設備室	火災区域		壁	—	—						
ガラス原料搬送室	火災区域		壁	—	—						

変更前						変更後*1					
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
排気フィルタ第1室	火災区域		壁	—	—	排気フィルタ第1室	火災区域		壁	鉄筋コン クリート	
高レベル廃液共用 貯槽冷却設備第1室	火災区域		壁	—	—	高レベル廃液共用 貯槽冷却設備第1室	火災区域				
高レベル廃液共用 貯槽冷却設備第2室	火災区域		壁	—	—	高レベル廃液共用 貯槽冷却設備第2室	火災区域				
高レベル濃縮廃液 冷却設備第4室	火災区域		壁	—	—	高レベル濃縮廃液 冷却設備第4室	火災区域				
高レベル濃縮廃液 冷却設備第3室	火災区域		壁	—	—	高レベル濃縮廃液 冷却設備第3室	火災区域				
高レベル濃縮廃液 冷却設備第2室	火災区域		壁	—	—	高レベル濃縮廃液 冷却設備第2室	火災区域				
高レベル濃縮廃液 冷却設備第1室	火災区域		壁	—	—	高レベル濃縮廃液 冷却設備第1室	火災区域				
不溶解残渣廃液冷 却設備第2室	火災区域		壁	—	—	不溶解残渣廃液冷 却設備第2室	火災区域				
不溶解残渣廃液冷 却設備第1室	火災区域		壁	—	—	不溶解残渣廃液冷 却設備第1室	火災区域				

変更前						変更後*1					
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
排風機第1室	火災区域		壁	—	—	排風機第1室	火災区域		壁	鉄筋コン クリート	
計装ラック第2室	火災区域		壁	—	—	計装ラック第2室	火災区域				
計装ラック第1室	火災区域		壁	—	—	計装ラック第1室	火災区域				
安全系制御盤第1室	火災区域		壁	—	—	安全系制御盤第1室	火災区域				
排風機第2室	火災区域		壁	—	—	排風機第2室	火災区域				
塔槽類廃ガス処理第1室	火災区域		壁	—	—	塔槽類廃ガス処理第1室	火災区域				
塔槽類廃ガス処理第2室	火災区域		壁	—	—	塔槽類廃ガス処理第2室	火災区域				
安全冷却水設備第2室	火災区域		壁	—	—	安全冷却水設備第2室	火災区域				
安全冷却水設備第1室	火災区域		壁	—	—	安全冷却水設備第1室	火災区域				
安全系制御盤第2室	火災区域		壁	—	—	安全系制御盤第2室	火災区域				

変更前						変更後*1											
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料						
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号									
非常用電気盤第1室	火災区域	-	壁	-	-	非常用電気盤第1室	火災区域	-	壁	-	鉄筋コンクリート						
非常用蓄電池第1室	火災区域		壁	-	-	非常用蓄電池第1室	火災区域										
非常用電気盤第2室	火災区域		壁	-	-	非常用電気盤第2室	火災区域										
非常用蓄電池第2室	火災区域		壁	-	-	非常用蓄電池第2室	火災区域										
ユーティリティー室	火災区域		壁	-	-	ユーティリティー室	火災区域										
安全冷水冷凍機第2室	火災区域		壁	-	-	安全冷水冷凍機第2室	火災区域										
安全冷水冷凍機第1室	火災区域		壁	-	-	安全冷水冷凍機第1室	火災区域										
-						北第2階段室	火災区画	-	壁	-	鉄筋コンクリート						
						-						北第2階段室地下4階附室	火災区画				
												-					

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-					地下4階東西第2廊下, 東西第4廊下, 南北第3廊下, 南北第4廊下	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					北第3階段室	火災区画					
					北第3階段室地下4階附室	火災区画					
					南第2エレベータ	火災区画					
					除染装置倉庫	火災区画					
					不溶解残渣廃液一時貯槽セル	火災区画					
					不溶解残渣廃液貯蔵槽1セル	火災区画					
					不溶解残渣廃液貯蔵槽第2セル	火災区画					
					高レベル廃液共用貯槽セル	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						高レベル濃縮廃液 貯槽第2セル	火災区画		壁		鉄筋コン クリート
						高レベル濃縮廃液 貯槽第1セル	火災区画				
						高レベル濃縮廃液 一時貯槽セル	火災区画				
						低レベル廃液受槽 第1セル	火災区画				
						アルカリ濃縮廃液 貯槽セル	火災区画				
						アルカリ濃縮廃液 中和槽セル	火災区画				
						高レベル廃液混合 槽第1セル	火災区画				
						高レベル廃液混合 槽第2セル	火災区画				
						低レベル廃液受槽 第2セル	火災区画				
						気送設備室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						ケーブルトレイ第1 室	火災区画		壁		鉄筋コン クリート
						北第1階段室	火災区画				
						北第1階段室地下4 階附室	火災区画				
						地下4階東西第1廊 下, 東西第3廊下, 南北第1廊下, 南北 第2廊下	火災区画				
						南第1階段室	火災区画				
						南第1階段室地下4 階附室	火災区画				
						固化セル保守第1 室	火災区画				
						ガラス溶融設備電 力盤室	火災区画				
						廃ガス洗浄液槽セ ル	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-					廃ガス処理第3室	火災区画		壁		鉄筋コン クリート	
					極低レベル含塩廃 液受槽室	火災区画					
					冷却空気入口シャ フト	火災区画					
					貯蔵区域	火災区画					
					南第2階段室	火災区画					
					南第2階段室地下4 階附室	火災区画					
					南第1エレベータ	火災区画					
					北第2階段室地下3 階附室	火災区画					
					地下3階東西第2廊 下	火災区画					
					地下3階南北第3廊 下	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						北第3階段室地下3 階附室	火災区画		壁		鉄筋コン クリート
						塔槽類廃ガス処理 第1セル	火災区画				
						塔槽類廃ガス処理 第2セル	火災区画				
						不溶解残渣廃液一 時貯槽保守室	火災区画				
						放射性配管分岐セ ル	火災区画				
						分配器セル	火災区画				
						放射性配管第1セ ル	火災区画				
						北第2ダクト室	火災区画				
						ケーブルトレイ第2 室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						北第1階段室地下3階附室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						地下2階南北第1廊下, 地下3階東西第3廊下, 南北第1廊下, 南北第2廊下	火災区画				
						南第1階段室地下3階附室	火災区画				
						供給槽第1セル	火災区画				
						供給槽第2セル	火災区画				
						廃ガス処理セル	火災区画				
						固化セル換気処理セル	火災区画				
						地下3階東西第1廊下	火災区画				
						ガラス固化体除染室前室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						ガラス固化体除染室	火災区画	■	壁	■	鉄筋コンクリート
						ガラス固化体除染設備室	火災区画				
						固化セルクレーン 収納区域前室	火災区画				
						南第2階段室地下3 階附室	火災区画				
						北第2階段室地下2 階附室	火災区画				
						地下2階東西第1廊 下, 南北第2廊下	火災区画				
						北第3階段室地下2 階附室	火災区画				
						廃ガス洗浄塔ポン プ保守室	火災区画				
						塔槽類廃ガス処理 第3セル	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						塔槽類廃ガス処理 第4セル	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コン クリート
						サンプリング配管 第2セル	火災区画				
						サンプリング配管 第1セル	火災区画				
						放射性配管第2セル	火災区画				
						パルセーション弁 セル	火災区画				
						蒸気分配第2室	火災区画				
						北第3配管室	火災区画				
						南第2配管室	火災区画				
						分配器保守室	火災区画				
						蒸気分配第1室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						第 1 サンプルング ベンチ室	火災区画		壁		鉄筋コン クリート
						北第 1 配管室	火災区画				
						北第 2 配管室	火災区画				
						パルセーション空 気槽室	火災区画				
						地下 2 階東西第 2 廊 下	火災区画				
						冷却空気出口シャ フト	火災区画				
						北第 2 階段室地下 1 階附室	火災区画				
						地下 1 階東西第 1 廊 下, 南北第 3 廊下	火災区画				
						北第 3 階段室地下 1 階附室	火災区画				
						蒸気分配第 5 室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						排気フィルタ第 2 室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コン クリート
						第 2 サンプリング ベンチ室	火災区画				
						圧縮空気分配第 1 室	火災区画				
						圧縮空気分配第 2 室	火災区画				
						圧縮空気分配第 3 室	火災区画				
						蒸気分配第 4 室	火災区画				
						蒸気分配第 3 室	火災区画				
						除染液分配第 1 室	火災区画				
						放管用ブロワ室	火災区画				
						塔槽類廃ガス処理 第 6 セル	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						塔槽類廃ガス処理 設備加熱器セル	火災区画		壁		鉄筋コン クリート
						サンプリングエア ージェット室	火災区画				
						塔槽類廃ガス処理 第5セル	火災区画				
						北第1階段室地下1 階附室	火災区画				
						地下1階東西第2廊 下, 南北第1廊下, 南北第2廊下	火災区画				
						南第1階段室地下1 階附室	火災区画				
						サンドリオンステ ーション室	火災区画				
						供給槽保守第1室	火災区画				
						ガラス原料設備室	火災区画				
						固体廃棄物除染セ ル保守室	火災区画				

変更前						変更後*1					
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						供給槽保守第2室	火災区画				
						固化セル内機器保守室	火災区画				
弁・伝送器室	火災区域		-	-	-	弁・伝送器室	火災区画	壁		鉄筋コン クリート	
-						機器搬送第1室	火災区画				
						固体廃棄物搬送室	火災区画				
						固体廃棄物除染セル	火災区画				
						固体セル保守第3室	火災区画				
						ガラス固化体検査室前室	火災区画				
ガラス固化体検査室	火災区画										

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						ガラス固化体検査 設備保守室	火災区画	壁			鉄筋コン クリート
						固化セルクレーン 保守室前室	火災区画				
						南第2階段室地下1 階附室	火災区画				
						北第2階段室	火災区画				
						北第2階段室地上1 階附室	火災区画				
						北第3ダクト室	火災区画				
						搬出入第1室	火災区画				
						地上1階東西第3廊 下, 南北第2廊下, 南北第3廊下	火災区画				
						北第3階段室地上1 階附室	火災区画				
						排気フィルタ第4 室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-					排気モニタ室	火災区画		壁		鉄筋コン クリート	
					地上1階東西第2廊 下	火災区画					
					圧縮空気分配第4 室	火災区画					
					除染液分配第2室	火災区画					
					蒸気分配第6室	火災区画					
					現場盤第3室	火災区画					
					放射線管理室	火災区画					
					北第1階段室地上1 階附室	火災区画					
					ガラス原料保管室	火災区画					
					南第1階段室地上1 階附室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-					搬出入第2室	火災区画	■	壁	■	鉄筋コン クリート	
					ガラス原料搬送室	火災区画					
					常用冷却水設備室	火災区画					
					遠隔操作制御盤室	火災区画					
					地上1階東西第1 廊下	火災区画					
					機器搬送第2室	火災区画					
					常用系制御盤室	火災区画					
					ガラス固化体容器 搬送室	火災区画					
					現場盤第1室	火災区画					
					現場盤第2室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-					排気フィルタ第3室	火災区画		壁		鉄筋コン クリート	
					保守室	火災区画					
					サブチェンジング ルーム	火災区画					
					地上1階南北第1廊 下	火災区画					
					南第2階段室地上1 階附室	火災区画					
					南第3階段室	火災区画					
					北第2階段室地上2 階附室	火災区画					
					地上2階東西第4廊 下, 東西第2廊下, 東西第3廊下, 南北 第3廊下	火災区画					
					機器搬送第3室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-						北第3階段室地上2階附室	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						南第2エレベータ機械室	火災区画				
						送風機室	火災区画				
						北第1階段室地上2階附室	火災区画				
						地上2階東西第1廊下	火災区画				
						試薬供給設備室	火災区画				
						常用電気盤室	火災区画				
						現場盤第4室	火災区画				
						倉庫	火災区画				
						冷却空気モニタ室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						地上2階南北第2廊下	火災区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンクリート
						地上2階南北第1廊下	火災区画				
						南第2階段室地上2階附室	火災区画				
						ダクト・ケーブル室	火災区画				
						南第1エレベータ機械室	火災区画				
						常用電気盤室冷却コイル室	火災区画				
						非常用電気盤室冷却コイル室	火災区画				
						電気盤室加熱コイル室	火災区画				
						建屋給気冷却コイル室	火災区画				
						セル給気冷却コイル室	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名 称	区分	番号				火災区域(区画)名 称	区分	番号			
-					管理区域外気処理 第2室	火災区画		壁		鉄筋コン クリート	
					管理区域外気処理 第1室	火災区画					
					建屋給気フィルタ 室	火災区画					
					建屋給気加熱コイ ル室	火災区画					
					外気取入れ室	火災区画					
					非管理区域給気フ ィルタ室	火災区画					
					排気ダクト室	火災区画					

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

放施 A

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物(主排気筒管理建屋)

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	主要材料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	主要材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						排気モニタ第1室	火災 区域	AP-1	壁	150以上 (150*2)	鉄筋コンク リート
						排気モニタ第2室	火災 区域	AP-2			
						非常用A系電気盤室	火災 区域	AP-3			
						非常用B系電気盤室	火災 区域	AP-4			
						排気モニタ第3室	火災 区画	G0103			
						出入管理設備室	火災 区画	W0104			
						倉庫	火災 区画	W0105			
						空調機械室	火災 区画	W0106			
						常用電気盤室	火災 区画	W0109			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	主要材料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	主要材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					玄関	火災 区画	W0110	壁	150以上 (150*2)	鉄筋コンク リート	

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物（出入管理建屋）

変更前						変更後* ¹					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						出入管理建屋	火災区域	AK	壁	150 以上 (250* ²)	鉄筋コンクリート

注記 * 1 : 本設備は既存の設備である。

* 2 : 公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物（低レベル廃液処理建屋）

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	主要材料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	主要材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					低レベル廃液処理建屋	火災区域	■	壁	■	鉄筋コンクリート	

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物(第1 ガラス固化体貯蔵建屋東棟－高レベル廃液ガラス固化建屋／第1 ガラス固化体貯蔵建屋間洞道－高レベル廃液ガラス固化建屋)

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						トレンチ移送台車室	火災区画	G0101	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンクリート
						第1 貯蔵区域	火災区画	R0102			
						第2 貯蔵区域	火災区画	R0103			
						第3 貯蔵区域	火災区画	R0104			
						第4 貯蔵区域	火災区画	R0105			
						管理区域給気第1 機械室	火災区画	W0106			
						北第2 階段室	火災区画	W0107			
						機器第2 搬出入室	火災区画	W0108			
						北第1 ダクト室	火災区画	W0109			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						冷却空気入口シャフト保守第1室	火災 区画	W0110	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						排水貯槽室	火災 区画	G0111			
						北第1階段室	火災 区画	G0112			
						第1貯蔵区域冷却空気入口シャフト	火災 区画	R0113			
						第2貯蔵区域冷却空気入口シャフト	火災 区画	R0114			
						第3貯蔵区域冷却空気入口シャフト	火災 区画	R0115			
						第4貯蔵区域冷却空気入口シャフト	火災 区画	R0116			
						電気盤第1室	火災 区画	W0117			
						排気第1機械室	火災 区画	G0118			
						保守室	火災 区画	G0119			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	南第1階段室	火災 区画	G0120	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート					
	南第2階段室	火災 区画	G0121								
	機器第1搬出入室	火災 区画	G0122								
	外気取入れ第1室	火災 区画	W0123								
	建屋給気加熱コイ ル第1室	火災 区画	W0124								
	建屋給気フィルタ 第1室	火災 区画	W0125								
	建屋給気フィルタ 第2室	火災 区画	W0126								
	建屋給気冷却コイ ル第1室	火災 区画	W0127								
	受入れ室	火災 区画	R0201								
	非管理区域系送排 風機第1室	火災 区画	W0202								

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						機器第4搬出入室	火災 区画	W0203	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						北第2ダクト室	火災 区画	W0204			
						北第3ダクト室	火災 区画	W0205			
						現場制御盤第1室	火災 区画	W0206			
						地下1階南北第1廊 下	火災 区画	G0207			
						電気盤第2室	火災 区画	W0208			
						収納管排気第1設備 室	火災 区画	G0209			
						冷却空気モニタ第1 室	火災 区画	G0210			
						機器第3搬出入室	火災 区画	G0211			
						第1貯蔵区域冷却空 気出口シャフト	火災 区画	R0212			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						第2貯蔵区域冷却空気出口シャフト	火災 区画	R0213	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						第3貯蔵区域冷却空気出口シャフト	火災 区画	R0214			
						第4貯蔵区域冷却空気出口シャフト	火災 区画	R0215			
						非管理区域外気取 入れ第1室	火災 区画	W0216			
						非管理区域加熱コ イル第1室	火災 区画	W0217			
						非管理区域給気フ ィルタ第1室	火災 区画	W0218			
						非管理区域冷却コ イル第1室	火災 区画	W0219			
						北第4階段室	火災 区画	G0220			
						非管理区域廃棄第1 処理室	火災 区画	W0221			
						搬送室	火災 区画	G0301			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						機器第 6 搬出入室	火災 区画	W0302	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						地上 1 階東西廊下 退城室	火災 区画	G0303			
						地上 1 階南北第 1 廊 下		G0304			
						予備室		G0305			
						入城室エアロック 室		G0306			
						退城室エアロック 室		G0307			
						玄関ホール		G0308			
						出入管理設備室		W0309			
						入城室		W0310			
						搬送室エアロック 室		火災 区画			
機器第 5 搬出入室	火災 区画	W0313									
北第 4 ダクト室	火災 区画	W0314									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	北第5ダクト室		火災区画	W0315	壁		鉄筋コンクリート				
	屋上階南北廊下		火災区画	W0401							
	外気取入れ第2室		火災区画	W0402							
	高レベル廃液ガラス固化建屋／第1ガラス固化体貯蔵建屋間洞道		火災区画	AT52							
	ガラス固化体搬送室		火災区画								

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物（チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋）

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						北第1階段室	火災 区画	Y0101	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						北第2階段室前室	火災 区画	G0102			
						雑固体廃棄物仮置 室	火災 区画	Y0103			
						北第1ダクト・配 管室	火災 区画	Y0104			
						第1予備室	火災 区画	Y0105			
						極低レベル廃液サ ンプ室	火災 区画	Y0106			
						デカントポンプ室	火災 区画	Y0107			
						ピット水浄化系ポ ンプ室	火災 区画	Y0108			
						切断ピット下部中 間室	火災 区画	Y0109			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート	北第2ダクト・配 管室	火災 区画	R0111			
						南第1ダクト・配 管室	火災 区画	R0112			
						地下1階南北第1 廊下	火災 区画	Y0113			
						自動フォークリフ ト制御盤室	火災 区画	Y0114			
						自動フォークリフ ト保守室	火災 区画	Y0115			
						廃棄物保管室	火災 区画	R0116			
						北第2階段室	火災 区画	G0117			
						北エレベータ	火災 区画	G0118			
						第1倉庫	火災 区画	G0119			
						地下1階東西第1 廊下	火災 区画	G0120			
						廃樹脂貯槽室	火災 区画	R0121			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						第2予備室	火災 区画	G0122	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						BP貯蔵室	火災 区画	R0123			
						第1搬送室	火災 区画	R0124			
						南リフト	火災 区画	R0125			
						湧水サンプ室前室	火災 区画	G0126			
						湧水サンプ室	火災 区画	G0127			
						第1CB貯蔵室	火災 区画	R0128			
						第2CB貯蔵室	火災 区画	R0129			
						第3CB貯蔵室	火災 区画	R0130			
						第2搬送室	火災 区画	R0131			
						北ダクト室	火災 区画	G0132			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンクリート	第 3 搬送室	火災 区画	R0134			
						第 4 搬送室	火災 区画	R0135			
						第 3 予備室	火災 区画	R0136			
						北第 3 ダクト・配 管室	火災 区画	G0201			
						地上 1 階南北第 1 廊下	火災 区画	Y0202			
						放管用ブロワ室	火災 区画	Y0203			
						計器架台室	火災 区画	Y0204			
						サンプリングボッ クス室	火災 区画	Y0205			
						スキマサージ槽室	火災 区画	Y0206			
						第 2 倉庫	火災 区画	Y0207			
						第 4 搬送室	火災 区画	Y0208			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						ろ過装置, 脱塩装置弁第1室	火災区画	Y0209	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンクリート
						ろ過装置室	火災区画	R0210			
						脱塩装置室	火災区画	R0211			
						塔槽類廃ガス処理設備排風機室	火災区画	G0212			
						充てん払出機器室	火災区画	R0213			
						搬出入室	火災区画	G0214			
						地上1階南北第2廊下	火災区画	G0215			
						放射線現場盤室	火災区画	G0216			
						第3倉庫	火災区画	G0217			
						北第3階段室	火災区画	W0218			
						北第3階段室前室	火災区画	W0219			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート	第 4 倉庫	火災 区画	W0220			
						常用電気品室	火災 区画	W0221			
						排気モニタ機器室	火災 区画	G0222			
						換気設備排風機室	火災 区画	G0223			
						排気フィルタ ユ ニット第 1 室	火災 区画	Y0224			
						排気フィルタ ユ ニット第 2 室	火災 区画	Y0225			
						南階段室	火災 区画	W0226			
						排気フィルタ ユ ニット室第 1 前室	火災 区画	Y0227			
						排気フィルタ ユ ニット第 3 室	火災 区画	Y0228			
						排気フィルタ ユ ニット第 4 室	火災 区画	Y0229			
						排気フィルタ ユ ニット室第 2 前室	火災 区画	Y0230			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						排気フィルタ ユ ニット第5室	火災 区画	Y0231	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						搬出入室前室	火災 区画	W0232			
						放射線現場盤室・ 排気モニタ機器室 空調機室	火災 区画	G0233			
						排気フィルタユニ ット室第3前室	火災 区画	Y0234			
						地上1階南北第3 廊下	火災 区画	Y0235			
						第1サブチェンジ ングルーム	火災 区画	Y0236			
						地上1階東西第1 廊下	火災 区画	Y0237			
						北第1階段室前室	火災 区画	Y0301			
						第2サブチェンジ ングルーム	火災 区画	Y0302			
						クレーン室	火災 区画	Y0303			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						第5倉庫	火災 区画	G0304	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンク リート
						地上2階南北第1 廊下	火災 区画	G0305			
						エレベータ機械室 前室	火災 区画	G0306			
						エレベータ機械室	火災 区画	G0307			
						第5搬送室	火災 区画	Y0308			
						空気ろ過器室	火災 区画	G0309			
						新樹脂供給槽室	火災 区画	G0310			
						ろ過装置,脱塩装 置弁第2室	火災 区画	Y0311			
						ろ過装置,脱塩装 置弁第3室	火災 区画	G0312			
						高性能粒子フィル タ室	火災 区画	Y0313			
						収納容器取扱室第1 前室	火災 区画	R0315			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						収納容器取扱室第2前室	火災区画	Y0316	壁	150以上 (300*2)	鉄筋コンクリート
						収納容器取扱室	火災区画	R0317			
						収納容器取扱室第3前室	火災区画	R0318			
						空ドラム缶供給室	火災区画	R0319			
						南リフタ機械室	火災区画	R0320			
						第6搬送室	火災区画	G0321			
						第7搬送室	火災区画	W0322			
						北第3階段室前室	火災区画	W0323			
						チャンネルボックス・バーナブル ポイズン処理建屋 現場制御盤室	火災区画	W0324			

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					チャンネル ボックス・バーナブル ポイズン処理建屋 現場制御室前室	火災 区画	W0325	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート	
					チャンネル ボックス・バーナブル ポイズン処理建屋 現場制御室	火災 区画	W0326				
					換気設備送風機室	火災 区画	W0327				
					給気ユニット室前 室	火災 区画	W0328				
					給気ユニット室	火災 区画	W0329				
					第 6 倉庫	火災 区画	W0330				
					給気処理室	火災 区画	W0331				

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物(ハル・エンドピース貯蔵建屋)

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁		鉄筋コンクリート	圧縮空気設備室	火災区画	[REDACTED]		[REDACTED]	
						南第2階段室	火災区画				
						地下4階東西第3廊下/蒸気設備室	火災区画				
						エレベータ	火災区画				
						冷凍機第1室	火災区画				
						廃樹脂移送用貯槽室	火災区画				
						ダムウェーター	火災区画				
						南第1階段室	火災区画				
						地下4階東西第2廊下	火災区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンク リート	第2貯蔵プール	火災 区画	[Redacted]	壁	[Redacted]	鉄筋コンク リート	
					第1貯蔵プール	火災 区画					
					第1倉庫	火災 区画					
					廃樹脂貯槽第2室	火災 区画					
					地下4階東西第1 廊下	火災 区画					
					廃樹脂貯槽第1室	火災 区画					
					北第1階段室	火災 区画					
					建屋排気フィルタ ユニット第1室	火災 区画					
					建屋排気フィルタ ユニット第2室	火災 区画					
					廃液貯槽室	火災 区画					
					南第2階段室地下4 階附室	火災 区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	給気風道	火災 区画	壁	鉄筋コンク リート	-	純水設備室	火災 区画	-	-	-	
	第2倉庫	火災 区画									
	エアロック第1室	火災 区画									
	南第1ダクト配管 室	火災 区画									
	北第1階段室地下4 階附室	火災 区画									
	地下4階南北第1 廊下	火災 区画									
	南第1階段室地下4 階附室	火災 区画									
	地下3階東西第3 廊下	火災 区画									
	南第2ダクト配管 室	火災 区画									
	蒸気設備室	火災 区画									

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	廃樹脂移送用ポンプ室	火災区画	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					地下3階東西第2廊下	火災区画					
					地下3階東西第1廊下	火災区画					
					第3倉庫	火災区画					
					廃樹脂抜き出し室	火災区画					
					北第1配管室	火災区画					
					建屋排風機第1室	火災区画					
					建屋排風機第2室	火災区画					
					廃液ポンプ室	火災区画					
					南第2階段室地下3階附室	火災区画					
					蓄電池室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						エアロック第3室	火災 区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンク リート
						充電器盤室	火災 区画				
						北第1階段室地下3 階附室	火災 区画				
						地下3階南北第1 廊下	火災 区画				
						エアロック第2室	火災 区画				
						南第1階段室地下3 階附室	火災 区画				
						地下3階南北第2 廊下	火災 区画				
						施設制御室	火災 区画				
						地下2階東西第3 廊下	火災 区画				
						電気盤室	火災 区画				
						地下2階東西第2 廊下	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	計装ラック室	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					地下2階東西第1廊下	火災区画					
					塔槽類廃ガスフィルタ室	火災区画					
					第1サブチェンジングルーム	火災区画					
					排気モニタ室	火災区画					
					塔槽類廃ガス排風機室	火災区画					
					一次冷水ポンプ室	火災区画					
					南第2階段室地下2階附室	火災区画					
					エアロック第4室	火災区画					
					北第1階段室地下2階附室	火災区画					
					地下2階南北第1廊下	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁			南第1階段室地下2階附室	火災区画	[REDACTED]	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
				地下2階南北第2廊下	火災区画						
				キャスク補修ピット	火災区画						
				プール水浄化塔室	火災区画						
				バルブ室	火災区画						
				地下1階廊下	火災区画						
				キャスクスミヤ用ピット	火災区画						
				プール水ポンプ室	火災区画						
				プール水冷却器室	火災区画						
				北第1階段室地下1階附室	火災区画						
				休憩室 会議室	火災区画						

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンクリート	トイレ	火災区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンクリート	
					玄関	火災区画					
					地上1階廊下	火災区画					
					防護具、計測器配備室	火災区画					
					入城室 アテンダントポイント	火災区画					
					退城室	火災区画					
					現場放射線管理室	火災区画					
					第2サブチェンジ ングルーム	火災区画					
					機械搬出入室	火災区画					
					ハル・エンドピース搬送室	火災区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	搬出入室	火災 区画	壁	鉄筋コンク リート	-	搬出入室	火災 区画	-	-	-	
	キャスク搬出入室	火災 区画				キャスク搬出入室	火災 区画				
	G靴配備室	火災 区画				G靴配備室	火災 区画				
	南第2階段室地上1 階附室	火災 区画				南第2階段室地上1 階附室	火災 区画				
	放射線測定室	火災 区画				放射線測定室	火災 区画				
	エアロック第5室	火災 区画				エアロック第5室	火災 区画				
	雑固体置場	火災 区画				雑固体置場	火災 区画				
	北第1階段室地上1 階附室	火災 区画				北第1階段室地上1 階附室	火災 区画				
	南第1階段室地上1 階附室	火災 区画				南第1階段室地上1 階附室	火災 区画				
	排風機室/地上2階 東西第1廊下	火災 区画				排風機室/地上2階 東西第1廊下	火災 区画				
	冷凍機第2室	火災 区画				冷凍機第2室	火災 区画				

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	鉄筋コンク リート	建屋送風機室	火災 区画	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	鉄筋コンク リート	
					エアロック第6室	火災 区画					
					建屋給気フィルタ 第1室	火災 区画					
					加熱コイル第1室	火災 区画					
					外気取入第1室	火災 区画					
					屋上階廊下	火災 区画					
					エレベータ機械室	火災 区画					
					排煙機室	火災 区画					
					給気ダクト室	火災 区画					
					冷却コイル室	火災 区画					
					ヒータ室	火災 区画					

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					加湿室	火災 区画	[REDACTED]	壁	[REDACTED]	鉄筋コンク リート	
					エアロック第7室	火災 区画					
					空調ユニット室	火災 区画					
					南第2階段室地上2 階附室	火災 区画					
					南第2階段室屋上 階附室	火災 区画					
					建屋給気フィルタ 第2室	火災 区画					
					加熱コイル第2室	火災 区画					
					外気取入第2室	火災 区画					

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物（非常用電源建屋）

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画) 名称	区分	番号				火災区域(区画) 名称	区分	番号			
非常用ディーゼル発電機 A 補機室 非常用ディーゼル発電機 A 室	火災区域	W0101 W0201	壁	—	—	非常用ディーゼル発電機 A 室エリア	火災区域	GA-1	壁	150 以上 (200*2)	鉄筋 コンクリート
非常用蓄電池 A 室	火災区域	W0103	壁	—	—	非常用蓄電池 A 室	火災区域	GA-2			
地下階電気盤 A 室 地上 1 階電気盤 A 室	火災区域	W0104 W0203	壁	—	—	電気盤 A 室エリア	火災区域	GA-3			
非常用蓄電池 B 室	火災区域	W0105	壁	—	—	非常用蓄電池 B 室	火災区域	GA-4			
地下階電気盤 B 室 地上 1 階電気盤 B 室	火災区域	W0106 W0204	壁	—	—	電気盤 B 室エリア	火災区域	GA-5			

変更前						変更後*1					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画) 名称	区分	番号				火災区域(区画) 名称	区分	番号			
非常用ディーゼル発電機 B 補機室 非常用ディーゼル発電機 B 室	火災区域	W0108 W0205	壁	—	—	非常用ディーゼル発電機 B 室エリア	火災区域	GA-6	壁	150 以上 (200*2)	鉄筋 コンクリート
燃料油貯蔵タンク A 第 1 室 燃料油貯蔵タンク A 第 2 室	火災区域	W0109 W0110	壁	—	—	燃料油貯蔵タンク A エリア	火災区域	GA-7			
燃料油貯蔵タンク B 第 1 室 燃料油貯蔵タンク B 第 2 室	火災区域	W0111 W0112	壁	—	—	燃料油貯蔵タンク B エリア	火災区域	GA-8			
サービスタンク A 室	火災区域	W0301	壁	—	—	サービスタンク A 室	火災区域	GA-9			
サービスタンク B 室	火災区域	W0301	壁	—	—	サービスタンク B 室	火災区域	GA-10			
—						潤滑油タンク A 室	火災区画	W0102			
						潤滑油タンク B 室	火災区画	W0107			

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画) 名称	区分	番号				火災区域(区画) 名称	区分	番号			
			-			配管ピット A	火災 区画	W0207	壁	150 以上 (200*2)	鉄筋 コンクリート
				配管ピット B	火災 区画	W0208					
				ケーブルピット A	火災 区画	W0209					
				ケーブルピット B	火災 区画	W0210					
				非常用ディーゼル発電機 A 蓄熱室	火災 区画	W0401					
				非常用ディーゼル発電機 A 送風機室	火災 区画	W0403					
				エアロック A 室	火災 区画	W0405					
				非常用ディーゼル発電機 A 蓄熱給気室	火災 区画	W0407					

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画) 名称	区分	番号				火災区域(区画) 名称	区分	番号			
—					非常用ディーゼル発電機B蓄熱室	火災区画	W0402	壁	150以上 (200*2)	鉄筋 コンクリート	
					非常用ディーゼル発電機B送風機室	火災区画	W0404				
					エアロックB室	火災区画	W0406				
					非常用ディーゼル発電機B蓄熱給気室	火災区画	W0408				

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・火災区域構造物及び火災区画構造物（第1保管庫・貯水所）

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					第1保管庫・貯水所 (再処理施設, MOX 燃料加工施設と共 用) ^{*1}	火災 区域	G13	壁	150 以上 (2000 ^{*2})	鉄筋コンク リート	

注記 *1：第1保管庫・貯水所は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・火災区域構造物及び火災区画構造物（第2保管庫・貯水所）

変更前					変更後						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					第2保管庫・貯水所 (再処理施設, MOX 燃料加工施設と共 用) *1	火災 区域	G14	壁	150 以上 (2000*2)	鉄筋コンク リート	

注記 *1：第2保管庫・貯水所は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・火災区域構造物及び火災区画構造物（第1軽油貯槽）

変更前					変更後						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					第1軽油貯槽（再処理施設，MOX燃料加工施設と共用）*1	火災区域	G15	壁	150以上 (1500* ^{¥2})	鉄筋コンクリート	

注記 *1：第1軽油貯槽は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・火災区域構造物及び火災区画構造物（第2軽油貯槽）

変更前					変更後						
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					第2軽油貯槽（再処理施設，MOX燃料加工施設と共用）*1	火災区域	G16	壁	150以上 (1500*2)	鉄筋コンクリート	

注記 *1：第2軽油貯槽は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

・火災区域構造物及び火災区画構造物（重油貯槽）

変更前					変更後						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					重油貯槽 (再処理施設, MOX 燃料加工施設と共用) *1	火災区域	G17	壁	150 以上 (1500*2)	鉄筋コンクリート	

注記 *1：重油貯槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物（分析建屋）

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						分析建屋	火災区域		壁		鉄筋コンクリート

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物（緊急時対策建屋）

変更前						変更後					
名 称			種 類	主要 寸法 (mm)	主要材料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	主要材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—	—	—	—	—	—	緊急時対策建屋 (再処理施設, MOX 燃 料加工施設と共用) *1	火災 区域	AZ	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート

注記 *1: 緊急時対策建屋は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物（分離建屋/精製建屋/ウラン脱硝建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/低レベル廃液処理建屋/低レベル廃棄物処理建屋/分析建屋間洞道-分離建屋-精製建屋-ウラン脱硝建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋-低レベル廃液処理建屋-低レベル廃棄物処理建屋-分析建屋）

変更前						変更後* ¹					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						火災区域構造物及び火災区画構造物(分離建屋/精製建屋/ウラン脱硝建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/低レベル廃液処理建屋/低レベル廃棄物処理建屋/分析建屋間洞道-分離建屋-精製建屋-ウラン脱硝建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋-低レベル廃液処理建屋-低レベル廃棄物処理建屋-分析建屋)	火災区域	AT-1	壁	150 以上 (400* ²)	鉄筋コンクリート

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物（分離建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋間洞道）

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主 要 寸 法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主 要 寸 法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					火災区域構造物及び 火災区画構造物(分 離建屋/高レベル廃 液ガラス固化建屋間 洞道-分離建屋-高レ ベル廃液ガラス固化 建屋)	火災 区域	AT-3	壁	150 以上 (1150*2)	鉄筋コンク リート	

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物（精製建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋間洞道）

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						火災区域構造物及び火災区画構造物(精製建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋間洞道-精製建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋)	火災区域	AT-2	壁	150 以上 (1200*2)	鉄筋コンクリート

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

- ・火災区域構造物及び火災区画構造物(精製建屋/ウラン脱硝建屋間洞道-精製建屋-ウラン脱硝建屋)

変更前						変更後*1					
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						火災区域構造物及び 火災区画構造物(精 製建屋/ウラン脱硝 建屋間洞道-精製建 屋-ウラン脱硝建屋)	火災 区域	AT-4	壁	150 以上 (1200*2)	鉄筋コンク リート

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

a. 火災区域構造物及び火災区画構造物

・火災区域構造物及び火災区画構造物（前処理建屋/分離建屋/精製建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/制御建屋/非常用電源建屋/冷却水設備の安全冷却水系/主排気筒/主排気筒管理建屋間洞道-前処理建屋-分離建屋-精製建屋-高レベル廃液ガラス固化建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋-制御建屋-非常用電源建屋-冷却水設備の安全冷却水系-主排気筒-主排気筒管理建屋）

変更前						変更後* ¹					
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—						火災区域構造物及び火災区画構造物(前処理建屋/分離建屋/精製建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/制御建屋/非常用電源建屋/主排気筒/主排気筒管理建屋間洞道-前処理建屋-分離建屋-精製建屋-高レベル廃液ガラス固化建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋-制御建屋-非常用電源建屋-主排気筒-主排気筒管理建屋)	火災区画	TXTY-A	壁	150 以上 (300* ²)	鉄筋コンクリート

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
	—					火災区域構造物及び火災区画構造物(前処理建屋/分離建屋/精製建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/ウラン脱硝建屋/制御建屋/非常用電源建屋/冷却水設備の安全冷却水系/主排気筒/主排気筒管理建屋間洞道-前処理建屋-分離建屋-精製建屋-高レベル廃液ガラス固化建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋-ウラン脱硝建屋-制御建屋-非常用電源建屋-冷却水設備の安全冷却水系-主排気筒-主排気筒管理建屋)	火災区画	TXTY-B	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンクリート

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—					火災区域構造物及び火災 区画構造物(低レベル廃 液処理建屋/低レベル廃 棄物処理建屋/チャンネ ルボックス・バーナブル ポイズン処理建屋/分析 建屋間洞道-低レベル廃 液処理建屋-低レベル廃 棄物処理建屋-チャンネ ルボックス・バーナブル ポイズン処理建屋-分析 建屋)	火災 区画	TXTY-N	壁	150 以上 (300*2)	鉄筋コンク リート	

注記 *1：本設備は既存の設備である。

*2：公称値のうち最小のものを示す。

1. 設計及び仕様

- 1.3 その他の主要な事項
 1.3.3 竜巻防護対策設備

- (1) 建物・構築物
 a. 飛来物防護設備

				変更前	変更後	
名称		—		—	飛来物防護ネット (再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔A)	
種類		—			金属製ネット	
主要寸法	防護ネット	線径	mm		4* ¹	
		網目	mm		50* ¹ , 40* ¹	
	防護板	厚さ	mm		9* ¹	
	支持架構	たて	mm		47900* ¹	
		横	mm		36000* ¹	
		高さ	mm		20300* ¹	
	補助防護板	厚さ	mm		9* ²	
主要材料	防護ネット		—		硬鋼線材	
	防護板		—		SUS304	
	支持架構		—		BCP325, G385, SN490B	
耐火被覆	種類		—		耐火塗料* ³ * ⁴	
	厚さ		mm		2以上* ⁵	
杭基礎	種類		—		杭基礎* ⁷ (鉄筋コンクリート造)	
	主要寸法	基礎梁	たて×横		mm	46000* ¹ ×57900* ¹
			幅		mm	3600* ¹ , 5600* ¹
			高さ		mm	3000* ¹
	杭の径		mm		1000* ¹	
	主要材料		—		鉄筋コンクリート	
基数		式		1		

安ユ A

- 注記
- * 1 : 公称値を示す。
 - * 2 : 飛来物防護ネットは杭基礎を介して鷹架層に支持する。
 - * 3 : 建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。
 - * 4 : 航空機墜落火災による熱影響に対し、機能維持のために必要な部材を塗装対象とする。支持架構については、火炎直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。
 - * 5 : 主材厚さを示す。

波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表

材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)
炭素鋼	19	1
	14	3
	12	4
	11	5
	10	6
	8	7
	6.4	9
	6	10
	4.5	12
	3.9	13
	3.2	15
	2.11	17
	1.2	19
ステンレス鋼	20	1
	16	2
	12	4
	9	6

			変更前	変更後	
名称		—	—	飛来物防護ネット (第2非常用ディーゼル発電機用 安全冷却水系冷却塔 A, B)	
種類		—		金属製ネット	
主要寸法	防護 ネット	線径		mm	4* ²
		網目		mm	50* ² , 40* ²
	防護板	厚さ		mm	8.2以上* ³ (9, 10, 12, 13, 21)* ²
	補助 防護板	厚さ		mm	8.2以上* ³ (9, 12)* ²
	支持 架構	たて		mm	70525* ²
		横		mm	26300* ²
高さ		mm		17100* ²	
主要材料	防護ネット			—	硬鋼線材
	防護板			—	SUS304, SN490B, SS400
	支持架構			—	BCP325, G385, SN490B
	補助防護板			—	SUS304
耐火被覆	種類			—	耐火塗料* ⁴ * ⁵
	厚さ			mm	2以上* ⁶

(つづき)

		変更前	変更後	
杭基礎	種類	—	杭基礎*7 (鉄筋コンクリート造)	
	主要寸法	基礎梁 たて×横	(北部) 南北16000, 東西26850	(北部) 南北16000, 東西26850
			(南部) 南北14000, 東西27150	(南部) 南北14000, 東西27150
	高さ	(中間部) 南北2900, 東西19200	(中間部) 南北2900, 東西19200	
		(西部) 南北28125, 東西2500	(西部) 南北28125, 東西3700	
	基礎梁	—	(北部, 南部, 中央部) 2600, (西部) 5000	
	主要材料	—	13900×2000×2900 鉄筋コンクリート	
	基数	基	2	

- 注記 * 1 : 飛来物防護ネットは直接基礎を介して鷹架層に支持する。
 * 2 : 公称値を示す。
 * 3 : 飛来物貫通防止の最小厚さを示す。
 * 4 : 建築基準法第2条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。
 * 5 : 航空機墜落火災による熱影響に対し、機能維持のために必要な部材を塗装対象とする。支持架構については、火炎直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。
 * 6 : 主材厚さを示す

波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表

材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)
炭素鋼	19	1
	14	3
	12	4
	11	5
	10	6
	8	7
	6.4	9
	6	10
	4.5	12
	3.9	13
	3.2	15
	2.11	17
	1.2	19
ステンレス鋼	20	1
	16	2
	12	4
	9	6

				変更前	変更後
名称		—		—	飛来物防護板 (前処理建屋 安全蒸気 系設置室)
種類		—			飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)
主要 寸法	飛来物防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm		412以上(450* ¹)
		東西	mm		11400* ¹
		南北	mm		3275* ¹
		高さ	mm		3940* ¹
主要 材料	コンクリート		N/mm ²		30
	鉄筋		—		SD345
基数			式		1

注記 * 1 : 公称値を示す。

				変更前	変更後
名称		—		—	飛来物防護板 (精製建屋 非常用所内 電源系統及び計測制御系 統施設設置室 A)
種類		—			飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)
主要寸法	飛来物防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm		412以上(500*1)
		東西	mm		(東)1500*1 (西)1700*1
		南北	mm		—
		高さ	mm		2475*1
主要材料	コンクリート		N/mm ²		30
	鉄筋		—		SD345
基数		式			1

				変更前	変更後
名称		—		—	飛来物防護板 (精製建屋 非常用所内 電源系統及び計測制御系 統施設設置室 B)
種類		—			鉄筋コンクリート板
主要寸法	飛来物防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm		412以上(500*1)
		東西	mm		(東)1700*1 (西)1500*1
		南北	mm		—
		奥行	mm		2475*1
主要材料	コンクリート		N/mm ²		30
	鉄筋		—		SD345
基数		式			1

注記 * 1 : 公称値を示す。

				変更前	変更後
名称		—		—	飛来物防護板 (制御建屋 中央制御室 換気設備設置室)
種類		—			飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)
主要寸法	飛来物防護板 (鉄筋コンクリート)	厚さ	mm		412以上(500*1)
		東西	mm		1500*1
		南北	mm		4200*1
		高さ	mm		3530*1
主要材料	コンクリート		N/mm ²		30
	鉄筋		—		SD345
基数			式		1

注記 * 1 : 公称値を示す。

				変更前	変更後
名称		—		—	飛来物防護板 (第1 ガラス固化体貯蔵 建屋 床面走行クレー ン 遮蔽容器設置室)
種類		—			飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)
主要 寸法	飛来物防護板 (鉄筋コンク リート)	厚さ	mm		412以上 (500*1)
		東西	mm		14400*1
		南北	mm		5150*1
		高さ	mm		11300*1
主要 材料	コンクリート		N/mm ²		30
	鉄筋		—		SD345
基数			式		1

注記 * 1 : 公称値を示す。

				変更前	変更後	
名称		—		—	飛来物防護板 (非常用電源建屋 第2非常用ディーゼル発電機及び非常用所内電源系統設置室 A, B 北ブロック, 南ブロック)	
種類		—			飛来物防護板 (鋼板)	
主要寸法	飛来物 防護板 (鋼板)	厚さ			mm	8.2(40* ¹)
		たて × 横	PL-1		mm	1265×5360* ¹
			PL-2		mm	2160×3680* ¹
			PL-3		mm	1600×4040* ¹
			PL-4		mm	1575×3950* ¹
			PL-5		mm	1775×4200* ¹
			PL-6		mm	2055×3200* ¹
			PL-7		mm	2400×4600* ¹
主要材料	飛来物防護板(鋼板)		—		SS400	
基数		式		1		

注記 * 1 : 公称値を示す。

				変更前	変更後
名称		—		—	飛来物防護板 (冷却塔接続 屋外設備)
種類		—			飛来物防護板 (鉄筋コンクリート造)
主要寸法	飛来物防護板 (鉄筋コンクリート)	厚さ	mm		412以上(500* ¹)
		東西	mm		3025* ¹
		南北	mm		11700* ¹
		高さ	mm		3790* ¹
主要材料	コンクリート		N/mm ²		30
	鉄筋		—		SD345
基数			式		1

注記 * 1 : 公称値を示す。

				変更前	変更後	
名称		—		—	飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管及び屋外ダクト (主排気筒周り))	
種類		—			防護板 (鋼材)	
主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ	mm		8.2以上 (9* ¹ , 12* ¹ , 16* ¹ , 19* ¹ , 20* ¹)	
		支持 架構	たて		mm	(西) 20300* ¹ , (中央) 33100* ¹ , (東) 16400* ¹
	横		mm		(西) 8350* ¹ , (中央) 44400* ¹ , (東) 9900* ¹	
	高さ		mm		(西) 12830* ¹ , (中央) 38000* ¹ , (東) 18418* ¹	
主要材料	防護板 (鋼材)		—		SUS304	
	支持架構		—		SS400 SM490A SN490B, C TMCP325B, C TMCP385B, C TMCP440B, C	
耐火被覆	種類		—		耐火塗料* ² * ³	
	厚さ		mm		2以上* ⁴	
杭基礎	種類		—		杭基礎* ⁵ (鉄筋コンクリート造)	
	主要寸法	基礎* ⁶	たて×横		mm	(西) 南側9750, 北側7350 (東) 南側7350, 北側6350
			幅		mm	(西) 南側11300, 北側11700 (東) 南側11850, 北側11850
			高さ		mm	(西) 南側3600, 北側3600 (東) 南側3250, 北側3600
	杭の径		mm		(西) 1700, (東) 1700	
	主要材料		—	鉄筋コンクリート		
基数		式		1		

- 注記
- * 1 : 公称値を示す。
 - * 2 : 建築基準法第 2 条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707を取得した主材及び下塗り材を使用する。
 - * 3 : 波及的影響を及ぼし得る部材については、火炎直近の部材は塗装対象とし、別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されていない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。
 - * 4 : 主材厚さを示す。
 - * 5 : 飛来物防護板は杭基礎を介して鷹架層に支持する。
 - * 6 : 中央基礎は、主排気筒本体基礎の増設部である。

波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表

材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)
炭素鋼	19	1
	14	3
	12	4
	11	5
	10	6
	9	7
	8	8
	6.4	9
	6	10
	4.5	12
	3.9	13
	3.2	15
	2.11	17
	1.2	19
ステンレス鋼	20	1
	16	2
	12	4
	9	7

				変更前	変更後
名称			—	—	飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (分離建屋屋外))
種類			—		防護板(鋼材)
主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ	mm		8.2以上 (9* ¹)
	支持 架構	たて	mm		(屋上部)17475* ¹ (壁面部)13700* ¹
		横	mm		(屋上部)62100* ¹ (壁面部)7250* ¹
		高さ	mm		(屋上部)9480* ¹ (壁面部)17470* ¹
主要材料	防護板(鋼材)		—		SUS304
	支持架構		—		SM490, STKR490
耐火被覆	種類		—		耐火塗料* ² * ³
	厚さ		mm		2以上* ⁴
基数			式	1	

注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 建築基準法第 2 条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707
を取得した主材及び下塗り材を使用する。

* 3 : 波及的影響を及ぼし得る部材については、火炎直近の部材は塗装対象とし、
別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されてい
ない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。

* 4 : 主材厚さを示す。

波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表

材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)
炭素鋼	19	1
	14	3
	12	4
	11	5
	10	6
	9	7
	8	8
	6.4	9
	6	10
	4.5	12
	3.9	13
	3.2	15
	2.11	17
	1.2	19
ステンレス鋼	20	1
	16	2
	12	4
	9	7

				変更前	変更後
名称		—		—	飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (精製建屋屋外))
種類		—			防護板(鋼材)
主要寸法	防護板 (鋼材)	厚さ	mm		8.2以上 (9* ¹)
	支持 架構	たて	mm		(屋上部)10500* ¹ (壁面部)8750* ¹
		横	mm		(屋上部)25400* ¹ (壁面部)5950* ¹
		高さ	mm		(屋上部)5300* ¹ (壁面部)18700* ¹
主要材料	防護板(鋼材)		—		SUS304
	支持架構		—		SM490, STKR490
耐火被覆	種類		—		耐火塗料* ² * ³
	厚さ		mm		2以上* ⁴
基数			式	1	

注記 * 1 : 公称値を示す。

* 2 : 建築基準法第 2 条第七号に基づく国土交通大臣の認定番号FP060CN-0707
を取得した主材及び下塗り材を使用する。

* 3 : 波及的影響を及ぼし得る部材については、火炎直近の部材は塗装対象とし、
別紙「離隔距離表」に基づき塗装範囲を決定する。板厚が表に記載されてい
ない場合は、表に記載されている板厚の内、薄い側の離隔距離を用いる。

* 4 : 主材厚さを示す。

波及的影響を及ぼし得る施設に対する離隔距離表

材料	板厚 (mm)	必要離隔距離 (m)
炭素鋼	19	1
	14	3
	12	4
	11	5
	10	6
	9	7
	8	8
	6.4	9
	6	10
	4.5	12
	3.9	13
	3.2	15
	2.11	17
	1.2	19
ステンレス鋼	20	1
	16	2
	12	4
	9	7

				変更前	変更後
名称		—		—	飛来物防護板 (主排気筒に接続する屋外配管 及び屋外ダクト (高レベル廃液ガラス固化建屋 屋外))
種類		—			防護板(鋼材)
主要 寸法	防護板 (鋼材)	厚さ	mm		8.2以上 (9* ¹)
		支持 架構	たて		mm
	横		mm		7150* ¹
	高さ		mm		12200* ¹
主要 材料	防護板(鋼材)		—		SUS304
	支持架構		—		SM490, STKR490
基数			式		1

注記 * 1 : 公称値を示す。

1.3.4 溢水防護設備

- (1) 建物・構築物
a. 溢水区画構築物

			変更前	変更後			
名称			—	前処理建屋溢水防護堰 (地上1階) ()			
種類		—	—	堰			
主要寸法	高さ	mm	—	[Redacted]			
主要材料	板材	—	—	SUS304			
個数		—	—	4	1	2	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—			
	設置床	—	—	[Redacted] T. M. S. L. m			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—			
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—			

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	前処理建屋溢水防護堰 (地上2階) ()
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	
主要材料	板材	—	—	SUS304
個数		—	—	5
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	
				T. M. S. L. m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	前処理建屋溢水防護堰 (地上3階) (■■■■)
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	■■■■
				■■■■
主要材料	板材	—	—	SUS304
個数		—	—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	■■■■ T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	前処理建屋溢水防護堰 (地上4階) ()
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	
主要材料	板材	—	—	SUS304
個数		—	—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	
				T. M. S. L () m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—	

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後		
名称			—	前処理建屋溢水防護堰 (地下3階) ([REDACTED] 堰)		
種類		—	—	堰		
主要寸法	高さ	mm	—	[REDACTED] 堰		
				[REDACTED]		
主要材料	板材	—	—	SUS304		
個数		—	—	2	2	2
所	系統名(ライン名)	—	—	—		
	設置床	—	—	[REDACTED] T. M. S. L. [REDACTED] m		
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—		
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—		

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	前処理建屋溢水防護堰 (地下4階)([redacted] 堰, [redacted] 堰)	
種類		—	—	堰	
主要寸法	高さ	mm	—	[redacted]	[redacted] 堰
				[redacted]	[redacted] 堰
主要材料	板材	—	—	SUS304	
個数		—	—	3	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—	
	設置床	—	—	[redacted]	T. M. S. L. [redacted] m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—	

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	精製建屋溢水防護堰 () (堰)
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	
主要材料	板材	—	—	
個数		—	—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	
				T. M. S. L. m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	精製建屋溢水防護堰 (XXXXXXXXXX)
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	XXXXXXXXXX
主要材料	板材	—	—	
個数		—	—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	XXXXXXXXXX
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	精製建屋溢水防護堰 ()
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	
主要材料	板材	—	—	
個数		—	—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	精製建屋溢水防護堰 ()
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	
主要材料	板材	—	—	
個数		—	—	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	精製建屋溢水防護堰 (XXXXXXXXXX)
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	
主要材料	板材	—	—	
個数		—	—	4
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後				
名称			—	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋溢水防護堰 (地上1階) (■■■■)				
種類		—	—	堰				
主要寸法	高さ	mm	—	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■
				■■■ 以上		■■■ 以上		■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■				
個数		—	—	5				
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—				
	設置床	—	—	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m		T. M. S. L. ■■■■ m		T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—				
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—				
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—				
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—					

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後			
名称			—	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋溢水防護堰 (地上2階) (■■■■)			
種類		—	—	堰			
主要寸法	高さ	mm	—	■■■	■■■	■■■	■■■
				■■■ 以上			■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■			
個数		—	—	4			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—			
	設置床	—	—	■■■■			■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m			T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—				

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後					
名称			—	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋溢水防護堰 (地下1階) (■■■■)					
種類		—	—	堰					
主要寸法	高さ	mm	—	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■
				■■■ 以上			■■■ 以上		■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■					
個数		—	—	6					
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—					
	設置床	—	—	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m			T. M. S. L. ■■■■ m		T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—					
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—					
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—					
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—						

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後		
名称			—	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋溢水防護堰 (地下2階) (■■■■)		
種類		—	—	堰		
主要寸法	高さ	mm	—	■■■■	■■■■	■■■■
				■■■■ 以上		■■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■		
個数		—	—	3		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—		
	設置床	—	—	■■■■, ■■■■	■■■■	■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m		T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—			

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後				
名称			—	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋溢水防護堰 (地上1階) (■■■■)				
種類		—	—	堰				
主要寸法	高さ	mm	—	■■■	■■■	■■■	■■■	■■■
				■■■ 以上		■■■ 以上		■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■				
個数		—	—	5				
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—				
	設置床	—	—	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m			T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—				
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—				
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—				
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—					

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後			
名称			—	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋溢水防護堰 (地下1階) (■■■■)			
種類		—	—	堰			
主要寸法	高さ	mm	—	■■■	■■■	■■■	■■■
				■■■ 以上	■■■ 以上	■■■ 以上	■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■			
個数		—	—	4			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—			
	設置床	—	—	■■■■		■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■ m			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—				

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋溢水防護堰 (地下2階) (■■■■)	
種類		—	—	堰	
主要寸法	高さ	mm	—	■■■■	■■■■
				■■■■ 以上	■■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■	
個数		—	—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—	
	設置床	—	—	■■■■	■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—		

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後			
名称			—	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋溢水防護堰 (地下3階) (■■■■)			
種類		—	—	堰			
主要寸法	高さ	mm	—	■■■	■■■	■■■	■■■
				■■■ 以上	■■■ 以上	■■■ 以上	■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■			
個数		—	—	4			
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—			
	設置床	—	—	■■■■		■■■■	
				T. M. S. L. ■■■■ m			
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—			
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—			
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—				

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後		
名称			—	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋溢水防護堰 (地下4階) (■■■■)		
種類		—	—	堰		
主要寸法	高さ	mm	—	■■■■	■■■■	■■■■
				■■■■ 以上		■■■■ 以上
主要材料	板材	—	—	■■■■		
個数		—	—	3		
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—		
	設置床	—	—	■■■■	■■■■	■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m		
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—		
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—			

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	高レベル廃液ガラス固化建屋溢水防護堰 (地下4階) (■■■■)	
種類		—	—	堰	
主要寸法	高さ	mm	—	■■■■	■■■■
				■■■■ 以上	
主要材料	板材	—	—	■■■■	
個数		—	—	2	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—	
	設置床	—	—	■■■■	■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—*1	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*1	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*2	—	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*2	—		

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	制御建屋溢水防護堰 (地上1階)(PD7~PD9)	
種類		—	—	堰	
主要寸法	高さ	mm	—	PD7, PD8	PD9
				500 以上	400 以上
主要材料	板材	—	—	SUS304	
個数		—	—	3	2
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—	
	設置床	—	—	制御建屋 T. M. S. L. 55. 3m	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	—	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	—	
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	—	

注記 *1 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	制御建屋溢水防護堰 (地上2階)(PD10)
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	PD10
				350 以上
主要材料	板材	—	—	SUS304
個数		—	—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	制御建屋 T. M. S. L. 61. 25m
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	—

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	制御建屋溢水防護堰 (地下2階)(PD1~PD4)
種類		—	—	堰
主要寸法	高さ	mm	—	PD10
				350 以上
主要材料	板材	—	—	SUS304
個数		—	—	1
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	制御建屋 T. M. S. L. 61. 25m
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	—

注記 *1 : 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後
名称			—	前処理建屋防水扉 (地下1階)
種類		—	—	防水扉
主要寸法	たて	mm	—	1085* ³
	横	mm		2235* ³
主要材料	板 材	—	—	SS400
	補強材			SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	■
				T. M. S. L. ■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	前処理建屋防水扉 (地下3階)
種類		—	—	防水扉
主要寸法	たて	mm	—	1085* ³
	横	mm	—	2735* ³
主要材料	板 材	—	—	SS400
	補強材	—	—	SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	■
		—	—	T. M. S. L. ■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	前処理建屋防水扉 (地下4階)
種類		—	—	防水扉
主要寸法	たて	mm	—	1085* ³
	横	mm		2035* ³
主要材料	板 材	—	—	SS400
	補強材			SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	■■■■■
				T. M. S. L ■■■■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹	■■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	前処理建屋防水扉 (地下4階)
種類		—	—	防水扉
主要寸法	たて	mm	—	1085* ³
	横	mm		1835* ³
主要材料	板 材	—	—	SS400
	補強材			SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	■■■■■
				T. M. S. L. ■■■■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹	■■■■■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²	—

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

			変更前	変更後
名称			—	前処理建屋防水扉 (地下4階)
種類		—	—	防水扉
主要寸法	たて	mm	—	1085* ³
	横	mm		1335* ³
主要材料	板材	—	—	SS400
	補強材			SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	—
	設置床	—	—	■
				T. M. S. L ■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²	—	

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	前処理建屋防水扉 (地下4階)	
種類		—	防水扉	
主要寸法	たて	mm	1085* ³	
	横	mm	1635* ³	
主要材料	板材	—	SS400	
	補強材		SS400	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	—	
			T. M. S. L. — m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²	—	

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	分離建屋防水扉 (地下1階)	
種類		—	防水扉	
主要寸法	たて	mm	— *3	
	横	mm	— *3	
主要材料	板 材	—	—	
	補強材	—	—	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	—	
			T. M. S. L. — m	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	分離建屋防水扉 (地下1階)	
種類		—	防水扉	
主要寸法	たて	mm	— *3	
	横	mm	— *3	
主要材料	板 材	—	—	
	補強材	—	—	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	—	
			T. M. S. L. — m	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	精製建屋防水扉 ()	
種類		—	防水扉	
主要寸法	た て	mm	■	
	横	mm		
主要材料	板 材	—		
	補強材			
取付箇所	系統名(ライン名)	—		—
	設置床	—		■
			T. M. S. L. ■ m	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	精製建屋防水扉 ()	
種類		—	防水扉	
主要寸法	た て	mm		
	横	mm		
主要材料	板 材	—		
	補強材			
取付箇所	系統名(ライン名)	—		—
	設置床	—		—
			T. M. S. L. m	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2		

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	精製建屋防水扉 ()	
種類		—	防水扉	
主要寸法	た て	mm		
	横	mm		
主要材料	板 材	—		
	補強材			
取付箇所	系統名(ライン名)	—		—
	設置床	—		
			T. M. S. L. m	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	精製建屋防水扉 ()	
種類		—	防水扉	
主要寸法	た て	mm		
	横	mm		
主要材料	板 材	—		
	補強材			
取付箇所	系統名(ライン名)	—		—
	設置床	—		—
			T. M. S. L. m	
	溢水防護上の 区画番号	—	— *1	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *1	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	— *2	—
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	— *2	—	

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

		変更前	変更後
名称		—	制御建屋 防水扉 (地下1階)
種類		—	防水扉
主要寸法	たて	mm	1085* ³
	横	mm	1235* ³
主要材料	板材	—	SS400
	補強材		SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	制御建屋 T. M. S. L. 47. 65m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 公称値を示す。

		変更前	変更後
名称		—	制御建屋 防水扉 (地下1階)
種類		—	防水扉
主要寸法	たて	mm	1085* ³
	横	mm	2235* ³
主要材料	板材	—	SS400
	補強材		SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	制御建屋 T. M. S. L. 47. 65m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 公称値を示す。

		変更前	変更後
名称		—	制御建屋 防水扉 (地下1階)
種類		—	防水扉
主要寸法	たて	mm	1085* ³
	横	mm	2235* ³
主要材料	板材	—	SS400
	補強材		SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	制御建屋 T. M. S. L. 47. 65m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 公称値を示す。

		変更前	変更後
名称		—	制御建屋 防水扉 (地下1階)
種類		—	防水扉
主要寸法	たて	mm	1085* ³
	横	mm	2235* ³
主要材料	板材	—	SS400
	補強材		SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	制御建屋 T. M. S. L. 47. 65m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

		変更前	変更後
名称		—	制御建屋 防水扉 (地下2階)
種類		—	防水扉
主要寸法	たて	mm	1085* ³
	横	mm	2835* ³
主要材料	板材	—	SS400
	補強材		SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	制御建屋 T. M. S. L. 40. 05m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 公称値を示す。

		変更前	変更後
名称		—	制御建屋 防水扉 (地下2階)
種類		—	防水扉
主要寸法	たて	mm	1085* ³
	横	mm	2835* ³
主要材料	板材	—	SS400
	補強材		SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	制御建屋 T. M. S. L. 40. 05m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 公称値を示す。

		変更前	変更後
名称		—	高レベル廃液ガラス固化建屋 水密扉 (地下3階)
種類		—	水密扉
主要寸法	たて	mm	1930* ³
	横	mm	840* ³
主要材料	板材	—	SS400
	補強材		SS400
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—
	設置床	—	■
		—	T. M. S. L. ■ m
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²	

注記 *1: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 公称値を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	第1 ガラス固化体貯蔵建屋 水密扉 (地下2階)	
種類		—	水密扉	
主要寸法	たて	mm	2100* ³	
	横	mm	1000* ³	
主要材料	板材	—	SS400	
	補強材		SS400	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	
	設置床	—	KBE-G0101	
			T. M. S. L. 41. 90m	
	溢水防護上の 区画番号	—	—* ¹	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ¹	—
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—* ²	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—* ²	—

注記 *1：溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*2：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3：公称値を示す。

1.3.5 放出抑制設備
1.3.5.1 放水設備

- ・可搬
 - (1)ポンプ
 - a. ポンプ

			変更前	変更後			
名称				大型移送ポンプ車(再処理施設*1, MOX 燃料加工施設と共用)*2*3			
ポンプ	種類	—		うず巻形			
	容量	m ³ /h/個		1800 以上*6*7*8 1410 以上*9 900 以上*10 (1800*4)			
	吐出圧力	MPa		1.17 以上*6*10 0.60 以上*7 1.12 以上*8 1.19 以上*9 (1.2*4)			
	最高使用圧力*5	MPa		1.4			
	最高使用温度*5	℃		40			
	主要寸法	吸込口径	mm		350*4		
			mm		300*4		
		たて	mm		1125*4		
			mm		1290*4	1340*4	1340*4
		高さ	mm		585*4		
		車両全長	mm		11580*4	11995*4	12690*4
		車両全幅	mm		2495*4		
		車両全高	mm		3520*4	3510*4	3530*4
	主要材料	ケーシング	—		ダクタイル鋳鉄		
原動機	種類	—		ディーゼル機関			
	出力	kW/個		1193			
燃料タンク	種類	—		角形			
	容量	L/個		155 以上(495*4)			
	最高使用圧力*5	MPa		静水頭			
	最高使用温度*5	℃		40			
	主要材料	—		ステンレス鋼			

(つづき) (続き)

		変更前	変更後
個数	—	—	17(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを9)* ¹¹
取付箇所	—	—	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T. M. S. L. 約 55.00m 及び T. M. S. L. 約 57.50m(8 台) ・外部保管エリア2 屋外エリア T. M. S. L. 約 48.50m(9 台) 取付箇所： ・屋外 第1貯水槽付近 T. M. S. L. 約 55.00m (3 台) ・屋外 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m, 屋外 前処理建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m 屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m 又は屋外 精製建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m(1 台) ・屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m 又は屋外 精製建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m(1 台) ・屋外 前処理建屋付近 T. M. S. L. 約 55.00m 又は屋外 第1貯水槽付近 T. M. S. L. 約 55.00m(1 台)

- 注記 *1：大型移送ポンプ車は、再処理施設にて設備登録を行っている。
 *2：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の注水設備と兼用する。
 *3：待機除外時のバックアップ1台をその他再処理設備の附属施設のうち水供給設備と兼用する。
 *4：公称値を示す。
 *5：重大事故等時における使用時の値を示す。
 *6：重大事故等時にその他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の放水設備として大気中への放射性物質の放出抑制に使用する場合の値を示す。
 *7：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の注水設備として燃料貯蔵プール等への大容量の注水に使用する場合の値を示す。

- *8：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の注水設備として燃料貯蔵プール等への水のスプレーに使用する場合は値を示す。
- *9：重大事故等時にその他再処理設備の附属施設のうち水供給設備として使用する場合は値を示す。
- *10：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の放水設備として各建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災，化学火災に使用する場合は値を示す。
- *11：燃料タンクの個数は大型移送ポンプ車1台あたり2個。

(2) 主配管

変更前								変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
—								放水設備	放水用3m, 5m, 50m可搬型建屋外ホース(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)*2	1.4*3	40*3	300A*4	—*5	ポリエステル, ポリウレタン	1486(予備として故障時のバックアップを743)*6	保管場所: ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L. 約 55.00m 及び T.M.S.L. 約 57.50m (743本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m (743本) 取付箇所: ・屋外 大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近)T.M.S.L. 約 55.00m ~ 屋外 可搬型放水砲(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近)T.M.S.L. 約 55.00m 及び屋外 可搬型放水砲(前処理建屋付近)T.M.S.L. 約 55.00m(179本*7) ・屋外 大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近)T.M.S.L. 約 55.00m ~ 屋外 可搬型放水砲(分離建屋付近)T.M.S.L. 約 55.00m 及び屋外 可搬型放水砲(高レベル廃液ガラス固化建屋付近)T.M.S.L. 約 55.00m(207本*8) ・屋外 大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近)T.M.S.L. 約 55.00m ~ 屋外 可搬型放水砲(精製建屋付近)T.M.S.L. 約 55.00m 及び屋外 可搬型放水砲(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋付近)T.M.S.L. 約 55.00m (118本*9) ・屋外 大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近)T.M.S.L. 約 55.00m ~ 可搬型建屋内ホース(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋北側)又は可搬型建屋内ホース(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋南側)T.M.S.L. 約 55.00m 及び屋外 可搬型放水砲(前処理建屋付近)T.M.S.L. 約 55.00m(184本*10)

注記 *1:放水用 3m, 5m, 50m 可搬型建屋外ホースは, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の注水設備と兼用する。

*3: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*4: メーカーにて規定する呼び径を示す。

*5: メーカー仕様によるものとし, 完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって, 使用材料の特性を踏まえた上で, 重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において

強度が確保できるものを使用する。

*6：必要本数 743 本(3m：132 本， 5m：389 本， 50m：222 本)及びこれらと同数の予備の数量を示す。

*7：最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近) ～ 可搬型放水砲(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋)及び可搬型放水砲(前処理建屋付近)」に敷設した場合 (3m：20 本， 5m：90 本， 50m：69 本)の数量を示す。

*8：最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近) ～ 可搬型放水砲(分離建屋付近)及び可搬型放水砲(高レベル廃液ガラス固化建屋付近)」に敷設した場合 (3m：33 本， 5m：95 本， 50m：79 本)の数量を示す。

*9：最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近) ～ 可搬型放水砲(精製建屋付近)及び可搬型放水砲(ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋付近)」に敷設した場合 (3m：16 本， 5m：54 本， 50m：48 本)の数量を示す。

*10：最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近) ～ 可搬型建屋内ホース(使用済燃料受入れ・貯蔵建屋南側)及び可搬型放水砲(前処理建屋付近)」に敷設した場合 (3m：24 本， 5m：92 本， 50m：68 本)の数量を示す。

変更前								変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
—								放水設備	放水用5m, 10m可搬型建屋外ホース(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)*2	1.4*3	40*3	250A*4	—*5	ポリエステル, ポリウレタン	272(予備として故障時のバックアップを144)*6	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L. 約 55.00m 及び T.M.S.L. 約 57.50m(128本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m (144本) 取付箇所： ・第1貯水槽付近 T.M.S.L. 約 55.00m ～ 屋外 大型移送ポンプ車(第1貯水槽付近) T.M.S.L. 約 55.00m(48本)

注記 *1：放水用 5m, 10m 可搬型建屋外ホースは，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の注水設備と兼用する。

*3：重大事故等時における使用時の値を示す。

*4：メーカーにて規定する呼び径を示す。

*5：メーカー仕様によるものとし，完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって，使用材料の特性を踏まえた上で，重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*6：大型移送ポンプ車 1 台当たり 16 本(5m：8本，10m：8本)を保管する。

変更前								変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
-								放水設備	可搬型放水砲(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)*3	1.0*4	40*4	318.5*2	10.3*2	SUS304TP	14(予備として故障時のバックアップを7)	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L. 約 55.00m 及び T.M.S.L. 約 57.50m(7台) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m(7台) 取付箇所： ・屋外 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1台) ・屋外 前処理建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1台) ・屋外 分離建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1台) ・屋外 精製建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1台) ・屋外 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1台) ・屋外 高レベル廃液ガラス固化建屋付近 T.M.S.L. 約 55.00m(1台)
												216.3*2	8.2*2	SUS304TP		
												220*2	—*5	CAC406		

注記 *1：可搬型放水砲は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：可搬型放水砲寸法(公称値)：たて 3800mm 及び 3825mm, 横 2200mm, 高さ 2088mm

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

*5：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

1.3.6 水供給設備

- ・常設
 - (1) 容器

			変更前	変更後
名称			—	第1貯水槽(9913-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)
種類		—		鉄筋コンクリート貯槽
容量		m ³ /個		20000以上(20000*2) 第1貯水槽A 10000以上(10000*2) 第1貯水槽B 10000以上(10000*2)
最高使用圧力*5		MPa		静水頭
最高使用温度*5		℃		60
主要寸法	たて	mm		48000*2
	横	mm		109000*2
	深さ	mm		6750*2, 7050*2
	壁厚さ	mm		2000*2
	床厚さ	mm		3000*2
主要材料		—		鉄筋コンクリート
個数		—		1
取付箇所	系統名(ライン名)	—		第1貯水槽A (水供給設備)
	設置床	—	T.M.S.L. 約47.65m	T.M.S.L. 約47.65m
	溢水防護上の区画番号	—	—*3	—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*4	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	—

注記 *1: 第1貯水槽は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5: 重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			—	第2貯水槽(9914-V11, V12)(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	
種類		—		鉄筋コンクリート貯槽	
容量		m ³ /個		20000以上(20000*2) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 第2貯水槽 A 10000以上(10000*2) 第2貯水槽 B 10000以上(10000*2) </div>	
最高使用圧力*5		MPa		静水頭	
最高使用温度*5		℃		40	
主要寸法	たて	mm		48000*2	
	横	mm		109000*2	
	深さ	mm		6750*2, 7050*2	
	壁厚さ	mm		2000*2	
	床厚さ	mm		3000*2	
主要材料		—		鉄筋コンクリート	
個数		—		1	
取付箇所	系統名(ライン名)	—		第2貯水槽 A (水供給設備)	第2貯水槽 B (水供給設備)
	設置床	—		T. M. S. L 約 41.15m	T. M. S. L 約 41.15m
	溢水防護上の区画番号	—	—*3	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	—	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*4	—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*4	—	

注記 *1: 第2貯水槽は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*5: 重大事故等時における使用時の値を示す。

- ・可搬
 - (1) ポンプ
 - a. ポンプ

			変更前	変更後	
名称				大型移送ポンプ車(再処理施設*1, MOX 燃料加工施設と共用)	
ポンプ	種類	—		うず巻形	
	容量	m ³ /h/個		1800 以上(1800*2)	
	吐出圧力	MPa		1.19 以上(1.2*2)	
	最高使用圧力*3	MPa		1.4	
	最高使用温度*3	℃		40	
	主要寸法	吸込口径	mm		350*2
		吐出口径	mm		300*2
		たて	mm		1125*2
		横	mm		1290*2
		高さ	mm		585*2
車両全長		mm		11580*2	
車両全幅		mm		2495*2	
車両全高	mm		3520*2		
主要材料	ケーシング	—	—	ダクタイル鋳鉄	
原動機	種類	—		ディーゼル機関	
	出力	kW/個		1193	
燃料タンク	種類	—		角形	
	容量	L/個		155 以上(495*2)	
	最高使用圧力*3	MPa		静水頭	
	最高使用温度*3	℃		40	
	主要材料	—		ステンレス鋼	
個数		—		8 (予備として故障時のバックアップを4)*4*6	
取付箇所		—		保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T. M. S. L. 約 55.00m 及び T. M. S. L. 約 57.50m(4 台)	

(つづき)

		変更前	変更後
			<ul style="list-style-type: none">外部保管エリア 2 屋外エリア T. M. S. L. 約 48.50m(4 台) 取付箇所： <ul style="list-style-type: none">屋外 第 2 貯水槽付近 T. M. S. L. 約 48.50m(1 台*⁵)屋外 尾駁沼取水場所 A 付近 T. M. S. L. 約 3.00m, 屋外 尾駁沼取水場所 B 付近 T. M. S. L. 約 3.50m 又は屋外 二又川取水場所 A 付近 T. M. S. L. 約 1.50m(3 台)

- 注記 *1：大型移送ポンプ車は、再処理施設にて設備登録を行っている。
*2：公称値を示す。
*3：重大事故等時における使用時の値を示す。
*4：その他再処理設備の附属施設のうち放出抑制設備の放水設備の大型移送ポンプ車のうち 1 台を待機除外時のバックアップとして兼用し、保有数は 4 台(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを 5 台)とする。
*5：第 2 貯水槽から第 1 貯水槽へ水の補給が完了次第、敷地外水源からの水の補給分 3 台の内数として使用する。
*6：燃料タンクの個数は大型移送ポンプ車 1 台あたり 2 個。

(3) 主配管

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
			—					水供給設備	1.4*2	40*2	300A*3	—*4	ポリエステル, ポリウレタン	3548 (予備として故障時のバックアップを1774)*5	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L 約 55.00m 及び T.M.S.L. 約 57.50m(1774 本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m (1774 本) 取付箇所： ・屋外 大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近) T.M.S.L. 約 48.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L. 約 55.00m (186 本*6) ・屋外 大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場所 A 付近) T.M.S.L. 約 3.00m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L. 約 55.00m(969 本*7), 屋外 大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場所 B 付近) T.M.S.L. 約 3.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L. 約 55.00m(762 本*8) 又は屋外 大型移送ポンプ車(二又川取水場所 A 付近) T.M.S.L. 約 1.50m ~ 第1貯水槽付近 T.M.S.L. 約 55.00m(897 本*9)

注記 *1: 水供給用 3m, 5m, 50m 可搬型建屋外ホースは, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*3: メーカーにて規定する呼び径を示す。

*4: メーカー仕様によるものとし, 完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって, 使用材料の特性を踏まえた上で, 重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*5: 必要本数 1774 本(3m: 363 本, 5m: 829 本, 50m: 582 本)及びこれらと同数の予備の数量を示す。

*6: 最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近) ~ 第1貯水槽付近」に敷設した場合 (3m: 36 本, 5m: 97 本, 50m: 53 本) の数量を示す。

*7: 最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場所 A 付近) ~ 第1貯水槽付近」に敷設した場合 (3m: 225 本, 5m: 366 本, 50m: 378 本) の数量を示す。

*8: 最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(尾駁沼取水場所 B 付近) ~ 第1貯水槽付近」に敷設した場合 (3m: 90 本, 5m: 351 本, 50m: 321 本) の数量を示す。

*9: 最長の敷設ルートである「大型移送ポンプ車(二又川取水場所 A 付近) ~ 第1貯水槽付近」に敷設した場合 (3m: 66 本, 5m: 417 本, 50m: 414 本) の数量を示す。

変更前								変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
—								水供給設備	水供給用5m, 10m可搬型建屋外ホース(再処理施設*1, MOX燃料加工施設と共用)	1.4*2	40*2	250A*3	—*4	ポリエステル, ポリウレタン	128(予備として故障時のバックアップを64)*5	保管場所： ・外部保管エリア1 屋外エリア T.M.S.L. 約 55.00m 及び T.M.S.L. 約 57.50m(64本) ・外部保管エリア2 屋外エリア T.M.S.L. 約 48.50m(64本) 取付箇所： ・第2貯水槽付近 T.M.S.L. 約 48.50m ~ 屋外 大型移送ポンプ車(第2貯水槽付近) T.M.S.L. 約 48.50m(16本*6) ・屋外 尾駮沼取水場所 A 付近 T.M.S.L. 約 3.00m ~ 屋外 大型移送ポンプ車(尾駮沼取水場所 A 付近) T.M.S.L. 約 3.00m, 屋外 尾駮沼取水場所 B 付近 T.M.S.L. 約 3.50m ~ 屋外 大型移送ポンプ車(尾駮沼取水場所 B 付近) T.M.S.L. 約 3.50m 又は屋外 二又川取水場所 A 付近 T.M.S.L. 約 1.50m ~ 屋外 大型移送ポンプ車(二又川取水場所 A 付近) T.M.S.L. 約 1.50m(48本)

注記 *1 水供給用 5m, 10m 可搬型建屋外ホースは, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2 : 重大事故等時における使用時の値を示す。

*3 : メーカーにて規定する呼び径を示す。

*4 : メーカー仕様によるものとし, 完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって, 使用材料の特性を踏まえた上で, 重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

*5 : 大型移送ポンプ車 1 台あたり 16 本(5m : 8 本, 10m : 8 本)を保管する。

*6 : 第 2 貯水槽から第 1 貯水槽へ水の補給が完了次第, 敷地外水源からの水の補給分 48 本の内数として使用する。

1.3.7 緊急時対策所
1.3.7.1 緊急時対策建屋

(1) 建物・構築物
a. 建物・洞道

			変更前	変更後	
名称			—	緊急時対策建屋 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹	
種類		—		鉄筋コンクリート造	
主要寸法	たて×横			m	60.00* ² ×79.00* ²
	高さ			m	16.70* ²
	壁厚さ	東壁		m	1.20* ²
		西壁		m	1.20* ²
		南壁		m	1.20* ²
北壁		m		1.20* ²	
主要材料		—		鉄筋コンクリート* ³	
個数		—		1	
基礎	種類			—	直接基礎 (鉄筋コンクリート造)
	主要寸法	たて×横		m	6.20* ² ×79.00* ²
		高さ		m	4.50* ²
	主要材料			—	鉄筋コンクリート
	底面の標高			—	T. M. S. L. 39.00m

注記 *1: 緊急時対策建屋は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 設計図書には「鉄筋: JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に定める SD345 及び SD390, コンクリート: JASS5N の規定による普通コンクリート設計基準強度 $F_c=30\text{N/mm}^2$ 密度 $2.15 \times 10^3\text{kg/m}^3$ 以上」と記載。

b. 遮蔽設備

名 種		変 更 前		変 更 後	
		主 要 寸 法 (最小厚さ mm)	材 料	主 要 寸 法 (最小厚さ mm)	材 料
緊急時対策建屋の遮蔽設備 (再処理施設, MOX 燃料加工施設 と共用)* ¹	地上1階 (T.M.S.L. 55.30 m)	—	鉄筋コンクリート造	1190 (1200* ²)	普通コンクリート (密度 2.15 g/cm ³ 以上)
	屋上階 (T.M.S.L. 63.60 m)			990 (1000* ²)	

注記 *1: 緊急時対策建屋は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

c. 地下水排水設備

名称				変更前	変更後	
種類	シャフト部* ¹		—	—	地下水排水設備 (緊急時対策建屋周り)	
	ピット部* ¹		—		鋼製造	
	ポンプ		—		鉄筋コンクリート造	
	水位計		—		うず巻形	
ポンプ	容量		m ³ /h/個		30.4 以上 (30.4* ²)	
	揚程		m		30.2 以上 (30.2* ²)	
	最高使用圧力		MPa		0.5	
	最高使用温度		°C		40	
	主要寸法	吸込口径			mm	80* ²
		吐出口径			mm	100* ²
		外径		mm	350* ²	
		高さ		mm	791* ²	
	主要材料	ケーシング		—	FCD450	
	個数		—	4(予備 2)		
原動機	種類		—	誘導電動機		
	出力		kW/個	5.5		
	個数		—	4(予備 2)		
水位計	計測範囲		—	+230~+1200 mm* ³		
	警報動作範囲		—	—		
	個数		—	10		
排水配管	最高使用圧力		MPa	0.98		
	最高使用温度		°C	40		
	主要寸法	外径		mm	100* ²	
		厚さ		mm	6.0* ²	
	主要材料		—	SUS304		
取付箇所	系統名(ライン名)		—	—		
	設置床	ピット* ⁴	—	AZ No.1 ピット (南西側) T. M. S. L 46.900 m G13 No.2 ピット (南東側) G13 No.3 ピット (北東側) G13 No.4 ピット (北西側) T. M. S. L 44.100 m G15AB No.1 ピット (南西側) G15AB No.2 ピット (南東側) G15AB No.4 ピット (北西側) T. M. S. L 46.900 m G15CD No.2 ピット (南東側) T. M. S. L 46.900 m G17 No.1 ピット (南西側) G17 No.2 ピット (南東側) G17 No.3 ピット		

				(北東側) T. M. S. L 47.600 m
		ポンプ	—	AZ No. 2 ピット内 (北東側)*5
		水位計	—	AZ No. 3 ピット内 (南東側)*6 T. M. S. L 40.45 m
	溢水防護上の区画番号		—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—*7
	化学薬品防護上の区画番号		—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—*8

注記 *1: シャフト部及びピット部は、耐震性を有するポンプ、水位計を設置するピットと当該ピットに集水するための流路を形成するピット（流路確保ピット）を指す。

*2: 公称値を示す。

*3: 水位検出器の高さは、設置床からの高さを示す。

*4: ピットは、流路確保ピットを指す。

*5: 対象機器は、2146-P021, 2146-P022。対象計器は、2146-LE-02-1, 2146-LE-02-2, 2146-LE-02-3, 2146-LE-02-4, 2146-LE-02-5。

*6: 対象機器は、2146-P031, 2146-P032。対象計器は、2146-LE-03-1, 2146-LE-03-2, 2146-LE-03-3, 2146-LE-03-4, 2146-LE-03-5。

*7: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*8: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

1.3.7.2 緊急時対策建屋換気設備

- ・常設
- (1) 容器

			変更前	変更後
名称			—	緊急時対策建屋加圧ユニット (空気ボンベ) (再処理施設, MOX燃料加工施設 と共用)* ¹
種類	—	一般継目なし容器		
容量	L/個	50以上 (50* ²)		
最高使用圧力	MPa	19.6		
最高使用温度	℃	40		
主 要 寸 法	外径	mm		232* ²
	高さ	mm		1460* ²
	胴部厚さ	mm		5.6 (5.6* ²)
	底部厚さ	mm		11.2 (11.2* ²)
主要材料	—	クロムモリブデン鋼		
個数	—	824 (予備221)		
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—		緊急時対策建屋換気設備
	設置床	—		AZ-W0131 T.M.S.L. 46.80m
	溢水防護上の区画番号	—		—* ³
	溢水防護上の配慮が必 要な高さ	—	—* ³	
	化学薬品防護上の区画 番号	—	—* ⁴	
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	—	—* ⁴	

注記 *1: 緊急時対策建屋加圧ユニット (空気ボンベ) は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(2) ファン

			変更前	変更後		
名称				緊急時対策建屋送風機 (2146-K521~K524) (再処理施設, MOX燃料加工 施設と共用)* ¹		
送 風 機	種類		—	遠心式		
	容量		m ³ /h/個	■■■■■■■■■■		
	主要寸法	吸込口径	mm	—	1143* ²	
		吐出口径	mm	—	988×888* ²	
		たて	mm	—	2567* ²	
		横	mm	—	3790* ²	
		高さ	mm	—	2830* ²	
	主要材料	ケーシング	—	—	SS400	
	個数		—	—	4(予備2)	
	取付箇所	系統名(ライン名)		—	緊急時対策建屋換気設備	
		設置床		—	AZ-W0329 T. M. S. L. 55. 30m	
		溢水防護上の 区画番号		—	—	AZ-3-29
		溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—	—	T. M. S. L. 56. 88m以上
化学薬品防護上の 区画番号		—	—* ³	—		
化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ		—	—* ³	—		
原 動 機	種類		—	誘導電動機		
	出力		kW/個	—	132* ²	
	個数		—	—	4(予備2)	
	取付箇所		—	—	送風機と同じ	
設計上の空気の流入率		回/h	—* ⁴	—		

注記 *1: 緊急時対策建屋送風機(2146-K521~K524)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

(つづき)

*2：公称値を示す。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*4：正圧管理

(3) フィルタ

			変更前	変更後
名称				緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501~F506) (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用) *1
種類		—		高性能粒子フィルタ 2段内蔵形
容量		m ³ /h/個		■■■■■■■■■■
最高使用圧力		MPa		0.0051
最高使用温度		℃		40
効率	単品	%		99.97以上*1(0.15 μmDOP粒子)*2
	総合	%		99.99以上*1(0.3 μmDOP粒子)*2
主要寸法	吸込口径	mm	—	900×900*2
	吐出口径	mm		900×900*2
	全長	mm		4300*2
	全幅	mm		2250*2
	全高	mm		2375*2
	厚さ	mm		■■■
主要材料	ケーシング	—		SUS304
	ろ材	—		グラスファイバー
個数		—		6(予備1)
取付箇所	系統名(ライン名)	—		緊急時対策建屋換気設備
	設置床	—		AZ-W0319 T. M. S. L. 55.30m
	溢水防護上の 区画番号	—	—	AZ-3-19
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 55.63m以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*3	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3	—

(つづき)

注記 *1: 緊急時対策建屋フィルタユニット(2146-F501~F506)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(4) 主要弁

			変更前	変更後
名称			-	主要弁 (2146-W9201, W9202) (再処理施設, MOX燃料加工施設 と共用)* ¹
種類		-		減圧弁
最高使用圧力* ⁴		MPa		- (22.0)* ⁵
最高使用温度* ⁴		℃		50
主要寸法	呼び径	-		40A
	弁箱厚さ	mm		21.6以上
主要材料	弁箱	-		SUS304
個数		-		2
取付箇所	系統名(ライン名)	-		緊急時対策建屋換気設備
	設置床	-		AZ-W0125 T. M. S. L. 46. 80m
	溢水防護上の区画番号	-	- * ²	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	- * ²	
	化学薬品防護上の区画番号	-	- * ³	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	-	- * ³	

注記 *1: 主要弁(2146-W9201, W9202)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*5: 当該設備は, その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため, 最高使用圧力を設定しないが, ここでは, 接続配管の最高使用圧力を()内に示す。

		変更前	変更後	
名称		—	主要弁 (2146-W9203, W9204) (再処理施設, MOX燃料加工施設 と共用)* ¹	
種類			—	減圧弁
最高使用圧力* ⁴			MPa	— (0.97* ⁵)
最高使用温度* ⁴			℃	50
主要寸法	呼び径		—	40A
	弁箱厚さ		mm	21.6以上
主要材料	弁箱		—	SUS304
個数			—	2
取付箇所	系統名(ライン名)		—	緊急時対策建屋換気設備
	設置床		—	AZ-W0125 T. M. S. L. 46. 80m
	溢水防護上の区画番号	—	—* ²	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ²	
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ³	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ³	

注記 *1: 主要弁(2146-W9203, W9204)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 溢水防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 重大事故等時における使用時の値を示す。

*5: 当該設備は, その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため, 最高使用圧力を設定しないが, ここでは, 接続配管の最高使用圧力を()内に示す。

(5) 主配管

変更前						変更後										
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料					
-						緊急時対策建屋換気設備					緊急時対策建屋加圧ユニット 空気ボンベラック (2146-X7001, X7002, X7011~X7014, X7021~X7026, X7031~X7036, X7041~X7044, X7051~X7054, X7061~X7066, X7071~X7075, X7081~X7085, X7091~X7095, X7101~X7103, X7111~X7113, X7121~X7125, X7131~X7135, X7141~X7143, X7151~X7153, X7161~X7165, X7171~X7173)	22*3	50*3	27.2	5.5	SUS304TP
											待機室(W0125) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.97*3	50*3	48.6	7.1	SUS304TP
											待機室(W0125)排気口 ~ 緊急時対策建屋排風機出口ダクト/緊急時対策建屋加圧ユニット配管合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.01*3	50*3	48.6	3.0	SUS304TP
											待機室(W0125)	0.97*3	50*3	60.5	3.5	SUS304TP
											待機室(W0125)排気口 ~ 緊急時対策建屋排風機出口ダクト/緊急時対策建屋加圧ユニット配管合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.01*3	50*3	114.3	6.0	STPG370
											待機室(W0125)	0.97*3	50*3	216.3	7.0	STPG370

注記 *1: 主配管は, 再処理施設にて設備登録を行っている。
 *2: 主要寸法は, 設工認申請書記載の公称値を示す。
 *3: 重大事故等時における使用時の値。

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
-						緊急時対策建屋換気設備	建屋給気チャンバー室 (W0320) ～ 緊急時対策建屋フィルタユニット入口ダクト合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.004*3 (外圧)	40*3	1506.4 ×	3.2	SS400
										2206.4		
							緊急時対策建屋フィルタユニット入口ダクト合流点 ～ 緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0075*3 (外圧)	40*3	1706.4 ×	3.2	SS400
										1706.4		
							緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) ～ 緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) ト出口ダクト合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0075*3 (外圧)	40*3	1506.4 ×	3.2	SS400
										2206.4		
							緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) ～ 緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) ト出口ダクト合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0075*3 (外圧)	40*3	906.4 ×	3.2	SS400
										906.4		
							緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) ～ 緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) ト出口ダクト合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0075*3 (外圧)	40*3	1506.4 ×	3.2	SS400
										2206.4		
							緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) ～ 緊急時対策建屋フィルタユニット (2146-F501～F506) ト出口ダクト合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0075*3 (外圧)	40*3	1806.4 ×	3.2	SS400
										1806.4		

防災 A

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
-						緊急時対策建屋換気設備	緊急時対策建屋フィルタユニット出口ダクト合流点 ～ 緊急時対策建屋送風機 (2146-K521～K524) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0075*3 (外圧)	40*3	1306.4	3.2	SS400
										×		
										1306.4	3.2	SS400
										1506.4		
										×	3.2	SS400
										2206.4		
										1806.4	3.2	SS400
										×		
										1806.4	3.2	SS400
										1306.4		
×	1.6	SS400										
1306.4												
1303.2	1.6	SS400										
×												
1303.2	2.3	SS400										
1504.6												
×	1.6	SS400										
2204.6												
403.2	1.6	SS400										
×												
653.2	1.6	SS400										
653.2												
703.2	1.6	SS400										
×												
1403.2	1.6	SS400										
×												

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
-						緊急時対策建屋換気設備	(前頁からの続き)	0.0015*3	40*3	753.2 ×	1.6	SS400
										753.2		
										1103.2 ×	1.6	SS400
										1103.2		
										1504.6 ×	2.3	SS400
										1504.6		
						対策本部室(W0147) ～ 緊急時対策建屋排風機入口ダクト分岐点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0005*3 (外圧)	40*3	753.2 ×	1.6	SS400	
									753.2			
									803.2 ×	1.6	SS400	
									803.2			
									903.2 ×	1.6	SS400	
									903.2			
0.0015*3 (外圧)	40*3	903.2 ×	1.6	SS400								
		903.2										
		1504.6 ×	2.3	SS400								
1504.6												
1504.6 ×	2.3	SS400										
2004.6												

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
—						緊急時対策建屋換気設備	緊急時対策建屋排風機入口ダクト分岐点 ～ 緊急時対策建屋排風機 (2146-K531～K534) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0015*3 (外圧)	40*3	1504.6 × 2004.6	2.3	SS400
								0.004*3 (外圧)	40*3	1306.4 × 1306.4	3.2	SS400
							1506.4 × 2006.4			3.2	SS400	
							緊急時対策建屋排風機 (2146-K531～K534) ～ 緊急時対策建屋排風機出口ダクト/緊急時対策建屋加圧ユニット配管合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.004*3	40*3	1506.4 × 2206.4	3.2	SS400
										1306.4 × 1306.4	3.2	SS400
							緊急時対策建屋排風機出口ダクト/緊急時対策建屋加圧ユニット配管合流点 ～ 建屋排気チャンバー室(W0334) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.004*3	40*3	1806.4 × 1806.4	3.2	SS400
										1506.4 × 2206.4	3.2	SS400

(つづき)

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
—						緊急時対策建屋換気設備	緊急時対策建屋排風機入口ダクト分岐点 ～ 緊急時対策建屋フィルタユニット入口ダクト合流点及び緊急時対策建屋フィルタユニット出口ダクト合流点 (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.0015*3 (外圧)	40*3	1303.2 ×	1.6	SS400
										1303.2 ×		
							1504.6 ×	2.3	SS400			
2004.6												
							0.0075*3 (外圧)	40*3	1306.4 ×	3.2	SS400	

注記 *1：主配管は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：主要寸法は，設工認申請書記載の公称値を示す。

*3：重大事故等時における使用時の値。

(6) 計装/放管設備

		変更前	変更後	
名称		—	対策本部室差圧計 (2146-PDI-100-1) (再処理施設, MOX燃料加工施設 と共用)* ¹	
検出器の種類	—		機械式	
計測範囲	kPa		-0.5~0.5	
警報動作範囲	—		—	
個数	—		1	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	緊急時対策建屋 建屋換気設備
	設置床		—	AZ-W0147 T. M. S. L. 46.80m
	溢水防護上の 区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	
	化学薬品防護上の区画 番号	—	—* ²	
	化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	—	—* ²	

注記 *1: 対策本部室差圧計(2146-PDI-100-1)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後	
名称		—	待機室差圧計 (2146-PDI-101-1) (再処理施設, MOX燃料加工施設 と共用)* ¹	
検出器の種類	—		機械式	
計測範囲	kPa		-0.5~0.5	
警報動作範囲	—		—	
個数	—		1	
取 付 箇 所	系統名(ライン名)		—	緊急時対策建屋 建屋換気設備
	設置床		—	AZ-W0125 T. M. S. L. 46. 80m
	溢水防護上の 区画番号	—	—	AZ-1-25
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 48. 06m以上
	化学薬品防護上の区画 番号	—	—* ²	—
化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ	—	—* ²	—	

注記 *1 : 待機室差圧計(2146-PDI-101-1)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

1.3.7.3 緊急時対策建屋放射線計測設備

- ・可搬
(1) 発電機

			変更前	変更後	
名称				可搬型発電機 (再処理施設、MOX 燃料加工施設と供用) *1	
発電機	種類	—		回転界磁形同期発電機	
	容量	kVA/個		3.1	
	主要寸法	たて	mm		870*2
		横	mm		585*2
		高さ	mm		857*2
	力率	%		100	
	電圧	V		100	
	相	—		単相	
	周波数	Hz		50	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	結線法	—		星型	
	冷却法	—		自由通風	
機関	種類	—		4 サイクル水冷直列立形過流室式 ディーゼルエンジン	
	出力	kW/個		5.5	
	回転速度	min ⁻¹		3000	
	燃料	種類	—		軽油
		使用量	l/h/個		1.4
燃料タンク	種類	—		鋼板溶接製箱形	
	容量	L/個		10 以上 (15*2)	
	最高使用圧力	MPa		静水頭	
	最高使用温度	°C		40	
	主要材料	—		SECC	
個数	—			3(予備として故障時及び待機除外時のバックアップを 2) *3	

(つづき)

		変更前	変更後
取付箇所	—		保管場所： ・第1保管庫・貯水所内 G13-W0118 T.M.S.L. 55.15m (1個) ・第2保管庫・貯水所内 G14-W0114 T.M.S.L. 48.65m (2個) 取付箇所： 緊急時対策所近傍(1個) T.M.S.L. 約 55.00m (監視は緊急時対策所)

注記 *1：可搬型発電機は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：機関及び燃料タンクについては、可搬型発電機1個当たり1個である。

(2) 計装/放管設備

		変更前	変更後
名称		—	可搬型エリアモニタ (再処理施設、MOX 燃料加工施設と共用) *1
検出器の種類	—	—	半導体検出器
計測範囲	mSv/h	—	0.001～99.99
個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを1台)
取付箇所	設置床	—	保管場所： ・緊急時対策建屋内 AZ-W139 T. M. S. L. 46.80m (1 台) ・第1保管庫・貯水所 G13-W0118 T. M. S. L. 55.15m (1 台) 取付箇所： AZ-W147 T. M. S. L. 約 46.80m (1 台) [監視は緊急時対策所]

注記 *1：可搬型エリアモニタは、再処理施設にて設備登録を行っている。

		変更前	変更後	
名称		—	アルファ・ベータ線用サーベイメータ (再処理施設、MOX 燃料加工施設と共用) *1	
検出器の種類	—	—	ZnS (Ag) シンチレー ション式検出器	プラスチックシンチ レーション式検出器
計測範囲	min ⁻¹	—	アルファ線： B. G～100k	ベータ線： B. G～300k
個数		—	2(予備として故障時のバックアップを 1 台)	
取付箇所	設置床	—	保管場所： ・緊急時対策建屋内 AZ-W139 T. M. S. L. 46. 80m (1 台) ・第 1 保管庫・貯水所内 G13-W0118 T. M. S. L. 55. 15m (1 台) 取付箇所： AZ-W147 T. M. S. L. 約 46. 80m (1 台) (監視は緊急時対策所)	

注記 *1：アルファ・ベータ線用サーベイメータは、再処理施設にて設備登録を行っている。

		変更前	変更後	
名称		—	可搬型線量率計 (再処理施設、MOX燃料加工施設と共用) *1	
検出器の種類	—	—	NaI (Tl) シンチ レーション式検出器	半導体式検出器
計測範囲	mSv/h 又は mGy/h	—	B. G. ~1000	
個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップとして1台)	
取付箇所	設置床	—	保管場所： ・第1保管庫・貯水所内 G13-W0118 T.M.S.L. 55.15m (1台) ・第2保管庫・貯水所内 G14-W0114 T.M.S.L. 48.65m (1台) 取付箇所： 緊急時対策建屋近傍 T.M.S.L. 約 55.00m (1台) (監視は緊急時対策所)	

注記 *1：可搬型線量率計は、再処理施設にて設備登録を行っている。

		変更前	変更後	
名称		—	可搬型ダストモニタ (再処理施設、MOX 燃料加工施設と共用) *1	
検出器の種類	—	—	ZnS (Ag) シンチレーション式検出器	プラスチックシンチレーション式検出器
計測範囲	min ⁻¹	—	B. G. ～99. 9k	
個数	—	—	2(予備として故障時のバックアップを 1 台)	
取付箇所	設置床	—	保管場所： ・第 1 保管庫・貯水所内 G13-W0118 T. M. S. L. 55. 15m (1 台) ・第 2 保管庫・貯水所内 G14-W0114 T. M. S. L. 48. 65m (1 台) 取付箇所： 緊急時対策建屋近傍 T. M. S. L. 約 55. 00m (1 台) (監視は緊急時対策所)	

注記 *1：可搬型ダストモニタは、再処理施設にて設備登録を行っている。

1.3.7.4 緊急時対策建屋電源設備

・常設

(1) 容器

			変更前	変更後
名称				燃料油サービスタンク (2146-V21, V23) (再処理施設, MOX燃料加工施設 と共用)* ¹
種類		—		たて置円筒形
容量		m ³ /個		0.65以上(0.65* ²)
最高使用圧力* ⁴		MPa		静水頭
最高使用温度* ⁴		℃		45
主要寸法	胴内径	mm	—	960* ²
	胴板厚さ	mm		3.4(4.5* ²)
	平板厚さ	mm		8.0(9.0* ²)
	屋根板厚さ	mm		3.4(4.5* ²)
	入口管台外径	mm		48.6* ²
	入口管台厚さ	mm		4.0(5.1* ²)
	出口管台外径	mm		27.2* ²
	出口管台厚さ	mm		2.9(3.9* ²)
	高さ	mm		1140* ²
主要材料	胴板	—		SM400B
	屋根板	—		SM400B
	平板	—		SM400B
個数		—		2(予備1)

(つづき)

			変更前	変更後	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	—	緊急時対策建 屋電源設備 燃料油サービ スタックA	緊急時対策建 屋電源設備 燃料油サービ スタックB
	設置床	—		AZ-W0332 T. M. S. L. 55. 30 m	AZ-W0333 T. M. S. L. 55. 30 m
	溢水防護上の区画番号	—	—	AZ-2-32	AZ-2-33
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 55. 084m以上	T. M. S. L. 55. 084m以上
	化学薬品防護上の 区画番号	—	—*3	—	—
	化学薬品防護上の 配慮が必要な高さ	—	—*3	—	—

注記 *1: 燃料油サービスタンク(2146-V21, V23)は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4: 重大事故等時における使用時の値を示す。

			変更前	変更後	
名称			—	重油貯槽 (9917-V11, V12) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)* ¹	
種類		—		横置円筒形	
容量* ⁵		m ³ /個		70以上(100* ²)	
最高使用圧力* ⁵		MPa		静水頭	
最高使用温度* ⁵		℃		40	
主要寸法	胴内径			mm	3200* ²
	胴板厚さ			mm	11.2(12.0* ²)
	鏡板厚さ			mm	10.0(12.0* ²)
	燃料油取り出し口管台 外径			mm	60.5(60.5* ²)
	燃料油取り出し口管台 厚さ			mm	3.9* ²
	全長			mm	14066* ²
主要材料	胴板			—	SS400
	鏡板			—	SS400
個数		—		2	
取付箇所	系統名(ライン名)			—	緊急時対策建屋 電源設備 重油貯槽A
	設置床			—	緊急時対策建屋 電源設備 重油貯槽B
	溢水防護上の区画番号			—	—* ³
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—* ³	—
	化学薬品防護上の区画番号		—	—* ⁴	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—* ⁴	—

(つづき)

注記 *1：重油貯槽(9917-V11, V12)は，再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：溢水防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*4：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

*5：重大事故等時における使用時の値を示す。

(2) ポンプ

a. ポンプ

			変更前	変更後		
名称			-	燃料油移送ポンプ (2146-P1111, P1112, P1211, P1212) (再処理施設, MOX燃料加工施設 と共用)*1		
ポンプ	種類	-		歯車式		
	容量	m ³ /h/個		■■■■■■■■■■		
	揚程	m		■■■■■■■■■■		
	吐出圧力	MPa		0.3以上(0.3*2)		
	最高使用圧力*4	MPa		0.5		
	最高使用温度*4	℃		45		
	主要寸法	吸込口径		mm	40*2	
		吐出口径		mm	40*2	
		たて		mm	190*2	
		横		mm	546.5*2	
高さ	mm	317*2				
主要材料	ケーシング	-		FC250		
個数		-		4(予備3)		
取付箇所	系統名(ライン名)	-		緊急時対策建屋電源設備 燃料油移送ポンプA-1, A-2	緊急時対策建屋電源設備 燃料油移送ポンプB-1, B-2	
	設置床	-		AZ-W0332 T. M. S. L. 55.30 m	AZ-W0333 T. M. S. L. 55.30 m	
	溢水防護上の区画番号	-		-	AZ-3-32	AZ-3-33
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	-	T. M. S. L. 55.084m以上	T. M. S. L. 55.084m以上	

防災 A

(つづき)

				変更前	変更後	
		化学薬品防護上の 区画番号	—	—*3	—	—
		化学薬品防護上の 区画番号	—	—*3	—	—
原 動 機	種類		—	—	誘導電動機	
	出力		kW/個		1.5*2	
	個数		—		4(予備3)	
	取付箇所		—		ポンプと同じ	

注記 *1：燃料油移送ポンプ(2146-P1111, P1112, P1211, P1212)は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：重大事故等時における使用時の値を示す。

(つづき)

注記 *1: 第1, 第2発電機室送風機(2146-K541, K542)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

(4) 主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
—						緊急時対策建屋電源設備	重油貯槽(9917-V11) ～ 燃料油移送ポンプ (2146-P1111, P1112) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.097*3 (外圧)	40*3	60.5	3.9	STPG370
								静水頭*3	45*3	60.5	5.5	STPG370
								0.097*3 (外圧)	45*3	60.5	5.5	STPG370
								0.5*3	45*3	48.6	5.1	STPG370
										60.5	5.5	STPG370
							燃料油移送ポンプ (2146-P1111, P1112) ～ 燃料油サービスタンク (2146-V21) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.5*3	45*3	48.6	5.1	STPG370

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
						燃料油サービスタンク (2146-V21) ～ 緊急時対策建屋用発電機 (ディーゼル機関) (2146-X31), 緊急時対策建屋用発電機 (発電機) (2146-X32) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	静水頭*3	45*3	27.2	3.9	STPG370
						緊急時対策建屋電源設備	0.097*3 (外圧)	40*3	60.5	3.9	STPG370
					重油貯槽 (9917-V12) ～ 燃料油移送ポンプ (2146-P1211, P1212) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1		静水頭*3	45*3	60.5	5.5	STPG370
					0.097*3 (外圧)		45*3	60.5	5.5	STPG370	
					0.5*3		45*3	48.6	5.1	STPG370	
								60.5	5.5	STPG370	

(つづき)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料
						燃料油移送ポンプ (2146-P1211, P1212) ～ 燃料油サービスタンク (2146-V23) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.5*3	45*3	48.6	5.1	STPG370
						燃料油サービスタンク (2146-V23) ～ 緊急時対策建屋用発電機 (ディーゼル機関)(2146-X33), 緊急時対策建屋用 発電機(発電機)(2146-X34) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	静水頭*3	45*3	27.2	3.9	STPG370

注記 *1: 主配管は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 主要寸法は, 設工認記載の公称値を示す。

*3: 重大事故等時における使用時の値。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*2 (mm)	厚さ*2 (mm)	主要材料	
-						緊急時対策建屋電源設備	発電機給気チャンバー室(W0403) ～ 第1発電機室送風機(2146-K541) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.004*3 (外圧)	45*3	1406.4 × 1756.4	3.2	SS400
										1556.4 × 1956.4	3.2	SS400
										1756.4 × 1956.4	3.2	SS400
										1106.4 × 2056.4	3.2	SS400
										1106.4 × 2256.4	3.2	SS400
										1406.4 × 1756.4	3.2	SS400
						発電機給気チャンバー室(W0403) ～ 第2発電機室送風機(2146-K542) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	0.004*3 (外圧)	45*3	1556.4 × 2056.4	3.2	SS400	
									1756.4 × 2256.4	3.2	SS400	

注記 *1: 主配管は, 再処理施設にて新規登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 重大事故等時における使用時の値。

(5) 発電機

				変更前	変更後		
名称				—	緊急時対策建屋用発電機 (発電機) (2146-X32, X34) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用) *1		
発電機	種類		—		三相同期発電機		
	容量		kVA/個		1705		
	主要 寸法	た て			mm	2680*2	
		横			mm	2080*2	
		高 さ			mm	1650*2	
	力率		—		0.8		
	電圧		V		6600		
	相		—		3		
	周波数		Hz		50		
	回転数		min ⁻¹		1500		
	結線法		—		星形		
	冷却法		—		IC01		
	個数		—		2(予備1)		
取付 箇所	系統名(ライン名)		—		緊急時対策建屋電 源設備 緊急時対策建屋用 発電機(発電機)A	緊急時対策建屋電 源設備 緊急時対策建屋用 発電機(発電機)B	
	設置床		—	AZ-W0332 T. M. S. L. 55. 30m	AZ-W0333 T. M. S. L. 55. 30m		
	溢水防護上 の区画番号		—	—	AZ-3-32	AZ-3-33	
	溢水防護上の配慮 が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. 55. 084m以上	T. M. S. L. 55. 084m以上	
	化学薬品防護上 の区画番号		—	—*3	—		
化学薬品防護上の配慮 が必要な高さ		—	—*3	—			

(つづき)

			変更前	変更後
内燃 機関	名称			緊急時対策建屋用発電機 (ディーゼル機関) (2146-X31, X33) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)
	エン ジン	種類	—	4サイクルV型16気筒 ディーゼル機関
		出力	kW/個	1456
		回転数	min ⁻¹	1500
		個数	—	2(予備1)
	燃料	種類	—	A重油
		使用量	L/h	■ (定格出力時)
	過給機	種類	—	排気タービン式
		出口の圧力	MPa	0.19
		回転数	min ⁻¹	72000
		個数	—	8(機関1台につき4)
	調速 装置	種類	—	電気式
		個数	—	2(機関1台につき1)
	非常 調速 装置	種類	—	電気式
個数		—	2(機関1台につき1)	
取付箇所		—	(常設)機関	

注記 *1: 緊急時対策建屋用発電機(発電機) (2146-X32, X34), 緊急時対策建屋用発電機
(ディーゼル機関) (2146-X31, X33)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(6) 電源盤

			変更前	変更後	
名称		—	—	6.9kVメタクラ (AZ-M/C-A, B) (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)* ¹	
電圧		V		7200	
電流		A		1200	
主要寸法	幅	mm		8800* ²	
	奥行	mm		1500* ²	
	高さ	mm		2100* ²	
個数		—		2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		緊急時対策建屋 電源設備 6.9kVメタクラA	緊急時対策建屋 電源設備 6.9kVメタクラB
	設置床	—		AZ-W0303 T. M. S. L. 55. 30m	AZ-W0304 T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号	—		—	AZ-3-03
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 56. 14m 以上	T. M. S. L. 56. 14m 以上
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ³	—	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ³	—	—

注記 *1: 6.9kVメタクラ (AZ-M/C-A, B) は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後			
名称		—	460Vパワーセンタ (AZ-P/C-A1, A2, B1, B2) (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1			
電圧		V	460			
電流		A	1600*4			
			3000*5			
主要寸法	幅	mm	5900*2*4			
	奥行	mm	6800*2*5			
	高さ	mm	2000*2			
			2300*2*4*5 (受電盤, 母連盤, 饋電盤)			
			2500*2*4 (動変盤)			
			2700*2*5 (動変盤)			
個数		—	4(予備2)			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	緊急 時対 策建 屋電 源設 備460 Vパワ ーセ ンタA 1	緊急 時対 策建 屋電 源設 備460 Vパワ ーセ ンタB 1	緊急 時対 策建 屋電 源設 備460 Vパワ ーセ ンタA 2	緊急 時対 策建 屋電 源設 備460 Vパワ ーセ ンタB 2
	設置床	—	AZ- W0103 T.M. S.L. 4 6.80m	AZ- W0104 T.M. S.L. 4 6.80m	AZ- W0303 T.M. S.L. 5 5.30m	AZ- W0304 T.M. S.L. 5 5.30m
	溢水防護上の区画番号	—	—	AZ-1- 03	AZ-1- 04	AZ-2- 03

(つづき)

			変更前	変更後			
取 付 箇 所	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 4 8. 90m 以上	T. M. S. L. 4 8. 90m 以上	T. M. S. L. 5 6. 14m 以上	T. M. S. L. 5 6. 14m 以上
	化学薬品防護上の区画番号	—	—*2	—		—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—*2	—		—	

注記 *1：460Vパワーセンタ(AZ-P/C-A1, A2, B1, B2)は、再処理施設にて設備登録を行っている。

*2：公称値を示す。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

*4：AZ-P/C-A1及びB1を示す。

*5：AZ-P/C-A2及びB2を示す。

		変更前	変更後	
名称		—	105V対策本部室分電盤 (AZ-ACD-N13) (再処理施設, MOX燃料加工施設 と共用)* ¹	
電圧		V	105	
電流		A	250	
主要寸法	幅	mm	600* ²	
	奥行	mm	250* ²	
	高さ	mm	2000* ²	
個数		—	1	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	緊急時対策建屋電源設備	
	設置床	—	AZ-W0147 T. M. S. L. 46. 80m	
	溢水防護上の区画番号	—	—	AZ-1-47
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 46. 92m
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ³	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ³	—

注記 *1 : 105V対策本部室分電盤 (AZ-ACD-N13) は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

		変更前	変更後				
名称		—	460Vコントロールセンタ (AZ-MCC-A1, A2, B1, B2) (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)* ¹				
電圧		V	460				
電流		A	800				
主要寸法	幅	mm	3200* ² * ⁴				
	奥行	mm	4800* ² * ⁵				
	高さ	mm	800* ²				
個数		—	2300* ²				
		—	4(予備2)				
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	緊急 時対 策建 屋電 源設 備460 Vコン トロ ール セン タA1	緊急 時対 策建 屋電 源設 備460 Vコン トロ ール セン タB1	緊急 時対 策建 屋電 源設 備460 Vコン トロ ール セン タA2	緊急 時対 策建 屋電 源設 備460 Vコン トロ ール セン タB2	
	設置床	—	AZ- W0103 T. M. S. L. 4 6. 80m	AZ- W0104 T. M. S. L. 4 6. 80m	AZ- W0303 T. M. S. L. 5 5. 30m	AZ- W0304 T. M. S. L. 5 5. 30m	
	溢水防護上の区画番号	—	—	AZ-1-03		AZ-1-04	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 4 8. 90m 以上	T. M. S. L. 4 8. 90m 以上	T. M. S. L. 5 6. 14m 以上	T. M. S. L. 5 6. 14m 以上
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ³	—		—	
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ³	—		—	

(つづき)

注記 *1: 460Vコントロールセンタ(AZ-MCC-A1, A2, B1, B2)は, 再処理施設にて設備登録
を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「-」とする。

*4: AZ-MCC-A1及びB1を示す。

*5: AZ-MCC-A2及びB2を示す。

(7) 無停電電源装置

				変更前	変更後	
名称			—	—	105V無停電電源装置 (AZ-UPS-A1, B1) (AZ-MCC-A1, A2, B1, B2) (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)*1	
種類			—		静止形定電圧 定周波数電源装置	
容量	インバータ盤		kVA/台		30	
電圧	入力	交流	V		440	
		直流	V		110	
	出力	交流	V		105	
周波数			Hz		50	
主要寸法	幅		mm		1400*2 (整流器盤)	
	奥行		mm		1600*2 (インバータ盤)	
	高さ		mm		800*2 (予備変圧器盤)	
	高さ		mm		1800*2	
高さ			mm		2350*2	
個数			—		2(予備1)	
取付箇所	系統名(ライン名)		—		緊急時対策建屋 電源設備 105V無停電電源 装置A1	緊急時対策建屋 電源設備 105V無停電電源 装置B1
	設置床		—	AZ-W0150 T. M. S. L. 46. 80m	AZ-W0151 T. M. S. L. 46. 80m	
	溢水防護上の区画番号		—	—	AZ-1-50	AZ-1-51
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	—	T. M. S. L. 47. 34m 以上	T. M. S. L. 47. 34m 以上
	化学薬品防護上の区画番号		—	—*3	—	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ		—	—*3	—	—

注記 *1: 105V無停電電源装置(AZ-UPS-A1, B1)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

(つづき)

*2：公称値を示す。

*3：化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「－」とする。

			変更前	変更後	
名称		—	—	105V無停電分電盤 (AZ-UPD-A12, B12) (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)* ¹	
電圧		V		105	
電流		A		400	
主要寸法	幅	mm		600* ²	
	奥行	mm		250* ²	
	高さ	mm		2000* ²	
個数		—		2	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—	緊急時対策建屋 電源設備 105V無停電分電 盤A12	緊急時対策建屋 電源設備 105V無停電分電 盤B12	
	設置床	—	AZ-W0150 T. M. S. L. 46. 80m	AZ-W0151 T. M. S. L. 46. 80m	
	溢水防護上の区画番号	—	—	AZ-1-50 AZ-1-51	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 47. 34m 以上	T. M. S. L. 47. 34m 以上
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ³	—	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な 高さ	—	—* ³	—	—

注記 *1: 105V無停電分電盤 (AZ-UPD-A12, B12) は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

(8) 電力貯蔵装置

a. 蓄電池

			変更前	変更後	
名称		—	—	110V蓄電池 (AZ-BAT-A1, B1) (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)* ¹	
種類		—		制御弁式据置鉛蓄電池	
容量		Ah		1000 (10時間率)	
電圧		V		110	
主要寸法	たて	mm		3600* ²	
	横	mm		1800* ²	
	高さ	mm		1950* ²	
個数		—		2 (予備1)	
取 付 箇 所	系統名 (ライン名)	—		緊急時対策建屋 電源設備 110V蓄電池A1	緊急時対策建屋 電源設備 110V蓄電池B1
	設置床	—		AZ-W0150 T. M. S. L. 46. 80m	AZ-W0151 T. M. S. L. 46. 80m
	溢水防護上の区画番号	—	—	AZ-1-50 AZ-1-51	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 47. 34m 以上	T. M. S. L. 47. 34m 以上
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ³	—	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ³	—	—

注記 *1 : 110V蓄電池 (AZ-BAT-A1, B1)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

			変更前	変更後	
名称			—	DG始動用蓄電池 (AZ-BAT-DGA, DGB) (再処理施設, MOX燃料加工施設と共用)*1	
種類		—		■■■■■■■■■■	
容量		Ah		■■■■■■■■	
電圧		V		■■■■■■■■	
主要寸法	たて	mm		■■■■	
	横	mm		■■■■	
	高さ	mm		■■■■	
個数		組		2(予備1)(1組当たり12セル)	
取 付 箇 所	システム名(ライン名)	—		緊急時対策建屋 電源設備 DGA始動用 蓄電池	緊急時対策建屋 電源設備 DGB始動用 蓄電池
	設置床	—		AZ-W0322 T. M. S. L. 55. 30m	AZ-W0324 T. M. S. L. 55. 30m
	溢水防護上の区画番号	—	—	AZ-3-22 AZ-3-24	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 55. 706m 以上	T. M. S. L. 55. 706m 以上
	化学薬品防護上の区画番 号	—	— *3	—	—
	化学薬品護上の配慮が 必要な高さ	—	— *3	—	—

注記 *1: DG始動用蓄電池(AZ-BAT-DGA, DGB)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

b. 充電器盤

			変更前	変更後	
名称		—	—	110V充電器盤 (AZ-CHG-A1, B1) (再処理施設, MOX燃料加工施設と 共用)* ¹	
種類		—		サイリスタ整流器	
交流入力	相	—		3	
	周波数	Hz		50	
	電圧	V		440	
直流出力	電圧	V		120.5	
	電流	A		400	
主要寸法	たて	mm		1800* ²	
	横	mm		1800* ²	
	高さ	mm		1950* ²	
個数		—		2(予備1)	
取付箇所	系統名(ライン名)	—		緊急時対策建屋 電源設備 110V充電器盤A1	緊急時対策建屋 電源設備 110V充電器盤B1
	設置床	—		AZ-W0150 T. M. S. L. 46. 80m	AZ-W0151 T. M. S. L. 46. 80m
	溢水防護上の区画番号	—		—	AZ-1-50
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	T. M. S. L. 47. 34m 以上	T. M. S. L. 47. 34m 以上
	化学薬品防護上の区画番号	—	—* ³	—	—
	化学薬品防護上の配慮が必要な高さ	—	—* ³	—	—

注記 *1: 110V充電器盤(AZ-CHG-A1, B1)は, 再処理施設にて設備登録を行っている。

*2: 公称値を示す。

*3: 化学薬品防護機能を要求されない設備であるため「—」とする。

2. 準拠規格及び基準

2.1 電気設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号) ・消防法 (昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号) ・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号) ・危険物の規制に関する政令 (昭和 34 年 9 月 26 日政令第 306 号) ・電気設備に関する技術基準を定める省令 (平成 9 年 3 月 27 日通商産業省令第 52 号) ・日本産業規格(JIS) ・日本建築学会各種構造設計及び計算規準 ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・日本電機工業会規格 (JEM)・日本電線工業会規格 (JCS)・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」 (SBA G 0603-2001)・IEEE Std 383-1974 垂直トレイ燃焼試験・IEEE Std 1202-1991 垂直トレイ燃焼試験・発電用原子力設備に関する構造等の技術基準 (昭和 55 年 10 月 30 日通商産業省告示第 501 号)・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準—許容応力度設計法—・電気事業法 (昭和 39 年 7 月 11 日 法律第 170 号)・日本蓄電池工業会規格 (SBA 6503-1991)	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」,「原子力発電所の火山影響評価ガイド」,「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」,「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」,「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.2 圧縮空気設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号) ・日本産業規格(JIS) ・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007) ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) ・日本電機工業会規格(JEM) ・日本電線工業会規格(JCS) ・圧力容器構造規格 (平成 15 年 4 月 30 日厚生労働省告示第 196 号) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)日本電気協会電気技術規程・指針原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-2007)実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)発電用原子力設備に関する構造等の技術基準 (昭和 55 年 10 月 30 日通商産業省告示第 501 号)日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準—許容応力度設計法— (昭和 63 年 7 月 26 日 科学技術庁告示第 20 号)	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.3 給水処理設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・日本産業規格(JIS) ・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007) ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) ・日本電機工業会規格(JEM) ・日本電線工業会規格(JCS) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版) ・発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008) ・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準—許容応力度設計法— 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

上記の他「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」を参照する。

2.4 冷却水設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号) ・消防法 (昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号) ・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号) ・高圧ガス保安法 (昭和 26 年 6 月 7 日法律第 204 号) ・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号) ・平成 12 年建設省告示第 1400 号 (平成 12 年 5 月 30 日建設省告示第 1400 号) ・青森県建築基準法施行細則 (昭和 36 年 2 月 9 日青森県規則第 20 号) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・ 日本産業規格 (JIS)・ 日本建築学会各種構造設計及び計算規準等・ 発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)・ 電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC)・ 日本電機工業会規格 (JEM)・ 日本電線工業会規格 (JCS)・ 圧力容器構造規格 (平成 15 年 4 月 30 日厚生労働省告示第 196 号)・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・ 日本電気協会電気技術規程・指針・ 原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-2007)・ 実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)・ 発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)・ 発電用原子力設備に関する構造等の技術基準 (昭和 55 年 10 月 30 日通商産業省告示第 501 号)・ 日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準－許容応力度設計法－・ ASME 規格 (American Society of Mechanical Engineers)	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.5 蒸気供給設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号) ・日本産業規格 (JIS) ・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007) ・電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC) ・日本電機工業会規格 (JEM) ・日本電線工業会規格 (JCS) ・圧力容器構造規格 (平成 15 年 4 月 30 日厚生労働省告示第 196 号) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・日本電気協会電気技術規程・指針・原子力発電所の耐雷指針 (JEAG4608-2007)・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)・発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)・発電用原子力設備に関する構造等の技術基準 (昭和 55 年 10 月 30 日通商産業省告示第 501 号)・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準—許容応力度設計法—・ボイラー構造規格	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.6 分析設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号) ・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号) ・電気設備に関する技術基準を定める省令 (平成 9 年 3 月 27 日通商産業省令第 52 号) ・日本産業規格 (JIS) ・日本建築学会各種構造設計及び計算規準等 ・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007) ・電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC) ・日本電機工業会規格 (JEM) ・日本電線工業会規格 (JCS) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・日本電気協会電気技術規程・指針・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)・IEEE Std 383-1974 垂直トレイ燃焼試験・IEEE Std 1202-1991 垂直トレイ燃焼試験・UL1581 (Fourth Edition-2001) 1080. VW-1 垂直燃焼試験・消防法施行規則 (昭和 36 年 4 月 1 日自治省令第 6 号)・発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)・UL 94 (Six Edition) 50W 垂直燃焼試験、2013・JIS K 7201-2 プラスチック －酸素指数による燃焼性の試験方法・再処理施設用ステンレス鋼規格・発電用原子力設備に関する構造等の技術基準 (昭和 55 年 10 月 30 日通商産業省告示第 501 号)・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準－許容応力度設計法－・試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則等の 規定に基づく線量当量限度等を定める件 (昭和 63 年 7 月 26 日 科学技術庁告示第 20 号)	変更なし

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">• 発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針 (昭和 53 年 9 月 29 日 原子力委員会決定)• NF 規格 (Normes Francaises)• 高放射性物質取扱施設 設計マニュアル (1985 年 11 月 日本原子力学会「遠隔操作技術」研究専門委員会)• ASME 規格 (American Society of Mechanical Engineers)• ASTM 規格 (American Society for Testing and Materials)• 電離放射線障害防止規則 (昭和 47 年 9 月 30 日 労働省令第 41 号)• 有機溶剤中毒予防規則 (昭和 47 年 9 月 30 日 労働省令第 36 号)• 特定化学物質等障害予防規則 (昭和 47 年 9 月 30 日 労働省第 39 号)	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.7 化学薬品貯蔵供給設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号) ・ボイラー及び圧力容器安全規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 33 号) ・危険物の規制に関する政令 (昭和 34 年 9 月 26 日政令第 306 号) ・電気設備に関する技術基準を定める省令 (平成 9 年 3 月 27 日通商産業省令第 52 号) ・日本産業規格(JIS) ・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007) ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) ・日本電機工業会規格(JEM) ・日本電線工業会規格(JCS) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・ 圧力容器構造規格 (平成 15 年 4 月 30 日 厚生労働省告示第 196 号)・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)・ 原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・ 発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)・ 日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準—許容応力度設計法—・ 高圧ガス取締法 (昭和 26 年 6 月 7 日 法律第 204 号)・ 特定化学物質等障害予防規則 (昭和 47 年 9 月 30 日 労働省第 39 号)	変更なし

上記の他「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」を参照する。

2.8 火災防護設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号) ・日本産業規格(JIS) ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) ・日本電機工業会規格(JEM) ・日本電線工業会規格(JCS) (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 34 号) ・消防法 (昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号) ・消防法施行令 (昭和 36 年 3 月 25 日政令第 37 号) ・消防法施行規則 (昭和 36 年 4 月 1 日自治省令第 6 号) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

(つづき)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準—許容応力度設計法—・高圧ガス保安法 (昭和 26 年 6 月 7 日法律第 204 号)・火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令 (昭和 56 年自治省令第 17 号)・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号)	変更なし

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」,「原子力発電所の火山影響評価ガイド」,「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」,「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」,「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.9 竜巻防護対策設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・青森県建築基準法施行細則 (昭和 36 年 2 月 9 日青森県規則第 20 号) ・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号) ・日本産業規格(JIS) ・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準－許容応力度設計法－ ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.10 溢水防護設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
-	<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号） ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令（昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号） ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則（昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号） ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号） ・再処理施設の技術基準に関する規則（令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号） ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則（令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号） ・建築基準法（昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号） ・日本産業規格 (JIS) ・電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC) ・日本電機工業会規格 (JEM) ・日本電線工業会規格 (JCS) ・原子力発電所耐震設計技術指針（重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984） ・原子力発電所耐震設計技術指針（JEAG4601-1987） ・原子力発電所耐震設計技術指針（JEAG4601-1991 追補版） ・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準（平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号） ・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準－許容応力度設計法－

上記の他「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.11 化学薬品防護設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
-	<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・日本産業規格(JIS) ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) ・日本電機工業会規格(JEM) ・日本電線工業会規格(JCS) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版) ・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号) ・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準－許容応力度設計法－

上記の他「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.12 放出抑制設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
-	<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号） ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令（昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号） ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則（昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号） ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則（平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号） ・再処理施設の技術基準に関する規則（令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号） ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則（令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号） ・消防法（昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号） ・日本産業規格(JIS) ・日本電気協会電気技術規程・指針 ・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準（平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号） ・発電用原子力設備規格 設計・建設規格（JSME S NC1-2005/2007） ・原子力発電所耐震設計技術指針（重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984） ・原子力発電所耐震設計技術指針（JEAG4601-1987） ・原子力発電所耐震設計技術指針（JEAG4601-1991 追補版） ・日本建築学会 2005 年 鋼構造設計規準－許容応力度設計法－ ・日本建築学会各種構造設計及び計算規準等

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」及び「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」を参照する。

2.13 水供給設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<p style="text-align: center;">—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 (令和 2 年 1 月 23 日原子力規制委員会規則第 2 号) ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・建築基準法施行令 (昭和 25 年 11 月 16 日政令第 338 号) ・日本電気協会電気技術規程・指針 ・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号) ・消防法 (昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号) ・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987)

(つづき)

変更前	変更後
—	<ul style="list-style-type: none">・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1991 追補版)・日本建築学会 2005年 鋼構造設計規準—許容応力度設計法—・日本建築学会各種構造設計及び計算規準等

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」,「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」,「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.14 緊急時対策所の準拠規格及び基準

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) ・日本電機工業会規格(JEM) ・日本電線工業会規格(JCS) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) ・原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1987) ・原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1991 追補版) 	<p style="text-align: center;">変更なし</p>
<p style="text-align: center;">—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法 (昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号) ・日本産業規格(JIS) ・青森県建築基準法施行細則 (昭和 36 年 2 月 9 日青森県規則第 20 号) ・消防法 (昭和 23 年 7 月 24 日法律第 186 号) ・実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準 (平成 25 年 6 月 19 日原規技発第 1306195 号) ・都市計画法 (昭和 43 年 6 月 15 日法律第 100 号)

(つづき)

変更前	変更後
—	<ul style="list-style-type: none">・日本電気協会電気技術規程・指針・電池工業会「蓄電池室に関する設計指針」 (SBA G 0603-2001)・電気設備に関する技術基準を定める省令 (平成9年3月27日通商産業省令第52号)・平成12年建設省告示第1400号 (平成12年5月30日建設省告示第1400号)・IEEE Std 383-1974 垂直トレイ燃焼試験・IEEE Std 1202-1991 垂直トレイ燃焼試験・UL1581(Fourth Edition-2001)1080.VW-1 垂直燃焼試験・日本空気清浄協会「空気清浄装置用ろ材燃焼性試験方法指針」 (JACA No. 11A-2003)・危険物の規制に関する政令 (昭和34年9月26日政令第306号)・IEEE 384-1992 ケーブルトレイ分離距離・核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に 基づく線量限度等を定める告示 (平成27年8月31日原子力規制委員会告示第8号)・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007)・発電用原子力設備規格 維持規格 (JSME S NA1-2008)・労働安全衛生施工令 (昭和47年8月19日 政令第318号)

上記の他「原子力発電所の竜巻影響評価ガイド」、「原子力発電所の火山影響評価ガイド」、「原子力発電所の外部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」、「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」及び「耐震設計に係る工認審査ガイド」を参照する。

2.15 通信連絡設備の準拠規格及び基準

変更前	変更後
—	<ul style="list-style-type: none"> ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律 (昭和 32 年 6 月 10 日法律第 166 号) ・核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 (昭和 32 年 11 月 21 日政令第 324 号) ・使用済燃料の再処理の事業に関する規則 (昭和 46 年 3 月 27 日総理府令第 10 号) ・再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 (平成 25 年 12 月 6 日原子力規制委員会規則第 27 号) ・再処理施設の技術基準に関する規則 (令和 2 年 3 月 17 日原子力規制委員会規則第 9 号) ・原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則 ・日本産業規格(JIS) ・電気学会電気規格調査会標準規格(JEC) ・日本電機工業会規格(JEM) ・日本電線工業会規格(JCS) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (重要度分類・許容応力編 JEAG4601・補-1984) ・原子力発電所耐震設計技術指針 (JEAG4601-1987) ・原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1991 追補版)

変更に係る工事工程表

今回の工事の工程のうち、全体計画の工事工程表を第1表、施設区分毎の工事工程表を第2表に示す。

第1表 工事工程表（全体計画）

年度 項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
主要工程	第1回申請 ▽*2 使用前事業者検査開始 ☆		第2回申請 ▽*2 ▽*3 ▽*2,4 ▽*2,5	工事完了 ◇ 使用前事業者 検査終了 ☆ ガラス溶融炉の検査*1 □	しゅん工 △

注記 *1：検査の条件が整った段階で実施する。

*2：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第四十五条第2項に基づく申請。

*3：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第四十五条第1項に基づく申請。

*4：平成24年4月3日付け平成23・12・06原第4号にて認可を受けた設工認申請書（別設工認（第2ユーティリティ建屋に係る施設））。

*5：平成19年12月27日付け平成19・10・31原第1号にて認可を受けた設工認申請書（別設工認（海洋放出管切り離し工事））。

第2表 工事工程表（施設区分毎）

項目	年度				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
使用済燃料の受入施設及び貯蔵施設	■				
				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★
再処理設備本体のうちせん断処理施設	■				
				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★
再処理設備本体のうち溶解施設	■				
				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★
再処理設備本体のうち分離施設	■				
				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★
再処理設備本体のうち精製施設	■				
				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★

許 A

■：現地工事期間

■：構造、強度及び漏えいに係る検査をすることができるようになった時

◇：機能及び性能に係る検査をすることができる状態になった時

☆：基本設計方針検査をすることができる状態になった時

★：品質マネジメントシステムに係る検査ができる状態になった時

注記：検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

(続き)

許 A

項目	年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
	再処理設備本体のうち 脱硝施設				■	■
再処理設備本体のうち 酸及び溶媒の回収施設				■	■	
製品貯蔵施設				■	■	
計測制御系統施設				■	■	
放射性廃棄物の廃棄 施設				■	■	

■ : 現地工事期間

■ : 構造、強度及び漏えいに係る検査をすることができるようになった時

◇ : 機能及び性能に係る検査をすることができる状態になった時

☆ : 基本設計方針検査をすることができる状態になった時

★ : 品質マネジメントシステムに係る検査ができる状態になった時

注記：検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

(続き)

項目	年度				
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
放射線管理施設				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★
その他再処理設備の 附属施設のうち 電気設備				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★
その他再処理設備の 附属施設のうち 圧縮空気設備				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★
その他再処理設備の 附属施設のうち 給水処理設備				■	■
				◇	◇
				☆	☆
				★	★
その他再処理設備の 附属施設のうち 冷却水設備	■				■
	◇				◇
	☆				☆
	★				★

許 A

■ : 現地工事期間

■ : 構造、強度及び漏えいに係る検査をすることができるようになった時

◇ : 機能及び性能に係る検査をすることができる状態になった時

☆ : 基本設計方針検査をすることができる状態になった時

★ : 品質マネジメントシステムに係る検査ができる状態になった時

注記：検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

(続き)

項目	年度				
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
その他再処理設備の 附属施設のうち 溢水防護設備				■ ◇ ☆ ★	■ ◇ ☆ ★
その他再処理設備の 附属施設のうち 化学薬品防護設備				■ ◇ ☆ ★	■ ◇ ☆ ★
その他再処理設備の 附属施設のうち 放出抑制設備				■ ◇ ☆ ★	■ ◇ ☆ ★
その他再処理設備の 附属施設のうち 水供給設備				■ ◇ ☆ ★	■ ◇ ☆ ★
その他再処理設備の 附属施設のうち 通信連絡設備				■ ◇ ☆ ★	■ ◇ ☆ ★

計 A

■ : 現地工事期間

■ : 構造、強度及び漏えいに係る検査をすることができるようになった時

◇ : 機能及び性能に係る検査をすることができる状態になった時

☆ : 基本設計方針検査をすることができる状態になった時

★ : 品質マネジメントシステムに係る検査ができる状態になった時

注記：検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

(続き)

年度 項目	年度				
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
その他再処理設備の 附属施設のうち 通信連絡設備					
			■	-----	■
			◇	-----	◇
			☆	-----	☆
			★	-----	★

■ : 現地工事期間

■ : 構造、強度及び漏えいに係る検査をすることができるようになった時

◇ : 機能及び性能に係る検査をすることができる状態になった時

☆ : 基本設計方針検査をすることができる状態になった時

★ : 品質マネジメントシステムに係る検査ができる状態になった時

注記：検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

変更に係る設計及び工事に係る
品質マネジメントシステム

「別添Ⅳ 変更に係る設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」は、令和4年 12月 21 日付け原規規発第 2212213 号にて認可を受けた設工認申請書の「別添Ⅳ 変更に係る設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に同じである。